専任教員の教育・研究業績

つくば国際大学

◇◇◇　目　次　◇◇◇

■ 医療保健学部

○ 理学療法学科

桐山　希一　・・・　3
小林　聖美　・・・　5
杉野　一行　・・・　10
鈴木　康文　・・・　21
竹内　恒理　・・・　28
林　隆司　・・・　30
永野　克人　・・・　33
深谷　隆史　・・・　41
福山　勝彦　・・・　50
髙尾　敏文　・・・　55
永井　智　・・・　64
渡邊　昌宏　・・・　78
有田　真己　・・・　89
向後　和典　・・・　98
松嶋　美正　・・・　103
山本　竜也　・・・　106
木村　剛英　・・・　118
新藤　愛　・・・　122
沼尾　夏葵　・・・　127

○ 看護学科

浅野　均　・・・　133
大槻　優子　・・・　137
尾﨑　道江　・・・　143
幸田　幸直　・・・　150
長堀　智香子・・・　158
野田　智子　・・・　162
鈴木　悠圭　・・・　169
吉田　和美　・・・　177
岡嶋　妙子　・・・　182
佐藤　圭子　・・・　188
福田　久子　・・・　199
藤咲　美輝　・・・　204
宮下　真理子・・・　207
井上　刷子　・・・　212
小川　愛里　・・・　215
北島　元治　・・・　218
纐纈　祐子　・・・　225
小林　まり　・・・　232
中島　美香　・・・　236
塙　恵子　・・・　240

○ 保健栄養学科

池本　真二　・・・　244
可知　謙治　・・・　253
澤田　和彦　・・・　259
増野　弥生　・・・　271
柴﨑　みゆき・・・　280
伊部　陽子　・・・　288
助川　宏子　・・・　295
古橋　千恵美・・・　303
山邊　志都子　・・・　311

○ 診療放射線学科

大越　教夫　・・・　322
坂井　上之　・・・　332
武井　宏行　・・・　337
福士　政広　・・・　347
梁川　範幸　・・・　351
柳田　智　・・・　361
山田　誠一　・・・　370
横山　博子　・・・　375
奥村　英一郎・・・　379
椎名　清和　・・・　383
根本　広文　・・・　391
本間　光彦　・・・　396
矢部　仁　・・・　403
清水　秀雄　・・・　407
杉村　瞳　・・・　417
鈴木　政司　・・・　432
永井　良明　・・・　441
井出　仁勇　・・・　449
川田　悟　・・・　456

○臨床検査学科

秋田　久直　・・・　461
飯田　典子　・・・　463
稲田　政則　・・・　474
窪田　哲朗　・・・　479
柴山　修司　・・・　488
當銘　良也　・・・　494
難波　俊二　・・・　502
鴻巣　麻子　・・・　504
山本　哲也　・・・　510
山口　孝一　・・・　516
伊藤　慶　・・・　525

○医療技術学科

石垣　明子　・・・　533
小室　安宏　・・・　537
関根　正樹　・・・　539
堀内　勇人　・・・　545
池田　潔　・・・　551
中原　毅　・・・　554
大関　誠也　・・・　562
新山　大地　・・・　566

理学療法学科

所属　医療保健学部 学科　理学療法学科	職名　教授	氏名　桐山　希一	学　位	博士
			国家資格	理学療法士

Ⅰ　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
「神経系障害の特性と対応」「神経系障害基礎理学療法」「神経系障害理学療法評価学」「神経系障害理学療法治療学」	～2024 年	「神経系障害特性と対応」は，脳血管障害，神経変性疾患のそれぞれの病型について，病態や症状に合わせた臨床検査結果の読み方や内科・外科的治療方法を学ぶ。「神経系障害理学療法」の一連の科目については，中枢神経障害を担当し各疾患の病態と症状に合わせた理学療法評価と治療を学ぶ。
2　作成した教材（150 字程度まで）		
「神経系障害の特性と対応」「神経系障害基礎理学療法」「神経系障害理学療法評価学」「神経系障害理学療法治療学」	～2024 年	神経系障害の治療体系のなかで，それぞれの授業において学ぶ項目の位置づけを理解しながら学習することが望ましい。そこで，神経系障害に関する全ての学習項目を一覧としてまとめた教材を作成した。そして授業の初めにこの教材を用いて概論として説明した。各授業でも学習すべきポイントと学習の流れを把握するように工夫した。また，この学習ポイントを独自に作成した「問題集」として配布した。問題に答えることができれば，その学習項目を理解していることが学生自身で確認できるように工夫した。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
4　その他教育活動上特記すべき事項		

Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
2　特許		

3　その他職務上の実績に関する事項		

Ⅲ　研究活動					
著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					
論文					
報告					
学会発表					

Ⅳ　学会等および社会における主な活動
1　現在の所属学会
日本心理学会
2　2020～2024 年度の学会での主な活動
3　2020～2024 年度の社会での主な活動

所属　医療保健学部 学科　理学療法学科	職名　教授	氏名　小林　聖美	学　位	博士（保健医療科学）
			国家資格	理学療法士

I　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
発達障害理学療法学	2013 年～現在	理学療法学科 2 年次生を対象に理学療法士が関わる小児疾患の概要や障害像、その評価方法について講義を行った。科目責任者として 8 コマすべての授業を担当した。講義では PowerPoint スライドを使用し、スライドを配布資料として配布した。映像資料を多用し、正常運動発達や障害児のイメージを持つことが出来るように働きかけた。期末試験および再試験により評価した。
発達障害理学療法治療学	2008 年～現在	理学療法学科 3 年次生を対象に発達障害理学療法学の復習を行いながら、座学から実技への繋がりを強調した。また、複数の教員を配置することで、技術習得に対して細かなフィードバックを与えられるように工夫した。実技試験を行うことで、知識・技術の定着度を測り、思考過程と実技の連続性を担保するために、症例検討を行いながら実技を行うなどの工夫をした。科目責任者として 54 コマの授業を担当した。実技試験、中間試験、期末試験、再試験により評価した。
理学療法治療計画論	2013 年～現在	理学療法学科 3 年次生を対象に小児の模擬症例の検討を行う中で、基礎的な知識の確認と評価結果から治療プログラムの立案までの思考過程を理解できるように、グループによるアクティブラーニングを基盤として授業を展開した。グループディスカッションに際しては、事前課題を準備し、調べ学習の定着も図った。13 コマの授業を担当し、期末試験および再試験により評価した。
チーム医療論	2021 年～現在	理学療法学科 3 年次生を対象に全学科教員並びに外部講師を招聘し、地域連携論よりも多くの医療福祉関連職種についての理解を深められるようにした。講義の中で各職種の成り立ちや役割を知ることで、自身が目指す職種との違いについて考察を深めた。症例検討については看護学科と合同でグループディスカッションを行い、専門職種間の違いや共通点、違いがある中でも目標を共有することの重要性について理解が深まるように働きかけた。科目責任者として 8 コマの授業を担当し、個人課題、グループ発表資料で評価した。
地域理学療法学	2008 年～現在	理学療法学科 3 年次生を対象に地域における理学療法士の役割や、

		関連法規の中でどのような役割を求められているかについて講義を行った。PowerPoint で作成したスライドと、実際の臨床で使用している評価表などを配布し、より実践に即した内容を伝えるようにした。グループでのディスカッションを通して、直接的な支援のみではなく、環境を整えることや、制度を理解していることの重要性を理解できるように促した。7 コマの授業を担当し、期末試験および再試験で評価した。
発達障害の特性と対応	2019 年～現在	理学療法学科 2 年次生を対象に小児領域の理学療法を行う上で、疾患や病態の理解することの重要性について、動画や実際の症例での経験を踏まえて講義を行った。13 コマは小児科医が担当し、科目責任者として 2 コマの講義を行った。期末試験および再試験により評価した。
2　作成した教材（150 字程度まで）		
発達障害理学療法学講義用 PowerPoint スライド	2013 年～現在	理学療法学科 2 年次生対象の発達障害理学療法学の講義を行った際、PowerPoint スライド（計 8 点、計 400 枚）を作成した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正を行った。
発達障害理学療法治療学講義用 PowerPoint スライド・ワークシート	2008 年～現在	理学療法学科 3 年次生対象の発達障害理学療法治療学の講義を行った際、PowerPoint スライド（計 13 点、計 600 枚）を作成した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正を行った。実技課題を行う際には、その内容の振り返りを行うためのワークシートを作成した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正を行った。
理学療法治療計画論演習用症例情報	2013 年～現在	理学療法学科 3 年次生対象の理学療法治療計画論のグループワークを行った際、模擬的な症例情報を作成した。グループワークの後には情報の見直し、変更や修正を行った。
チーム医療論講義用 PowerPoint スライド・課題用ワークシート	2021 年～現在	理学療法学科 3 年次生対象のチーム医療論の講義を行った際、PowerPoint スライド（計 7 点、計 200 枚）を作成した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正を行った。症例検討を行う際には、その事前課題としてのワークシートを作成した。また発表に際しては、発表資料のひな形を作成した。
地域理学療法学講義用 PowerPoint スライド	2008 年～現在	理学療法学科 3 年次生対象の地域理学療法学の講義を行った際、PowerPoint スライド（計 4 点、計 200 枚）を作成した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正を行った。
発達障害の特性と対応講義用 PowerPoint スライド	2020 年～現在	理学療法学科 2 年次生対象の発達障害の特性と対応の講義を行った際、PowerPoint スライド（計 2 点、計 80 枚）を作成した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正を行った。

3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
地域理学療法学に関する著書	2024 年 12 月	地域理学療法学に関する著書を発表した。 「地域理学療法学(第 2 版)」編集　牧迫飛雄馬　吉松竜貴；医歯薬出版株式会社総頁数：217 頁
地域理学療法学に関する著書	2024 年 10 月	地域理学療法学に関する著書を発表した。 「理学療法技術ガイド第 5 版」編集主幹　市橋則明；文光堂：999 頁
地域理学療法学に関する論文発表	2022 年 12 月	地域理学療法学教育に関する論文（原著論文）を共著者として発表した。 「Longitudinal changes in physical activity accumulation patterns during 1-year follow-up in stroke survivors.」W Nakano, S Kobayashi, T Maezawa,Y Kohno Disability and Rehabilitation45(24)　4094-4100 項
地域理学療法学に関する論文発表	2021 年 7 月	地域理学療法学教育に関する論文（原著論文）を共著者として発表した。 「Sex differences in physical activity in people after stroke:A cross-sectional study.」W Nakano, S Kobayashi, T Maezawa, Y Ohashi, Y Kohno Physical Therapy Research24（3）　280-28 項
地域理学療法学に関する著書	2019 年 3 月	地域理学療法学に関する著書を発表した。 「地域理学療法学(第 1 版)」編集　牧迫飛雄馬　吉松竜貴；医歯薬出版株式会社総頁数：219 頁
4　その他教育活動上特記すべき事項		
理学療法学科における卒業研究指導	2024 年	理学療法学科 4 年次対象の卒業研究において 1 名の学生に対して指導を行った。
FD フォーラム報告会報告	2025 年 3 月	2024 年度 FD フォーラム報告会において、シンポジウム 1「FD×SD で向き合う新しい学びー学び手ひとりひとりの成長と幸せに寄り添う大学教育を探るー」および第 1 分科会「混職協働最前線　これからの産学連携」について報告を行った。

Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		

2　特許		
3　その他職務上の実績に関する事項		
関東甲信越ブロック理学療法学会査読	2020～2022 年	
理学療法学会（小児・地域・予防・教育・ウィメンズ）査読	2020～2024 年	
一般社団法人地域理学療法学会雑誌「地域理学療法学」編集委員	2021～2024 年	

Ⅲ　研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					
地域理学療法学（第 2 版）	共著	2024 年 12 月	医歯薬出版株式会社	編集　牧迫飛雄馬　吉松竜貴	総頁数：217 項 執筆担当：第 3 章　介護保険制度の理解（p27-41）
理学療法技術ガイド第 5 版	共著	2024 年 10 月	文光堂	編集主幹　市橋則明	総頁数：999 項 執筆担当：第 6 章-5　住環境整備（p908-914）
地域理学療法学（第 1 版）	共著	2021 年 3 月	医歯薬出版株式会社	編集　牧迫飛雄馬　吉松竜貴	総頁数：219 項 執筆担当：第 2 章　介護保険制度の理解（p14-23）
リハビリテーション管理学	共著	2020 年 12 月	羊土社	編集　齋藤昭彦　下田信明	総頁数：236 項 執筆担当：実例（127・136 頁）
論文					
Longitudinal changes in physical activity accumulation patterns during 1-year follow-up in stroke survivors.	共著	2022 年 12 月	Disability and Rehabilitation45(24)	W Nakano, S Kobayashi, T Maezawa,Y Kohno	4094-4100 項
Sex differences in physical activity in people after stroke:A	共著	2021 年 7 月	Physical Therapy Research24 (3)	W Nakano, S Kobayashi, T Maezawa, Y Ohashi, Y	280-28 項

cross-sectional study.				Kohno	
報告					
学会発表					
脳卒中後の中高強度活動時間の蓄積について	共同	2020 年 11 月	第 18 回日本神経理学療法学会学術大会	中野渉、小林聖美、前沢孝之、大橋ゆかり、河野豊	一般演題
脳卒中後遺症者の日常生活における歩行距離と歩行率について	共同	2020 年 6 月	第 24 回静岡県理学療法士学会	中野渉、小林聖美、前沢孝之、大橋ゆかり、河野豊	一般演題

Ⅳ　学会等および社会における主な活動
1　現在の所属学会
日本小児理学療法学会、日本地域理学療法学会、日本予防理学療法学会、日本理学療法教育学会、日本ウィメンズヘルス・メンズヘルス学会 理学療法科学学会、日本老年医学会、リハビリテーション連携科学学会、日本保健医療福祉連携教育学会
2　2020～2024 年度の学会での主な活動
2021～2024 年度　一般社団法人地域理学療法学会評議員 2020～2024 年度　日本 ALS 協会茨城県支部運営委員
3　2020～2024 年度の社会での主な活動
2020～2024 年　土浦市障害者介護認定審査会委員 2020 年　　セラピスト等学校訪問事業（特別支援学校への訪問） 2023～2024 年　セラピスト等学校訪問事業（特別支援学校への訪問） 2022～2024 年　医療専門学校水戸メディカルカレッジ非常勤講師

所属　医療保健学部 学科　理学療法学科	職名　教授	氏名　杉野一行	学　位	博士（理学）
			国家資格	

Ⅰ　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
生理学（理学療法学科）	2007 年～現在	理学療法学科 1 年次生を対象に、人体各部の機能について、特に運動・感覚・中枢系に重点を置き解説した。講義中に小問題を出し、節目毎に聴講した内容の要点整理を促した。症例等の動画も挟み、イメージ的にも実感できるように工夫した。
生理学実習	2007 年～現在	理学療法学科 1 年次生を対象に、生理学の講義内容に対応して、実際に自分たちの体の動きや反応を観察・計測し、そこから得られたデータに基づいて比較・解析することによって運動系、感覚系、臓器系の仕組みについて考察させる実習を行った。
理学療法セミナーⅠ	2007 年～現在	理学療法学科 1 年次生を対象に、個人単位、グループ単位でプレゼンテーション課題を行った。情報収集、コンテンツ作成、発表などについて、担当クラスのアドバイザーとして指導、助言を行った。
病態生理学	2013 年～現在	理学療法学科 2 年次生を対象に、様々な疾患や障害の原因と、誘発される症状の発症の仕組みについて、分野ごとに代表的な疾患を取り上げ、生理学的に解説した。検査値の意味や予防や治療の考え方についても触れた。毎年なるべく異なる疾患を取り上げるので、単位取得済みの学生にも聴講を勧めている。
人体の機能	2007 年～現在	看護学科 1 年次生を対象に、看護活動を行う上で必要となる、人体の機能の基本を学習させた。主に身体各器官の働きの詳細とその原理について解説した。前半では、興奮性細胞の様々な働きに基づく動物性機能について学習し、感覚、運動、認知、学習、記憶などの諸機能を

		理解させた。後半では、消化、呼吸、循環、内分泌、生殖機能、ホメオスタシス、免疫など、個体や種を維持する働きである植物性機能を中心に学習させた。
人体の構造と機能Ⅱ	2009 年～現在	保健栄養学科 1 年次生を対象に、身体を構成する各器官の働きとその仕組みを学習させた。食との関連が深い消化、ホメオスタシス、内分泌、呼吸、循環、免疫などの植物性機能については生化学的なレベルから解説した。人間活動を司る動物性機能については神経系の仕組みを中心に、感覚器、中枢、筋の働きと関連疾患について解説した。
生理学（診療放射線学科）	2013 年～現在	診療放射線学科 1 年次生を対象に、生体の生命活動や恒常性に関与する事柄を生物学的な側面から解説した。生体内で生ずる様々な反応やその反応系に異常を来たして生じた疾病の生理学的な理解を促した。細胞、血液系、循環器系、呼吸器系、消化器系、泌尿器系、神経系、運動系、感覚系、体温調節系、内分泌系の機能を形態と関連づけて理解するとともに、その機能が障害された場合に出現する症状や回復機序についても理解を促した。さらに、遺伝についての基礎知識および遺伝性疾患についても取り扱った。
生理学Ⅰ	2022 年～現在	医療技術学科 1 年次生を対象に、生体内で生ずる様々な反応やその反応系に異常を来たして生じた疾病の生理学的理解を促した。Ⅰでは植物性機能を中心に、生命維持に重要なからだの仕組みを解説した。
生理学Ⅱ	2022 年～現在	医療技術学科 1 年次生を対象に、生体内で生ずる様々な反応やその反応系に異常を来たして生じた疾病の生理学的理解を促した。Ⅱでは動物性機能を中心に、生体反応や自律神経調節、感覚応答などの仕組みを解説した。
2　作成した教材（150 字程度まで）		
生理学（理学療法学科）の講義用 PowerPoint スライド	2007 年～現在	理学療法学科 1 年次対象の生理学の講義で用いる PowerPoint スライド（計 30 コマ分、各々凡そ 50 頁）を作成し、スクリーン及びモニタ

		ーへの提示資料として使用した。講義後課題の提出後に学生の理解度に応じて修正等を加えた。
生理学（理学療法学科）の講義前課題	2020 年～現在	理学療法学科 1 年次対象の生理学の講義に先立ち、講義内容の理解に必要な高校レベルまでの内容を復習しておくための○×問題(計 30 コマ分、各回に 15 問程度)。講義前のウォーミングアップとしての意味合いもある。Google Form 形式の課題で、Net で解答を回収し、より詳しく説明すべき箇所の確認等に用いた。講義後、正解と簡単な解説を Google Classroom 上に提示した。
生理学（理学療法学科）の確認課題	2024 年～現在	理学療法学科 1 年次対象の生理学の講義中の所々に確認用の選択課題（計 30 コマ分、3～4 択の問題を各回 5 問程度）を提示し、講義内容を逐次再確認させるもの。Google Form を用いて逐次答を送信させ、講義内容が十分に伝わったかどうかを確認した。質問欄も設けており、代表的な物を選んで、次回講義の初頭に解説を加えた。
生理学（理学療法学科）の講義後課題	2020 年～現在	理学療法学科 1 年次対象の生理学の講義終了後の復習のための○×問題（計 30 コマ分、各回に 15 問程度)。Google Form 形式の課題で、Net で解答を回収し、理解度をチェックすることで、次年度へ向けてのフィードバックとした。講義後、正解と簡単な解説を Google Classroom 上に提示した。
生理学（理学療法学科）の講義録画	2020 年～現在	理学療法学科 1 年次対象の生理学の毎回の講義（計 30 コマ）を PowerPoint スライド、動画、ホワイトボード板書を含めて音声付きで録画し、講義後 Google Classroom 上にアップロードする事で、復習、試験対策等に供した。
生理学（理学療法学科）PowerPoint スライドの要約版	2020 年～2023 年	理学療法学科 1 年次対象の生理学の毎回の講義用 PowerPoint の要約版（QA、動画、確認課題を除いた物、計 30 コマ分、各回凡そ 20 頁）を PDF 形式で、講義後 Google Classroom 上にアップロードする事で、復習、試験対策等に供した。
生理学（理学療法学科）PowerPoint スライド記入用ノート	2024 年～現在	理学療法学科 1 年次対象の生理学の毎回の講義用 PowerPoint の記入用ノート（要約版から QA、確認課題を除き、罫線付き 3 スライド／頁にした物、計 30 コマ分、各回凡そ 20 スライド）を PDF 形式で、講義前に Google Classroom 上にアップロードする事で、予習、講義中のメモ等に供した。
生理学実習ガイドライン	2007 年～現在	理学療法学科 1 年次対象の生理学実習の手引き。網膜に於ける側方抑制、前庭動眼反射、重量識別に於ける感覚精度、味覚受容閾値を調べる手順を PowerPoint で提示。4 テーマ分、其々凡そ 5 頁。
病態生理学の講義用 PowerPoint スライド	2013 年～現在	理学療法学科 2 年次対象病態生理学の講義で用いる PowerPoint スラ

		イド（計 15 コマ分、各々凡そ 30 頁）を作成し、スクリーン及びモニターへの提示資料として使用した。提出課題で集めた学生のリクエストに応じて、次回のテーマを決定した。
病態生理学の提出課題	2013 年～現在	理学療法学科 2 年次対象病態生理学の講義後に確認用の記述課題（各回 3 問）を提出させ、講義内容を再確認させるもの。Google Form を用いて講義時間内に配信。
病態生理学の講義録画	2020 年～現在	理学療法学科 2 年次対象の病態生理学の毎回の講義（計 15 コマ）を PowerPoint スライド、動画、ホワイトボード板書を含めて音声付きで録画し、講義後 Google Classroom 上にアップロードする事で、復習、試験対策等に供した。
病態生理学 PowerPoint スライドの要約版	2020 年～2023 年	理学療法学科 2 年次対象の病態生理学の毎回の講義用 PowerPoint の要約版（QA、動画、確認課題を除いた物、計 15 コマ分、各回凡そ 10 頁）を PDF 形式で、講義後 Google Classroom 上にアップロードする事で、復習に供した。
人体の機能の講義用 PowerPoint スライド	2007 年～現在	看護学科 1 年次対象の人体の機能の講義を行った際、PowerPoint スライド（計 30 コマ分、各々凡そ 50 頁）を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
人体の機能の講義前課題	2020 年～現在	看護学科 1 年次対象の人体の機能の講義に先立ち、講義内容の理解に必要な高校レベルまでの内容を復習しておくための○×問題(計 30 コマ分、各回に 15 問程度)。講義前のウォーミングアップとしての意味合いもある。Google Form 形式の課題で、Net で解答を回収し、より詳しく説明すべき箇所の確認等に用いた。講義後、正解と簡単な解説を Google Classroom 上に提示した。
人体の機能の確認課題	2024 年～現在	看護学科 1 年次対象の人体の機能の講義中の所々に確認用の選択課題（計 30 コマ分、3～4 択の問題を各回 5 問程度）を提示し、講義内容を逐次再確認させるもの。Google Form を用いて逐次答を送信させ、講義内容が十分に伝わったかどうかを確認した。質問欄も設けており、代表的な物を選んで、次回講義の初頭に解説を加えた。
人体の機能の講義後課題	2020 年～現在	看護学科 1 年次対象の人体の機能の講義終了後の復習のための○×問題（計 30 コマ分、各回に 15 問程度)。Google Form 形式の課題で、Net で解答を回収し、理解度をチェックすることで、次年度へ向けてのフィードバックとした。講義後、正解と簡単な解説を Google Classroom 上に提示した。
人体の機能の講義録画	2020 年～現在	看護学科 1 年次対象の人体の機能の毎回の講義（計 30 コマ）を PowerPoint スライド、動画、ホワイトボード板書を含めて音声付きで

		録画し、講義後 Google Classroom 上にアップロードする事で、復習、試験対策等に供した。
人体の機能 PowerPoint スライドの要約版	2020 年～2023 年	看護学科 1 年次対象の人体の機能の毎回の講義用 PowerPoint の要約版（QA、動画、確認課題を除いた物、計 30 コマ分、各回凡そ 20 頁）を PDF 形式で、講義後 Google Classroom 上にアップロードする事で、復習、試験対策等に供した。
人体の機能 PowerPoint スライド記入用ノート	2024 年～現在	理学療法学科 1 年次対象の人体の機能の毎回の講義用 PowerPoint の記入用ノート（要約版から QA、確認課題を除き、罫線付き 3 スライド／頁にした物、計 30 コマ分、各回凡そ 20 スライド）を PDF 形式で、講義前に Google Classroom 上にアップロードする事で、予習、講義中のメモ等に供した。
人体の構造と機能Ⅱの講義用 PowerPoint スライド	2009 年～現在	保健栄養学科 1 年次対象の人体の構造と機能Ⅱの講義で用いる PowerPoint スライド（計 15 コマ分、各々凡そ 50 頁）を作成し、スクリーン及びモニターへの提示資料として使用した。講義後課題の提出後に学生の理解度に応じて修正等を加えた。
人体の構造と機能Ⅱの講義前課題	2020 年～現在	保健栄養学科 1 年次対象の人体の構造と機能Ⅱに先立ち、講義内容の理解に必要な高校レベルまでの内容を復習しておくための○×問題（計 15 コマ分、各回に 15 問程度）。講義前のウォーミングアップとしての意味合いもある。Google Form 形式の課題で、Net で解答を回収し、より詳しく説明すべき箇所の確認等に用いた。講義後、正解と簡単な解説を Google Classroom 上に提示した。
人体の構造と機能Ⅱの確認課題	2024 年～現在	保健栄養学科 1 年次対象の人体の構造と機能Ⅱの講義中の所々に確認用の選択課題（計 15 コマ分、3～4 択の問題を各回 5 問程度）を提示し、講義内容を逐次再確認させるもの。Google Form を用いて逐次答を送信させ、講義内容が十分に伝わったかどうかを確認した。質問欄も設けており、代表的な物を選んで、次回講義の初頭に解説を加えた。
人体の構造と機能Ⅱの講義後課題	2020 年～現在	保健栄養学科 1 年次対象の人体の構造と機能Ⅱの講義終了後の復習のための○×問題（計 15 コマ分、各回に 15 問程度）。Google Form 形式の課題で、Net で解答を回収し、理解度をチェックすることで、次年度へ向けてのフィードバックとした。講義後、正解と簡単な解説を Google Classroom 上に提示した。
人体の構造と機能Ⅱの講義録画	2020 年～現在	保健栄養学科 1 年次対象の人体の構造と機能Ⅱの毎回の講義（計 15 コマ）を PowerPoint スライド、動画、ホワイトボード板書を含めて音声付きで録画し、講義後 Google Classroom 上にアップロードする事で、復習、試験対策等に供した。

人体の構造と機能Ⅱ PowerPoint スライドの要約版	2020 年～2023 年	保健栄養学科 1 年次対象の人体の構造と機能Ⅱの毎回の講義用 PowerPoint の要約版（QA、動画、確認課題を除いた物、計 15 コマ分、各回凡そ 20 頁）を PDF 形式で、講義後 Google Classroom 上にアップロードする事で、復習、試験対策等に供した。
人体の構造と機能Ⅱ PowerPoint スライド記入用ノート	2024 年～現在	保健栄養学科 1 年次対象の人体の構造と機能Ⅱの毎回の講義用 PowerPoint の記入用ノート（要約版から QA、確認課題を除き、罫線付き 3 スライド／頁にした物、計 15 コマ分、各回凡そ 20 スライド）を PDF 形式で、講義前に Google Classroom 上にアップロードする事で、予習、講義中のメモ等に供した。
生理学（診療放射線学科）の講義用 PowerPoint スライド	2009 年～現在	診療放射線学科 1 年次対象生理学の講義で用いる PowerPoint スライド（計 15 コマ分、各々凡そ 50 頁）を作成し、スクリーン及びモニターへの提示資料として使用した。講義後課題の提出後に学生の理解度に応じて修正等を加えた。
生理学（診療放射線学科）の講義前課題	2020 年～現在	診療放射線学科 1 年次対象生理学に先立ち、講義内容の理解に必要な高校レベルまでの内容を復習しておくための○×問題（計 15 コマ分、各回に 15 問程度）。講義前のウォーミングアップとしての意味合いもある。Google Form 形式の課題で、Net で解答を回収し、より詳しく説明すべき箇所の確認等に用いた。講義後、正解と簡単な解説を Google Classroom 上に提示した。
生理学（診療放射線学科）の確認課題	2024 年～現在	診療放射線学科 1 年次対象生理学の講義中の所々に確認用の選択課題（計 15 コマ分、3～4 択の問題を各回 5 問程度）を提示し、講義内容を逐次再確認させるもの。Google Form を用いて逐次答を送信させ、講義内容が十分に伝わったかどうかを確認した。質問欄も設けており、代表的な物を選んで、次回講義の初頭に解説を加えた。
生理学（診療放射線学科）の講義後課題	2020 年～現在	診療放射線学科 1 年次対象生理学の講義終了後の復習のための○×問題（計 15 コマ分、各回に 15 問程度）。Google Form 形式の課題で、Net で解答を回収し、理解度をチェックすることで、次年度へ向けてのフィードバックとした。講義後、正解と簡単な解説を Google Classroom 上に提示した。
生理学（診療放射線学科）の講義録画	2020 年～現在	診療放射線学科 1 年次対象生理学の毎回の講義（計 15 コマ）を PowerPoint スライド、動画、ホワイトボード板書を含めて音声付きで録画し、講義後 Google Classroom 上にアップロードする事で、復習、試験対策等に供した。
生理学（診療放射線学科）PowerPoint スライドの要約版	2020 年～2023 年	診療放射線学科 1 年次対象生理学の毎回の講義用 PowerPoint の要約版（QA、動画、確認課題を除いた物、計 15 コマ分、各回凡そ 20 頁）

		を PDF 形式で、講義後 Google Classroom 上にアップロードする事で、復習、試験対策等に供した。
生理学（診療放射線学科）PowerPoint スライド記入用ノート	2024 年～現在	診療放射線学科 1 年次対象生理学の毎回の講義用 PowerPoint の記入用ノート（要約版から QA、確認課題を除き、罫線付き 3 スライド／頁にした物、計 15 コマ分、各回凡そ 20 スライド）を PDF 形式で、講義前に Google Classroom 上にアップロードする事で、予習、講義中のメモ等に供した。
生理学 I の講義用 PowerPoint スライド	2009 年～現在	医療技術学科 1 年次対象生理学 I の講義で用いる PowerPoint スライド（計 15 コマ分、各々凡そ 50 頁）を作成し、スクリーン及びモニターへの提示資料として使用した。講義後課題の提出後に学生の理解度に応じて修正等を加えた。
生理学 I の講義前課題	2020 年～現在	医療技術学科 1 年次対象生理学 I に先立ち、講義内容の理解に必要な高校レベルまでの内容を復習しておくための○×問題（計 15 コマ分、各回に 15 問程度）。講義前のウォーミングアップとしての意味合いもある。Google Form 形式の課題で、Net で解答を回収し、より詳しく説明すべき箇所の確認等に用いた。講義後、正解と簡単な解説を Google Classroom 上に提示した。
生理学 I の確認課題	2024 年～現在	医療技術学科 1 年次対象生理学 I の講義中の所々に確認用の選択課題（計 15 コマ分、3～4 択の問題を各回 5 問程度）を提示し、講義内容を逐次再確認させるもの。Google Form を用いて逐次答を送信させ、講義内容が十分に伝わったかどうかを確認した。質問欄も設けており、代表的な物を選んで、次回講義の初頭に解説を加えた。
生理学 I の講義後課題	2020 年～現在	医療技術学科 1 年次対象生理学 I の講義終了後の復習のための○×問題（計 15 コマ分、各回に 15 問程度）。Google Form 形式の課題で、Net で解答を回収し、理解度をチェックすることで、次年度へ向けてのフィードバックとした。講義後、正解と簡単な解説を Google Classroom 上に提示した。
生理学 I の講義録画	2020 年～現在	医療技術学科 1 年次対象生理学 I の毎回の講義（計 15 コマ）を PowerPoint スライド、動画、ホワイトボード板書を含めて音声付きで録画し、講義後 Google Classroom 上にアップロードする事で、復習、試験対策等に供した。
生理学 I PowerPoint スライドの要約版	2020 年～2023 年	医療技術学科 1 年次対象生理学 I の毎回の講義用 PowerPoint の要約版（QA、動画、確認課題を除いた物、計 15 コマ分、各回凡そ 20 頁）を PDF 形式で、講義後 Google Classroom 上にアップロードする事で、復習、試験対策等に供した。

生理学Ⅰ PowerPoint スライド記入用ノート	2024 年～現在	医療技術学科 1 年次対象生理学Ⅰの毎回の講義用 PowerPoint の記入用ノート（要約版から QA、確認課題を除き、罫線付き 3 スライド／頁にした物、計 15 コマ分、各回凡そ 20 スライド）を PDF 形式で、講義前に Google Classroom 上にアップロードする事で、予習、講義中のメモ等に供した。
生理学Ⅱの講義用 PowerPoint スライド	2009 年～現在	医療技術学科 1 年次対象生理学Ⅱの講義で用いる PowerPoint スライド（計 15 コマ分、各々凡そ 50 頁）を作成し、スクリーン及びモニターへの提示資料として使用した。講義後課題の提出後に学生の理解度に応じて修正等を加えた。
生理学Ⅱの講義前課題	2020 年～現在	医療技術学科 1 年次対象生理学Ⅱに先立ち、講義内容の理解に必要な高校レベルまでの内容を復習しておくための○×問題（計 15 コマ分、各回に 15 問程度）。講義前のウォーミングアップとしての意味合いもある。Google Form 形式の課題で、Net で解答を回収し、より詳しく説明すべき箇所の確認等に用いた。講義後、正解と簡単な解説を Google Classroom 上に提示した。
生理学Ⅱの確認課題	2024 年～現在	医療技術学科 1 年次対象生理学Ⅱの講義中の所々に確認用の選択課題（計 15 コマ分、3～4 択の問題を各回 5 問程度）を提示し、講義内容を逐次再確認させるもの。Google Form を用いて逐次答を送信させ、講義内容が十分に伝わったかどうかを確認した。質問欄も設けており、代表的な物を選んで、次回講義の初頭に解説を加えた。
生理学Ⅱの講義後課題	2020 年～現在	医療技術学科 1 年次対象生理学Ⅱの講義終了後の復習のための○×問題（計 15 コマ分、各回に 15 問程度）。Google Form 形式の課題で、Net で解答を回収し、理解度をチェックすることで、次年度へ向けてのフィードバックとした。講義後、正解と簡単な解説を Google Classroom 上に提示した。
生理学Ⅱの講義録画	2020 年～現在	医療技術学科 1 年次対象生理学Ⅱの毎回の講義（計 15 コマ）を PowerPoint スライド、動画、ホワイトボード板書を含めて音声付きで録画し、講義後 Google Classroom 上にアップロードする事で、復習、試験対策等に供した。
生理学Ⅱ PowerPoint スライドの要約版	2020 年～2023 年	医療技術学科 1 年次対象生理学Ⅱの毎回の講義用 PowerPoint の要約版（QA、動画、確認課題を除いた物、計 15 コマ分、各回凡そ 20 頁）を PDF 形式で、講義後 Google Classroom 上にアップロードする事で、復習、試験対策等に供した。
生理学Ⅱ PowerPoint スライド記入用ノート	2024 年～現在	医療技術学科 1 年次対象生理学Ⅱの毎回の講義用 PowerPoint の記入用ノート（要約版から QA、確認課題を除き、罫線付き 3 スライド／

		頁にした物、計 15 コマ分、各回凡そ 20 スライド）を PDF 形式で、講義前に Google Classroom 上にアップロードする事で、予習、講義中のメモ等に供した。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
4　その他教育活動上特記すべき事項		

Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
2　特許		
3　その他職務上の実績に関する事項		

Ⅲ　研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					
精解生理学	共著	2025 年 2 月	理工図書	【編者】桑名俊一 【著者】荒田晶子、石橋仁、杉野一行、他	執筆担当：第 7 章 血液の生理（p. 189-213）
トートラ人体解剖生理学・原書 11 版	共著	2020 年 8 月	丸善	【編訳】佐伯由香・細谷安彦・高橋研一・桑木共之 【翻訳】石橋隆治、伊藤誠二、尾崎繁、杉野一行、他	執筆担当：第 9 章 神経組織（p.236-253, 630）
論文					

報告					
第 22 認知症 Forum 報告	単著	2025 年 2 月	認知症の人と家族の会、茨城県支部報	杉野一行	2 頁～3 頁
2024 年度支部総会報告・講演概要	単著	2024 年 6 月	認知症の人と家族の会、茨城県支部報	杉野一行	2 頁～3 頁
第 21 認知症 Forum 報告	単著	2024 年 1 月	認知症の人と家族の会、茨城県支部報	杉野一行	2 頁～3 頁
2023 年度支部総会報告・講演概要	単著	2023 年 6 月	認知症の人と家族の会、茨城県支部報	杉野一行	2 頁～3 頁
第 20 認知症 Forum 報告	単著	2023 年 1 月	認知症の人と家族の会、茨城県支部報	杉野一行	2 頁～3 頁
2022 年度支部総会報告・講演概要	単著	2022 年 6 月	認知症の人と家族の会、茨城県支部報	杉野一行	2 頁～3 頁
2021 年度支部総会報告・基調講演概要	単著	2021 年 6 月	認知症の人と家族の会、茨城県支部報	杉野一行	3 頁
学会発表					

Ⅳ　学会等および社会における主な活動
1　現在の所属学会
日本看護学教育学会 日本神経科学学会 認知症の人と家族の会
2　2020～2024 年度の学会での主な活動
認知症カフェ龍ヶ崎講師（2025 年）
認知症フォーラム in 茨城運営委員（2024 年）
認知症カフェ茎崎講師（2024 年）
認知症カフェひたち野うしく講師（2024 年）
認知症の人と家族の会茨城県支部総会運営委員（2024 年）
認知症フォーラム in 茨城運営委員（2023 年）
認知症の人と家族の会支部交流会講師（2023 年）
認知症の人と家族の会茨城県支部総会運営委員（2023 年）

Eisai EDCS 講演会講師（2023 年）
認知症フォーラム in 茨城運営委員（2022 年）
認知症の人と家族の会茨城県支部総会運営委員（2022 年）
認知症の人と家族の会茨城県支部総会運営委員（2021 年）
3　2020～2024 年度の社会での主な活動
NEDO 審査員(2017～)

所属　医療保健学部 学科　理学療法学科	職名　教授	氏名　鈴木　康文	学　位	博士（保健医療学）
			国家資格	理学療法士

I　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
運動学	2008 年～現在	理学療法学科 1 年生を対象に、①筋骨格系の構造・機能と関節運動との関係、②力学原理に基づく運動の記述と解釈、③日常生活動作の基本となる姿勢保持と歩行の特徴について講義を行った。科目責任者として 15 コマすべての授業を担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて解説を行った。成績は各回の事前課題、期末試験および再試験により評価した。
運動学実習	2008 年～現在	理学療法学科 2 年生を対象に、運動学で学んだ基礎的な知識をもとに、体表からの視診・触診を通して、正常な関節構成体の構造と機能を確認すること、また、実際の人間の正常な運動と動作を観察し、種々の運動・動作分析器を用いて計測、記録、分析により運動学的計測手法について理解を深める目的で授業を行った。科目責任者として 30 コマすべての授業を担当した。生体観察と計測、筋力、運動学習、動作解析、姿勢と歩行、呼吸循環とエネルギー代謝について実習を行った。各課題に対してレポートを課し、レポート評価と触診の実技試験により成績評価を行った。
スポーツ障害と理学療法	2010 年～現在	理学療法学科 4 年生を対象に、スポーツ外傷・障害の病態と発生機序を理解し、スポーツ理学療法を実践するために必要な知識と技術を習得することを目的に演習を行った。科目責任者として 15 コマ中 8 コマの授業を担当した。スポーツ外傷・障害の発生要因と特徴と発生機序について理解を深め、スポーツ理学療法プログラムを立案し、実践できるように授業を展開した。成績は期末試験により評価した。
理学療法評価学演習	2013 年～現在	理学療法学科 2 年生を対象に、理学療法の対象となる疾患・障がいのほぼすべてに共通して行われる基本的な検査・測定技術（主として形態測定、感覚検査、反射検査、関節可動域測定、徒手筋力測定が中心）について演習を行った。科目責任者として 16 コマ中 12 コマの授業を担当した。検査法の説明ののちデモンストレーションを行い、学生が検査手技を繰り返し練習できるように授業を進めた。各検査手技の実技試験により成績評価を行った。

スポーツ障害治療学演習	2015 年～現在	理学療法学科 4 年生を対象に、スポーツ外傷・障害の予防や治療に用いられる理学療法の手法を取り入れたコンディショニングの方法や. パフォーマンスの向上を目的としたコンディショニング（トレーニング）の方法を実施できることを目標に演習を行った。科目責任者として 30 コマ中 12 コマの授業を担当した。「ストレッチング」や「テーピング」、「コンディショニング」や「リコンディショニング」についてデモンストレーションを交え、授業を展開した。成績は実技における習得状況確認テストと実習課題のプレゼンテーションについて、評価表を用いて評価を行った。
基礎運動学	2020 年～現在	身体力学の基礎知識や体の各部位の骨、骨指標、関節、筋肉の名称と位置、各筋肉の作用について講義を行った。科目責任者として 15 コマすべての授業を担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドの他に、三次元的に様々な角度から具体的な筋活動を観察することができるよう、3 次元 CG 動画を用いて解説を行った。成績は期末試験により評価した。
理学療法セミナーⅡ	2022 年～現在	理学療法学科 2 年生を対象に、理学療法士としての振る舞いや態度、チームワークが行えるように、道徳性や理学療法の専門性、協調性を高める授業を行った。科目責任者として 15 コマすべての授業に関わりをもち、3 コマの講義を担当した。また、15 コマ中 3 コマについては、学年を超えた交流に取り組み、理学療法学科における学びと将来の展望について討議を行い、以降の大学生活につなげる授業を展開した。
障がい者スポーツ論	2022 年～現在	理学療法学科 2 年生を対象に、障がい者スポーツの現状とその施策、振興など基本的内容を理解し、スポーツ活動を用いて障がい者へのサポートが行える基礎的能力を培う目的で講義を行った。科目分担者として 15 コマ中 2 コマの授業を担当した。「障がい者スポーツの意義と理念」と「障がい者スポーツ指導者制度と指導者に求められる資質」について PowerPoint スライドを用いて解説を行った。
理学療法管理学	2023 年～現在	理学療法学科 4 年生を対象に、関連法規、職業倫理、病院および地域における業務管理・運営・養成校における教育と卒後教育など、リハビリテーション業界における管理・運営について理解を深めるために講義を行った。科目分担者として 8 コマ中 2 コマの授業を担当した。「医療安全とリスク管理」と「介護保険関連施設における管理・運営」について PowerPoint スライドを用いて解説を行った。
理学療法セミナーⅠ・Ⅱ・Ⅲ（縦割りゼミナールの開催）	2023 年	セミナーⅠ・Ⅱ・Ⅲの授業の中で、3 回ほど学年を跨いだ縦割りグルー

		プを作成し、学年を跨いだ交流と学びあいの機会を確保した。2023 年度の 3 回のテーマは、「学内オリエンテーリング」、「受命と報告のあり方」、「臨床実習での経験を皆で共有しよう」。
2　作成した教材（150 字程度まで）		
運動学（理学療法学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2008 年～現在	理学療法学科 1 年生対象の運動学の講義を行った際、PowerPoint スライド（計 14 点、計 792 枚）を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
運動学（理学療法学科対象）の講義用配布資料	2008 年～現在	学療法学科 2 年生対象の運動学の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント（A4、計 62 枚）を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
運動学サブノートの作成	2024 年	理学療法学科 2 年生対象の運動学の講義にて、次回授業の要点をまとめた記入式の補助教材（サブノート A4、計 15 枚）を作成し、事前課題として配布した。
運動学実習（理学療法学科対象）の「実習の手引き」（改定版）を作成	2008 年～現在	理学療法学科 2 年生対象の運動学実習において、実習課題ならびに骨格筋系の触診方法を記した手引書を作成、配布した（計 2 点、70 頁、55 頁）。実習の後には手引書を見直し、変更や修正など、更新を行った。
運動学実習（理学療法学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2008 年～現在	理学療法学科 2 年生対象の運動学実習の授業を行った臍、第 1 回ガイダンス（基礎的知識の整理）にて PowerPoint スライド（85 枚）、課題説明資料にて PowerPoint スライド（35 枚）を作成し、板書として使用した。授業の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
スポーツ障害と理学療法（理学療法学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2010 年～現在	理学療法学科 4 年生対象のスポーツ障害と理学療法の 8 回分の授業にて、PowerPoint スライド（計 5 点、計 225 枚）を作成し、板書として使用した。授業の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
理学療法評価学演習（理学療法学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2013 年～現在	理学療法学科 2 年生対象の理学療法評価学演習の授業を行った臍、第 1 回目の理学療法評価総論にて PowerPoint スライド（129 枚）を作成し、板書として使用した。授業の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
スポーツ障害治療学演習（理学療法学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2015 年～現在	理学療法学科 4 年生対象のスポーツ障害と理学療法の 12 コマ分の授業にて、PowerPoint スライド（計 4 点、計 205 枚）を作成し、板書として使用した。授業の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
基礎運動学（理学療法学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2020 年～現在	理学療法学科 1 年生対象の基礎運動学の講義を行った際、PowerPoint

		スライド（計 14 点、計 501 枚）を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
理学療法セミナーⅡ（理学療法学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2022 年～現在	理学療法学科 2 年生対象の理学療法セミナーⅡの授業を行った際､「大学での学び」､「受命と報告」､「理学療法を行う上で必要な対人関係能力、基本的態度とマナー」の担当部分の講義にて PowerPoint スライド（計 3 点、140 枚）を作成し、板書として使用した。授業の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
障がい者スポーツ論（理学療法学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2022 年～現在	理学療法学科 3 年生対象の障がい者スポーツ論の授業を行った際､「障がい者スポーツの意義と理念」､「障がい者スポーツ指導者制度と指導者に求められる資質」の担当部分の講義にて PowerPoint スライド（計 2 点、55 枚）を作成し、板書として使用した。授業の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
理学療法管理学（理学療法学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2023 年～現在	理学療法学科 4 年生対象の理学療法管理学の授業を行った際、「リスク管理」「介護保険関連施設における管理・運営」の担当部分の講義にて PowerPoint スライド（計 2 点、57 枚）を作成し、板書として使用した。授業の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
「オンライン授業の手引き」の作成	2020 年	オンライン授業実施に向け､「オンライン授業に関する通信・設備環境について」､「オンライン授業実施の連絡」､「オンライン授業における情報倫理」､「教員向けオンライン授業の準備」､「オンライン授業のルール」､「オンライン授業のサポート体制」について定めた「オンライン授業の手引き」を作成した。
PT･OT ビジュアルテキスト　「リハビリテーション管理学」	2020 年	リスク管理の一環として、ハラスメントの予防策として、ハラスメント防止のための工夫例を提示した。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
理学療法学教育に関する学会発表	2025 年 3 月	「多職種連携教育の深化に向けた実践報告」について、シンポジストとして発表を行った。 第 18 回全国大学理学療法学教育学会大会シンポジスト（茨城）
4　その他教育活動上特記すべき事項		
理学療法学科における卒業研究指導	2010 年～現在	理学療法学科 4 年生を対象に、研究領域である「スポーツ理学療法」「中高齢者の健康増進」に関する卒業研究の論文作成指導を行った。
理学療法学科における臨床実習指導（見学実習）	2008 年～現在	理学療法学科 2 年次対象の見学実習において、毎年 5 名程度の学生に対して実習指導を行った。
理学療法学科における臨床実習指導（評価実習）	2009 年～現在	理学療法学科 3 年次対象の評価実習において、毎年 5 名程度の学生に対して実習指導を行った。

理学療法学科における臨床実習指導（総合臨床実習Ⅰ・Ⅱ）	2010 年～現在	理学療法学科 4 年次対象の総合臨床実習Ⅰ・Ⅱにおいて、毎年 15 名程度の学生に対して実習指導を行った。

Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
2　特許		
3　その他職務上の実績に関する事項		
介護予防事業への参加	2008 年～現在	2008 年度より、大洗町社会福祉協議会主催介護予防教室の講師（現在も継続）を務め、理学療法の介護予防分野への貢献を学生に紹介している。
スポーツトレーナーの実践と指導 各種マラソン大会でのコンディショニングサポート	2011 年～現在	つくば国際トレーナー活動研究会（つくば国際大学課外活動団体）の学生を引率して、つくばマラソン、牛久シティーマラソン、かすみがうらマラソンにトレーナーボランティアとして参加。トレーナー活動体験と大学の地域貢献・認知度向上に寄与した。活動の様子は大学ホームページ理学療法トピックスに記載。
スポーツトレーナーの実践と指導 高校部活動でのトレーナー活動	2012 年～現在	つくば国際トレーナー活動研究会（つくば国際大学課外活動団体）の顧問教員として学生への助言と指導を行い、学生がつくば国際大学東風高等学校野球部のコンディショニングならびにトレーニングをサポート。トレーナー活動体験と大学の地域貢献・認知度向上に寄与した。活動の様子は大学ホームページ理学療法トピックスに記載。
スポーツトレーナーの実践	2019～現在	現在も行っているトレーナー活動の経験を通して、スポーツリハビリテーションの実際を指導している。（つくば国際大学東風高校野球部、ユニバーサルエンターテインメントアスリートクラブ）
地域の核となる人材・団体育成事業 「一緒に学び、一緒に楽しむ パラスポーツで広がる可能性」講師	2024 年 8-9 月	茨城県県南生涯学習センターの依頼を受け、障がい者支援、教育、福祉に関する活動や仕事を行っている方を対象に、全 3 回講座のうち 2 回を担当した。「障がいのある方へのサポート方法」、「障がい者スポーツの体験と指導上の留意点」について、講義ならびに実技を行った。
「いばらき子ども大学」講師	2021 年 10 月	東京オリンピック・パラリンピック競技大会から、障がいのある方たちができることに目を向け、障がい者スポーツとノーマライゼーションについて考える機会を提供した。
「あみ子ども大学」講師	2023 年 2 月	阿見町生涯学習課の依頼を受け、「けがの予防と応急処置」をテーマに、

		スポーツ理学療法についてわかりやすく体系的に教え、子どもの知的好奇心を満足させるとともに、子ども達一人一人の夢や可能性を広げる機会を提供した。
	2023 年 2 月	阿見町生涯学習課の依頼を受け、「障がい者スポーツとノーマライゼーション」をテーマに、東京オリンピック・パラリンピック競技大会から、障がいのある方たちができることに目を向け、障がい者スポーツとノーマライゼーションについて考える機会を提供した。
学校体育担当教員実技指導者研修会	2022 年 11 月	茨城県県南地区高等学校保健体育科教員を対象に、「スポーツ外傷・障害の応急処置」について、講義ならび実技を行った。
茨城県県南生涯学習センター講座 「今から始めるフレイル予防～人生 100 年時代，健康寿命を延ばして生涯いきいき生活！～」講師	2021 年 10-12 月	茨城県県南生涯学習センターの依頼を受け、県民を対象に、全 5 回講座のうち 3 回を担当した。「フレイルについて」、「フレイル予防のための運動とは（ストレッチ・ウォーキング）」、「フレイル予防のための運動とは（筋力増強）」について、講義ならびに実技を行った。
学術論文の査読（7 件）	2020 年～2024 年	

Ⅲ　研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					
PT･OT ビジュアルテキスト 「リハビリテーション管理学」	共著	2020 年 12 月	羊土社	【編者】齋藤昭彦、下田信明 【分担執筆】鈴木康文	総頁数：236 頁 執筆担当：第 4 章リスク管理〔ハラスメント〕（p81）
論文					
つくば国際大学理学療法学科のオンライン授業の現状と課題－オンライン授業に関する学生アンケートの結果から－	共著（筆頭）	2021 年 3 月	つくば国際大学紀要医療保健学研究第 12 号	鈴木康文、永井智、沼尾夏葵	p31-44
報告					
学会発表					
つくば国際大学における多職種	単独	2025 年 3 月	第 18 回全国大学理学療法学教	鈴木康文	シンポジウム

連携教育の紹介			育学会大会		

Ⅳ　学会等および社会における主な活動
1　現在の所属学会
日本スポーツ理学療法学会
理学療法科学学会
日本体力医学会
日本臨床スポーツ医学会
日本アスレティックトレーニング学会
2　2020～2024 年度の学会での主な活動
茨城県理学療法士会　社会・職能局　スポーツ支援事業部長（2019-24 年度）
3　2020～2024 年度の社会での主な活動
いばらき子ども大学実行委員会・茨城県教育委員会・茨城大学主催「いばらき子ども大学」講師（2021.10）
大洗町社会福祉協議会主催　介護予防教室　講師（2020-2024 年度）
一般社団法人　茨城県アスレティックトレーナー協議会　理事（2022-24 年度）

所属　医療保健学部 学科　理学療法	職名　教授	氏名　竹内恒理	学　位	修士（国際学）
			国家資格	

Ⅰ　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
情報処理ⅠA	2017 年 4 月～	診療放射線 1 年生をクラス分けして、スクリーンに課題を投射しながら、演習形式で分かり易く Word と Excel や Power Point の基礎を身に付けさせる工夫をおこなった。情報処理Ⅰではコンピューターの基本的な操作をおしえている。パソコンは不可欠なツールであるため、実践的な課題を課しながら分かり易い方法を提示している。
情報処理ⅠB	2017 年 4 月～	診療放射線 1 年生をクラス分けして、スクリーンに課題を投射しながら、演習形式で分かり易く Word と Excel や Power Point の基礎を身に付けさせる工夫をおこなった。パソコンは不可欠なツールであるため、実践的な課題を課しながら分かり易い方法を提示している
医療統計学 A	2017 年 4 月～	医療統計学はホワイト・ボードに計算式を記述しながら、難解な統計学を分かり易い方法で説明し、統計学の基礎を身に付ける工夫をおこなった。医療統計学では記述統計学を分かり易く解説している。
医療統計学 B	2017 年 4 月～	医療統計学はホワイト・ボードに計算式を記述しながら、難解な統計学を分かり易い方法で説明し、統計学の基礎を身に付ける工夫をおこなった。医療統計学では記述統計学を分かり易く解説している。
英語Ⅰ	2017 年 4 月～	英語Ⅰは大学レベルのテキストを厳選し、文法力、読解力を養うことを目標にしており英語を通じて幅広い教養を身に付ける工夫をおこなっている。英語Ⅰは基礎を重視して分かり易く説明している。
英語 II	2017 年 4 月～	英語 II は食物に関する歴史と知識に関して英文を読み解いて身に付けさせる工夫をおこなっている。テキストは大学生レベルのものを厳選し、英語に興味を抱かせる工夫を毎回おこなっている。英語 II は英語に興味を持たせる点に重点を置き、丁寧に解説をおこなっている。
国際関係論	2015 年 4 月～	日本をめぐる国際環境がどのように複雑化しているかを理解させる工夫をおこなっている。さらに独自の物の見方が養える工夫をおこなっている。アメリカに依存する日本が中国やロシアの脅威にどのように対抗しうるかなど複雑な国際情勢を新しいニュースを盛り込みながら解説している

2　作成した教材（150 字程度まで）		
国際関係論	2015 年４月～	国際関係論では『国際関係学講義』（有斐閣）を教材としている。また、手作りの教材（A3 サイズのプリント）を年間 30 枚程度作成し（取り上げた主なテーマ：国際関係論は何を研究対象にしているか、国民と国家、国際社会の成立、国家を構成する要素、世界システム論、対外政策決定論、国連と日本、日米関係、アジアにおける日本、最近の中国の情勢など）受講生が新しい国際情勢に関する情報に接することができるよう努めている。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
4　その他教育活動上特記すべき事項		
実務経験から講義の中でおこなった各種アドバイス	2015 年４月～	講義の中で受講生の海外体験や海外留学を勧めるアドバイスや海外での注意の喚起などをおこなっている。

所属　医療保健学部 学科　理学療法学科	職名　教授	氏名　林　隆司	学　位	博士（保健医療学）
			国家資格	理学療法士

Ⅰ　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
リハビリテーション概論	2020～2024 年	
リハビリテーション医学	2020～2024 年	
理学療法治療計画論	2020～2024 年	
内部障害特性と対応	2020～2024 年	
内部障害基礎理学療法学	2020～2024 年	
内部障害理学療法評価学	2020～2024 年	
内部障害理学療法治療学	2020～2024 年	
義肢装具学	2020～2024 年	
義肢装具学実習	2020～2024 年	
リハビリテーション看護学・	2020～2024 年	
チーム医療論	2020～2024 年	
生命倫理	2020～2024 年	
2　作成した教材（150 字程度まで）		
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
4　その他教育活動上特記すべき事項		

Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	

1　研究助成金		
2　特許		
3　その他職務上の実績に関する事項		
第 49 回～53 回　日本理学療法学術大会　演題査読 理学療法科学学会　学会誌　査読	2020～2024 年	

Ⅲ　研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					
論文					
主任介護支援専門員のストレスおよびレジリエンスの関係	共著	2022/3	医療保健学研究 13	小林由美子、林隆司他	41-50
光イメージ法を用いた大学生へのメンタルヘルス支援の効果	共著	2022/3	医療保健学研究 13	渡邊洋子、高尾敏文、尾崎道江、林隆司他	27-40
報告					
学会発表					
主任介護支援専門員のストレスおよびレジリエンスの関係	共著	2021/9	第 13 回地域活性学会研究大会	小林由美子、林隆司他	
光イメージ法を用いた大学生へのメンタルヘルス支援の効果	共著	2021/9	第 28 回ヘルスカウンセリング学会大会	渡邊洋子、高尾敏文、尾崎道江、林隆司他	

Ⅳ　学会等および社会における主な活動

1　現在の所属学会

日本理学療法士協会　日本義肢装具士学会　理学療法科学学会　日本障がい者スポーツ健康科学看護学会　日本 PNF 学会　動的モビライゼーション療法学会

2　2020～2024 年度の学会での主な活動
日本義肢装具士学会協会代議員（2020～2024 年） 日本 PNF 学会監事（2020～2024 年） 動的モビライゼーション療法学会　監事（2020～2024 年） 日本障がい者スポーツ健康科学看護学会　理事（2020～2024 年）
3　2020～2024 年度の社会での主な活動
茨城県臨床実習指導者講習会 講師（2020～2024 年） 茨城県度若手リハビリ専門職レベルアップ推進事業 プログラム作成委員会 委員長（2020～2024 年） 茨城県土浦市福祉有償運送協議会 会長（2020～2024 年） 茨城県土浦市バリアフリー推進協議会会長（2020～2024 年） 埼玉県主任介護支援専門員 講師（2020～2024 年） 茨城県介護老人保健施設協会 リハビリ顧問（2020～2024 年） 埼玉県所沢市保健センター機能訓練講座 講師（2020～2024 年） 埼玉県狭山市介護認定審査委員（2020～2024 年） 埼玉県介護支援専門員研修指導員（2020～2024 年） 埼玉県介護支援専門員主任更新研修講師（2020～2024 年）

所属　医療保健学部 学科　理学療法学科	職名　教授	氏名　永野　克人	学　位	博士（薬学）
			国家資格	理学療法士

Ⅰ　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
理学療法セミナーⅠ	2024 年	理学療法学科 1 年次生に将来理学療法士として活躍するために必要となる様々なスキルや知識を修得する目的で講義を行なった。科目分担者として、30 コマ中 26 コマで少数グループを担当し学生がプレゼンテーションスキル、リーダーシップ、協働的態度などに焦点を当てた活動を通じて、これらのスキルを実践的に修得し、理学療法士としての専門性を深め将来のキャリア構築に向けて強固な基盤を築くために授業スライド、プリントを用いて解説し、成績はレポートやプレゼンテーションにより評価した。
リハビリテーション医学	2024 年	理学療法学科 1 年次生にリハビリテーション医学の主な疾患の特徴や評価、治療計画およびリハビリテーション医学の主な疾患についての症候・所見・検査、治療の概略を理解することを目的に講義を行なった。科目分担者として、特に、パーキンソン病、多発性硬化症、重症筋無力症、運動ニューロン疾患、脊髄小脳変性症、筋ジストロフィ、多発筋炎・皮膚炎、腕神経叢麻痺、多発神経障害、脊髄損傷、二分脊椎の講義を担当し、授業スライドおよびプリントを用いて解説し、成績は期末試験により評価した。
生活環境論実習	2024 年	理学療法学科 2 年次生に様々な障害を抱える障害者や高齢者と生活環境との関係について、実際に模擬体験を通じ様々なバリアを体感すると同時に、福祉用具や福祉機器を用いた対応や対策、家屋環境改善のポイントについて演習授業を行なった。科目分担者として 30 コマ中 28 コマで少人数グループを担当し福祉用具や福祉機器の適応・選択・適合について理解し、障害に応じた環境調整、障がい者や高齢者をとりまく生活環境のバリア改善に向けた具体的対策と対応を立案・行使できるように、特に、背臥位および側臥位、セミファーラ位、車椅子のポジショニング、背抜き手技、除圧マット、トランスボード、ギャッチベッド操作、移乗動作のデモンストレーションや授業スライド、プリントを用いて解説し、レポートにより成績を評価した。

生理学実習	2024 年	理学療法学科 2 年次生に実験や実験報告の過程を通じ、心臓の興奮収縮連関とその自律神経調節の仕組み、血液循環の仕組み（血圧測定の原理を含む）について理解することを目的に演習授業を行なった。45 コマ中 42 コマで少人数グループを担当し総頸動脈、上腕動脈、足背動脈での脈拍測定、血圧測定のしくみと方法、聴診器の使用法、機器の構造、姿勢変化による血圧変化とその機序についての解説とデモンストレーション、実技演習を少人数体制にて指導を行い、成績はレポートにて評価した。
理学療法管理学	2024 年	理学療法学科 4 年次生に理学療法士の活動の場で指針を決める際に活かせるような知識を学び病院や施設、卒前教育（養成校）、研究室、会社（起業）などにおける管理・運営、管理学の基本となる社会科学的知識や組織に関わる関連法規の法体系について理解することを目的に講義を行なった。科目分担者として 8 コマ中 2 コマを担当し社会科学からみた管理の歴史と発展、医療・看護における管理、リハビリテーションにおける管理学、病院の管理・運営における人事、業務・情報管理について授業スライド、プリントを用いて解説し、成績は期末試験により評価した。
医療安全管理	2024 年	理学療法学科 4 年次生に理学療法における安全管理の基本および実践のためのガイドライン、一次救命処置など緊急時や急変時の対応、現場で必要となる医療機器の知識やそれに伴う感染管理について理解することを目的に講義を行なった。科目責任者として 8 コマすべての授業を担当し、感染の定義、評価、標準予防対策、病原微生物、アクシデント・インシデント、安全管理の整備、教育、医療安全の法律、危険予知訓練、根本原因分析、運動負荷訓練の実施基準、ガイドライン、転倒対策、窒息対策、離院対策などについて授業スライド、プリント、動画を用いて解説し、成績は期末試験により評価した。
神経系障害基礎理学療法学	2024 年～現在	理学療法学科 2 年次生に脳血管障害のリハビリテーションと理学療法における脳血管障害の評価の基礎、評価、治療について理解することを目的に講義を行なった。科目責任者として 8 コマ中すべての授業を担当し脳血管障害の症状、合併症、評価、伝統的な理学療法、ニューロリハビリテーション、ロボットリハビリテーション、病気別理学療法、各種ガイドラインについて授業スライド、プリント、演習問題、動画を用いて解説し、成績は期末試験により評価した。

神経系障害理学療法評価学	2024 年～現在	理学療法学科 2 年次生にパーキンソン病、脊髄小脳変性症、筋萎縮性側索硬化症、多発性硬化症、ギラン・バレー症候群、末梢神経損傷等の成人神経系疾患の症状とそれに伴う障害の各病期や重症度に応じた理学療法の介入について評価および運動療法について理解することを目的に講義を行なった。科目責任者として 8 コマ中すべての授業を担当し神経筋疾患の病態、症候、障害、検査・測定、問題点、医学的検査および理学療法評価と治療、基本動作および日常生活活動の指導法について授業スライド、授業プリント、演習問題、動画を用いて解説し、成績は期末試験により評価した。
2　作成した教材（150 字程度まで）		
理学療法セミナーⅠ（理学療法学科 1 年次生対象）の講義用 PowerPoint スライド	2024 年	理学療法学科 1 年次生対象の理学療法セミナーⅠの講義を行った際、PowerPoint スライド（題目 4 点、計 115 枚）を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
理学療法セミナーⅠ（理学療法学科 1 年次生対象）の講義用配布資料	2024 年	理学療法学科 1 年次生対象の理学療法セミナーⅠの講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(A4、計 27 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
リハビリテーション医学（理学療法学 1 年次生対象）の講義用 PowerPoint スライド	2024 年	理学療法学科 1 年次生対象のリハビリテーション医学の講義を行った際、PowerPoint スライド（題目 14 点、計 181 枚）を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
リハビリテーション医学（理学療法学 1 年次生対象）の講義用配布資料	2024 年	理学療法学科 1 年次生対象のリハビリテーション医学の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(A4、計 23 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
生活環境論実習（理学療法学 1 年次生対象）の講義用 PowerPoint スライド	2924 年	理学療法学科 1 年次生対象の生活環境論実習の講義を行った際、PowerPoint スライド（題目 3 点、計 111 枚）を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
生活環境論実習（理学療法学 1 年次生対象）の講義用配布資料	2024 年	理学療法学科 1 年次生対象の生活環境論実習の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(A4、計 24 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。

生理学実習（理学療法学 1 年次生対象）の講義用 PowerPoint スライド	2024 年	理学療法学科 1 年次生対象の生理学実習の講義を行った際、PowerPoint スライド（題目 3 点、計 149 枚）を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
生理学実習（理学療法学 1 年次生対象）の講義用配布資料	2024 年	理学療法学科 1 年次生対象の生理学実習の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(A4、計 19 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
理学療法管理学（理学療法学 4 年次生対象）の講義用 PowerPoint スライド	2024 年	理学療法学科 4 年次生対象の理学療法管理学の講義を行った際、PowerPoint スライド（題目 3 点、計 145 枚）を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
理学療法管理学（理学療法学 4 年次生対象）の講義用配布資料	2024 年	理学療法学科 4 年次生対象の理学療法管理学の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(A4、計 20 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
医療安全管理（理学療法学 4 年次生対象）の講義用 PowerPoint スライド	2024 年	理学療法学科 4 年次生対象の医療安全管理の講義を行った際、PowerPoint スライド（題目 3 点、計 145 枚）を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
医療安全管理（理学療法学 4 年次生対象）の講義用配布資料	2024 年	理学療法学科 4 年次生対象の医療安全管理の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(A4、計 20 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
神経系障害基礎理学療法学（理学療法学 2 年次生対象）の講義用 PowerPoint スライド	2024 年～現在	理学療法学科 2 年次生対象の神経系障害基礎理学療法学の講義を行った際、PowerPoint スライド（題目 15 点、計 1,136 枚）を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
神経系障害基礎理学療法学（理学療法学 2 年次生対象）の講義用配布資料	2024 年～現在	理学療法学科 2 年次生対象の神経系障害基礎理学療法学の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(スライドデータ計 1,136 枚)および演習問題（A4、計 29 枚）を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
神経系障害理学療法評価学（理学療法学 2 年次生対象）の講義用 PowerPoint スライド	2924 年～現在	理学療法学科 2 年次生対象の神経系障害理学療法評価学の講義を行った際、PowerPoint スライド（題目 4 点、計 248 枚）を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。

神経系障害理学療法評価学（理学療法学 2 年次生対象）の講義用配布資料	2024 年～現在	理学療法学科 2 年次生対象の神経系障害理学療法評価学の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(スライドデータ計 248 枚)および演習問題（A4，計 8 枚）を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
4　その他教育活動上特記すべき事項		
理学療法学科における卒業研究	2021～2023 年	理学療法学科 4 年次生対象の卒業研究において毎年 5 名程度の学生に対して指導を行った。
理学療法学科における病院実習指導	2024 年～現在	理学療法学科 4 年次生対象の総合臨床実習において毎年 10 名程度と 3 年次対象の評価実習において毎年 5 名程度の学生に対して指導を行った。

Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
2　特許		
3　その他職務上の実績に関する事項		

Ⅲ　研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					
論文					
Change in polygon shapes of atrophic and small angular fibers in disuse muscle	単著	2025 年 8 月	Muscles, Ligaments and Tendons Journal 15(1)	Nagano K	p66-70

atrophy					
Immediate and Sustained Effects of Balance Stabilization by the Prone Abdominal Drawing-in Maneuver	単著	2024年8月	Journal of Asia Rehabilitation Sciences 6(3)	Nagano K	p17-23
Differential effects of dynamic and ballistic stretching on contralateral lower limb flexibility	共著	2023年1月	Isokinetics and Exercise Science 31(7)	Inoue T, Nagano K	p57-64
Quantitative analysis of approximate shapes in a myofiber cross-section and the relationship with myofiber cross-sectional area	単著	2021年12月	Journal of Physical Therapy Science 33(12)	Nagano K	p931-934
Effects of an external foci of attention at different distances on standing long jump in non-athletes	共著（筆頭）	2020年8月	Journal of Physical Therapy Science 32(8)	Nagano K, Hata M, Nagano Y	p524-528
報告					
学会発表					
Relationship Between Approximate Shapes of Atrophic and Small Angular Fibers and Muscle Fiber Cross-sectional Areas in Disuse Muscle Atrophy	単独	2024年10月	101th American Congress of Rehabilitation Medicine Annual Conference (Atlanta, USA)	Nagano K	一般演題
Sustained effects of balance stabilization by the prone	単独	2023年10月	100th American Congress of Rehabilitation Medicine	Nagano K	一般演題

abdominal drawing-in maneuver			Annual Conference (Atlanta, USA)		
Relationship among myofiber shapes, myofiber cross sectional area, and circularity parameter	単独	2022年10月	99th American Congress of Rehabilitation Medicine Annual Conference (Chicago, USA)	Nagano K	一般演題
筋線維横断面における輪郭形状と円形度パラメータによる形態解析	単独	2021年12月	第19回日本神経理学療法学学会（web開催）	永野克人	一般演題
筋線維横断面における近似形状の定量解析と筋線維横断面積との関係	単独	2021年11月	第8回日本予防理学療法学会学術大会（web開催）	永野克人	一般演題
腹横筋トレーニングによる重心動揺安定化の持続効果	共同	2021年9月	第9回日本運動器理学療法学会学術大会（滋賀）	木村仁一郎、伊藤裕哉、井上大聖、永野克人	一般演題
低負荷運動によるウォームアップ効果	共同	2021年9月	第9回日本運動器理学療法学会学術大会（滋賀）	伊藤裕哉、井上大聖、木村仁一郎、永野克人	一般演題
異なるストレッチング様式によるクロスオーバー効果	共同	2021年9月	第9回日本運動器理学療法学会学術大会（滋賀）	井上大聖、伊藤裕哉、木村仁一朗、永野克人	一般演題
Effective Distance of the External Focus in Motor Performance	共同（筆頭）	2020年10月	97th American Congress of Rehabilitation Medicine Annual Conference (Atlanta, USA)	Nagano K, Hata M, Nagano Y	一般演題
External focusの注目度による運動パフォーマンスの向上	共同（筆頭）	2020年9月	第7回予防理学療法学会学術大会（群馬）	永野克人、畑美香、永野由美	一般演題

Ⅳ　学会等および社会における主な活動
1　現在の所属学会
日本理学療法士協会 理学療法科学学会
2　2020～2024 年度の学会での主な活動
第 32 回埼玉県理学療法学会準備委員長（2021 年 4 月～2023 年 3 月まで） 第 31 回埼玉県理学療法学会準備副委員長（20214 月～2023 年 3 月まで） 埼玉県理学療法士学会評議会委員（2021 年 4 月～2023 年 3 月まで）
3　2020～2024 年度の社会での主な活動

所属　医療保健学部 学科　理学療法学科	職名　教授	氏名　深谷　隆史	学　位	博士（保健医療科学）
			国家資格	理学療法士

I　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
物理療法学	2013 年～現在	理学療法学科 3 年次生を対象に物理療法機器について理解を深める目的で講義を行った。科目責任者として 8 コマすべての授業を担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、物理療法機器各種の生理的作用、適応、禁忌などについて解説した。成績は小テスト、期末試験により評価した。
物理療法学実習	2013 年～現在	理学療法学科 3 年次生を対象に物理療法機器について理解を深める目的で講義及び実習を行った。科目責任者として AB クラスそれぞれで 15 の授業を担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、物理療法機器各種の生理的作用、適応、禁忌などについて解説した。実習ではグループワークによる物理療法機器の取り扱いについての実践と効果判定を行い、グループによる課題レポートにより成績を評価した。
運動器障害理学療法評価学	2012 年～現在	理学療法学科 3 年次生（旧カリキュラム）及び 2 年次生（新カリキュラム）を対象に運動器障害における上肢の理学療法評価について理解を深める目的で講義を行った。科目分担者として 2 コマの授業を担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、上肢の運動器障害に関する疾患、病態、評価法について解説した。成績は期末試験により評価した。
運動器障害理学療法治療学	2012 年～現在	理学療法学科 3 年次生を対象に運動器障害における上肢及び関節リウマチの理学療法に関する評価及び治療について理解を深める目的で講義・実技を行った。科目分担者として 8 コマの授業を担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、上肢の運動器障害及び関節リウマチに関する疾患、病態、評価法について解説した。成績は期末試験により評価した。
臨床運動学	2019 年～現在	理学療法学科 3 年次生（旧カリキュラム）及び 2 年次生（新カリキュラム）を対象に動作の観察・分析について理解を深める目的で講義を行った。科目責任者として 8 コマすべての授業を担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライ

		ドを用いるとともに、動画を用いて実際の動作障害に対して解説・実技を行った。成績はレポート課題により評価した。
運動学実習	2012～2023 年	理学療法学科 2 年次生を対象に歩行に関する測定方法、触診、可動域測定、徒手筋力測定について理解を深める目的で実習を行った。科目分担者として 39 コマの授業を担当した。歩行に関する実習では作成した資料に沿って、10m歩行の速度、歩行率等の変数を算出し、方法、結果、考察までの記載をレポート課題とした。また、触診、可動域測定、徒手筋力測定については講義資料に沿って実技を行った。成績はレポート課題により評価した。
スポーツ障害と理学療法	2015 年～現在	理学療法学科 4 年次生を対象にコンタクトスポーツによる障害について理解を深める目的で講義を行った。科目分担者として 1 コマの授業を担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、コンタクトスポーツで見受けられる疾患、病態、評価法、治療法について解説した。
リハビリテーション医学	2016～2022 年	理学療法学科 1 年次生を対象に関節・脊椎疾患及び外傷について理解を深める目的で講義を行った。科目分担者として 2 コマの授業を担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、関節・脊椎疾患及び外傷について解説した。
運動器障害基礎理学療法学Ⅱ	2014～2021 年	理学療法学科 2 年次生を対象に物理療法の基礎について理解を深める目的で講義を行った。科目分担者として 1 コマの授業を担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、物理療法の基礎について解説した。
基礎運動学	2020～2022 年	理学療法学科 1 年次生を対象に運動学における力学について理解を深める目的で講義を行った。科目分担者として 2 コマの授業を担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、運動学における力学について解説した。
クリニカルリーズニング	2015～2022 年	理学療法学科 3 年次生を対象にについてグループワークによるアクティブラーニングを中心に運動器障害及び中枢神経疾患について理解を深める目的で演習を行った。科目分担者として 7 コマの授業を担当した。演習ではプリントを配布し、プリントに沿ってグループワークを行い、問題点の抽出、解決策について議論した。成績はレポート課題及びグループ発表により評価した。
2　作成した教材（150 字程度まで）		

物理療法学の講義用 PowerPoint スライド	2013 年～現在	理学療法学科 3 年次生を対象の物理療法学の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 8 点、計 194 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
物理療法学実習の講義用 PowerPoint スライドと実習課題、症例検討の作成	2013 年～現在	理学療法学科 3 年次生を対象の物理療法学の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 2 点、計 70 枚)と実習課題（計 5 点、計 10 枚）、症例検討（計 5 点、計 10 枚）を作成した。講義・実習の後にはスライドおよび資料を見直し、変更や修正など、更新を行った。
運動器障害理学療法評価学の講義用 PowerPoint スライド	2012 年～現在	理学療法学科 3 年次生（旧カリキュラム）及び 2 年次生（新カリキュラム）を対象の運動器障害理学療法評価学の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 1 点、計 51 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
運動器障害理学療法治療学の講義用 PowerPoint スライド	2012 年～現在	理学療法学科 3 年次生を対象の運動器障害理学療法治療学の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 4 点、計 244 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
臨床運動学の講義用 PowerPoint スライド	2019 年～現在	理学療法学科 3 年次生（旧カリキュラム）及び 2 年次生（新カリキュラム）を対象の臨床運動学の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 8 点、計 74 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
運動学実習	2012～2023 年	理学療法学科 2 年次生を対象の運動学実習を行った際、レポート課題を作成し、提出用として使用した。
スポーツ障害と理学療法	2015 年～現在	理学療法学科 4 年次生を対象のコンタクトスポーツに関する講義を行った際、PowerPoint スライド(計 1 点、計 26 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
リハビリテーション医学	2016～2022 年	理学療法学科 1 年次生を対象のリハビリテーション医学の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 2 点、計 50 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
運動器障害基礎理学療法学Ⅱ	2014～2021 年	理学療法学科 2 年次生を対象の運動器障害基礎理学療法学Ⅱの講義を行った際、PowerPoint スライド(計 1 点、計 21 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
基礎運動学	2020～2022 年	理学療法学科 1 年次生を対象の基礎運動学の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 2 点、計 53 枚)を作成し、板書として使用し

		た。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
4　その他教育活動上特記すべき事項		
理学療法学科における病院実習指導	2011 年～現在	理学療法学科 3 年次及び 4 年次対象の臨床実習において毎年 2～8 名名程度の学生に対して指導を行った。

Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
科学研究費助成・基盤研究(C)	2020～2023 年	「重度変形性膝関節症における lateral thrust 発生メカニズムの解明」助成総額：4,290,000 円　【代表】深谷隆史
科学研究費助成・基盤研究(C)	2024～2027 年	「重度変形性膝関節症の関節変形を反映した筋骨格モデル開発と有限要素法による動作解析」助成総額：4,550,000 円　【代表】深谷隆史
2　特許		
3　その他職務上の実績に関する事項		
茨城県立医療大学　学外共同研究員	2013～現在	

Ⅲ　研究活動					
著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					
論文					
Influence of Palmar Tilt on Wrist Palmar Flexion Range-of-Motion Limitation after Conservative Treatment of Distal Radial Fractures	共著	2024 年	Annals of Medicine	Takahashi M, Miyauchi Y, Mutsuzaki H, Iwamoto K, Fukaya T, Igawa T, Kazuhide T	総頁数：8 頁
Relationship Between the	共著	2024 年 10 月	Cureus	Miyasaka H, Ebihara B,	総頁数：9 頁

Amount of Change in Echo Intensity and Young's Modulus of the Soleus Muscle After Ankle Fracture Surgery				Fukaya T, Kubota S, Mutsuzaki H	
Evaluation of the Relationship Between Echo Intensity and Young's Modulus of the Soleus Muscle Using Ultrasound Images After Ankle Fracture Surgery	共著	2024 年 9 月	Cureus	Miyasaka H, Ebihara B, Fukaya T, Mutsuzaki H	総頁数：9 頁
Quantitative evaluation of the effects of several weeks of static stretching on the flexibility of the rectus femoris using shear wave elastography: A Before–After Study	共著	2024 年 8 月	Journal of ultrasonography	Ebihara B, Miyasaka H, Fukaya T, Mutsuzaki H	総頁数：6 頁
Acute and Long-Term Effects of Stretching with Whole-Body Vibration on Young's Modulus of the Soleus Muscle Measured Using Shear Wave Elastography	共著	2024 年 6 月	Sports	Miyasaka H, Ebihara B, Fukaya T, Mutsuzaki H	総頁数：10 頁
Absolute Reliability of Young's Modulus of the Soleus Muscle and Achilles Tendon Measured Using Shear Wave Elastography in Healthy Young Males	共著	2024 年 4 月	Asia-Pacific Journal of Sports Medicine, Arthroscopy, Rehabilitation and Technology	Miyasaka H, Ebihara B, Fukaya T, Mutsuzaki H	総頁数：7 頁
Relationship between the Young's modulus of the Achilles tendon and ankle dorsiflexion angle at maximum squat depth in healthy young males	共著	2023 年 6 月	Medicina	Miyasaka H, Ebihara B, Fukaya T, Mutsuzaki H	総頁数：9 頁
TKA 術後の歩行立脚初期における関節モーメント、関節角速度、関節モーメントパワーへの	共著（筆頭）	2023 年	日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会(JOSKAS)	深谷隆史, 六崎裕高	p594-598

影響					
Sway and acceleration changes of center of mass during walking stance phase before and after total knee arthroplasty	共著（筆頭）	2022 年 12 月	Geriatrics	Fukaya T, Mutsuzaki H, Mori K	総頁数：8 頁
Computed Tomography Finite Element Analysis Model Creation and Stress Distribution of Pig Knee Joints	共著	2021 年	The Journal of Japan Academy of Health Sciences	Watanabe K, Mutsuzaki H, Fukaya T, Aoyama T, Iwamoto K, Nakajima S, Sekine N, Mori K	p181-190
Influence of the amount of change in quadriceps tendon Young's modulus on amount of change in walking speed before and after total knee arthroplasty	共著	2021 年 12 月	Medicina	Ebihara B, Mutsuzaki H, Fukaya T, Iwai K	総頁数：10 頁
Effect of training with the hybrid assistive limb on gait cycle kinematics after total knee arthroplasty	共著（筆頭）	2021 年 7 月	Geriatric Orthopaedic Surgery & Rehabilitation	Fukaya T, Mutsuzaki H, Yoshikawa K, Koseki K, Iwai K	総頁数：7 頁
Interpretation of causal relationship between quadriceps tendon Young's modulus and gait speed by structural equation modelling in patients with severe knee osteoarthritis	共著	2021 年 7 月	Journal of Orthopaedic Surgery	Ebihara B, Mutsuzaki H, Fukaya T, Iwai K	総頁数：7 頁
A questionnaire survey of difficulties in clinical practice perceived by physical therapy students	共著	2020 年 9 月	Journal of Physical Therapy Science	Shinozaki M, Fukaya T, Asakawa Y, Ohashi Y	p856-863
Relationship between Quadriceps Tendon Young's Modulus and Maximum Knee Flexion Angle in the Swing Phase of Gait in Patients with	共著	2020 年 8 月	Medicina	Ebihara B, Fukaya T, Mutsuzaki H	総頁数：9 頁

Severe Knee Osteoarthritis					
報告					
人工膝関節全置換術後患者の歩行に対する遠心性収縮トレーニングの必要性	共著（筆頭）	2025 年 2 月	理学療法ジャーナル	深谷隆史, 六崎裕高	p17-176
Simulating Knee-Stress Distribution Using a Computed Tomography-Based Finite Element Model: A Case Study	共著	2023 年 1 月	Journal of Functional Morphology and Kinesiology	Watanabe K, Mutsuzaki H, Fukaya T, Aoyama T, Nakajima S, Sekine N, Mori K	総頁数：12 頁
A Simulation Case Study of Knee Joint Compressive Stress during the Stance Phase in Severe Knee Osteoarthritis Using Finite Element Method	共著（筆頭）	2021 年 5 月	Medicina	Fukaya T, Mutsuzaki H, Aoyama T, Watanabe K, Mori K	総頁数：8 頁
Gait training using a hip-wearable robotic exoskeleton after total knee arthroplasty: A case report	共著	2020 年 9 月	Geriatric Orthopaedic Surgery & Rehabilitation	Koseki K, Mutsuzaki H, Yoshikawa K,Endo Y, Kanazawa A, Nakazawa R,Fukaya T, Aoyama T, Kohno Y	総頁数：6 頁
Influence of a foot insole for a Down syndrome patient with a flat foot: A case study	共著	2020 年 5 月	Medicina	Y Endo Y, Kanai Y, Yozu A, Kobayashi Y, Fukaya T, Mutsuzaki H	総頁数：5 頁
学会発表					
橈骨遠位端骨折の保存療法における橈骨アライメント変化が手関節可動域制限に及ぼす影響 —X 線画像による橈骨形態の定量的評価を用いて—	共同	2025 年 1 月	第 32 回埼玉県理学療法学会	髙橋真、宮内幸男、六﨑裕高、岩本浩二、深谷隆史、井河武、冨田和秀	一般演題
TKA による下肢アライメントの変化が歩行立脚期の運動学的・運動力学的変数に与える影響	共同（筆頭）	2023 年 12 月	第 1 回日本膝関節学会	深谷隆史、六崎裕高	一般演題
歩行時の膝関節 CT-有限要素法	共同	2022 年 10 月	第 50 回　日本放射線技術学会	渡邉城大、森浩一、六崎	一般演題

における 下腿骨長さの相違と応力分布の関係			秋季学術大会	裕高、深谷隆史、青山敏之、中島修一、関根紀夫	
変形性膝関節症患者に対する TKA の施行が歩行立脚初期の関節モーメント、関節角速度、関節モーメントパワーに与える影響	共同（筆頭）	2022 年 6 月	第 14 回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会(JOSKAS)	深谷隆史、六崎裕高	一般演題
膝内反角度の違いが膝伸展発揮モーメントと筋発揮張力の推定に与える影響	共同（筆頭）	2021 年 11 月	第 48 回日本臨床バイオメカニクス学会	深谷隆史、六崎裕高、森浩一、渡邉城大	一般演題
重度変形性膝関節症患者に対する TKA の施行が歩行立脚期の膝関節力に与える影響	共同（筆頭）	2021 年 6 月	第 13 回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会(JOSKAS)	深谷隆史、六崎裕高	一般演題
前十字・内側側副靭帯の有無における脛骨軟骨および脛骨への影響-正常人膝関節 CT-FEM によるシミュレーション-	共同	2020 年 10 月	第 30 回日本保健科学学会学術集会	渡邉城大、森浩一、六崎裕高、深谷隆史、関根紀夫	一般演題
高校ラグビー部における 急性・慢性外傷の発生件数報告	共同	2020 年 11 月	第 31 回日本臨床スポーツ医学会学術集会	嘉手納大地、深谷隆史、髙澤俊治	一般演題
重症度の異なる変形性膝関節症患者の歩行立脚初期における Joint Stiffness	共同（筆頭）	2020 年 11 月	第 31 回日本臨床スポーツ医学会学術集会	深谷隆史、六崎裕高	一般演題
TKA 施行後の前額面における運動学的および力学的変数に着目した歩行解析	共同（筆頭）	2020 年 12 月	第 12 回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会(JOSKAS)	深谷隆史、六崎裕高	一般演題

Ⅳ　学会等および社会における主な活動
1　現在の所属学会
日本理学療法士協会 日本臨床バイオメカニクス学会 日本福祉工学会 日本臨床スポーツ医学会 日本運動器理学療法学会

日本スポーツ理学療法学会 日本膝関節学会
2　2020～2024 年度の学会での主な活動
日本福祉工学会・理事（2023 年～現在）
3　2020～2024 年度の社会での主な活動

所属　医療保健学部 学科　理学療法	職名　教授	氏名　福山　勝彦	学　位	博士（保健医療学）
			国家資格	理学療法士

Ⅰ　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
運動器障害理学療法治療学	2013 年～現在	理学療法学科 3 年次生を対象に、運動器障害（整形外科疾患）における理学療法（治療）についての講義、および実技を実施した。30 コマ中 14 コマを担当した。講義ではプリントを配布、また Classroom にアップし、プリントに沿って作成した PowerPoint スライドを用い、股関節疾患、足部疾患、胸郭出口症候群についての疾患の特徴、整形外科的治療、理学療法の進め方とリスク管理について解説、また各疾患に対する理学療法の実技を行った。成績は期末試験と再試験およびレポート（10%）により評価した。
運動器障害理学療法評価学	2013 年～現在	理学療法学科 2 年次生を対象に、運動器障害（整形外科疾患）における理学療法（評価）についての講義、および実技を実施した。8 コマ中 3 コマを担当した。講義ではプリントを配布、また Classroom にアップし、プリントに沿って作成した PowerPoint スライドを用い、股関節疾患、足部疾患、慢性関節リウマチ、悪性腫瘍についての疾患の特徴、レントゲン所見の見方、理学療法における検査、評価とリスク管理について解説、また各疾患に対する理学療法評価の実技を行った。成績は期末試験と再試験により評価した。
運動器障害基礎理学療法学Ⅱ	2013 年～現在	理学療法学科 2 年次生を対象に、運動器障害（整形外科疾患）に必要な基礎知識についての講義を行った。8 コマ中 5 コマを担当した。講義ではプリントを配布、また Classroom にアップし、プリントに沿って作成した PowerPoint スライドを用い、整形外科疾患の診かた、情報収集、義肢・装具・自助具・車いす・杖、代表疾患の特徴などについて解説した。成績は期末試験と再試験およびレポート（10%）により評価した。
高齢者障害理学療法治療学	2013 年～現在	理学療法学科 3 年次生を対象に、高齢者障害領域の整形外科疾患分野特に大腿骨警部骨折を対象に、情報収集、評価項目の列挙、評価、予後予測と目標設定、治療プログラムの立案の過程を解説、またグループワークを実施した。検査・測定に関しては 2 人 1 組にて実技練習を行った。成績は最終提出された課題を評価した。

義肢装具学	2013 年～現在	理学療法学科 3 年次生を対象に、義肢装具分野における「切断と義肢」について講義を行った。8 コマ中 4 コマを担当した。講義ではプリントを配布、また Classroom にアップし、プリントに沿って作成した PowerPoint スライドを用い、また備品である義足を見せながら、切断者の術後管理、各義足の種類と特徴、義足の調整などを解説、歩行分析と対処方法に関する実践を行った。成績は期末試験および再試験にて評価した。
義肢装具学実習	2013 年～現在	理学療法学科 3 年次生を対象に、大隊切断、下腿切断者の以上歩行についての講義を行った。30 コマ中 6 コマを担当した。講義ではプリントを配布、また Classroom にアップし、プリントに沿って作成した PowerPoint スライドを用いて解説、動画を用いて実際の切断者の歩行分析と対処法を説明した。また備品である体験用義足を用い、実際に使用されているパーツ体験を行った。さらに切断後の管理に関し、弾性包帯の巻き方練習を行った。成績は提出された課題および小テストにて評価した。
運動学実習	2013 年～現在	理学療法学科 2 年次生を対象に、運動学実習の課題の一つである、バランス制御（重心同動揺）を担当した。重心動揺計を用い、静的バランスとして開眼と閉眼、開脚と閉脚の比較、および静的バランスと動的バランスの関係について学生を被検者に計測し分析を行った。えられたデータから何が言えるのか、どうしてそうなったかについて考察するための解説を行った。成績は提出されたレポート、不十分なものに対しては再提出されたレポートで評価した。
学内臨床実習	2020 年	COVID19 により現場での 4 年次総合臨床実習が中止になったことを受け、学内実習 7 週間分のプログラムを作成し実施した。3 年次の症例報告書の再発表、症例解説、整形外科疾患・中枢神経疾患各症例の統合と解説、OSCE を利用した演習、動画による理学療法テクニックの解説、感染予防対策などを実施した。成績評価は書く内容の評価項目をもとに合計した。
2　作成した教材（150 字程度まで）		
運動器障害理学療法治療学（理学療法学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2013 年～現在	理学療法学科 3 年次対象の運動器障害理学療法治療学の講義を行った際、PowerPoint スライド（4 点、157 枚）を作成し使用した。年度が変わる際に内容を検討し、変更、修正を行った。
運動器障害理学療法治療学（理学療法学科対象）の講義用配布資料	2013 年～現在	理学療法学科 3 年次対象の運動器障害理学療法治療学の講義の中の脊髄損傷分野に関し、損傷部位と予後に関する資料を作成（A3、6 枚）を作成し配布した。年度が変わる際に内容を検討し、変更、修正を行

		った。
運動器障害理学療法評価学（理学療法学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2013 年～現在	理学療法学科 2 年次対象の運動器障害理学療法評価学の講義を行った際、PowerPoint スライド（4 点、66 枚）を作成し使用した。年度が変わる際に内容を検討し、変更、修正を行った。
運動器障害基礎理学療法学Ⅱ（理学療法学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2013 年～現在	理学療法学科 2 年次対象の運動器障害基礎理学療法学Ⅱの講義を行った際、PowerPoint スライド（5 点、71 枚）を作成し使用した。年度が変わる際に内容を検討し、変更、修正を行った。
高齢者障害理学療法治療学（理学療法学科対象）の演習用シナリオと課題シート	2013 年～現在	理学療法学科 3 年次対象の高齢者障害理学療法治療学の講義を行った際、基礎情報（A4、1 枚）、情報収集内容（A4、2 枚、評価結果（A4、3 枚）のシナリオを作成した。またこの結果から分析を行うための課題シート（A4、5 枚）を作成した。
義肢装具学（理学療法学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2013 年～現在	理学療法学科 3 年次対象の義肢装具学の講義を行った際、PowerPoint スライド（5 点、150 枚）を作成し使用した。年度が変わる際に内容を検討し、変更、修正を行った。
義肢装具学実習（理学療法学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2013 年～現在	理学療法学科 3 年次対象の義肢装具学実習の講義を行った際、PowerPoint スライド（1 点、24 枚）を作成し使用した。年度が変わる際に内容を検討し、変更、修正を行った。
運動学実習（理学療法学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2013 年～現在	理学療法学科 2 年次対象の運動学実習の講義を行った際、PowerPoint スライド（1 点、54 枚）を作成し使用した。年度が変わる際に内容を検討し、変更、修正を行った。
運動学実習（理学療法学科対象）課題提出シート	2013 年～現在	理学療法学科 2 年次対象の運動学実習の講義を行った際、実験で得られたデータを分析、結果の考察を行うためのシート（A4、4 枚）を作成した。
臨床実習（理学療法学科対象）症例報告書サンプル	2019 年～現在	理学療法学科 3 年次 4 年次の総合臨床実習、評価実習の課題である症例報告書のサンプルを疾患（分野別）に 8 分野（計 11 症例分）を作成した。
総合臨床実習（理学療法学科対象）模擬患者課題	2020 年～2022 年	理学療法学科 3 年次 4 年次の総合臨床実習、評価実習において、COVID19 により臨床実習が中止または途中終了となった学生に対し、模擬患者の作成それをもとにした理学療法の流れを体験する課題シートを作成した。
総合臨床実習（理学療法学科対象）医療面接	2020 年～2022 年	理学療法学科 3 年次 4 年次の総合臨床実習、評価実習において、COVID19 により臨床実習が中止または途中終了となった学生に対し、医療面接を行うための症例課題を作成した（8 症例分）。。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		

4　その他教育活動上特記すべき事項		
理学療法学科における病院見学実習指導	2011 年～2024 年	理学療法学科 2 年次対象の見学実習において毎年 4～6 名名程度の学生に対して指導を行った。
理学療法学科における評価実習指導	2011 年～2024 年	理学療法学科 3 年次対象の評価実習において毎年 4～6 名名程度の学生に対して指導を行った。
理学療法学科における総合臨床実習指導	2011 年～2024 年	理学療法学科 4 年次対象の総合臨床実習において毎年 15～20 名名程度の学生に対して指導を行った。
学科内 FD 研修会講演	2023 年	学科内 FD 研修として、「試験問題の作成と成績評価」という内容の講演を実施した。

Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
2　特許		
3　その他職務上の実績に関する事項		
学術誌論文の査読 2 本	2020 年～2021 年	

Ⅲ　研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					
論文					
報告					
学会発表					

Ⅳ　学会等および社会における主な活動
1　現在の所属学会
日本理学療法士協会 理学療法科学学会 義肢装具学会
2　2020～2024 年度の学会での主な活動
3　2020～2024 年度の社会での主な活動

所属　医療保健学部 学科　理学療法	職名　准教授	氏名　髙尾 敏文	学　位	博士（ヒューマン・ケア科学）
			国家資格	理学療法士

I　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
クリニカルリーズニング	2023～現在	理学療法学科 3 年生を対象に，臨床推論の過程を経験するための演習授業を行った．科目分担者として 8 コマ中 7 コマの授業を担当した．授業では，代表的な整形外科疾患および中枢神経疾患をとりあげ，架空の症例についての臨床推論を展開する演習を行った．成績判定にあたっては，授業中に課した課題により一部の得点分を担った．
日常生活活動学	2022～現在	理学療法学科 2 年次生を対象に，日常生活活動に関わる様々な内容についての理解を深める目的で講義を行った．科目責任者として 15 コマすべての授業を担当した．講義では，PowerPoint を用いて日常生活の枠組み，各種評価，疾患別日常生活動作の特徴等についての解説を行った．学生には授業の内容をまとめたレジュメを配布した．レジュメには授業内容の理解度を学生自身で確認できるように，数問の確認問題を載せた．成績は期末試験および再試験により評価した．
義肢装具学実習	2020～現在	理学療法学科 3 年次生を対象に，義肢装具についての理解を深める目的で，演習授業を行った．科目分担者として 32 コマ中 8 コマの授業を担当した．授業ではシーティングおよび下肢装具についての内容を担当し， PowerPoint を用いた授業内容の説明と解説を行った．学生には授業の内容をまとめたレジュメを配布し，演習に充てる時間を多くした．成績判定にあたっては，授業中に課した課題により一部の得点分を担った．
日常生活活動学実習	2018～現在	理学療法学科 3 年生を対象に，日常生活活動に関わる様々な内容について理解を深める目的で演習授業を行った．科目責任査として 30 コマ中 26 コマの授業を担当した．授業では日常生活の定量・定性評価，自助具，脳卒中患者の日常生活動作の特徴等の内容を担当し，PowerPoint を用いた授業内容の説明と解説を行った．学生には授業の内容をまとめたレジュメを配布し，演習に充てる時間を多くした． 成績は，授業中に実施した小テストおよび実技テストにより評価した（問題の一部を作成し，最終的な判定を行った）．

スポーツ障害と理学療法	2015～現在	理学療法学科 4 年生を対象に，バレーボールの競技特性と発生しやすい障害への理解を深める目的で，演習を中心とした授業を行った．科目分担者として 15 コマ中 1 コマの授業を担当した．2023 年からは，実際にバレーボールの各種動作を行い（体育館でパスやスパイク動作の練習を行い），四肢や腰部への負担を実感しながら理解を深めた．学生には授業の内容をまとめたレジュメを事前に配布し，予習をしたうえで授業に臨ませた．また，バレーボールの障害発生場面の映像を期間限定で公開し，障害理解の一助とした．成績は期末試験により評価した（記述問題の一部を採点した）.
内部障害基礎理学療法学	2014～現在	理学療法学科 2 年次生を対象に，内部障害の理学療法に関する基礎の理解を深める目的で講義を行った．科目責任者として 15 コマすべての授業を担当した．講義では，PowerPoint を用いて呼吸・循環・代謝の各障害を中心に，障害と理学療法の基礎的な考え方についての解説を行った．学生には授業の内容をまとめたレジュメを配布した．レジュメには授業内容の理解度を学生自身で確認できるように，数問の確認問題を載せた．2024 年度の成績は，授業中に実施した小テスト，期末試験および再試験により評価した.
内部障害理学療法評価学	2014～現在	理学療法学科 2 年次生を対象に，内部障害の理学療法に関する基礎の理解を深める目的で講義を行った．科目責任者として 15 コマすべての授業を担当した．講義では，PowerPoint を用いて呼吸・循環・代謝の各障害およびそれに対する理学療法の基礎的な考え方についての解説を行った．学生には授業の内容をまとめたレジュメを配布した．レジュメには授業内容の理解度を学生自身で確認できるように，数問の確認問題を載せた．2024 年度の成績は，授業中に実施した小テスト，期末試験および再試験により評価した.
内部障害の特性と対応	2014～現在	理学療法学科 1 年次生を対象に，主に循環器疾患についての理解を深める目的で講義を行った．科目分担者として 15 コマ中 2 コマの授業を担当した．講義では，PowerPoint を用いて心筋梗塞や末梢循環障害等についての解説を行った．学生には授業の内容をまとめたレジュメを配布した．レジュメには授業内容の理解度を学生自身で確認できるように，数問の確認問題を載せた．成績は期末試験および再試験により評価した（問題の一部を作成した）.
内部障害理学療法治療学	2013～現在	理学療法学科 2 年次生を対象に，内部障害の理学療法介入に関する理解を深める目的で，演習授業を行った．科目分担者として 60 コマ中 20 コマの授業を担当した．演習では，PowerPoint を用いた授

		業内容の説明と解説を行った．学生には授業の内容をまとめたレジュメを配布し，演習に充てる時間を多くした． 2024 年度は呼吸リハビリテーション，運動耐容能の評価，運動療法実際等の内容を担当した．成績判定にあたっては，授業中に課した課題により一部の得点分を担った．
神経系障害理学療法治療学	2011～現在	理学療法学科 3 年次生を対象に，脳卒中片麻痺者への理学療法についての理解を深める目的で，演習授業を行った．科目分担者として 60 コマ中 8 コマの授業を担当した．授業では脳卒中片麻痺者への定量的評価，肩関節亜脱臼への対応，足関節背屈補助を目的とした対応等の内容を担当し， PowerPoint を用いた授業内容の説明と解説を行った．学生には授業の内容をまとめたレジュメを配布し，演習に充てる時間を多くした．成績は，期末試験（筆記，実技），再試験（実技），により評価した（問題の一部を作成した）．
予防医学	2023～2024	理学療法学科 4 年生を対象に，疾病の再発予防および腰痛予防への理解を深める目的で講義を行った．科目分担者として 8 コマ中 2 コマの授業を担当した．講義では，PowerPoint を用いて各種疾患の再発予防への考え方，労働災害としての腰痛予防方等についての解説を行った．学生には授業の内容をまとめたレジュメを配布した．レジュメには授業内容の理解度を学生自身で確認できるように，数問の確認問題を載せた．成績判定にあたっては，授業中に課した課題により一部の得点分を担った．
リハビリテーション医学	2022～2024	理学療法学科 2 年生を対象に，高齢者のリハビリテーションおよび内部障害患者へのリハビリテーションへの理解を深める目的で講義を行った．科目分担者として 15 コマ中 2 コマの授業を担当した．講義では，PowerPoint を用いて加齢に伴う身体状況の変化やそれに伴う障害とリハビリテーション，代表的な内部障害とそれに応じたリハビリテーション等についての解説を行った．学生には授業の内容をまとめたレジュメを配布した．レジュメには授業内容の理解度を学生自身で確認できるように，数問の確認問題を載せた．成績は期末試験および再試験により評価した（問題の一部を作成した）．
リハビリテーション概論	2020～2024	理学療法学科 1 年生を対象に，地域包括ケアシステムおよび自立支援医療への理解を深める目的で講義を行った．科目分担者として 15 コマ中 2 コマの授業を担当した．講義では，PowerPoint を用いて地域包括ケアシステムの概要，自立支援医療の枠組み等についての解説を行った．学生には授業の内容をまとめたレジュメを配布した．レ

		ジュメには授業内容の理解度を学生自身で確認できるように，数問の確認問題を載せた．成績は期末試験および再試験により評価した（問題の一部を作成した）.
神経系障害の特性と対応	2013～2024	理学療法学科 2 年生を対象に，脊髄疾患および末梢神経障害への理解を深める目的で講義を行った．科目分担者として 15 コマ中 2 コマの授業を担当した．講義では，PowerPoint を用いて脊髄損傷，ギランバレー症候群等についての解説を行った．学生には授業の内容をまとめたレジュメを配布した．レジュメには授業内容の理解度を学生自身で確認できるように，数問の確認問題を載せた．成績は期末試験および再試験により評価した（問題の一部を作成した）.
2　作成した教材（150 字程度まで）		
「日常生活活動学」（理学療法学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2022～現在	理学療法学科 2 年次生対象の「日常生活活動学」の講義を行った際，PowerPoint スライド（計 373 枚）を作成し、板書として使用した.
「日常生活活動学」（理学療法学科対象）の講義用配布資料	2022～現在	理学療法学科 2 年次生対象の「日常生活活動学」の講義を行った際，授業内容をまとめたプリント（A4，計 44 枚）を配布資料として作成した.
「義肢装具学実習」（理学療法学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2020～現在	理学療法学科 3 年次生対象の「義肢装具学実習」の講義を行った際，PowerPoint スライド（計 142 枚）を作成し、板書として使用した.
「義肢装具学実習」（理学療法学科対象）の講義用配布資料	2020～現在	理学療法学科 3 年次生対象の「義肢装具学実習」の講義を行った際，授業内容をまとめたプリント（A4，計 9 枚）を配布資料として作成した.
「日常生活活動学実習」（理学療法学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2018～現在	理学療法学科 3 年次生対象の「日常生活活動学実習」の講義を行った際，PowerPoint スライド（計 364 枚）を作成し、板書として使用した.
「日常生活活動学実習」（理学療法学科対象）の講義用配布資料	2018～現在	理学療法学科 3 年次生対象の「日常生活活動学実習」の講義を行った際，授業内容をまとめたプリント（A4，計 56 枚）を配布資料として作成した.
「スポーツ障害と理学療法」（理学療法学科対象）の講義用配布資料	2015～現在	理学療法学科 4 年次生対象の「スポーツ障害と理学療法」の講義を行った際，授業内容をまとめたプリント（A4，計 2 枚）を配布資料として作成した.
「内部障害の特性と対応」（理学療法学科対象）の	2014～現在	理学療法学科 1 年次生対象の「内部障害の特性と対応」の講義を

講義用 PowerPoint スライド		行った際，PowerPoint スライド（計 180 枚）を作成し、板書として使用した.
「内部障害の特性と対応」（理学療法学科対象）の講義用配布資料	2014～現在	理学療法学科 1 年次生対象の「内部障害の特性と対応」の講義を行った際，授業内容をまとめたプリント（A4，計 12 枚）を配布資料として作成した.
「内部障害基礎理学療法学」（理学療法学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2014～現在	理学療法学科 2 年次生対象の「内部障害基礎理学療法学」の講義を行った際，PowerPoint スライド（計 587 枚）を作成し、板書として使用した.
「内部障害基礎理学療法学」（理学療法学科対象）の講義用配布資料	2014～現在	理学療法学科 2 年次生対象の「内部障害基礎理学療法学」の講義を行った際，授業内容をまとめたプリント（A4，計 47 枚）を配布資料として作成した.
「内部障害理学療法評価学」（理学療法学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2014～現在	理学療法学科 2 年次生対象の「内部障害理学療法評価学」の講義を行った際，PowerPoint スライド（計 474 枚）を作成し、板書として使用した.
「内部障害理学療法評価学」（理学療法学科対象）の講義用配布資料	2014～現在	理学療法学科 2 年次生対象の「内部障害理学療法評価学」の講義を行った際，授業内容をまとめたプリント（A4，計 52 枚）を配布資料として作成した.
「内部障害理学療法治療学」（理学療法学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2013～現在	理学療法学科 2 年次生対象の「内部障害理学療法治療学」の講義を行った際，PowerPoint スライド（計 354 枚）を作成し、板書として使用した.
「内部障害理学療法治療学」（理学療法学科対象）の講義用配布資料	2013～現在	理学療法学科 2 年次生対象の「内部障害理学療法評価学」の講義を行った際，授業内容をまとめたプリント（A4，計 20 枚）を配布資料として作成した.
「神経系障害理学療法治療学」（理学療法学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2011～現在	理学療法学科 3 年次生対象の「神経系障害理学療法治療学」の講義を行った際，PowerPoint スライド（計 208 枚）を作成し、板書として使用した.
「神経系障害理学療法治療学」（理学療法学科対象）の講義用配布資料	2011～現在	理学療法学科 3 年次生対象の「神経系障害理学療法評価学」の講義を行った際，授業内容をまとめたプリント（A4，計 9 枚）を配布資料として作成した.
「予防医学」（理学療法学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2023～2024	理学療法学科 4 年次生対象の「予防医学」の講義を行った際，PowerPoint スライド（計 67 枚）を作成し、板書として使用した.
「予防医学」（理学療法学科対象）の講義用配布資料	2023～2024	理学療法学科 4 年次生対象の「予防医学」の講義を行った際，授業内容をまとめたプリント（A4，計 6 枚）を配布資料として作成した.

「リハビリテーション医学」（理学療法学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2022～2024	理学療法学科 2 年次生対象の「リハビリテーション医学」の講義を行った際，PowerPoint スライド（計 158 枚）を作成し、板書として使用した.
「リハビリテーション医学」（理学療法学科対象）の講義用配布資料	2022～2024	理学療法学科 2 年次生対象の「リハビリテーション医学」の講義を行った際，授業内容をまとめたプリント（A4，計 15 枚）を配布資料として作成した.
「リハビリテーション概論」（理学療法学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2020～2024	理学療法学科 1 年次生対象の「リハビリテーション概論」の講義を行った際，PowerPoint スライド（計 161 枚）を作成し、板書として使用した.
「リハビリテーション概論」（理学療法学科対象）の講義用配布資料	2020～2024	理学療法学科 1 年次生対象の「リハビリテーション概論」の講義を行った際，授業内容をまとめたプリント（A4，計 10 枚）を配布資料として作成した.
「神経系障害の特性と対応」（理学療法学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2013～2024	理学療法学科 2 年次生対象の「神経系障害の特性と対応」の講義を行った際，PowerPoint スライド（計 104 枚）を作成し、板書として使用した.
「神経系障害の特性と対応」（理学療法学科対象）の講義用配布資料	2013～2024	理学療法学科 2 年次生対象の「神経系障害の特性と対応」の講義を行った際，授業内容をまとめたプリント（A4，計 13 枚）を配布資料として作成した.
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
4　その他教育活動上特記すべき事項		
Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
2　特許		
3　その他職務上の実績に関する事項		

Ⅲ　研究活動					
著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					
論文					
主任介護支援専門員のストレスおよびレジリエンスの関係	共著	2022 年 3 月	医療保健学研究　13 号	小林由美子，林隆司，高尾敏文，有田真己，沼尾夏葵	p41-50
光イメージ法を用いた大学生へのメンタルヘルス支援の効果	共著	2022 年 3 月	医療保健学研究　13 号	渡部洋子，高尾敏文，尾崎道江，林隆司，小林由美子，酒井隆，宗像恒次	p27-40
ロシアの寒冷地域在住高齢者の飲酒量と睡眠の関係：横断研究	共著	2020 年 10 月	日本老年医学会雑誌　57 巻	von Fingerhut Georg，荒木章裕，岡本紀子，高尾敏文，Makarov Konstantin，Kim Yuriy，Kondyurina Elena，Yakovleva Lyudmila，巻直樹，丁剣洋	p458-466
高齢者が日常的に体験する眩暈の関連要因の検討：メタアナリシスを用いて	共著	2020 年 9 月	日本プライマリ・ケア連合学会誌　43 巻	荒木章裕，松田ひとみ，岡本紀子，高尾敏文，巻直樹，von Fingerhut Georg，王暁辰	p82-89
Reliability of voluntary cough assessments using respiratory flow waveform	共著	2020 年 7 月	Journal of Physical Therapy Science　32 巻	Yukako Setaka，Toshifumi Takao，Kenta Kawamura，Kei Watanabe，Ryo Yoshida，Hirotaka Ohse，Kazuhide Tomita	p454-458
地域在住高齢者における睡眠の質と嚥下呼吸機能との関連	共著	2020 年 3 月	理学療法科学　35 巻	巻直樹，松田ひとみ，岡本紀子，高尾敏文，	p455-459

				荒木章裕, Von Fingerhut Georg, 王曉辰，丁劍洋, 佐藤幸夫	
Relationship among older people living alone, hypertension and depression: a systematic review	共著	2020 年 3 月	高齢者ケアリング学研究会誌 10 巻	Jianyang Ding, Hitomi Matsuda, Noriko Okamoto, Naoki Maki, Toshifumi Takao, Akihiro Araki, Georg von Fingerhut, Xiaochen Wang	p1-10
報告					
【腎臓と運動・スポーツ】保存期慢性腎臓病患者の運動・スポーツ（解説/特集）	単著	2020 年 4 月	人と透析　88 巻	高尾敏文	p469-473
学会発表					
パーキンソニズム症例の服薬後時間とパフォーマンス	共同（筆頭）	2024 年 11 月	脳機能とリハビリテーション研究会 第 30 回記念学術集会	高尾敏文，永木雄也, 早川ヒロシ，出澤真之介	一般演題
服薬後に経時変化したパーキンソニズム症例のパフォーマンス	共同（筆頭）	2024 年 10 月	第 43 回関東甲信越ブロック理学療法士学会	高尾敏文，永木雄也, 早川ヒロシ，出澤真之介	一般演題
大学生を対象とした光イメージ法によるセルフケア行動研究	共同	2021 年 9 月	第 28 回ヘルスカウンセリング学会学術大会	渡部洋子，尾崎道江, 小林由美子，林隆司, 高尾敏文，酒井隆, 宗像恒次	一般演題

Ⅳ　学会等および社会における主な活動
1　現在の所属学会
日本神経理学療法学会 日本理学療法教育学会 日本呼吸理学療法学会

日本理学療法管理学会 日本プライマリ・ケア学会 全国大学理学療法学教育学会 日本肺理学療法研究会 脳機能とリハビリテーション研究会 日本ヒューマンケアリング学研究会
2　2020～2024 年度の学会での主な活動
日本理学療法管理学会 選挙管理委員会 副委員長　（2024 年度～） （公社）茨城県理学療法士会 学術・教育局 学会・学術誌部 部員　（2015 年度～） 日本ヒューマンケアリング学研究会 理事　（2015 年度～）
3　2020～2024 年度の社会での主な活動

所属　医療保健学部 学科　理学療法学科	職名　講師	氏名　永井　智	学　位	修士（体育学），修士（スポーツ医学）
			国家資格	理学療法士，公認心理師

Ⅰ　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
リハビリテーション看護学	2023 年～現在	看護学科 3 年次のリハビリテーション看護学の障がい者スポーツとリハビリテーションの授業を 2 コマの講義を担当した．障がい者スポーツの概要やスポーツと看護の関わり，障がい者スポーツにおける看護師の重要性について講義を行った．授業復習問題を通して，重要ポイントの理解の確認を行った．講義ではプリントを配布し，プリントに沿って作成されたプレゼンテーションスライドを用いて，解説した．
リハビリテーション医学	2023 年	2 年次のリハビリテーション医学の運動器障害に対するリハビリテーション分野の授業を担当した．リハビリテーションの対象となる疾患として多い骨折，関節疾患などのリハビリテーションの概要についての講義を行った．配布資料は図やイラストを多く用い，初学者にもイメージしやすいよう工夫をした．復習問題を通して，重要ポイントの理解の確認を行った．
障がい者スポーツ論	2022 年～現在	3 年次の選択科目であり，日本パラスポーツ協会の初級パラスポーツ指導員養成カリキュラムとして認定されているため，単位取得者は資格を申請することができる．授業は指定カリキュラムに準じ，実施した．障がい者に対する理解を深めるため，自身の体験や資料には活動時の写真を多く，掲載した．また，障がい当事者にも講義，実技に参加して頂き，障がい者との交流する機会を設けた．12 コマ担当し，成績は各回の講義後の小テスト及び体験参加後のレポートにより評価した．
理学療法セミナーⅡ	2022 年～現在	2 年次の統合授業として，年間を通して授業を行った．理学療法士の職域，チーム医療，患者中心医療，プロフェッショナリズムなどのテーマについての教員が課題を提示し，学生が自己学習をし，プレゼンテーションを行う形態で授業を展開した．テーマごとに教員が具体例を示し，目標設定を変更しながら授業を行った．また，見学実習の準備教育として実習のオリエンテーションなどを行った．

リハビリテーション概論	2020～2022 年	1 年次のリハビリテーション概論のリハビリテーションと心理を担当した．リハビリテーションにおける心理の位置づけと心理に影響を及ぼす疾患や環境について 2 コマ講義を行った．1 年次の科目であるため，配布資料は図やイラストを多く用い，初学者にもイメージしやすいよう工夫をした．オンライン授業であったため，授業の動画の配信や復習問題を通して，重要ポイントの理解の確認を行った．
運動器障害基礎理学療法学Ⅱ	2020 年～現在	運動器障害の理学療法を実施する上で必要なリスク管理と疼痛（総論と評価・治療）に関する講を担当した．3 コマ担当し，プレゼンテーションスライドと配布資料を用いて授業を行った．理学療法を実施する上で，非常に重要な項目となるため，各講では既習の解剖学・生理学を復習する内容を授業内で取り入れ，反復学習による既習内容の充実を意識した．また，試験対策として，国家試験の過去問題集ならびに用語解説（ワークブック，フォーム形式）を配布し，理解度の確認を行った．
理学療法研究法	2017 年～現在	理学療法研究法の授業において，科目責任者として，講義ならびに研究の実際，発表会のマネージメントを行った． 講義は研究に興味を持ち，また，理学療法士としての必要性に関する理解度を向上させるため，教科書や配布資料を用いて，具体的な事例を展開しながら，講義を行った．また，試験対策として，国家試験の過去問題集ならびに用語解説（ワークブック形式）を配布し，理解度の確認を行った．研究の実際は学科内の教員に学生を分担し，実際に研究を実施し，報告会にて発表していたが，2020 年度以後は新型コロナ関連の影響で，研究の実施は断念し，研究の実際は理学療法分野の様々な研究を紹介した．成績評価は，研究法に関するレポート課題と期末試験により評価した．

理学療法セミナーⅠ	2016，2021 年	1 年次の導入授業として，年間を通して授業を行った．前期は 5 名の教員で大学生活，理学療法，各疾患別理学療法についての課題を提示し，学生が自己学習をし，プレゼンテーションを行う形態で授業を展開した．テーマごとに教員が具体例を示し，目標設定を変更しながら授業を行った．後期はレポート作成方法について教授し，また，既習の国家試験問題の解説を学生が実施し，学習した内容の復習と国家試験問題の導入を行う目的に授業を行った．
内部障害理学療法治療学	2016～2021 年	呼吸の運動学と胸郭伸張法と胸部画像，循環器疾患ならびにその他の内部障害に関する講を 8 コマ担当した． それぞれ基礎科目と疾患学を結びつけることを意識し，プレゼンテーション資料は画像資料を豊富に用いた資料を配布した．また，病態については動画を用いて解説した． また，講義中は呼吸理学療法の実技を中心に行い，講義の内容との関連性や評価にしながら改善の程度を意識させながら授業を行った．
スポーツ障害と理学療法	2015 年～現在	スポーツ障害の理学療法評価，投球障害に対する理学療法，体幹のスポーツ障害に対する理学療法，応急処置の講を 7 コマ担当した．担当講において，スライドの資料を配布した． また，実技演習の時間を確保し，講義の内容を体験できるよう工夫を行った．特に評価の授業ではスポーツ障害を題材にしているが，臨床実習でも実施する検査法などを中心に，総合実習に向けてケーススタディを中心に行い，学生が検討した後，教員が同じ課題をデモンストレーションし，理解を深めることができるよう工夫をした．

スポーツ障害治療学演習	2015 年～現在	テーピング，関節モビライゼーション，物理療法，各種トレーニング，マッサージ，応急処置などのスポーツ障害に関わる理学療法治療手段に関する講義・実習を行った． 授業は実技中心に行い，デモンストレーションを多くし，総合実習に向けて，身体の触り方や動かし方を理解することを意識しやすいよう授業を展開した．体表解剖の復習も多く取り入れ，自身がどこをどのように触っているのかを意識できるよう，実技指導を行った． また，治療法の実技では介入前後の効果判定を行い，介入の効果を意識させる工夫をした．
物理療法学実習	2015 年～現在	症例検討に関する演習授業を 16 コマ担当した．授業は小グループでの症例に対する物理療法を検討する方法で行った．PBL 型の授業のため，思考過程や学生の考えを引き出すこと重要視し，授業を展開した．3 グループを担当し，進捗状況を確認しながら，３症例の問題点と必要な物理療法について議論しながら，授業を行った．学生が理由を考えること，調べることを重要視し，演習形式で授業を行った．
スポーツ科学	2014 年～現在	6 コマ担当し，PowerPoint スライドと配布資料を用いて授業を行った．6 学科共通科目であるため，各学科の基礎科目の進捗状況を踏まえ，基礎科目の復習を授業に取り入れ，授業展開を行った． また，運動・スポーツの健康や疾患への関わりを中心に授業テーマを設定した．各学科の学生がそれぞれ興味を持てるよう，各職種がテーマにどのように関わることができるかを例示し，授業展開する工夫をした． 2020 年からはオンライン授業に変更となったため，復習用授業動画の配信やフォームを用いた問題とレポート課題を用いて実施した． 各回の終了後に小テストならびにレポートを課し，小テストの結果とレポートの内容で成績評価をした．
運動器障害基礎理学療法学 I	2013 年～現在	運動器障害に対する筋力，持久力増強運動，体力向上の講を担当した．5 コマ担当し，プレゼンテーションスライドと配布資料を用いて授業を行った．各講では既習の解剖学・生理学・運動学を復習する内容を授業内で取り入れ，基礎科目の応用の仕方を説明し，反復学習による既習内容の充実を意識した．

理学療法評価学演習	2013 年～現在	理学療法の検査・測定に関する内容を実技中心に行った．それぞれの検査をする意義と正確に測定することを目的に学生間の実技を確認しながら，その都度，具体的に指導を行った． 授業は教科書の内容を中心に行った．また，実技試験を行い，習熟度を確認した．実技試験後にはフィードバックを行い，不足点や改善点の確認をした．
運動器障害理学療法評価学	2012 年～現在	膝関節と体幹の運動器障害の理学療法評価について 3 コマ担当した．担当講において，スライドとスライドに対応した書き込み式資料を配布した．授業は評価の意義と解釈に重点をおき，正確に検査を実施できるよう実技を行い，確認しながら行った． また，すでに学習済の内容は予習用資料を配布し，事前学習を促し，授業終了後に国家試験問題と自主学習の定着を図った．
運動器障害理学療法治療学	2012～2023 年	膝関節と体幹の運動器障害の理学療法について 12 コマ担当した．授業は，スライドとスライドに対応した書き込み式資料を配布した．授業後に該当分野の国家試験問題を配布し，復習と自己学習の定着を図った．授業は実技を多く行い，学生がイメージしやすいよう配慮した． また，臨床実習で遭遇する機会の多い疾患に対して，動作分析を中心としたケーススタディを演習形式で行った．
理学療法総合セミナー	2012～2021 年	国家試験対策として，模試終了後に解説を行った． 理学療法評価学ならびに運動療法に関する対策講座を担当し，過去問を中心に間違いやすい点や重要なポイントについて解説を行った． 症例問題の対策として，MRI，CT，X 線画像を豊富に準備し，画像の解説を行い，出題のポイントを説明した． また，症例問題対策として業者模試の解説を行った．問題の捉え方，考え方を計 5 回実施した．
運動学実習	2011 年～現在	運動学習に関するテーマの実習を担当し，基礎知識の整理に関する講義と実験を行い，レポート指導を行った．特に該当分野は講義では取り扱うことが難しいため，理学療法を実施するために重要なポイントや国家試験に出題される点について配布資料を用いて，講義を行った． また，触診，形態測定，関節可動域測定，徒手筋力検査法など理学療法評価に関する実習の指導も行った．実技中心に授業を展開し，毎回，習熟度を確認するための復習の時間を確保した．

2　作成した教材（150 字程度まで）		
リハビリテーション看護学（看護学科対象）の講義用スライド・配布資料	2023 年～現在	看護学科 3 年次対象のリハビリテーション看護学の講義を行った際，プレゼンテーションスライド（計 1 点）を作成し，板書として使用し，配布資料として学生に配布した．講義後に，スライドを見直し，変更や修正など，更新を行った．
リハビリテーション医学（理学療法学科対象）の講義用スライド・配布資料	2023 年	理学療法学科 2 年次対象のリハビリテーション医学の講義を行った際，プレゼンテーションスライド（計 2 点）を作成し，板書として使用し，配布資料として学生に配布した．講義後に，スライドを見直し，変更や修正など，更新を行った．
障がい者スポーツ論（理学療法学科対象）の講義用スライド・配布資料	2022 年～現在	理学療法学科 3 年次対象の障がい者スポーツ論の講義を行った際，プレゼンテーションスライド（計 11 点）を作成し，板書として使用し，配布資料として学生に配布した．講義後に，スライドを見直し，変更や修正など，更新を行った．
理学療法セミナーⅡ（理学療法学科対象）の講義用スライド・配布資料	2022 年～現在	理学療法学科 2 年次対象の理学療法セミナーⅡの講義を行った際，プレゼンテーションスライド（計 1 点）を作成し，板書として使用し，配布資料として学生に配布した．講義後に，スライドを見直し，変更や修正など，更新を行った．
リハビリテーション概論（理学療法学科対象）の講義用スライド・配布資料	2020～2022 年	理学療法学科 1 年次対象のリハビリテーション概論の講義を行った際，プレゼンテーションスライド（計 2 点）を作成し，板書として使用し，配布資料として学生に配布した．講義後に，スライドを見直し，変更や修正など，更新を行った．
運動器障害基礎理学療法学Ⅱの講義用スライド・配布資料	2020 年～現在	理学療法学科 2 年次対象の運動器障害基礎理学療法学Ⅱの講義を行った際，プレゼンテーションスライド（計 3 点）を作成し，板書として使用し，配布資料として学生に配布した．講義後に，スライドを見直し，変更や修正など，更新を行った．
理学療法研究法（理学療法学科対象）の講義用スライド・配布資料	2017 年～現在	理学療法学科 3 年次対象の理学療法研究法の講義を行った際，プレゼンテーションスライド（計 14 点）を作成し，板書として使用し，配布資料として学生に配布した．講義後に，スライドを見直し，変更や修正など，更新を行った．
内部障害理学療法治療学（理学療法学科対象）の講義用スライド・配布資料	2016～2021 年	理学療法学科 2 年次対象の内部障害理学療法治療学の講義を行った際，プレゼンテーションスライド（計 4 点）を作成し，板書として使用し，配布資料として学生に配布した．講義後に，スライドを見直し，変更や修正など，更新を行った．
スポーツ障害と理学療法（理学療法学科対象）の講義用スライド・配布資料	2015 年～現在	理学療法学科 4 年次対象のスポーツ障害と理学療法の講義を行った際，プレゼンテーションスライド（計 3 点）を作成し，板書として使

		用し，配布資料として学生に配布した．講義後に，スライドを見直し，変更や修正など，更新を行った．
スポーツ障害治療学演習（理学療法学科対象）の講義用スライド・配布資料	2015 年～現在	理学療法学科 4 年次対象のスポーツ障害と理学療法の講義を行った際，プレゼンテーションスライド（計 7 点）を作成し，板書として使用し，配布資料として学生に配布した．講義後に，スライドを見直し，変更や修正など，更新を行った．
スポーツ科学（看護・理学療法・保健栄養・診療放射線・臨床検査・医療技術学科対象）の講義用スライド・配布資料	2014 年～現在	6 学科 2 年次対象のスポーツ科学の講義を行った際，プレゼンテーションスライド（計 6 点）を作成し，板書として使用し，配布資料として学生に配布した．講義後に，スライドを見直し，変更や修正など，更新を行った．
運動器障害基礎理学療法学 I（理学療法学科対象）の講義用スライド・配布資料	2013 年～現在	理学療法学科 2 年次対象の運動器障害基礎理学療法学 I の講義を行った際，プレゼンテーションスライド（計 5 点）を作成し，板書として使用し，配布資料として学生に配布した．講義後に，スライドを見直し，変更や修正など，更新を行った．
国家試験対策用（理学療法学科対象）の分野別問題集	2013～2021 年	国家試験対策の自己学習用資料（計 22 点）として，平成 6 年からの国家試験に出題された問題を分野別に編集し，配布し，自己学習を促した．学習の習熟度を確認するために，分野別問題集の問題をもとに確認テスト（全 22 回）を行いった．
運動器障害理学療法評価学（理学療法学科対象）の講義用スライド・配布資料	2012 年～現在	理学療法学科 2 年次対象の運動器障害理学療法評価学の講義を行った際，プレゼンテーションスライド（計 3 点）を作成し，板書として使用し，配布資料として学生に配布した．講義後に，スライドを見直し，変更や修正など，更新を行った．
運動器障害理学療法治療学（理学療法学科対象）の講義用スライド・配布資料	2012～2023 年	理学療法学科 3 年次対象の運動器障害理学療法評価学の講義を行った際，プレゼンテーションスライド（計 3 点）を作成し，板書として使用し，配布資料として学生に配布した．講義後に，スライドを見直し，変更や修正など，更新を行った．
運動学実習（理学療法学科対象）の実習課題シート	2011 年～現在	理学療法学科 2 年次対象の運動学実習において，運動学習，筋力の実習の内容と手順，必要な基礎知識をまとめたプリントを配布資料として作成した．実習の後にはプリントの見直しをし，変更，修正を行った。
理学療法総合セミナー（理学療法学科対象）の国家試験対策模試の結果集計用のデータベースの作成ならびにフィードバック用「個人結果表」の作成	2011～2021 年	理学療法学科 4 年次対象の理学療法総合セミナーにおいて国家試験対策模試の結果を集計するためのデータベースを作成した．市販のスキャナとマークシートから模試の結果を読みとり，データベースを用いて結果を入力・管理した．データベースを活用することにより，問題別の正答率や個人結果の経過を把握することができた．

		また，データベースに蓄積されたデータをもとに「個人結果表」を作成し，対象学生に配布した．点数経過や分野別の成績を掲載し，弱点補強などの対策に活用した．
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
理学療法学教育に関する論文発表	2021 年 3 月	理学療法学教育に関する論文（報告）を共著者として発表した。「つくば国際大学理学療法学科のオンライン授業の現状と課題―オンライン授業に関する学生アンケートの結果から－」鈴木康文，永井智，沼尾夏葵　医療保健学研究―つくば国際大学紀要― 12 号 p31-44
4　その他教育活動上特記すべき事項		
理学療法学科における卒業研究指導	2011 年～現在	理学療法学科 4 年次対象の卒業研究において毎年 1～2 名程度の学生に対して指導を行った．
理学療法学科における病院実習指導	2011 年～現在	理学療法学科 3 年次対象の評価実習，4 年次対象の総合臨床実習において毎年 10～15 名程度の学生に対して指導を行った．
理学療法学科における国家試験アドバイザー	2011～2021 年	理学療法学科 4 年次ならびに既卒生に対して，国家試験対策のアドバイザーを毎年 2～10 名程度に行った．

Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
つくば国際大学学内共同研究助成	2024 年	「一般若年女性（女子大学生）における骨密度・骨代謝マーカーに関連する因子を横断的に検討する」助成総額：543,300 円　【代表】永井智【分担】新藤愛，大越教夫，山邊志都子
2　特許		
3　その他職務上の実績に関する事項		
筑波大学医学医療系整形外科　学外共同研究員	2018 年～現在	
日本理学療法管理学会　編集委員	2022 年～現在	
日本理学療法学会・研究会（運動器，スポーツ，産業，精神・心理領域，教育，管理，物理療法，筋骨格系徒手）　査読委員	2018 年～現在	
日本柔道整復接骨医学会　査読委員	2015 年～現在	
学術論文の査読（11 件）	2020～2024 年	

パラスポーツ指導員・トレーナーの実践と指導	2021 年～現在	障がい者スポーツサポートクラブ（つくば国際大学課外活動団体）の活動の一環として，パラカヌー，シッティングバレーボールのトレーニングやパラスポーツ関連イベントにボランティアとして参加した．障がい者スポーツ指導ならびに障害者との交流体験と大学の地域貢献・認知度向上に寄与した．
スポーツトレーナーの実践と指導 マラソン大会での救護・コンディショニングサポート	2011 年～現在	つくば国際トレーナー活動研究会（つくば国際大学課外活動団体）の学生を引率して，つくばマラソン，牛久シティーマラソン，かすみがうらマラソンにトレーナーボランティアとして参加した．トレーナー活動体験と大学の地域貢献・認知度向上に寄与した．活動の様子は大学ホームページ理学療法トピックスに記載した． また，つくばマラソンでは，救護スタッフとしても活動を行った．
スポーツトレーナーの実践と指導	2008 年～現在	スポーツ理学療法，トレーナー活動の経験を通して，アスレティックトレーナーとしての実際を指導した（茗渓学園高校・中学校ラグビー部，茨城県少年ラグビーチーム，牛久高校野球部，筑波大学ラグビー部）．
地域の核となる人材・団体育成事業 「一緒に学び、一緒に楽しむ パラスポーツで広がる可能性」講師	2024 年 8 月	茨城県県南生涯学習センターの依頼を受け，障がい者支援，教育，福祉に関する活動や仕事を行っている方を対象に，全 3 回講座のうち 1 回を担当した.「各障がいの理解～身体障がいを中心に～障がい者スポーツ」について，講義を行った．

Ⅲ　研究活動					
著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					
ケガをしないカラダづくり―イラストで見るスポーツ医学とトレーニング―	共著	2023 年 11 月	東洋館出版社	【編者】広瀬統一，泉重樹，福田崇，稲見崇孝 【著者】永井智，峯田晋史郎	総頁数：188 頁 執筆担当：第 2 章 足関節予防のためのトレーニング p74-82
論文					

Comparison of Factors Related to Low Back Pain in Elite Youth Baseball Players.	共著	2025 年 1 月	Asian Journal of Kinesiology Vol. 27 Issue 1	Ha D, Nagai S, Noh B, Mukai N, Miyakawa S, Takemura M	p78-86
Injury Prevalence among Young Elite Baseball Players.	共著	2023 年 7 月	Sports Vol. 11 Issue 7	Ha D, Nagai S, Noh B, Mukai N, Miyakawa S, Takemura M	p134
Reasons for the Reporting Behavior of Japanese Collegiate Rugby Union Players Regarding Suspected Concussion Symptoms: A Propensity Analysis.	共著	2023 年 1 月	International Journal of Environmental Research and Public Health Vol. 20 Issue 3	Suzuki K, Nagai S, Nishida, Iwai K, Takemura M.	p2569
Knowledge of, and Attitudes Toward, Concussion in Japanese Male Collegiate Athletes.	共著	2022 年 2 月	Frontiers in Sports and Active Living Vol. 4	Suzuki K, Imamoto T, Nagai S, Takemura M	p835100
How does the situation before a tackle influence a tackler's head placement in rugby union? : application of the decision tree analysis.	共著	2021 年 3 月	BMJ Open Sport & Exercise Medicine Vol. 7	Suzuki K, Nagai S, Iwai K, Furukawa T, Takemura M	p e000949
つくば国際大学理学療法学科のオンライン授業の現状と課題―オンライン授業に関する学生アンケートの結果から―	共著	2021 年 3 月	医療保健学研究―つくば国際大学紀要― 第 12 号	鈴木康文，永井智，沼尾夏葵	p31-44
高校ハンドボール選手における傷害の実態	共著	2021 年 1 月	体力科学 70 巻 1 号	眞下苑子，森脇龍，竹上綾香，吉田成仁，藁科侑希，永井智，大西信三，白木仁	p78-89
Analysis of Tackling Events Leading to Mild Cervical Injuries in Collegiate Rugby Union.	共著	2020 年 4 月	International Journal of Sport and Health Science Vol. 18 Issue 1	Suzuki K, Nagai S, Iwai K, Furukawa T, Takemura M	p48-56
報告					

頭頚部外傷の予防に向けて ラグビーにおける頭頚部外傷の予防	共著	2020 年 10 月	日本アスレティックトレーニング学会誌 5 巻 4 号	鈴木啓太，永井智，竹村雅裕	p355-362
学会発表					
ラグビーにおけるタックルの高さに関するルール改正によってアプローチ局面のパターンは変化する？	共同	2025 年 3 月	第 22 回 日本フットボール学会（豊田）	鈴木啓太，永井智	一般演題
パラスポーツの教育的意義　大学生のパラスポーツ支援の実践報告	単独	2025 年 1 月	第 33 回 日本パラスポーツ学会（阿見）	永井智	シンポジウム
大学ラグビーにおけるタックルの高さに関するルール変更に着目したタックル分析	共同	2024 年 11 月	第 35 回 日本臨床スポーツ医学会学術集会（新潟）	鈴木啓太，永井智	一般演題
高校野球選手のメディカルチェック後における投球障害の発生状況と身体機能の特徴	共同	2024 年 1 月	第 10 回 日本スポーツ理学療法学会（大宮）	山口真吾，永井智，竹内啓明	一般演題
高校ラグビー選手における脳振盪の症状認識と報告行動の理由	共同	2023 年 11 月	第 34 回 日本臨床スポーツ医学会学術集会（横浜）	鈴木啓太，永井智，竹村雅裕	一般演題
運動器検診からみた成長期オスグッド病罹患要因についての検討	共同	2023 年 11 月	第 34 回 日本臨床スポーツ医学会学術集会（横浜）	柴田龍志，鎌田浩史，可西泰修，都丸洋平，塚越祐太，中川将吾，中島亮一，永井智，山崎正志	一般演題
日本の産業理学療法　オランダの産業理学療法～日本の産業理学療法への示唆と展開～	共同	2023 年 10 月	第 6 回 日本産業理学療法研究会学術大会（函館）	白幡吏矩，永井智，西村卓朗，神田一路	シンポジウム
コロナ禍における小中学生の運動器傷害発生状況　－運動器検診質問票による検討－	共同	2022 年 11 月	第 33 回 日本臨床スポーツ医学会学術集会（札幌）	法貴駿介，鎌田浩史，都丸洋平，中川将吾，塚越祐太，木村美緒，可西泰修，中島亮一，永井智，山崎正志	一般演題
高校ラグビー選手における脳振盪の症状認識と報告行動の理由	共同	2022 年 11 月	第 33 回 日本臨床スポーツ医学会学術集会（札幌）	鈴木啓太，永井智，竹村雅裕	一般演題
高校野球における傷害発生分析～COVID19 による活動休止後	共同	2022 年 8 月	第 26 回 茨城県理学療法士学会（水戸）	山口真吾，永井智，竹内啓明	一般演題

の傷害発生率に着目して～					
大学ラグビー選手における脳振盪の症状認識と報告行動の理由	共同	2022 年 7 月	第 11 回 日本アスレティックトレーニング学会（つくば・オンライン）	鈴木啓太, 永井智, 西田智, 鷲谷浩輔，竹村雅裕	一般演題
脳震盪 SRC management における video の活用　大学・高校ラグビー選手における脳振盪発生場面のビデオ分析	共同	2021 年 11 月	第 32 回 日本臨床スポーツ医学会学術集会（宮崎・オンライン）	鈴木啓太，永井智，宮川俊平，竹村雅裕	シンポジウム
高校野球における傷害発生分析季節別の違いに着目して.	共同	2021 年 7 月	第 25 回 茨城県理学療法士学会（水戸）	山口真吾，永井智，渡邉溪太，竹内啓明	一般演題
茨城県の障がい者スポーツ振興のあり方	単独	2020 年 12 月	第 16 回 茨城県障がい者スポーツ研究会（つくば・オンライン）	永井智	シンポジウム
小中学生の 1 年間の運動器傷害発生状況―運動器検診質問票を用いた検討―	共同	2020 年 11 月	第 31 回 日本臨床スポーツ医学会学術集会（宮崎・オンライン）	永坂玲央，鎌田浩史，中川将吾, 塚越祐太, 木村美緒, 可西泰修，中島亮一，永井智，山崎正志	一般演題
高校ラグビー選手のボールキャリアに発生した脳振盪に関わる特徴	共同	2020 年 11 月	第 31 回 日本臨床スポーツ医学会学術集会（宮崎・オンライン）	鈴木啓太，永井智，宮川俊平，竹村雅裕	一般演題

Ⅳ　学会等および社会における主な活動

1　現在の所属学会

日本運動器理学療法学会，日本スポーツ理学療法学会，日本基礎理学療法学会，日本予防理学療法学会，日本理学療法教育学会，日本理学療法管理学会，
日本小児理学療法学会，日本ウィメンズヘルス・メンズヘルス理学療法研究会，日本産業理学療法研究会，日本精神・心理領域理学療法研究会，
日本筋骨格系徒手理学療法研究会，日本物理療法研究会
日本物理療法学会
日本体力医学会
日本臨床スポーツ医学会
日本アスレティックトレーニング学会
日本徒手理学療法学会
日本理学療法科学学会
日本パラスポーツ健康科学看護学会
日本パラスポーツトレーナー学会

日本パラスポーツ学会
茨城県パラスポーツ研究会

2　2020～2024 年度の学会での主な活動

茨城県パラスポーツ研究会・幹事（2024 年～現在）
茨城県理学療法士学会・準備委員（2023 年～現在）
日本運動器理学療法学会・標準化理学療法委員会委員（2022 年～現在）
日本産業理学療法研究会・ガイドライン策定委員会委員（2022 年～現在）
日本産業理学療法研究会・評議委員（2022 年～現在）
日本理学療法管理学会・編集委員会委員（2022 年～現在）
日本産業理学療法研究会・海外状況調査委員会委員（2021～2022 年）
日本運動器，スポーツ理学療法学会・理学療法ガイドライン・用語策定委員会システマティックレビュー班班員（2018～2020 年）

3　2020～2024 年度の社会での主な活動

- 茨城県スポーツ推進委員会　委員（2024 年～現在）
- 茨城県パラスポーツ指導者協議会　会長（2023 年～現在）
- 茨城県障害者スポーツ・文化協会　理事（2023 年～現在）
- 茨城県障がい者スポーツ推進委員（2022 年～現在）
- 一般社団法人茨城県アスレティックトレーナー協議会　理事（2022 年～現在）
- 一般社団法人日本パラカヌー連盟トレーナー部会　部員（2022 年～現在）
- 茨城県障がい者スポーツ指導者協議会　理事（2022 年）
- 茨城県障害者カヌー協会トレーナー　副代表（2020 年～現在）
- 公益社団法人日本理学療法士協会専門・認定理学療法士制度委員会　委員（2020～2022 年）
- 茨城県障害者スポーツ大会競技運営委員会　委員（2019 年～現在）
- 全国障害者スポーツ大会茨城県派遣選手選考部会　部員（2019 年～現在）
- 公益社団法人茨城県理学療法士会学術・教育局生涯学習部　部員（2017 年～現在）
- 茨城県身体障害者スポーツ大会競技役員・資格審査員（2016 年～現在）
- 茨城県アスレティックトレーナー協議会　総務（2015～2021 年）
- 公益社団法人茨城県理学療法士会社会職能局スポーツ支援事業部　部員（2015 年～現在）
- 日本日本理学療法管理学会誌　査読委員（2022 年～現在）
- 日本柔道整復接骨医学会誌　査読委員（2015 年～現在）
- 令和 6 年度茨城県理学療法士会スポーツ理学療法士養成講習会「障がい者スポーツでの医学的リスクファクター」,「スポーツ外傷・障害の発生機転」,「スポーツ理学療法に必要な検査測定の方法（メディカルチェック）」（2025 年 3 月 2 日/対象：協会員）
- 福井県理学療法士会第 8 回奥越・坂井ブロック合同ミニ学会「下肢のスポーツ外傷・障害の理学評価と介入～子ども・スポーツ愛好家・アスリートに対する対応～」（2024 年 12 月 1 日/対象：協会員）
- 認定理学療法士（スポーツ理学療法）　臨床認定カリキュラム水戸協同病院「患者・家族教育の意義とその方法」（2024 年 11 月 15 日/対象：協会員）
- 認定理学療法士（スポーツ理学療法）　臨床認定カリキュラム水戸協同病院「スポーツ用装具・テーピング・物理療法とその活用」（2024 年 11 月 8 日/対象：

協会員）
- 令和 6 年度小美玉市スポーツ少年団研修会「少年期に起こりやすいケガとその対処法について，子どもたちのメンタルケア」（2024 年 8 月 31 日/対象：市民）
- 県南生涯学習センター主催市民講座パラスポーツで広がる可能性「各障がいの理解～身体障がいを中心に～障がい者スポーツ」（2024 年 8 月 10 日/対象：市民）
- 令和 5 年度茨城県理学療法士会スポーツ理学療法士養成講習会「障がい者スポーツでの医学的リスクファクター」,「スポーツ外傷・障害の発生機転」,「スポーツ理学療法に必要な検査測定の方法（メディカルチェック）」（2024 年 3 月 3 日/対象：協会員）
- 第 14 回（令和 5 年度）関東ブロック障がい者スポーツ指導者研修会「パラスポーツ指導者とトレーナーの協働によるスポーツ支援」（2024 年 2 月 12 日/対象：パラスポーツ指導者）
- 認定理学療法士（スポーツ理学療法） 臨床認定カリキュラム水戸協同病院「患者・家族教育の意義とその方法」（2023 年 12 月 1 日/対象：協会員）
- 認定理学療法士（スポーツ理学療法） 臨床認定カリキュラム水戸協同病院「スポーツ用装具・テーピング・物理療法とその活用」（2023 年 11 月 2 日/対象：協会員）
- 令和 4 年度茨城県理学療法士会スポーツ理学療法士養成講習会「障がい者スポーツでの医学的リスクファクター」,「スポーツ外傷・障害の発生機転」,「スポーツ理学療法に必要な検査測定の方法（メディカルチェック）」（2023 年 3 月 19 日/対象：協会員）
- 令和 3 年度茨城県理学療法士会スポーツ理学療法士養成講習会「スポーツ外傷・障害に対する理学療法（下肢）」,「スポーツ外傷・障害の発生機転」,「スポーツ理学療法に必要な検査測定の方法（メディカルチェック）」（2022 年 2 月 13 日/対象：協会員）
- 令和 2 年度茨城県理学療法士会スポーツ理学療法士養成講習会「スポーツ外傷・障害に対する理学療法（下肢）」,「スポーツ外傷・障害の発生機転」,「スポーツ理学療法に必要な検査測定の方法（メディカルチェック）」（2021 年 2 月 21 日/対象：協会員）
- 茨城県立医療大学保健医療学部理学療法学科　特別講師（2023 年～現在）

- 第 23 回全国障害者スポーツ大会（佐賀大会）茨城県選手団陸上競技引率役員（2024 年）
- 特別全国障害者スポーツ大会（鹿児島大会）茨城県選手団陸上競技引率役員（2023 年）
- 第 22 回全国障害者スポーツ大会（栃木大会）茨城県選手団陸上競技引率役員（2022 年）
- ウルトラマラソン鹿行救護スタッフ（2022 年 3 月 13 日）
- TOKYO2020 パラリンピック陸上競技救護スタッフ（2021 年）
- TOKYO2020 オリンピック・パラリンピック選手村医療スタッフ（2021 年）
- 筑波大学ラグビー部メディカルアドバイザー（2019 年～現在）
- 茨城県障害者スポーツ・文化協会スポーツ陸上競技コーチ・トレーナー（2018 年～現在）
- 茨城県立牛久高校野球部メディカルスタッフ（2018 年～現在）
- つくばマラソン救護スタッフ（2018 年～現在）
- 全国中学生ラグビーフットボール大会（太陽生命カップ）救護スタッフ（2016 年～現在）
- 茗溪学園高校・中学校ラグビー部メディカルスタッフ（2009 年～現在）
- 茨城県少年ラグビーチーム帯同アスレティックトレーナー（2009 年～現在）

所属　医療保健学部 学科　理学療法学科	職名　准教授	氏名　渡邊　昌宏	学　位	博士（スポーツ医学）
			国家資格	理学療法士

Ⅰ　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
障害者スポーツ論	2023 年～現在	理学療法学科 3 年次を対象に障害者スポーツのサポートに必要な知識と実際の障害者スポーツを体験してもらいサポート方法について指導した。
リハビリテーション医学	2024 年	理学療法学科 1 年次を対象に整形外科のリハビリテーションに関して、教科書だけではなく図が多い資料を準備し講義をおこなった。また 1 単元ごとにまとめ小テストを作成した。小テストは講義資料などを見ながらおこなって良いこととし講義の理解力向上を図った。
病態治療論Ⅱ	2023 年～現在	看護学科 2 年次を対象に整形外科の中でも多い疾患に関する病態と治療に関して講義をおこなった。配布資料では図を多く用い講義時間内で単元ごとに小テストを作成した。小テストは講義資料などを見ながらおこなって良いこととし理解力向上を図った。小テストに関して講義後のアンケートでは小テストがまとまっていて良かった、小テストで講義の理解ができて良かったなど肯定的な意見が多かった。
総合セミナー	2022 年～現在	理学療法学科 4 年次を対象に 4 年間での総合的な学習ができるようグループ学習を行った。また必要な科目に関しては集中講義を実施した。総合セミナーは 4 年間全科目の理解が必要な科目のため、全科目の学習ができるアプリを用い自主学習も促し、必要な学生には個別指導を実施した。総合セミナーではすべての学生が試験を合格した。
国家試験対策	2022 年～現在	理学療法学科 4 年次を対象にした国家試験対策ではグループ学習を実施し、国家試験に向けて基礎力強化と応用力向上を目指した。時期ご

		とに必要な課題を提示し実施状況を把握した。必要な学生には個別面談をおこなった。国家試験の合格率は継続して全国平均を上回っている。学生からは国家試験が不安だったが教員の言う通りに実施して良かったという意見が多くを占めた。
生命倫理	2021 年～2024 年	理学療法学科 1 年次を対象に最新の理学療法の研究と実際について、研究動画や最先端の技術を多く取り入れ最新の知見を学生に講義した。オンラインでの講義ではあったが提出されたレポートには最新の理学療法や脳の可能性、それに伴う倫理観に関しての記述が多く見られ興味を示していることが伺えた。
在宅障害者の理学療法	2018 年~2020 年	理学療法学科 3 年次を対象に在宅障害者への介入について、最近のニュースなどを交え具体的な理学療法介入方法について説明した。また、最新の福祉機器・レンタルが多い用具を専門業者からお借りし、学生が実際に使用・調整し実践的な学習が出来るようにした。臨床場面に特化した講義内容のため、学生は興味を示し講義に非常に満足していた。
地域理学療法学	2017 年～現在	理学療法学科 3 年次を対象に教科書に基づいた内容に加え、実際の事例などを多く取り入れ具体的にイメージできるように注意し講義をおこなった。最終課題では模擬症例を提示し、今まで学んで来たことに加え症例とその取り巻く環境因子を考慮した地域リハビリテーションのアプローチについて説明しながら、評価実習・臨床実習に結びつくような指導をおこなった。授業評価の結果から講義内容が学生に良く伝わっていた。
クリニカルリーズニング	3016 年～現在	ペーパーペーシェントを用いた中でイメージがつかめるように映像資料や模擬患者を演じながら、着眼点等についてアドバイスをおこなった。学生が動作障害について様々な原因を考えられるようにヒントを

		与えるように心掛けた。また、動作障害を考える上で重要となる知識の整理や、理学療法の一連の流れが把握できるように適宜アドバイスをおこなった。学生の授業評価アンケートでも良好となっている。
内部障害理学療法治療学	2016 年～2024 年	理学療法学科 2 年次を対象に肺区域に関して体で覚える資料を作成し、1 コマで覚える事ができるよう工夫をおこなった。講義によって学生は排痰の体位理解もスムーズとなりすぐに実践することができた。
運動器障害基礎理学療法学 I	2013 年～現在	理学療法学科 2 年次を対象に実技を多く取り入れ学生の集中力が低下しないように実施した。また、講義内容に関して、翌週に小テストをおこない学生の学習と理解力の向上を促した。その結果、期末テストでは講義の重要項目に関して多くの学生に対し学習効果をあげた。
吸引実技実習	2013 年～2024 年	理学療法学科 2 年次を対象に在宅や施設など呼吸理学療法などに必要な吸引の知識・技術をビデオや実技を交えながら指導し、学生全員に実技をおこなってもらうことで、今後、地域リハビリテーションで必要性が高まっている吸引の技術と知識の習得に効果をあげた。
2　作成した教材（150 字程度まで）		
クリニカルリーズニング（理学療法学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2013 年～現在	理学療法学科 3 年次対象のクリニカルリーズニングの講義を行った際、PowerPoint スライド・ファシリテーター用資料など(計 9 点)を作成し、板書および小クラス同時進行での授業内容統一の為に使用した。講義の後にはスライド・資料を見直し、変更や修正など、更新を行った。
クリニカルリーズニング（理学療法学科対象）の講義用配布資料	2012 年～現在	理学療法学科 3 年次対象のクリニカルリーズニングの講義を行った際、毎回ペーパーペイシェント情報資料・PBL シート(A4、計 10 点)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
スポーツ障害治療学演習（理学療法学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2012 年～現在	理学療法学科 4 年次対象のスポーツ障害治療学演習の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 3 点、計 63 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。

スポーツ障害治療学演習（理学療法学科対象）の講義用配布資料	2015 年～現在	理学療法学科 4 年次対象のスポーツ障害治療学演習の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(A4、計 60 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
運動器障害基礎理学療法学 I （理学療法学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2013 年～現在	理学療法学科 2 年次対象の運動器障害基礎理学療法学 I の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 3 点、計 133 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
運動器障害基礎理学療法学 I （理学療法学科対象）の講義用配布資料	2013 年～現在	理学療法学科 2 年生対象の運動器障害基礎理学療法学 I の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(A4、計 28 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
地域理学療法学（理学療法学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2013 年～現在	理学療法学科 3 年次対象の地域理学療法学の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 11 点、計 236 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
地域理学療法学（理学療法学科対象）の講義用配布資料	2013 年～現在	理学療法学科 3 年次対象の地域理学療法学を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリントとペーパーペーシェント、小テストなど(A4、計 105 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
内部障害理学療法治療学（理学療法学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2013 年～現在	理学療法学科 3 年次対象の内部障害理学療法治療学の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 3 点、計 49 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
内部障害理学療法治療学（理学療法学科対象）の講義用配布資料	2013 年～現在	理学療法学科 3 年次対象の内部障害理学療法治療学の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(A4、計 9 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
リハビリテーション医学（理学療法学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2017 年～現在	理学療法学科 1 年次対象のリハビリテーション医学の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 1 点、計 30 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
リハビリテーション医学（理学療法学科対象）の講義用配布資料	2017 年～現在	理学療法学科 1 年次対象のリハビリテーション医学を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(A4、計 8 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行っ

		た。
運動学実習（理学療法学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2014 年～現在	理学療法学科 2 年次対象の運動学実習の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 3 点、計 34 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
運動学実習（理学療法学科対象）の講義用配布資料	2014 年～現在	理学療法学科 2 年次対象の運動学実習の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(A4、計 9 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
病態・治療論Ⅱ（看護学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2013 年～現在	看護学科 2 年次対象の病態・治療論Ⅱの講義を行った際、PowerPoint スライド(計 35 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
病態・治療論Ⅱ（看護学科対象）の講義用配布資料	2013 年～現在	看護学科 2 年次対象の病態・治療論Ⅱの講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント、小テスト(計 35 枚)を作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
障がい者スポーツ論（理学療法学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2013 年～現在	理学療法学科 3 年次対象の障がい者スポーツ論の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 35 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
障がい者スポーツ論（理学療法学科対象）の講義用配布資料	2013 年～現在	理学療法学科 3 年次対象の障がい者スポーツ論の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(A4、計 10 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
生命倫理（理学療法学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2020 年～現在	理学療法学科 1 年次対象の生命倫理の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 20 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
生命倫理（理学療法学科対象）の講義用配布資料	2020 年～現在	理学療法学科 1 年次対象の生命倫理の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(A4、計 4 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
総合セミナー（理学療法学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2013 年～現在	理学療法学科 4 年次対象の総合セミナーの講義を行った際、PowerPoint スライド(計 3 点、計 149 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
総合セミナー（理学療法学科対象）の講義用配布資料	2013 年～現在	理学療法学科 4 年次対象の総合セミナーの講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(A3、計 45 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
障がい者スポーツに関する著書	2021 年 8 月	障がい者スポーツに関する著書を発表した。 「メディカルスタッフのための障がい者スポーツ」青木隆明編、渡邊

		昌宏他；株式会社メジカルビュー社：p .249- p .261
障がい者スポーツに関する著書	2022 年 11 月	障がい者スポーツに関する著書を発表した。 「運動技能における空間認知（ブラインドサッカー選手における聴覚空間認知）」渡邊昌宏、川端佑介；杏林出版、体育の科学：72　p746-751
運動器疾患の理学療法に関する講演	2017 年～2020 年	茨城県理学療法士会の依頼を受け、新人理学療法士を対象として股関節および膝関節疾患の病態から理学療法の方法までの講義を行った。
スポーツ医学に関する講演	2021 年 1 月	筑波大学人間総合科学研究科の依頼を受け、スポーツ医学セミナーに関する講演を行った。
障がい者スポーツに関する講演	2022 年 9 月	青森県理学療法士会の依頼を受け、障がい者スポーツに関係する理学療法士を対象として、オリンピック・パラリンピック組織委員会の医療支援についての講演を行った。
障がい者スポーツに関する講演	2024 年 7 月	みとスポーツ医科学研究会の依頼を受け、研究会会員を対象としてスポーツにおける空間認知能力に関する講演を行った。
4　その他教育活動上特記すべき事項		
理学療法学科における卒業研究指導	2015 年～現在	理学療法学科 4 年次対象の卒業研究において毎年 2～5 名程度の学生に対して指導し、卒業後においての学会発表・論文作成まで指導した。
理学療法学科における見学実習指導	2015 年～現在	理学療法学科 2 年次対象の見学実習において毎年 2～5 名程度の学生に対して指導を行った。
理学療法学科における評価実習指導	2015 年～現在	理学療法学科 3 年次対象の評価実習において毎年 2～5 名程度の学生に対して指導を行った。
理学療法学科における臨床実習指導	2015 年～現在	理学療法学科 4 年次対象の見学実習において毎年 5～10 名程度の学生に対して指導を行った。
理学療法学科における国家試験対策指導	2022 年～現在	理学療法学科 4 年次対象の全学生および既卒生の国家試験対策において毎年 80 名程度に対して指導を行った。

Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
科学研究費助成・基盤研究(C)	2017 年～2020 年	「ブラインドサッカーの競技特性に関する研究」助成総額：4,810,000 円　【代表】渡邊昌宏
2　特許		

3　その他職務上の実績に関する事項		
学術誌理学療法いばらき査読委員	2011～現在	
日本運動器理学療法学会学術大会査読委員	2018～現在	
茨城県理学療法士会 学会･学術誌部 学術誌編集委員	2019～現在	
日本予防理学療法学会学術大会査読委員	2020～現在	
日本地域理学療法学会学術大会査読委員	2021～現在	
日本理学療法教育学会学術大会査読委員	2021～現在	
関東甲信越ブロック理学療法士学会査読委員	2022～現在	
日本理学療法管理研究会学術大会準備委員/実行委員	2022 年	
関東甲信越ブロック理学療法士学会座長	2022～現在	
日本運動器理学療法学会学術大会座長	2022～現在	
日本スポーツ理学療法学会学術大会査読委員	2023～現在	
日本理学療法教育学会学術誌査読員	2023～現在	
日本スポーツ理学療法学会学術大会座長	2023 年	
日本理学療法管理学会・精神心理研究会合同学術大会準備委員/実行委員	2023 年	
日本呼吸理学療法学会学術大会査読委員	2024 年	
学術論文の査読（9 件）	2020～2024 年	

Ⅲ　研究活動					
著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					
運動技能における空間認知，ブラインドサッカー選手における聴覚空間認知	共著	2022 年 11 月	杏林出版、体育の科学	渡邊昌宏、川端佑介	72　p .746-751
メディカルスタッフのための障がい者スポーツ，フライングデ	共著	2021 年 8 月	株式会社メジカルビュー社	【編者】青木隆明 【著者】渡邊昌宏他	p .249- p .261

ィスク					
論文					
Sound source localization in blind soccer: differences between sighted and visually impaired players	単著	2024 年 4 月	The Journal of Physical Therapy Science	Masahiro Watanabe	36(4)　p.161-p.166
視覚障がい学生の実習施設への情報提供とその効果	共著（筆頭）	2024 年 4 月	理学療法教育	渡邊 昌宏、松井康、松嶋美正	4 (1)　p. 67-p.73
Three-dimensional kinematics analysis of blind football kicking	共著	2020 年 9 月	Sports Biomechanics	Toru Sakuma, Makoto Kobayashi, Hiroaki Kinoshita, Yasushi Matsui, Yasuto Kobayashi, Masahiro Watanabe	22　p.1136-p.1152
報告					
ブラインドサッカーの競技特性に関する研究	単著	2020 年 5 月	科学研究費助成報告書	渡邊昌宏	総頁数：4 頁
学会発表					
TLIF 施行後，代償的な寝返り動作により肩甲骨内側部に疼痛が出現した症例	共同	2020 年 7 月	第 24 回茨城県理学療法士学会	渡辺修、國谷伸一、牛山広和、渡邊昌宏	一般演題

Ⅳ　学会等および社会における主な活動
1　現在の所属学会
社団法人日本理学療法協会
NPO 法人日本ブラインドサッカー協会医事部
日本臨床スポーツ医学会
リハビリテーション連携科学学会
日本パラスポーツ学会
理学療法科学学会

日本パラスポーツトレーナー学会
2　2020～2024 年度の学会での主な活動
2024 年度
みとスポーツ医科学研究会主催オンラインセミナー　講師
第 12 回日本運動器理学療法学会学術大会　座長
第 43 回関東甲信越ブロック理学療法士学会　座長
日本理学療法教育学会 学術誌査読員
茨城県理学療法士会学会　学術誌査読員
茨城県理学療法士会 学会･学術誌部 学術誌編集委員
第 12 回日本運動器理学療法学会学術大会　査読委員
第 10 回日本呼吸理学療法学会学術大会　査読委員
第 43 回関東甲信越ブロック理学療法士学会　査読委員
2023 年度
日本理学療法管理学会・精神心理研究会合同学術大会 2023　準備委員/実行委員
第 10 回日本スポーツ理学療法学会学術大会　座長
第 11 回日本運動器理学療法学会学術大会　座長
第 10 回日本スポーツ理学療法学会学術大会　査読委員
第 12 回日本理学療法教育学会学術大会　査読委員
第 11 回日本運動器理学療法学会学術大会　査読委員
第 42 回関東甲信越ブロック理学療法士学会　査読委員
第 10 回日本地域理学療法学会学術大会　査読委員
第 10 回日本スポーツ理学療法学会学術大会　査読委員
日本理学療法教育学会 学術誌査読員
茨城県理学療法士会 学会･学術誌部 学術誌編集委員
2022 年度
青森県理学療法士会主催 ブラインドサッカー研修会　講師

第 5 回日本理学療法管理研究会学術大会　準備委員/実行委員
第 10 回日本運動器理学療法学会学術大会　座長
第 41 回関東甲信越ブロック理学療法士学会　座長
第 11 回日本理学療法教育学会学術大会　査読委員
第 10 回日本運動器理学療法学会学術大会　査読委員
第 41 回関東甲信越ブロック理学療法士学会　査読委員
茨城県理学療法士会 学会･学術誌部 学術誌編集委員
2021 年度
第 10 回日本理学療法教育学会学術大会　査読委員
第 8 回日本地域理学療法学会学術大会　査読委員
第 8 回日本運動器理学療法学会学術大会　査読委員
茨城県理学療法士会 学会･学術誌部 学術誌編集委員
令和 3 年度理学療法士会新人教育プログラム研修会　講師「運動器疾患の理学療法」
2020 年度
第 8 回日本予防理学療法学会学術大会　査読委員
第 7 回日本運動器理学療法学会学術大会　査読委員
茨城県理学療法士会 学会･学術誌部 学術誌編集委員
令和 2 年度理学療法士会新人教育プログラム研修会　講師「運動器疾患の理学療法」
第 24 回茨城県理学療法士学会　査読委員
3　2020～2024 年度の社会での主な活動
2024 年度
日本ブラインドサッカー協会医事部（メディカルトレーナー）
2023 年度
日本ブラインドサッカー協会医事部（メディカルトレーナー）
日本ブラインドサッカー　日本選手権帯同
2022 年度

日本ブラインドサッカー協会医事部（メディカルトレーナー）
日本ブラインドサッカー　ユーストレセン･ナショナルトレセン合宿帯同
日本ブラインドサッカー　女子日本代表合宿帯同
2021 年度
パラリンピック帯同 5 人制サッカー（ブラインドサッカー）メディカルスタッフ帯同（8/24～9/5）
日本ブラインドサッカー協会医事部（メディカルトレーナー）
日本ブラインドサッカー　ユーストレセン･ナショナルトレセン合宿帯同
2020 年度
アスリートプライド出演（障がい者スポーツ ブラインドサッカー）　BS スカパー　8/28 放送
日本ブラインドサッカー協会医事部（メディカルトレーナー）
日本ブラインドサッカー ユーストレセン･ナショナルトレセン合宿帯同

所属　医療保健学部 学科　理学療法学科	職名　講師	氏名　有田　真己	学　位	博士（人間科学）
			国家資格	理学療法士

I　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
リハビリテーション概論	2020～2025 年	リハビリテーションが歴史的・地域的にどのように発展してきたのかについて理解を深めるための授業である。科目分担者として 15 コマ中 2 コマの授業を担当した。講義では、理学療法評価から治療プログラム立案までの臨床場面における流れや各専門職種の内容について理解を深める目的で授業を実施した。また、職能団体としの活動について、WCPT の役割から茨城県士会の活動まで詳しく解説した。授業では臨床現場の写真を多く使用した PowerPoint スライド資料を作成し、学生へ配布した。成績は、配布資料の中から選択問題を作成し。定期試験の中で評価した。
高齢者障害基礎理学療法学	2020～2025 年	高齢者の生活機能、能力および活動は多様である一方、加齢による生理的機能をはじめとした生活を取り巻く環境の変化について理解を深めるための授業である。科目分担者として 8 コマ中 2 コマの授業を担当した。講義では、老年症候群の症候やフレイル、サルコペニア、認知症など高齢者特有の病態について、理解を深めるための授業を実施した。授業では、講義用の PowerPoint スライド資料および配布資料を活用した。また、各回の授業後半に確認小テストを実施し、学生の理解度について確認をした。成績は、授業資料の中から選択問題を作成し、定期試験の中で評価した。
高齢者障害理学療法評価学	2020～2025 年	高齢者を対象とする理学療法において、生活機能や症候特性を把握することが運動負荷量や介入目標の設定につながることを理解するために高齢者特有の症候特性について学習する授業である。科目分担者として 8 コマ中 4 コマの授業を担当した。講義では、呼吸・循環・消化器・運動器・代謝・内分泌・腎機能について、理解を再確認するための授業を実施した。授業では、講義用の PowerPoint スライド資料および配布資料を活用した。また、各回の授業後半に確認小テストを実施し、学生の理解度について確認をした。成績は、授業資料の中から選択問題を作成し、定期試験の中で評価した。

高齢者障害理学療法治療学	2020～2025 年	病期に応じた疾患別の理学療法について、演習形態での授業である。代表的疾患である骨関節障害・脳血管障害・内部障害を取り上げ、実際に実技をまじえながら実施する授業である。科目分担者として、30 コマ中 26 コマの授業を担当した。授業では、脳血管障害の症例を用いた病態の整理と理学療法評価の抽出および実技について、体験しながら臨床像を深く探る授業を実施した。授業では、配布資料を基に学生同士が模擬患者役と評価者となり、それぞれ実技を経験した。成績は、症例に対するレポート課題として評価した。
生活環境論実習	2020～2025 年	障害者や高齢者を取り巻く生活環境整備の重要性を理解してもらうため、いろいろな模擬体験を通じて障壁について体感すると同時に、福祉用具や福祉機器を用いた対応、対策および家屋環境整備のポイントについて理解する授業である。2022 年より科目責任者として 30 コマ中 30 コマの授業を担当した。授業では、車いすの機能、介助方法、姿勢管理、福祉用具（歩行補助具など）、自助具、高齢者の体験について、実技を通じて環境整備および用具の機能について理解を深める授業を実施した。成績は、実技試験、課題レポートおよび発表により評価した。
義肢装具学実習	2020～2025 年	義肢・装具の教材に触れながら基本的な構造と機能について、体験を通じて理解を深める授業である。科目分担者として、32 コマ中 24 コマの授業を担当した。授業では、上肢スプリント、座位保持装置、陰性モデル、インソール、長・短下肢の採寸といった製作課題について、実技をまじえた授業を実施した。また、義足体験を通じて継手の機能をはじめ患者が抱える障害の理解を深める授業を展開した。成績は、製作課題の作品の出来栄えについて評価し、レポート課題でも評価した。
内部障害の特性と対応	2020～2025 年	内部障害を抱える患者に適切な理学療法を提供できることを目的とし、様々な病態および各療法を学ぶ授業である。科目分担者として、15 コマ中 1 コマの授業を担当した。授業では、患者教育に大切な行動変容の技法について、行動が起きている現象を客観的にとらえ、その行動が強化あるいは弱化されるのかについてのメカニズムについて理解するための授業を実施した。成績は、授業配布資料の中から選択肢問題を作成し、定期試験の中で評価した。
地域理学療法学	2020～2025 年	地域リハビリテーションに関連する地域保健福祉政策と法制度について説明し、在宅高齢者や障害者のニーズについて理解を深める授業である。また、家族との協力関係の構築や住宅改修のための基本的知

		識を習得する。科目分担者として、15 コマ中 7 コマの授業を担当した。授業では、介護保険制度について背景と仕組みについて、各サービス内容を詳しく説明する授業を実施した。理学療法士が各サービスの中でどのような役割があるのかについて説明した。成績は、授業配布資料の中から選択肢問題を作成し、定期試験の中で評価した。
理学療法セミナーⅡ	2020～2025 年	理学療法士の公益性・道徳性・専門性について深く学習するとともに、臨床実習に向け患者らとともに学びを共有するうえでのプロフェッショナリズムの大切さについて理解を深める授業である。科目分担者として 15 コマ中 12 コマの授業を担当した。授業では、リハビリテーションとチーム医療、臨床実習の目的と学習内容について説明した。また、外部講師を招聘しマナーやコミュニケーションといった社会的スキル向上を目的としたセミナーを実施した。成績は、課題レポートにて評価した。
見学実習	2020～2025 年	医療施設および介護保険施設の実地見学を行い、施設の機能的な役割、医療人としての基本的な接遇能力、理学療法の目的、疾患と障害の関係、および多職種との連携の重要性につて学習するための実習である。科目責任者補佐として、実習事前教育および実習ご報告会の準備などを実施した。また、実習施設との調整をはじめトラブル対応および事務手続き処理についてまとめた。成績は、大学提出課題内容および報告会での教員評価にて成績を判定した。
予防医学	2023～2025 年	理学療法の観点から、障害の治療を促すものに加え、疾病や老年症候群に対する予防の重要性について理解を深める授業である。また、対象者それぞれが健康に良い行動を獲得していくように促していくポイントについて理解することを目的とした授業を展開した。科目責任者として 8 コマ中 4 コマの授業を担当した。授業では、ロコモティブシンドローム、フレイル、サルコペニアおよび予防理学療法分野について詳しく説明した。成績は、課題レポートおよび小テストにて評価した。
在宅障害者と理学療法	2020～2024 年	在宅障害者の在宅生活を維持するために必要な知識と理学療法士の役割について実例を用いながら深く学んでいく授業である。また、障害者や高齢者が抱える社会問題についても取り上げ、学生が主体的に考えていく授業である。科目分担者として 8 コマ中 2 コマの授業を担当した。授業では、介護予防および健康増進の重要性について詳しく説明した。成績は、授業配布資料の中から選択肢問題を作成し、定期試験にて評価した。

生理学実習	2020～2022 年	生理的な反応や身体の動きについて実験を行う授業である。運動系・感覚系・臓器系の仕組みについて理解を深めることを目的としている。最終授業では、総合討論会を実施し教員からのフィードバックや質疑応答を重ね理解を深める授業である。科目分担者として、45 コマ中 42 コマの授業を担当した。授業では、呼吸器系・循環器系について実験を中心に理解を深める授業を実施した。成績は、課題レポートにて評価した。
介護概論	2021～2024 年	人口減少・少子高齢社会が急速に進行している日本において、介護を取り巻く状況も大きく変化していることについて深く理解する授業である。また、介護と保健・医療における多職種の連携の必要性を学ぶとともにチームアプローチの重要性についても理解する。科目分担者として 8 コマ中 2 コマの授業を担当した。授業では、認知症患者のためのケアおよび福祉用具の種類と機能について詳しく説明した。成績は、授業配布資料の中から選択肢問題を作成し、定期試験にて評価した。
生活環境論	2022～2025 年	心身に何らかの障害を抱える障害者や高齢者が安心して生活できる住居環境・地域環境について深く理解する授業である。科目責任者として 8 コマ中 7 コマの授業を担当した。授業では、日常生活を支援する機器（車いす、歩行補助具、福祉機器、自助具など）についての説明および疾患別による生活環境整備の要点について詳しく説明した。また、転倒予防の視点から家屋内環境の整備するポイントについて、現場で活躍する理学療法士を招聘し、ディスカッションした。成績は、授業内容について定期試験で評価した。
2　作成した教材（150 字程度まで）		
リハビリテーション概論（理学療法学科対象）の講義用 PowerPoint スライド資料	2020～2025 年	理学療法学科 1 年次対象のリハビリテーション概論の講義を行った際、PowerPoint スライド資料（2 点、計 131 枚）を作成し、配布した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
リハビリテーション概論（理学療法学科対象）の講義用配布資料	2020～2025 年	理学療法学科 1 年次対象のリハビリテーション概論の講義を行った際、授業内容をまとめたプリント（A4、計 11 枚）を配布資料として作成した。講義の後にはプリントの見直しをし、変更、修正を行った。
高齢者障害基礎理学療法学（理学療法学科対象）の講義用 PowerPoint スライド資料	2020～2025 年	理学療法学科 3 年次対象の高齢者障害基礎理学療法学の講義を行った際、PowerPoint スライド資料（2 点、計 110 枚）を作成し、配布した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
高齢者障害基礎理学療法学（理学療法学科対象）の講義用配布資料	2020～2025 年	理学療法学科 3 年次対象の高齢者障害基礎理学療法学の講義を行った際、授業内容をまとめたプリント（A4、計 20 枚）を配布資料とし

		て作成した。講義の後にはプリントの見直しをし、変更、修正を行った。
高齢者障害基礎理学療法学（理学療法学科対象）の確認用小テスト	2020～2025 年	理学療法学科 3 年次対象の高齢者障害基礎理学療法学の講義を行った際、授業についての理解度を測るための小テスト（A4、計 8 枚）を作成した。毎回、理解度を確認し、理解が足らない部分について授業資料を見直し、修正した。
高齢者障害理学療法評価学（理学療法学科対象）の講義用 PowerPoint スライド資料	2020～2025 年	理学療法学科 3 年次対象の高齢者障害理学療法評価学の講義を行った際、PowerPoint スライド資料（6 点、計 225 枚）を作成し、配布した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
高齢者障害理学療法評価学（理学療法学科対象）の講義用配布資料	2020～2025 年	理学療法学科 3 年次対象の高齢者障害理学療法評価学の講義を行った際、授業内容をまとめたプリント（A4、計 70 枚）を配布資料として作成した。講義の後にはプリントの見直しをし、変更、修正を行った。
高齢者障害理学療法評価学（理学療法学科対象）の確認用小テスト	2020～2025 年	理学療法学科 3 年次対象の高齢者障害理学療法評価学の講義を行った際、授業についての理解度を測るための小テスト（A4、計 15 枚）を作成した。毎回、理解度を確認し、理解が足らない部分について授業資料を見直し、修正した。
高齢者障害理学療法治療学（理学療法学科対象）の授業用配布資料	2020～2025 年	理学療法学科 3 年次対象の高齢者障害理学療法治療学の演習を行った際、授業内容をまとめた PowerPoint スライド資料（3、計 123 枚）を配布資料として作成した。演習の後にはプリントの見直しをし、変更、修正を行った。
高齢者障害理学療法治療学（理学療法学科対象）の演習用資料	2020～2025 年	理学療法学科 3 年次対象の高齢者障害理学療法治療学の演習を行った際、授業の進行のためのまとめたガイド資料（A4、計 10 枚）を作成し、手持ちの授業進行のためのガイドラインとした。
生活環境論実習（理学療法学科対象）の授業用配布資料	2020～2025 年	理学療法学科 2 年次対象の生活環境論実習の演習を行った際、PowerPoint スライド資料（6 点、計 199 枚）を作成し、配布した。演習の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
生活環境論実習（理学療法学科対象）の課題レポート資料の作成	2020～2025 年	理学療法学科 2 年次対象の生活環境論実習の演習を行った際、課題レポートの資料（A4、計 29 枚）を作成し、配布し、提出された課題レポートを添削した。点数が不足している点について、授業資料を見直し、修正した。
義肢装具学実習（理学療法学科対象）の講義用 PowerPoint スライド資料	2020～2025 年	理学療法学科 3 年次対象の義肢装具学実習の演習を行った際、PowerPoint スライド資料（1 点、計 45 枚）を作成し、配布した。演習の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
義肢装具学実習（理学療法学科対象）の課題レポート資料の作成	2020～2025 年	理学療法学科 3 年次対象の義肢装具学実習の演習を行った際、課題

		レポートの資料（A4、計 2 枚）を作成し、配布し、提出された課題レポートを添削した。点数が不足している点について、授業資料を見直し、修正した。
内部障害の特性と対応（理学療法学科対象）の講義用 PowerPoint スライド資料	2020～2025 年	理学療法学科 1 年次対象の内部障害の特性と対応の講義を行った際、PowerPoint スライド資料（1 点、計 51 枚）を作成し、配布した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
地域理学療法学（理学療法学科対象）の講義用 PowerPoint スライド資料	2020～2025 年	理学療法学科 3 年次対象の地域理学療法学の講義を行った際、PowerPoint スライド資料（4 点、計 254 枚）を作成し、配布した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
地域理学療法学（理学療法学科対象）の講義用配布資料	2020～2025 年	理学療法学科 3 年次対象の地域理学療法学の講義を行った際、授業内容をまとめたプリント（A4、計 43 枚）を配布資料として作成した。講義の後にはプリントの見直しをし、変更、修正を行った。
地域理学療法学（理学療法学科対象）の確認用小テスト	2020～2025 年	理学療法学科 3 年次対象の地域理学療法学の講義を行った際、授業についての理解度を測るための小テスト（A4、計 8 枚）を作成した。毎回、理解度を確認し、理解が足らない部分について授業資料を見直し、修正した。
理学療法セミナーⅡ（理学療法学科対象）の講義用 PowerPoint スライド資料	2020～2025 年	理学療法学科 2 年次対象の理学療法セミナーⅡの講義を行った際、PowerPoint スライド資料（1 点、計 44 枚）を作成し、配布した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
理学療法セミナーⅡ（理学療法学科対象）の講義用ガイド資料	2020～2025 年	理学療法学科 2 年次対象の理学療法セミナーⅡの講義を行った際、授業内容をまとめたプリント（A4、計 4 枚）をガイド資料として作成した。講義の後にはガイド資料の見直しをし、変更、修正を行った。
見学実習（理学療法学科対象）の講義用 PowerPoint スライド資料	2020～2025 年	理学療法学科 2 年次対象の見学実習の事前教育講義を行った際、PowerPoint スライド資料（3 点、計 105 枚）を作成し、配布した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
見学実習（理学療法学科対象）の講義用配布資料	2020～2025 年	理学療法学科 2 年次対象の見学実習の事前教育講義を行った際、内容をまとめたプリントおよび活用資料、実習手引き（A4、計 50 枚）を配布資料として作成した。講義の後にはプリントの見直しをし、変更、修正を行った。
予防医学（理学療法学科対象）の講義用 PowerPoint スライド資料	2023～2025 年	理学療法学科 4 年次対象の予防医学の講義を行った際、PowerPoint スライド資料（2 点、計 76 枚）を作成し、配布した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
予防医学（理学療法学科対象）の課題資料	2023～2025 年	理学療法学科年次対象の予防医学の講義を行った際、内容をまとめたプリントおよび課題資料（A4、計 5 枚）を課題資料として作成した。講義の後には課題資料を見直し、理解が不足している点について授業

		スライドの変更、修正を行った。
予防医学（理学療法学科対象）の確認用小テスト	2023～2025 年	理学療法学科 4 年次対象の予防医学の講義を行った際、授業についての理解度を測るための小テスト（A4、計 8 枚）を作成した。毎回、理解度を確認し、理解が足らない部分について授業資料を見直し、修正した。
在宅障害者と理学療法（理学療法学科対象）の講義用 PowerPoint スライド資料	2020～2024 年	理学療法学科 3 年次対象の在宅障害者と理学療法の講義を行った際、PowerPoint スライド資料（1 点、計 102 枚）を作成し、配布した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
在宅障害者と理学療法（理学療法学科対象）の講義用配布資料	2020～2024 年	理学療法学科 3 年次対象の在宅障害者と理学療法の講義を行った際、内容をまとめたプリントおよび活用資料、実習手引き（A4、計 7 枚）を配布資料として作成した。講義の後にはプリントの見直しをし、変更、修正を行った。
生理学実習（理学療法学科対象）の講義用 PowerPoint スライド資料	2020～2022 年	理学療法学科 1 年次対象の生理学実習の実験・実習を行った際、PowerPoint スライド資料（5 点、計 115 枚）を作成し、配布した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
生理学実習（理学療法学科対象）の講義用配布資料	2020～2022 年	理学療法学科 1 年次対象の生理学実習の実験・実習を行った際、内容をまとめたプリントおよび課題資料（A4、計 27 枚）を配布資料として作成した。講義の後にはプリントの見直しをし、変更、修正を行った。
介護概論（理学療法学科対象）の講義用 PowerPoint スライド資料	2021～2024 年	理学療法学科 1 年次対象の介護概論の講義を行った際、PowerPoint スライド資料（2 点、計 72 枚）を作成し、配布した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
生活環境論（理学療法学科対象）の講義用 PowerPoint スライド資料	2022～2025 年	理学療法学科 2 年次対象の生活環境論の講義を行った際、PowerPoint スライド資料（7 点、計 401 枚）を作成し、配布した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
生活環境論（理学療法学科対象）の確認用小テスト	2022～2025 年	理学療法学科 2 年次対象の生活環境論の講義を行った際、授業についての理解度を測るための小テスト（A4、計 28 枚）を作成した。毎回、理解度を確認し、理解が足らない部分について授業資料を見直し、修正した。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
4　その他教育活動上特記すべき事項		
第 27 回 FD フォーラム報告会報告	2022 年 3 月	第 2 分科会「オンライン授業における学びの成果をいかに評価するか」

		について、報告を行った。

Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
2　特許		
3　その他職務上の実績に関する事項		
日本地域理学療法学会　選挙管理委員会　副委員長	2023 年	

Ⅲ　研究活動					
著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					
論文					
Changes in physical function of frail elderly females in the one-year long-term care prevention program	共著	2023 年	The Journal of Physical Therapy Science Vol.35	Rika Mangyo, Takumi Yamada, Naoki Arita	p289-292
主任介護支援専門員のストレスおよびレジリエンスの関係	共著	2022 年	つくば国際大学医療保健学研究 Vol. 13	小林由美子，林隆司，高尾敏文，**有田真己**，沼尾夏葵	p41-50
中学・高校における運動活動と大学生の運動実施との関係	共著	2021 年	常葉大学健康科学部研究報告書 Vol.8(1)	中野渉，**有田真己**，荒木章裕，中野聡子	p19-27
報告					
学会発表					

主任介護支援専門員のストレスおよびレジリエンスの関係	共著	2021 年 9 月	地域活性学会 第 13 回研究大会	小林由美子，林隆司，高尾敏文，**有田真己**，沼尾夏葵	一般演題
主観的実感を認識するまでに必要な身体パフォーマンステストの客観的変化量	共著	2021 年 9 月	第 8 回日本予防理学療法学会	**有田真己**，岩井浩一，万行里佳	一般演題

Ⅳ　学会等および社会における主な活動
1　現在の所属学会
日本理学療法士協会 茨城県理学療法士会 日本予防理学療法学会 日本地域理学療法学会 日本健康心理学会 日本保健科学学会 理学療法科学学会
2　2020～2024 年度の学会での主な活動
日本地域理学療法学会　選挙管理委員会　副委員長（2023 年） 日本地域理学療法学会　査読　（2020 年～2024 年） 日本予防理学療法学会　査読　（2020 年～2024 年）
3　2020～2024 年度の社会での主な活動

所属　　医療保健学部 学科　　理学療法学科	職名　講師	氏名　　向後和典	学　位	修士（体育学）
			国家資格	

I　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
生理学実習	2011 年～現在	理学療法学科の学生を対象とした実習科目であった（担当：45／45 コマ）。実験およびレポート作成を通じて、生理学的知識の習得を図った。対面式授業であるが、オンライン環境を有効活用した。具体的には classroom 機能を有効活用した資料や課題のやり取りのオンライン化などである。
スポーツ障害と理学療法	2011 年～現在	理学療法学科教授らと共同で教育に参画した（担当：2／15 コマ）。理学療法学科の学生を対象とした実習科目であった。陸上競技の特性（主に競技運動・トレーニング運動中のメカニカルストレスの特性）について担当した。対面式授業であるが、オンライン環境を有効活用した。具体的には classroom を活用した資料や課題のやり取りのオンライン化などである。
スポーツ科学	2012 年～現在	理学療法学科講師と共同で教育に参画した（担当：2／8 コマ）講義科目であった。主にスポーツトレーニング構成・処方論・各種スポーツトレーニングの実際についての講義を受け持った。教室及びオンラインによるハイブリッド形式での授業を行なった。
スポーツ生理学	2012 年～現在	保健栄養学科の学生を対象にした授業である（担当：15／15 コマ）。主担当教員として参画した。スポーツ・運動中における生理学的な反応・適応について講義した。対面式授業であるが、オンライン環境を有効活用した。具体的には classroom 機能を活用し授業説明の録画配信による情報保障、資料や課題のやり取りのオンライン化などである。
スポーツ生理学実験	2012 年～現在	保健栄養学科の学生を対象にした実験形式の授業である（担当：15／15 コマ）。主担当教員として参画した。スポーツ・運動中における生理学的な反応について、実験・レポート作成を行なった。対面式授業であったがオンライン環境を有効活用した。具体的には classroom 機能を活用した資料や課題のやり取りのオンライン化などである。
解剖学実習	2013 年～現在	理学療法学科の学生を対象とした実習科目であった（担当：39／45 コマ）。総合的な人体の構造理解を深めることを目的に行なった。対面式授業であるが、オンライン環境を有効活用した。具体的には classroom

		機能を有効活用した資料や課題のやり取りのオンライン化などである。
健康スポーツ（前期・後期）	2017 年～現在	一般体育授業である（担当：15／15 コマ）。複数のスポーツ種目・エクササイズ種目の実践を通じ、それぞれのスポーツ・エクササイズを安全・安心に実践するための工夫を体験した。これらスポーツ・エクササイズの実践を通じて、生涯にわたるスポーツ参加の方法習得を目標とした授業であった。対面式授業であるが、オンライン環境を有効活用した。また安全管理の観点から一部オンデマンド授業を取り入れた。
理学療法セミナーⅠ	2020 年～現在	理学療法学科教授と共同で教育に参画した（担当：30／30 コマ）。理学療法学科の学生を対象とした科目であった。対面式授業であるが、オンライン環境の有効活用を意識した。具体的には、資料、課題のやり取りのオンライン化などである。
理学療法セミナーⅡ	2020 年 6 月～ 2022 年 1 月	理学療法学科教授と共同で教育に参画した（担当：15／15 コマ）。理学療法学科の学生を対象とした科目であった。対面式授業であるが、オンライン環境の有効活用を意識した。具体的には、資料、課題のやり取りのオンライン化などである。
理学療法セミナーⅢ	2020 年 11 月～ 2021 年 2 月	理学療法学科教授と共同で教育に参画した。理学療法学科の学生を対象とした科目であった。主にバイオメカニクス関連の講義を受け持った（担当：2／15 コマ）。元来は対面式授業であるが、社会状況を鑑み、急遽オンラインによる課題配信・同時双方向形式での説明による形式で行なった。
2　作成した教材（150 字程度まで）		
生理学実習授業資料	2011 年～現在	理学療法学科の授業「生理学実習」を行う際に用いた授業資料である。「筋骨格器系の機能①②」「筋電図」を担当した（PDF・スプレッドシート・ドキュメント混在：計 10 点・127 頁）。授業後、資料を見直し、変更や修正など更新を行なった。
スポーツ障害と理学療法授業資料	2011 年～現在	スポーツ障害と理学療法の授業で用いた授業資料である。（PDF：計 1 点・73

		頁)。授業後、資料を見直し、変更や修正など更新を行なった。
健康スポーツ授業資料	2017 年～現在	健康スポーツの授業で用いた授業資料である。授業全体の注意事項・各種スポーツ・運動実践の内容についてまとめた PDF 資料である（計 9 点・314 頁)。授業後、資料を見直し、変更や修正など更新を行なった。
スポーツ科学授業資料	2012 年～現在	スポーツ科学の授業で用いた授業資料である（PDF : 計 2 点・98 頁)。授業後、資料を見直し、変更や修正など更新を行なった。
スポーツ生理学授業資料	2012 年～現在	スポーツ生理学の授業で用いた授業資料である（PDF : 計 15 点・561 頁)。授業後、資料を見直し、変更や修正など更新を行なった。
スポーツ生理学実験授業資料	2012 年～現在	スポーツ生理学実験の授業で用いた授業資料である（PDF・スプレッドシート・ドキュメント混在 : 計 16 点・243 頁)。授業後、資料を見直し、変更や修正など更新を行なった。
解剖学実習授業資料	2013 年～現在	理学療法学科の授業「解剖学実習」を行う際の資料である。総取りまとめを担当した。(PDF・ドキュメント混在 : 計 14 点・72 頁)。授業後、資料を見直し、変更や修正など更新を行なった。
理学療法セミナーⅠ授業資料	2020 年～現在	理学療法セミナーⅠの授業で用いた資料である（PDF : 計 3 点・14 頁、Google フォーム・Google スプレッドシート・Google スライド・Google ドキュメント混在 : 計 36 点)。
理学療法セミナーⅡ授業資料	2020 年 6 月～2022 年 1 月	理学療法セミナーⅡの授業で用いた資料である（Google フォーム・Google スプレッドシート混在 : 計 15 点)。
バイオメカニクス 2021 年度版	2021 年	理学療法セミナーⅢの授業で用いた資料である（PDF : 計 1 点・75 頁)。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
4　その他教育活動上特記すべき事項		
理学療法学科における卒業研究指導	2024 年	理学療法学科 4 年次対象の卒業研究において 1 名の学生に対して指導を行った。 （2015 年度より指導。最大 4 名／年、0 名／年の年も多くある）

Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	

1　研究助成金		
2　特許		
3　その他職務上の実績に関する事項		

Ⅲ　研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					
論文					
大学キャンプ実習における学びの整理：レポートの内容分析より	共著	2022 年 3 月	大学体育研究 第 44 号	向後佑香，大友あかね，坂谷充，**向後和典**，坂本昭裕	31-41
報告					
学会発表					

Ⅳ　学会等および社会における主な活動

1　現在の所属学会

日本体育学会
全国大学体育連合
日本野外教育学会
日本体力医学会
大学スキー研究会

2　2020～2024 年度の学会での主な活動

日本野外教育学会 第 27 回大会　大会実行委員（2023 年 10 月～2024 年 7 月）
大学スキー研究会　全国幹事（2024 年 10 月～現在）

3　2020～2024 年度の社会での主な活動
かすみがうらマラソンコンディショニングブース・救護スタッフ（2023年4月・2024年4月） つくばマラソンコンディショニングブース（2023年11月・2024年11月） さいたまマラソンコンディショニングブース（2024 年 2 月） 東風高校硬式野球部トレーナー活動（コンディショニングサポート・メディカルチェック）（2023年～） 牛久高校硬式野球部トレーナー活動（コンディショニングサポート・メディカルチェック）（2023年～） 土浦二高硬式野球部トレーナー活動（コンディショニングサポート・メディカルチェック）（2023年～） 土浦工業高硬式野球部トレーナー活動（コンディショニングサポート・メディカルチェック）（2023年～）

所属　医療保健学部 学科　理学療法学科	職名　講師	氏名　松嶋　美正	学　位	博士
			国家資格	理学療法士

Ⅰ　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
高齢者障害基礎理学療法学	2020 年～現在	高齢者を中心に成人以降の加齢変化、いわゆる老化についての定義や社会的背景、感覚、運動などの生理機能、また精神心理に至るまで幅広い視点で講義を行った。
高齢者障害理学療法評価学	2020 年～現在	高齢者を対象とする理学療法において、生活機能や症候特性を把握し、運動処方や目標設定などを教授し、また諸機能の測定方法などの講義を行った。
高齢者障害理学療法治療学	2020 年～現在	高齢者障害基礎理学療法学や高齢者障害理学療法評価学で学んだ知識の確認と模擬患者を疾患別に設定し、学生を各グループに分割して演習を行った。
運動学実習	2020 年～現在	身体における重心位置の計測を担当した。セグメンタルメソッドを用い、開脚立位と片脚立位における重心位置を計測した。骨指標にマーカーをつけ、デジタルカメラで撮影、その後線画により重心位置を計算する。
日常生活活動学実習	2020 年～現在	QOL 評価、歩行補助具、神経難病、切断の日常生活活動の指導をグループごとに行った。
クリニカルリーズニング	2020 年～現在	運動器疾患、脳血管疾患の症例において KJ 法を用いて、問題点の抽出、理学療法プログラムの作成まで指導した。経験者として臨床的な助言を多くした。
理学療法セミナーⅡ	2020 年～現在	客観的臨床能力試験（OSCE）において、評価・測定を担当した。
理学療法総合セミナー	2020 年～現在	国家試験の過去問題を使用し、試験の作成を行った。
理学療法研究方法論	2020～2022 年	総務省、厚生労働省のホームページにある統計データの使用方法などを講義し、また学生自身が興味のある分野の抄読会を行った。さらに簡単ではあるが、課題としてスライド作成を課し、プレゼンテーション発表を行った。
2　作成した教材（150 字程度まで）		
高齢者障害理学療法評価学	2020 年～現在	高齢者を対象とする評価測定方法を説明するスライドを作成した。

高齢者障害理学療法治療学	2020 年～現在	グループワークを円滑に進めるためのスライド、資料を作成した。
運動学実習	2020 年～現在	セグメンタルメソッドにおける実習手引書を作成した。
日常生活活動学実習	2020 年～現在	QOL 評価における日常生活活動の資料を作成した。
理学療法総合セミナー	2020 年～現在	国家試験の過去問を参考に試験問題を作成した。
理学療法研究方法論	2020～2022 年	学生グループに対して、研究論文などの文献の資料を配布した。
高齢者の疫学	2020 年	人口統計の資料、論文抄読会のための資料を配布した。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
4　その他教育活動上特記すべき事項		
国家試験対策	2020 年～現在	国家試験対策として模擬試験用の問題を作成した。
入学前課題	2020 年～現在	推薦入試に合格した高校生を対象とする入学前課題として、インターネットを利用した学習形態である e ラーニングシステムを Google Forms（無料）により構築した。 学習課題はセンター試験の過去問題「生物基礎」から人体に関する問題を抜粋し、4 回分のテスト形式の課題を作成した。

Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
2　特許		
3　その他職務上の実績に関する事項		

Ⅲ　研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等

著書					
セラピストのための脳卒中評価指標の解釈と活用	共著	2020 年 3 月	メジカルビュー社	髙見彰淑、松嶋美正	p150-157
論文					
報告					
学会発表					

Ⅳ　学会等および社会における主な活動
1　現在の所属学会
日本理学療法 International Society of Posture & Gait Research
2　2020～2024 年度の学会での主な活動
3　2020～2024 年度の社会での主な活動

所属　医療保健学部 学科　理学療法学科	職名　講師	氏名　山本竜也	学　位	博士（神経科学）
			国家資格	理学療法士

I　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
高次脳機能障害の理学療法学 （対象：つくば国際大学 理学療法学科 3 学年）	2014 年～現在	科目責任者として全 15 コマを担当し、神経系障害や神経科学の基礎からニューロリハビリテーションの最新知見まで体系的に解説している。動画教材や Web コンテンツを活用し視覚的・体験的理解を促進、実際の症例画像を用いた脳画像読影演習やグループ討議を通じて臨床的思考力と多職種連携に必要な力を育成している。講義後は Google フォームで感想を収集し、学生の理解度や関心を把握し、次回の講義に反映する双方向的運営を実践している。授業評価アンケートでは、毎年全ての項目において平均 4.5 点以上と学科平均を大きく上回る高評価を得ており、受講を契機に中枢神経系への関心を深め、関連病院で活躍し学会等で成果を発表する卒業生も多い。
解剖学実習 （対象：つくば国際大学 理学療法学科 1 学年）	2014 年～現在	解剖模型や標本を用いたスケッチ実習を担当し、方法や取り組み方を丁寧に指導するとともに、学生の意欲向上を図るため、作品にはポジティブなフィードバックを心掛けた。2024 年度からは、模型・標本に加え、世界基準の解剖学教育を目指し、高品質な 3D デジタル教材「Visible Body（VB）」を用いたアクティブラーニングを導入した。複雑な解剖学的構造を三次元的に把握しやすく、デジタル操作に慣れた学生にも親和性が高く、好評を得ている。英語表記の VB 教材に対して翻訳ツールを活用しながら取り組むことで、英語資料の読解力育成にも注力している。これにより、構造理解の深化に加え、国際的な視野を持った学習姿勢の醸成にも寄与している。

神経系理学療法治療学 （対象：つくば国際大学 理学療法学科 3 学年）	2014 年～現在	脳血管障害に関して、国家試験にて出題されやすい内容を中心に、実際の症例動画を用いながら分かり易く解説した。演習授業では、実物の評価キットを用意し、各種評価法のグループ学習を行った。学部生からは毎年『貴重な体験ができた』と高い評価を得た。
神経系障害の特性と対応 （対象：つくば国際大学 理学療法学科 2 学年）	2016 年～現在	認知症に関する講義を担当。基礎から最新の話題までを動画を交えながら分かり易く解説した。特に認知症を巡る生活環境の歴史に関しては、毎年学生から大きな反響を得ることができた。また、認知症に関して分かり易くまとめられた最適な書籍がなかったため、オリジナル短編教材を作成した。
リハビリテーション医学 （対象：つくば国際大学 理学療法学科 2 学年 / 1 学年）	2014 年～現在	脳血管障害・脳外傷、神経難病を含む神経筋疾患、リハビリテーションの治療介入、に関する講義を担当。基本的な知識を実際の症例動画等を用いて分かり易く解説した。Google form の採点機能を用いた復習用 Web 教材を作成し、講義内容の理解促進を図った。最終試験では 1 学年にも関わらず、国家試験レベルの問題において平均点が 7 割以上に達する程の理解度を毎年得ることができた。
理学療法評価学演習 （対象：つくば国際大学 理学療法学科 2 学年）	2013 年～現在	体性感覚（表在・深部）および反射検査の実技演習を担当。学部生がイメージしやすいように、DVD 教材やデモンストレーションを豊富に交えている。毎年『大変わかりやすい』と高い評価を得ることができた。
リハビリテーション概論 （対象：つくば国際大学 理学療法学科 1 学年）	2014～2015 年, 2023 年～現在	リハビリテーションと心理、およびリハビリテーションを支える社会制度に関する講義を担当。学部生の興味を引き出すために、心理実験や Web 動画などを豊富に取り入れた。最終試験では 1 学年にも関わらず、国家試験レベルの問題の平均点が 8 割以上に達する程の理解度を得ることができた。
理学療法概論	2022 年～現在	理学療法の評価・介入、キャリア構築に関する講義を担当。補足資

（対象：つくば国際大学 理学療法学科 1 学年）		料を交えながら教科書に沿った授業展開を行った。Google form の採点機能を用いた復習用 Web 教材を作成した。学生からは「分かりやすい」など、多くのポジティブな感想を得ることができた。
卒業研究 （対象：つくば国際大学 理学療法学科 4 学年）	2016 年～現在	卒業研究では、研究計画の立案からデータ収集・解析、発表に至るまでの各段階において個別指導を行っている。2020 年 2024 年度にかけて指導した研究テーマは以下の通りである。 2020 年度『バーチャルリアリティを用いた脳卒中リハビリテーション介入に関する文献レビュー』 2021 年度『仮想現実を活用した空間性注意の 3 次元定量評価』 2022 年度『仮想現実を活用した空間性注意の 3 次元定量評価』 2023 年度『マルトリートメントが脳機能に与える影響に関する文献レビュー』
理学療法学セミナーⅠ （対象：つくば国際大学 理学療法学科 1 学年）	2014, 2015, 2017, 2019, 2022, 2023 年	初年次教育としてパワーポイントを用いたチュートリアル教育を企画立案・実施。学部生はプレゼンテーション資料を作成・発表し、グループや個人間にてプレゼンテーションの魅力を競い合うシステムを採用した。評価者は聴講者である学生が担い、論理展開や分かり易さを重視した発表を特に求めた。2022 年度からはプレゼンテーション動画資料を作成する課題を新たに取り入れた。授業評価では 4 点以上の高得点を得ることが出来た。2023 年度には、1 学年および他学年との交流を促進させるための企画（オリエンテーションやスポーツ大会）を、学生自身が計画するアクティブラーニングとして取り入れた。学生からは多くの絶賛を得ることができた。
理学療法学セミナーⅢ （対象：つくば国際大学 理学療法学科 3 学年）	2021 年～現在	2021 年度に Google form/classroom を活用した国家試験対策個人ワークシステムを新たに構築し、本セミナーの運営全般を担当。全範囲の国家試験問題に触れることを目標に、国家試験対策書籍（Question Bank）を中心とした教材運営や年間スケジュールの刷新を行い、既存内容を体系的に整理した。2022 年以降の国家試験では、全国平均を上回る合

		格率を維持しており、学生からも「高いモチベーションを持って取り組むことができた」と高評価を得ている。また、客観的臨床能力試験の中枢神経系領域を担当し、課題設定や評価項目を毎年見直すことで評価の客観性を担保した。技能評価に加え、模擬患者への態度への接し方や声掛けなどコミュニケーション面の評価充実も図った。
理学療法総合セミナー （対象：つくば国際大学 理学療法学科 4 学年）	2014 年～2021 年	脳血管障害および神経筋疾患に関する解説を担当。国家試験レベルの内容を分かり易く解説し、予想問題を含めた演習時間を豊富に取り入れた。模擬試験や本試験では本領域に関して例年良好な成績が得られた。
Social Networking Service（SNS）を用いた神経系領域に関する最新プレスリリースの配信 （対象：SNS ユーザー）	2012 年～現在	神経系領域を扱う各種研究機関及び大学のプレスリリースを、SNS（脳機能とリハビリテーション研究会）を介してフォロワー（Facebook：4525 人, Instagram：120 人, X【旧：Twitter】: 4198 人, 2025 年 10 月 8 日現在）へ配信。これにより科学的なリハビリテーションを指向するコメディカルスタッフの育成を図かっている。本活動の企画から運営の全般を担当している。
脳機能とリハビリテーション研究会 脳画像読影研修会 （対象：主に各種コメディカルスタッフ）	2011 年～現在	脳画像読影の仕方や教え方に関するグループワークにおけるファシリテーターを年に一度担当。その他、研修会運営全般に関与。2022 年度からはオンデマンド教材の配信とオンライングループワークのハイブリッド開催を行い、研修会参加者の理解の促進を図っている。参加者からの評価は毎年良好である。
生理学 （対象：茨城県立つくば看護専門学校 1 学年）	2016 年～現在	非常勤講師として生理学の講義と実習を担当。2016 年度の 18 コマから年々増加し、2022 年度以降は全 30 コマを継続して担当。試験は 2021 年度までは 6 コマごと、2022 年度からは 12 コマごとに実施し、問題作成から採点までを一貫して担当している。講義では基礎から病

		態・臨床応用までを、動画教材等を活用して視覚的に分かりやすく解説している。年 1 回のカエル解剖生理学実習では、神経・循環生理反応を観察し、理論と実体験を結びつけている。講義後には Google フォームを用いて簡易的な感想を収集し、学生の理解度や関心を把握して次回に反映する双方向的な授業運営を実践している。例年、学生からは「理解が深まった」「興味が湧いた」と高評価を得ており、教育効果の高い講義として定着している。
2　作成した教材（150 字程度まで）		
講義用 PowerPoint スライド	2014 年～現在	上記全ての講義における説明資料として講義用 PowerPoint スライドを作成した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正などの更新を行っている。
講義用 配布資料	2014 年～現在	上記全ての講義における補足資料として PowerPoint スライドを基に配布用資料を作成した。講義の後には配布資料を見直し、変更や修正などの更新を行っている。
理学療法学セミナーⅢ （対象：つくば国際大学 理学療法学科 3 学年）	2021 年～現在	Google サービスを用いて 3 年生国試対策システムを作成した。学生からは好評を得ている。毎年度、更新を重ねている。
リハビリテーション医学 （対象：つくば国際大学 理学療法学科 1 学年）	2019 年～現在	学生の理解度を促すために Google form の採点機能を用いた復習用 Web 教材を作成した。毎年度、更新を重ねている。
理学療法概論 （対象：つくば国際大学 理学療法学科 1 学年）	2022 年～現在	学生の理解度を促すために Google form の採点機能を用いた復習用 Web 教材を作成した。毎年度、更新を重ねている。
神経系障害の特性と対応 （対象：つくば国際大学 理学療法学科 2 学年）	2021 年～現在	認知症に関して分かり易くまとめられた最適な書籍がなかったため、オリジナルな短編教材を作成した。毎年度、更新を重ねている。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
脳機能とリハビリテーション研究会 2024 年 研修会 ファシリテーター （対象：主に各種コメディカルスタッフ）	2024 年 12 月	脳画像読解の仕方や教え方に関するグループワークを運営・実践した。オンデマンド教材の配信とライブグループワークによるハイブリッド開催を行い、参加者の理解の促進を図った。
脳機能とリハビリテーション研究会 2023 年 研修会 ファシリテーター （対象：主に各種コメディカルスタッフ）	2023 年 12 月	脳画像読解の仕方や教え方に関するグループワークを運営・実践した。オンデマンド教材の配信とライブグループワークによるハイブリ

		ッド開催を行い、参加者の理解の促進を図った。
脳機能とリハビリテーション研究会 2022 年 研修会 ファシリテーター （対象：主に各種コメディカルスタッフ）	2022 年 12 月	脳画像読解の仕方や教え方に関するグループワークを運営・実践した。参加者の理解の促進を図るため、2022 年度よりオンデマンド教材の配信とグループワークによるハイブリッド開催を開始した。
脳機能とリハビリテーション研究会 2021 年 研修会 ファシリテーター （対象：主に各種コメディカルスタッフ）	2021 年 12 月	脳画像読解の仕方や教え方に関するグループワークを運営･実践した。
4　その他教育活動上特記すべき事項		
第 30 回脳機能とリハビリテーション研究会記念学術集会 教育セミナー 講師 （対象：主に各種コメディカルスタッフ）	2024 年 11 月	『脳の構造と機能』に関する教育セミナー（オンデマンド）を担当
第 29 回 FD フォーラム報告会 報告者 （対象：主につくば国際大学教員）	2024 年 3 月	『第 11 分科会: 学習指導要領が変わると大学教育も変わる？』を担当
第 29 回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会 記念教育セミナー 講師 （対象：主に各種コメディカルスタッフ）	2023 年 10 月	『症例報告が基礎研究にもたらすブレイクスルー』に関する教育セミナー（対面）を担当
第 29 回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会 記念教育セミナー 講師 （対象：主に各種コメディカルスタッフ）	2023 年 10 月	『脳の構造と機能』に関する教育セミナー（オンデマンド）を担当
第 48 回つくば国際大学卒後研修会 講師 （対象：主につくば国際大学 理学療法学科 卒業生）	2023 年 9 月	『脳情報の流れと損傷後の機能障害:シングルケーススタディの薦め』に関する教育講演を担当
第 42 回脳機能とリハビリテーション研究会 Web 勉強会 講師 （対象：主に各種コメディカルスタッフ）	2022 年 11 月	『小脳の構造と機能』に関する講義を担当

Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究（B）	2024 年～	上肢運動機能回復過程の基盤となる神経投射変化の全貌：サル脳梗塞モデルを用いた解析　【代表】肥後範行　【分担】山本竜也
つくば国際大学 共同研究費（競争的資金）	2024 年～	フェレット海馬の組織構築に及ぼす新生仔期リポポリサッカリド曝露の影響　【代表】澤田和彦　【分担】山本竜也

日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究（B）	2023 年～	注意容量は脳のどこに存在するのか 【代表】木村剛英　【分担】山本竜也
日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究（C）	2022 年～	サル脳損傷後の大規模神経回路可塑性における治療的リハビリテーションの効果　【代表】山本竜也
日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究（B）	2020～2024 年	運動機能回復過程で形成される投射経路の機能的意義：サル脳損傷モデルによる解析　【代表】肥後範行　【分担】山本竜也
つくば国際大学 共同研究費（競争的資金）	2020～2021 年	フェレット海馬の組織構築に及ぼす新生仔期バルプロ酸曝露の影響 【代表】澤田和彦　【分担】山本竜也
日本学術振興会 科学研究費助成事業 若手研究	2018～2022 年	脳が有する可塑性の容量：複合損傷マカクサルにおける運動機能代償 【代表】山本竜也
2　特許		
特になし		
3　その他職務上の実績に関する事項		
脳機能とリハビリテーション研究会 理事	2011～現在	
国立研究開発法人 産業技術総合研究所　研究協力員	2013～現在	
Journal of Rehabilitation Neurosciences 誌 Section Editor (Physical Therapy, Neuroscience)	2018～現在	
日本理学療法士協会ガイドライン・用語策定委員会 神経難病システマティックレビュー班 班員 （Clinical Question 2-B 班 責任者）	2018～2020	
日本基礎理学療法学会 学術大会 演題査読員	2018 年～現在	
Frontiers in Neuroscience 誌, Review Editor	2022 年～現在	
Experimental Brain Research 誌, Review Editor	2022 年～現在	
日本神経理学療法学会 茨城地方会, 部員	2023 年～現在	
関東甲信越ブロック理学療法士学会 演題査読員	2024 年～現在	
学術論文の査読（6 件）	2020～2024 年	

Ⅲ　研究活動					
著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					

脳機能の基礎知識と神経症候ケーススタディ：症例から学ぶリハビリテーション臨床思考	共著 （編集） （分担）	2022 年 9 月	メジカルビュー社	編集 : 脳機能とリハビリテーション研究会書籍出版部（石橋清成，山本竜也他 2 名） 共著者（掲載順）：石橋清成，山本竜也，他 27 名	総頁数：p.309 担当 : p.2-35, 86-95, 114-119, 134-138, 158-161, 172-175, 196-201, 208-215, 240-243, 258-263, 275-281 書籍内容の立案と全体構成の編集を担当。脳解剖・生理の基礎を解説した概論部、及び症例報告（半側空間無視、余剰幻肢、視床出血）の執筆を担当。
理学療法ガイドライン第２版	共著 （分担）	2021 年 10 月	医学書院	監修：公益社団法人 日本理学療法士協会 共著者：山本竜也， 他 1000 名以上	総頁数：p.632 担当：p.116-127 主にパーキンソン病に対する理学療法のガイドライン策定を担当。
論文（原著）					
Cerebellar Molecular Signatures in Non-Human Primates.	共著 （筆頭） （責任著者）	2024 年 10 月	The Journal of Comparative Neurology 532(10)（査読有）	T. Yamamoto, Y. Yoshida, T. Ose, Y. Murata, T. Hayashi, N. Higo（研究全般を担当）	e25678 総頁数：p21
Role of the medial agranular cortex in unilateral spatial neglect	共著	2024 年 4 月	Experimental Brain Research, 242(6)（査読有）	D. Ishii, H. Osaki, A. Yozu, T. Yamamoto, S. Yamamoto, M. Miyata, Y. Kohno（実験の考案、データ分析、論文執筆を担当）	p.1421-1428
Temporal progression of clinical and brain imaging findings in a	共著	2024 年 3 月	Journal of Rehabilitation	I. Shimizu, Y. Fujimoto, T.	総頁数：p11

case of right posterior thalamic hemorrhage: Notable improvement in thalamic ataxia with residual generalized attention disorder resulting in driving impairment	（責任著者）		Neurosciences, 24(1), p.i-xi（査読有）	Shimizu, M. Kawasaki, T. Yamamoto（データ取得を除く研究の全般を担当）	
Successive evaluation of clinical findings and brain images in left thalamic hemorrhage with a previous right putaminal hemorrhage	共著 （責任著者）	2020 年 9 月	Journal of Rehabilitation Neurosciences, 20(0)（査読有）	T. Ota, T. Yamamoto, R. Sako, A. Fujii, K. Nagasaka, T. Hondera, Y. Ozasa（データ取得を除く研究の全般を担当）	p.42-48
報告					
サル脳損傷後の大規模神経回路可塑性における治療的リハビリテーションの効果 2023 年度 実施状況報告書	単著	2024 年 4 月	科学研究費助成事業データベース	山本竜也	総頁数：p1
脳が有する可塑性の容量：複合損傷マカクサルにおける運動機能代償 2021 年度 報告書	単著	2022 年 4 月	科学研究費助成事業データベース	山本竜也	総頁数：p7
学会発表（国際学会）					
Large-scale cortical reorganization in the premotor-parietal connections of a macaque model with primary motor cortical lesion and recovery	共同 （筆頭）	2024 年 6 月	The Federation of European Neuroscience Societies Forum 2024, Vienna, Austria	T. Yamamoto, Y. Yoshida, T. Hayashi, Y. Murata, T. Ose, N. Higo	一般演題（ポスター発表，査読有）
Distinct expression patterns of Aldolase C, Phospholipase C beta 3, and beta 4 in the macaque cerebellum	共同 （筆頭）	2023 年 3 月	The 100th Anniversary Annual Meeting of the Physiological Society of Japan, Japan	T. Yamamoto, Y. Yoshida, T. Ose, Y. Murata, T. Hayashi, N. Higo	一般演題（ポスター発表，査読有）
Premotor-parietal cortical reorganization in a macaque model of primary motor cortical lesion and recovery	共同 （筆頭）	2021 年 7 月	The 44th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society, Japan	T. Yamamoto, Y. Yoshida, T. Hayashi, Y. Murata, T. Ose, N. Higo	一般演題（ポスター発表，査読有）
学会発表（国内学会）					
半側空間無視モデル動物の確立	共同	2024 年 11 月	第 30 回脳機能とリハビリテーシ	石井大典，尾崎弘展，四津	一般演題（口述発表，査読

とその応用			ョン研究会学術集会	有人，山本竜也，山本哲，河野豊	有）
視床出血による運動失調症状と認知機能低下が大幅に改善したが、運動感覚麻痺が残存した一症例報告	共同	2024 年 11 月	第 30 回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会	出澤鮎奈，池田彩花，石橋愛弓，末広ゆかり，山本竜也，出澤真乃	一般演題（口述発表，査読有）
マカクサル脳損傷後の運動機能回復に伴う大規模な大脳皮質間ネットワークの可塑的変化	共同（筆頭）	2024 年 11 月	第 30 回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会	山本竜也，吉田由子，林拓也，村田弓，合瀬恭幸，肥後範行	一般演題（口述発表，査読有）
脳の構造と機能	単独	2024 年 11 月	第 30 回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会	山本竜也	教育セミナー（オンデマンド，査読無）
脳損傷後のマカクサル運動機能回復と大脳皮質間ネットワークの大規模な可塑的変化	共同（筆頭）	2024 年 10 月	第 29 回日本基礎理学療法学会学術大会	山本竜也，吉田由子，林拓也，村田弓，合瀬恭幸，肥後範行	一般演題（口述発表，査読有）
視床出血症例に対するリハビリテーション評価の経過報告	共同	2024 年 10 月	第 43 回関東甲信越ブロック理学療法士学会	出澤鮎奈，池田彩花，石橋愛弓，末広ゆかり，山本竜也，出澤真之介	一般演題（ポスター発表，査読有）
症例報告が基礎研究にもたらすブレイクスルー	単独	2023 年 10 月	第 29 回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会	山本竜也	教育セミナー（口述発表，査読無）
1. 脳の構造と機能 【記念教育セミナー】著者から学ぶ！脳機能の基礎知識と神経症候ケーススタディ	単独	2023 年 10 月	第 29 回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会	山本竜也	教育セミナー（オンデマンド，査読無）
右視床後方出血における臨床所見と脳画像所見の時間経過：視床性運動失調は顕著に改善したが、ワーキングメモリ障害は残存した 1 症例	共同	2023 年 10 月	第 29 回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会	清水一生，山本竜也，藤本侑子，清水敏夫	一般演題（口述発表，査読有）
小脳における分子発現の特徴から霊長類の進化的適応を紐解く	共同（筆頭）	2023 年 10 月	第 29 回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会	山本竜也，吉田由子，林拓也，村田弓，合瀬恭幸，肥後範行	一般演題（口述発表，査読有）

小脳の構造と機能	単独	2022 年 11 月	第 42 回脳機能とリハビリテーション研究会 勉強会	山本竜也	話題提供（口述発表，査読無）
仮想現実を活用した空間性注意の 3 次元評価	共同	2022 年 9 月	第 28 回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会	椎名勇介，山本竜也	一般演題（口述発表，査読有）
サル脳損傷後の運動機能回復に伴う大脳皮質間ネットワークの可塑的変化	共同（筆頭）	2022 年 9 月	第 28 回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会	山本竜也，吉田由子，林拓也，村田弓，合瀬恭幸，肥後範行	一般演題（口述発表，査読有）
視床性運動失調の臨床所見と脳画像所見の経時的評価：右視床出血発症 3 ヶ月後に ADL 自立レベルにて自宅退院した症例	共同	2022 年 9 月	第 28 回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会	清水一生、山本竜也	一般演題（口述発表，査読有）
サル脳損傷後の運動機能回復に伴う神経回路可塑性：腹側運動前野から頭頂葉へ投射する経路の変化	共同（筆頭）	2021 年 9 月	第 27 回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会	山本竜也，吉田由子，林拓也，村田弓，合瀬恭幸，肥後範行	一般演題（口述発表，査読有）
陳旧性右被殻出血を有する左視床出血例における臨床所見と脳画像の継時的な評価	共同	2021 年 9 月	第 27 回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会	太田隆之，山本竜也，迫力太郎，藤井杏美，長坂和明，本寺哲一，小笹圭史	一般演題（口述発表，査読有）
脳損傷後の運動機能回復に伴う腹側運動前野ニューロンの可塑的変化	単独	2020 年 12 月	第 25 回日本基礎理学療法学会学術大会	山本竜也	専門理学療法士（基礎）必須発表会（ポスター発表，査読有）
非ヒト霊長類における H 波計測と麻酔による影響	共同	2020 年 12 月	第 25 回日本基礎理学療法学会学術大会	阿佐見裕二、山本竜也、肥後範行	一般演題（ポスター発表，査読有）
味覚刺激が持続性注意に与える影響～血中グルコース仮説と情動仮説の比較検証～	共同	2020 年 12 月	第 25 回日本基礎理学療法学会学術大会	下村優花、杉野一行、山本竜也	一般演題（ポスター発表，査読有）

Ⅳ　学会等および社会における主な活動
1　現在の所属学会
日本理学療法士協会 日本神経科学学会 日本生理学会 脳機能とリハビリテーション研究会 日本基礎理学療法学会 日本神経理学療法学会
2　2020～2024 年度の学会での主な活動
脳機能とリハビリテーション研究会 理事（2011 年～現在） 日本理学療法士協会 ガイドライン・用語策定委員会 神経難病システマティックレビュー班 班員（Clinical Question 2 B 班 責任者）（2018～2020 年） 日本基礎理学療法学会学術大会 演題査読員（2018 年～現在） 日本神経理学療法学会 茨城地方会, 部員（2023 年～現在） 関東甲信越ブロック理学療法士学会 演題査読員（2024 年～現在）
3　2020～2024 年度の社会での主な活動
Journal of Rehabilitation Neurosciences 誌 編集協力委員（査読者）（2013 年～現在） Journal of Rehabilitation Neurosciences 誌 Section Editor (Physical Therapy, Neuroscience)（2018 年～現在） Frontiers in Neuroscience 誌, Review Editor（2022 年～現在） Experimental Brain Research 誌, Review Editor（2022 年～現在）

所属　医療保健学部 学科　理学療法学科	職名　助教	氏名　木村剛英	学　位	博士（理学療法学）
			国家資格	理学療法士

Ⅰ　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
生理学実習	2022 年～現在	理学療法学科 1 年生を対象とした共通科目の授業である。科目の分担者として 4 5 コマ中 42 コマ担当した。筋紡錘への刺激など、様々な生理学の実習を実施した。担当回ではレポートを課し、レポートの内容で成績評価した。
理学療法治療計画論	2022 年～現在	理学療法学科 3 年生を対象とした専門科目の授業である。筆者は、科目の分担者として 15 コマ中 12 コマ担当した。グループディスカッションのファシリテーターが主な業務で、整形外科に関するセッションを担当した。期末試験では作問を一部担当し、自分が担当した部分の成績評価を行った。
内部障害理学療法治療学	2017 年～現在	理学療法学科 2 年生を対象とした専門科目の授業である。授業は講義と実習の 2 コマから構成される。筆者は、分担者として 60 コマ中 36 コマを担当した。内部障害を持つ患者に対する評価と治療に関する基礎的知識の学習を目的とした授業となっている。筆者は、血圧、心電図、運動療法、リスク管理に関する講義および実習を担当した。また、実技試験の一部を担当し、成績評価に関わった。
運動学実習	2017 年～2023 年	理学療法学科 2 年生を対象とした専門科目の授業である。筆者は科目の分担者として、45 コマ中 18 コマを担当した。理学療法士として必須の知識となる体表解剖、触診、関節可動域測定、徒手筋力測定の指導に携わった。また、実技試験も自分が担当した部分について評価を行った。
発達障害理学療法治療学	2017 年～2023 年	理学療法学科 2 年生を対象とした専門科目の授業である。筆者は科目の分担者として、60 コマ中 10 コマを担当した。授業は講義と実習の 2 コマから構成される。筆者は発達障害を持つ子どもに対する評価方法の講義・実習、治療方法に関する実技を担当した。また、期末試験の作問の一部を担当した。
理学療法評価学演習	2017 年～2023 年	理学療法学科 2 年生を対象とした専門科目の授業である。筆者は科目の分担者として、30 コマ中 12 コマを担当した。徒手筋力検査、関節可動域検査など理学療法士として必要な検査の指導を行った。また、

		実技試験も自分が担当した部分について評価を行った。
2　作成した教材（150 字程度まで）		
生理学実習（理学療法学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2022 年～現在	理学療法学科 1 年生の生理学実習の講義を行った際、PowerPoint スライド（合計 4 枚）を作成した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
理学療法治療計画論（理学療法学科対象）の講義用配布資料	2022 年～現在	理学療法学科 3 年生を対象とした講義を行った際、症例情報の提示や理学療法の思考過程をまとめた配布資料（A4, 5 枚）を作成した。講義の後には配布資料を見直し、変更や修正など、更新を行った。
内部障害理学療法治療学(理学療法学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2017 年～現在	理学療法学科 2 年生を対象とした講義を行った際、PowerPoint スライド（計 117 枚）を作成した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
発達障害理学療法治療学(理学療法学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2017 年～2023 年	理学療法学科 2 年生を対象とした講義を行った際、PowerPoint スライド（計 58 枚）を作成した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
4　その他教育活動上特記すべき事項		

Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
科研費（基盤研究 B)	2023 年～	注意容量は脳のどこに存在するのか 助成総額：19,240,000 円　【代表】木村剛英
2　特許		
3　その他職務上の実績に関する事項		

Ⅲ　研究活動					
著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					
論文					
Explicit instruction may impair the transfer of motor adaptation in an upper extremity motor task	共著(筆頭)	2024 年 7 月	Journal of Motor Behavior	Kimura T, Matsuura R	56(6) 678-685
Does a cognitive task promote implicit or explicit motor learning?	共著(筆頭)	2023 年 10 月	Journal of Motor Behavior	Kimura T., Nakano W.	55(6) 619-631
The content-dependent effect of the N-back task on dual-task performance	共著(筆頭)	2023 年 5 月	Behavioural Brain Research	Kimura T, Matsuura R	452(24) 114511
二重課題干渉により生じる問題の解決を目指して	単著	2021 年 11 月	基礎理学療法学 24(1)	木村剛英	46-52
報告					
学会発表					
深層学習を利用したより安全に転倒リスクを評価する方法の探索	単独	2024 年 10 月	第 29 回 基礎理学療法学会学術大会	木村剛英	一般演題
Safe evaluation method for fall risk: A sitting task can predict a reduction in gait speed under the dual-task condition	単独	2023 年 6 月	World Physiotherapy Congress 2023	Kimura T	一般演題
N-back task improved dual-task performances consisted of memory or attentional factors	共同(筆頭)	2022 年 8 月	American Psychological Association Convention 2022	Kimura T, Matsuura R	一般演題

Ⅳ　学会等および社会における主な活動
1　現在の所属学会
日本理学療法士協会、アメリカ心理学会、日本運動療法学会、臨床神経生理学会
2　2020～2024 年度の学会での主な活動
日本基礎理学療法学会・評議員（2023 年～現在）
3　2020～2024 年度の社会での主な活動

所属　医療保健学部 学科　理学療法学科	職名　助教	氏名　新藤愛	学　位	博士（スポーツ医学）
			国家資格	理学療法士

I　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
発達障害理学療法治療学	2024 年	2 年生を対象とした専門科目である。感覚検査および病的反射の分野について､各反射の生理学的メカニズムや検査手順を段階的に説明し、理解を深められるよう構成した。視聴覚教材の活用に加え、デモンストレーションを取り入れることで、検査の手順やポイントを視覚的に把握しやすいように指導した。また、十分な実技時間を確保し、学生が繰り返し体験的に学べる環境を整えることで、実践力の向上を図った。講義および実習を担当した。
生活環境論実習	2024 年～現在	車椅子を含む福祉用具の特性および生活環境調整に関する講義と実技を実施した。講義では、福祉用具の選定基準やフィッティングのポイント、環境調整の評価方法を取り上げ、実習では学生自身が車椅子に乗る・介助する・調整する体験を通して理解を深められるよう指導した。体験的学習を重視し、学生が主体的に課題を見つけ、利用者の安全と自立支援を意識した思考ができるよう促した。
予防医学	2024 年～現在	4 年生を対象に、科目責任者として予防理学療法に関する全講義を担当した。国家試験に出題される領域を中心に、基礎知識から臨床応用までを実技体験型で指導し、学生自身が実際に評価・測定を行うことで理解の定着を図った。講義では、各種動画・図表・モデルケースなど視覚的教材を活用し、複雑な概念を直感的に捉えられるよう工夫した。また、単なる暗記型の学習に依存せず、実践現場を想起して再現できる知識として蓄積できる授業設計を行った。

理学療法セミナーⅢ	2024 年	3 年生を対象に、Google form/classroom を用いて国家試験の過去問題を全範囲で実施した。ICT を活用することで、学生が自宅からでも取り組める環境を整え、回答結果を即時に可視化する仕組みを導入した。3 年時のうちに過去問題に触れる経験を与えることで、4 年次に行う本格的な国家試験対策の基礎固めと位置付けるとともに、学生自身が現状の理解を把握できるよう工夫した。
理学療法総合セミナー	2024 年～現在	4 年生を対象に国家試験対策としてグループ学習を支援し、学生同士の相互教授を促進する学習環境を整えた。加えて、自主学習の進捗状況や到達度を定期的に確認し、理解が不十分な学生には個別指導を実施した。学習成果と課題を明確にするため、模擬試験を取り入れ、国家試験本番に向けた実践的な準備を促した。
卒業研究	2024 年～現在	研究領域である「予防医学」に関する卒業研究の論文作成において、学生一人ひとりに対して個別に指導を行なった。研究方法の立案、研究内容の整理と明確化、介入方法の設定に関する助言を行い、さらに論文執筆の構成・文章表現までの細部にわたり指導した。研究の進行状況や学生の理解度に応じて段階的にフォローを行い、研究の質を高めるとともに、自ら考えて組み立てる力の育成を図った。
2　作成した教材（150 字程度まで）		
「予防医学」の教材	2024～現在	「予防理学療法概要」「ロコモティブシンドローム」「サルコペニア」「再発予防」「労働災害（腰痛）」「メンタルヘルス」メンズヘルス・ウィメンズヘルス・栄養学の分野について、スライド資料、配布資料、小テスト資料の作成

3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
4　その他教育活動上特記すべき事項		

Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
科学研究助成・若手研究	2023～2025 年	若年女性における先駆的骨活プログラムの効果検証―縄なし縄跳びで骨粗鬆症予防戦略―
2　特許		
3　その他職務上の実績に関する事項		

Ⅲ　研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					
論文					
The association between homocysteine, arterial stiffness and executive function in middle-age and older women.	共著（筆頭）	2021 年 10 月	Artery Research. 27(1)	Shindo-Hamasaki A, Akazawa N, Momma R, Maeda S	p.32-37
女子陸上競技選手における月経前症候群とジャンプパフォーマンスの関係	共著	2021 年 9 月	体力科学	門馬怜子，棚橋嵩一郎，栃木悠里子，濵崎愛，高橋あかり，佐藤智仁，横	p.101-108

				田 伍，目崎 登，前田清司	
爪上振動刺激が触覚感度及び巧緻性に与える影響	共著 （筆頭）	2020 年 12 月	日本バーチャルリアリティ学会論文誌 25(4)	濵崎愛，唐 勗卿，横山哲大，橋本悠希	p.326-333
Association between mental health and arterial stiffness in middle-aged and older adults.	共著	2020 年 12 月	Artery Research, 26(4)	Akazawa N, Tnanahashi K, Kosaki K, Hamasaki A, Maeda S	p.223-227
The Impact of aerobic fitness on arterial stiffness and adrenal cortex hormones in middle-aged and older adults.	共著	2020 年 7 月	The Japan Endocrine Society, 67(12)	Akazawa N, Tnanahashi K, Kosaki K, Hiroshi Kumagai, Satoshi Oikawa, Hamasaki A, Maeda S.	p.1199-1205
報告					
学会発表					
中高齢者を対象とした有酸素性運動が脳血流動態および遂行機能に与える影響	筆頭	2021 年 10 月	第 27 回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会	新藤愛，赤澤暢彦，前田清司	一般演題 (口述発表)
運動と栄養摂取の相加的効果 -遂行機能の向上を目指して-	筆頭	2021 年 9 月	第 26 回　日本基礎理学療法学会学術大会,～若手研究者(U39)による先端的基礎理学療法研究紹介	新藤愛，赤澤暢彦，前田清司	口述発表

Ⅳ　学会等および社会における主な活動
1　現在の所属学会
日本理学療法士協会

日本骨粗鬆症学会 日本抗加齢医学会 日本予防理学療法学会 日本ウィメンズヘルス・メンズヘルス理学療法学会 日本栄養・嚥下理学療法学会 日本支援工学理学療法学会 日本基礎理学療法学会 日本パラスポーツ学会
2　2020～2024 年度の学会での主な活動
2023 年～日本予防理学療法一般演題査読 2023 年～日本栄養・嚥下理学療法学会一般演題査読 2025 年～日本ウィメンズヘルス・メンズヘルス理学療法学会一般演題査読
3　2020～2024 年度の社会での主な活動

所属　医療保健学部 学科　理学療法学科	職名　助教	氏名　沼尾　夏葵	学　位	修士（理学療法学）
			国家資格	理学療法士

I　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
生理学実習	2020 年～現在	理学療法学科 1 年次生を対象に、体の動きや反応について、実験・実験報告の過程を通じて、運動系・感覚系・臓器径の仕組みについて理解を深める目的で授業を行った。科目分担者として 45 コマ中 42 コマの授業を担当した。姿勢制御、誘発筋電図、運動学習、循環器系の機能、呼吸器系の機能について、実験実習を行った。各課題に対してレポートを課し、レポートの内容で成績評価をした。
運動学実習	2020 年～現在	理学療法学科 2 年次生を対象に、人間の正常な運動と動作を観察し、種々の運動・動作分析器を用いて計測、記録、分析により身体運動学の知識を深める目的で授業を行った。科目分担者として 45 コマ中 24 コマの授業を担当した。生態系側・体力測定、筋力（モーメント）について、実験実習を行った。各課題に対してレポートを課し、レポートの内容で成績評価をした。
生活環境論実習	2020 年～現在	理学療法学科 2 年次生を対象に、模擬体験を通じ様々なバリアを体感すると同時に、福祉用具や福祉機器を用いた対応や対策、家屋環境改善の知識を深める目的で授業を行った。科目分担者として 30 コマ中 28 コマの授業を担当した。車椅子体験と介助方法、福祉用具、高齢者・ブラインド体験について、実技演習を行った。各課題に対して実技試験やレポート課題、発表会を行い、成績評価をした。
発達障害理学療法治療学	2020 年～現在	理学療法学科 3 年次生を対象に、正常運動発達の理論と発達過程の知識を整理・応用する能力を身につけ、小児期障害の理学療法の理解を深める目的で授業を行った。科目分担者として 60 コマ中 22 コマの授業を担当した。深部腱反射・病的反射・感覚検査の評価について、実技演習を行った。筆記試験ならびに実技試験を行い、成績評価をした。
神経系障害理学療法治療学	2021 年～現在	理学療法学科 3 年次生を対象に、神経系障害の評価や治療技術について、実技演習を通じて理解を深める目的で授業を行った。科目分担者として 60 コマ中 4 コマの授業を担当した。PNF の治療理論や治療技術について実技演習を行った。成績は筆記試験ならびに実技試験により評価した。

理学療法総合セミナー	2020 年～現在	理学療法学科 4 年次生を対象に､理学療法を行う上で必要な基礎知識、専門領域に関する知識を深める目的で講義およびグループ学習を行い、到達度の確認をするための模擬試験を作成し実施した。成績は筆記試験により評価した。
理学療法概論	2022～2023 年	理学療法学科 1 年次生を対象に、健康分野における理学療法の概要について理解を深める目的で講義を行った。科目分担者として 8 コマ中 2 コマの授業を担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、理学療法の関係法規や職域、理学療法士になる上で必要な教育内容や求められる要素について解説した。成績は期末試験および再試験により評価した。
予防医学	2023 年	理学療法学科 4 年次生を対象に、疾病や老年症候群に対する予防の重要性について理解を深める目的で講義を行った。科目分担者として 8 コマ中 2 コマの授業を担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、栄養学からの予防、メンタルヘルス・ウィメンズヘルス・メンズヘルスについて解説した。成績は小テストにより評価した。
2　作成した教材（150 字程度まで）		
生理学実習（理学療法学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2020 年～現在	理学療法学科 1 年次対象の生理学実習において、PowerPoint スライド(計 5 点、計 197 枚)を作成し、板書として使用した。授業の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
生理学実習（理学療法学科対象）の講義用配布資料	2020 年～現在	理学療法学科 1 年次対象の生理学実習において、授業内容をまとめたプリント(A4、計 19 枚)を配布資料として作成した。授業の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
生理学実習（理学療法学科対象）の実習課題シート	2020 年～現在	理学療法学科 1 年次対象の生理学実習において、実験結果を記録するためのプリント(A4、計 11 枚)を配布資料として作成した。授業の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
運動学実習（理学療法学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2020 年～現在	理学療法学科 2 年次対象の運動学実習において、PowerPoint スライド(計 1 点、計 53 枚)を作成し、板書として使用した。授業の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
運動学実習（理学療法学科対象）の講義用配布資料	2020 年～現在	理学療法学科 2 年次対象の運動学実習において、授業内容をまとめたプリント(A4、計 5 枚)を配布資料として作成した。授業の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
生活環境論実習（理学療法学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2020 年～現在	理学療法学科 2 年次対象の生活環境論実習において、PowerPoint スライド(計 2 点、計 97 枚)を作成し、板書として使用した。授業の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。

生活環境論実習（理学療法学科対象）の講義用配布資料	2020 年～現在	理学療法学科 2 年次対象の生活環境論実習において、授業内容をまとめたプリント(A4、計 10 枚)を配布資料として作成した。授業の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
生理学実習生理学実習（理学療法学科対象）の実習課題シート	2020 年～現在	理学療法学科 2 年次対象の生活環境論実習において、実習の内容や手順のまとめと結果を記録するためプリント(A4、計 39 枚)を配布資料として作成した。授業の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
発達障害理学療法治療学（理学療法学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2020 年～現在	理学療法学科 3 年次対象の発達障害理学療法治療学において、PowerPoint スライド(計 2 点、計 99 枚)を作成し、板書として使用した。授業の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
発達障害理学療法治療学（理学療法学科対象）の講義用配布資料	2020 年～現在	理学療法学科 3 年次対象の発達障害理学療法治療学において、授業内容をまとめたプリント(A4、計 9 枚)を配布資料として作成した。授業の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
発達障害理学療法治療学（理学療法学科対象）の実習課題シート	2020 年～現在	理学療法学科 3 年次対象の発達障害理学療法治療学において、結果を記録するためのプリント(A4、計 6 枚)を配布資料として作成した。授業の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
神経系障害理学療法治療学（理学療法学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2021 年～現在	理学療法学科 3 年次対象の神経系障害理学療法治療学において、PowerPoint スライド(計 1 点、計 32 枚)を作成し、板書として使用した。授業の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
神経系障害理学療法治療学（理学療法学科対象）の講義用配布資料	2021 年～現在	理学療法学科 3 年次対象の神経系障害理学療法治療学において、授業内容をまとめたプリント(A4、計 2 枚)を配布資料として作成した。授業の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
理学療法概論（理学療法学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2022～2023 年	理学療法学科 1 年次対象の理学療法概論において、PowerPoint スライド(計 2 点、計 79 枚)を作成し、板書として使用した。授業の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
理学療法概論（理学療法学科対象）の講義用配布資料	2022～2023 年	理学療法学科 3 年次対象の理学療法概論において、授業内容をまとめたプリント(A4、計 9 枚)を配布資料として作成した。授業の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
予防医学（理学療法学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2023 年	理学療法学科 4 年次対象の予防医学において、PowerPoint スライド(計 2 点、計 78 枚)を作成し、板書として使用した。授業の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
予防医学（理学療法学科対象）の講義用配布資料	2023 年	理学療法学科 4 年次対象の予防医学において、授業内容をまとめたプリント(A4、計 9 枚)を配布資料として作成した。授業の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		

4　その他教育活動上特記すべき事項		
理学療法学科における国家試験対策	2022 年～現在	国家試験対策委員として、学内模試の作成、学外模試の対応、試験当日の引率を行った。

Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
2　特許		
3　その他職務上の実績に関する事項		

Ⅲ　研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					
論文					
下肢骨折患者に対する開放性運動連鎖と閉鎖性運動連鎖における筋力増強法が股関節外転筋群に及ぼす影響	共著	2023 年 3 月	日本 PNF 学会会誌 PNF Research（22 巻 1 号）	白谷智子、新井光男、保原塁、沼尾夏葵、原田恭宏、柳澤健	p1-5
主任介護支援専門員のストレスおよびレジリエンスの関係	共著	2022 年 3 月	つくば国際大学紀要 医療保健学研究 第 13 号	小林由美子、林隆司、高尾敏文、有田真己、沼尾夏葵	p41-50
肩甲骨の抵抗運動が対側ヒラメ筋 H 波に及ぼす経時的影響～運動方向の際による検討～	共著（筆頭）	2022 年 3 月	日本 PNF 学会会誌 PNF Research（21 巻 1 号）	沼尾夏葵、保原塁、白谷智子、新井光男	p1-7
健常者に対する骨盤運動の中間位での静止性収縮が同側の膝	共著	2022 年 3 月	日本 PNF 学会会誌 PNF Research	保原塁、白谷智子、沼尾夏葵、新井光男	p8-12

関節伸筋群と膝関節屈筋群の筋力に及ぼす影響			（21 巻 1 号）		
脳卒中後片麻痺患者に対する抵抗運動の部位の相違が歩行速度に及ぼす継時的遠隔効果 ～シングルケーススタディによる検証～	共著	2022 年 3 月	日本 PNF 学会会誌 PNF Research （21 巻 1 号）	白谷智子、保原塁、沼尾夏葵	p13-16
つくば国際大学理学療法学科のオンライン授業の現状と課題　―オンライン授業に関する学生アンケートの結果から―	共著	2021 年 3 月	つくば国際大学紀要 医療保健学研究 第 12 号	鈴木康文、永井智、沼尾夏葵	p31-44
報告					
学会発表					
抵抗運動と遠隔効果	単独	2023 年 1 月	日本 PNF 学会 第 21 回学術集会	沼尾夏葵	特別講演
下肢骨折患者に対する開放性運動連鎖と閉鎖性運動連鎖における筋力増強訓練が股関節外転筋群の筋力に及ぼす効果	共同	2023 年 1 月	日本 PNF 学会 第 21 回学術集会	白谷智子、新井光男、保原塁、沼尾夏葵、柳澤健	一般演題
主任介護支援専門員の職業性ストレスとレジリエンスの関係について	共同	2021 年 9 月	地域活性学会 第 13 回研究大会	小林由美子、林隆司、高尾敏文、有田真己、沼尾夏葵	一般演題

Ⅳ　学会等および社会における主な活動
1　現在の所属学会
日本理学療法士協会 日本体力医学会 日本 PNF 学会 動的モビライゼーション療法学会 パーソナルコンディショニング・セラピスト協会

2　2020～2024 年度の学会での主な活動
3　2020～2024 年度の社会での主な活動

看護学科

所属　医療保健学部 学科　看護学科	職名　教授	氏名　浅野　均	学　位	修士（看護学）
			国家資格	看護師

Ⅰ　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
精神看護学概論	2021 年～2022 年 2024 年～現在	看護学科 2 年次生を対象に、現代社会におけるメンタルヘルス上の問題や精神看護の対象に対する理解、看護師の役割と支援に必要な基礎的知識・技術の理解を深める目的で講義を行った。科目責任者として 15 コマの授業を担当した。講義では作成した PowerPoint スライドを用いて、精神看護学に関連するメンタルヘルス、精神医療看護の歴史、精神障害と制度、こころの危機とストレスなどを解説した。成績は小テスト、課題レポート、期末試験により評価した。
精神看護学援助論	2021 年～2022 年 2024 年～現在	看護学科 3 年次生を対象に、精神疾患や精神障がいを抱える対象の理解とストレングスを活かしたリカバリーを支援する看護の理解を深める目的で講義を行った。科目責任者として 30 コマの授業を担当した。講義では作成した PowerPoint スライドを用いて、精神疾患や精神障がいを抱える対象の理解と看護などを解説し、プロセスレコードと事例展開の演習を行った。成績は小テスト、課題レポート、期末試験により評価した。
精神看護学実習	2021 年～2022 年 2024 年～現在	看護学科 4 年次生または 3 年次生を対象に、精神に障がいを抱えている対象の理解と人間関係構築、対象者のその人らしい生き方が出来るような支援に必要な看護等を深める目的で実習指導した。成績評価は、精神科看護学実習評価表をもとに評価した。
看護学セミナー	2021 年～2022 年 2024 年～現在	看護学科 4 年次生を対象に、精神看護に必要な基本的知識や技術を再確認し理解を深める目的で講義した。看護師国家試験の頻出する問題に焦点をあてた項目を解説した。科目分担として 8 コマ中 1 コマを担当した。
看護研究セミナー	2021 年～2022 年 2024 年～現在	看護学科 4 年次生を対象に、精神看護学に関連したテーマを設定した学生を対象に研究指導をした。個別指導を行い看護研究の基本的なポロセスをもとに文献検討から論文作成、研究発表まで指導した。
2　作成した教材（150 字程度まで）		

精神看護学概論（看護学科対象）の講義用の PowerPoint スライド	2021 年～2022 年 2024 年～現在	看護学科 2 年次対象の精神看護学概論の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 15 点)を作成し、講義用資料として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
精神看護学援助論（看護学科対象）の講義用の PowerPoint スライド	2021 年～2022 年 2024 年～現在	看護学科 3 年次対象の精神看護学援助論の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 30 点)を作成し、講義用資料として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
4　その他教育活動上特記すべき事項		

Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
2　特許		
3　その他職務上の実績に関する事項		

Ⅲ　研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					
看護師のための認知症のある患者さんへの対応	共著	2020 年 12 月	メディカ出版	【監修】堀内ふき 【編者】浅野均 【著者】堀内ふき、浅野均、関千代子、佐藤圭子、上原朋子、梅崎かおり	総頁数：184 頁 執筆担当：第 2 章認知症のある患者さんとのコミュニケーションの基本(p32-36), 第 3 章こんなとき、どう対応する？(p43-48,p58-61,p92-95,p105-

					108,p137-141,p155-158,p159-162）
ナーシング･グラフィカ 老年看護学;高齢者の健康と障害(第 8 版)	共著	2025 年 1 月	メディカ出版	【編者】堀内ふき、諏訪さゆり、山本恵子 【著者】堀内ふき、大渕律子、角徳文、安川揚子、大塚眞理子、岡田真一、辻村真由子、湯本昌代、諏訪さゆり、堀内園子、上原朋子、湯浅美千代、石橋みゆき、関千代子、小長谷百恵、會田信子、酒井郁子、上野まり、征矢野あや子、浅野均、小野美香子、中村摩紀、佐藤圭子	総頁数：384 頁　第 6 章 生活を支える看護(p317-319)
ナーシング・グラフィカ　老年看護学；高齢者看護の実践(第 7 版)	共著	2025 年 1 月	メディカ出版	【編者】堀内ふき諏訪さゆり、山本恵子 【著者】浅野均、上野良子、上原朋子、中村摩紀、小長谷百恵、島村敦子、関千代子、諏訪さゆり、山本恵子、堀内ふき、亀井智子、會田信子、江尻友里子、渡辺みどり、篠原綾子、北原崇靖、酒井郁子、浅野祐子、石橋みゆき、大渕律子、安川揚子、川上義明、高村祐子、平松真由子	総頁数：464 頁　第 1-1 章 高齢者の生活を支える看護(p20-27), 第 1-7 章その他高齢者に特徴的な症状・疾患を支える看護(p154-158)
論文					
精神看護学実習におけるプロセスレコードを通した自己理解と他者理解の学び	共著	2024 年 3 月	医療保健学研究 15 号	長谷川陽子,浅野均,上原真紀	p43-55

報告					
学会発表					
認知症高齢者の安全な暮らしにかかわる課題と支援-医療専門職員のグループインタビューから-	共同（筆頭）	2022 年 7 月	日本老年社会科学会第 64 回大会(東京)	浅野均,松田里香,齊藤康司,関千代子	一般演題

Ⅳ　学会等および社会における主な活動
1　現在の所属学会
日本精神保健看護学会　日本老年看護学会　日本老年社会科学会　日本認知症ケア学会　日本摂食嚥下リハビリテーション学会
2　2020～2024 年度の学会での主な活動
3　2020～2024 年度の社会での主な活動

所属　医療保健学部 学科　看護学科	職名　教授	氏名　大槻優子	学　位	修士（社会学）
			国家資格	看護師　助産師

Ⅰ　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
母性看護学概論	2013～現在	女性のライフサイクルにおける健康、特にリプロダクティブヘルス・ライツに焦点を当て健康と看護を多面的に学習させている。例年グループワークを行って女性のライフサイクルにおける問題を取り上げ、グループワークをまとめて発表をし、各自レポートにまとめている。評価はレポートと期末試験により実施している。
母性看護学援助論	2013～現在	周産期に焦点を当て、子どもを産み育てる過程を中心に母子および父親、家族に対する援助の基礎を学ばせている。母子支援における地域における社会資源、ソーシャルサポートの実際について、学生個々に調査の課題演習を実施しまとめさせている。 看護過程の展開、技術演習においては、臨床の場面を想定し、実践においては学内演習の方法で教授した。2013 年から 2024 年まで臨床実習指導者との協働による講義演習を導入した。評価についてはレポートと期末試験により実施している。
チーム医療論	2023～現在	看護学科 3 年生を対象に、チーム医療における看護師の役割について科目責任者として 8 コマ中 1 コマの授業を担当した。授業においては他職連携における専門職の役割についての DVD を視聴し、キーパーソンである看護師の役割について説明した。成績評価についてはレポートを課し、レポート内容により評価した。
チーム医療論	2023～現在	臨床検査学科の 3 年生を対象に、チーム医療における看護師の役割について科目責任者として 8 コマ中 1 コマの授業を担当した。授業においては他職連携における専門職の役割についての DVD を視聴し、キーパーソンである看護師の役割について説明した。
チーム医療論	2023～現在	診療放射線学科の 3 年生を対象に、チーム医療における看護師の役割について科目責任者として 8 コマ中 1 コマの授業を担当した。授業においては他職連携における専門職の役割についての DVD を視聴し、キーパーソンである看護師の役割について説明した。
チーム医療論	2023～現在	理学療法学科の 3 年生を対象に、チーム医療における看護師の役割について科目責任者として 8 コマ中 1 コマの授業を担当した。授業においては他職連携における専門職の役割についての DVD を視聴し、キーパーソンである看護師の役割について説明した。

チーム医療論	2023～現在	医療技術学科の 3 年生・4 年生を対象に、チーム医療における看護師の役割について科目責任者として 8 コマ中 1 コマの授業を担当した。授業においては他職連携における専門職の役割についての DVD を視聴し、キーパーソンである看護師の役割について説明した。
チーム医療論	2013～現在	保健栄養学科の 3 年生を対象に、チーム医療における助産師の役割について 15 コマ中 1 コマを担当した。授業においては、糖尿病妊婦を事例として、コミニュケーション技術や支援方法について説明した。
基礎看護論	2013～現在	臨床検査学科 3 年次生を対象に母性に関連した看護についての理解を深める目的で講義を行った。科目責任者として 8 コマ中 1 コマの授業を担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて解説した。成績はレポートを課し、レポート内容により評価した。
生命論理	2023～現在	看護学科 1 年生を対象に母性看護領域に関連した生命倫理についての理解を深める目的で講義を行った。科目分担者として 15 コマ中 2 コマの授業を担当した。授業内容は、事例を取り上げグループでディスカッションし自己の考えを深めさせるようにした。成績はレポートを課し、レポート内容により評価した。
総合実習	2020～2024 年	4 年生を対象に科目責任者として、実習統括調整を行った。2 病院の実習施設の看護部との調整ならびに実習中の調整を行った。
2　作成した教材（150 字程度まで）		
母性看護学概論の講義用 PowerPoint スライド	2013～現在	看護学科 1 年生対象の母性看護学概論の講義を行った際、PowerPoint スライドを作成し、板書として使用した。
母性看護学概論の講義用配布資料	2013～現在	看護学科 1 年生対象の母性看護学概論の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(A4)を配布資料として作成した。
母性看護学援助論の講義用 PowerPoint スライド	2013～現在	看護学科 3 年生対象の母性看護学援助論の講義を行った際、PowerPoint スライドを作成し、板書として使用した。
母性看護学援助論の講義用配布資料	2013～現在	看護学科 3 年生対象の母性看護学援助論の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(A4)を配布資料として作成した。
生命倫理（看護学科）の講義用 PowerPoint スライド	2023～現在	看護学科 1 年生対象の生命倫理の講義を行った際、PowerPoint スライドを作成し、板書として使用した。
生命倫理（看護学科）の講義用配布資料	2023～現在	看護学科 1 年生対象の生命倫理の講義を行った際、授業内容をまとめたプリント(A4)を配布資料として作成し。
基礎看護論（臨床検査学科）の講義用 PowerPoint スライド	2013～現在	臨床検査学科 3 年生対象の基礎看護論の講義を行った際、PowerPoint スライドを作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。

基礎看護論（臨床検査学科）の講義用配布資料	2013～現在	臨床検査学科 3 年生対象の基礎看護論の講義を行った際、授業内容をまとめたプリント(A4)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
チーム医療論（保健栄養学科）の講義用配布資料	2013～現在	保健栄養学科の 3 年生を対象に、チーム医療における助産師の役割について授業内容をまとめたプリント(A4)を配布資料として作成した。
チーム医療論（看護学科）の講義用 PowerPoint スライド	2023～現在	看護学科 3 年生を対象に、チーム医療における看護師の役割について PowerPoint スライドを作成し、板書として使用した。
チーム医療論（看護学科）の講義用配布資料	2023～現在	看護学科の 3 年生を対象に、チーム医療における看護師の役割について授業内容をまとめたプリント(A4)を配布資料として作成した。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
なし		
4　その他教育活動上特記すべき事項		
看護学科における卒業研究指導	2018~現在	看護学科 4 年次対象の看護研究セミナーにおいて毎年 5～6 名程度の学生に対して指導を行った。
看護学科における母性看護学実習指導	2013～現在	母性看護学援助論で学んだ基礎知識をもとに、周産期における母子の事例に対する看護過程の展開方法ならびに母性看護学に特有な援助技術について指導を行った。指導においては少人数制のもと 5-6 人に対して 1 人の指導教員が担当しきめ細かな指導を行っている。評価は、実習内容と実習記録をもとに行っている。

Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
科学研究費助成・基盤（C）	2021-2024 年	「農村地域における認知症高齢女性に対する農福連携支援プログラムに関する研究」助成総額：4,030,000 円【代表】大槻優子
令和 3 年度大学改革推進等補助金	2021 年	「ウイズコロナ時代の新たな医療に対応できる医療人材養成事業」助成総額：9,836,000 円【代表】大槻優子
2　特許		
なし		
3　その他職務上の実績に関する事項		
なし		

Ⅲ　研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					
全国看護学校・短期大学進学コース入学試験問題・解答集 2024/2025	共著	2023 年 4 月	メジカルフレンド社	メジカルフレンド社編集	総頁数 288 頁 執筆担当：20 名 大槻優子担当母性看護学（214-223 頁）
論文					
産後 2 週間健診の実態についての文献レビュー	共著	2025 年 3 月	医療保健学研 16 号	井上刷子，纐纈祐子，大槻優子	51-59 頁
子宮頸がんセミナー受講後における看護学生の認識	共著（筆頭）	2025 年 1 月	日本農村医学会雑誌 73 巻 5 号	大槻優子，纐纈祐子	490-495 頁
オンライン授業を受けた看護系大学 1 年生の現状と課題から見た教育的配慮に関する一考察	共著	2023 年 3 月	日本医学看護学教育学会誌 31 巻 4 号	纐纈祐子, 中島美香, 大槻優子	49-56 頁
在宅看護論実習におけるオンラインによる live 実習の試み ―訪問看護についての学びの分析―	共著	2023 年 3 月	日本医学看護学教育学会誌 31 巻 4 号	福田久子，峯小百合, 纐纈祐子, 大槻優子	57-64 頁
過疎地域の在宅女性介護者に対するタブレット端末を利用した遠隔支援についての研究	共著（筆頭）	2021 年 6 月	日本農村医学会雑誌 70 巻 1 号	大槻優子, 仲根よし子	13-21 頁
報告					
ウイズコロナ時代の新たな医療に対応できる医療人材養成事業	単著	2022 年	令和 3 年度大学改革推進等補助金	大槻優子	総頁数 12 頁
学会発表					
コロナ禍における老年看護学実習の学び －オンラインによる介護老人保健施設から概要説明を組み入れて－	共同	2025 年 3 月	第 35 回日本医学看護学教育学会学術学会 （岡山）	纐纈祐子 峯小百合 松村　早織利 大槻優子	一般演題
母性看護学実習における産後 2	共同（筆頭）	2025 年 3 月	第 35 回日本医学看護学教育学	大槻優子	一般演題

週間健康診査の見学実習の学び			会学術学会(岡山)	纐纈祐子 井上刷子	
認知症高齢者に対する農福連携プログラムに関する研究　第3報-介護支援員のインタビューから-	共同	2024年10月	第73回日本農村医学会学術総会　(新潟)	纐纈祐子 大槻優子	一般演題
認知症高齢者に対する農福連携プログラムに関する研究　第4報-介護支援員の介護負担感・AHTASの分析から-	共同（筆頭）	2024年10月	第73回日本農村医学会学術総会　(新潟)	大槻優子 纐纈祐子	一般演題
コロナ禍における臨地実習の学びと課題～第1報看護系大学実習における文献検討～	共同	2024年3月	第34回日本医学看護学教育学会学術学会　(和歌山)	纐纈祐子 大槻優子	一般演題
コロナ禍における臨地実習の学びと課題～第2報母性看護学実習・小児看護学実習における文献検討～	共同（筆頭）	2024年3月	第34回日本医学看護学教育学会学術学会　(和歌山)	大槻優子 纐纈祐子	一般演題
認知症高齢者に対する農福連携プログラムに関する研究　第1報－農繁期・農閑期における下肢筋力の変化－	共同	2023年10月	第72回日本農村医学会学術総会(秋田)	纐纈祐子 大槻優子	一般演題
認知症高齢者に対する農福連携プログラムに関する研究　第2報－生きがいの分析－	共同（筆頭	2023年10月	第72回日本農村医学会学術総会(秋田)	大槻優子 纐纈祐子	一般演題
ICT活用による臨地実習指導者と大学員による連携・協働のオンライン実習構築に関する研究～臨地実習指導者のインタビューから～	共同	2023年7月	第24回医療情報学会看護学術学会看護学術学会看護学術学会(神戸)	纐纈祐子 大槻優子	一般演題
農村地域の認知症高齢者に対する農福連携プログラムに関する研究 ―農繁期における下肢筋力測定	共同（筆頭）	2023年2月	第34回岩手公衆衛生学(盛岡)	大槻優子 縄井清志 纐纈祐子	一般演題

結果の一考察―					
ロールプレイングによる妊産婦に対する健康教育の学びと課題 ―オンラインによる臨地実習指導者の評価から―	共同	2023 年 2 月	第 34 回岩手公衆衛生学会(盛岡)	纐纈祐子 大槻優子	一般演題
看護教育におけるオンライン授業のあり方に関する研究	共同	2022 年 3 月	第 32 回日本医学看護学教育学会学術学会(オンライン)	纐纈祐子 中島美香 大槻優子	一般演題
在宅看護論実習におけるオンラインによる Live 実習の試み その 1～実習後のレポート分析による訪問看護についての学び～	共同	2022 年 3 月	第 32 回日本医学看護学教育学会学術学会(オンライン)	福田久子 峯小百合 纐纈祐子 大槻優子	一般演題
在宅看護論実習におけるオンラインによる Live 実習の試み その 2～実習後のレポート分析による訪問看護についての学び～	共同	2022 年 3 月	第 32 回日本医学看護学教育学会学術学会(オンライン)	峯小百合 福田久子 纐纈祐子 大槻優子	一般演題
過疎地域の在宅女性介護者に対するタブレット端末を利用した遠隔支援の事例	単独	2021 年 10 月	第 25 回日本遠隔医療学会学術大会（岐阜）	大槻優子	一般演題

Ⅳ　学会等および社会における主な活動
1　現在の所属学会
日本看護学教育学会　日本母性衛生学会　日本農村医学学会　日本医学看護学教育学会　岩手公衆衛生学会
2　2020～2024 年度の学会での主な活動
なし
3　2020～2024 年度の社会での主な活動
社会福祉法人パーソナル・アシスタンスとも　理事(2015 年～現在)

所属　医療保健学部 学科　看護学科	職名　教授（特任）	氏名　尾崎道江	学　位	修士（人間科学）
			国家資格	看護師

Ⅰ　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
看護学概論	2020 年 4 月～現在	看護学科 1 年生を対象に学問としての看護を認識し科学的な思考過程と倫理的側面をふまえて実践できる基盤を獲得する目的で講義を行った。科目責任者として 15 コマすべての授業を担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて看護学のメタパラダイムを中心に教授し、看護学全体を俯瞰できるようにした。看護の概念、看護の変遷、看護の対象、健康と看護、環境と看護、看護理論、専門職としての看護について解説した。また、ブレインストーミングを用いたグループワークを実施し、看護に対する理解と自覚が深まるように努めた。成績は課題レポート、グループワーク、記述試験により評価した。
看護倫理	2022 年 4 月～現在	看護学科３年生を対象に看護実践者として基盤となる倫理的感性・倫理観を培い、倫理的にものごとを考える道筋を見出すことを目的に講義を行った。科目責任者として８コマすべての授業を担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、看護倫理の基礎、看護倫理のアプローチ、看護実践上の重要な倫理的概念、倫理的意思決定プロセスについて解説した。また、グループワークを取り入れ倫理的問題の検討を行った。実習中に遭遇した事例に対して倫理的意思決定４ステップモデルを用いて検討し倫理的問題への感受性を高められるようにした。成績は課題レポート、記述試験により評価した。
基礎看護技術１（人間関係とコミュニケーション）	2018 年 4 月～現在	看護学科 1 年生を対象に看護援助における人間関係の特徴を理解し、対象者との関係を発展させるコミュニケーション技術の基本を習得する目的で授業を行った。科目分担者として８コマ中４コマの演習と２コマの講義・演習を担当した。講義・演習はコミュニケーションの技術を担当しロールプレイを実施した。プリントを配布しプリントに沿って解説した後、ロールプレイ体験と振り返り通して自己のコミュニケーション傾向に気づけるように指導した。成績は課題レポート、記述試験により評価した。

基礎看護技術Ⅱ（日常生活援助技術）	2018年4月～現在	看護学科1年生を対象に看護の対象者の日常生活行動を援助するために必要な専門的知識・技術・態度を習得する目的で、科目責任者として30コマ中23コマの講義・演習を担当した。講義はプリントを配布し、プリントに沿って作成されたPowerPointスライドを用いて、看護技術とは、看護における安全・安楽、食事・栄養摂取の援助技術について解説した。演習はベッドメーキング、体位変換、移動・移送、臥床患者のリネン交換、全身清拭、洗髪、足浴、排泄、バイタルサイン測定を担当した。成績は課題レポート、技術試験、記述試験により評価した。技術試験は再再試験、記述試験は再試験により評価した。
基礎看護技術Ⅲ（フィジカルアセスメント）	2018年4月～現在	看護学科1年生を対象に看護実践に必要な身体的情報を収集・評価するための基本的知識・技術を学ぶことを目的に授業を行った。科目分担者として15コマ中13コマの演習を担当した。演習では皮膚・頭頚部、呼吸器系、循環器系、脳・神経系、腹部・消化器系、筋・骨格系のアセスメントを担当した。学生を小グループに分け毎回3グループを担当した。さらに技術試験を担当し知識・技術の定着に努めた。成績は課題レポート、技術試験、記述試験により評価した。技術試験は再再試験、記述試験は再試験により評価した。
基礎看護技術Ⅳ（診療に伴う援助技術）	2018年4月～現在	看護学科2年生を対象に看護の役割を理解し様々な健康状態にある対象の診断・治療に必要な援助が正確・安全・安楽に提供できる基礎的看護技術を習得することを目的に授業を行った。2020～2023 年科目責任者、2024～2025年科目分担者として30コマ中25コマを担当した。講義はプリントを配布しプリントに沿って作成されたPowerPointスライドを用いて、薬物療法、輸血療法、診察・検査、創傷管理を解説した。筋肉内注射、点滴静脈内注射、採血、包帯法、無菌操作、導尿、浣腸、吸入・吸引・酸素療法、シミュレーション演習、技術テストを担当した。成績は課題レポート、技術試験、記述試験により評価し、技術試験は再再試験、記述試験は再試験により評価した。
基礎看護援助論	2018年4月～現在	看護学科2年生を対象に看護過程の基礎を学び看護実践を支える思考過程である看護過程を理解できることを目的で授業を行った。科目分担者として30コマ中17コマ及び救急時の援助2コマを担当した。演習は学生を6グループに分け2グループを担当した。事例をもとに情報収集、アセスメント、看護診断、看護計画、実施・評価までを指導した。実施はロールプレイを指導し実施した内容をSOAP形式で記録できるように解説した。また、救急法は消防署の協力を得、多職種連携について学べるようにした。成績は事例による看護過程の展開、記述試験により評価した。事例は個別指導後の再提出で評価した。

看護学セミナー	2018 年 4 月～現在	看護学科 4 年生を対象に 4 年間学修した看護学の知識の集大成を図る目的で授業を行った。科目分担者として 15 コマ中 1 コマを担当した。講義ではプリントを配布し､プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、看護の基本となる概念を中心に看護の本質・看護の対象・人間の生活と健康・看護過程・看護倫理・看護管理について解説した。成績は記述試験により評価した。
	2018 年 4 月～現在	
基礎看護実習 1 （生活援助技術の実践）	2018 年 4 月～現在	看護学科 1 年生を対象に看護の対象である患者と患者を取り巻く環境を理解し日常生活の援助技術を体験する目的で臨床実習を担当した。科目責任者として実習計画立案、日程調整、病院での学生指導を担当した。実習は 1 単位 1 週間の実習を病院において実施した。実習内容は病院の機能・概要の理解、入院患者の生活の場と患者の日常生活の理解、学内で演習した共通基本技術及び日常生活援助技術の見学・実施、看護者としての基本的態度の習得、既習の知識と実習での体験を結び付けて「看護とは何か」を考えることである。実習指導は学生 5～6 名を担当した。成績は実習評価表に基づき評価した。
基礎看護実習Ⅱ （看護過程の展開）	2018 年 4 月～現在	看護学科 2 年生を対象に看護の対象を全人的にとらえニーズの充足をめざして日常生活の援助を計画・実施・評価できる目的で臨床実習を担当した。科目責任者として実習計画の立案、日程調整、病院での学生指導を担当した。実習は 2 単位 2 週間の実習を病院にて実施した。実習内容は患者の全体像を把握し日常生活援助を計画・実施・評価できる。患者にかかわる保健医療チームと看護チームの関連・役割を理解できる。看護者としての基本的な態度を身につけることができる。患者との直接的なかかわりをとおして、看護への理解と関心を深めることができるである。指導は前半グループ・後半グループの学生 5～6 名を担当した。成績は実習評価表に基づき評価した。
総合実習	2022 年 4 月～2023 年 3 月	看護学科 4 年生を対象に既習の知識・技術・態度を統合し、多職種との共同・連携の中で看護チームの一員として看護を継続的に実践できる能力を養う。また、実習を通して看護管理の在り方を学ぶ目的で臨床実習を担当した。統括責任者として実習の計画・調整を担当した。コロナ禍のため病院での実習が困難になりオンラインに実習に変更した。事例を用いて多重業務にシミュレーション演習を取り入れることで病院実習を補完した。成績は評価表に基づいて評価した。
コミュニティヘルス実習	2023 年 4 月～	看護学科 2 年生を対象に地域の福祉施設を利用し地域で生活している

	2024 年 3 月	ライフステーシ各期の人々の発達課題や健康状態を踏まえ支援内容について理解する目的で臨床実習を担当した。臨床実習では学生 6 名～8 名を担当し、施設との内容調整及び施設での指導を担当した。成績は実習評価表に基づき評価した。
基礎看護論	2022 年 4 月～現在	医療技術学科 4 年生を対象に看護師の役割を学ぶとともに、臨床工学士との連携について理解を深める目的で授業を行った。責任者として看護学科教員の調整と評価方法などを担当した。講義は科目分担者として 8 コマ中 2 コマを担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、看護の概念、医療現場の概要、看護技術の実際について解説した。成績は課題レポートにより評価した。
2　作成した教材（150 字程度まで）		
看護学概論（看護学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2020 年～現在	看護学科 1 年次対象の看護学概論の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 15 点、計 600 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
看護学概論（看護学科対象）の講義用配布資料	2020 年～現在	看護学科 1 年生対象の看護学概論の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(A3、計 60 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
看護学概論（看護学科対象）のグループワーク課題シート	2020 年～現在	看護学科 1 年生対象の看護学概論のグループワークにおいて、演習内容と方法及び課題をまとめたプリントを配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
看護倫理（看護学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2022 年～現在	看護学科 3 年次対象の看護倫理の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 5 点、計 200 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
看護倫理（看護学科対象）の講義用配布資料	2022 年～現在	看護学科 3 年生対象の看護倫理の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(A3、計 40 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
看護倫理（看護学科対象）のグループワーク課題シート	2022 年～現在	看護学科 3 年生対象の看護倫理のグループワークにおいて演習内容と方法及び事前課題、事例をまとめたプリントを配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
基礎看護技術 1（人間関係とコミュニケーション）（看護学科対象）のグループワーク課題シート	2018 年～現在	看護学科 1 年生対象の基礎看護技術 1 のグループワークにおいて演習内容と方法をまとめたプリントを配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
基礎看護技術Ⅱ（日常生活援助技術）（看護学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2018 年~現在	看護学科 1 年次対象の基礎看護技術Ⅱの講義を行った際、PowerPoint スライド(計 4 点、計 160 枚)を作成し、板書として使用した。講義の

		後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
基礎看護技術Ⅱ（日常生活援助技術）（看護学科対象）講義用配布資料	2018 年~現在	看護学科 1 年生対象の基礎看護技術Ⅱの講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(A3、計 12 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
基礎看護技術Ⅱ（日常生活援助技術）（看護学科対象）演習用配布資料	2018 年~現在	看護学科 1 年生対象の基礎看護技術Ⅱの演習を行った際、演習用内容及び事前・事後課題をまとめたプリントを配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
基礎看護技術Ⅳ（診療に伴う援助技術）（看護学科対象）講義用 PowerPoint スライド	2018 年~現在	看護学科 2 年次対象の基礎看護技術Ⅳの講義を行った際、PowerPoint スライド(計 6 点、計 240 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
基礎看護技術Ⅳ（診療に伴う援助技術）（看護学科対象）講義用配布資料	2018 年~現在	看護学科 2 年生対象の基礎看護技術Ⅳの講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(A3、計 24 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
基礎看護技術Ⅳ（診療に伴う援助技術）（看護学科対象）演習用配布資料	2018 年~現在	看護学科 2 年生対象の基礎看護技術Ⅳの演習を行った際、演習用内容をまとめたプリント及び事前・事後課題を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
看護学セミナー（看護学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2018 年~現在	看護学科 4 年次対象の看護学セミナーの講義を行った際、PowerPoint スライド(計 1 点、計 40 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
看護学セミナー（看護学科対象）講義用配布資料	2018 年~現在	看護学科 4 年生対象の看護学セミナーの講義を行った際、授業内容をまとめたプリント(A3、計 4 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
基礎看護学実習 1（生活援助技術の実践）（看護学科対象）の実習要綱	2018 年~現在	看護学科 1 年生対象の基礎看護学実習 1 の病院実習において実習要綱（A 4 ,計 17 頁）を作成した。実習の後には要綱を見直し変更や修正など、更新を行った。
基礎看護学実習Ⅱ（看護過程の展開）（看護学科対象）の実習要綱	2018 年~現在	看護学科 2 年生対象の基礎看護学実習Ⅱの病院実習において実習要綱（A 4 ,計 26 頁）を作成した。実習の後には要綱を見直し変更や修正など、更新を行った。
総合実習（看護学科対象）の実習要綱	2022 年	看護学科 4 年生対象の総合実習においてコロナ禍のため実習をオンラインに変更した。オンライン用の実習要綱及び事例を作成した。実習の後にはオンライン実習における課題を検討した。
基礎看護論（医療技術学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2022 年～現在	医療技術学科 4 年次対象の基礎看護論の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 2 点、計 80 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
基礎看護論（医療技術学科対象）講義用配布資料	2022 年～現在	医療技術学科 4 年生対象の基礎看護論の講義を行った際、授業内容を

		まとめたプリント(A3、計８枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
看護学教育に関する著書	2022 年 7 月	看護学教育に関する著書を発表した。 「ステップアップ基礎看護技術ノート改訂版第 2 班」山口瑞穂子編著、山口瑞穂子、尾崎道江、倉持亨子著、サイオ出版、P42－50、P64－68、P75－88、P94-107、p110―115、p116－120
4　その他教育活動上特記すべき事項		
看護学科における卒業研究指導 （看護研究セミナー）	2022~現在	看護学科 4 年生に対して科目分担者として 5～6 名の学生を担当し文献研究を指導した。1 名の学生に 10 回～12 回の個別指導により、テーマ設定から文献レビューまでを指導した。
看護学科における病院実習指導	2018 年～現在	看護学科 1 年次・2 年次対象の病院実習において毎年 5～6 名程度の学生に対して指導を行った。

Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
2　特許		
3　その他職務上の実績に関する事項		
学術論文の査読（1 件）	2021 年	

Ⅲ　研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					
ステップアップ基礎看護技術ノート改訂版第 2 班	共著	2022 年 7 月	サイオ出版	山口瑞穂子、尾崎道江、倉持亨子	P42－50、P64－68、P75－88、P94-107、p110―115、p116－120
疾患別看護過程の展開	共著	2020 年 11 月	学研メディカル秀潤社	石川ふみよ、高谷真由美、尾崎道江他 39 名	P537―551，P563―576

論文					
光イメージ法を用いた大学生のメンタルヘルス支援の効果	共著	2022 年 3 月	つくば国際大学医療保健学研究 13 号	渡部洋子、高尾敏文、尾崎道江、林隆司、小林由美子、酒井隆、宗像恒次	P27―40
報告					
学会発表					
大学生を対象とした光イメージ法によるセルフケア行動研究	共同	2021 年 9 月	第 28 回ヘルスカウンセリング学会（オンライン開催）	渡部洋子、尾崎道江、小林由美子、林隆司、高尾敏文、酒井隆、宗像恒次	一般演題

Ⅳ　学会等および社会における主な活動
1　現在の所属学会
日本赤十字看護学会、 西田哲学会 日本看護技術学会 日本災害看護学会 日本看護学教育学会
2　2020～2024 年度の学会での主な活動
3　2020～2024 年度の社会での主な活動
・第 2 回家族で体験 BOSAI キャンプ（胸骨圧迫・AED 指導）;（2024 年 3 月 10 日／一般市民） ・家族で体験 BOSAI キャンプ（胸骨圧迫・AED 指導）;（2023 年 3 月 19 日／一般市民） ・つくば国際大学医療保健学部紀要査読者;（2021 年） ・救急法講習指導（心肺蘇生法・AED 講習）:（2020 年／一般市民 40 名）

所属　医療保健学部 学科　看護学科	職名　教授	氏名　幸田　幸直	学　位	薬学博士
			国家資格	薬剤師

I　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
臨床薬理学	2013 年度～現在	理学療法学科 3 年次生（2021 年度までは 2 年次生）を対象に、医療現場で医師や薬剤師と円滑に協働できるように、薬物および薬物治療について基礎的な知識を習得する目的で講義を行った。科目責任者として 15 コマ（2021 年度までは 8 コマ）すべての授業を担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、薬物の生体への作用、投与された医薬品の生体内での変化、病態と薬物療法、医薬品の取り扱い上の注意点などについて、医療現場で使用されている基本的な医薬品を中心に解説した。成績は期末試験（追再試験を含む）により評価した。
臨床薬理学	2013 年度～現在	看護学科 1 年次生を対象に、医療現場で医師や薬剤師と円滑に協働できるように、薬物および薬物治療について基礎的な知識を習得する目的で講義を行った。科目責任者として 15 コマすべての授業を担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、薬物の生体への作用、投与された医薬品の生体内での変化、病態と薬物療法、医薬品の取り扱い上の注意点などについて、医療現場で使用されている基本的な医薬品を中心に解説した。成績は期末試験（追再試験を含む）により評価した。

臨床薬理学	2019 年度～現在	保健栄養学科 4 年次生を対象に、医療現場で医師や薬剤師と円滑に協働できるように、薬物および薬物治療について基礎的な知識を習得する目的で講義を行った。科目責任者として 15 コマすべての授業を担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、薬物の生体への作用、投与された医薬品の生体内での変化、病態と薬物療法、医薬品の取り扱い上の注意点などについて、医療現場で使用されている基本的な医薬品を中心に解説した。成績は期末試験（追再試験を含む）により評価した。
臨床薬理学	2014 年度～現在	診療放射線学科 2 年次生を対象に、医療現場で医師や薬剤師と円滑に協働できるように、薬物および薬物治療について基礎的な知識を習得する目的で講義を行った。科目責任者として 15 コマすべての授業を担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、薬物の生体への作用、投与された医薬品の生体内での変化、病態と薬物療法、医薬品の取り扱い上の注意点などについて、医療現場で使用されている基本的な医薬品を中心に解説した。成績は期末試験（追再試験を含む）により評価した。
臨床薬理学	2016 年度～現在	臨床検査学科 3 年次生を対象に、医療現場で医師や薬剤師と円滑に協働できるように、薬物および薬物治療について基礎的な知識を習得する目的で講義を行った。科目責任者として 15 コマすべての授業を担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、薬物の生体への作用、投与された医薬品の生体内での変化、病態と薬物療法、医薬品の取り扱い上の注意点などについて、医療現場で使用されている基本的な医薬品を中心に解説した。成績は期末試験（追再試験を含む）により評価した。

臨床薬理学	2017 年度～現在	医療技術学科 2 年次生を対象に、医療現場で医師や薬剤師と円滑に協働できるように、薬物および薬物治療について基礎的な知識を習得する目的で講義を行った。科目責任者として 15 コマすべての授業を担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、薬物の生体への作用、投与された医薬品の生体内での変化、病態と薬物療法、医薬品の取り扱い上の注意点などについて、医療現場で使用されている基本的な医薬品を中心に解説した。成績は期末試験（追再試験を含む）により評価した。
チーム医療論	2024 年度～現在	診療放射線学科 3 年次生を対象に、チーム医療における薬剤師の役割を理解する目的で講義を行った。科目分担者として 8 コマ中 1 コマの授業を担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、薬剤師の資格と業務の概要、チーム医療における薬剤師の役割について解説した。成績評価は科目責任者により実施された。
チーム医療論	2023 年度	臨床検査学科 3 年次生を対象に、チーム医療における薬剤師の役割を理解する目的で講義を行った。科目分担者として 8 コマ中 1 コマの授業を担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、薬剤師の資格と業務の概要、チーム医療における薬剤師の役割について解説した。成績評価は科目責任者により実施された。
2　作成した教材（150 字程度まで）		
臨床薬理学（理学療法学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2013 年度～現在	理学療法学科 3 年次生を対象の臨床薬理学の講義を行った際、PowerPoint スライド（計 15 点、計 405 枚）を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
臨床薬理学（理学療法学科対象）の講義用配布資料	2013 年度～現在	理学療法学科 3 年次生を対象の臨床薬理学の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント（A4、計 108 枚）を配布資料として作

		成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
臨床薬理学（看護学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2013 年度～現在	看護学科 1 年次生を対象の臨床薬理学の講義を行った際、PowerPoint スライド（計 15 点、計 405 枚）を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
臨床薬理学（看護学科対象）の講義用配布資料	2013 年度～現在	看護学科 1 年次生を対象の臨床薬理学の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント（A4、計 108 枚）を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
臨床薬理学（保健栄養学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2019 年度～現在	保健栄養学科 4 年次生を対象の臨床薬理学の講義を行った際、PowerPoint スライド（計 15 点、計 405 枚）を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
臨床薬理学（保健栄養学科対象）の講義用配布資料	2019 年度～現在	保健栄養学科 4 年次生を対象の臨床薬理学の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント（A4、計 108 枚）を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
臨床薬理学（診療放射線学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2014 年度～現在	診療放射線学科 2 年次生を対象の臨床薬理学の講義を行った際、PowerPoint スライド（計 15 点、計 405 枚）を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
臨床薬理学（診療放射線学科対象）の講義用配布資料	2014 年度～現在	診療放射線学科 2 年次生を対象の臨床薬理学の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント（A4、計 108 枚）を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
臨床薬理学（臨床検査学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2016 年度～現在	臨床検査学科 3 年次生を対象の臨床薬理学の講義を行った際、PowerPoint スライド（計 15 点、計 405 枚）を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
臨床薬理学（臨床検査学科対象）の講義用配布資料	2016 年度～現在	臨床検査学科 3 年次生を対象の臨床薬理学の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント（A4、計 108 枚）を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
臨床薬理学（医療技術学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2017 年度～現在	医療技術学科 2 年次生を対象の臨床薬理学の講義を行った際、PowerPoint スライド（計 15 点、計 405 枚）を作成し、板書として使

		用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
臨床薬理学（医療技術学科対象）の講義用配布資料	2017 年度～現在	医療技術学科 2 年次生を対象の臨床薬理学の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント（A4、計 108 枚）を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
チーム医療論（診療放射線学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2024 年度～現在	診療放射線学科 3 年次生を対象のチーム医療論の講義を行った際、PowerPoint スライド（計 34 枚）を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
チーム医療論（診療放射線学科対象）の講義用配布資料	2024 年度～現在	診療放射線学科 3 年次生を対象のチーム医療論の講義を行った際、授業内容をまとめたプリント（A4、計 8 枚）を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
チーム医療論（臨床検査学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2023 年度	臨床検査学科 3 年次生を対象のチーム医療論の講義を行った際、PowerPoint スライド（計 34 枚）を作成し、板書として使用した。
チーム医療論（臨床検査学科対象）の講義用配布資料	2023 年度	臨床検査学科 3 年次生を対象のチーム医療論の講義を行った際、授業内容をまとめたプリント（A4、計 8 枚）を配布資料として作成した。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
4　その他教育活動上特記すべき事項		

Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
2　特許		
3　その他職務上の実績に関する事項		

Ⅲ　研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					
最新臨床検査学講座 臨床化学検査学　第3版	共著	2024年2月	医歯薬出版	【編者】戸塚 実、奥村伸生、浦山 修、松下 誠、山内一由、大川龍之介 【著者】池田 均、石井直仁、浦山 修、大川龍之介、奥村伸生、川良徳弘、幸田幸直、齋藤邦明、佐藤雅哉、下澤達雄、竹田真由、戸塚 実、松下 誠、村本良三、山内一由、山田俊幸	総頁数：452頁 執筆担当：第4章 各種病態と疾患マーカー、Ⅻ 毒物･薬物（p403－408）
最新臨床検査学講座 臨床化学検査学　第2版	共著	2022年1月	医歯薬出版	【編者】戸塚 実、奥村伸生、浦山 修、松下 誠、山内一由、大川龍之介 【著者】池田 均、石井直仁、浦山 修、大川龍之介、奥村伸生、川良徳弘、幸田幸直、齋藤邦明、佐藤雅哉、下澤達雄、竹田真由、戸塚 実、松下 誠、村本良三、山内一由、山田俊幸	総頁数：450頁 執筆担当：第4章 各種病態と疾患マーカー、XI 毒物･薬物（p401－406）

論文					
Effect of antipsychotics on serum lithium levels and white blood cell counts	共著	2021 年 12 月	Neuropsychopharmacol Rep 41 巻 4 号	Obara R, Tomita T, Goto H, Kohda Y, Yoshida T, Kudo K	p532－537
Effect of *CYP2D6* genetic polymorphism on peak propafenone concentration: no significant effect of *CYP2D6*10*	共著	2020 年 12 月	Pharmacogenomics 21 巻 18 号	Doki K, Shirayama Y, Sekiguchi Y, Aonuma K, Kohda Y, Ieda M, Homma M	p1279－1288
報告					
他職種からのメッセージ	単著	2021 年 3 月	新樹 37 号	幸田幸直	p4－4
病院薬剤師として過ごして	単著	2020 年 5 月	薬剤学 80 巻 3 号	幸田幸直	p118－122
学会発表					
運動強度による血中および尿中 Cell-free DNA 量の変化	共同	2020 年 9 月	第 75 回日本体力医学会大会（鹿児島）	宍倉康浩、時野谷勝幸、関根七海、青柳 篤、青木海、柳沢亘輝、幸田幸直、藤田和子、吉田保子、石倉恵介、菅澤威仁、前田清司、鍋倉賢	一般演題

				治、竹越一博	

Ⅳ　学会等および社会における主な活動
1　現在の所属学会
日本薬学会 日本医療薬学会 日本薬剤学会 日本臨床薬理学会
2　2020～2024 年度の学会での主な活動
日本医療薬学会 評議員･代議員（1996 年 1 月～2020 年 12 月まで） 日本薬剤学会 評議員･代議員（2010 年 6 月～2022 年 3 月まで）
3　2020～2024 年度の社会での主な活動
薬剤師認定制度認証機構薬剤師認定制度委員（2004 年 8 月～2025 年 3 月まで） 筑波大学附属病院臨床研究倫理審査委員会委員（2015 年 4 月～現在） 筑波大学臨床研究審査委員会委員（2018 年 4 月～現在） 筑波大学特定認定再生医療等委員会委員（2019 年 4 月～現在）

所属　医療保健学部 学科　看護	職名　教授	氏名　長堀　智香子	学　位	博士（保健科学）
			国家資格	保健師、助産師、看護師

Ⅰ　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
公衆衛生看護学概論	2018～現在	看護学科 2 年次生を対象に公衆衛生看護学概論の中で「公衆衛生看護活動の展望」として国外における公衆衛生看護活動について 1 コマ講義を行っている。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、解説した。個人ワークも組み入れて、学生が主体的に参加できるように工夫している。
公衆衛生看護対象論	2018～2024	看護学科 2 年次生を対象に公衆衛生看護対象論全 15 コマのうち､6 コマ（高齢者、精神、難病、感染症、災害保健活動）を担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、解説した。個人ワークも組み入れて、学生が主体的に参加できるように工夫している。
公衆衛生看護活動論Ⅰ	2018～現在	看護学科保健師コース 3 年次生を対象に公衆衛生看護活動論Ⅰ全 15 コマのうち、最後の 2 コマを科目責任者と共に担当した。演習の成果発表では今後の学習につながるよう指導している。
公衆衛生看護活動論Ⅱ	2018～現在	看護学科保健師コース 3 年次生を対象に公衆衛生看護活動論Ⅱ全 23 コマのうち、13 コマを科目責任者として担当した。事例演習、グループワーク、個人ワークを組み入れて、学生が主体的に参加できるように工夫している。
公衆衛生看護活動論Ⅲ	2018～現在	看護学科保健師コース 3 年次生を対象に公衆衛生看護活動論Ⅲ全 15 コマを科目責任者として担当した。健康教育をグループで企画・実施・評価するワークの中で、学生が主体的に参加できるように工夫している。
公衆衛生看護活動論Ⅳ	2024～現在	看護学科保健師コース 3 年次生を対象に公衆衛生看護活動論Ⅳ全 15 コマのうち、科目責任者として他の教員と共に担当した。本科目は公衆衛生看護活動論Ⅰで学んだ地域診断の応用編であり、既習の学びを基に 4 年次の実習につながるよう意識して指導している。
公衆衛生看護管理論	2024～現在	看護学科保健師コース 3 年次生を対象に公衆衛生看護管理論全 8 コマを科目責任者として担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、解説した。個人

		ワーク、グループワークを組み入れて、学生が主体的に参加できるように工夫している。
保健医療福祉行政論	2024～現在	看護学科保健師コース 3 年次生を対象に保健医療福祉行政論全 15 コマを科目責任者として担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、解説した。個人ワーク、グループワークを組み入れて、学生が主体的に参加できるように工夫している。
国際看護論	2024～現在	看護学科 4 年次生を対象に国際看護論全 8 コマを科目責任者として担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、解説した。個人ワークも組み入れて、学生が主体的に参加できるように工夫している。
公衆衛生看護学実習Ⅰ	2018～現在	看護学科保健師コース 3 年次生を対象に公衆衛生看護学実習Ⅰ（1 週間）を科目責任者として他の教員と共に担当した。本科目は 2024 年より新カリキュラムに伴い内容が「学校保健・産業保健」に変更になっており、様々な場での保健師の役割が実感できるように意識して指導している。
公衆衛生看護学実習Ⅱ	2018～現在	看護学科保健師コース 4 年次生を対象に公衆衛生看護学実習Ⅱ（4 週間）を科目責任者として他の教員と共に担当した。本科目は保健所実習 1 週間、市町村実習 3 週間で構成されており、それぞれの場での保健師の役割やその違いが学べるように意識して指導している。
2　作成した教材（150 字程度まで）		
公衆衛生看護学概論	2018～現在	看護学科 2 年次対象の公衆衛生看護学概論の講義を行った際、PowerPoint スライドを作成し使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
公衆衛生看護対象論	2018～2024	看護学科 2 年次対象の公衆衛生看護対象論の講義を行った際、PowerPoint スライドを作成し使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
公衆衛生看護活動論Ⅱ	2018～現在	看護学科保健師コース 3 年次対象の公衆衛生看護活動論Ⅱの講義を行った際、PowerPoint スライドを作成し使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
公衆衛生看護活動論Ⅲ	2018～現在	看護学科保健師コース 3 年次対象の公衆衛生看護活動論Ⅲの講義を行った際、PowerPoint スライドを作成し使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
公衆衛生看護管理論	2024～現在	看護学科保健師コース 3 年次対象の公衆衛生看護管理論の講義を行った際、PowerPoint スライドを作成し使用した。講義の後にはスライド

		を見直し、変更や修正など、更新を行った。
保健医療福祉行政論	2024～現在	看護学科保健師コース 3 年次対象の保健医療福祉行政論の講義を行った際、PowerPoint スライドを作成し使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
国際看護論	2024～現在	看護学科 4 年次対象の国際看護論の講義を行った際、PowerPoint スライドを作成し使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
4　その他教育活動上特記すべき事項		
看護学科における卒業研究指導	2022～現在	看護学科 4 年次対象の卒業研究において毎年 5～6 名名程度の学生に対して指導を行った。

Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
なし		
2　特許		
なし		
3　その他職務上の実績に関する事項		
なし		

Ⅲ　研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					
なし					
論文					
子どもを亡くした親への死悲嘆ケアがもたらす身体的・心理的プロセスの M-GTA を用いた質的分析	共著	2025 年 3 月	医療保健学研究，16 号	塙恵子, 長堀智香子	p11-24.
看護師国家試験対策の e ラーニングによる看護学生の自己効力	共著（筆頭）	2024 年 3 月	医療保健学研究，15 号	長堀智香子,山﨑智代	p33-41.

感の変化から見た学習支援方法の検討					
開発途上国における国際協力の経験を活かす看護教育についての一考察 ～モロッコおよびベナンにおける 5S-KAIZEN-TQM の取り組みより～	共著	2022 年 3 月	医療保健学研究，13 号	小林由美子,長堀智香子	p19-26.
コロナ禍における看護学生の国家試験対策学習支援ニーズと課題	共著（筆頭）	2021 年 3 月	医療保健学研究，12 号	長堀智香子,福田久子,岡嶋妙子,塙恵子,渡部洋子	p21-29.
ベナンの早産児の栄養状態に影響する要因	共著（筆頭）	2020 年 11 月	JICHA ジャーナル,7(1)	長堀智香子，金城芳秀，Vodounon AJ, Alao MJ, Padounou Batossi G,Hounkpatin B,Amoule Houenassi E，山内太郎	p1-9.
報告					
なし					
学会発表					
なし					

Ⅳ　学会等および社会における主な活動
1　現在の所属学会
日本国際小児保健学会
2　2020～2024 年度の学会での主な活動
なし
3　2020～2024 年度の社会での主な活動
全国健康保険協会茨城支部　健康づくり推進協議会委員（2024 年～現在） 茨城県保健師等人材育成研究レベル 1-2 研修講師（2024 年～現在）

所属　医療保健学部 学科　看護学科	職名　教授	氏名　野田智子	学　位	博士（保健学）
			国家資格	看護師　養護教諭専修免許　第1種衛生管理者

I　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300字程度まで）		
小児看護学概論	2023～現在	看護学科2年次生を対象に小児の身体的、心理的、社会的成長発達と各発達期の健康課題について理解を深める目的で講義を行った。科目責任者として15コマすべての授業を担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成されたPowerPointスライドを用いて解説した。授業の最後はまとめ課題のプリントを配布し学生に回答後回収し翌授業にて返却した。離乳食、身体発育の評価、発達検査については演習とした。成績は課題等の提出物と期末試験および再試験により評価した。
小児看護学援助論	2023～現在	看護学科2年次生を対象に小児期の主な疾患と看護について理解を深める目的で講義を行った。また小児の看護技術と看護過程の展開について実施できることを目的で演習を行った。科目責任者として30コマすべての授業を担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成されたPowerPointスライドを用いて解説した。授業の最後はまとめ課題のプリントを配布し学生に回答後回収し翌授業にて返却した。演習については演習ノートを作成し、学生に配布、課題ノートに沿って演習を行った。成績は演習ノート等の提出物と期末試験および再試験により評価した。
家族看護論	2023～現在	看護学科2年次生を対象に家族のアセスメント方法、家族援助方法についての理解を深める目的で講義を行った。科目責任者として8コマすべての授業を担当した。前半の講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成されたPowerPointスライドを用いて解説した。後半の授業では事例を用いて解説しながら講義を進めた。成績は課題等の提出物と期末試験および再試験により評価した。
学校保健	2024～現在	看護学科2年次生を対象に学校保健と養護教諭の役割について理解を深める目的で講義を行った。科目責任者として8コマすべての授業を担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成されたPowerPointスライドを用いて解説した。授業の最後はまとめ課題のプリントを配布し学生に回答後回収し翌授業にて返却した。成績は

		課題等の提出物と期末試験および再試験により評価した。
生命論理	2023～現在	看護学科 1 年次生を対象に小児看護領域に関連した生命倫理についての理解を深める目的で講義を行った。科目分担者として 15 コマ中 3 コマの授業を担当した。前半の講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて解説した。後半の授業では事例を用いて解説しながら講義を進めた。成績はレポートを課し、レポート内容により評価した。
基礎看護論	2023～現在	臨床検査学科 2 年次生を対象に小児に関連した検査の看護についての理解を深める目的で講義を行った。科目分担者として 15 中 1 コマの授業を担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて解説した。成績はレポートを課し、レポート内容により評価した。
2　作成した教材（150 字程度まで）		
小児看護学概論（看護学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2023～現在	看護学科 2 年次対象の小児看護学概論の講義を行った際、PowerPoint スライドを作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
小児看護学概論（看護学科対象）の講義用配布資料	2023～現在	看護学科 2 年生対象の小児看護学概論の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(A4)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
小児看護学援助論（看護学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2023～現在	看護学科 2 年次対象の小児看護学援助論の講義を行った際、PowerPoint スライドを作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
小児看護学援助論（看護学科対象）の講義用配布資料	2023～現在	看護学科 2 年生対象の小児看護学援助論の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(A4)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
家族看護論（看護学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2023～現在	看護学科 2 年次対象の家族看護論の講義を行った際、PowerPoint スライドを作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
家族看護論（看護学科対象）の講義用配布資料	2023～現在	看護学科 2 年生対象の家族看護論の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(A4)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
学校保健（看護学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2024～現在	看護学科 2 年次対象の学校保健の講義を行った際、PowerPoint スライドを作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
学校保健（看護学科対象）の講義用配布資料	2024～現在	看護学科 2 年生対象の家族学校保健の講義を行った際、毎回の授業内

		容をまとめたプリント(A4)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
生命倫理（看護学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2023～現在	看護学科 1 年次対象の生命倫理の講義を行った際、PowerPoint スライドを作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
生命倫理（看護学科対象）の講義用配布資料	2023～現在	看護学科 1 年生対象の生命倫理の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(A4)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
基礎看護論（臨床検査学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2023～現在	臨床検査学科 2 年次対象の基礎看護論の講義を行った際、PowerPoint スライドを作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
基礎看護論（臨床検査学科）の講義用配布資料	2023～現在	臨床検査学科 2 年生対象の基礎看護論の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(A4)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
小児看護学援助論（看護学科対象）の演習課題シート	2023～現在	看護学科 2 年次対象の小児看護学援助論演習において、毎回の実習の内容と手順をまとめたプリント(A4)を配布資料として作成した。実習の後にはプリントの見直しをし、変更、修正を行った。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
該当なし		
4　その他教育活動上特記すべき事項		
看護学科における卒業研究指導	2023～現在	看護学科 4 年次対象の卒業研究において毎年 6～7 名名程度の学生に対して指導を行った。
看護学科における病院実習指導	2023～現在	看護学科 3～4 年次対象の小児看護学臨床実習と 4 年次対象の総合実習において 50～70 名程度の学生に対して指導を行った。

Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
科学研究費助成・基盤研究(C)	2019～2023	「肢体不自由特別支援学校における栄養状態の評価の充実に向けた評価シートの作成と提案」：2,730,000 円　【代表】野田智子
2　特許		
該当なし		
3　その他職務上の実績に関する事項		

埼玉医科大学看護学科紀要編集委員長	2019～2022	
学術論文の査読（10 件）	2020～2024	

Ⅲ　研究活動					
著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					
子どもの食と栄養	編著	2025 年 3 月	学健書院	【編者】飯塚美和子・瀬尾弘子・濱谷涼子 【著者】飯塚美和子・瀬尾弘子・濱谷涼子・浅野雅子・大津美紀・五隻雅江・高橋恭子・圓谷か陽子・成田豊子・野田智子・松井貞子	総頁数：244 頁 執筆担当：第 6 章 特別な配慮を要する子どもの食と栄養（p208-218）
論文					
肢体不自由特別支援学校養護教諭の職務の実際と特徴（第 1 報）（査読付）	共著	2025 年 3 月	日本養護教諭教育学会誌 第 28 巻 2 号	野田智子、齋藤美奈子、鎌田尚子	P17-27
病棟保育士のキャリアアップ研修に関する現状と意向（査読付）	共著	2024 年 3 月	つくば国際大学紀要第 15 号	野田智子、齋藤美奈子、鈴木雅子	P57-75
青年期炎症性腸疾患患者のレジリエンスと療養生活との関連（査読付）	共著	2024 年 3 月	埼玉医科大学看護学科紀要 17 巻	島田敦、野田智子	P9－19
小児領域に勤務する看護師の思いに関する文献検討（査読付）	共著	2023 年 3 月	埼玉医科大学看護学科紀要 16 巻	高橋梢、野田智子	P27-36
肢体不自由特別支援学校における栄養評価シートの導入に関する検討	共著	2023 年 3 月	埼玉医科大学看護学科紀要 16 巻	野田智子、齋藤美奈	P15-26
在宅で幼児期の重症心身障害	共著	2023 年 3 月	埼玉医科大学看護学科紀要	齋藤美奈子、野田智子	P1-13

児を育てる母親の育児ストレスとその関連要因（査読付）			16 巻		
肢体不自由特別支援学校児童生徒の栄養状態の評価指標の検討（査読付）	単著	2022 年 3 月	埼玉医科大学看護学科紀要 15 巻	野田智子	P1-10
知的障害特別支援学校における定期健康診断事前指導の現状（査読付）	共著	2021 年 4 月	学校保健研究 62(1)	野田智子、藤沼小智子	52-62
知的障害特別支援学校における定期健康診断の指導に関する教員の認識（査読付）	共著	2121 年 3 月	埼玉医科大学看護学科紀要 14 巻	野田智子、藤沼小智子	P1-10
「看護におけるコミュニケーション論」の工夫と課題	共著	2121 年 3 月	埼玉医科大学看護学科紀要 14 巻	大賀淳子， 野田智子	P19-22
報告					
肢体不自由特別支援学校における栄養状態の評価の充実に向けた評価シートの作成と提案	単著	2024 年 4 月	科学研究費助成・基盤 C 研究報告書	野田智子	総頁数：4 頁
学会発表					
病棟で小児看護に携わる看護師の仕事意欲とその関連要因	共著	2024 年 7 月	日本小児看護学会第 34 回学術集会（大阪）第 30 回	高橋梢、野田智子	一般演題
病棟で小児看護に携わる看護師の仕事意欲とその関連要因	共著	2023 年 11 月	第 4 回「オール埼玉医大 研究の日」（埼玉医科大学毛呂山キャンパス カタロスタワー1 階 クロード・ベルナールホール）	高橋梢、野田智子	看護学研究科演題
青年期炎症性腸疾患患者のレジリエンスと療養生活との関連	共著	2023 年 7 月	日本小児看護学会第 33 回学術集会（パシフィコ横浜）	島田敦、野田智子	一般演題
小児領域に勤務する看護師の思いに関する文献検討	共著	2023 年 6 月	第 70 回日本小児保健協会学術集会（神奈川）	高橋梢、野田智子	一般演題
Nutritional assessment of children with severe mental	単著	2023 年 3 月	26th EAFONS	野田智子	一般演題

and physical disabilities attending a special needs school for the physically disabled					
肢体不自由特別支援学校に通学する重症心身障害児（者）の栄養評価	共著	2021 年 11 月	第 46 回日本重症心身障害学術集会	野田智子	一般演題
病棟保育士のキャリアアップ研修のニーズに関する実態調査	共著	2021 年 6 月	日本小児看護学会第 31 回学術集会	野田智子、齋藤美奈子、鈴木雅子	一般演題
小児看護領域の看護師の専門職的自律性とその関連要因	共著	2021 年 6 月	日本小児看護学会第 31 回学術集会	鈴木雅子、野田智子	一般演題
知的障害特別支援学校小学部における学校医検診の工夫と配慮	共著	2020 年 11 月	第 67 回日本小児保健協会学術集会	野田智子、 藤沼小智子	一般演題

Ⅳ　学会等および社会における主な活動
1　現在の所属学会
日本小児保健研究 日本小児看護学期 日本学校保健学会 日本養護教諭教育学会 日本臨床発達心理学会 日本小児在宅医療支援研究会 重症心身障害学会 日本 LD 学会 日本栄養治療学会
2　2020～2024 年度の学会での主な活動
NPO 法人日本健康教育士養成機構理事（2005 年～現在）
3　2020～2024 年度の社会での主な活動
東京都保育士キャリアアップ研修会講師（障害児保育、食育・アレルギー対応）（2018 年～現在） IHEAT に係る保健所応援（狭山保健所）（2022 年～2023 年） 埼玉医科大学国際医療センター院内認定看護師研修会講師（看護倫理）（2018 年～2022 年）

埼玉医科大学キャリアアップセンター実習指導者講習会講師(看護論)(2016 年～2022 年)
独立行政法人日本学術振興会特別研究員等審査会専門委員、審査委員(2020 年～2021 年)

所属　医療保健学部 学科　看護学科	職名　准教授	氏名　鈴木　悠圭	学　位	博士(医学)
			国家資格	保健師、看護師、養護教諭二種、第一種衛生管理者

I　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
公衆衛生看護学概論	2024.4～現在	看護学科 2 年次生を対象に、地域で生活している人々の健康の維持・増進及び QOL 向上のための公衆衛生看護の基本的な考え方や目的、対象、活動分野、方法等について理解を深める目的で講義をした。科目責任者として、15 コマ中 12 コマを担当、3 コマは多様化する健康課題や対策について「生」の声がきけるよう現役の保健師等を招聘した。講義では、配布資料と PowerPoint を用いて、公衆衛生看護の概念や理念、歴史的変遷、公衆衛生看護活動を担う看護職の役割と保健医療福祉行政等、公衆衛生看護に関する総論について解説した。成績は、ワークシート(各回で提出)と期末試験により評価した。
公衆衛生看護対象論	2019.4～現在	看護学科 2 年次生を対象に、公衆衛生看護活動の基本である、対象別活動の支援のしくみ、各保健活動における看護職としての保健師の役割と活動について理解を深める目的で講義をした。科目責任者として、15 コマ全ての授業を担当した。講義では、配布資料と PowerPoint を用いて、母子(親子)・成人・高齢者・精神・障害者(児)・感染症・難病・歯科保健等の支援のしくみ、各保健活動の歴史的変遷や動向、現在の制度や支援体制、健康課題と保健活動について解説をした。成績は、ワークシート(各回で提出)と期末試験により評価した。
公衆衛生看護活動論 I	2019.4～現在	看護学科保健師コース 3 年次生を対象に、公衆衛生看護を展開する上で必要な地域診断の技法について理解を深め、既存の理論等を用いて地域をアセスメントし、健康課題の抽出と対策の検討ができることを目的に演習をした。科目責任者として、15 コマ全ての授業を担当した。配布資料と PowerPoint を用いて、意義や技法(情報収集、アセスメント、評価等)について解説し、地域診断の過程(既存資料や地区踏査情報の収集計画、健康課題の抽出、対策の検討、発表)をグループ演習で展開した。成績は、事前課題、地区踏査計画書(インタビューガイド含む)および実施記録、マッピング、グループ発表(評価表に基づく)で評価した。

公衆衛生看護活動論Ⅱ	2019.4～現在	看護学科保健師コース 3 年次生を対象に、公衆衛生看護活動の支援方法のうち、個人・家族、組織活動やグループ活動への支援等を学習することを目的とした講義、演習をした。2019～2021 年までは科目責任者として、23 コマ中 13 コマ、2022 年からは科目分担者として、23 コマ中 10 コマ授業を担当した。個別支援の基本的な考え方、住民ニーズの捉え方、家庭訪問・健康相談の計画、実施、評価、また、業務計画の中での優先順位・緊急度、カウンセリング技術、地域組織活動やグループ活動への支援等について解説した。演習では、乳幼児健診や新生児訪問の演習を実施した(2021 年まで特定保健指導での支援)。定期試験 80%、演習の記録物 20%で評価をした。
公衆衛生看護活動論Ⅲ	2019.4～現在	看護学科保健師コース 3 年次生を対象に、地域の健康課題に対して、健康教育の企画から評価まで一連の過程を演習し、地域の集団を対象にした健康教育の方法について学ぶことを目的とした演習を実施した。科目分担者として、2019～2023 年は 15 コマ中 13 コマ、2024 年からは 2 コマ授業を担当した。健康教育の指導案、展開案、媒体、発表等の指導を実施した。評価は、健康教育発表（80%）、個人課題（20%）のうち、発表について実施した。
公衆衛生看護活動論Ⅳ	2019.4～2022.3	看護学科保健師コース 3 年次生を対象に、保健医療福祉分野の行財政施策の仕組みを理解し、人々の健康を保持･増進するための施策化の必要性、方法が理解できることを目的に講義・演習を実施した。科目分担者として、8 コマ中 3 コマ授業を担当した。行政計画と地域保健福祉計画との関連性、保健計画実施のための予算編成・情報公開・アカウンタビリティについて、講義、演習、及び、地域保健福祉計画に基づく事業計画策定演習を実施した。評価は、レポート 20%、発表 30%、試験 50%のうち、発表 30%と担当箇所の試験について実施した。
公衆衛生看護活動論Ⅳ(地域診断Ⅱ)	2024 年～現在	2024 年から新カリキュラムとなった。看護学科保健師コース 3 年次生を対象に、公衆衛生看護活動論Ⅰを踏まえ、さらに地域診断を推し進め、情報の収集、分析など一連の方法、技術を通して、地域特性や地域で生活している人々の健康状態や健康問題を把握し、地域特性に対応した公衆衛生看護活動を考えることを目的に演習を実施した(公衆衛生看護実習Ⅱにつながる地域診断の実践的手法を学ぶ)。科目分担者として、15 コマ中 15 コマ演習を担当した。地域診断の過程(既存資料や地区踏査情報の収集計画、健康課題の抽出、対策の検討、発表)をグループ演習で展開した。評価は、グループ課題 80%、個人レポート 20%のうち、グループ課題 80%について実施した。

公衆衛生看護学実習Ⅰ	2018～2023 年	看護学科保健師コース 3 年次生を対象に、公衆衛生看護実習Ⅱにつながる地域診断の実践的手法を習得すること、及び茨城県精神保健福祉センターでの学習を通して、地域の社会資源について説明ができることを目的に実習を行った。分担者として、地域診断や実習の指導(5 日間)等をした。評価は、事前課題 10%、実習 50%、グループ作成レポート(地域診断レポート)20%、個人提出レポート(実習記録・実習終了レポート)15%、精神保健福祉センター見学記録 5%に基づき、担当学生の評価を中心に実施した。
公衆衛生看護学実習Ⅰ(産業・学校保健)	2024～現在	2024 年から新カリキュラムとなった。看護学科保健師コース 3 年次生を対象に、学校保健や産業保健の活動の場を通して、産業看護職・学校看護職の役割を理解し、職場生活集団および学校生活集団の健康を守るための実践能力を養うことを目的に実習を行った。分担者として、臨地での実習指導(5 日間)等を行った。評価は、事前学習 10%、実習記録 70%、レポート 20%のうち、担当学生の事前学習及び実習記録の評価を実施した。
公衆衛生看護学実習Ⅱ	2019.4～現在	看護学科保健師コース 4 年次生を対象に、保健所と市町村における公衆衛生看護活動の展開方法と保健師の役割を学ぶとともに、基礎的な実践能力を修得することを目的に実習を行った。分担者として、臨地での実習指導(20 日間)等を行った。評価は、事前学習 10%、実習記録 70%、個人レポート 20%について、担当学生の評価を中心に行った。
公衆衛生看護管理論 (理学療法学科との合同演習：理学療法学科の科目閉講と新型コロナウイルス感染症拡大により、2020、2021 年度はオンライン実施(グーグルクラスルーム、Jamboard 活用)、理学療法学科教員の助言をいただきながら実施した)	2019.12～ 2021.12	看護学科保健師コース 3 年次生を対象に、地域診断に基づき保健計画を策定し、施策化、事業化する力と組織運営等の管理能力を身につけるために必要な知識、技術、方法について学ぶことを目的に講義、演習を実施した。科目分担者として、8 コマ中 3 コマを担当した。健康危機管理における保健師の役割・活動について講義をした。また、地域包括ケアシステム演習は、在宅障害者の理学療法(選択科目)と合同で、グループ学習を行い、在宅障害者の地域生活への効果的な介入･支援内容を様々な視点から考え､発表することができることを目指した。評価は、定期試験 80%(担当箇所)、グループ発表 20%で行った。
コミュニティヘルス実習	2023.4～現在	看護学科 2 年次生を対象に、療養者を含めた地域で生活する人々を対象とし､人々やコミュニティと協働しながら生活している現状を知り、看護職の役割の広がりとその多様性について知り、その人にとって必要な暮らしについて理解できることを目的に、実習を行った。分担者として、臨地での実習指導(5 日間)等を行った。評価は、実習評価基づき、担当学生を中心に実施した。

看護学セミナー	2018～2021, 2024	看護学科 4 年次生を対象に、看護学の各領域にわたる必要な知識と臨地において活用される技術との統合を図ることを目的に公衆衛生看護学に関する講義を行った。公衆衛生看護に関する基本的な概念や法律、制度をはじめ、対象別保健活動等について解説した。評価は試験により行われ、担当授業に関して実施した。
基礎看護論	2021.4～現在	医療技術学科 4 年次生を対象に、看護師の役割を学ぶとともに、主に臨床工学士との連携について理解を深めることを目的とした講義を実施した。授業分担者として、8 コマ中 1 コマ担当した。保健医療福祉における専門職の役割やチーム医療について解説した。評価はレポート 100%で、担当する授業内容に関するレポート課題について実施した。
看護研究 (実践的演習、パパパコメントの活用)	2020.12～2021.1	看護学科 4 年次生を対象に、看護研究の基礎的知識を習得することを目的に、研究意義と役割、方法論、倫理的配慮、研究計画書作成についての講義及び演習を実施した。科目分担者として、8 コマ中 1 コマ授業を担当した。図書館と連携し、学生が自宅から医中誌 Web を用いてオンライン文献検索ができるよう実践的演習を取り入れた。新型コロナウイルス感染症流行により、2020 年度と 2021 年度の一部はオンライン授業であったが、パパパコメント(学生が匿名でコメントを共有画面に流せる)を活用し、学生の主体的な授業参加を促した。期末試験及び各自提出された演習課題(文献カード・研究計画書)により評価した。
総合実習	2022.4～2023.3	看護学科 4 年次生を対象に、新型コロナウイルス感染症流行状況、対策を踏まえた実習内容や方法の検討(実習要項作成、補習実習の計画、実施等)を行った。評価として、実習アンケートの実施、集計、まとめを行った。また、4 年次最後の実習となるため、看護技術経験録の最終集計、報告を実施した。
2　作成した教材（150 字程度まで）		
公衆衛生看護学概論　Power Point スライド	2024.4～現在	Power Point スライド 10 点、計 156 枚を作成し、板書として使用した。講義後には変更や修正など更新をした。
公衆衛生対象論　Power Point スライド 「エンパワメントの理論と技術に基づく共創型アクションリサーチ持続可能な社会の実現にむけて　第 7 章　誰もが主人公となる人材づ	2019.4～現在	Power Point スライド 15 点、計 375 枚を作成し、板書として使用した。講義後には変更や修正など更新をした。また、教員自身の保健師としての取り組みの実際をまとめた著書を教材として作成､活用した。

くり」(2021.2)		
公衆衛生看護活動論Ⅰ　Power Point スライド等	2019.4～現在	Power Point スライド 107 枚を作成し、板書として使用した。講義後には変更や修正など更新をした。事前課題様式 4 枚、事前課題に使用する既存資料リスト 4 枚、地区踏査計画および実施記録、マッピング作成方法、インタビューガイド、各 1 枚作成し、演習で使用した。
公衆衛生看護活動論Ⅱ　Power Point スライド等	2019.4～現在	Power Point スライド 60 枚を作成し、板書として使用した。講義後には変更や修正など更新をした。その他、演習設定資料等を 26 点作成、準備した。
公衆衛生看護管理論　Power Point スライド	2019.12～2021.12	Power Point スライド 25 枚を作成し、板書として使用した。講義後には変更や修正など更新をした。
看護学セミナー　Power Point スライド	2018～2021, 2024	Power Point スライド 31 枚を作成し、板書として使用した。講義後には変更や修正など更新をした。また試験後の解説で、Power Point スライド 18 枚を作成、使用した。
基礎看護論　Power Point スライド	2021.4～現在	Power Point スライド 28 枚を作成し、板書として使用した。講義後には変更や修正など更新をした。
看護研究　Power Point スライド等	2020.12～2021.1	Power Point スライド 12 枚を作成し、板書として使用した。講義後には変更や修正など更新をした。研究発表に関する資料を 3 点作成、準備した。オンライン授業時は、パパパコメントを活用し、双方向のやりとりができるようにした。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
保健師学生の卒業時における健康相談技術の習得状況 (下記学会発表に記載)	2021.12	保健師学生の卒業時における健康相談技術の習得状況について、近隣大学の教員と共同研究を実施し、第 80 回日本公衆衛生学会にて発表をした。
4　その他教育活動上特記すべき事項		
看護学科における卒業研究指導	2021.4～現在	2021.4～2022.3 は、2022 年度の看護研究セミナー必修化に向けて、テーマ希望調査や実施体制見直しを実施した。4 年次生を対象に、テーマを自ら設定し、研究目的を達成することを目的とし 2022 年度 3 名、2023 年度 6 名、2024 年度 4 名の学生に指導をした。評価表に基づき、担当学生の論文を評価した。
国家試験対策の補習(保健師、看護師)	2023.11～現在	保健師コース学生を対象に補講を 2～5 コマ、公衆衛生看護学の問題配信と自己学習サポート(個別指導)36 コマ実施した。また、看護師国家試験の強化対策学生を対象に補講や個別指導を適宜、実施した。

Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
2　特許		
3　その他職務上の実績に関する事項		
日本保健福祉学会誌　査読委員	2010.6～現在	
学術論文の査読(4 件)	2020.4～現在	

Ⅲ　研究活動					
著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					
Human Resource Development	共著	2021.2	Doho-Engokai, Japan, Empowerment Based Co-Creative Action Research Towards A World of Possibilities for Sustainable Society, Chapter 8	Editor Tokie Anme, Author Yuka Sugisawa, Ryoji Shinohara	pp. 43-50
誰もが主人公となる人材づくり	共著	2021.2	北大路書房、エンパワメントの理論と技術に基づく共創型アクションリサーチ　持続可能な社会の実現にむけて　第 7 章	編著　安梅　勅江、著者　杉澤悠圭、篠原亮次	pp. 61-72
A THEORY OF MIND AS AN IMPLICATION OF EMPOWERMENT	共著	2020.10	Nova Science Publishers, Inc. New York, Horizons in Neuroscience Research, Volume41, Chapter 6	Editors A. Costa and E. Villalba, Tokie Anme, Emiko Tanaka, Etsuko Tomisaki, Taeko	pp. 181-196

				Watanabe, Yuko Sawada, Ryoji Shinohara, Yuka Sugisawa, Lian Tong, Bailiang Wu, Cunyean Kim, Kumi Watanabe and Yoko Onda	
論文					
看護師国家試験における ChatGPT-3.5 と Google Bard（試運転版）の性能 ―大規模言語モデルを使用した生成 AI サポートによる看護教育の可能性―	共著（筆頭）	2025.3	医療保健学研究	杉澤悠圭、吉田和美、石井徹、大越教夫	pp. 1-10
Social Relationships and Onset of Functional Limitation among Older Adults with Chronic Conditions: Does Gender Matter?	共著	2022.3	Sultan Qaboos University Medical Journal, 1(1), 2022-03	Dandan Jiao, Kumi Watanabe, Yuko Sawada, Munenori Matsumoto, Ammara Ajmal, Emiko Tanaka, Taeko Watanabe, Yuka Sugisawa, Sumio Ito, Rika Okumura, Yuriko Kawasaki, Tokie Anme	pp. 1-19
報告					
飛島村日本一健康長寿村事業調査報告書	共著	2021.2	飛島村日本一健康長寿村研究会	筑波大学医学医療系 国際発達ケア：エンパワメント科学研究室　編集、安梅勅江、澤田優子、原田亮子、杉澤悠圭、他	pp. 58-65

学会発表					
保健師学生の卒業時における健康相談技術の習得状況	共同	2021.12	第 80 回日本公衆衛生学会	綾部明江、野尻由香、叶多博美、長澤ゆかり、高瀬佳苗、大宮朋子、鈴木悠圭、斉藤瑛梨、鶴見三代子、山口忍	一般演題
住民のつながり強化と地域包括エンパワメント～ボランティアを活用した仲間づくりと地域づくり～	単独	2019.10	第 78 回日本公衆衛生学会シンポジウム「人生 100 年時代の地域包括エンパワメント戦略」	杉澤悠圭	シンポジウム

Ⅳ　学会等および社会における主な活動
1　現在の所属学会
日本公衆衛生学会、日本保健福祉学会、日本疫学会、日本看護科学学会、Gerontological Society of America、International Society for the Study of Behavioral Development
2　2020～2024 年度の学会での主な活動
3　2020～2024 年度の社会での主な活動
飛島村日本一健康長寿村研究会　研究メンバー
2023 年度：第 11 回　全国保健師教育機関協議会秋季教員研修会　実行委員
2024 年度：令和 6 年度健康づくり指導者研修会　保健師等人材育成研修レベル 1-2(新任期)　ファシリテーター

所属　医療保健学部 学科　看護学科	職名　准教授	氏名　吉田　和美	学　位	修士（看護学）
			国家資格	看護師

Ⅰ　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
成人看護学概論	2017 年～現在	看護学科 1 年次生を対象に、成人期の人々の健康問題と健康レベルに応じた看護実践について概要の理解を促す目的で講義を行った。科目責任者として 15 コマすべての授業を担当した。スモールチームで討議を入れるなどアクティブラーニングを実施した。また、事前課題を設定し、習熟度確認のためのＴＢＬ（Team-Based Learning）を導入し知識の定着を図った。そしてリアクションペーパーでのリフレクションをとおして自身を客観的に振り返り復習の支援を実施した。成績は課題、小テスト、期末試験及び再試験により評価した。
成人看護学援助論Ⅰ・Ⅱ	2017 年～現在	看護学科 2・3 年次生を対象に、成人期の慢性期と急性期の健康問題と健康レベルに応じた看護実践について理解を深める目的で講義を行った。科目担当者として 30 コマ中各 10 コマの授業を担当した。演習科目であるため、シミュレーション教育や事例展開を通して、看護実践能力が培われるよう工夫した。また、リアクションペーパーを使用して、講義のリフレクションをとおして、自分の考えを深めることや学習をさらに効果的に進めるように配慮した。成績は小テスト、レポート、期末試験及び再試験により評価した。
キャリア・デザイン入門	2018 年～現在	看護学科 1 年次生を対象に、大学で何を学ぶかを知り、スタディスキルとして論理的思考や情報リテラシー、レポートの書き方の演習を実施した。科目責任者として 15 コマすべての授業を担当した。また、社会人基礎力を身に付けるためディスカッションやプレゼンテーションの体験を実施した。パーソナル・ポートフォリオ、ラーニングポートフォリオを作成し、自覚的成長を促した。評価については、ルーブリックを使用して、各演習課題についてレポートを課し、パフォーマンス評価を実施した。
看護学セミナー	2017 年～現在	看護学科 4 年次生を対象に、成人看護学の必要な知識と、臨地において活用される技術との統合を図り知識を定着させる目的で講義を行った。15 コマ中 4 コマの授業を担当した。課題を提示しスモールチームで討議を入れるなどアクティブラーニングを実施した。成績は、期

		末試験及び再試験により評価した。
看護研究セミナー	2022 年～現在	看護学科 4 年生を対象に、看護に関するテーマを設定し、研究活動を継続するうえでの基本的態度を修得できることを目的に研究指導を行った。学生 4～6 名を対象に個別指導により各学生 14 コマを担当した。看護研究の基本的な文献検索の段階から研究発表までの一連のプロセスの指導を実施した。成績は、評価表に基づき評価した。
クリニカル看護実習Ⅰ・Ⅱ	2024 年～現在	看護学生 3 年次生を対象に、成人期の特徴を捉え、健康障害のレベルあるいはニーズに対応した看護を実践し、看護実践能力を修得する目的で臨地実習を実施した。科目責任者として 4 単位 360 時間 2 クールすべてを担当した。実習の評価基準を明確にする目的と、学生が理解し学習の促進が図れ、看護実践能力の学習強化に向けてルーブリックを作成、評価修正し実習で活用した。意見交換や知識を深める目的でカンファレンス、看護実践のプレゼンテーションを実施し、実習での学びの共有を図った。評価はルーブリックを用いパフォーマンス評価を実施した。
コミュニティヘルス実習	2023 年～2024 年	看護学科 2 年次生を対象に、地域で生活する人々の状況について理解し、対象の多様性について理解する目的で臨地実習を実施した。科目責任者として、1 単位 90 時間を担当した。学びを深めるためにプロジェクト学修を実施し学内で報告会を開き知識の共有を図った。成績は、評価表に基づき評価した。
成人看護学実習Ⅰ・Ⅱ	2017 年～2023 年	看護学生 3 年次生を対象に、成人期の特徴を捉え、健康障害のレベルあるいはニーズに対応した看護を実践し、看護実践能力を修得する目的で臨地実習を実施した。科目責任者として 6 単位 540 時間 2 クールすべてを担当した。看護実践能力の学習強化に向けてルーブリックを作成、評価修正し実習で活用した。意見交換や知識を深める目的でカンファレンス、看護実践のプレゼンテーションを実施し、実習での学びの共有を図った。評価はルーブリックを用いパフォーマンス評価を実施した。
2　作成した教材（150 字程度まで）		
成人看護学概論（看護学科対象）の講義用 Power Point スライド	2017 年～現在	看護学科 1 年次対象の成人看護学概論の講義を行った際、Power Point スライド（計 15 点、計 210 枚）を配布資料として作成した。また、学習課題と授業のまとめ、国家試験問題などをまとめたプリント（A3、計 25 枚）を作成した。講義後には見直し更新を行った。
キャリア・デザイン入門（看護学科対象）の講義用 Power Point スライド、学習課題プリント	2018 年～現在	看護学科 1 年次対象のキャリア・デザイン入門の演習を行った際、Power Point スライド（計 15 点、計 30 枚）を配布資料として作成し

		た。また、学習課題プリント（A3、計 15 枚）を作成した。講義後には見直し更新を行った。また評価のためのルーブリックを作成した。
看護学セミナー（看護学科対象）の講義用 Power Point スライド･学習課題プリント	2017 年～現在	看護学科 4 年次対象の看護学セミナーの講義を行った際、Power Point スライド（計 2 点、計 10 枚）を作成し配布資料として作成した。学習課題プリント（A4、計 6 枚）を作成した。講義後には見直し更新を行った。
看護研究セミナー（看護学科対象）の演習課題シート	2022 年～現在	看護学科 4 年次の看護研究セミナーの演習を行った際、演習課題シート（A4、計 7 枚）を作成した。
クリニカル看護実習Ⅰ・Ⅱ（看護学科対象）の実習要項	2024 年～現在	看護学科 3 年生を対象にクリニカル看護実習Ⅰ・Ⅱ実習要項（A4、計 52 頁）を作成した。
コミュニティヘルス実習（看護学科対象）実習要項、実習要領	2023 年～2024 年	看護学科 2 年次生を対象に、コミュニティヘルス実習要項（A4、計 13 頁）、コミュニティヘルス実習要領（教員用・学生用）（各 A4、計 20 頁）を作成した。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
看護教育に関する論文発表	2025 年 3 月	看護学教育に関する論文（原著論文）を共著者として発表した。「看護師国家試験における ChatGPT-3.5 と Google Bard（試運転版）の性能―大規模言語モデルを使用した生成 AI サポートによる看護教育の可能性―」杉澤悠圭, 吉田和美, 石井徹, 大越教夫　医療保険学研究 16 号　p 1-10
看護教育に関する論文発表	2025 年 3 月	看護学教育に関する論文（原著論文）を共著者として発表した。「医療従事者向け生成 AI の活用指針：スコーピングレビュー」日向野香織, 田中結花子, 吉田和美, 佐藤真由美　日本腎・血液浄化 AI 学会会誌 第 3 巻　p 47-52
看護教育に関する論文発表	2021 年 3 月	看護学教育に関する論文（原著論文）を共著者として発表した。「成人看護学実習におけるルーブリックの活用による自律的動機づけに関する考察」吉田和美, 岡嶋妙子, 小川愛里, 中島美香, 椎名千春, 日向野香織　医療保険学研究, 12 号 p1-19
看護教育に関する論文発表	2021 年 3 月	看護学教育に関する論文（原著論文）を共著者として発表した。「看護管理者の成長を促進した経験」吉川三枝子, 松下由美子, 吉田文子, 内山明子, 吉田和美　佐久大学看護研究雑誌, 13 号 p1-10
4　その他教育活動上特記すべき事項		
看護学科における卒業研究指導	2022 年～現在	看護学科 4 年次対象の卒業研究において毎年 4～6 名の程度の学生に対して指導を行った。
看護学科における病院実習指導	2017 年～現在	看護学科 3 年次対象の成人看護学実習、クリニカル看護実習におい

		て毎年科目責任者として 40～70 名程度の学生に対して指導を行った。
FD フォーラム報告会	2025 年 3 月	2025 年 FD フォーラム報告会において、委員長として報告会の運営を実施した。

Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
科学研究費助成・基盤研究（C）	2024 年～	「倫理的で安全な会話型生成 AI の活用に関する看護実践ガイドラインの提案」助成総額：4,290,000 円【代表】日向野香織【分担】吉田和美
2　特許		
3　その他職務上の実績に関する事項		

Ⅲ　研究活動					
著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					
論文					
看護師国家試験における ChatGPT-3.5 と Google Bard（試運転版）の性能―大規模言語モデルを使用した生成 AI サポートによる看護教育の可能性―	共著	2025 年 3 月	医療保険学研究 16 号	杉澤悠圭、吉田和美、石井徹、大越教夫	p 1-10
医療従事者向け生成 AI の活用指針：スコーピングレビュー	共著	2025 年 3 月	日本腎・血液浄化 AI 学会会誌 第 3 巻	日向野香織, 田中結花子, 吉田和美, 佐藤真由美	p 47-52
成人看護学実習におけるルーブリックの活用による自律的動機づけに関する考察	共著（筆頭）	2021 年 3 月	医療保険学研究　12 号	吉田和美, 岡嶋妙子, 小川愛里, 中島美香, 椎名千春, 日向野香織.	p 1-19
看護管理者の成長を促進した経	共著	2021 年 3 月	佐久大学看護研究雑誌　13 号	吉川三枝子, 松下由美子,	p 1-10

験				吉田文子, 内山明子, 吉田和美	
報告					
学会発表					

Ⅳ　学会等および社会における主な活動
1　現在の所属学会
日本看護研究学会会員（2010 年～現在） 日本看護学教育学会会員（2016 年～現在） 日本看護科学学会会員（2016 年～現在） 日本看護協会会員（1986 年～現在）
2　2020～2024 年度の学会での主な活動
茨城県看護研究学会　委員（2023 年）
3　2020～2024 年度の社会での主な活動
公益社団法人茨城県看護協会　教育委員　（2019 年～2023 年） 茨城県専任教員養成講習会　講師（2018 年～現在）

所属　医療保健学部 学科　看護学科	職名　講師	氏名　岡嶋　妙子	学　位	修士
			国家資格	看護師

Ⅰ　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
成人看護学援助論Ⅰ	2015 年～現在	看護学科 2 年生を対象に慢性疾患のある人に対する看護について主要な機能障害とそれに伴う症状、セルフマネジメント支援などについて講義を行った。2018 年度には科目責任者として 30 コマを担当し、2018 年度以外は、神経難病患者への看護の講義や演習等で 10～12 コマを担当した。PowerPoint スライドを用いて講義を行い、毎回プリントや関連資料を配布し、知識の確認として Google フォームでミニテストを実施した。演習では臨床実践能力の向上を目的に症状の臨床判断や血糖測定のロールプレイを実施した。成績はミニテスト、演習課題、期末試験および再試験により評価した。
成人看護学援助論Ⅱ	2015 年～現在	看護学科 3 年生を対象に成人期にある対象の急性期特に周手術期、クリティカル看護について主要な機能障害、術後の合併症、予防に向けた看護について講義・演習を行った。2019 年～科目責任者として 28 コマを担当した。講義では PowerPoint スライドを用いて講義を行い、毎回プリントや関連資料を配布し、ワークブックも作成し配布した。講義で学んだ機能障害（事例）を用いて、看護過程演習を組み入れ 5 事例実施できるようにした。技術演習では、周術期の術前の教育や術直後の離床、全身清拭、看護過程演習で展開した 5 事例をモデルに観察と異常の早期発見ができるようにした。評価は中間テスト 2 回と演習課題、期末試験および再試験により評価した。
リハビリテーション看護学	2015 年～現在	看護学科 3 年生を対象に障害をもつ対象の生活を支える看護を中心に講義を行った。科目責任者として 10～11 コマを担当し、4 コマ～5 コマは理学療法学科の教員や臨床の認定看護師を招聘してリハビリテーション看護における理解が深められるようにした。講義では PowerPoint スライドを用いて講義を行い、毎回プリントや関連資料を配布した。動画視聴も多く取り入れ、障害に関する時事問題にも触れて考えられるようにした。演習では、トランスファーや嚥下評価、視覚障害者のガイドなどを取り入れた。成績は課 2015 年～2020 年は課題レポートや定期試験で評価し、2021 年～はレポートで評価した。

キャリアデザイン入門	2020 年～2022 年	看護学科 1 年生を対象に看護のプロフェッショナルとして育つための知識や技術の獲得方法、スタディスキルを身につけることを目的に授業の 15 コマの演習やレポート添削を担当した。15 コマのうち「プレゼンテーションスキル」の 3 コマ授業を担当した。プレゼンテーションスキルでは、PowerPoint、Google スライドで資料を作成し、プリント配布した。まとめの発表会（プレゼンテーション）のスケジュール等も作成した。評価は課題の提出、プレゼンテーション評価表に基づいて評価した。
看護研究セミナー	2022 年～現在	看護学科 4 年生の研究指導を担当する学生 4 名～5 名に 13 コマの研究指導を行った。研究テーマの絞り込み、文献検索、検索資料の整理、分析、論文作成、発表のポスター（スライド）作成を主に指導した。
看護学セミナー	2015 年～2023 年	看護学科 4 年生を対象に看護学科 4 年生を対象に看護学の知識の統合を目的に、成人看護学分野の 1 コマ～2 コマの講義を行った。主に、機能障害別、疾患別の看護について国家試験の頻出問題も例に取り上げて講義を行った。評価は定期試験で総合点で評価された。
成人看護学実習Ⅰ・Ⅱ	2015 年～2023 年	看護学科 3 年生を対象に成人期の発達段階、発達課題をふまえ健康障害のレベルやニーズに応じた看護実践能力を習得することを目的に成人看護学実習Ⅰの 135 時間（3 単位）、成人看護学実習Ⅱの 135 時間（3 単位）において実習要項、病院別実習要領の作成、学内実習計画、実習オリエンテーションの計画と実施、臨床側との実習打ち合わせ、評価報告などを行った。評価はルーブリック評価表を作成し、ルーブリックに基づいて評価した。
クリニカル看護実習Ⅰ・Ⅱ	2024 年～現在	看護学科 3 年生を対象に看護学科 3 年生を対象に成人期の発達段階、発達課題をふまえ健康障害のレベルやニーズに応じた看護実践能力を習得することを目的に、クリニカル看護実習Ⅰの 45 時間（1 単位）、クリニカル看護実習Ⅱの 135 時間（3 単位）において実習要項、病院別実習要領の作成、学内実習計画、実習オリエンテーションの計画と実施、臨床側との実習歌わせ、評価報告などを行った。評価はルーブリック評価表を作成し、ルーブリックに基づいて評価した。
コミュニティヘルス実習	2022 年～2024 年	看護学科 2 年生を対象に地域の福祉施設等への実習引率を担当した。引率にあたり、尚恵学園（施設）担当者との打ち合わせや実習における実習要領を作成した。実習評価は評価表に基づいて行った。
老年看護学実習Ⅰ	2024 年	看護学科 2 年生を対象に高齢者入所施設（老人保健施設　春秋園）の引率、実習評価を行った。
2　作成した教材（150 字程度まで）		

成人看護学援助論Ⅰ（看護学科 2 年生対象）の講義用 PowerPoint スライド	2015 年～現在	看護学科 2 年生を対象に 2018 年度には科目責任者として 30 コマ講義・演習を行った際、PowerPoint スライド（計 55～60 点、計 500 枚程度）を作成した。2018 年以外の年には、PowerPoint スライド（計 4 点、計 30 枚程度）を作成した。
成人看護学援助論Ⅰ（看護学科 2 年生対象）の講義用配布資料	2015 年～現在	看護学科 2 年生を対象に 2018 年度には科目責任者として 30 コマ講義・演習を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント（A4、A3 計 500 名程度）を配布資料として作成した。2018 年以外の年には（A4、A3、計 30 枚程度）を配布資料として作成した。講義の際にはプリントの見直しをし、変更や修正点などの更新を行った。
成人看護学援助論Ⅱ（看護学科 3 年生対象）の講義用 PowerPoint スライド	2015 年～現在	看護学科 3 年生を対象に 2020、2022～現在の年度には科目責任者として 26 コマ講義・演習を行った際、PowerPoint スライド（計 55～60 点、計 500 枚程度）を作成した。2015～2019、2021 年には、PowerPoint スライド（計 10 点、計 80 枚程度）を作成した。講義際には、プリントを見直し、変更や修正点などの更新を行った。
成人看護学援助論Ⅱ（看護学科 3 年生対象）の講義用配布資料	2015 年～現在	看護学科 3 年生を対象に 2020、2022～現在の年度には科目責任者として 30 コマ講義・演習を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント（A4、A3 計 500 枚程度）を配布資料として作成した。2015～2019、2021 年には、（計 10 点、計 80 枚程度）を配布資料として作成した。講義の後には、プリントを見直し、変更や修正点などを行った。
成人看護学援助論Ⅱ（看護学科 3 年生対象）の演習課題シート、資料	2015 年～現在	看護学科 3 年生を対象に 2020、2022～現在、授業内での学習と予習・復習用のドリルとして活用できる「侵襲による生体反応・周術期看護ワーク」を（A4、60 頁）作成し課題とした。また授業内での看護過程演習では、事例と看護過程記録用紙を作成した（A4、10 枚）。演習の後にはプリントの見直しをし、変更、修正を行った。
リハビリテーション看護学（看護学科 3 年生対象）の講義用 PowerPoint スライド	2015 年～現在	看護学科 3 年生を対象に科目責任者として 10～11 コマ講義・演習を行った際、PowerPoint スライド（計 15 点、計 100 枚程度）を作成した。講義の際には、スライドを見直し、変更や修正など更新を行った。
リハビリテーション看護学（看護学科 3 年生対象）の講義用配布資料	2015 年～現在	看護学科 3 年生を対象に講義・演習を行った際、毎回、授業内容をまとまたプリント（A4、計 100 枚程度）を配布資料として作成した。講義際には、プリントを見直し、変更や修正点などの更新を行った。
リハビリテーション看護学（看護学科 3 年生対象）の演習課題シート、資料	2015 年～現在	看護学科 3 年生を対象に、演習の手順や方法をまとめたプリント（A4, A3、計 10 枚）を配布して演習を行った。演習の後にはプリントの見直しをし、変更、修正を行った。
キャリアデザイン入門（看護学科 1 年生を対象）の講義用 PowerPoint、Google スライド	2020 年～2022 年	看護学科 1 年生を対象に、プレゼンテーションスキルの講義を行った際、PowerPoint、Google スライド（計 3 点、8 枚）を作成し、使用し

		た。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
キャリアデザイン入門（看護学科 1 年生を対象）の演習課題シート、資料	2020 年～2022 年	看護学科 1 年生を対象に、プレゼンテーションスキルの課題として、手順や方法をまとめたプリント（A4、計 4 枚程）を配布資料として作成した。演習のあとには、プリントの見直しをし、変更、修正を行った。
看護学セミナー（看護学科 4 年生を対象）の講義用 PowerPoint スライド	2015 年～2023 年	看護学科 4 年生を対象に看護学の知識の統合を目的に、成人看護学分野の 1 コマ～2 コマの講義を行った。講義には PowerPoint スライド（計 3～4 点、計 30 枚程度）を作成した。講義の際には、スライドを見直し、変更や修正など更新を行った。
看護学セミナー（看護学科 4 年生を対象）の講義用配布資料	2015 年～2023 年	看護学科 4 年生を対象に 1 コマ～2 コマの成人看護学分野の講義を行った際に、授業内容をまとめたプリント（A4、計 30 名程度）を配布資料として作成した。講義の際には、プリントを見直し、変更や修正点などの更新を行った。
成人看護学実習Ⅰ・Ⅱ　（看護学科 3 年生対象）の実習要項作成	2015 年～2023 年	看護学科 3 年生を対象に実習要項（A４、A3、60 頁）を作成した。実習前のオリエンーションで配布した。実習終了後には要項を見直し、変更や修正を行った。
成人看護学実習Ⅰ・Ⅱ　（看護学科 3 年生対象）の実習要領作成　全体／病院別	2015 年～2023 年	看護学科 3 年生を対象に学内実習、病院別実習の要領を作成（２種、A4、10～16 頁）し、配布した。実習終了後には要領を見直し、変更や修正など更新を行った。
クリニカル看護実習Ⅰ・Ⅱ（看護学科 3 年生対象）の実習要項作成	2024 年～現在	看護学科 3 年生を対象に実習要項（A４、A3、52 頁）を作成した。実習前のオリエンーションで配布した。実習終了後には要項を見直し、変更や修正を行った。
クリニカル看護実習Ⅰ・Ⅱ（看護学科 3 年生対象）の実習要領作成　全体／病院別	2024 年～現在	看護学科 3 年生を対象に学内実習、病院別実習の要領を作成（２種、A4、10～16 頁）し、配布した。実習終了後には要領を見直し、変更や修正など更新を行った。
コミュニティヘルス実習（看護学科 1 年生を対象）の施設別実習要領作成	2022 年～2024 年	看護学科 2 年生を対象に施設別実習（尚恵学園）の要領を作成（A4、8 頁）し、配布した。実習終了後には要領を見直し、変更や修正など更新を行った。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
4　その他教育活動上特記すべき事項		

Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
2　特許		
3　その他職務上の実績に関する事項		

Ⅲ　研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					
論文					
在宅脊髄損傷患者が考えるスポーツを継続するための自己健康管理の重要性と問題	共著	2021 年 12 月	日本障がい者スポーツ科学看護学会誌　第 1 巻 第 1 号	長島緑、田村玉美、徳本弘子、関千代子、上松恵子、五月女ひろみ、小磯京子、山中京子、岡嶋妙子、松岡由美子	p23-29
在宅脊髄損傷競技者の健康観と行動について	共著	2021 年 12 月	日本障がい者スポーツ科学看護学会誌　第 1 巻 第 1 号	長島緑、田村玉美、徳本弘子、関千代子、上松恵子、五月女ひろみ、岡嶋妙子、小磯京子、山中京子、松岡由美子	p30-36
成人看護学実習におけるルーブリックの活用による自律的動機づけに関する考察	共著	2021 年 3 月	つくば国際大学 医療保健学研究　第 12 号	吉田和美、岡嶋妙子、 小川愛里、中島美香、 椎名千春、日向野香織	p1-19
コロナ禍における看護学生の国家試験対策学習ニーズと課題	共著	2021 年 3 月	つくば国際大学	長堀智香子、福田久子、岡嶋妙子、塙恵子、渡部	p21-29

			医療保健学研究　第 12 号	洋子	
報告					
学会発表					

Ⅳ　学会等および社会における主な活動
1　現在の所属学会
日本看護学教育学会 日本看護科学学会 日本パラスポーツ看護学会 日本リハビリテーション連携科学学会
2　2020～2024 年度の学会での主な活動
3　2020～2024 年度の社会での主な活動
日本ＡＬＳ協会茨城県支部　運営委員（2024 年～現在） 日本視覚障害者柔道連盟　医療班（看護師）ボランティア参加（2025 年 2 月 28 日～3 月 1 日） 運動導入教室（茨城県パラカヌー協会）　ボランティア（2023 年～2024 年）

所属　医療保健学部 学科　看護学科	職名　講師	氏名　佐藤　圭子	学　位	修士（看護学）
			国家資格	看護師

Ⅰ　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
老年看護学概論	2023 年～現在	看護学科 2 年次生を対象に高齢期にある人の看護に必要な基本的な視点や加齢変化、高齢者を取り巻く社会や看護の役割を学ぶために講義（15 コマ）をおこなった。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドや NHK で放送された映像を用いておこなった。また映像や紙面上の事例等から現在高齢者が置かれている状況を踏まえて、どのように支援したらよいかを意見交換・共有し学びが深められるようにした。成績は試験とレポート課題により評価した。
老年看護学援助論	2024 年～現在	看護学科 3 年次生を対象に健康障害を有する高齢者アセスメントし、看護展開できる基礎的な知識や技術を学ぶために講義と演習を 30 コマおこなった。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドや視覚教材を用いておこなった。演習においては、嚥下の体験や紙おむつの体験等を実施した。また看護過程の展開は脳出血の紙上事例を用いて演習をおこなった。演習は、個々人が思考する機会をもたせるために個人学習とグループワークを併用しながらすすめた。基礎看護学での学びを想起させながらすすめた。成績は学力テストと課題レポートと看護過程の演習結果により評価した。目標達成できない学生は個別指導をおこない再試により評価した。
老年看護学実習Ⅰ	2023 年～現在	看護学科 2 年次生を対象に介護保険施設で生活する高齢者への援助と看護師とその他職種の役割を学ぶ隣地実習を前半と後半に分かれ各 1 週間行った。学生の見学や援助場面に同行し、高齢者の生活や多職種連携と看護師の役割等についてカンファレンスで学びを共有し深めた。成績は学生と個人面談の後、実習評価表に基づいておこなった。
老年看護学実習Ⅱ	2023 年～現在	看護学科 3 年次生を対象に健康障害を有する高齢者をスメントし、看護展開できるための知識や技術を学ぶ隣地実習を前半と後半に分かれ各 3 週間行った。実習前の学内学習においては、バイタルサイン測定や体位変換、オムツ交換、陰部洗浄など臨地実習で良く行われている技術の確認をして実習に臨んだ。実習中は、指導者と共に学生の援

		助に部分的に関わり、思考過程と援助の振り返りをした。毎日テーマを決めてカンファレンスを行い学びの共有をした。成績は学生と個人面談の後、実習評価表に基づいておこなった。
看護学セミナー	2022 年～現在	看護学科 4 年次生の学生を対象に 4 年間学修した看護学の知識の確認のための講義を 2022 年と 2023 年は 15 コマ中 1 コマ（基礎看護学：日常生活援助技術)、(老年看護学：健康と発達段階の特徴）をおこなった。2024 年からは 15 コマ中 2 コマ（老年看護学：高齢者の健康障害が追加）をおこなった。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いた。成績は試験により評価した。
総合実習（看護学科）	2022 年～現在	看護学科 4 年次生を対象に臨地実習の最終段階に位置付けられている。複数患者の看護展開や、管理者に同行し看護管理を学ぶこと、多職種との協働・連携の実際と看護師の役割を学ぶために 2 週間の臨地実習をおこなった。2022 年からの 2 年間は A 病院でおこないその後は B 病院で担当した。実習中は、多重課題の中で優先順位の決定の根拠を明確にし、指導者と共に学生の援助に部分的に関わった。またカンファレンスでは、学びの共有をした。成績は学生と個人面談の後、実習評価表に基づいておこなった。
基礎看護論(臨床検査学科)	2022 年～現在	臨床検査学科 3 年生を対象に看護の概念や本質を踏まえ保健・医療・福祉における看護師の役割を学ぶ科目であり、2022 年から 2023 年までは 8 コマ中 2 コマ、2024 年からは 3 コマを担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いた。看護の倫理綱領については事例を用い、学生間で意見交換し共有したが、受講する人数が少ないため、活発な意見交換にまでは至っていない。成績はレポート課題により評価した。
基礎看護論（医療技術学科）	2023 年～現在	医療技術学科 4 年生を対象に医療・看護・保健・福祉それぞれの専門職役割や連携を学ぶ科目であり、8 コマ中 1 コマを担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いた。またチーム医療を推進するために必要な要素についてグループワークを行い発表し、学びを共有した。成績はレポート課題により評価した。
チーム医療論（保健栄養学科）	2023 年～現在	保健栄養学科 3 年次生を対象に医療・保健の現場での他職種協働を知り、専門職として患者・利用者中心の医療・保健活動に貢献できる活動のあり方を学ぶ科目であり、15 コマ中 1 コマを担当した。チームメンバーとしての看護師について学習することが目的だったため、加

		齢に伴う身体的・心理的・社会的特徴の変化や食行動にもたらす影響等を講義した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いた。また糖尿病や高血圧の事例を用いてどのような支援が必要であるかグループワークをし、発表し共有した。
コミュニティヘルス実習（看護学科）	2023 年～2024 年	看護学科 2 年次生を対象に地域の福祉施設等を利用し地域で生活している人々の多様性を知ることを目的に実習を 1 週間おこなった。新カリキュラムにより 2023 年に新たに開始された実習であり、2023 年は 7 か所の実習施設の実習担当者と実習内容の確認や学生受け入れ人数、施設利用の方法等について事前打ち合わせを行い、実習終了後は各施設の担当者と実習評価をおこなった。2023 年は A 施設、2024 年は B 施設に同行し、利用者の方々に学生と共に関わった。各施設でのカンファレンスでは､学生個々人の学びが表現できるように促がした。学内実習では、各施設での学びをまとめ発表し意見交換をしたことによって、学びが深められた
基礎看護技術Ⅰ：人間関係とコミュニケーション	2022 年～2024 年	看護学科 1 年次生を対象に看護援助における人間関係の特徴を理解し、対象者との関係を発展させるためのコミュニケーション技術の基本について講義と演習（8 コマ中 8 コマ）をおこなった。2022 年は科目責任者として、講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、コミュニケーションの成り立ちや、人間関係においてコミュニケーションの重要性について学生に考えてもらう機会を設けた。演習は、自己理科と他者理解ができるように組み立て、ロールプレイやプロセスレコードによる事故の振り返りができるようにした。成績は試験と毎回のレポート課題により評価した。
基礎看護技術Ⅱ：日常生活援助技術	2022 年～2023 年	看護学科 1 年次生を対象に患者の日常生活行動を援助するために必要な専門的知識・技術・態度を習得するために講義・演習（30 コマ中 23 コマ）をおこなった。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて活動と休息、体位変換・移乗・移送、排泄についておこなった。演習は関わる教員で意見交換し、指導内容を統一した。また演習の中で看護者としての態度が養われるように身だしなみや言葉の選択､時間を守ることなどを強調した。成績は学力試験と実技試験と毎回のレポート課題により評価した。
基礎看護技術Ⅲ：フィジカルアセスメント	2022 年～2023 年	看護学科 1 年次生を対象に看護実践に必要な身体的情報を収集・評価するためのフィジカルアセスメントの基本的知識・技術を学ぶため

		に講義・演習（15 コマ中 13 コマ）をおこなった。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて皮膚・頭頸部、脳神経系、筋骨格系について解剖生理も復習もしながらおこなった。演習では、問診や視診も学べるようにロールプレイをしながらおこなった。また関わる教員で意見交換し、指導内容を統一した。演習の中では看護の視点から身体の状態をアセスメントし、正常と異常の評価し、報告できるようにした。成績は学力試験と実技試験と毎回のレポート課題により評価した
基礎看護技術Ⅳ： 診療に伴う援助技術	2022 年	看護学科 2 年次生を対象に様々な健康障害にある患者の診断・治療に必要な援助が正確・安全・安楽に提供できる基礎的な看護技術を習得できるように演習（15 コマ中 7 コマ）をおこなった。演習は小グループでおこない、解剖生理なども踏まえ、採血や与薬等に関する演習を行い実践力が身に着くようにした。成績は学力試験と毎回のレポート課題により評価した。
基礎看護学援助論	2022 年～2023 年	看護学科 2 年次生を対象に看護を実践するための科学的問題解決の方法論として看護過程の実際は紙上事例を用いて演習（30 コマ中 20 コマ）をおこなった。演習は、グループワークとしたが、個々人で課題をすすめ、それを基に意見交換をしながらすすめた。またゴードンの枠組みや診断ハンドブック等に戻りながら、客観性をもたせるようにすすめた。成績は学力試験と看護過程の演習結果により評価した。目標達成できない学生は個別指導をおこない再試（記録の再提出）により評価した。
基礎看護学実習 I	2022 年	看護学科 1 年次生を対象に患者と患者を取り巻く環境を理解し、日常生活の援助技術をおこなう臨地実習を 1 週間 C 病院でおこなった。学生と共に援助の配慮点を明確にし、援助を行いその結果を振り返り学べるように関わった。成績は学生と個人面談の後、実習評価表に基づいておこなった。
基礎看護学実習Ⅱ	2022 年	看護学科 2 年次生を対象に患者の全体像を把握し、看護上の問題点を明らかにし看護計画立案、実施、評価するという 2 週間の実習をコロナ過により学内実習でおこなった。大腿頸部骨折の紙上事例を用い、看護過程の展開をおこなった。ロールプレイを取り入れ計画立案した援助内容を学生同士で実施し、評価した。また毎日カンファレンスをおこない学生のその日の学びを共有した。成績は学生と個人面談の後、実習評価表に基づいておこなった。

キャリアデザイン入門（看護学科）	2022 年	看護学科 1 年次生を対象に看護師を目指すうえで自分自身のキャリアを思い描くと共に人間としての成長を目指す科目（15 コマ）として位置づけられている。看護を学ぶ中で必要な論理的思考やディスカッションスキルやプレゼンテーションなどをグループに分かれておこなった。担当した 7 人の学生の学びや課題の対する助言を毎回提出されるレポートに記載して返却した。成績は毎回のレポート課題により評価した。
2　作成した教材（150 字程度まで）		
老年看護学概論（看護学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2023 年～現在	看護学科 2 年次対象の老年看護学概論の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 15 点、計 525 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
老年看護学概論（看護学科対象）の講義用配布資料	2023 年～現在	看護学科 2 年次生対象の老年看護学概論の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(A4、計 131 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
老年看護援助論（看護学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2024 年～現在	看護学科 3 年次対象の老年看護学援助論の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 20 点、計 600 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
老年看護援助論（看護学科対象）の講義用配布資料	2024 年～現在	看護学科 3 年次生対象の老年看護学援助論の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(A4、計 150 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
老年看護援助論（看護学科対象）の演習とグループワーク時配布資料	2024 年～現在	看護学科 3 年次生対象の老年看護援助論の演習とグループワークを行った際、演習やグループワークの方法についてまとめたプリント(A4、計 12 枚)を配布資料として作成した。終了ごとに内容を見直し、変更や修正など、更新を行った。
老年看護学実習 I（看護学科対象） 学生の配布資料：実習要項と記録用紙の作成とオリエンテーション資料、学内実習資料	2023 年～現在	看護学科 2 年次生を対象に介護保険施設における実習準備として実習要項と学生が記載する記録用紙の作成、学生オリエンテーション（2 回分）資料の作成（A4　12 枚）をおこなった。終了ごとに内容を見直し、変更や修正など、更新を行った。
老年看護学実習 I（看護学科対象） 実習施設と担当教員への配布資料	2023 年～現在	各実習施設 4 か所の打ち合わせ資料、担当教員との打ち合わせ資料（A 4　18 枚）と実習終了後の反省会資料（A4　20 枚）を作成した。打合せ資料反省会資料に共に内容を見直し、変更や修正など、更新を行った。

老年看護学実習Ⅱ（看護学科対象） 学生の配布資料：実習要項と記録用紙の作成とオリエンテーション資料、学内実習資料	2023 年～現在	看護学科 3 年次生を対象に病院実習における実習準備として実習要項と学生が記載する記録用紙の作成、学生オリエンテーション（2 回分）資料の作成（A4　20 枚）をおこなった。終了ごとに内容を見直し、変更や修正など、更新を行った。
老年看護学実習Ⅱ　実習施設と担当教員への配布資料	2023 年～現在	実習病院の打ち合わせ資料、担当教員との打ち合わせ資料（A４　20 枚）と実習終了後の反省会資料（A4　25 枚）を作成した。打合せ資料反省会資料に共に内容を見直し、変更や修正など、更新を行った
看護学セミナー（看護学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2022 年～現在	看護学科 4 年次生の学生を対象の看護セミナーの講義を行った際 2022 年と 2023 年は PowerPoint スライド(1 点、計 40 枚)を、2024 年は（2 点　敬 60 枚）作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
看護学セミナー（看護学科対象）の講義用配布資料	2022 年～現在	看護学科 4 年次生対象の看護セミナーの講義を行った際、授業内容をまとめたプリント(2022 年と 2023 年は A4、計 20 枚、2024 年は 30 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
基礎看護論(臨床検査学科対象) の講義用 PowerPoint スライド	2022 年～現在	臨床検査学科 3 年生を対象に基礎看護論の講義を行った際 2022 年と 2023 年は PowerPoint スライド(2 点、計 60 枚)を、2024 年は（3 点　敬 90 枚）作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
基礎看護論(臨床検査学科対象) の講義用配布資料	2022 年～現在	臨床検査学科 3 年生を対象に基礎看護論の講義を行った際、授業内容をまとめたプリント(2022 年と 2023 年は A4、計 26 枚、2024 年は 36 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
基礎看護論（医療技術学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2023 年～現在	医療技術学科 4 年生を対象に基礎看護論の講義を行った際、PowerPoint スライド(1 点、計 8 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
基礎看護論（医療技術学科対象）の講義用配布資料	2023 年～現在	医療技術学科 4 年生を対象に基礎看護論の講義を行った際、授業内容をまとめたプリント(A4、計 4 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
チーム医療論（保健栄養学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2023 年～現在	保健栄養学科 3 年生を対象にチーム医療論の講義を行った際、PowerPoint スライド(1 点、計 25 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
チーム医療論（保健栄養学科対象）の講義用配布資料	2023 年～現在	保健栄養学科 3 年生を対象にチーム医療論の講義を行った際、

		授業内容をまとめたプリント(A4、計 7 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
コミュニティヘルス実習（看護学科対象） 学生の配布資料：実習要項と記録用紙の作成とオリエンテーション資料、学内実習資料	2023 年～2024 年	看護学科 2 年次生を対象にコミュニティヘルス実習における実習準備として実習要項と学生が記載する記録用紙の作成、学生オリエンテーション（2 回分）資料の作成（A4　10 枚）をおこなった。終了時に内容を見直し、変更や修正などを次回担当者に報告した。
コミュニティヘルス実習（看護学科対象） 実習施設と担当教員への配布資料	2023 年～2024 年	看護学科 2 年次生を対象にコミュニティヘルス実習の実習施設 7 か所の打ち合わせ資料、担当教員との打ち合わせ資料（A 4　21 枚）と実習終了後の反省会資料（A4　20 枚）を作成した。打合せ資料反省会資料に共に内容を見直し、変更や修正など、更新を行った。
基礎看護技術Ⅰ：人間関係とコミュニケーション（看護学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2022 年～2024 年	看護学科 1 年次対象の人間関係とコミュニケーションの講義を行った際、PowerPoint スライド(計 3 点、計 120 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
基礎看護技術Ⅰ：人間関係とコミュニケーション（看護学科対象）の講義用配布資料	2022 年～2024 年	看護学科 1 年次生対象の人間関係とコミュニケーションの講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(A4、計 30 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
基礎看護技術Ⅰ：人間関係とコミュニケーション（看護学科対象）の演習用配布資料	2022 年～2023 年	看護学科 1 年次生対象の人間関係とコミュニケーショの演習とグループワークを行った際、演習計画や演習時使用するプリント(A4、計 15 枚)を配布資料として作成した。終了ごとに内容を見直し、変更や修正など、更新を行った。
基礎看護技術Ⅱ：日常生活援助技術（看護学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2022 年～2023 年	看護学科 1 年次対象の日常生活援助技術の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 3 点、計 130 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
基礎看護技術Ⅱ：日常生活援助技術（看護学科対象）の講義用配布資料	2022 年～2023 年	看護学科 1 年次生対象の日常生活援助技術の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(A4、計 33 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
基礎看護技術Ⅱ：日常生活援助技術（看護学科対象）の演習用配布資料	2022 年～2023 年	看護学科 1 年次生対象の日常生活援助技術の演習計画や演習時使用するプリント(A4、計 15 枚)を配布資料として作成した。終了ごとに内容を見直し、変更や修正など、更新を行った。

基礎看護技術Ⅲ：フィジカルアセスメント（看護学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2022 年～2023 年	看護学科 1 年次対象のフィジカルアセスメントの講義を行った際、PowerPoint スライド(計 3 点、計 90 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
基礎看護技術Ⅲ：フィジカルアセスメント（看護学科対象）の講義用配布資料	2022 年～2023 年	看護学科 1 年次生対象のフィジカルアセスメントの講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(A4、計 25 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
基礎看護技術Ⅲ：フィジカルアセスメント（看護学科対象）の演習用配布資料	2022 年～2023 年	看護学科 1 年次生対象のフィジカルアセスメントの演習計画や演習時に書き込みできるプリント(A4、計 21 枚)を配布資料として作成した。終了ごとに内容を見直し、変更や修正など、更新を行った。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
「看護師の仕事」に関する講義	2023 年 4 月	高大連携として、つくば国際大学高等学校の依頼を受け、高校生（約 30 名）を対象として「看護師の仕事」についての講義講演を 90 分行った。
4　その他教育活動上特記すべき事項		
看護学科における文献研究指導	2022 年～現在	看護学科 4 年次対象の卒業研究において毎年 3～4 名程度の学生に対して指導を行った。
看護学科における病院実習指導（総合実習）	2022 年～現在	看護学科 4 年次対象の総合臨床実習において毎年 6 名程度の学生に対して指導を行った。
看護研究セミナー	2022 年～現在	看護学科 4 年次生を対象（3～4 名）に文献研究の指導をおこなった。
看護学科における病院実習指導（老年看護学実習Ⅱ）	2023 年～現在	看護学科 3 年次対象の老年看護学実習Ⅱにおいて毎年 8 名程度の学生に対して指導を行った。
看護学科における施設実習指導（老年看護学実習Ⅰ）	2023 年～現在	看護学科 2 年次対象の老年看護学実習Ⅰの施設実習において毎年 5～6 名程度の学生に対して指導を行った。
看護学科における施設実習指導（コミュニティヘルス）	2022 年～2023 年	看護学科 2 年次対象のコミュニティヘルス実習の施設実習において毎年 8 名程度の学生に対して指導を行った。
看護学科における病院実習指導（基礎看護学実習Ⅰ）	2022 年	看護学科 1 年次対象の基礎看護学実習Ⅰの臨床実習において 8 名の学生に対して指導を行った。

Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
2　特許		
3　その他職務上の実績に関する事項		

Ⅲ　研究活動					
著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					
老年看護学②『高齢者の看護の実践』第 7 版	共著	2025 年 1 月	メディカ出版	【編者】堀内ふき、諏訪さゆり、山本恵子 【著者】 浅野均、中村麻紀、上野良子、上原朋子、島村敦子、諏訪さゆり、関千代子、山本恵子、征矢野あや子、小長谷百絵、會田信子、酒井郁子、亀井智子、瀬尾昌枝、北原崇靖、佐藤圭子、渡部みどり、篠原綾子、浅野裕子、石橋美幸、高村裕子、飯山有紀、小野美香、平松万由子、梅﨑かおり	総頁数：461 頁 執筆担当：第 12 章 感染症と看護 （p227–234）
老年看護学①『高齢者の健康と障害』第 8 版	共著	2025 年 1 月	メディカ出版	【編者】堀内ふき、諏訪さゆり 、山本恵子	総頁数：380 頁 執筆担当：第 7 章 高齢者

				【著者】 堀内ふき、諏訪達彦、成田千春、梅﨑かおり、角徳文、安川揚子、大塚眞理子、岡田進一、辻村真由子、湯本晶代、山田雅子、石橋みゆき、諏訪さゆり、堀内園子、上原朋子、酒井郁子、湯浅美千代、戸谷幸佳、関千代子、小長谷百絵、會田信子、上野まり、征矢野あや子、浅野均、小野美香子、中村麻紀、佐藤圭子	理解のための実習　高齢者疑似体験（p357-366）
認知症患者さんとのコミュニケーション&“困った行動”にしない対応法	共著	2020 年 12 月	メディカ出版	【編者】堀内ふき、浅野均 【著者】堀内ふき、浅野均、上原朋子、梅崎かおり、関千代子、佐藤圭子	総頁数：184 頁 執筆担当：第 3 章こんなとき、どう対応する？ Do & Do not ！ （ p49-52、p83-86、p109-114、p115-124、p133-136、p150-154）
論文					
報告					
学会発表					

Ⅳ　学会等および社会における主な活動
1　現在の所属学会
日本老年看護学会　、看護研究学会
2　2020～2024 年度の学会での主な活動

3　2020～2024 年度の社会での主な活動
茨城県准看護試験委員(2020 年～2021 年)

所属　医療保健学部 学科　看護学科	職名　講師	氏名　福田　久子	学　位	修士（看護科学）
			国家資格	看護師

I　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
在宅看護概論➡地域・在宅看護概論（2023 年 4 月）	2019 年～現在	看護学科 2 年次生を対象に地域・在宅看護の歴史や社会的背景を踏まえ、地域で生活する療養者やその家族を支える看護の役割や課題について理解することを目的に講義を行った。科目責任者として 15 コマすべての授業を担当した。講義はプリントを配布し、プリントに沿って作成した PowerPoint スライドを用いて、地域で暮らす人々の理解、関連する法制度、安全管理や倫理等に関して説明した。成績は、小テスト（11 回）、課題レポート、期末試験により評価した。
地域包括ケアシステム論	2023 年～現在	看護学科 2 年次生を対象に地域包括ケアシステムの概念やサービス提供のシステム等について学び、保健医療や福祉の中での看護の役割や課題について理解することを目的に授業を行った。科目責任者として 8 コマすべての授業を担当した。講義はプリントを配布し、PowerPoint スライドを用い地域包括ケアシステムの背景について説明した。グループワークでは高齢者や障害者が地域で生活するために必要な社会資源や制度等を調べて発表につなげた。成績は、グループワーク発表の内容、課題レポートで評価した。
在宅看護援助論➡地域・在宅看護援助論（2024 年 4 月）	2019 年～現在	看護学科 3 年次生を対象に、地域・在宅看護で必要とされる看護技術について理解し、紙上事例を展開し療養者と家族、取り巻く環境と状況に応じた看護の実際を学び実践に結び付けることを目的に授業を行った。科目責任者として 2023 年までは 30 コマすべての授業を担当したが、2024 年は 20 コマを担当した。看護技術について講義し、フィジカルアセスメントや洗髪援助、看護過程の展開について演習で学びを深めた。評価は、課題レポートと期末試験により評価した。
地域連携論	2024 年～現在	看護学科 3 年次生を対象に、地域において多職種で連携を図る意義を理解し、多職種と連携・協働するための基本的な能力を身に付けることを目的として授業を行った。科目責任者として 8 コマ中 4 コマを担当した。理学療法学科の 3 年次生と合同授業を行い、在宅療養者に対する多職種連携について 2 学科合同のグループワークを行った。成

		績は、グループワーク発表、課題レポートで評価した。
看護学セミナー	2019 年～現在	看護学科 4 年次生を対象に、4 年間学修した看護学の知識の集大成を図ることを目的に講義を行った。15 コマ中 1 コマを担当した。地域・在宅看護に関する講義のプリントを配布し、PowerPoint スライドを用いて解説した。
基礎看護論（診療放射線学科・臨床検査学科➡臨床検査学科）	2019 年～現在	臨床検査学科 3 年次生を対象に、看護の概念や基本を踏まえ保健医療福祉における看護師の役割について理解するすることを目的に講義を行った。8 コマ中 1 コマを担当した。地域・在宅看護に関する講義のプリントを配布し、PowerPoint スライドを用いて説明した。成績は、授業後のレポートを評価基準に基づいて評価した。
基礎看護論（医療技術学科）	2020 年～現在	医療技術学科 4 年次生を対象に、看護師の役割を学び臨床工学技士との連携について理解を深めることを目的に講義を行った。8 コマ中 1 コマを担当した。地域・在宅看護に関する講義、連携についてプリントを配布し、PowerPoint スライドを用いて説明した。成績は、授業終了後のレポートを評価基準に基づいて評価した。
2　作成した教材（150 字程度まで）		
在宅看護概論➡地域・在宅看護概論（看護学科対象）の講義用 Power Point スライド	2019 年～現在	看護学科 2 年次生の地域・在宅看護概論の講義を行った際、Power Point スライを作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
在宅看護概論➡地域・在宅看護概論（看護学科対象）の講義用配布資料	2019 年～現在	看護学科 2 年次生の地域・在宅看護概論の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリントを配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、変更を行った。
地域包括ケアシステム論（看護学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2023 年～現在	看護学科 2 年次生の地域包括ケアシステム論の講義を行った際、PowerPoint スライを作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
地域包括ケアシステム論（看護学科対象）の講義用配布資料	2023 年～現在	看護学科 2 年次生の地域包括ケアシステム論の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリントを配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、変更を行った。
在宅看護援助論➡地域・在宅看護援助論（看護学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2019 年～現在	看護学科 3 年次生の地域・在宅看護援助論の講義を行った際、Power Point スライを作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
在宅看護援助論➡地域・在宅看護援助論（看護学科対象）講義用配布資料	2019 年～現在	看護学科 3 年次生の地域・在宅看護援助論の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリントを配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、変更を行った。

地域連携論（看護学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2024 年～現在	看護学科 3 年次生の地域連携論の講義を行った際、Power Point スライを作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
地域連携論（看護学科対象）の講義用配布資料	2024 年～現在	看護学科 3 年次生の地域連携論の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリントを配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、変更を行った。
看護学セミナー（看護学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2019 年～現在	看護学科 4 年次生の看護学セミナーの講義を行った際、Power Point スライを作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
看護学セミナー（看護学科対象）の講義用配布資料	2019 年～現在	看護学科 4 年次生の看護学セミナーの講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリントを配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、変更を行った。
基礎看護論（診療放射線学科・臨床検査学科➡臨床検査学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2019 年～現在	臨床検査学科 3 年次生の基礎看護論の講義を行った際、Power Point スライを作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
基礎看護論（診療放射線学科・臨床検査学科➡臨床検査学科対象）の講義用配布資料	2019 年～現在	臨床検査学科 3 年次生の基礎看護論の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリントを配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、変更を行った。
基礎看護論（医療技術学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2020 年～現在	医療技術学科学科 4 年次生の基礎看護論の講義を行った際、Power Point スライを作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
基礎看護論（医療技術学科対象）の講義用配布資料	2020 年～現在	医療技術学科学科 4 年次生の基礎看護論の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリントを配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、変更を行った。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
なし		
4　その他教育活動上特記すべき事項		
看護学科における卒業研究指導	2022 年～現在	看護学科 4 年次対象の看護研究セミナーにおいて毎年 3～5 名の学生に対して指導を行った。
看護学科における臨地実習指導	2019 年～現在	看護学科 4 年次生を対象の在宅看護論実習において、毎年 10～16 名を 1 グループとして 5 グループの学生に対して指導を行った。

Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	

1　研究助成金		
なし		
2　特許		
なし		
3　その他職務上の実績に関する事項		
なし		

Ⅲ　研究活動					
著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					
なし					
論文					
在宅看護論臨地実習における訪問看護についての学びの分析	共著（筆頭）	2025 年 3 月	つくば国際大学紀要　16 号	福田久子、藤咲美輝、峯小百合	p47-60
在宅看護論実習におけるオンラインによる Live 実習の試み ―訪問看護についての学びの分析―	共著（筆頭）	2023 年 3 月	日本医学看護学教育学会誌 第 31 号 4 巻	福田久子、峯小百合、纐纈祐子、大槻優子	p57-64
コロナ禍における看護学生の国家試験対策学習支援ニーズと課題	共著	2021 年 3 月	つくば国際大学紀要　12 号	長堀智香子、福田久子、岡嶋妙子、塙恵子、渡部洋子	p21-29
報告					
なし					
学会発表					
在宅看護論実習におけるオンラインによる Live 実習の試み その 1―実習後のレポート分析による訪問看護についての学び―	共同（筆頭）	2022 年 3 月	第 32 回日本医学看護学教育学会学術集会（宇部 WEB 開催）	福田久子、峯小百合、纐纈祐子、大槻優子	一般演題
在宅看護論実習におけるオンラインによる Live 実習の試み そ	共同	2022 年 3 月	第 32 回日本医学看護学教育学会学術集会（宇部 WEB 開催）	峯小百合、福田久子、纐纈祐子、大槻優子	一般演題

の 2～実習を通して養われた看護観の分析					

Ⅳ　学会等および社会における主な活動
1　現在の所属学会
日本看護研究学会 日本産業看護学会 日本医療マネジメント学会 日本医学看護学教育学会 日本在宅看護学会
2　2020～2024 年度の学会での主な活動
茨城県訪問看護事業協議会看護研究会　講評（2022 年 2 月～2023 年 2 月まで） 茨城県看護協会学会委員（2019 年 4 月～2022 年 3 月まで）
3　2020～2024 年度の社会での主な活動
茨城県訪問看護推進協議会委員（2020 年 4 月～2023 年 3 月まで）

所属　医療保健学部 学科　看護学科	職名　講師	氏名　藤咲　美輝	学　位	修士（看護学）
			国家資格	看護師

I　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
地域・在宅看護援助論	2024 年～現在	看護学科 3 年生を対象に地域･在宅看護における紙上事例を展開し、療養者と家族の環境と状況に応じた在宅看護を学び、看護の知識を応用し、看護過程の展開ができることを目標に講義・演習を行った。30 コマすべての授業を担当した。講義では資料を配布し、講義はパワーポイントを使用し説明を行った。看護過程においては個人ワーク、グループワークを行い、それぞれの事例における看護過程をまとめ発表を行った。演習は①在宅療養者のフィジカルアセスメントの実践②在宅療養者訪問のシミュレーション③在宅療養者の日常生活援助(ベッド上洗髪)をグループごとに実践を行った。各演習に対してレポートを課し内容を評価、最終でテストを実施、総合的に成績評価した。
地域連携論	2024 年～現在	看護学科 3 年生を対象に地域における多職種連携の意義を理解し、協働するための能力を養うことを目的に授業を行った。8 コマすべて担当した。理学療法学科 3 年生との合同授業（4 コマ）では、グループワークにて紙上事例をもとにそれぞれの職種から見た問題の抽出と対策を話し合い、相互に職種間で協働することについて学習した。また「地域共生社会」をテーマに社会の中で、看護師としての役割や実践できることをグループディスカッションし、まとめ発表会を実施した。グループ発表における成果物、レポートを課し成績評価を行った。
2　作成した教材（150 字程度まで）		
地域・在宅看護援助論	2024 年～現在	看護学科 3 年次生を対象に講義を行った。その際にパワーポイントスライド(370 枚)を作成した。 演習には DVD 視聴覚教材を使用し①在宅療養者のフィジカルアセスメント②床上洗髪③訪問看護時のマナーについて GW 演習を行った。また「在宅看護論看護過程」においては事例における報告会をパワーポイント・小冊子を作成した。
地域連携論	2024 年～現在	看護学科 3 年次生を対象に講義を行った。前半は理学療法学科との合同授業を通して、多職種連携について相互の職種の役割について GW を行った。後半は「地域共生社会の中で看護師ができる事」の講義を

		行い、GW でディスカションを行い、パワーポイントでまとめ、各グループで報告会を行った。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
4　その他教育活動上特記すべき事項		
看護学科における臨床実習指導	2024 年～現在	・看護学科 2 年次対象の「コミュニティヘルス実習」担当として地域の福祉施設へ見学実習の指導を行った。(2024 年度) ・看護学科 4 年次対象の「地域・在宅看護論実習」担当として、10 週間（12～15 名 5 クール）の訪問ステーション、リハビリ施設、居宅介護支援事業所へ実習依頼、カンファレンス、学内実習等の指導を行った。(2024 年度). ・看護学科 2 年次対象の「老年看護学実習Ⅰ」において実習指導を行った。(2024 年度) ・看護学科 4 年次対象の「総合実習」において実習指導を行った。(2024 年度)
看護学科における卒業研究指導	2024 年～現在	看護学科 4 年次対象の卒業研究において毎年 4 名程度の学生に対して指導を行った。
国家試験対策委員、補習、講義担当	2024 年～現在	看護学科 4 年次対象に、国家試験対策講義、強化学習会の実施、指導を行った。

Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
2　特許		
3　その他職務上の実績に関する事項		
学術論文の査読（4 件）	2022～2024 年	

Ⅲ　研究活動					
著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等

著書					
論文					
在宅看護論臨地実習における訪問看護についての学びの分析	共著	2025 年 3 月	つくば国際大学紀要　16 号	福田久子、藤咲美輝 峯小百合	p47 - 60
報告					
学会発表					
令和 4 年	単独	2023 年 8 月	第 26 回日本看護管理学会	藤咲美輝	一般演題

Ⅳ　学会等および社会における主な活動
1　現在の所属学会
日本看護協会／茨城県看護協会 日本健康医学会 日本在宅看護学会
2　2020～2024 年度の学会での主な活動
3　2020～2024 年度の社会での主な活動
埼玉県看護協会認定看護管理者研修サードレベル講師(2023～2024) 国立病院看護研究学会査読委員(2022～2023)

所属　医療保健学部 学科　看護学科	職名　講師	氏名　宮下　真理子	学　位	修士（看護管理学）
			国家資格	看護師

Ⅰ　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
基礎看護技術Ⅰ	2024 年～現在	看護学科 1 年次生を対象に、コミュニケーションの基礎、看護におけるコミュニケーションについて、8 コマの講義のうち、4 コマの演習を担当した。グループに分かれ、ジョハリの窓等の自己分析の演習であり、2 グループを担当し、演習方法、自己分析方法等の指導を行った。1 年次初めての演習であり、クラス内での人間関係の構築も意識して指導した。
基礎看護技術Ⅱ	2024 年～現在	看護学科 1 年次生を対象に、日常生活の基礎技術について、30 コマ中、活動 3 コマ、排泄 4 コマ、バイタルサインの技術 4 コマを担当した。その他、演習 12 コマのグループの指導と技術確認 1 コマ、再技術確認 1 コマを担当した。活動は講義と体位変換・車椅子とストレッチャー移乗移送の実際について演習を行った。排泄の授業は、講義と便器尿器の当て方、オムツの装着、陰部洗浄の演習を行った。技術だけでなく、学生が陰部モデルを装着して患者役を行うことで、患者への羞恥心の配慮なども学ぶ内容とした。評価は各演習の事前・事後課題レポート点と技術試験、筆記試験で評価した。本試験・再試験を実施した。
基礎看護技術Ⅲ	2024 年～現在	看護学科 1 年次生を対象にフィジカルアセスメントの基礎技術を習得する内容である。15 コマのうち、問診 1 コマ、頭頚部のフィジカルアセスメント 1 コマ、脳神経のフィジカルアセスメント 2 コマ、筋・骨格のフィジカルアセスメント 2 コマの講義・演習を担当した。また、演習 6 コマの指導、技術確認 2 コマ、再技術確認 1 コマを担当した。問診・視診・触診・打診・聴診の技術を用いたアセスメントの技術を講義とグループで演習することで理解を深めた。演習では、人体の構造と機能を想起させながら、実際行っている検査が何を評価しているのかを意識して実施した。技術試験は、血圧測定・胸腹部の聴診、腹部の聴診を実施した。技術の習得には、授業時間以外に指導時間を取り指導した。
基礎看護技術Ⅳ	2024 年～現在	看護学科 1 年次生を対象に、診療の補助技術を習得する内容である。

		科目責任者として講義計画、評価までを担当した。 30 コマのうち、診療の技術における安全管理、記録報告 2 コマ、無菌操作 3 コマ、導尿・浣腸 2 コマ、酸素吸入・吸引 2 コマ、救急処置 1 コマの講義、演習を担当した。その他、演習 9 コマのグループ指導、技術確認 2 コマ、再技術確認 1 コマを担当した。 記録報告は、事例を用いて SBAR で報告する方法を学ぶ内容とした。また、安全管理では、 診療の補助技術で起きうる可能性のある事故について事例を用いて考える内容とした。導尿は無菌操作の徹底、浣腸は体位を含め安全な方法について演習を通して学んだ。評価は筆記試験、筋肉注射の技術試験で実施した。また、、基礎看護技術のまとめとして、シミュレーションで技術の確認を行った。
基礎看護学援助論	2024 年～現在	看護学科 2 年次生を対象に、看護過程の展開を学ぶ内容である。科目責任者として講義・演習 30 コマすべてを担当した。学生の身近な事例を用いながら看護過程の展開の基礎を 10 コマ講義し、18 コマをグループに分かれて演習した。演習では、段階的に看護過程が理解できるような構成とし、実施・評価については、実習室で教員が模擬患者となり、計画に沿って看護を展開し、評価・計画の修正を行う内容とした。科目評価は、演習と筆記試験で行った。演習・筆記試験とも不合格者には再試験を実施した。
看護学セミナー	2024 年～現在	看護学科 4 年次生を対象に、4 年間の学習内容を確認することを目的とした内容である。全 15 コマ中 1 コマ、基礎看護学の診療に伴う技術を担当した。国家試験の出題基準を網羅する内容で実施した。国家試験問題を講義に取り入れ、学習することにより、国家試験学習に対応できるように工夫した。
基礎看護学	2024 年～現在	医療技術学科 4 年次生に、他職種と連携するために看護の役割を学ぶことを目的に実施する内容である。全 8 コマ中、1 コマを担当した。看護技術の基礎をテーマに、看護技術を提供するために必要な基本的な心構えや、看護技術の種類とアセスメントについて講義した。講義の最後には、グループワークで事例を用いて具体を考える内容とした。
2　作成した教材（150 字程度まで）		
基礎看護技術Ⅱ	2024 年～現在	看護学科 1 年次生の講義を行った際、PowerPoint（計 3 点　167 枚）のスライドを作成し、板書として使用した。また、演習資料・事前事後課題プリント（3 点 18 枚）を作成した。講義の後は、資料を見直し、変更・修正し更新を行った。

基礎看護技術Ⅲ	2024 年～現在	看護学科 1 年次生の講義を行った際、PowerPoint（計 4 点 111 枚）のスライドを作成し、板書として使用した。また、演習資料・事前事後課題プリント（4 点 17 枚）を作成した。講義の後は、資料を見直し、変更・修正し更新を行った。
基礎看護技術Ⅳ	2024 年～現在	看護学科 1 年次生の講義を行った際、PowerPoint（計 4 点 162 枚）のスライドを作成し、板書として使用した。また、演習資料・事前事後課題プリント（3 点 16 枚）を作成した。講義の後は、資料を見直し、変更・修正し更新を行った。
基礎看護学援助論	2024 年～現在	看護学科 2 年生の講義を行った際、PowerPoint（計点 枚）の資料を板書として使用した。また、配布資料として、2 事例（講義で使用するもの、演習で使用するもの）を作成した。講義の後、資料を見直し、変更・修正し、更新を行った。
看護学セミナー	2024 年～現在	看護学科 4 年次生の講義を行った際、PowerPoint（計 1 点 65 枚）のスライドを作成し、板書として使用した。講義の後は、資料を見直し、変更・修正し更新を行った。
基礎看護学	2024 年～現在	医療技術学科 4 年次生の講義を行った際、PowerPoint（計 1 点 46 枚）のスライドを作成し、板書として使用した。講義の後は、資料を見直し、変更・修正し更新を行った。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
茨城県専任教員養成講習会講師	2024 年 7 月	茨城県看護協会からの依頼で、専任養成課程講習会参加者 15 名痛いし、看護教育課程論（基礎看護学）2 コマを実施した。
4　その他教育活動上特記すべき事項		
看護研究セミナー	2024 年～現在	看護学科 4 年次生を対象に、研究の進め方・論文のまとめ方を学習することを目的に、文献研究を実施する内容である。全 15 コマ中、3 名の学生を担当し、個別指導として 11 コマ、発表 1 コマを担当した。
国家試験対策委員会での活動	2024 年～現在	国家試験対策委員会において、学力低迷している学生に対し、強化学習室の運営、定期的な講義の実施を行った。
コミュニティヘルス実習指導	2024 年	看護学科 2 年次生のコミュニティヘルス実習の学内実習指導 3 日間、発表 1 日を担当した。
基礎看護学実習Ⅰ指導	2024 年～現在	看護学科 1 年次生を対象に、臨床実習指導 5 日間を実施した。 1 グループ、4 名を担当し、コミュニケーション、対象理解・、常生活援助の指導を行った。
基礎看護学実習Ⅱ指導	2024 年～現在	看護学科 2 年次生を対象に臨地実習 4 週間を実施した。 1 グループ 5 名を 2 週間ずつ 2 回実施し、看護過程の展開の指導を行

		った。
総合実習指導	2024 年～現在	看護学科 4 年次生を対象に臨地実習を 2 週間実施した。 1 グループ 3 名、2 病棟を担当し、複数患者受け持ち、管理業務等の実習指導を実施した。

Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
2　特許		
3　その他職務上の実績に関する事項		

Ⅲ　研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					
論文					
報告					
学会発表					
子育てのライフステージにおいてキャリア継続を目指す女性看護師の思いと行動	共同（筆頭）	2020 年 8 月	第 24 回日本看護管理学会（WEB 開催）	宮下真理子　佐藤久子 阿部尚美　吉良淳子	
臨床における看護実践において看護過程は活用されているか	共同	2020 年 8 月	日本看護研究学会第 46 回学術集会（WEB 開催）	阿部尚美　佐藤久子 宮下真理子　吉良淳子	
就任初期の中間看護管理者の看護管理の能力と看護管理に関する研修受講の有無との関連	共同	2020 年 8 月	第 24 回日本看護管理学会（WEB 開催）	佐藤久子　宮下真理子 阿部尚美　吉良淳子	

中間管理者就任前の学習ニーズ	共同	2021 年 8 月	24 回日本看護管理学会（WEB 開催）	佐藤久子　宮下真理子 阿部尚美　吉良淳子	
看護過程を基盤とした臨床実践の実現に向けて～計画的行動理論を用いた関連要因分析～	共同	2021 年 8 月	日本看護研究学会第 47 回学術集会（WEB 開催）	阿部尚美　佐藤久子 宮下真理子　吉良淳子	

Ⅳ　学会等および社会における主な活動
1　現在の所属学会
看護研究学会
日本看護管理学会
看護教育学会
2　2020～2024 年度の学会での主な活動
3　2020～2024 年度の社会での主な活動

所属　医療保健学部 学科　看護学科	職名　助教	氏名　井上　刷子	学　位	修士（教育学研究科教育心理学専攻人間発達臨床科学研究コース）
			国家資格	看護師　保健師　助産師

I　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
母性看護学援助論	2024～現在	看護学科 3 年次を対象に、妊婦・褥婦・新生児の観察と援助について必要な看護技術を習得する目的で、演習指導を担当。4 コマ。
入学前課題	2024～現在	看護学科新入生に対する入学前課題を提示、添削。
初年次教育補習	2024～現在	看護学科入学時基礎テストにおいて、補習授業が必要な学生に対し、数学は講師の先生のサポートおよび出欠席の確認、中間テスト、最終テストの実施。国語は class room にて漢字テストや小論文の課題を提示し添削指導を実施。
国試対策補習	2024～現在	看護学科 4 年次に対し、担当日に補習を実施。
2　作成した教材（150 字程度まで）		
入学前課題の作成	2024～現在	看護学科新入生に対する入学前課題（数学問題 A4、10 枚）を作成。
初年次教育補習	2024～現在	看護学科 1 年次に対し、入学時基礎テスト、中間テスト、最終テスト作成。 国語の漢字テストや小論文の課題を class room にて（12 題）作成。
国試対策補習	2024～現在	看護学科 4 年次補講用 power point（母性看護学概論 128 枚、母性看護学援助論 87 枚）作成。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		なし
4　その他教育活動上特記すべき事項		
看護研究セミナー	2024～現在	看護学科 4 年次 2 名を対象に、看護研究のテーマを設定し、研究目的を達成できるように指導を実施。成績は、評価表と論文とポスターにて評価。
母性看護学実習	2024～現在	看護学科 4 年次を対象に、周産期にある母子の身体的特徴およびその家族を含めた心理・社会的特徴を査定し、看護における基本的な実践能力を習得する目的で、病院実習指導を実施。2024.5.7～7.26 の間 1 クール 10 日間×3 クールを担当した。成績は、実習評価表とレポート

		にて評価した。
公衆衛生看護学実習Ⅱ	2024～現在	看護学科 4 年次を対象に、保健所と市町村における公衆衛生看護活動の展開方法と保健師の役割を学ぶとともに、基礎的な実践能力を習得する目的で、保健所と保健センターでの実習を担当。実習期間は 20 日間。成績は、実習評価表とレポートにて評価した。
総合実習	2024～現在	看護学科 4 年次を対象に、既習の知識・技術を統合し、看護チームの一員として看護を統合的、継続的に実践できる能力を養い、実習を通し看護管理のありかたを学ぶ目的で、病院実習指導を担当した。実習期間は、1 クール 15 日間×1 クール。成績は、実習評価表とレポートにて評価した。
老年漢学実習Ⅱ	2024～現在	看護学科 3 年次を対象に、高齢者の身体的機能、社会・家庭生活の変化、心理的特徴、日常生活動作の評価から、その人の残存機能を活かし、QOL を高めるための看護について考える。また、看護職と他職種間のチームの連携の実際についても学習し、看護の役割を考える。さらに、高齢者への看護活動より考察した自己の高齢者観を述べる目的で、病院実習指導を担当した。実習期間は、9 日間。成績は、実習評価表とレポートにて評価した。
基礎看護学実習Ⅰ	2024～現在	看護学科 1 年次を対象に、看護の対象である患者と患者を取り巻く環境を理解し、日常生活の援助技術を体験する目的で、病院実習指導を担当した。実習期間は 5 日間。成績は、実習評価表とレポートにて評価した。
基礎看護学実習Ⅱ	2024～現在	看護学科 2 年次を対象に、対象を全人的に捉え、ニーズの充足を目指して日常生活の援助を計画・実施・評価できるという目的で、病院実習指導を担当した。実習期間は、1 クール 10 日間×2 クール。成績は、実習評価表とレポートにて評価した。
Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		なし
2　特許		なし
3　その他職務上の実績に関する事項		なし

Ⅲ　研究活動					
著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書			なし		
論文			なし		
報告					
産後 2 週間健診の実態についての文献レビュー	共著（筆頭）	2025 年 3 月	医療保健学研究　第 16 号	井上刷子、纐纈祐子 大槻優子	総頁数：11 頁(35-46)
学会発表					
看護学生の臓器移植に関する意識調査研究の動向	共同	2024 年 10 月	第 18 回看護教育研究学会学術集会	田中陽子、中島彩 星野谷優子、赤羽根明佳 井上刷子、飯泉悦子	
母性看護学実習における産後 2 週間健康診査の見学実習の学び	共同	2025 年 3 月	第 35 回日本医学看護学教育学会	大槻優子、纐纈祐子 井上刷子	

Ⅳ　学会等および社会における主な活動
1　現在の所属学会
日本思春期学会 日本母性衛生学会 看護教育研究学会
2　2020～2024 年度の学会での主な活動
なし
3　2020～2024 年度の社会での主な活動
なし

所属　医療保健学部 学科　看護学科	職名　助教	氏名　小川　愛里	学　位	修士（看護学）
			国家資格	看護師

Ⅰ　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
成人看護学援助論Ⅰ	2020 年～2023 年	看護学科 2 年生を対象に慢性期疾患の機能障害の看護について、主に循環機能障害、呼吸機能障害のある患者の看護の講義を担当し、それぞれの機能障害と看護のポイントを結び付け、根拠を合わせて学習できるようにした。また、簡単な事例を用いて、学習内容を活用したアセスメントのワークを実施した。演習はセルフマネジメントに関する内容でグループ指導を行った。
成人看護学援助論Ⅱ	2020 年～2023 年	2022～2023 年は科目責任者として､3 年生を対象に急性期にある対象の看護を講義・演習した。急性期疾患の機能障害の看護についは、主に循環機能障害、呼吸機能障害のある患者の周術期の看護の講義を担当し、それぞれの機能障害と看護のポイントを結び付け、根拠を合わせて学習できるようにした。また、簡単な事例を用いて、学習内容を活用したアセスメントのワークを実施した。演習は周手術期にある対象に関する看護過程の展開を実施するとともに、事例をもとに臨床判断や術後の看護技術を体験できるようにし、グループ指導を行った。
看護学セミナー	2020 年～2022 年	成人看護学領域の分野で、主に呼吸機能障害、循環機能障害の看護を担当し、ポイントの整理、知識の確認に役立てられるよう講義を行った。
2　作成した教材（150 字程度まで）		
成人看護学援助論Ⅰの講義用 PowerPoint スライド	2020 年～2023 年	看護学科 2 年次の講義で、PowerPoint スライド（計 3 点、計 108 枚）を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライを見直し、次年度に活かした。
成人看護学援助論Ⅰの講義用配布資料	2020 年～2023 年	看護学科 2 年次の講義の際に毎回の授業内容をまとめた配布資料（A4 両面 10 枚程度）を作成、講義後に見直しを行い、次年度に活かした。
成人看護学援助論Ⅱの講義用 PowerPoint スライド	2020 年～2023 年	看護学科 3 年次の講義で、PowerPoint スライド（計 8 点、計 277 枚）を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライを見直し、次年度に活かした。また、演習要項（5 頁）を作成し、演習内容と進度、演

		習課題をもとに計画的に学習を進められるようにした。教員用の演習要項には指導の留意点等を記載し、複数教員が関わるが共通認識のもと指導できるようにした。
成人看護学援助論Ⅱの講義用配布資料	2020 年～2023 年	看護学科 3 年次の講義の際に毎回の授業内容をまとめた配布資料（A4 両面 10 枚程度）を作成、講義後に見直しを行い、次年度に活かした。
看護学セミナーの講義用 PowerPoint スライド	2020 年～2022 年	看護学科 4 年次の講義で、PowerPoint スライド（計 1 点、計 73 枚）を作成し、番所として使用した。講義後にはスライを見直し、次年度に活かした。
看護学セミナーの講義用配布資料	2020 年～2022 年	看護学科 4 年次の講義の際に内容をまとめた配布資料（A4 両面 10 枚程度）を作成、講義後に見直しを行い、次年度に活かした。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
4　その他教育活動上特記すべき事項		
総合実習　臨地実習指導	2018 年～2022 年	看護学科 4 年次の臨地実習において実習指導した。4 年生は自立して行動できる学年であるが、２人を同時に受け持ち、メンバー業務も行うなど、実習形態は初めてとなるため、スムースに行動できるよう支援した。また、総合実習の目標に到達できるよう不足部分の学びが得られるよう支援した。
成人看護学実習Ⅰ・Ⅱ　臨地実習指導	2019 年～2022 年 2024 年	看護学科 3 年次対象の臨地実習において授業資料や教科書・参考書、事前学習などを活用しながら、学生と一緒に知識を確認して、アセスメントにつなげられるよう支援した。学生個々の学習進度に応じて課題に取り組めるよう支援した。
看護学科における看護研究セミナー研究指導	2022 年	看護学科 4 年次を２名学生の研究指導を行った。
病態治療論Ⅱ　医療技術学科体験実習の調整・引率	2023 年	科目責任者として、看護学科 2 年次の医療技術学科体験実習の調整及び引率をした。実習にあたり、事前学習課題と事後課題を作成し、学生の学びを確認した。また、学習状況を踏まえ、次年度への改善につなげた。
クリニカル看護実習Ⅰ・Ⅱ　臨地実習指導	2024 年～現在	看護学科 3 年次対象の臨地実習において健康障害のある患者の対象理解をし、看護実践につなげられるよう支援した。学生個々の学習進度に応じて課題に取り組めるよう支援した。
国試対策（低学年）	2024 年～現在	4 年生の強化対策の学習支援、1・2・3 年生には、年度末模試及び国試対策学習の動機づけ、学習方法などを含むオリエンテーションを実施した。

Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
2　特許		
3　その他職務上の実績に関する事項		

Ⅲ　研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					
論文					
成人看護学実習におけるルーブリックの活用による自律的動機に関する考察	共著	2021 年 3 月	医療保健学研究.Vol.12	吉田和美、岡嶋妙子、小川愛里、中島美香、日向野香織	p1-19
報告					
学会発表					

Ⅳ　学会等および社会における主な活動
1　現在の所属学会
日本看護研究学会、日本看護技術学会、日本摂食嚥下リハビリテーション学会、日本看護協会会員、茨城県看護協会会員
2　2020～2024 年度の学会での主な活動
3　2020～2024 年度の社会での主な活動

所属　医療保健学部 学科　看護学科	職名　助教	氏名　北島　元治	学　位	修士（看護学）
			国家資格	看護師　保健師

Ⅰ　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
基礎看護技術Ⅰ（人間関係とコミュニケーション）	2023 年～現在	看護学科 1 年生を対象に、看護援助における人間関係の特徴を理解し、対象との関係を発展させるコミュニケーション技術の基本を習得できるよう、講義・演習を行った。2025 年からは科目責任者として全 8 回の授業を担当した。講義ではプリント配布とパワーポイントでの解説をした。その際、講義中にもコミュニケーションを経験できるよう、体験を交えるように工夫した。演習では、事前には担当教員と演習内容を共有し、学生の目標が達成できるよう工夫した。 成績は演習後の課題と期末試験により評価した。
基礎看護技術Ⅱ（日常生活援助技術）	2023 年～現在	看護学科 1 年生を対象に、対象者の日常生活行動を援助するために必要な専門的知識・技術・態度が修得できるよう、科目分担者として講義・演習を担当した。各年ともに清潔・衣生活の援助の講義と全身清拭・寝衣交換、洗髪、足浴および技術試験を担当した。そのほかにも 2023 年にはバイタルサインの測定技術と演習、2024 年・2025 年には病床環境を整える技術とベッドメーキング、臥床患者のリネン交換を担当した。講義ではプリント配布とパワーポイントでの解説を、演習ではデモンストレーションと複数グループの指導を行った。その他学生に希望に応じて、個別の技術指導を行った。 成績は演習後の課題と技術試験、期末試験により評価した。
基礎看護技術Ⅲ（フィジカルアセスメント）	2023 年～現在	看護学科 1 年生を対象に、看護実践に必要な身体的情報を収集・評価するためのフィジカルアセスメントの基本的知識・技術を学べるよう、科目責任者として、全 15 コマ中、呼吸器系・循環器系・腹部消化器系・技術試験を中心に、フィジカルアセスメントとは、問診と一般状態、筋骨格系を担当した。講義と演習を組み合わせ、プリントの配布とパワーポイントの解説、デモンストレーション、複数グループの指導を行った。その他学生に希望に応じて、個別の技術指導を行った。 成績は、演習後の課題と技術試験、記述試験により評価した。
基礎看護技術Ⅳ（診療に伴う援助技術）	2023 年～現在	看護学科 2 年生を対象に、看護の役割を理解し、様々な健康状態に

		ある対象の診断・治療に必要な援助が正確・安全・安楽に提供できる基礎的な看護技術を修得できるよう、科目分担者として、3 コマのシミュレーション演習を中心に担当した。2023 年には記録・報告の講義も担当した。シミュレーション演習では、事前に担当教員と演習内容を共有し、学生の目標が達成できるように工夫した。そのほかの演習では複数グループの指導を行い、学生に希望に応じて、個別の技術指導を行った。 成績は、演習後の課題と技術試験、記述試験により評価した。
基礎看護援助論	2023 年～現在	看護学科 2 年生を対象に、看護過程の基礎を学び、看護実践を支える思考過程である看護過程を理解することができるよう、科目分担者として演習を担当した。演習では小グループを担当し、学生が看護過程を理解できるよう助言を行った他、各回の課題に対して理解が進むようコメントを記載した。計画実施の演習では患者役として、できるだけリアルな患者を演じられるよう、担当教員と情報を共有し実施した。その他、学生に希望に応じて、個別に指導を行った。 成績は、看護過程の展開と記述試験により評価した。
キャリアデザイン入門	2023 年	看護学科 1 年生を対象に、看護職を志したきっかけを思い出し、未来に向けて自分自身の看護職としてのキャリアを思い描くとともに、生活者としての調和を保ちながら人間としての成長をめざす過程をデザインできるよう、科目分担者として演習を担当した。演習では小グループを担当し、学生の各課題の理解状況を確認しながら学習できるよう、助言した。またレポート課題をはじめ、コメントを記載して学生の理解が進むよう指導した。演習では、担当教員と情報共有し指導を行った。 成績は、評価表に則って課題・レポートを評価した。
看護学セミナー	2023 年～現在	看護学科 4 年生を対象に、4 年間学習した看護学の知識の集大成を図れるよう、日常生活援助技術を中心に 1 コマ講義を行った。講義では、配布資料を基に、看護師国家試験を意識して講義を行い、日常生活援助技術の他、コミュニケーション技術やフィジカルアセスメントの講義を行った。 成績は、期末試験で評価した。
基礎看護論	2023 年～現在	医療技術学科 4 年生を対象に、卒業後チーム医療を行っていくうえで看護師の役割が理解できるよう、科目分担者として透析看護についての講義を行った。講義ではプリントを配布し、パワーポイントを用いて説明した。講義では透析看護に関する知識の他、患者・家族の心

		理がどのような心理状態にあるかを理解できるよう、先行研究をもとに紹介した。 成績は、事後レポートを評価表に沿って評価した。
2　作成した教材（150 字程度まで）		
基礎看護技術Ⅰ（人間関係とコミュニケーション）　パワーポイントスライドおよび配布資料	2023 年～現在	看護学科 1 年生を対象に講義・演習を行った際、2024 年度は、計 3 点 106 枚のパワーポイントスライドを作成した。配布資料はパワーポイントスライドから手元に不要な分を削除したものを準備した。その他、2 回の演習に必要な演習要項と記録用紙を作成した。 講義・演習後はスライド、配布資料を見直し、変更・修正・更新を行った。
基礎看護技術Ⅱ（日常生活援助技術）　パワーポイントスライドおよび配布資料	2023 年～現在	看護学科 1 年生を対象に講義・演習を行った際、2024 年は、計 2 点 124 枚のパワーポイントスライドを作成した。配布資料はパワーポイントスライドから手元に不要な分を削除したものを準備した。その他、5 回の演習に必要な演習要項と記録用紙、技術試験に必要な資料を作成した。 講義・演習・技術試験後はスライド、配布資料を見直し、変更・修正・更新を行った。
基礎看護技術Ⅲ（フィジカルアセスメント）　パワーポイントスライドおよび配布資料	2023 年～現在	看護学科 1 年生を対象に講義・演習を行った際、2024 年は、計 5 点 192 枚のパワーポイントスライドを作成した。配布資料はパワーポイントスライドから手元に不要な分を削除したものを準備した。その他、4 回の演習に必要な演習要項と記録用紙、技術試験に必要な資料を作成した。 講義・演習・技術試験後はスライド、配布資料を見直し、変更・修正・更新を行った。
基礎看護技術Ⅳ（診療に伴う援助技術）　パワーポイントスライドおよび配布資料	2023 年～現在	看護学科 2 年生を対象に演習を行った際、2024 年は、シミュレーション演習に必要な演習要項と記録用紙を作成した。 演習後はスライド、配布資料を見直し、変更・修正・更新を行った。
看護学セミナー　パワーポイントスライドおよび配布資料	2023 年～現在	看護学科 4 年生を対象に講義を行った際、2024 年は、計 1 点 47 枚のパワーポイントスライドを作成した。配布資料はパワーポイントスライドから手元に不要な分を削除したものを準備した。 講義後はスライド、配布資料を見直し、変更・修正・更新を行った。
基礎看護論　パワーポイントスライドおよび配布資料	2023 年～現在	医療技術学科 4 年生を対象に講義を行った際、2024 年は、計 1 点 57 枚のパワーポイントスライドを作成した。配布資料はパワーポイントスライドから手元に不要な分を削除したものを準備した。 講義後はスライド、配布資料を見直し、変更・修正・更新を行った。

看護学科における入学前課題の作成	2024 年～現在	看護学科を受験し合格した高校生を対象に、国語・数学・生物の入学前課題を作成した（A4、計 21 枚）。
看護学科におけるリメディアル国語の作成	2024 年～現在	リメディアル数学対象者に、看護学科独自の取り組みとしてリメディアル国語の課題（オンライン　全 12 課題）を作成した
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
看護基礎教育に関する論文発表	2023 年 3 月	看護基礎教育に関する論文（実践報告）を共著者として発表した。「COVID-19 禍の基礎看護学実習 III における臨地・学内併用実習の実践報告」細矢智子, 山口幸恵, 北島元治, 萩野谷浩美　常磐看護学研究雑誌 5 巻 Page23-34
看護基礎教育に関する論文発表	2021 年 3 月	看護基礎教育に関する論文（研究報告）を共著者として発表した。「新設看護学部入学生の看護職志望動機と学習意欲の関連」細矢智子, 北島元治, 山口幸恵, 河津芳子　常磐看護学研究雑誌 3 巻 Page35-44
看護基礎教育に関する論文発表	2021 年 3 月	看護基礎教育に関する論文（研究報告）を共著者として発表した。「看護系大学を志望した動機に関する文献検討　看護系大学学生を対象とした研究の分析」山口幸恵, 細矢智子, 北島元治, 河津芳子　常磐看護学研究雑誌 3 巻 Page25-33
教員養成に関する論文発表	2021 年 3 月	教員養成に関する論文（原著論文）を共著者として発表した。「看護専門学校 3 年課程看護教員の教育力の特徴および"看護学教員ロールモデル行動"と"看護教員職務満足度"の関連」高村祐子, 柳久子, 橋爪祐美, 鶴見三代子, 北島元治, 亀山純子, 川野道宏　茨城県立医療大学紀要 26 巻 Page13-24
教員養成に関する論文発表	2020 年 6 月	教員養成に関する論文（資料）を共著者として発表した。「3 年課程の看護専門学校の新人教員におけるロールモデル行動自己評価の変容　研修プログラムの有効性に関する検討」高村祐子, 柳久子, 川野道宏, 北島元治　リハビリテーション連携科学 21 巻 1 号 Page70-80
看護基礎教育に関する学会発表	2020 年 9 月	看護基礎教育に関して筆頭演者として学会発表を行った。「新設看護学部に入学した学生の看護職志望動機と学習意欲の関連」北島元治, 細矢智子, 山口幸恵, 河津芳子　日本看護医療学会学術集会抄録集 22 回 Page63
4　その他教育活動上特記すべき事項		
基礎看護学実習 I（生活援助技術の実践）における病院実習指導	2023 年～現在	看護学科 1 年生を対象に、看護の対象である患者と患者を取り巻く環境を理解し、日常生活の援助技術を体験できるよう、複数グループの指導を行った。

基礎看護学実習Ⅱ（看護過程の展開）における病院実習指導	2023 年～現在	看護学科 2 年生を対象に、対象を全人的にとらえ、ニーズの充足をめざして日常生活の援助を計画・実施・評価できるよう、複数グループの指導を行った。
コミュニティヘルス実習における病院実習指導	2023 年～2024 年	看護学科 2 年生を対象に、地域の医療や福祉施設用を利用し地域で生活しているライフステージ各期の人々の発達課題や健康状態を踏まえ、支援の内容について理解できるよう、複数グループの指導を行った。
総合実習における病院実習指導	2023 年～現在	看護学科 4 年生を対象に、既習の知識・技術を統合し、看護チームの一員として看護を統合的、継続的に実践できる能力を養い、看護管理の在り方を学べるよう、複数グループの指導を行った。
看護研究セミナーにおける研究指導	2023 年～現在	看護学科 4 年生を対象に、看護に関連するテーマを自ら設定し、研究目的を達成することができるよう、学生 2 名を担当し 12 コマの指導を行った。
初年次補習教育	2024 年～現在	看護学科を受験し合格した高校生を対象に、提出された国語・数学・生物を採点しコメントしたうえで返却した。また入学前のユニフォーム採寸時には合格者全員に数学の問題を配布し、学習を促した。 リメディアル数学では授業に同席し、学生の理解状況に合わせて指導した。またリメディアル国語は提出されたレポートにコメントし返却した。
FD フォーラム報告会報告	2024 年 3 月	2024 年度 FD フォーラム報告会において、第 1 分科会「身構えないで学べる授業環境の構築を目指して」について報告を行った。

Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
なし		
2　特許		
なし		
3　その他職務上の実績に関する事項		
なし		

Ⅲ　研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					
なし					
論文					
新型コロナウイルス感染症の流行以前における携帯型速乾性手指消毒薬の使用に対する感想の分析　リハビリテーション専門病院に勤務する医療職者を対象として	共著（筆頭）	2023 年 3 月	茨城県立医療大学紀要 28 巻	北島元治, 関政彦, 小瀧圭司, 藤岡寛, 桜井直美	p99-107
COVID-19 禍の基礎看護学実習 III における臨地・学内併用実習の実践報告	共著	2023 年 3 月	常磐看護学研究雑誌 5 巻	細矢智子,山口幸恵, 北島元治, 萩野谷浩美	p 23-34
新設看護学部入学生の看護職志望動機と学習意欲の関連	共著	2021 年 3 月	常磐看護学研究雑誌 3 巻	細矢智子,北島元治, 山口幸恵, 河津芳子	p 35-44
看護系大学を志望した動機に関する文献検討　看護系大学学生を対象とした研究の分析	共著	2021 年 3 月	常磐看護学研究雑誌 3 巻	山口幸恵,細矢智子, 北島元治, 河津芳子	p 25-33
看護専門学校 3 年課程看護教員の教育力の特徴および"看護学教員ロールモデル行動"と"看護教員職務満足度"の関連	共著	2021 年 3 月	茨城県立医療大学紀要 26 巻	高村祐子,柳久子, 橋爪祐美, 鶴見三代子, 北島元治, 亀山純子, 川野道宏	p 13-24
3 年課程の看護専門学校の新人教員におけるロールモデル行動自己評価の変容　研修プログラムの有効性に関する検討	共著	2020 年 6 月	リハビリテーション連携科学 21 巻 1 号	高村祐子, 柳久子, 川野道宏, 北島元治	p 70-80
報告					
なし					
学会発表					
リハビリテーション専門病院における手指消毒の実施状況　縦断調査の報告	共同（筆頭）	2023 年 6 月	日本環境感染学会総会プログラム 38 回（横浜）	北島元治, 小瀧圭司, 関政彦, 藤岡寛, 桜井直美	ポスター発表

リハビリテーション専門病院における携帯式消毒薬導入後の手指衛生 5 つのタイミングの変化継続調査の報告	共同（筆頭）	2022 年 6 月	日本環境感染学会総会プログラム 37 回（横浜）	北島元治, 関政彦, 小瀧圭司, 藤岡寛, 桜井直美	ポスター発表
新設看護学部に入学した学生の看護職志望動機と学習意欲の関連	共同（筆頭）	2020 年 9 月	日本看護医療学会学術集会 22 回（オンライン）	北島元治, 細矢智子, 山口幸恵, 河津芳子	一般演題

Ⅳ　学会等および社会における主な活動
1　現在の所属学会
日本看護研究学会，日本看護技術学会，日本看護科学学会，日本看護学教育学会，医療の質・安全学会，日本環境感染学会，日本ヒューマンケア・ネットワーク学会，日本看護医療学会，日本看護協会，茨城県看護協会
2　2020～2024 年度の学会での主な活動
なし
3　2020～2024 年度の社会での主な活動
なし

所属　医療保健学部 学科　看護学科	職名　助教	氏名　綴綴　祐子	学　位	修士（看護学）
			国家資格	看護師、助産師

Ⅰ　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
キャリアデザイン入門	2021 年	ポートフォリオの作成に関わった。講義や演習ではグループディスカッションやカンファレンスの基本について教授した。
成人看護学援助論Ⅰ	2021 年	成人看護学援助論Ⅰの授業において、「内分泌機能障害のある患者の看護」「全身防御機能障害のある患者の看護」を担当し、講義を行った。演習では、慢性期の患者の看護および看護過程の展開について教授した。
成人看護学援助論Ⅱ	2021 年	成人看護学援助論Ⅱでは、「生殖機能障害のある患者の看護」「排尿機能障害のある患者の看護」を担当し、講義を行った。演習では、周手術期の患者の看護および看護過程の展開について教授した。
母性看護学援助論	2021 年～現在	主に周産期に焦点をあて、妊娠・出産・産褥期・新生児期における看護について学ばせている。授業内容としては、講義・演習を組み合わせ、看護過程の展開等を行い、実践および学習方法について教授した。また、母乳に対す援助については、臨床指導者と協働して講義演習を行い、実際に臨床実習に活用できるように工夫をして授業を行っている。
看護学セミナー	2021 年～現在	看護学セミナーにおいて最終試験に向けた講義を行った。講義では、看護師国家試験対策ができるような工夫を行った。
チーム医療論	2022～2024 年	医療技術学科においてチーム医療における看護師の役割や、医療工学士との連携について講義を行った。

2　作成した教材（150 字程度まで）		
成人看護学援助論 I （看護学科 2 年生）の講義用 PowerPoint	2021 年	看護学科 2 年生を対象に「内分泌機能障害のある患者の看護」「全身防御機能障害のある患者の看護」の講義を行った際、PowerPoint スライド（計 2 点、計 67 枚）を作成し、使用した。講義の後にスライドを見直し修正をした。
成人看護学援助論 I （看護学科 3 年生）の講義用 PowerPoint	2021 年	看護学科 3 年生を対象に「生殖機能障害のある患者の看護」「排尿機能障害のある患者の看護」の講義を行った際、PowerPoint（2 点、計 89 枚）を作成し、使用した。講義の後にスライドを見直し修正をした。
母性看護学援助論（看護学科 3 年生）の講義用 PowerPoint	2021 年～現在	看護学科 3 年生を対象に母性看護学援助論の講義を行った際 PowerPoint（毎年 8 コマ　40 枚程度の資料　5 年間分）を作成し、使用した。講義の後にスライドを見直し修正をした。
母性看護学援助論（看護学科 3 年生）の講義用配布資料	2021 年～現在	看護学科 3 年生を対象に母性看護学援助論の講義を行った際毎回授業内容をまとめたプリント（毎年 8 コマ×5 枚程度の資料　5 年間分）を作成し、使用した。講義の後にスライドを見直し修正をした。
母性看護学援助論（看護学科 3 年生）演習事前課題	2021 年～現在	看護学科 3 年生を対象に母性看護学援助論での演習事前学習を作成し、使用した。演習の後にスライドを見直し修正をした。
母性看護学実習（看護学科 4 年生）実習資料	2022 年～現在	看護学科 4 年生対象の母性看護学実習の実習要項および資料について冊子およびプリントでまとめ配布資料として作成した。実習後にはプリントを見直し、変更、修正を行った。
母性看護学実習（看護学 43 年生）実習事前課題	2021 年～現在	看護学科 4 年生を対象に母性看護学実習事前学習を作成し､使用した。演習の後にスライドを見直し修正をした。
看護学セミナー（看護学科 4 年生）講義用 PowerPoint	2021 年～現在	看護学科 4 年生を対象に看護学セミナーの講義を行った際 PowerPoint（毎年 40 枚程度の資料×4 年間分）を作成し、使用した。講義の後にスライドを見直し修正をした。
看護学セミナー（看護学科 4 年生）講義用配布資料	2022 年～現在	看護学科 4 年生を対象に看護学セミナーの講義を行った際毎回授業内容をまとめたプリント（5 枚程度の資料×4 年間分）を作成し、使用した。講義の後にスライドを見直し修正をした。
チーム医療論（看護学科 4 年生）講義用 PowerPoint	2022 年～2024 年	医療技術学科 4 年生を対象に母性看護学援助論の講義を行った際 PowerPoint（毎年 30 枚程度の資料×3 年間分）を作成し、使用した。講義の後にスライドを見直し修正をした。
チーム医療論（看護学科 4 年生）講義用配布資料	2022 年～2024 年	医療技術学科 4 年生を対象に母性看護学援助論の講義を行った際 PowerPoint（毎年 30 枚程度の資料×3 年間分）を作成し、使用した。

		講義の後にスライドを見直し修正をした。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
4　その他教育活動上特記すべき事項		
看護学科における病院実習指導 成人看護学実習Ⅰ・Ⅱ	2021 年	新型コロナウイルス感染症において、臨床実習が半日実習となり、看護援助や看護過程の展開など学生が座学での知識を活かした実習ができるように配慮した。実習の最終日には、ワールドカフェやケーススタディの発表を行うなど、学生間で学びが共有できるように配慮した。
看護学科における病院実習指導 基礎看護学実習Ⅰ	2023 年～現在	バイタルサインの測定や清拭など、学内で学んだ知識や技術を活かし、臨床実習において実践できるように配慮した。また、患者と学生がコミュニケーションを円滑に図ることができるように配慮した。
看護学科における病院実習指導 基礎看護学実習Ⅱ	2021 年～2022 年	患者を受け持ち、看護過程の展開をしながら看護を展開できるように指導を行った。学生が、スタッフおよび患者・家族と円滑なコミュニケーションを図り関係を気付くことができるように配慮した。
看護学科における病院実習指導 母性看護学実習	2021 年～現在	母性看護学援助論で学んだ知識をもとに、周産期病棟において母児１組を受け持ち、実際に看護過程の展開や必要な援助について教授している。
看護学科における病院実習指導 総合実習	2021 年～現在	４年生が多重課題や２人同時に受け持ちメンバー業務、看護管理について見学や実施を通して学習できるように支援した。実習目標が達成できるように支援を行った。
看護学科における病院実習 老年看護学実習Ⅱ	2023 年	看護学科 3 年生が行っている老年看護学実習にて、受け持ち患者を持ち看護過程の展開や必要な援助について教授している。
看護学科における病院実習 老年看護学実習Ⅰ	2021 年	看護学科 2 年生が行ってる老年看護学実習にて、オンラインでの実習を行い、老健施設と大学を Googlemeet でつないだ際の補助を行った。
看護学科における卒業研究指導	2022 年～現在	看護学科 4 年生の卒業研究において毎年 2 名の学生に対して指導を行

		った。

Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
科学研究費助成・基盤 C	2021 年～2024 年	「農村地域における認知症高齢女性に対する農福連携プログラムに関する研究」【代表】大槻優子【分担者】纐纈祐子
2　特許		
3　その他職務上の実績に関する事項		

Ⅲ　研究活動					
著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					
なし					
論文					
産後 2 週間健診の実態についての文献レビュー	共著	2025 年 3 月	つくば国際大学研究紀要医療保健学研究第 16 号	井上刷子 纐纈祐子 大槻優子	35-46
在宅看護学実習におけるオンラインによる Live 実習の試みー訪問看護についての学びの分析ー	共著	2023 年 3 月	日本医学看護学教育学会	福田久子 峯百合子 纐纈祐子 大槻優子	57-64
オンライン授業を受けた看護系大学 1 年生の現状と課題から見た教育的配慮に関する一考察	共著	2023 年 3 月	日本医学看護学教育学会	纐纈祐子 中島美香 大槻優子	49-56
報告					

学会発表					
コロナ禍における老年看護学実習の学び ーオンラインによる介護老人保健施設から概要説明を組み入れてー	共同（筆頭）	2025年3月	第35回日本医学看護学教育学会学術学会　（岡山県）	纐纈祐子 峯小百合 松村早緒利 大槻優子	一般演題
母性看護学実習における産後2週間健康診査の見学実習の学び	共同	2025年3月	第35回日本医学看護学教育学会学術学会　（岡山県）	大槻優子 井上刷子 纐纈祐子	一般演題
認知症高齢者に対する農福連携プログラムに関する研究 第3報-介護支援員のインタビューから-	共同（筆頭）	2024年10月	第73回日本農村医学会学術総会　（新潟県）	纐纈祐子 大槻優子	一般演題
認知症高齢者に対する農福連携プログラムに関する研究 第4報-介護支援員の介護負担感・AHTASの分析から-	共同	2024年10月	第73回日本農村医学会学術総会　（新潟県）	大槻優子 纐纈祐子	一般演題
コロナ禍における臨地実習の学びと課題～第1報看護系大学実習における文献検討～	共同（筆頭）	2024年3月	第34回日本医学看護学教育学会学術学会　（和歌山県）	纐纈祐子 大槻優子	一般演題
コロナ禍における臨地実習の学びと課題～第2報母性看護学実習・小児看護学実習における文献検討～	共同	2024年3月	第34回日本医学看護学教育学会学術学会　（和歌山県）	大槻優子 纐纈祐子	一般演題
認知症高齢者に対する農福連携	共同（筆頭）	2023年10月	第72回日本農村医学会学術	纐纈祐子	一般演題

プログラムに関する研究　第1報－農繁期・農閑期における下肢筋力の変化－			総会　（秋田県）	大槻優子	
認知症高齢者に対する農福連携プログラムに関する研究　第2報－生きがいの分析－	共同	2023年10月	第72回日本農村医学会学術総会　口頭発表（秋田県）	大槻優子 纐纈祐子	一般演題
ICT活用による臨地実習指導者と大学員による連携・協働のオンライン実習構築に関する研究～臨地実習指導者のインタビューから～	共同（筆頭）	2023年7月	第24回医療情報学会看護学術学会看護学術学会看護学術学会　（神戸市）	纐纈祐子 大槻優子	一般演題
農村地域の認知症高齢者に対する農福連携プログラムに関する研究 ―農繁期における下肢筋力測定結果の一考察―	共同	2023年2月	第34回岩手公衆衛生学 口頭発表　（岩手県）	大槻優子 縄井清志 纐纈祐子	一般演題
ロールプレイングによる妊産婦に対する健康教育の学びと課題－オンラインによる臨地実習指導者の評価から－	共同（筆頭）	2023年2月	第34回岩手公衆衛生学会 口頭発表　（岩手県）	纐纈祐子 大槻優子	一般演題
看護教育におけるオンライン授業のあり方に関する研究	共同（筆頭）	2022年3月	第32回日本医学看護学教育学会学術学会口頭発表　（オンライン）	纐纈祐子 中島美香 大槻優子	一般演題
在宅看護論実習におけるオンラインによるLive実習の試み	共同	2022年3月	第32回日本医学看護学教育学会学術学会口頭発表　（オンライ	福田久子 峯小百合	一般演題

その 1～実習後のレポート分析による訪問看護についての学び～			ン）	纐纈祐子 大槻優子	
在宅看護論実習におけるオンラインによる Live 実習の試み その 2～実習後のレポート分析による訪問看護についての学び～	共同	2022 年 3 月	第 32 回日本医学看護学教育学会学術学会口頭発表（オンライン）	峯小百合 福田久子 纐纈祐子 大槻優子	一般演題

Ⅳ　学会等および社会における主な活動
1　現在の所属学会
日本看護学会会員 日本医学看護学教育学会会員 日本農村学会会員 母性衛生学会会員 日本看護科学学会会員
2　2020～2024 年度の学会での主な活動
3　2020～2024 年度の社会での主な活動

所属　医療保健学部 学科　看護学科	職名　助教	氏名　小林まり	学　位	修士（社会デザイン学）
			国家資格	看護師

Ⅰ　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
キャリアデザイン入門	2022 年～2024 年	看護学科 1 年次生を対象に自己のキャリアデザインを描き、基礎的学習方法を学びつつ、学生個々が目標に向かえるようにサポートした。
老年看護学概論	2022 年	看護学科 2 年次生を対象に老年期における特徴や社会制度を学べるよう、動画・資料・地域の情報を取り入れて、理解し易いようにした。
老年看護学援助論	2022 年～2023 年	看護学科 3 年次生を対象に老年看護学概論を基盤にし、看護援助方法を学び、看護実践がイメージ化できるようにした。2022 年は各課題に対してレポートを加点とし、2023 年は各課題のレポート内容と期末試験および再試験により評価した。
看護学セミナー	2023 年	看護学科 4 年次生を対象に国家試験や卒業に向けて基礎知識が身につけられるよう、老年期における主な疾病や症候群と看護、および社会制度等をまとめ、動画・資料・地域の情報を取り入れて、理解し易いようにした。期末試験および再試験により評価した。
基礎看護論	2023 年 7 月	臨床検査学科・診療放射線学科 3 年次対象に老年看護学の視点から老年期の特徴や課題および看護、高齢者を看護する者としてのあり方について講義を行った。
2　作成した教材（150 字程度まで）		
老年看護学援助論（看護学科対象）の講義用 PowerPoint スライド講義用 PowerPoint スライド、試験問題	2022 年～2023 年	看護学科 3 年次対象の老年看護学援助論の講義を行った際、2022 年には PowerPoint スライド（計 7 点、計 31 枚）と動画 1 点を作成、2023 年には PowerPoint スライド(計 30 点、計 262 枚)、プリント（A4 計 37 枚）（A3 計 5 枚）を作成し、動画板書や演習計画書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
老年看護学実習 I（看護学科対象）の実習用要項、記録用紙、資料	2022 年～2024 年	看護学科 2 年生対象の老年看護学実習 I の実習を行った際、実習要項、記録用紙、実習資料、オリエンテーション用資料等、2022 年プリント（A4 計 8 枚）、2023～2024 年（A4 計 106 枚）を配布資料として、PowerPoint スライド（計 3 枚動画入り）をオリエンテーションとして作成した。実習後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を

		行った。
老年看護学実習Ⅱ（看護学科対象）の実習用要項、記録用紙、資料	2022 年～2023 年	看護学科３年生対象の老年看護学実習Ⅰの実習を行った際､実習要項、記録用紙、実習資料、オリエンテーション用資料等、プリント(A3 計 6 枚、A4 計 105 枚)を配布資料として、PowerPoint スライド（計 21 枚）作成した。実習後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
看護学セミナー（看護学科対象）の講義用 PowerPoint スライド、試験問題	2023 年	看護学科４年次対象の看護学セミナーの講義を行った際､PowerPoint スライド(計１点、計 126 枚)を作成し板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
基礎看護論	2023 年	臨床検査学科・診療放射線学科３年次対象の基礎看護論の講義を行った際、PowerPoint スライド(計１点、計 35 枚)を作成し、板書や演習計画書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
なし		
4　その他教育活動上特記すべき事項		
看護学科における卒業研究指導	2022 年～2023 年 2024 年～2025 年 （補助）	看護学科４年次対象の卒業研究において毎年 2～３名名程度の学生に対して指導を行った。または補助として指導を行なった。
老年看護学実習Ⅰにおける病院実習指導	2022 年～2024 年	看護学科２年次対象の老年看護学実習Ⅰにおいて毎年 16～24 名名程度の学生に対して指導を行った。
老年看護学実習Ⅱにおける病院実習指導	2022 年～2023 年	看護学科３年次対象の老年看護学実習Ⅱにおいて毎年 12～18 名程度の学生に対して指導を行った。
在宅看護論実習における病院実習指導	2022 年	看護学科４年次対象の在宅看護論実習において 20 名名程度の学生に対して指導を行った。
基礎看護学実習Ⅰにおける病院実習指導	2023 年	看護学科１年次対象の基礎看護学実習Ⅰにおいて 14 名の学生に対して指導を行った。
総合実習における病院実習指導	2022 年～2024 年	看護学科４年次対象の総合実習において 12～14 名程度の学生に対して指導を行った。
コミュニティヘルス実習における病院実習指導	2022 年～2023 年	看護学科２年次対象のコミュニティヘルス実習において 12～14 名程度の学生に対して指導を行った。
小児看護学実習における病院実習指導	2024 年	看護学科３年次対象の小児看護学実習において 35 名程度の学生に対して指導を行った。

Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
なし		
2　特許		
なし		
3　その他職務上の実績に関する事項		
なし		

Ⅲ　研究活動					
著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					
なし					
論文					
なし					
報告					
なし					
学会発表					
なし					

Ⅳ　学会等および社会における主な活動
1　現在の所属学会
国際ジェンダー学会 日本フォレンジック学会 日本子ども学会 NARD アロマセラピー協会
2　2020～2024 年度の学会での主な活動
なし

3　2020～2024 年度の社会での主な活動
石岡市女性相談員（2023 年 4 月～現在） NPO 法人ウィメンズネット「らいず」地域ネットワーク部会役員（2022 年 6 月～現在） NPO Baby ぽけっと（小児担当医療相談・性暴力対応）母子サポーター看護師（2022 年 4 月～現在）

所属　医療保健学部 学科　看護学科	職名　助教	氏名　中島　美香	学　位	修士（心身健康科学）
			国家資格	看護師

Ⅰ　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
キャリアデザイン入門 [グループ担当（演習指導），ディスカッションスキル授業担当]	2020 年 4 月 ～2023 年 9 月	看護学科 1 年生を対象とし，看護職としてのキャリアデザインを思い描き，看護のプロフェションとして育つための知識の獲得方法を身につけ，継続的に自己研鑽していく動機づけとなることを目的とし，看護学科 1 年生を対象としたグループ演習指導を行った．また、2021 年度からは、ディスカッションスキルの授業を担当し、ディスカッションの目的から実践までの基礎的知識・技術の指導、それらを踏まえた自己課題の明確化に向けて授業構築を行った。さらに、オンラインでの課題においては PC スキルに関する指導・アドバイスも合わせて実施し、大学生活に支障がないよう配慮した。
成人看護学援助論Ⅰ	2021 年 4 月 ～現在	看護学科 2 年生を対象とし，人体の構造・機能や病態生理など，既習した内容を想起しながら看護実践方法の理解につながるような授業構築をした。また，視聴覚教材の活用，臨床現場での体験談の講和などを取り入れ，学生がイメージしやすい授業設定を行うとともに，発問を取り入れた参加型の授業を行った。リアクションペーパーを使用し，効果的な授業構築に向けたフィードバックを行った。
成人看護学援助論Ⅱ[一部講義，グループ担当(演習指導)]	2020 年 4 月 ～現在	看護学科 3 年生を対象とし，経過別看護の視点より各機能障害にある患者の基本的看護について学びを深められるよう指導を行った。
成人看護学実習Ⅰ・Ⅱ	2020 年 9 月 ～2024 年 11 月	看護学科 3 年生を対象に，成人期の発達段階・発達課題をふまえ，健康障害レベルやニーズに応じた看護過程の展開をすることを通し，看護実践能力が取得されることを目的とした実習指導を行った．臨地実習の現場では，病院実習調整者および病棟実習指導者と連携をとり，実習目標や学生の自己目標の達成，看護実践能力の向上を目指した指導を行った。また、コロナ禍における実習指導方法として、学生の感染予防に対する意識づけ、感染予防対策の実施方法を再指導し、科学的根拠に基づいた感染予防策を講じながら実習指導を行った。制約の多い実習環境下においても、看護実践能力が身につけられるように実

		習方法の考案、指導に努めた。
クリニカル看護実習Ⅰ・Ⅱ	2024 年 9 月 ～現在	看護学科 3 年生を対象に，成人期の発達段階・発達課題をふまえ，健康障害レベルやニーズに応じた看護過程の展開をすることを通し，看護実践能力が取得されることを目的とした実習指導を行った．臨地実習の現場では，病院実習調整者および病棟実習指導者と連携をとり，実習目標や学生の自己目標の達成，看護実践能力の向上を目指した指導を行った。看護実践能力が身につけられるように実習方法の考案、指導に努めた。
総合実習	2020 年 8 月 ～現在	看護学科 4 年生を対象とし，これまで既習した知識・技術・態度を統合した看護実践や，状況に応じた臨床判断ができるような指導を行った。また，看護チームの重要性を再認識し，継続看護や看護管理を通した看護者としての責任を養えるように実習指導を行った。コロナ禍において制約の多い実習環境下においても、看護管理や多重課題への実践方法をイメージし看護職業人としての実践能力が身につけられるような指導を心掛けた。 2023 年においては病院責任者として臨地実習施設での全体管理をおこない，実習が円滑かつ効果的に実施されるように調整を行った。
基礎看護学実習Ⅰ	2024 年 1 月 ～現在	看護学科 1 年生の担当学生を対象に,看護援助に必要な基本的な技術・態度を習得できるよう,対象に応じたコミュニケーション技法の実践,科学的根拠に基づいた看護援助方法の実践などについて学びを深められるように実習指導を行った.
基礎看護論	2022 年 9 月 ～現在	医療技術学科 4 年生を対象に，看護とは何かを通じた患者・家族との関わり，医療・看護等それぞれの専門職の役割や連携，特に，周手術期の看護について講義を行った。
2　作成した教材（150 字程度まで）		
キャリアデザイン入門[ディスカッションスキル]講義用 PowerPoint スライド兼配布資料	2020 年 4 月 ～2023 年 9 月	看護学科 1 年生を対象に講義を行った際、PowerPoint スライド(計 2 点、計 27 枚)を作成し、板書として使用した。演習課題（計 2 部，6 枚）を作成した。講義の後にはスライド・課題を見直し、変更や修正など、更新を行った。
成人看護学援助論Ⅰの講義用 PowerPoint スライド兼配布資料	2021 年 4 月 ～現在	看護学科 2 年生を対象に講義を行い、PowerPoint スライド(計 14 点、計 464 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
成人看護学援助論Ⅰの演習用課題	2021 年 4 月 ～現在	看護学科 2 年生を対象に演習を行い、演習課題（計 5 部，50 枚）を作成した。演習の後には課題を見直し、変更や修正など、更新を行った。

成人看護学援助論Ⅱの講義用 PowerPoint スライド兼配布資料，課題	2020 年 4 月 ～現在	看護学科 3 年生を対象に講義を行い、PowerPoint スライド(計 2 点、計 37 枚)を作成し、板書として使用した。また，課題（計 2 部，10 枚）を作成した。講義の後にはスライド・課題を見直し、変更や修正など、更新を行った。
成人看護学実習Ⅰ・Ⅱの実習用資料	2020 年 9 月 ～2024 年 11 月	看護学科 3 年生を対象の実習資料としてオリエンテーション資料，実習要項，課題，記録用紙の考案・作成を行った。実習終了後には内容を見直し，変更や修正など，更新を行った。
クリニカル看護実習Ⅰ・Ⅱの実習用資料	2024 年 9 月 ～現在	看護学科 3 年生を対象の実習資料としてオリエンテーション資料，実習要項，課題，記録用紙の考案・作成を行った。実習終了後には内容を見直し，変更や修正など，更新を行った。
総合実習の実習用資料	2023 年 4 月 ～9 月	看護学科 4 年生を対象の実習資料としてオリエンテーション資料，実習要項，課題，記録用紙の考案・作成を行った。実習終了後には内容を見直し，変更や修正など，更新を行った。
基礎看護論の講義用 PowerPoint スライド兼配布資料	2022 年 9 月 ～現在	医療技術学科 4 年生を対象に講義を行い、PowerPoint スライド(計 1 点、計 28 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
4　その他教育活動上特記すべき事項		
看護学科における卒業研究指導	2020 年 4 月 ～現在	看護学科 4 年次対象の卒業研究において毎年 2 名程度の学生に対して指導を行った。

Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
2　特許		
3　その他職務上の実績に関する事項		

Ⅲ　研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					

論文					
成人看護学実習におけるルーブリックの活用による自律的動機づけに関する考察	共著	2021 年 3 月	医療保健学研究,12	吉田和美、岡嶋妙子、小川愛里、中島美香、椎名千春、日向野香織	p1-19
報告					
学会発表					
看護教育におけるオンライン授業のあり方に関する研究	共同	2022 年 3 月	第 32 回　日本医学看護学教育学会学術学会,日本医学看護学教育学会誌,増刊号	纐纈祐子，中島美香，大槻優子	p40
新型コロナウイルス感染症拡大下の養育者のストレス	共同（筆頭）	2021 年 9 月	第 33 回 日本心身健康科学会学術集会，日本心身健康科学会,心身健康科学抄録,18(1)	中島美香，吉田浩子	p33

Ⅳ　学会等および社会における主な活動
1　現在の所属学会
日本集中治療医学会 日本心身健康科学会 日本医学看護学教育学会 日本看護学教育学会
2　2020～2024 年度の学会での主な活動
3　2020～2024 年度の社会での主な活動

所属　医療保健学部 学科　看護学科	職名　助教	氏名　塙　恵子	学　位	修士（人間学）
			国家資格	看護師

Ⅰ　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
小児看護学概論	2019 年～2023 年	・看護学科 2 年生を対象に全 15 コマの中 6 コマ授業を担当した。課題「小児の成長・発達表（乳児期・幼児期」を提示し小児期特有の成長発達について講義内容をまとめさせた。授業後は小テストを実施し理解度を確認した。正解率の低い科目については次の授業の前に振り返りを行った。できるだけ絵や写真・DVD など視聴覚資料を取り入れた授業を構成した。小テストは正解率の平均が 60%～70%となるように設定した。 ・コロナ禍では、オンデマンド授業を展開し授業の動画配信を行った。
小児看護学援助論	2019 年～現在	・看護学科 2 年生を対象に全 30 コマ中授業 10 コマ、演習 6～4 コマを担当した。小児特有の疾患について、疾患の理解、治療、看護の 3 つの視点から授業を構成した。疾患の理解では、人体の機能と構造、生理学を想起させるような内容とした。3 つの視点の中でも看護に重点を置くように心がけ授業をおこなった。また、看護師国家試験対策についても意識させるような小テストの内容とした。 ・小児看護学演習については、離乳食（前期・中期・後期）の実食による食感の違いについての体験や母性小児実習室での新生児の身体計測方法、経鼻胃管挿入方法、新生児のバイタルサイン測定方法、小児の救急蘇生法、点滴をしている幼児への清拭及び寝衣交換を実施した。

小児看護学実習	2019 年～現在	・2 単位（2 週間）/全 8～10 週の実習を担当した。5 施設の小児病棟実習、7 施設の保育園実習を担当した。患児とその家族とのコミュニケーション、日常生活の援助、処置の介助見学など実施した。また疾患、成長発達、社会的状況の 3 つの観点から看護問題を立案し、臨床での看護計画の展開、実施、評価を行った。
チーム医療論	2023 年～現在	・栄養学科 3 年生を対象に 15 コマ中 1 コマ授業を担当した。小児特有の疾患と看護の役割、栄養士との協同を中心に講義を行った。
2　作成した教材（150 字程度まで）		
小児看護学概論	2019 年～2023 年 2020 年～2021 年	・授業のパワーポイントスライド　小児看護学概論の講義を行った際に（1 コマ 30 枚、6 コマ合計 180 枚）のスライドを作成した。講義後はスライドの修正、変更を行った。 ・課題「乳児期、幼児期それぞれの成長発達表」の作成 ・担当分 6 コマの授業の動画作成をした。
小児看護学援助論	2019 年～現在 2020 年～2022 年	・授業のパワーポイントスライド　小児看護学援助論の講義を行った際に（1 コマ 30 枚、10 コマ合計 300 枚）のスライドを作成した。 ・疾患に関する解剖生理では、動画を作成した。 ・コロナ禍での 6 コマの演習の動画作成及び学生が自宅で演習風景の動画を作成し、提出できるように資料の作成をした。 ・担当分 10 コマの授業の動画作成をした。
小児看護学実習	2020 年～2021 年	・学内実習のため、保育園実習の 1 日の動画作成を作成した。 ・学内実習のプレパレーション作成のための手順を作成した。
チーム医療論	2022 年～現在	・事業のパワーポイントスライド　チーム医療論の講義の際のスライドを 1 コマ 32 枚作製した。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
グリーフケアに関する講演	2022 年 9 月	茨城県看護協会の依頼を受け、茨城県内の病院に勤務する看護師（30 名程度）を対象にグリーフケアに関する講演を行った。
グリーフケアに関する講演	2023 年 2 月	全国重症児者デイケアサービスネットワークの依頼を受け、ステップアップ勉強会の中で、全国重症児デイケアに関わる保育士及び看護師（50 名程度）にグリーフケアに関する講演を行った。
子どもを亡くした親へのグリーフケアに関する特別講演	2024 年 12 月	第 43 回茨城県母性健衛生学会の依頼を受け、茨城県内病院所属の助産師及び看護師（100 名程度）に子どもを亡くした親へのグリーフケアに関する特別講演を行った。

4　その他教育活動上特記すべき事項		
看護学科における卒業研究指導	2022 年～現在	・看護学科 4 年生を対象に毎年 2 名の学生に研修指導を行った。
小児看護学における病院実習指導	2019 年～2024 年 2024 年～現在	・看護学科 4 年生を対象に小児病棟臨床実習を毎年 40～50 名程度の学生を対象に指導を行った。 ・新カリキュラムへの変更に伴い、看護学科 3 年生を対象に小児病棟臨床実習を毎年 40 名程度指導した。
FD フォーラム報告会報告	2022 年 3 月	・FD フォーラム報告会にて第 10 分科会「学生支援の「場」を問い直す～コロナ禍での現状と課題」について報告を行った。

Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
2　特許		
3　その他職務上の実績に関する事項		

Ⅲ　研究活動					
著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					
論文					
子どもを亡くした親への死別悲嘆ケアがもたらす身体的・心理的プロセスの M-GTA を用いた質的分析	共著（筆頭）	2025 年 3 月	つくば国際大学医療保健学研究 16 号	塙恵子、長堀智香子	p11-24
ICU 看護師の患者死別体験が及ぼす心理的影響の考察	単著	2023 年 3 月	つくば国際大学医療保健学研究 14 号	塙恵子	p9-18
コロナ禍における看護学生の国家	共著	2021 年 3 月	つくば国際大学医療保健学研究	長堀智香子、福田久子、岡	p25-26

試験対策学習支援ニーズと課題			12 号	嶋妙子、塙恵子、渡部洋子	
学会発表					
子どもを亡くした親の会「Sana の会」活動報告	単著	2022 年 8 月	第 32 回　日本医学看護学教育学学術集会	塙恵子	一般演題
子どもを亡くした親へのグリーフケア	単著	2024 年 12 月	第 43 回　茨城県母性衛生学会学術集会	塙恵子	特別講演

Ⅳ　学会等および社会における主な活動
1　現在の所属学会
日本スピリチュアルケア学会　　日本家族看護学会　　日本医学看護学教育学会
2　2020～2024 年度の学会での主な活動
3　2020～2024 年度の社会での主な活動
子どもを亡くした親の会「Sana の会」主催　（2020 年 9 月～現在）

保健栄養学科

所属　医療保健学部 学科　保健栄養学科	職名　教授	氏名　池本　真二	学　位	博士（栄養学）
			国家資格	栄養士、管理栄養士

Ⅰ　教育活動（2024 年：本学における実績）

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
食品・栄養基礎セミナー（前期）	2024 年	保健栄養学科 1 年次生を対象に初年次の導入教育科目の位置づけで管理栄養士の社会的役割を学ぶことを目的に講義を行った。科目責任者として 15 コマすべての授業を担当した。講義では PowerPoint にまとめた資料を配布し、PowerPoint を用いて、我が国の社会環境の変遷と健康・食生活・栄養との関連性や、健康課題の歴史的変遷やそれに伴う管理栄養士の役割・使命等について解説した。また管理栄養士の働く領域の紹介については、保健・医療・福祉・学校などの職域の紹介ビデ等を活用し解説した。成績は、毎回の授業で、コーネル式 Notetake 方式でまとめた授業内容（課題レポート）と学期末レポートで総合評価した。
臨床栄養学Ⅰ（後期）	2024 年	保健栄養学科 2 年次生を対象に、傷病者に対する適切な栄養管理を行うために必要な基本的な知識とスキルを学ぶことを目的に講義を行った。科目責任者として 15 コマすべての授業を担当した。講義では国試のガイドライン出題基準に沿って指定テキストの内容をまとめた PowerPoint の資料を配布し、PowerPoint を用いて各項目の重要ポイントについて解説した。受講生との相談のうえ前任者作成のシラバスを変更し、「栄養ケア・マネジメント等」の臨床栄養学総論（指定テキストの内容）を解説した。成績は、定期的に実施した授業の振り返りテストと定期試験を総合的に評価した。
臨床栄養学Ⅱ（前期）	2024 年	保健栄養学科 3 年次生を対象に、疾患の特徴を理解し疾患別栄養ケア・マネジメント（栄養食事療法）の実際を学ぶことを目的に講義を行った。科目責任者として 15 コマすべての授業を担当した。講義では国試のガイドライン出題基準に沿って指定テキストの内容をまとめた PowerPoint の資料を配布し、PowerPoint を用いて各項目の重要ポイントについて解説した。前任者が担当した「臨床栄養学Ⅰ」において「栄養ケア・マネジメント等」の臨床栄養学総論部分を学んでいなかったため、学生と相談のうえ、そのダイジェスト版を追加解説した。

		成績は、定期的に実施した授業の振り返りテストと定期試験を総合的に評価した。
臨床栄養教育論（後期）	2024 年	保健栄養学科 3 年次生を対象に、疾患・病態別に治療効果を高める適切な栄養管理に関する専門的な知識とスキルを学ぶことを目的に講義を行った。科目責任者として 15 コマすべての授業を担当した。講義では国試出題ガイドラインに沿った「疾患別の栄養ケアの実際」の内容をまとめた PowerPoint の資料を配布し、PowerPoint を用いて各項目の重要ポイントについて解説した。前任者が担当した「臨床栄養学Ⅰ＆Ⅱ」において学んでいない疾患（出題ガイドラインの大項目である癌や神経障害、身体・知的障害、乳幼児・小児）の「栄養ケアの実際」を追加解説した。成績は、定期的に実施した授業の振り返りテストと定期試験を総合的に評価した。
基礎栄養学実習（前期）	2024 年	保健栄養学科 2 年次生を対象に、調理学や調理学実習で学んだ献立・調理の知識を基礎として、管理栄養士に必要な給食管理スキル、献立作成スキル、栄養価計算スキルの向上を目的に実習を行った。3 人の教員によるオムニバス形式で取りまとめ役として分担担当し、5 コマの授業を担当した。担当内容は、主に後半の「栄養価計算スキルの向上」を目指し食品成分表の活用方法や加重平均の考え方、調味パーセント（外割り計算）などを実体験させた。成績は、毎回の課題内容の評価を 3 人でそれぞれ行った結果と定期試験（3 人の担当分野から出題）を総合的に評価した。
保健栄養学特講Ⅱ（前期）	2024 年	保健栄養学科 4 年次を対象に、総合演習科目として保健栄養学特講Ⅱ（臨床栄養学、給食経営管理論、公衆栄養学の 3 分野）の臨床栄養学分野の授業を担当した。分担担当者として臨床栄養学に関する総合演習（診療報酬、介護報酬の改定に伴う対応や低栄養の診断基準として導入された GLIM などの最新情報の他、症例検討など）に関する 5 コマの講義を行った。成績は、定期試験の成績（内訳　臨床栄養学 34%、給食経営管理論　33%、公衆栄養学　33%）で評価した。
健康・栄養特講（後期）	2024 年	保健栄養学科 4 年次を対象に、総合演習科目として、専門基礎分野および専門分野の科目の担当教員が話題を提供し演習などを交えることにより各科目の総括的理解を促す統括的授業を担当した。分担担当者として、臨床栄養学領域から専門職としての管理栄養士に必要な広範な知識を活用した総合演習（国試症例提示型問題/応用力試験問題を利用）を 2 コマ行った。成績は、定期試験の成績で評価した。
応用栄養学Ⅱ（後期：オムニバス）	2024 年	保健栄養学科 2 年次生を対象に、思春期、成人期、更年期および高

		齢期の身体状況や栄養状態に応じた栄養管理(栄養ケア・マネジメント)の考え方を学ぶことを目的に講義を行った。3 人の教員によるオムニバス形式で取りまとめ役として分担担当し、5 コマの授業を担当した。担当内容は、高齢期の栄養ケア・マネジメントに必要な基本的知識（高齢期の身体的特徴、加齢に伴う変化、サルコペニアの病態、フレイル予防、脱水・褥瘡・摂食嚥下機能の低下）の内容を解説した。成績は、毎回の課題内容の評価を 3 人でそれぞれ行った結果と定期試験（3 人の担当分野から出題）を総合的に評価した。
応用栄養学実習Ⅱ（後期：オムニバス）	2024 年	保健栄養学科 3 年次生を対象に、応用栄養学Ⅱで学んだ思春期､成人期、閉経期および高齢期のライフステージに応じた適切な栄養管理のあり方についてのスキルを修得することを目的に実習を行った。3 人の教員によるオムニバス形式で取りまとめ役として分担担当し、5 コマの授業を担当した。担当内容は､「身体計測、臨床検査の評価、食事調査に関する評価（食事摂取基準による評価、食品構成による評価、食事バランスガイドによる評価)､総合評価に基づく栄養ケアプログラムの立案」などとした。成績は、担当分野ごとに毎回の振り返りテストの評価と定期試験の評価を総合的に評価し、3 人の評価をまとめ調整し最終評価とした。
栄養学（看護学科 1 年）	2024 年	看護学科 1 年次生を対象に、看護における栄養の基礎知識、各疾患における栄養食事療法および臨床における栄養ケアの実際について理解を深めることを目的に講義を行った。科目責任者として 15 コマすべての授業を担当した。講義では指定テキストの内容をまとめた PowerPoint の資料を配布し、PowerPoint を用いて各項目の重要ポイントについて解説した。2024 年は、前任者の指定テキストに基づき作成されたシラバスに沿って臨床場面での栄養ケア、栄養ケア・マネジメントの実態が理解できるように配慮して内容を解説した。成績は、定期的に実施した授業の振り返りテストと定期試験を総合的に評価した。
2　作成した教材（150 字程度まで）		
食品・栄養基礎セミナー（前期）の講義用 PowerPoint スライド並びにビデオ教材	2024 年	保健栄養学科 1 年次対象の食品・栄養基礎セミナーの講義を行った際、PowerPoint スライド(計 8 点、計 366 枚)、ビデオ教材（4 点）を作成し、配布資料並びに説明資料として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
臨床栄養学Ⅰ（後期）の講義用 PowerPoint スライド	2024 年	保健栄養学科 2 年次対象の臨床栄養学Ⅰの講義を行った際、PowerPoint スライド(計 14 点、計 515 枚)を作成し、配布資料並びに

		説明資料として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
臨床栄養学Ⅱ（前期）の講義用 PowerPoint スライド	2024 年	保健栄養学科 3 年次対象の臨床栄養学Ⅱの講義を行った際、PowerPoint スライド(計 15 点、計 649 枚)を作成し、配布資料並びに説明資料として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
臨床栄養教育論（後期）の講義用 PowerPoint スライド	2024 年	保健栄養学科 3 年次対象の臨床栄養教育論の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 15 点、計 635 枚)を作成し、配布資料並びに説明資料として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
基礎栄養学実習（前期）の講義用 PowerPoint スライド	2024 年	保健栄養学科 2 年次対象の基礎栄養学実習の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 6 点、計 224 枚)を作成し、配布資料並びに説明資料として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
基礎栄養学実習（前期）の実習課題シート	2024 年	保健栄養学科 2 年次対象の基礎栄養学実習において、毎回の実習課題と関係資料をまとめたプリント(A4, 計 9 頁)を配布資料として作成した（実習手順等の説明は、上記講義用 PowerPoint スライド）。実習の後にはプリントの見直しをし、変更、修正を行った。
保健栄養学特講Ⅱ（前期）の講義用 PowerPoint スライド	2024 年	保健栄養学科 4 年次対象の保健栄養学特講Ⅱの講義を行った際、PowerPoint スライド(計 4 点、計 359 枚)を作成し、配布資料並びに説明資料として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
健康・栄養特講（後期）の講義用 PowerPoint スライド	2024 年	保健栄養学科 4 年次対象の健康・栄養特講の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 2 点、計 75 枚)を作成し、配布資料並びに説明資料として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
応用栄養学Ⅱ（後期：オムニバス）の講義用 PowerPoint スライド	2024 年	保健栄養学科 2 年次対象の応用栄養学Ⅱの講義を行った際、PowerPoint スライド(計 5 点、計 150 枚)を作成し、配布資料並びに説明資料として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
応用栄養学実習Ⅱ（後期：オムニバス）の講義用 PowerPoint スライド	2024 年	保健栄養学科 2 年次対象の基礎栄養学実習の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 1 点、計 18 枚)を作成し、配布資料並びに説明資料として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
応用栄養学実習Ⅱ（後期：オムニバス）の実習課題シート並びに解答・	2024 年	保健栄養学科 2 年次対象の基礎栄養学実習において、毎回の実習課

解説シート		題と関係資料をまとめたプリント(A4, 計 17 頁)とその課題の解答例/解説プリント（A4, 計 17 頁）を配布資料として作成した。実習の後にはプリントの見直しをし、変更、修正を行った。
栄養学（看護学科 1 年）の講義用 PowerPoint スライド	2024 年	看護学科 1 年次対象の栄養学の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 12 点、計 538 枚)を作成し、配布資料並びに説明資料として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
なし		
4　その他教育活動上特記すべき事項		
初年次教育補習	2024 年	保健栄養学科独自の全教員による初年次・補習教育（全 8 回）において数学（1 回分）を担当した。2024 年には、全学のリメディアル（数学）において成績不良となった学生 1 名に対し、個別指導（全 5 回）を行った。
国試対策委員	2024 年	国試対策委員として、対策講座（夏期集中講座、直前対策講座）のプランニングや国家試験対策を中心に教員と学生の双方を支援する ICT ツールである ESS（Education Support System）を用いた演習問題の配信、直前（12 月 9 日以降）の毎日課題の配信などを行い、国試合格を支援した。
国試アドバイザー	2024 年	2024 年には、学生 2 名を担当し週 1 回の面談/学習指導を年間を通して実施した。模試結果の解説指導のほか、国試対策の進行状況の確認・指導の他、苦手科目の解説、演習問題の配布、学生からの質問・相談等に適宜対応した。
国試対策補習、国試直前講習	2024 年	夏期集中国試対策講座において、臨床栄養学（1 日）、社会・環境と健康（半日）を担当した。 直前学内自習学習においては、2 日半の当番を務めるとともに、本番直前の最終模試（2 月 12 日）として ESS オンライン模試の設定・試験監督並びに事後指導等を行った。

Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
科研費 基盤研究（C）	2022 年 4 月～ 2025 年 3 月	「ソーシャルメディアを用いた栄養教育媒体構築のための基礎的検討」助成総額：4,160,000 円　【代表】池本真二

科研費 基盤研究（C）	2019 年 4 月～ 2025 年 3 月	「糖尿病食事療法における適切な脂質摂取量および脂肪酸組成の解明」　【代表】深津章子（大妻女子大学）　【分担】池本真二
科研費 基盤研究（C）	2019 年 4 月～ 2025 年 3 月	「幼児期の子どもの食事に影響する要因の検討」助成総額：4,290,000 円　【代表】池本真二
2　特許		
3　その他職務上の実績に関する事項		
学術論文の査読（11 件）		栄養学雑誌（日本栄養改善学会）、日本循環器病予防学会誌、つくば国際大学紀要

Ⅲ　研究活動					
著書・論文等の名称	単著・共著等 の別	発行または発表の 年月（西暦）	発行所、発表雑誌 （及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					
日本人の食事摂取基準［2025 年版］の実践運用－特定給食施設等における栄養・栄養食事管理－	共著	2025 年 3 月	第一出版（東京）	【編者】食事摂取基準の実践・運用を考える会 【著者】井上浩一、加藤勇太、池本真二、松崎政三、影山光代、宮本佳代子	総頁数：193 頁 執筆担当：Ⅲ章-1　児童福祉施設（p79-86）；Ⅲ章-2　学校（p87-91）
日本人の食事摂取基準［2020 年版］の実践運用－特定給食施設等における栄養・栄養食事管理－	共著	2020 年 4 月 2022 年 3 月	第一出版（東京）	【編者】食事摂取基準の実践・運用を考える会 【著者】井上浩一、加藤勇太、池本真二、松崎政三、影山光代、比嘉並誠	総頁数：193 頁 執筆担当：Ⅲ章-1　児童福祉施設（p79-85）；Ⅲ章-2　学校（p86-89）
論文					
大学祭におけるインセンティブ型健康増進プログラム（健康マイレージ）参加者の年代別特徴	共著	2023 年 10 月	日本栄養士会雑誌，66(10)	森 直子、神田 由紀、青地 克頼、 川村 千波、 本 国子、 須永 美幸、 深津 章子、 池本真二、 佐々木 弘子、	p516-524.

				後藤 潔	
緩やかな低炭水化物(40%E)の夕食が、若年健常女性の糖・脂質代謝に与える影響	共著	2023 年 1 月	日本病態栄養学会誌，26(1)	深津章子、宮本佳代子、大久保研之、池本真二	p85-93.
低炭水化物食の会と実践～栄養指導のためのナラティブ・レビュー～	共著	2022 年 12 月	日本栄養士会雑誌，65(12)	深津章子、宮本佳代子、諸澤美里、大久保研之、池本真二	p25-33.
The Association between Milk Intake and Nutrient Intake Adequacy among Japanese Female Junior High School Students: A Cross-Sectional Study.	共著	2021 年 8 月	Nutrients, 13(8)	Mai Matsumoto, Yoichi Hatamoto, Azusa Sakamoto, Ayumi Masumoto, Chiaki Murayama, Shinji Ikemoto	p2838
Mothers' Nutrition Knowledge Is Unlikely to Be Related to Adolescents' Habitual Nutrient Intake Inadequacy in Japan: A Cross-Sectional Study of Japanese Junior High School Students.	共著	2020 年 9 月	Nutrients, 12(9)	Mai Matsumoto, Yoichi Hatamoto, Ayumi Masumoto, Azusa Sakamoto, Shinji Ikemoto	p2801
報告					
個人に最適化されたプレシジョン栄養学の実現に向けて －AI（人工知能）、IoT（Internet of Things）の活用	単著	2023 年 4 月	千葉県栄養士会雑誌 39	池本真二	p2-5
生涯教育を考える！（専門職種としての自覚と自己研鑽のすすめ)	単著	2020 年 12 月	千葉県栄養士会雑誌 32	池本真二	p2-5
学会発表					
日本人女子中学生における体格別の栄養素・食品群摂取量の検討	共著	2022 年 12 月	第 43 回日本肥満学会（那覇市）	松本麻衣、畑本陽一、池本真二	一般演題
日本人中学生における家庭での飲料の手に入れやすさと栄	共著	2022 年 9 月	第 69 回日本栄養改善学会学術総会（倉敷市）	松本麻衣、畑本陽一、上村知聡、池本真二	一般演題

養素及び食品群摂取量との関連					
幼児の食事や食行動に影響する要因に関する文献レビュー	共著	2021 年 10 月	第 68 回日本栄養改善学会学術総会（誌上発表）	村山知聡、松本麻衣、大木春奈、尾花陽梨、黒宮未稚、清水悠花、平良祥奈、寺島佑姫、安本栞理、池本真二	一般演題
中学生の食事や食行動に影響する要因に関する文献レビュー	共著	2021 年 7 月	第 75 回日本栄養・食糧学会大会（オンライン）	松本麻衣、村山知聡、池本真二	一般演題
幼児期の子どもをもつ母親の栄養知識と夕食調理頻度の関連	共著	2020 年 9 月	第 67 回日本栄養改善学会学術総会（誌上発表/Web）	松本麻衣、畑本陽一 、村山知聡、坂本梓、池本真二	一般演題
思春期の子供をもつ父親と母親の栄養知識レベルの関連	共著	2020 年 5 月	第 74 回日本栄養・食糧学会大会（誌上発表/Web）	村山知聡、松本麻衣、畑本陽一、増本歩美、池本真二	一般演題

Ⅳ　学会等および社会における主な活動
1　現在の所属学会
日本栄養・食量学会 日本栄養改善学会 日本肥満学会 日本病態栄養学会 日本栄養学教育学会 日本循環器病予防学会 日本栄養士会食事療法学会
2　2020～2024 年度の学会での主な活動
日本栄養・食糧学会評議員（2002 年～現在） 日本栄養改善学会評議員（1997 年～現在） 日本病態栄養学会評議員（1998 年～現在） 日本循環器病予防学会評議員（2002 年～現在）
3　2020～2024 年度の社会での主な活動
公益社団法人千葉県栄養士会理事(2020 年～現在)、学術部長(2020 年～現在)

日本フードスペシャリスト協会　資格認定試験科目別出題調整検討会委員（2019 年～現在）
公益社団法人日本栄養士会研究教育事業推進委員（2022 年～2023 年）
船橋市役所主催「第 18 回健康づくり公開講座」（2024 年 12 月 8 日/対象：市民）
千葉県栄養士会生涯教育研修会講義「慢性腎臓病（CKD）　生活・食事指導マニュアル～栄養指導実践編～の修得」（2024 年 10 月 26 日/対象：栄養士）
千葉県栄養士会定時総会における特別講演「食事摂取基準の改定（2025 年版）について」（2024 年 5 月 25 日/対象：栄養士）
千葉県栄養士会生涯教育研修会講義「専門職としての役割と倫理」（2023 年 6 月 17 日、2024 年 6 月 29 日/対象：栄養士）
千葉県栄養士会生涯教育研修会講義「統計学演習（初級編）」（2023 年 6 月 17 日/対象：栄養士）
千葉県特定健診・特定保健指導　初任者研修「食生活(アルコール含む)・身体活動に関する保健指導の実際」（2020 年 7 月 10 日、2021 年 7 月 1 日、2022 年 6 月 22 日、2023 年 7 月 5 日、2024 年 7 月 3 日/対象：千葉県内保健指導従事者）
千葉県栄養士会主催「健康づくり栄養講座/休養・睡眠領域」（2023 年 11 月 19 日/対象：市民並びに栄養士）
2023 年度食生活と植物油栄養に関する講習会（京都府栄養士会主催/日本植物油協会共催；10 月 29 日/対象：市民並びに栄養士）
2023 年度食生活と植物油栄養に関する講習会（北海道栄養士会十勝支部主催/日本植物油協会共催；10 月 14 日/対象：市民並びに栄養士）
2022 年度食生活と植物油栄養に関する講習会（山口県栄養士会主催/日本植物油協会共催；11 月 20 日/対象：市民並びに栄養士）
2022 年度食生活と植物油栄養に関する講習会（沖縄県栄養士会主催/日本植物油協会共催；9 月 17 日/対象：市民並びに栄養士）
千葉県栄養士会生涯教育研修会講義「食の専門職種に求められる「栄養の指導」について」（2022 年 6 月 25 日/対象：栄養士）
千葉県栄養士会主催「健康づくり栄養講座/食事・食生活領域」（2022 年 1 月 22 日/対象：市民並びに栄養士）
千葉県ヤクルト販売株式会社主催「健康研修会」講演（2021 年 9 月 14 日/対象：社員 300 名）

所属　医療保健学部 学科　保健栄養学科	職名　教　授	氏名　可知　謙治	学　位	博士（医学）
			国家資格	医師

Ⅰ　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
保健学概論	2013 年～現在	保健栄養学科 1 年次生を対象に公衆衛生学、社会福祉学、臨床医学など関連する専門科目への導入を目的として講義を行った。科目責任者として 15 コマ中 10 コマの授業を担当した。講義ではプリントを配布し、PowerPoint を用いて、個人における健康とはどのような状態か、健康を維持、増進するためにどのような保健活動が必要かなどについて解説した。成績は期末試験およびレポートにより評価した。
疾病の成り立ちⅠ・Ⅱ	2013 年～現在	保健栄養学科 2 年次生を対象に主要な疾病について理解を深める目的で講義を行った。科目責任者として各 15 コマ、合計 30 コマすべての授業を担当した。講義ではプリントを配布し、PowerPoint を用いて、人体の構造と機能で学んだ知識をもとに病態生理や病理学的事項を理解し、症状や治療の概略について解説した。成績は期末試験および再試験により評価した。
臨床医学Ⅰ・Ⅱ	2013 年～現在	保健栄養学科 3 年次生を対象に主要な疾病について理解を深める目的で講義を行った。科目責任者として各 15 コマ、合計 30 コマすべての授業を担当した。講義ではプリントを配布し、PowerPoint を用いて、人体の構造と機能で学んだ知識をもとに病態生理や病理学的事項を理解し、症状や治療の概略について解説した。成績は期末試験および再試験により評価した。
保健栄養学特講Ⅲ	2013 年～現在	保健栄養学科 4 年次生を対象に専門分野におけるトピックスや今日的問題提供を目的として講義を行った。科目分担者として 15 コマ中 3 コマの授業を担当した。講義ではプリントを配布し、PowerPoint を用いて、疾病の成り立ちや臨床医学に関する話題提供と演習を行った。成績は期末試験により評価した。
健康・栄養特講	2013 年～現在	保健栄養学科 4 年次生を対象に専門基礎分野および専門分野の科目について、各担当教員が総括的理解を促すことを目的として講義を行った。科目責任者として 15 コマ中 1 コマの授業を担当した。講義ではプリントを配布し、PowerPoint を用いて、疾病の成り立ちや臨床医

		学に関する話題提供と演習を行った。成績は期末試験により評価した。
チーム医療論	2013 年～現在	保健栄養学科 3 年次生を対象にチーム医療の必要性と意義、医療・保健の現場における多職種協働について理解を深めることを目的として講義を行った。科目責任者として 15 コマ中 3 コマの授業を担当した。講義ではプリントを配布し、PowerPoint を用いて、主な医療チーム、チーム医療における医師の役割について解説した。成績はレポートにより評価した。
生命倫理	2021 年～現在	保健栄養学科 1 年次生を対象に生命倫理の基本原則を修得し、高い倫理観の涵養を目的として講義を行った。科目分担者として 15 コマ中 4 コマの授業を担当した。講義ではプリントを配布し、PowerPoint を用いて、ヒトゲノム解析と医療への応用、胎児・小児、終末期をめぐる諸問題について解説した。成績は期末試験およびレポートにより評価した。
病態・治療論Ⅱ	2020 年～現在	看護学科 2 年次生を対象に各種疾患について病態、検査、診断、治療、術後管理などに関する基本的知識を修得する目的で講義を行った。科目分担者として 30 コマ中 2 コマの授業を担当した。講義ではプリントを配布し、PowerPoint を用いて、画像や内視鏡などの生体検査について解説した。成績は期末試験および再試験により評価した。
病理学総論	2021 年～現在	看護学科 1 年次生を対象に各種疾病について病因、発症、進展、転機を形態的変化と機能的変化の両面から理解を深める目的で講義を行った。科目責任者として 8 コマすべての授業を担当した。講義ではプリントを配布し、PowerPoint を用いて、各種疾患の発生機構と関連因子、基本的病態について解説した。成績は期末試験および再試験により評価した。
内部障害の特性と対応	2020 年～現在	理学療法学科 1 年次生を対象に理学療法に必要な内科的疾患に関する基本的知識を修得する目的で講義を行った。科目分担者として 15 コマ中 3 コマの授業を担当した。講義ではプリントを配布し、PowerPoint を用いて、呼吸器疾患の病因・病態、臨床症状、検査・診断、治療について解説した。成績は期末試験および再試験により評価した。
リハビリテーション医学	2021 年～現在	理学療法学科 2 年次生を対象にリハビリテーション医学に必要な疾患に関する基本的知識を修得する目的で講義を行った。科目分担者として 15 コマ中 1 コマの授業を担当した。講義ではプリントを配布し、PowerPoint を用いて、主に脳神経外科や整形外科領域の画像検査について解説した。成績は期末試験および再試験により評価した。

放射線医学概論	2014 年～現在	診療放射線学科 2 年次生を対象に放射線医学全般に関する基本知識を修得する目的で講義を行った。科目責任者として 15 コマすべての授業を担当した。講義ではプリントを配布し、PowerPoint を用いて、各種画像検査の目的や臨床的意義、放射線治療や IVR の概要ついて解説した。成績はレポートにより評価した。
放射線診断学	2014 年～現在	診療放射線学科 2 年次生を対象に主要な疾患の画像所見について理解を深める目的で講義を行った。科目責任者として 15 コマすべての授業を担当した。講義ではプリントを配布し、PowerPoint を用いて、臨床および病理学的事項にも触れながら、典型例を中心に画像所見について解説した。成績は期末試験および再試験により評価した。
2　作成した教材（150 字程度まで）		
保健学概論講義用 PowerPoint スライド	2013 年～現在	保健栄養学科 1 年次生を対象に講義を行った際、PowerPoint スライドを作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
保健学概論講義用配布資料	2013 年～現在	保健栄養学科 1 年次生を対象に講義を行った際、PowerPoint スライドをプリントし、配布資料とした。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
疾病の成り立ちⅠ・Ⅱ講義用 PowerPoint スライド	2013 年～現在	保健栄養学科 2 年次生を対象に講義を行った際、PowerPoint スライドを作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
疾病の成り立ちⅠ・Ⅱ講義用配布資料	2013 年～現在	保健栄養学科 2 年次生を対象に講義を行った際、PowerPoint スライドをプリントし、配布資料とした。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
臨床医学Ⅰ・Ⅱ講義用 PowerPoint スライド	2013 年～現在	保健栄養学科 3 年次生を対象に講義を行った際、PowerPoint スライドを作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
臨床医学Ⅰ・Ⅱ講義用配布資料	2013 年～現在	保健栄養学科 3 年次生を対象に講義を行った際、PowerPoint スライドをプリントし、配布資料とした。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
保健栄養学特講Ⅲ講義用 PowerPoint スライド	2013 年～現在	保健栄養学科 4 年次生を対象に講義を行った際、PowerPoint スライドを作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
保健栄養学特講Ⅲ講義用配布資料	2013 年～現在	保健栄養学科 4 年次生を対象に講義を行った際、PowerPoint スライドをプリントし、配布資料とした。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。

健康・栄養特講講義用 PowerPoint スライド	2013 年～現在	保健栄養学科 4 年次生を対象に講義を行った際、PowerPoint スライドを作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
健康・栄養特講講義用配布資料	2013 年～現在	保健栄養学科 4 年次生を対象に講義を行った際、PowerPoint スライドをプリントし、配布資料とした。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
チーム医療論講義用 PowerPoint スライド	2013 年～現在	保健栄養学科 3 年次生を対象に講義を行った際、PowerPoint スライドを作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
チーム医療論講義用配布資料	2013 年～現在	保健栄養学科 3 年次生を対象に講義を行った際、PowerPoint スライドをプリントし、配布資料とした。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
生命倫理講義用 PowerPoint スライド	2021 年～現在	保健栄養学科 1 年次生を対象に講義を行った際、PowerPoint スライドを作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
生命倫理講義用配布資料	2021 年～現在	保健栄養学科 1 年次生を対象に講義を行った際、PowerPoint スライドをプリントし、配布資料とした。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
病理学総論講義用 PowerPoint スライド	2021 年～現在	看護学科 1 年次生を対象に講義を行った際、PowerPoint スライドを作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
病理学総論講義用配布資料	2021 年～現在	看護学科 1 年次生を対象に講義を行った際、PowerPoint スライドをプリントし、配布資料とした。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
内部障害の特性と対応講義用 PowerPoint スライド	2020 年～現在	理学療法学科 1 年次生を対象に講義を行った際、PowerPoint スライドを作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
内部障害の特性と対応講義用配布資料	2020 年～現在	理学療法学科 1 年次生を対象に講義を行った際、PowerPoint スライドをプリントし、配布資料とした。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
リハビリテーション医学講義用 PowerPoint スライド	2021 年～現在	理学療法学科 2 年次生を対象に講義を行った際、PowerPoint スライドを作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
リハビリテーション医学講義用配布資料	2021 年～現在	理学療法学科 2 年次生を対象に講義を行った際、PowerPoint スライドをプリントし、配布資料とした。講義の後にはプリントを見直し、

		変更や修正など、更新を行った。
放射線医学概論講義用 PowerPoint スライド	2014 年～現在	診療放射線学科 2 年次生を対象に講義を行った際、PowerPoint スライドを作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
放射線医学概論講義用配布資料	2014 年～現在	診療放射線学科 2 年次生を対象に講義を行った際、PowerPoint スライドをプリントし、配布資料とした。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
放射線診断学講義用 PowerPoint スライド	2014 年～現在	診療放射線学科 2 年次生を対象に講義を行った際、PowerPoint スライドを作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
放射線診断学講義用配布資料	2014 年～現在	診療放射線学科 2 年次生を対象に講義を行った際、PowerPoint スライドをプリントし、配布資料とした。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
4　その他教育活動上特記すべき事項		

Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
2　特許		
3　その他職務上の実績に関する事項		

Ⅲ　研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					

論文					
報告					
学会発表					
市介護予防事業に参加する高齢者の意識に関する検討	共同	2023 年 12 月 1 日	第 88 回日本健康学会総会	林原好美、可知謙治、野口祥子	一般演題

Ⅳ　学会等および社会における主な活動
1　現在の所属学会
日本栄養改善学会 日本医学放射線学会 Radiological Society of North America American Roentgen Ray Society
2　2020～2024 年度の学会での主な活動
3　2020～2024 年度の社会での主な活動
健康つちうら 21 計画推進委員会委員長（2016 年度～現在） NPO 法人　個別化医療推進・教育センター監事（2010 年度～現在）

所属　医療保健学部 学科　保健栄養学科	職名	氏名　澤田和彦	学　位	博士(理学)
			国家資格	

Ⅰ　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
人体の構造と機能Ⅰ(保健栄養学科)	2014 年～現在	保健栄養学科 1 年次生を対象に人体の構造の理解を深める目的で、解剖学の全範囲(総論、組織学、筋骨格系、神経系、感覚器系、呼吸器系、循環器系、免疫系、消化器系、内分泌系、生殖器系、泌尿器系、発生学)の講義を行った。講義は、プリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて行った。成績は期末試験および再試験により評価した。
生化学Ⅱ(保健栄養学科)	2023 年～現在	保健栄養学科 2 年次生を対象に生体における代謝や細胞の機能、病理について理解を深める目的で講義を行った。範囲は生体を構成する物質、細胞、核酸、遺伝子発現、アミノ酸、タンパク質、生体防御、生理活性物質とした。講義はプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて行った。成績は小テスト(不定期で 8 回実施)、期末試験および再試験により評価した。
栄養生理学実験(保健栄養学科)	2015 年～現在	保健栄養学科 2 年次生を対象に人体の基本構造の理解を深める目的で実習を行った。実習では、骨格標本の観察、小動物の解剖(胸腹部内臓の観察、胸腹部内臓の重量計測)、血球塗末標本の観察と血球数の計測、組織観察、身体計測、体性感覚、心臓の構造の観察、心電図の計測、数値データの解析を行った。成績は毎回の課題に対するレポート、課題シートで評価した。
生化学実験Ⅱ	2023 年～現在	保健栄養学科 2 年次生を対象に化学・生化学実験の基礎的手技を身に着けると同時に、人体における代謝への理解を深める目的で実習を行った。嫌気呼吸による糖代謝について、キューネ管を用いた酵母のアルコール発酵実験で、アルコール発酵の基質特異性、温度依存性、代謝速度等の実験を行った。成績は実験内容に関するレポートで評価した。
保健栄養学特講Ⅲ	2014 年～現在	保健栄養学科 4 年次を対象に専門基礎科目の総括的科目として授業(オムニバス形式)を行った。10 コマ中 2 コマの授業を担当した。人体の構造と機能の範囲のうち、細胞組織学、内分泌系、消化器系、生殖

		器系、泌尿器系、呼吸器系、中枢神経系、末梢神経系に焦点を当て授業を行った。講義はプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて行った。成績は期末試験および再試験により評価した。
健康栄養特講	2014 年～現在	保健栄養学科 4 年次を対象に専門基礎科目の総括的科目として授業(オムニバス形式)を行った。15 コマ中 1 コマの授業を担当した。人体の構造と機能の範囲のうち、血液、免疫、循環器系に焦点を当て授業を行った。講義はプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて行った。成績は期末試験および再試験により評価した。
人体の構造(理学療法学科)	2007 年～現在	理学療法学科 1 年次を対象に骨格系、筋系を除いた解剖学の全範囲(総論、組織学、末梢神経系、中枢神経系、感覚器系、呼吸器系、循環器系、免疫系、消化器系、内分泌系、生殖器系、泌尿器系、発生学)の講義を行った。講義はプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて行った。成績は期末試験および再試験により評価した。
運動器系神経系解剖学(理学療法学科)	2007 年～現在	理学療法学科 1 年次を対象に神経系、骨格系、筋系の解剖の講義を行った。神経系では末梢神経系および中枢神経系の構成と構造の詳細と機能の概略を、骨格系では全身の骨については個々の構造の詳細を、筋系については、全身の骨格筋の構造、起始･停止、支配神経、作用についてそれぞれ講義した。講義はプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて行った。成績は期末試験および再試験により評価した。
解剖学実習(理学療法学科)	2007 年～現在	理学療法学科 1 年次を対象に人体の構造への理解を深める目的で実習を行った。15 コマ中 2 コマ(2 クラス)の授業を担当した。組織観察(腎臓、膵臓、肝臓)とマウスの解剖を担当した。人体の構造と機能の範囲のうち、血液、免疫、循環器系に焦点を当て授業を行った。成績は毎回の課題に対するレポート(課題シートとスケッチ)で評価した。
理学療法総合セミナー(理学療法学科)	2010 年～現在	理学療法学科 4 年次を対象に専門基礎科目・専門科目の総括的科目として授業(オムニバス形式)を行った。15 コマ中 1 コマの授業を担当した。範囲は、人体の構造と機能の範囲のうち、血液、免疫、循環器系に焦点を当て授業を行った。講義はプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて行った。成績は期末試験および再試験により評価した。
人体の構造(看護学科)	2007 年～現在	看護学科 1 年次を対象に解剖学の全範囲(総論、組織学、感覚器系、

		呼吸器系、循環器系、免疫系、消化器系、内分泌系、生殖器系、泌尿器系、発生学)の講義・演習・実習を行った。解剖学の全範囲(総論、組織学、筋骨格系、神経系、感覚器系、呼吸器系、循環器系、免疫系、消化器系、内分泌系、生殖器系、泌尿器系、発生学)の講義を行った。講義はプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて行った。演習は講義内容に関連したテスト形式の課題を課した。実習は骨格標本の観察と小動物の解剖を行った。成績は期末試験、演習課題、実習課題シートおよび再試験により評価した。
2　作成した教材（150 字程度まで）		
人体の構造と機能Ⅰ(保健栄養学科)の講義用 PowerPoint スライド	2014 年～現在	保健栄養学科 1 年次対象の人体の構造の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 15 点、計 280 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など更新を行った。
人体の構造と機能Ⅰ(保健栄養学科)の講義用配布資料	2014 年～現在	保健栄養学科 1 年次対象の人体の構造と機能Ⅰの講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(A3、計 28 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など更新を行った。
人体の構造と機能Ⅰ(保健栄養学科)の授業外学習用演習問題	2024 年～現在	保健栄養学科 1 年次対象の人体の構造と機能Ⅰの授業において、Google フォームを用いた 5 択式演習問題(計 15 点、計 117 問)を web 上で公開し、学生の授業学修を促した。各問題に対する解答と解説ありも公開した。
生化学Ⅱ(保健栄養学科)の講義用 PowerPoint スライド	2023 年～現在	保健栄養学科 2 年次対象の生化学Ⅱの講義を行った際、PowerPoint スライド(計 8 点、計 181 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など更新を行った。
生化学Ⅱ(保健栄養学科の講義用配布資料	2023 年～現在	保健栄養学科 2 年次対象の生化学Ⅱの講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(A3、計 19 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など更新を行った。
生化学Ⅱ(保健栄養学科)の授業外学習用演習問題	2023 年～現在	保健栄養学科 2 年次対象の生化学Ⅱの授業において、Google フォームを用いた 5 択式演習問題(計 8 点、計 98 問)を web 上で公開し、学生の授業学修を促した。各問題に対する解答と解説ありも公開した。
栄養生理学実験(保健栄養学科)の実習課題シート	2015 年～現在	保健栄養学科 2 年生対象の栄養生理学実験において各回の実習内容と観察項目をまとめた課題シート(A4、28 枚)を作成した。実習の後にはプリントの見直しを行ない、変更や修正など更新を行った
保健栄養学特講Ⅲ(保健栄養学科)の講義用 PowerPoint スライド	2014 年～現在	保健栄養学科 4 年次対象の保健栄養学特講Ⅲの講義を行った際、PowerPoint スライド(1 点、計 33 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など更新を行った。

保健栄養学特講Ⅲ(保健栄養学科)の講義用配布資料	2014 年～現在	保健栄養学科 4 年次対象の保健栄養学特講Ⅲの講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(A3、計 4 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など更新を行った。
健康栄養特講(保健栄養学科)の講義用 PowerPoint スライド	2014 年～現在	保健栄養学科 4 年次対象の健康栄養特講の講義を行った際、PowerPoint スライド(1 点、計 14 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など更新を行った。
健康栄養特講(保健栄養学科)の講義用配布資料	2014 年～現在	保健栄養学科 4 年次対象の健康栄養特講の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(A3､計 2 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
人体の構造(理学療法学科)の講義用 PowerPoint スライド	2007 年～現在	理学療法学科 1 年次対象の人体の構造の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 14 点、計 234 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など更新を行った。2020～2021 年度のオンライン授業では、このスライドを基に作成した e-learning 教材を使用した。
人体の構造(理学療法学科)の講義用配布資料	2007 年～現在	理学療法学科 1 年次対象の人体の構造の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(A3、計 24 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
人体の構造(理学療法学科)の授業外学習用演習問題	2024 年～現在	理学療法学科 1 年次対象の人体の構造の授業において､Google フォームを用いた 5 択式演習問題(計 14 点、107 問)を web 上で公開し、学生の授業学修を促した｡各問題に対する解答と解説ありも公開した。
運動器系神経系解剖学(理学療法学科)の講義用 PowerPoint スライド	2007 年～現在	理学療法学科 1 年次対象の運動器系神経系解剖学の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 6 点、計 250 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など更新を行った。2020 年度のオンライン授業では、このスライドを基に作成した e-learning 教材を使用した。
運動器系神経系解剖学(理学療法学科)の講義用配布資料	2007 年～現在	理学療法学科 1 年次対象の運動器系神経系解剖学の講義を行った際､毎回の授業内容をまとめたプリント(A3､計 27 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など更新を行った。
運動器系神経系解剖学(理学療法学科)の授業外学習用演習問題	2024 年～現在	理学療法学科 1 年次対象の運動器系神経系解剖学の授業において、Google フォームを用いた 5 択式演習問題(計 4 点、計 97 問)を web 上で公開し、学生の授業学修を促した。各問題に対する解答と解説ありも公開した。
解剖学実習(理学療法学科)の実習課題シート	2007 年～現在	理学療法学科 1 年次対象の解剖学実習において、毎回の実習の内容と手順をまとめたプリント(A4、計 2 点、計 8 頁)を配布資料として作

		成した。実習の後にはプリントの見直しをし、変更、修正を行った。
人体の構造(看護学科)の講義用 PowerPoint スライド	2007 年～現在	看護学科 1 年次対象の人体の構造の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 16 点、計 297 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など更新を行った。
人体の構造(看護学科)の講義用配布資料	2007 年～現在	看護学科 1 年次対象の人体の構造の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(A3、計 31 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など更新を行った。
人体の構造(看護学科)の実習課題シート	2007 年～現在	看護学科 1 年生対象の人体の構造(実習)において各回の実習内容と観察項目をまとめた課題シート(A4、5 枚)を作成した。実習の後にはプリントの見直しを行ない、変更や修正など更新を行った。
人体の構造(看護学科)の演習用課題シート	2007 年～現在	看護学科 1 年生対象の人体の構造(演習)において、講義内容に関連したテスト形式の課題を(8 点、A4、9 枚)を作成した。授業後にはプリントの見直しを行ない、変更や修正など更新を行った。
理学療法学科、看護学科および保健栄養学科における小動物(マウス、ラット)の解剖手順に関するスライド	2015 年～現在	解剖学実習(理学療法学科 1 年次対象)、人体の構造(実習) (看護学科 1 年次対象)、栄養生理学実験(保健栄養学科 2 年次対象)においてマウス或いはラットの解剖を行った際、その手順を示したスライド(1 点、計 13 枚)を作成した。実習の後にはスライドの見直しを行ない、変更や修正など更新を行った。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
保健栄養学科の栄養生理学実験におけるレポート執筆の指導	2015 年～現在	保健栄養学科 2 年生対象の「栄養生理学実験」において実験実習のレポート執筆の基本的要項と注意事項について指導した。
4　その他教育活動上特記すべき事項		

Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
科学研究費助成・基盤研究(B)	2020～2022 年	「脳の特徴に基づいたテーラーメイド・ブレイン・マシン・インターフェイス」助成総額：17,940,000 円 【代表】笠原和美　【分担】澤田和彦、肥後範行、LI Yuzhe
科学研究費助成・基盤研究(C)	2021～2023 年	「Toll 様受容体を介した脳室下帯神経幹細胞の発生制御の脳溝・脳回形成への寄与」助成総額：3,200,000 円 【代表】澤田和彦　【分担】小林哲也
科学研究費助成・基盤研究(C)	2024 年～現在	「小脳の成体神経新生に係る神経幹/前駆細胞の起源と増殖・分化制御機構」助成総額：3,600,000 円

		【代表】澤田和彦
2　特許		

3　その他職務上の実績に関する事項		
公私立大学実験動物施設協議会(公私動協)の代議員	2019 年～現在	つくば国際大学の代表として公私動協の代議員を務めている。
理化学研究所バイオリソース研究センターの客員主管研究員	2020 年～現在	理化学研究所バイオリソース研究センターの実験動物開発室において客員主管研究員
学術論文の査読(18 件)	2020 年～2024 年	Cerebral Cortex 誌や Scientific Reports 誌、International Molecular Sciences 誌、Frontiers in Neuroscience 誌など 5 年間で計 18 件の査読を行った。
Frontiers in Neuroscience 誌 Associate Editor	2022 年～現在	Open Access Journal の Frontiers in Neuroscience 誌において、Associate Editor を務め、査読者への査読依頼と査読後の採否決定をしている。
Symmetry 誌 Editorial Board Member	2020 年～現在	Open Access Journal の Symmetry 誌において、Biology and Symmetry/Asymmetry Section の Section Board Member を務めている。
Frontiers in Neuroscience 誌 Topic Editor	2022～2024 年	Open Access Journal の Frontiers in Neuroscience 誌において、Research Topics “Brain abnormalities due to genetic alterations or developmental exposure to environmental factors 2”の Topic Editor を務めた。
Frontiers in Neuroscience 誌 Guest Editor	2021～2022 年	Open Access Journal の Frontiers in Neuroscience 誌において、Research Topics “Brain abnormalities due to genetic alterations or developmental exposure to environmental factors”の Guest Editor を務めた。この Research Topics は 2022 年に eBook として出版された。
Symmetry 誌 Guest Editor	2021～2022 年	Open Access Journal の Symmetry 誌において、Special Issue “Brain Asymmetry in Evolution 2”の Guest Editor を務めた。
公私立大学実験動物施設協議会(公私動協)「実験動物管理者の教育訓練」受講	2021 年	公私動協主催(オンライン開催)の実験動物管理者の教育訓練を受講し、所定の課程を修了した。
Symmetry 誌 Guest Editor	2019～2020 年	Open Access Journal の Symmetry 誌において Special Issue “Brain Asymmetry in Evolution”の Guest Editor を務め、5 編の論文の編集に従事した。この Special Issue は 2021 年に eBook として出版さ

		れた。

Ⅲ　研究活動					
著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					
Brain abnormalities due to genetic alterations or developmental exposure to environmental factors-E-Book in Frontiers in Neuroscience	共著	2022 年	Frontiers Media (Lausanne)	編集：Sawada K, Yoshiki A, Saito S	総頁数：1607 頁 分担執筆：P5–7, P19–28
Brain Asymmetry in Evolution-Printed Edition of the Special Issue Published in Symmetry	共著	2021 年	MDPI(Basel)	編集：Sawada K	総頁数：58 頁 分担執筆：P1–10, P29–38, P39–46
論文					
Editorial: Brain abnormalities due to genetic alterations or developmental exposure to environmental factors, volume II	共著(筆頭)	2024 年 7 月	Frontiers in Neuroscience 18 巻	Sawada K, Yoshiki A, Saito S	p.1389145
Tracking of internal granular progenitors responding to valproic acid in the cerebellar cortex of infant ferrets	共著	2024 年 2 月	Cells 13 巻 4 号	Kamiya S, Kobayashi T, Sawada K	p.308
Induction of cerebellar cortical neurogenesis immediately following valproic acid exposure in ferret kits	共著(筆頭)	2023 年 12 月	Frontiers in Neuroscience 15 巻	Kamiya S, Kobayashi T, Sawada K	p.736313
Neonatal exposure to lipopolysaccharide promotes neurogenesis of subventricular zone progenitors in the developing neocortex of ferrets	共著(筆頭)	2023 年 10 月	International Journal of Molecular Sciences 24 巻 19 号	Sawada K, Kamiya S, Kobayashi T	p.14962
Sexual dimorphic rightward	共著(筆頭)	2023 年 5 月	Symmetry	Sawada K, Saito S	p.1164

lateralization of cerebral sulcal infolding in cynomolgus monkeys (*Macaca fascicularis*)			15 巻 6 号		
脳死と臓器移植を主体的に考えるための高校生への教育プログラム内容と授業後のアンケート調査	共著	2023 年 3 月	医療保健学研究 14 巻	山縣香織、浦山修、中原毅、大越教夫、澤田和彦	p.29–39
高等学校における脳死と臓器移植を主体とした教育プログラム構築のためのアンケート調査	共著	2023 年 3 月	医療保健学研究 14 巻	山縣香織、浦山修、中原毅、大越教夫、澤田和彦	p.19–27
Differential staining patterns of immunohistochemical markers for neurogenesis staging in the premature cerebellum of ferrets and mice	共著(筆頭)	2023 年 3 月	Congenital Anomalies 63 巻 4 号	Sawada K, Kamiya S	p.116–120
Special issue on brain asymmetry in evolution	単著	2022 年 9 月	Symmetry 14 巻 10 号	Sawada K	p.2014
Editorial: Brain abnormalities due to genetic alterations or developmental exposure to environmental factors	共著(筆頭)	2022 年 7 月	Frontiers in Neuroscience 16 巻	Sawada K, Yoshiki A, Saito S	p. 944861
Sex-related left-lateralized development of the crus II region of the ansiform lobule in cynomolgus monkeys	共著(筆頭)	2022 年 5 月	Symmetry 14 巻 5 号	Sawada K, Saito S	p.1015
Neurogenesis of subventricular zone progenitors in the premature cortex of ferrets facilitated by neonatal valproic acid exposure	単著	2022 年 5 月	International Journal of Molecular Sciences 23 巻 9 号	Sawada K	p.4882
The proliferation of dentate gyrus progenitors in the ferret hippocampus by neonatal exposure to valproic acid	共著(筆頭)	2021 年 9 月	Frontiers in Neuroscience 15 巻	Sawada K, Kamiya S, Aoki I	p.736313
Neonatal valproic acid exposure produces altered	共著(筆頭)	2021 年 4 月	PLoS One 16 巻 4 号	Sawada K, Kamiya S, Aoki I	e025026

gyrification related to increased parvalbumin-immunopositive neuron density with thickened sulcal floors					
Immunohistochemical characterization of postnatal changes in cerebellar cortical cytoarchitectures in ferrets	共著	2021 年 2 月	Anatomical Record 304 巻 2 号	Kamiya S, Sawada K	p.413–424
Cerebral sulcal asymmetry in macaque monkeys	単著	2020 年 9 月	Symmetry 12 巻 5 号	Sawada K	p.1509
Asymmetry of cerebellar lobular development in ferrets	共著(筆頭)	2020 年 5 月	Symmetry 12 巻 5 号	Sawada K, Kamiya S, Aoki I	p.735
Rightward shift of two-channel NIRS-defined prefrontal cortex activity during mental arithmetic tasks with increasing levels of state anxiety	共著	2020 年 4 月	Symmetry 12 巻 4 号	Horiuchi-Hirose M, Sawada K	p.538
報告					
Toll 様受容体を介した脳室下帯神経幹細胞の発生制御の脳溝・脳回形成への寄与	共著(筆頭)	2024 年 4 月	科学研究費助成・基盤研究(C) 報告書	澤田和彦、小林哲也	
脳の特徴に基づいたテーラーメイド・ブレイン・マシン・インターフェイス	共著	2024 年 4 月	科学研究費助成・基盤研究(B) 報告書	笠原和美、肥後範行、LI Yuzhe、澤田和彦	
大脳皮質神経発生と脳溝の形成	単著	2023 年 9 月	細胞 55 巻	澤田和彦	44–48 頁
バルプロ酸による脳室下帯神経幹細胞の増殖・維持・分化の調節	共著(筆頭)	2021 年 4 月	つくば国際大学共同研究 報告書	澤田和彦、松嶋美正、山本竜也	
高等学校教員用「脳死と臓器移植を題材にした生命倫理教育プログラム～教科書サブテキスト」を使用した高等学校での授業の調査	共著	2021 年 4 月	つくば国際大学共同研究 報告書	山縣香織、大越教夫、澤田和彦、中原毅	
フェレット小脳皮質組織構築に	共著(筆頭)	2020 年 4 月	つくば国際大学共同研究	澤田和彦、山本竜也、	

及ぼす新生仔期バルプロ酸投与の影響			報告書	神谷汐里	
高等学校教員用「脳死と臓器移植を題材にした生命倫理教育プログラム～教科書サブテキスト」を使用した高等学校での授業の調査	共著	2020 年 4 月	つくば国際大学共同研究報告書	山縣香織、大越教夫、澤田和彦、中原毅	
学会発表					
幼若フェレット大脳皮質において増殖前および増殖後にリポ多糖曝露された脳室下帯神経前駆細胞の追跡	共著(筆頭)	2025 年 3 月	第 130 回日本解剖学会総会全国学術集会(千葉)	澤田和彦	一般演題
脳死と臓器移植を題材にした生命倫理教育 DVD 用学習指導案作成	共著	2024 年 9 月	第 60 回日本移植学会総会(長崎)	山縣香織、澤田和彦、大越教夫	一般演題
発達中のフェレット小脳皮質において出現する内顆粒前駆細胞に及ぼすバルプロ酸曝露の影響	共著	2024 年 7 月	第 64 回日本先天異常学会学術集会(東京)	神谷汐里、小林哲也、澤田和彦	一般演題
フェレット新生仔海馬歯状回に及ぼすリポポリサッカリド曝露の影響	共著(筆頭)	2024 年 7 月	第 64 回日本先天異常学会学術集会(東京)	澤田和彦、神谷汐里	一般演題
新生仔期にリポポリサッカリド曝露されたフェレットの大脳皮質の形態異常：MRI に基づく形態計測	共著(筆頭)	2024 年 5 月	第 18 回日本分子イメージング学会総会学術集会(東京)	澤田和彦、領家梨恵、野中博意、川島隆太、住吉晃	一般演題
Effect of neonatal exposure to lipopolysaccharide on neurogenesis of subventricular zone progenitors in the developing ferret neocortex	共著(筆頭)	2023 年 8 月	第 46 回日本神経科学大会(仙台)	澤田和彦、神谷汐里、小林哲也	一般演題
新生仔期フェレット小脳皮質の神経発生に及ぼすバルプロ酸曝露の影響	共著	2023 年 7 月	第 63 回日本先天異常学会学術集会(つくば)	神谷汐里、小林哲也、澤田和彦	一般演題
カニクイザル大脳皮質における脳溝形成の左右非対称性発達の	共著(筆頭)	2023 年 7 月	第 63 回日本先天異常学会学術集会(つくば)	澤田和彦、齋藤茂芳	一般演題

性的二型性					
フェレットの小脳皮質組織構築過程における神経新生マーカーの発現	共著(筆頭)	2023 年 3 月	第 128 回日本解剖学会総会全国学術集会(仙台)	澤田和彦、神谷汐里	一般演題
脳死と臓器移植を主体とした教育プログラム内容と授業後のアンケート調査	共著	2022 年 10 月	第 58 回日本移植学会総会(名古屋)	山縣香織、大越教夫、浦山修、中原毅、澤田和彦	一般演題
高等学校における脳死と臓器移植を主体とした教育プログラム構築のためのアンケート調査	共著	2022 年 10 月	第 58 回日本移植学会総会(名古屋)	山縣香織、大越教夫、浦山修、中原毅、澤田和彦	一般演題
フェレット新生仔における脳室下帯神経前駆細胞の神経新生に及ぼすバルプロ酸曝露の影響	単著	2022 年 7 月	第 62 回日本先天異常学会学術集会(金沢)	澤田和彦	一般演題
フェレット小脳皮質における分裂前後の顆粒前駆細胞に及ぼす新生仔期バルプロ酸曝露の効果	共著	2022 年 7 月	第 62 回日本先天異常学会学術集会(金沢)	神谷汐里、小林哲也、澤田和彦	一般演題
カニクイザル小脳の左右非対称性発達	共著(筆頭)	2022 年 3 月	第 127 回日本解剖学会総会全国学術集会(web 開催)	澤田和彦、齋藤茂芳	一般演題
自己効力感得点が中レベルの人の状態不安に応じた暗算課題施行時の脳血流量の変化	共著	2021 年 9 月	第 19 回コ・メディカル形態機能学会学術集会総会	廣瀬美和、澤田和彦	一般演題
新生仔期バルプロ酸曝露のフェレット海馬組織構築に及ぼす影響	共著(筆頭)	2021 年 8 月	第 61 回日本先天異常学会学術集会(web 開催)	澤田和彦、神谷汐里、青木伊知男	一般演題
フェレットにおける新生仔期バルプロ酸曝露による小脳皮質内顆粒細胞新生の誘導	共著	2021 年 8 月	第 61 回日本先天異常学会学術集会(web 開催)	神谷汐里、澤田和彦	一般演題
Reduced gyrification with thickening of sulcal cortical floors by neonatal exposure to valproic acid in ferrets	共著(筆頭)	2021 年 7 月	第 44 回日本神経科学大会(web 開催)	澤田和彦、神谷汐里、青木伊知男	一般演題
フェレット小脳における小葉発達の左右非対称性	共著(筆頭)	2020 年 7 月	第 60 回日本先天異常学会学術集会（web 開催）	澤田和彦、神谷汐里、青木伊知男	一般演題
新生仔期バルプロ酸曝露のフェレット小脳皮質組織構築に及ぼ	共著	2020 年 7 月	第 60 回日本先天異常学会学術集会（web 開催）	神谷汐里、青木伊知男、澤田和彦	一般演題

す影響					

Ⅳ　学会等および社会における主な活動
1　現在の所属学会
日本解剖学会 日本先天異常学会 日本神経科学学会 日本放射線影響学会 北米神経科学学会
2　2020～2024 年度の学会での主な活動
日本解剖学会・学術評議員(2006 年～現在) 日本先天異常学会・評議員(2011 年～現在) 日本先天異常学会・学術プログラム委員会委員(2020 年～現在) 日本先天異常学会・神経発生毒性(DNT)委員会委員(2014～2022 年) 第 63 回日本先天異常学会学術集会における大会実行委員(2022～2023)
3　2020～2024 年度の社会での主な活動
第 31 回えんじゅトークサロン・講演「脳のシワから何を知ることができるか？」(2024 月 5 日/対象:市民)

所属　医療保健学部 学科　保健栄養学科	職名　教授	氏名　増野　弥生	学　位	修士（家政学）
			国家資格	栄養士、管理栄養士

Ⅰ　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
応用栄養学Ⅰ	2021 年～現在	保健栄養学科 2 年生を対象とした前期の必修科目である。人の一生における各ライフステージ、成長・発達過程にある新生児期、乳児期、幼児期、学童期、妊娠期・授乳期（母性栄養）の特徴と栄養管理について理解させることを目標とした。講義ではテキストの内容を解りやすくまとめた資料プリント、スライドを作成・配布した。食事摂取基準や栄養アセスメントなど授業内容が難しくなるため、効果的に事前学習、事後学習ができるようにグーグルクラスルームに課題を設け、知識の定着に努めた。成績は単元終了ごとに実施する小テスト、期末試験及び再試験により評価した。
応用栄養学実習Ⅰ	2021 年～現在	保健栄養学科 2 年生を対象とした前期の必修科目である。応用栄養学Ⅰで学んだ知識を基に妊娠期・授乳期、乳児期、幼児期、学童期の各ライフステージの栄養マネジメント方法、スクリーニングで明らかになった問題点に沿った改善献立作成、調理実習を通して各ライフステージの栄養管理について理解を深めることを目標としている。各個人によるテーマに沿った献立の作成、班献立の作成、まとめができるように指導した。各テーマごとに栄要管理のプリント、改善献立の作成、実習、実習後のレポート提出を課し、妊娠期・授乳期では各班ごとに発表を行った。各課題のレポートの内容、期末試験および再試験で成績評価を行った。
応用栄養学Ⅲ	2022 年～現在	保健栄養学科 3 年生を対象とした後期の必修科目である。スポーツ（運動）、ストレス、特殊環境下（高温・低温、高圧・低圧、騒音・振動、無重力環境）における特徴と栄養管理について理解し、知識を定着させることを目標とした。2022 年度からは増野が授業担当者となり対面授業を行っている。解りやすくまとめた資料プリント、スライドを作成・配布した。事前学習、事後学習ができるように課題を設け、知識の定着に努めた。成績は単元終了後に行う小テスト、期末テストおよび再試験で評価した。

公衆栄養学Ⅰ	2021年～現在	保健栄養学科3年生を対象とした前期の必修科目である。公衆栄養学の概念や地域や職域での健康増進と疾病予防（生活習慣病対策）を目指す栄養政策、栄養関連法規や管理栄養士の活動についての基礎知識を習得することを目標とした。テキスト内容や指針などを解りやすくまとめた資料プリント、スライドを作成・配布した。例年、自己学習時間が足らないことがうかがえているため、事後学習課題（健康づくり対策、健康・栄養調査結果、公衆栄養活動、公衆栄養関連法規、食糧問題、人口問題など）を課した。2024年度は「茨城県食生活津推進員」をゲストスピーカーとして招いた。成績は課題、小テスト、期末試験および再試験により評価した。
公衆栄養学Ⅱ	2021年～現在	保健栄養学科3年生を対象とした後期の必修科目である。公衆栄養学Ⅰで学んだ知識を基に栄養疫学の概念や人々に適切な栄養関連サービスを提供するプログラムの計画・実施・評価に必要な理論と方法を学ぶことを目標とした。講義内容を解りやすくまとめた資料プリント、スライドを作成・配布した。事前学習、事後学習ができるように課題を設けた。例として、各自の食事調査を行うことで食事調査の種類、特徴が理解できるように努めた。成績は小テスト、課題、期末試験および再試験により評価した。
臨地実習Ⅳ	2021年～現在	保健栄養学科4年生を対象とした前期の選択科目である。4年次の夏季休業期間中に県内の保健所等の行政機関にて45時間(5日間)の実習を実施し、行政栄養士の役割、公衆栄養行政などについて学ぶ。2021年度はコロナ感染状況により、「つくば保健所」での実習受け入れが中止となったため、保健所の指導の下、2名の学生に学内での代替え実習を行った。2022年度、2023年度の実習生はともに1名で「土浦保健所」で実施された。2024年度の履修者は0名だった。臨地実習Ⅳの成果を臨地実習報告会（臨地実習Ⅰ・ⅡおよびⅣ）にて発表した。成績は、実習先の指導者による評価、実習ノート、報告会の内容で評価を行った。
臨地実習総合演習Ⅲ	2021年～現在	保健栄養学科4年生を対象とした前期の選択科目である。公衆栄養学で学んだ内容がどのように地域の健康・栄養改善を実践していくプログラムにつながっていくのかを学ぶことを目的としている。臨地実習Ⅳ（公衆栄養）を履修するための事前学習・事後学習を含むため、臨地実習Ⅳを選択する学生は履修することが必要である。茨城県の現状と問題点、健康づくり対策、行政栄養士の役割などの理解を深めるために、茨城県の最新の情報をまとめたわかりやすいPowerPointを作成し、講義を行った。各課題に対してレポートを課し、レポートの

		内容で成績評価を行った。
保健栄養学特講Ⅰ	2021年～現在	保健栄養学科4年生を対象とした前期必修科目である。学科教員（古橋・伊部・増野）によるオムニバス形式の講義を行った。増野は科目分担者として15コマ中5コマの授業を担当し、応用栄養学分野の理解を深め定着させることを目的とした。講義では、国家試験の過去問を中心に解りやすくまとめた資料プリント、スライドを作成・配布した。事前学習、事後学習ができるように課題を配布し、授業内では頻出問題のポイントなどの解説を行った。3科目合計の50問による期末試験および再試験により成績評価をした。
保健栄養学特講Ⅱ	2021年～現在	保健栄養学科4年生を対象とした前期必修科目である。学科教員（2023年度まで柴﨑・武部・増野、2024年度から柴﨑・池本・増野）によるオムニバス形式の講義を行った。増野は科目分担者として15コマ中5コマの授業を担当し、公衆栄養学分野の理解を深めることを目的とした。講義では、国家試験の過去問を中心に解りやすくまとめた資料プリント、スライドを作成・配布した。事前学習、事後学習ができるように課題を配布し、授業内では頻出問題のポイントなどの解説を行った。3科目合計の100問による期末試験および再試験により成績評価をした。
健康・栄養特講	2021年～現在	保健栄養学科4年生を対象とした後期開講の必修科目である。学科教員によるオムニバス形式の講義を行い、増野は応用栄養学分野・公衆栄養学分野を担当し、応用栄養学分野・公衆栄養学分野のさらなる理解と知識を定着させることを目標とし、科目担当者として15コマ中2コマの授業を担当した。国家試験の過去問を中心に解りやすくまとめた資料プリント、スライドを作成・配布した。講義では頻出問題のポイントなどの解説を行い、理解の徹底に努めた。事前学習、事後学習ができるように課題を設けた。栄養・特講担当者による期末試験および再試験で成績評価を行った。
応用栄養学Ⅱ	2021～2022年	保健栄養学科2年生を対象とした後期の必修科目である。人の一生における各ライフステージ、特に成熟期・衰退期である思春期、成人期（青年期・壮年期・実年期）、更年期、高齢期の特徴と栄養管理について理解し、知識を定着させることを目標とした。2021年度から講義を担当した。テキスト内容に沿ったわかりやすいスライドを作成・配布した。事前学習、事後学習ができるように課題を設け、レポートを課し、単元終了時には小テストを行った。成績評価は小テスト、レポートの内容、期末試験および再試験により評価した。2022年度から担

		当を外れた。
応用栄養学実習Ⅱ	2021～2022 年	保健栄養学科 3 年生を対象とした後期の必修科目である。応用栄養学Ⅱで学んだ知識を基に思春期、成人期、更年期、高齢期の各ライフステージに応じた栄養マネジメントの方法を理解し、それに沿った献立作成、調理実習をして各ライフステージの特性を理解することを目標とした。2021 年度まで増野が担当し、解りやすくまとめた資料プリント、スライドを作成・配布した。栄養改善献立を各自が作成できるように、献立会議による班献立の作成、まとめなどができるように指導した。成績は各課題に対してのレポート評価、期末試験および再試験により評価した。
基礎栄養学実習	2021～2022 年	保健栄養学科 2 年生を対象とした前期の必修科目である。15 回の授業の前半を「日本食品標準成分表（八訂）」を用い、基礎栄養学で学んだ栄養素の種類と生理機能を学び、後半では「日本人の食事摂取基準（2020 年版）を用い、栄養摂取基準の各指標及び策定の背景、活用の基礎理論を理解することを目的とした。2021 年度はコロナ禍のためでオンラインで実施した。成績はオンラインを使用しての期末試験および再試験を実施し、評価した。
2　作成した教材（150 字程度まで）		
応用栄養学Ⅰ（保健栄養学科対象の）講義用 PowerPoint スライド	2021 年～現在	保健栄養学科対象の応用栄養学Ⅰの講義を行った際、PowerPoint スライド（計 8 点、計 329 枚）を作成し、板書として使用した。講義終了後にはスライドの見直し、修正加筆などの見直し、更新を行った。
応用栄養学実習Ⅰ（保健栄養学科対象の）　実習用配布資料）	2021 年～現在	保健栄養学科対象の応用栄養学実習Ⅰにおいて、各ライフステージの実習の内容として各対象者のプロフィール、栄養アセスメントの手順、ポイントをまとめたプリント、献立作成資料（A4 、計 13 枚、A3, 計 15 枚）PowerPoint スライド（計 4 点、計 60 枚）を作成した。実習後、資料の見直し、修正・加筆を行い、更新を行った。
応用栄養学Ⅲ（保健栄養学科対象の）講義用 PowerPoint スライド	2022 年～現在	保健栄養学科対象の応用栄養学Ⅲの講義を行った際、PowerPoint スライド（計 6 点、計 212 枚）を作成し、板書として使用した。講義終了後にはスライドの見直し、修正加筆などの見直し、更新を行った。
公衆栄養学Ⅰ（保健栄養学科対象の）講義用 PowerPoint スライド	2021 年～現在	保健栄養学科対象の公衆栄養学Ⅰの講義を行った際、PowerPoint スライド（計 11 点、計 276 枚）を作成し、板書として使用した。講義終了後にはスライドの見直し、修正加筆などの見直し、更新を行った。
公衆栄養学Ⅱ（保健栄養学科対象の）講義用 PowerPoint スライド	2021 年～現在	保健栄養学科対象の公衆栄養学Ⅱの講義を行った際、PowerPoint スライド（計 10 点、計 203 枚）を作成し、板書として使用した。講義終了後にはスライドの見直し、修正加筆などの見直し、更新を行っ

		た。
臨地実習総合演習Ⅲ（保健栄養学科対象　実習用配布資料）	2021 年～現在	保健栄養学科対象の臨地実習総合演習Ⅲにおいて、公衆栄養学の観点から、わが国の健康づくり対策、茨城県の特徴、健康上の問題点、健康づくり対策、市町村による地域の違い、行政栄養士の役割などをまとめた PowerPoint スライド（計 9 点、計 46 枚）を作成した。終了後、資料の見直し、修正を行い、更新を行った。
臨地実習Ⅳ（保健栄養学科対象　実習用配布資料）	2021 年～現在	保健栄養学科対象の臨地実習Ⅳにおいて、公衆栄養学の観点から実習の事前指導として茨城県の特徴と問題点、健康づくり対策、市町村による地域の違い、臨地実習の心得などをまとめた PowerPoint スライド（計 7 点、計 50 枚） を作成した。実習後、資料の見直し、修正・加筆を行い、更新を行った。
保健栄養学特講Ⅰ（保健栄養学科対象の）講義用 PowerPoint スライド	2021 年～現在	保健栄養学科対象の保健栄養学特講Ⅰの講義を行った際、事前に Word の資料５枚を作成しグーグルクラスルームに貼り付け予習資料とした。また、PowerPoint スライド（計５点、計 119 枚）を作成し、板書として使用した。講義終了後にはスライドの見直し、修正加筆などの見直し、更新を行った。
保健栄養学特講Ⅱ（保健栄養学科対象の）講義用 PowerPoint スライド	2021 年～現在	保健栄養学科対象の保健栄養学特講Ⅱの講義を行った際、事前に Word の資料５枚を作成しグーグルクラスルームに貼り付け予習資料とした。また、PowerPoint スライド（計５点、計 316 枚）を作成し、板書として使用した。講義終了後にはスライドの見直し、修正加筆などの見直し、更新を行った。
健康・栄養特講（保健栄養学科対象の）講義用 PowerPoint スライド	2021 年～現在	保健栄養学科対象の健康・栄養特講の講義を行った際、PowerPoint スライド（計２点、計 139 枚）を作成し、板書として使用した。講義終了後にはスライドの見直し、修正加筆などの見直し、更新を行った。
応用栄養学Ⅱ（保健栄養学科対象の）講義用 PowerPoint スライド	2021～2022 年	保健栄養学科対象の応用栄養学Ⅱの講義を行った際、PowerPoint スライド（計５点、計 201 枚）を作成し、板書として使用した。。
応用栄養学実習Ⅱ（保健栄養学科対象　実習用配布資料）	2021～2022 年	保健栄養学科対象の応用栄養学実習Ⅱにおいて、各ライフステージの実習の内容として各対象者のプロフィール、栄養アセスメントの手順、ポイントをまとめたプリント、献立作成資料（A4 、計 12 枚、A3, 計 10 枚）を作成した。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
NPO 法人　食空間コーディネート協会　准卓育インストラクター養成講座にて講演（オンライン）	2024 年 7 月 2025 年 1 月	「　子どもの栄養」をテーマに、准卓育インストラクター取得希望者を対象に講演（オンライン）した。
第 36 回介護福祉士全国統一総合模擬試験解説書　（第 2 回　応用編）	2023 年 8 月	M3education 社　第 36 回介護福祉士全国統一総合模擬試験解説書

問題及び解説作成		（第 2 回　応用編）において、 問題作成および解説を行った。「心とからだのしくみ 1 題」を作成した。
NPO 法人　食空間コーディネート協会　准卓育インストラクター養成講座にて講演（オンライン）	2023 年 7 月	「子どもの栄養」をテーマに、准卓育インストラクター取得希望者を対象に講演（オンライン）した。
第 35 回介護福祉士全国統一総合模擬試験解説書　（第 1 回　基礎編・第 2 回　応用編）　　問題及び解説作成	2022 年 8 月	TECOM　福祉教育カレッジ第 35 回介護福祉士全国統一総合模擬試験解説書　（第 1 回　基礎編・第 2 回　応用編）において、 問題作成および解説を行った。第 1 回基礎編「高齢者の疾病と生活上の留意点 1 題」、「心とからだのしくみ 1 題」第 2 回応用編同様に 2 題を作成し、合計 3 題を担当した。
NPO 法人　食空間コーディネート協会　准卓育インストラクター養成講座にて講演（オンライン）	2022 年 7 月	栄養支援の一環として「卓育～子どもの栄養について～食べる機能の発達と食育」をテーマに、准卓育インストラクター取得希望者を対象に講演（オンライン）した。
茨城県栄養士会　教育研究・公衆衛生専門研究会主催　研修会にて講演　（オンライン）	2021 年 11 月	茨城県栄養士会　教育研究･公衆衛生専門研究会研修会において「妊娠前からはじめる妊産婦のための食生活指針」についてオンラインにて講演した。
NPO 法人　食空間コーディネート協会　第 13 回准卓育インストラクター養成講座にて講演（オンライン）	2021 年 9 月	栄養支援の一環として「卓育～子どもの栄養について～食べる機能の発達と食育」をテーマに、第 13 回准卓育インストラクター取得希望者を対象に講演した。
第 34 回介護福祉士全国統一総合模擬試験解説書　（第 1 回　基礎編・第 2 回　応用編）　　問題及び解説作成	2021 年 8 月	TECOM　福祉教育カレッジ第 34 回介護福祉士全国統一総合模擬試験解説書　（第 1 回　基礎編・第 2 回　応用編）において、 問題作成および解説を行った。第 1 回基礎編「高齢者の疾病と生活上の留意点 1 題」、「心とからだのしくみ 1 題」第 2 回応用編同様に 2 題を作成し、合計 3 題を担当した。
NPO 法人　アレルギー支援ネットワーク　アレルギー大学　第 16 期にて講義 （於：ZOOM にて開催）	2021 年 6 月	食物アレルギー児の栄養支援・食育の一環として NPO 法人　アレルギー支援ネットワーク主催のアレルギー大学第 16 期の基礎講座を担当し、「幼児期･学童期の食育とアレルギー」について講義を行った。
第 33 回介護福祉士全国統一総合模擬試験解説書　（第 1 回　基礎編・第 2 回　応用編）　　問題及び解説作成	2020 年 8 月	TECOM　福祉教育カレッジ第 33 回介護福祉士全国統一総合模擬試験解説書　（第 1 回　基礎編・第 2 回　応用編）において、 問題作成および解説を行った。第 1 回基礎編「生活支援技術 1 題」、「心とからだのしくみ 1 題」第 2 回応用編同様に 2 題を作成し、合計 4 題を担当した。
NPO 法人　アレルギー支援ネットワーク　アレルギー大学　第 15 期にて講義 （於：ZOOM にて開催）	2020 年 6 月	食物アレルギー児の栄養支援・食育の一環として NPO 法人　アレルギー支援ネットワーク主催のアレルギー大学第 15 期の基礎講座を担当し、「幼児期･学童期の食育とアレルギー」について講義を行った。
4　その他教育活動上特記すべき事項		

保健栄養学科における補習教育	2024 年～現在	保健栄養学科 1 年次対象の補習教育(国語 1 コマ担当)において、教育を行った
国家試験対策講座（夏期、直前）	2023 年～現在	保健栄養学科 4 年次対象の国家試験対策の一環として、夏季と直前に「応用栄養学分野」「公衆栄養学分野」の講座を行った。
保健栄養学科における国試チューター	2023 年～現在	保健栄養学科 4 年次対象の国試対策において、毎年 2～3 名程度の学生に対して教育を行った。
2022 年度 FD 研修会（FD フォーラム）報告	2022.年	2022 年度（2 月 24 日オンライン開催）の FD フォーラムシンポジウム及び第 9 分科会に参加し、学内の報告会（オンライン）にて報告した。
2021 年度保健栄養学科における臨地実習Ⅳ（公衆栄養学分野）指導	2021 年～現在	保健栄養学科 4 年次対象の臨地実習Ⅳ（公衆栄養学分野）において履修希望学生 1～2 名に対して指導を行った・（2024 年度は履修者 0 名）
2021 年度～現在　保健所長会出席	2021 年～現在	臨地実習Ⅳ（公衆栄養学分野）の一環として、保健所長会に出席した。

Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
2　特許		
3　その他職務上の実績に関する事項		

Ⅲ　研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					
改訂「応用栄養学実習書」（第 3 版）-PDCA による栄養ケアー	共著	2024 年 12 月	建帛社	柳沢幸江・松井郁子編、岸雅代・伊藤智子・佐久間理英・酒井治子・池谷真梨子・増野弥生・平岡	第 3 章「学童期。思春期」P68~P77、P82～P86 担当

				真実・豊島裕子・加藤理津子・小池亜紀子共著	
「サクセスフル食物と栄養学基礎シリーズ 9　応用栄養学」	共著	2024 年 3 月	学文社	塩入輝恵・七尾由美子編：石黒真理子・大瀬良知子・大森聡・岸昌代・小林理恵・佐喜眞未帆・増野弥生・山本浩範共著	「7 学童期」P103 ~P116 「9 青年期」P129~P136 担当
改訂「応用栄養学実習書」（第 2 版）-PDCA による栄養ケアー	共著	2022 年 3 月	建帛社	柳沢幸江・松井郁子編、岸雅代・伊藤智子・佐久間理英・酒井治子・池谷真梨子・増野弥生・平岡真実・豊島裕子・加藤理津子・小池亜紀子共著	第 3 章「学童期・思春期」P68~P78、P82～P86 担当
「スタンダード人間栄養学　応用栄養学」第 3 版	共著	2021 年 4 月	朝倉書店	渡邉早苗・山田哲雄・吉野陽子・旭久美子編　旭久美子・増野弥生・渡邉早苗・松本洋子・府川則子・井ノ上恭子・加藤理津子・伊藤早苗・平岡真実・守田真里子・上杉宰世・増田尚・於保祐子・吉野陽子・山田哲雄・簗舘香澄・近藤浩代共著	第 1 章 3 節　P9～P13 担当
「食物と栄養学基礎シリーズ 8 新応用栄養学」	共著	2020 年 4 月	学文社	吉田勉監修　塩入輝恵・七尾由美子編：小林実夏・加藤理津子・小林理恵・塩入輝恵・佐喜眞未帆・増野弥生・木村靖子・七尾由美子・小林唯・山本浩範共著	「6 学童期」P87～p101 「8 青年期」P114～P121 担当
論文					
「血圧高値と肥満指標の関係：BMI と腹囲の関係」	共著	2022 年 3 月	日本総合健診医学会 Vol.49 No2	石井広二・旭久美子・吉田礼子・新井勝己・増野弥生・齋藤陽子・勝川史憲	P308-316

「管理栄養士養成課程における発展型統合学修の実践」	共著	2020 年 12 月	桐生大学紀要　第 31 号	橘陽子・神戸美恵子・増野弥生・島田美樹子・齋藤陽子・宮原公子	P91-P98
報告					
学会発表					

Ⅳ　学会等および社会における主な活動
1　現在の所属学会
日本栄養改善学会 日本肥満学会 日本栄養・食糧学会 日本咀嚼学会 日本家政学会 日本スポーツ栄養学会 日本栄養士会　茨城県栄養士会
2　2020～2024 年度の学会での主な活動
3　2020～2024 年度の社会での主な活動

所属　医療保健学部 学科　保健栄養学科	職名　准教授	氏名　柴﨑（白子）　みゆき	学　位	修士（経営情報）
			国家資格	管理栄養士

Ⅰ　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
給食経営管理論Ⅰ	2009 年～現在	保健栄養学科 1 年次生対象の全 15 コマの講義で、管理栄養士に必要な給食経営管理（栄養・安全・経済）の基礎知識と実践的マネジメント能力の修得を目指した。基礎理論に加え、用語や国家試験問題に取り組むアクティブラーニングを導入。特に試食や厨房見学を取り入れ、理論と現場実践を結びつけ、理解度を深めた。2020 年度のオンライン授業期間中も課題とアンケートを実施し、きめ細かなフィードバックで学習定着を図り、対面授業再開後も継続。成績は期末試験（課題提出含む）で総合的に評価した。
給食経営管理論Ⅱ	2009 年～現在	保健栄養学科 2 年次生に対し、管理栄養士の重要業務である給食の栄養・安全・経済面全般のマネジメントに必要な知識と実践力の習得を目的とした全 15 コマの講義を担当した。給食経営管理の基礎理論、衛生管理、原価計算、献立作成などを体系的に解説。PC 室で Google Classroom を用いた課題共有のアウトプット型学習や、実習と連携した厨房見学・試食を取り入れ、座学と実践を結びつけた。過去のオンライン授業の動画や課題・フィードバック手法も活用。成績は、課題提出と筆記試験で総合的に評価した。
給食経営管理論実習Ⅰ	2010 年～現在	保健栄養学科 2 年次生を対象に、管理栄養士の重要業務である給食の栄養・安全・経済面全般のマネジメントに必要な知識・実践力習得を目指し、「給食経営管理」の全 15 コマを担当した。講義では、基礎理論に加え、特定給食施設の特徴や運営、マーケティングを用いた運営シミュレーションを実施。給食試食や臨地実習報告会聴講により、現場と講義内容の関連性を深めた。オンライン授業や対面復活後も Google Classroom や課題作成動画を活用し、授業理解を促進。成績は、課題提出と筆記試験により総合的に評価した。

給食経営管理論実習Ⅱ	2011 年～現在	保健栄養学科 2 年次生向けに、給食施設（事業所、学校、高齢者施設）での実践的な給食運営能力育成を目的とし、全 15 コマの講義を担当した。本講義（Ⅱ）では、給食指導や行事食の献立作成を課題とし、グループワークで役割を意識できる実習記録様式を採用し、積極的な関与を促した。2020 年度はオンラインで各施設の栄養管理法、大量調理、衛生管理を動画化して提供し、報告会での質疑応答で課題解決を共有した。対面授業復活後も Google Classroom で実技・課題作成動画を随時提供し、学習をサポート。成績は実習記録、課題提出、報告会発表内容で総合的に評価した。
「臨地実習Ⅰ（給食の運営）、臨地実習Ⅱ（給食経営管理）」 「臨地総合演習」	2011 年～現在	保健栄養学科 3 年次生を対象に、給食施設における実践力と専門的態度を養う目的で臨地実習（Ⅰ・Ⅱ）を実施。科目責任者として全期間の指導を担当。実習前では、接遇や守秘義務の演習を実施し、実習施設の指導者とは事前アンケート、指導者会議、巡回指導で密に連携した。実習後には要旨集を基にした報告会を開催し、活発なディスカッションで学びを定着させた。2020 年度はオンライン/対面で指導、2021 年度実習中止者へはオンラインで振替プログラムを実施した。成績は、実習施設評価、実習中の取り組み、報告会発表内容により総合的に評価した。
保健栄養学特講Ⅱ.健康栄養特講（オムニバス）	2012 年～現在	保健栄養学科 4 年次生を対象に、「給食経営管理論分野における重要事項の整理と、管理栄養士国家試験対策に必要な実践力の習得」を目的とした講義を、Ⅱで 5 コマ、健康・栄養特講で 1 コマ担当しました。基礎知識に加えて、トピックスや最新動向を提供し、特に国家試験の過去問分析・解説に注力しました。毎回ミニテストを実施して学生個々の苦手対策を促し、知識の定着を図りました。2020 年度のオンライン授業では課題とアンケートを実施し、きめ細かなフィードバックで授業理解を深めました。対面授業復活後も Google Classroom や e-ラーニングを活用しています。成績は期末試験で総合的に評価しました。

調理学実習Ⅱ	2014 年～現在	保健栄養学科 2 年次生を対象に、調理学の理論と実習（Ⅰ）を基に、多彩な食材と料理手法を用いた調理の応用力涵養を目的とした全 15 コマの講義を担当した。実習では、食事を「おいしく、合理的、かつ再現性よく整える」ことの理解と応用を重視し、「レシピ作成レポート」を重要なアウトプットとした。2020 年度オンライン授業では、調理動画配信、切り方の実技記録提出、レシピ提案のオンライン発表を実施。対面授業復活後も、調理手順動画を Google Classroom で提供し、学習を継続的に支援した。成績は、レシピ作成レポートと実技試験で総合的に評価した。
国際・栄養食文化論（※2013.14 はオムニバス）	2013 年～2022 年	保健栄養学科 1～3 年次生を対象に、諸外国の食習慣と健康、管理栄養士の業務理解を深める目的で選択科目を設置した。科目責任者として全 8 コマの授業を担当した。講義では、各国の食習慣・健康についてグループワークで調査しディスカッションを行った。つくば・土浦地域の外国人講師を招き、ブラジル、タイ、ウクライナ等の料理実習を実施。現地の専門食材を使用し、ウクライナの伝統的なクリスマス料理など、本場の食文化を体験させる工夫を行った。実習を通じた交流により、学生の異文化理解への関心が高まった。成績は、グループワークでの発表、およびレポートにより総合的に評価した。
食品学各論 I	2019 年	保健栄養学科 1 年次生を対象に、食品の成分や栄養価、種類などに関する基礎知識を体系的に習得する目的で講義を行った。科目責任者として全 15 コマの授業を担当した。講義では、食品学総論を基礎とし、植物性食品および動物性食品に分類して、それぞれの成分や性状、種類について解説した。担当する調理学実習と連携し、実際の食材や調理過程を事例として取り入れることで、理論的な内容をより具体的に理解できるよう工夫した。この工夫により、学生からは「分かりやすかった」という肯定的な授業評価が多く得られた。成績は、毎回の小テスト（偶数回の授業で実施）、および期末試験により総合的に評価した。
卒業研究	2013 年～現在	保健栄養学科 4 年次生 13 名を対象に、専門知識の応用力と研究の計画・実施・発表能力の育成を目的とした卒業研究指導を実施しました。指導では、「給食施設での野菜だし活用」や「学生食堂の食事調査」といった給食経営管理分野の実践的なテーマを設定させました。研究計画から実施、考察までを個別指導し、学生の主体性を尊重。成果は、報告会での発表と論文作成を通じて学術的に定着させました。成績は、

		研究への姿勢、論文内容、発表内容を総合的に評価しました。
2　作成した教材（150 字程度まで）		
給食経営管理論Ⅰ・Ⅱ（保健栄養学科）の講義用 PowerPoint スライド ※オンデマンド動画	2009 年～現在 ※2020 年～現在	保健栄養学科の「給食経営管理論Ⅰ・Ⅱ」講義用に、PowerPoint スライド（約 450 枚）とワークシートを作成。これらに解説音声を付加しオンデマンド動画化し、Google Classroom で配信して復習教材とした。国家試験ガイドライン改訂に合わせ内容を定期的に更新している。
給食経営管理論Ⅰ・Ⅱ（保健栄養学科）の講義用配布資料、課題シート	2009 年～現在	保健栄養学科の「給食経営管理論Ⅰ・Ⅱ」の講義教材として、ワークシート、最新の法的資料、小問題を作成・配布しました。特に課題シートは、時事問題や小問題をマークシート形式にし、効率的な評価と記録を可能にしました。国家試験ガイドラインの改訂に合わせ、資料内容は定期的に更新しています。
給食経営管理論実習Ⅰ・Ⅱ（保健栄養学科） の講義用 PowerPoint スライド ※オンデマンド動画	2009 年～現在 ※2020 年～現在	保健栄養学科の「給食経営管理論実習Ⅰ・Ⅱ」用教材として、実習手順やワークシート作成法を解説した PowerPoint スライド（約 300 枚）に解説音声を付加し、オンデマンド動画化。Google Classroom で配信し、実技を伴う内容の予習・復習に活用された。
給食経営管理論実習Ⅰ・Ⅱ（保健栄養学科）の実習課題シート ※ワークシート	2009 年～現在 ※2020 年～現在	保健栄養学科の「給食経営管理論実習Ⅰ・Ⅱ」用教材として、実習手順やワークシート作成法を解説した PowerPoint スライド（約 300 枚）に解説音声を付加し、オンデマンド動画化。Google Classroom で配信し、教員と学生が共有しながら課題提出や評価が行えるデジタル教材として運用した。
臨地総合演習Ⅰ（保健栄養学科）の講義用 PowerPoint スライド ※オンデマンド動画	2011 年～現在 ※2020 年～現在	保健栄養学科 3 年次生を対象に、臨地実習の事前学習教材として、実習のポイントや手順をまとめた PowerPoint スライド（8 点、約 430 枚）を作成した。これに解説音声を付けてオンデマンド動画化し、Google Classroom で配信しました。この動画教材により、実習テーマの繰り返し学習や予習復習を可能にした。

臨地実習Ⅰ（給食の運営)、臨地実習Ⅱ（給食経営管理）の 振替プログラム	2021 年	2021 年度新型コロナウイルス感染予防のため実習中止者（3 年生 5 名）へはオンライン対応可能な日本給食経営管理学会の振替プログラムを活用し、1 日 9 時間、10 日間のオンデマンド動画、ワークシートなどの教材を作成した。
臨地実習の手引き	2011 年～現在	保健栄養学科 3 年次生、実習施設の指導者、担当教員を対象に管理栄養士養成課程において、学生が実務を経験する現場（臨地）での学習を円滑かつ効果的に進めるための指針（実習の目的、具体的な実習内容や課題、守るべき規則、事前・事後学習のあり方など）を冊子（約 24 ページ）に作成し、見直し、変更や修正など、更新を行った。
調理学実習Ⅱの講義用 PowerPoint スライド レシピや実習課題シート ※オンデマンド動画	2014 年～現在 ※2020～現在	保健栄養学科 1 年次生を対象に、実習のポイントや手順をまとめた動画と PowerPoint スライド（15 点、約 440 枚）を作成した。これに解説音声を付けてオンデマンド動画化し、Google Classroom で配信しました。この動画教材により、レシピ作成課題や調理手順、ポイントの繰り返し学習や予習復習を可能にした。
国際・栄養食文化論の講義用 PowerPoint スライド 配布プリント、レシピ、ワークシート	2013 年～2022 年	保健栄養学科の 1 年生から 3 年生を対象に授業テキストとして、PowerPoint スライド（2 点、約 100 枚）を作成した。また、各年のテーマの食文化や外部講師からの資料を基に、レシピやスライドを作成した。課題のワークシートなどは見直し、変更や修正など、更新を行った。
保健栄養学特講Ⅱ.健康栄養特講（オムニバス） PowerPoint スライド ※e-ラーニングや Google フォームによる小テスト配信	2012 年～現在 ※2020 年～現在	保健栄養学科 4 年次生を対象に、臨地実習の事前学習教材として、国家試験の出題基準ごとにポイントや解説をまとめた PowerPoint スライド（5 点、約 150 枚）を作成した e-ラーニングや Google フォームにて小テストを作成し、見直し、変更や修正など、更新を行った。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
給食経営管理分野の教育に関する学会発表	2024 年 11 月	給食経営管理分野の教育に関して筆頭演者として学会発表を行った。「給食指導コーナーにおける適塩指導の取り組み ―給食経営管理実習の献立計画から給食指導への展開」柴﨑みゆき　第 19 回日本給食経営管理学会（京都）

給食経営管理分野の教育に関する学会発表	2024 年 9 月	給食経営管理分野の教育に関して筆頭演者として学会発表を行った。給食施設における野菜を有効活用した『野菜だし』の有用性 - 第 6 報　HACCP における調理プロセスの衛生項目の検討」柴﨑みゆき　第 71 回日本栄養改善学会（大阪）
4　その他教育活動上特記すべき事項		
保健栄養学科における卒業研究指導	2013 年～2022 年	保健栄養学科 4 年次対象の卒業研究において指導を実施した期間中 13 名の学生に指導を行った。
入学前課題	2017 年～2021 年	学科独自の入学前課題ワークブック＜Chapter３＞　食物・栄養の問題および解説を作成した。
国家試験アドバイザー（チューター）	2013 年～2016 年, 2022 年～現在	保健栄養学科 4 年次対象の国家試験対策の一環として、1～3 名の学生に模擬試験の結果などから学習計画や学習方法の指導を行った。
国家試験対策講座（夏期、直前）	2023 年～現在	保健栄養学科 4 年次対象の国家試験対策の一環として、夏季と直前に「給食経営管理論分野」の講座を行った。

Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
2　特許		
3　その他職務上の実績に関する事項		
日本給食経営管理学会学術誌の査読（2 件）	2022 年～現在	

Ⅲ　研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等

著書					
栄養科学シリーズＮＥＸＴ 給食経営管理論 第４版第９刷	共著	2023 年 1 月	講談社	幸林友男, 曽川美佐子, 神田知子, 市川陽子 編　神田知子, 市川陽子, 柴﨑みゆき他	第 5 章. 給食の給食管理（給食経営管理）に必要な管理項目, C.給食経営管理における食材料のロス管理 D. 給食産業市場に影響を与える要因,E.給食におけるマーケティング戦略,F. 給食業務の外部委託 p 115～127
管理栄養士養成のための栄養学教育モデル・コア・カリキュラム準拠 第 11 巻給食経営管理論	共著	2021 年 3 月	医歯薬出版	市川陽子, 神田知子 編 赤尾正・柴﨑みゆき・髙橋孝子・名倉秀子他	Chapter 10　2.会計・原価管理 p 137-146 ， Chapter 12 6 事業所 p 194-200
管理栄養士養成のための栄養学教育モデル・コア・カリキュラム準拠 第 12 巻給食経営管理論実習	共著	2021 年 3 月	医歯薬出版	市川陽子, 神田知子, 朝見祐也 編　青木るみ子・赤尾正・柴﨑みゆき・髙橋孝子他	Chapter 1　2「給食の運営」実習計画 p 6～11
給食経営管理用語辞典	共著	2020 年 9 月	第一出版	日本給食経営管理学会監修 赤尾正・柴崎みゆき・品川喜代美他	7.特定給食施設 p 141-172
論文					
報告					
学会発表					
給食指導コーナーにおける適塩指導の取り組み ―給食経営管理実習の献立計画から給食指導への展開―	単著	2024 年 11 月	第 19 回日本給食経営管理学会学術総会	柴﨑みゆき	一般演題
ミネストローネの真空調理におけるうま味を用いた減塩効果の有効性	共著	2024 年 11 月	第 19 回日本給食経営管理学会学術総会	金井日和,柴﨑みゆき	一般演題
給食施設における野菜を有効活用した『野菜だし』の有用性 - 第 6 報　HACCP における調理プロセスの衛生項目の検討 -	共著 （筆頭）	2024 年 9 月	第 71 回日本栄養改善学会	柴﨑みゆき,木内麻美子	一般演題
大学生の食農ふれあい交流の取り組み（地域連携）特産物を活かした献立作成における学習効果	共著 （筆頭）	2020 年 5 月	第 8 回日本食育学会学術大会	柴崎（白子）みゆき,荒木萌,花田遥,小林弘美,滝郁恵	一般演題

Ⅳ　学会等および社会における主な活動
1　現在の所属学会
日本栄養士会会員 日本栄養改善学会会員 日本食育学会会員 日本給食経営管理学会会員 日本栄養教育学会会員
2　2020～2024 年度の学会での主な活動
2013 年～現在　日本給食経営管理学会　代議員　※2022 年 9 月より評議員から代議員に名称変更
3　2020～2024 年度の社会での主な活動
2021 年～2022 年　つくば市家庭教育学級講座　講師（食育）※オンデマンド方式 2019 年～現在　土浦市学校給食センター運営審議会　委員（栄養・食育）※2019 年、2024 年　審議会会長（議長）

所属　医療保健学部 学科　保健栄養学科	職名　講師	氏名　伊部　陽子	学　位	博士(医学)
			国家資格	栄養士、管理栄養士

I　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
栄養教育論実習 I	2023 年～現在	保健栄養学科 2 年生を対象に「行動科学に基づく栄養教育プログラム作成」について実践力を高めるための実習を行った。科目責任者として 22.5 コマ全てを担当した。実習では解説プリントを用い、行動変容から維持・定着までの過程を含むプログラムを作成した。内容は、講義型（エビデンス提示、課題抽出・優先度決定・目標設定)、討議型（意思決定バランス、刺激統制、行動置換、ソーシャルサポート等)、体験型（食品群分類や適正量習得を目的としたゲーム、献立・調理作成）など多様で、シミュレーション等を通じて実施した。さらに、対面・オンライン双方で活用可能な動画やスライド・ポスターも作成した。成績は課題、発表、期末試験等で評価した。
栄養教育論実習 II	2023 年～現在	保健栄養学科 3 年生を対象に「ライフステージ別の特徴に応じた行動科学に基づく栄養教育プログラム作成」について実践力を高めるための実習を行った。科目責任者として 22.5 コマ全てを担当した。実習では解説プリントを用い、妊娠期・学童期・思春期・若年成人期・成人期・高齢期の行動変容から維持・定着までの過程を含むプログラムを作成した。内容は、講義型、討議型、体験型など多様で、シミュレーション等を通じて実施した。さらに、対面・オンライン双方で活用可能な動画やスライド・ポスターも作成した。成績は課題、発表、期末試験等で評価した。
応用栄養学 II	2023 年～現在	保健栄養学科 2 年生を対象に、「栄養ケア・マネジメント」について理解を深める目的で講義を行った。科目分担者として 15 コマ中 5 コマの講義を担当した。講義では、プリントを配付し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、思春期、成人期における、生理的特徴、栄養状態、栄養アセスメント、食事摂取基準値の特徴、栄養と疾患、栄養ケアのあり方等について解説した。成績は、小テスト、提出課題、期末試験および再試験により評価した。
応用栄養学実習 II	2023 年～現在	保健栄養学科 3 年生を対象に、「栄養ケア・マネジメントと栄養管理プロセス」について実践力を高める目的で実習を行った。科目分担

		者として 22.5 コマ中　7.5 コマの実習を担当した。実習では、解説プリントを用い、思春期・成人期の症例を用いて、栄養アセスメント、栄養診断、栄養ケア計画、栄養介入、食事計画、モニタリングと評価等、栄養ケア・マネジメント、栄養管理プロセスの一連の流れで実習を行った。成績は課題、期末試験等で評価した。
基礎栄養学実習	2023 年～現在	保健栄養学科 2 年生を対象に、「食品構成を活用した献立作成」にについて実践力を高める目的で実習を行った。科目分担者として 15 コマ中 5 コマの実習を担当した。講義では、プリントを配付し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、献立作成の基本、3 食の食事配分、穀類摂取量の設定、たんぱく質源食品摂取の設定、野菜・果実類・乳製品の摂取量の設定、油脂類の設定、食塩相当量(調味パーセント)の設定等、食品構成を活用した献立作成について一連の流れで実習を行った。成績は課題で評価した。
保健栄養学特講 I	2023 年～現在	保健栄養学科 4 年生を対象に、「栄養教育論分野の重要事項」について理解を深めることを目的で講義を行った。科目分担者として 15 コマ中 5 コマの講義を担当した。講義では、プリントを配付し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、行動科学の理論とモデル、行動変容技法、栄養教育マネジメント、目標と評価、行動経済、行動カウンセリング、イノベーション理論等、ついて解説した。成績は、期末試験および再試験により評価した。
栄養教育論 I	2022 年～現在	保健栄養学科 1 年生を対象に「行動科学の理論とモデル」「行動変容技法」「組織づくり、地域づくりへの展開」について理解を深める目的で講義を行った。科目責任者として 15 コマすべての授業を担当した。講義では、プリントを配付し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、トランスセオレティカルモデル、ヘルスビリーフモデル、計画的行動理論、社会的認知理論、刺激反応理論、ソーシャルサポート、ストレスマネジメント、コミュニケーション理論、行動変容技法、集団・組織・地域に関わる理論・概念、行動経済等について解説した。成績は、小テスト、提出課題、期末試験および再試験により評価した。
栄養教育論Ⅱ	2022 年～現在	保健栄養学科 2 年生を対象に「栄養教育マネジメント」「行動カウンセリング」「ライフステージ別の栄養教育の特徴」について理解を深める目的で講義を行った。科目責任者として 15 コマすべての授業を担当した。講義では、プリントを配付し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、プリシード・プロシードモデ

		ル、生態学モデル、ソーシャルマーケティング、栄養教育マネジメントサイクル、認知行動療法、動機づけ面接、妊娠期・乳児期・幼児期・学童期・思春期・若年成人期・成人期・高齢期の栄養教育の展開について解説した。成績は、小テスト、提出課題、期末試験および再試験により評価した。
健康・栄養特講	2022 年～現在	保健栄養学科 4 年生を対象に、「栄養教育論分野の最重要事項」について理解を深めることを目的で講義を行った。科目分担者として 15 コマ中 1 コマの講義を担当した。講義では、プリントを配付し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、行動科学の理論とモデル、行動変容技法、栄養教育マネジメント、目標と評価、行動経済、行動カウンセリング、イノベーション理論等、ついて解説した。成績は、期末試験および再試験により評価した。
2　作成した教材（150 字程度まで）		
栄養教育論実習Ⅰの実習用 PowerPoint スライド	2023 年～現在	保健栄養学科 2 年次対象の栄養教育論実習Ⅰの実習を行った際、PowerPoint スライド(計 15 点、計 1048 枚)を作成し、板書として使用した。実習の後にはスライドを見直し、変更や修正など更新を行った。
栄養教育論実習Ⅰの実習用配布資料	2023 年～現在	保健栄養学科 2 年次対象の栄養教育論実習Ⅰの実習を行った際、実習内容をまとめたプリント(A4、計 63 枚)を配布資料として作成した。実習の後にはスライドを見直し、変更や修正など更新を行った。
栄養教育論実習Ⅱの実習用 PowerPoint スライド	2023 年～現在	保健栄養学科 3 年次対象の栄養教育論実習Ⅱの実習を行った際、PowerPoint スライド(計 15 点、計 537 枚)を作成し、板書として使用した。実習の後にはスライドを見直し、変更や修正など更新を行った。
栄養教育論実習Ⅱの実習用配布資料	2023 年～現在	保健栄養学科 3 年次対象の栄養教育論実習Ⅱの実習を行った際、実習内容をまとめたプリント(A4、計 260 枚)を配布資料として作成した。実習の後にはスライドを見直し、変更や修正など更新を行った。
応用栄養学Ⅱの講義用 PowerPoint スライド	2023 年～現在	保健栄養学科 2 年次対象の応用栄養学Ⅱの講義を行った際、PowerPoint スライド(計 5 点、計 371 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など更新を行った。
応用栄養学Ⅱの講義用配布資料	2023 年～現在	保健栄養学科 2 年次対象の応用栄養学Ⅱの講義を行った際、授業内容をまとめたプリント(A4、計 44 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など更新を行った。

応用栄養学実習Ⅱの実習用 PowerPoint スライド	2023 年～現在	保健栄養学科 3 年次対象の応用栄養学実習Ⅱの実習を行った際、PowerPoint スライド(計 5 点、計 379 枚)を作成し、板書として使用した。実習の後にはスライドを見直し、変更や修正など更新を行った。
応用栄養学実習Ⅱの実習用配布資料	2023 年～現在	保健栄養学科 3 年次対象の応用栄養学実習Ⅱの実習を行った際、実習内容をまとめたプリント(A4、計 25 枚)を配布資料として作成した。実習の後にはスライドを見直し、変更や修正など更新を行った。
基礎栄養学実習の実習用 PowerPoint スライド	2023 年～現在	保健栄養学科 2 年次対象の基礎栄養学実習の実習を行った際、PowerPoint スライド(計 5 点、計 160 枚)を作成し、板書として使用した。実習の後にはスライドを見直し、変更や修正など更新を行った。
基礎栄養学実習の実習用配布資料	2023 年～現在	保健栄養学科 2 年次対象の基礎栄養学実習の実習を行った際、実習内容をまとめたプリント(A4、計 44 枚)を配布資料として作成した。実習の後にはスライドを見直し、変更や修正など更新を行った。
保健栄養学特講Ⅰの講義用 PowerPoint スライド	2023 年～現在	保健栄養学科 4 年次対象の保健栄養学特講Ⅰの講義を行った際、PowerPoint スライド(計 5 点、計 74 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など更新を行った。
保健栄養学特講Ⅰの講義用配布資料	2023 年～現在	保健栄養学科 2 年次対象の保健栄養学特講Ⅰの講義を行った際、授業内容をまとめたプリント(A4、計 156 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など更新を行った。
保健栄養学科における入学前課題の作成	2023 年	保健栄養学科において数学の範囲の入学前課題を作成した（A4、計 11 頁）
栄養教育論Ⅰの講義用 PowerPoint スライド	2022 年～現在	保健栄養学科 1 年次対象の栄養教育論Ⅰの講義を行った際、PowerPoint スライド(計 15 点、計 216 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など更新を行った。
栄養教育論Ⅰの講義用配布資料	2022 年～現在	保健栄養学科 1 年次対象の栄養教育論Ⅰの講義を行った際、授業内容をまとめたプリント(A4、計 58 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など更新を行った。
栄養教育論Ⅱの講義用 PowerPoint スライド	2022 年～現在	保健栄養学科 2 年次対象の栄養教育論Ⅱの講義を行った際、PowerPoint スライド(計 15 点、計 312 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など更新を行った。
栄養教育論Ⅱの講義用配布資料	2022 年～現在	保健栄養学科 2 年次対象の栄養教育論Ⅱの講義を行った際、授業

		内容をまとめたプリント(A4、計 100 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など更新を行った。
健康・栄養特講の講義用 PowerPoint スライド	2022 年～現在	保健栄養学科 4 年次対象の健康・栄養特講の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 1 点、計 71 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など更新を行った。
健康・栄養特講の講義用配布資料	2022 年～現在	保健栄養学科 2 年次対象の健康・栄養特講の講義を行った際、授業内容をまとめたプリント(A4、計 10 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など更新を行った。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
教育方法・教育実践に関する論文発表	2023 年	教育に関する論文を共著者(筆頭)として発表した。 「健康的食行動の実施促進に対する認知的要素の検討」 伊部陽子、布施泰子、渡邊雅彦、小松洋子、深谷美架、広津千尋、藤原和哉、曽根博仁　CAMPUS HEALTH 60(1)　P.114～P.116
教育方法・教育実践に関する学会発表	2022 年	教育に関して、筆頭演者(筆頭)として学会発表を行った。 「健康的食行動の実施促進に対する認知的要素の検討」 伊部陽子、布施泰子、渡邊雅彦、小松洋子、深谷美架、広津千尋、藤原和哉、曽根博仁　第 60 回全国大学保健管理研究集会（神奈川）
教育方法・教育実践に関する講演	2022 年	一般社団法人　全国歯科衛生士教育協議会の依頼を受け、歯科衛生士専任教員講習会Ⅳにおいて、歯科衛生士担当教員(約 60 名)を対象として「食育支援　コミュニケーション論」についての講演を行った。
教育方法・教育実践に関する著書	2021 年	教育に関する著書を共著者として発表した。 「学生・管理栄養士のための栄養教育論」丸山千寿子、赤松利恵、中村菜々子編；丸山千寿子、牟田真理子、赤松利恵、河嵜唯衣、藤崎香帆里、鹿内彩子、新保みさ、玉浦有紀、小島唯、伊部陽子、今村佳代子、亀山詞子、小島唯、中村菜々子、五十嵐友里、巣黒慎太郎、祓川摩有、岩本佳代子、斎野容子、菊池奈穂子著；文光堂　総頁数：192 頁
4　その他教育活動上特記すべき事項		
保健栄養学科における補習教育	2024 年～現在	保健栄養学科 1 年次対象の補習教育(数学 1 コマ担当)において、教育を行った。
保健栄養学科における入学前課題の作成	2023 年	入学予定者に対する保健栄養学科の入学前課題(数学)の作成を行った。総頁数：11 頁
保健栄養学科における国試チューター	2023 年～現在	保健栄養学科 4 年次対象の国試対策において、毎年 2～3 名程度の

		学生に対して教育を行った。

Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
2　特許		
3　その他職務上の実績に関する事項		
新潟大学大学院医歯学総合研究科(医学系)　客員研究員	2015 年～現在	
学術論文の査読(1 件)	2023 年	

Ⅲ　研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					
学生・管理栄養士のための栄養教育論	共著	2021 年 4 月	文光堂	【編者】丸山千寿子、赤松利恵、中村菜々子 【著者】丸山千寿子、牟田真理子、赤松利恵、河嵜唯衣、藤崎香帆里、鹿内彩子、新保みさ、玉浦有紀、小島唯、伊部陽子、今村佳代子、亀山詞子、小島唯、中村菜々子、五十嵐友里、巣黒慎太郎、祓川摩有、岩本佳代子、斎野容子、菊池奈穂子	総頁数：192 頁 執筆担当：第 3 章　栄養教育の進め方（P.63～P.69）
論文					

健康的食行動の実施促進に対する認知的要素の検討	共著 (筆頭)	2023 年 3 月	CAMPUS HEALTH 60(1)	伊部陽子、布施泰子、渡邊雅彦、曽根博仁、他	P.114～P.116
報告					
食育支援/コミュニケーション論 ― 青年期の栄養管理 大学生に対する栄養教育―	単著	2022 年 8 月	一般社団法人　全国歯科衛生士教育協議会	伊部陽子	総頁数：4 頁
学会発表					
健康的食行動の実施促進に対する認知的要因の検討	共著 (筆頭)	2022 年 10 月	第 60 回全国大学保健管理研究集会	伊部陽子、布施泰子、渡邊雅彦、曽根博仁、他	一般演題

Ⅳ　学会等および社会における主な活動
1　現在の所属学会
日本栄養改善学会 日本栄養士会 茨城県栄養士会 病態栄養学会 生活習慣病学会 日本栄養食糧学会
2　2020～2024 年度の学会での主な活動
茨城県栄養士会長表彰(2021 年)
3　2020～2024 年度の社会での主な活動
新潟大学大学院医歯学総合研究科(医学系) 客員研究員(2015 年～現在) 歯科衛生士専任教員講習会Ⅳ講師 (2022 年 8 月/対象:歯科衛生士専任教員) 日本歯科大学東京短期大学「健康科学」ゲストスピーカー(2019～2022 年/対象:大学生) 日本歯科大学東京短期大学専攻科「口腔保健指導法研究」ゲストスピーカー(2019～2022 年/対象:専攻科生)

所属　医療保健学部 学科　保健栄養学科	職名　講師	氏名　助川　宏子	学　位	博士（農学）
			国家資格	栄養士、管理栄養士

Ⅰ　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300字程度まで）		
食品学総論	2021年～現在	本授業は、保健栄養学科1年次生を対象に、管理栄養士に必要な食品の科学的な基礎知識を習得することを目的に授業を行った。科目責任者として全15コマを担当した。授業では、主要成分（水、炭水化物、脂質、たんぱく質、ビタミン、ミネラル）の構造・性質、成分変化、機能性、および食品成分表について、PowerPointと配布資料を用いて解説した。学生の理解促進のため、教科書の予習や用語調査を課題とし、授業後にはClassroomで詳細ポイントを掲示した。さらに、国家試験対策に繋がる復習シートの作成を義務付け、徹底的な復習を促した。成績評価は、予習・復習課題（50%）と中間・期末テスト（50%）で総合的に行い、知識の定着度を評価した。
食品学各論Ⅰ	2021年～現在	本授業は、保健栄養学科1年次生を対象に、「食品学総論」の基礎知識を土台として、個々の食品について深く理解することを目的に授業を行った。科目責任者として全15コマを担当した。授業では、植物性食品と動物性食品に分けて解説し、食品別の成分や栄養価、さらに食品成分表・食事摂取基準との関係を学習した。学生の理解を深めるため、書き込み式のワークシートを用いて重要ポイントを明確化した。ワークシートは復習課題と併せて提出を必須とした。成績評価は、予習・復習課題（50%）と中間・期末テスト（50%）で総合的に行い、知識の定着と応用力の習得度を評価した。
食品学各論Ⅱ	2021年～現在	本授業は、保健栄養学科2年次生を対象に、食品学各論Ⅰに続く個々の食品知識の深化と、食の安全性に関わる重要事項の習得を目的に授業を行った。科目責任者として全15コマを担当した。 授業では、成分抽出素材、でんぷん類、油脂類、調味料、嗜好飲料、調理加工食品に加え、健康・栄養に関する食品表示と官能検査を講義した。特に、栄養指導・献立作成に繋がる実践力の習得できるよう重要ポイントを明確化した書き込み式のワークシートを活用し、これを復習課題と併せて提出を必須とした。成績評価は、予習・復習課題(50%)

		と中間・期末テスト（50%）で総合的に行い、専門知識と実践的理解の達成度を評価した。
調理学	2022 年～現在	本授業は、保健栄養学科 1 年次生を対象に、調理過程で起きる現象を科学的に説明できる能力の習得を目的に授業を行った。科目責任者として全 15 コマを担当した。授業では、調理操作、調味料、器具などを科学的に講義し、その現象を実際の調理と結びつけながら解説した。調理中の変化を解明する力を養うため、その方法を各調理に応用できるよう、書き込み式のワークシートを用いて重要ポイントを明確化した。ワークシートは復習課題と併せて提出を必須とした。成績評価は、予習・復習課題（50%）と中間・期末テスト（50%）で総合的に行い、調理に関する科学的知識と、それを実践に応用する理解度の達成を評価した。
調理学実習 I	2023 年～現在	本実習は、保健栄養学科 1 年次生を対象に、調理学で学んだ科学的理論に基づき、調理の基礎技術を習得することを目的に授業を行った。科目責任者として全 15 コマを担当した。実習は 4 人/班で構成し、日本、西洋、中華料理の基本操作を視点に、「一回の食事」単位で実施した。一人分の適量や栄養バランス、おいしさを保ちつつ合理性・再現性を高める方法を指導し、実践と評価を通して調理の上達を図り、基礎技術の着実化を図った。成績評価は、予習（20%）、実習の過程と考察をまとめたレポート（50%）、および技術の習得度を測る実技テスト（30%）で総合的に行い、理論の理解と実践力の両面から評価した。
食品学実験	2023 年～現在	本授業は、保健栄養学科 3 年次生を対象に、「食品学総論・各論」で学んだ知識を定着させることを目的に授業を行った。科目責任者として全 15 コマを担当した。食品成分の定量法や鮮度・成分変化に関する実験を通じて、学生が知識の実践的な応用力を身につけられるよう指導した。また、毎回の実験で、計画・過程・結果をレポートにまとめることを課し、レポート作成の基礎的能力と、結果から論理的に考察する力の育成を目指した。成績評価は、毎回の実験に対する予習（20%）と、結果のまとめと考察を重視したレポート（80%）で総合的に行い、知識の定着度と論理的思考力の達成度を評価した。
「保健栄養学特講Ⅲ」（オムニバス）	2021 年～現在	本授業は、管理栄養士国家試験の合格を見据え、「食べ物と健康」分野（食品の安全性は除く）の知識を確実に応用できる能力の習得を目的に、2 コマを担当した。学生の知識定着と理解度の向上に繋がるよう、管理栄養士国家試験の過去問から厳選した問題に対し、図や詳細

		な解説を加えたオリジナル PowerPoint を作成・使用し、学生の知識定着を促した。成績評価は、国家試験形式のテストを通じて、学んだ知識を応用する力と、本番での得点力を直接的に測ることを目的として期末テスト（100%）で総合的に行った。
「健康・栄養特講」（オムニバス）	2021 年～現在	本授業は、管理栄養士国家試験の合格を見据え、「食べ物と健康」分野（食品の安全性は除く）の知識を確実に応用できる能力の習得を目的に、2 コマを担当した。学生の知識定着と理解度の向上に繋がるよう、管理栄養士国家試験過去問から選定したキーワードを記載した資料を作成し、学生に各自そのポイントを記入させることで、理解すべき内容を明確化し、主体的な学習を促した。成績評価は、国家試験形式のテストを通じて、学んだ知識を応用する力と、本番での得点力を直接的に測ることを目的として期末テスト（100%）で総合的に行った。
食品加工学	2022 年	本授業は、保健栄養学科の 4 年次生を対象に、食品加工における細かな情報や技術を習得することを目的に、科目責任者として全 15 コマを担当した。授業では、知識定着と国家試験対策を重視し、予習ワークを課し、授業冒頭で回答確認を行うとともに、国試過去問を解く機会を設けた。講義時には、加工の特徴や成分変化などの重要ポイントが明確になるよう、書き込み可能なイラストや図を用いた資料を使用した。さらに、授業後に抑えるべきポイントを Classroom に掲示し、学生が各自でノートまとめを行う復習課題とすることで、知識の整理を促した。成績評価は、予習・復習課題（50%）と中間・期末テスト（50%）で総合的に行い、知識の習得度を評価した。
食品加工学実習	2022 年	本授業は、保健栄養学科 4 年次生を対象に、実践的な食品加工技術の習得と SDGs を考慮した知識の定着を目的に、科目責任者として全 15 コマを担当した。実習では、小麦粉、肉類、魚類、大豆類などを用いた加工食品を実習し、調理学実験的な手法で記録を徹底させ、加工過程の変化を科学的に把握する力を養った。さらに、異なる食材で同一の加工品を作り栄養価を比較することで、喫食者の健康保持増進に役立つ応用的な工夫を実習させた。成績評価は、授業資料に基づき、加工原理、フローチャート、結果、考察を含むレポート課題（100%）で総合的に行った。
2　作成した教材（150 字程度まで）		
食品学総論（保健栄養学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2021 年～現在	保健栄養学科 1 年次生の食品学総論の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 15 点、計 687 枚)を作成し、板書として使用した。年度ごとにスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。

食品学総論（保健栄養学科対象）の予習ワークシート	2021 年～現在	保健栄養学科 1 年次生の食品学総論の予習として、授業に関する練習問題（A4,16～30 題/回）をクラスルームより配信し、講義初めに解答を確認した。年度ごとにワークシートを見直し、変更や修正など、更新を行った。
食品学総論（保健栄養学科対象）の講義中のワークシート	2024 年～現在	保健栄養学科 1 年次生の食品学総論の講義を行った際にポイントをまとめた書き込み式のワークシート（計 15 点、計 A4 両面、38 枚）を作成し、授中に使用した。年度ごとに変更や修正など、更新を行った。
食品学総論（保健栄養学科対象）の講義用配布資料	2021 年～現在	保健栄養学科 1 年次生の食品学総論の中間・期末テスト前に授業内容をまとめたプリント（A4 両面、計 12 枚）を配布資料として作成した。年度ごとにプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
食品学各論Ⅰ（保健栄養学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2021 年～現在	保健栄養学科 1 年次生の食品学各論Ⅰの講義を行った際、PowerPoint スライド(計 14 点、計 564 枚)を作成し、板書として使用した。年度ごとにスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
食品学各論Ⅰ（保健栄養学科対象）の予習ワークシート	2021 年～現在	保健栄養学科 1 年次生の食品学各論Ⅰの予習として、授業で取り上げる箇所の教科書を読み、理解しておく必要のあるキーワードをクラスルームより配信し、専用のシートに簡潔にまとめられる専用のシート作った（計 14 点、A4 計 14 枚）。年度ごとに変更や修正など、更新を行った。
食品学各論Ⅰ（保健栄養学科対象）の講義中のワークシート	2023 年～現在	保健栄養学科 1 年次生の食品学各論Ⅰの講義を行った際にポイントをまとめた書き込み式のワークシート（計 15 点、A4 両面 計 96 枚）を作成し、授業中に使用した。年度ごとに変更や修正など、更新を行った。
食品学各論Ⅰ（保健栄養学科対象）の講義用配布資料	2021 年～現在	保健栄養学科 1 年次生の食品学総論の中間・期末テスト前に授業内容をまとめたプリント（計 2 点、A4 両面　計 9 枚）を配布資料として作成した。年度ごとにプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
食品学各論Ⅱ（保健栄養学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2021 年～現在	保健栄養学科 2 年次生の食品学各論Ⅱの講義を行った際、PowerPoint スライド(計 15 点、計 633 枚)を作成し、板書として使用した。年度ごとにスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
食品学各論Ⅱ（保健栄養学科対象）の小テスト	2021 年～現在	保健栄養学科 2 年次生の食品学各論Ⅱの授業最初に前回の授業内容をコンパクトにまとめた小テスト（計 14 回、10 台/回）を作成した。年度ごとにプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
食品学各論Ⅱ（保健栄養学科対象）の講義用配布資料	2021 年～現在	保健栄養学科 2 年次生の食品学各論Ⅱの中間・期末テスト前に授業内容をまとめたプリント（A4 両面、計 8 枚）を配布資料として作成し

		た。年度ごとにプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
食品学各論Ⅱ（保健栄養学科対象）の予習ワークシート	2022 年～現在	保健栄養学科 2 年次生の食品学各論Ⅱの予習として、授業で取り上げる箇所の教科書を読み、理解しておく必要のあるキーワードをクラスルームより配信し、専用のシートに簡潔に纏めさせた（計 14 点、A4 計 14 枚）。年度ごとに変更や修正など、更新を行った。
食品学各論Ⅱ（保健栄養学科対象）の講義用のワークシート	2023 年～現在	保健栄養学科 2 年次生の食品学各論Ⅱの講義を行った際にポイントをまとめた書き込み式のワークシート（計 14 点、A4 両面 計 77 枚）を作成し、授業中に使用した。年度ごとに変更や修正など、更新を行った。
調理学（保健栄養学科対象）の講義時のワークシート	2023 年～現在	保健栄養学科 1 年次生の講義を行った際に予習課題と復習課題および授業ポイントをまとめた書き込み式のワークシート（計 14 点、A4 両面 計 150 枚）を作成し、授業中に使用した。年度ごとに変更や修正など、更新を行った。
調理学（保健栄養学科対象）の講義用の配布資料	2023 年～現在	保健栄養学科 2 年次生の食品学各論Ⅱの中間・期末テスト前に授業内容をまとめたプリント（A4 両面、計 28 枚）を配布資料として作成した。年度ごとにプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
調理学実習Ⅰ（保健栄養学科対象）の実習用配布資料	2023 年～現在	保健栄養学 1 年次生の調理学実習Ⅰの実習内容をまとめたプリント（A4 両面、計 26 枚）を配布資料として作成した。年度ごとにプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
調理学実習Ⅰ（保健栄養学科対象象）の実習課題シート	2023 年～現在	保健栄養学科 1 年次生を対象に調理実習のメニューの栄養価および調理手順や調理の出来映えを記載するためのエクセルシート（A4 両面、計 8 枚）を作成し、レポート課題とした。年度ごとにプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
食品学実験（保健栄養学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2023 年～現在	保健栄養学科 3 年次生の食品学実験の実習実験を行った際、PowerPoint スライド(計 15 点、計 275 枚)を作成し、板書として使用した。年度ごとにスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
食品学実験（保健栄養学科対象）の講義用配布資料	2023 年～現在	保健栄養学科 4 年次生の保健栄養学特講Ⅲで担当した「食べ物と健康」分野の講義に使用する PowerPoint スライド（計 2 点、合計 286 枚）を作成し、板書とした使用した。年度ごとにスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
「保健栄養学特講Ⅲ」（オムニバス）（保健栄養学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2022 年～現在	保健栄養学科 4 年次生の保健栄養学特講Ⅲで担当した「食べ物と健康」分野の講義に使用する PowerPoint スライド（計 2 点、合計 113 枚）を作成し、板書とした使用した。年度ごとにスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
「健康・栄養特講」（オムニバス）（保健栄養学科対象）の講義用	2021 年～現在	保健栄養学科 4 年次生の保健栄養学特講Ⅲで担当した「食べ物と健

PowerPoint スライド		康」分野の講義に使用する PowerPoint スライド（計 2 点、合計 286 枚）を作成し、板書とした使用した。年度ごとにスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
「健康・栄養特講」（オムニバス）（保健栄養学科対象）の講義用配布資料	2021 年～現在	保健栄養学科 4 年次生の保健栄養学特講Ⅲで担当した「食べ物と健康」分野の講義に配布し、各自自習するためのワークシートを作成配布した。年度ごとに見直し、変更や修正など、更新を行った。
食品加工学（保健栄養学科対象）講義用 PowerPoint スライド	2022 年	保健栄養学科 4 年次「保健栄養学特講Ⅲ」（「食べ物と健康」分野、計 2 回）を担当。286 枚のスライドに基づき、重要ポイントを穴埋め式にした資料を作成・配布し、授業中の能動的な理解定着を促した。
食品加工学（保健栄養学科対象）小テスト	2022 年	保健栄養学科 4 年次生の食品学各論Ⅱの授業最初に前回の授業内容をコンパクトにまとめた小テスト（計 15 回、A4　36 枚）を作成した。
食品加工学（保健栄養学科対象）講義用配布資料	2022 年	保健栄養学科 4 年次生の保健栄養学特講Ⅲで担当した「食べ物と健康」分野の講義に使用する PowerPoint スライド（計 2 点、合計 286 枚）を作成し、板書とした使用した。
食品加工学実習（保健栄養学科対象）の実習用配布資料	2022 年	保健栄養学科 4 年次生向けの「保健栄養学特講Ⅲ」において、「食べ物と健康」分野の講義を 2 回担当した。この講義では、合計 286 枚からなる PowerPoint スライド（計 2 点）を使用し、授業中に学生が自ら記入することで、講義内容の理解を深めることを目的として、その重要ポイントを穴埋め式にした資料を学生に配布した。
食品加工学実習（保健栄養学科対象象）の実習課題シート	2022 年	保健栄養学 4 年次生の食品加工学実習の実習内容をまとめたプリント（A4、計 76 枚）を配布資料として作成した。
国家試験直前講座の資料	2023 年～現在	保健栄養学科 4 年次生のうち国家試験を受験するものを対象とした国試直前講座の際に自主学習用資料として“これだけは抑えておきたい一文”（A4、両面、5 頁）を配布した。年度ごとに見直し、変更や修正など、更新を行った。
国試対策委員・アドバイザーの資料	2023 年～現在	保健栄養学科 4 年次生のうち国家試験を受験するものを対象として、模試や過去問を完結まとめ暗記できたかどうかチェックできるシート（A 4 両面、1 枚）、復習管理表（A3、1 枚）を作成した。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
特記なし		
4　その他教育活動上特記すべき事項		
保健栄養学科における卒業研究指導	2023 年	保健栄養学科 4 年次生対象の卒業研究「嗜好性を考慮したスプラウト玄米の調理方法の検討」において 2 名の学生に対して指導を行った。

初年次教育補習	2024 年～現在	保健栄養学科 1 年次生向け初年次補習教育において、有機化学の基礎知識習得を目的として 12 名の学生に対して授業を行った。
国試アドバイザー	2022 年～現在	保健栄養学科 4 年次生の管理栄養士国家試験対策として、対象学生 2 名に対して個別学習計画の策定と進捗管理に関する指導を実施した。
国家試対策補習・国試直前講習	2022 年～現在	保健栄養学科 4 年次生を対象とした管理栄養士国家試験対策講義において、学生 16～19 名に対し、「食べ物と健康」分野（食品安全を除く）の重要ポイント整理と過去問解説を担当した。
FD フォーラム報告会での報告	2022 年 3 月	2023 年度 FD フォーラム報告会において第 6 分科会「「ケア」に直面する学生を支えるために」について報告を行った。

Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
2　特許		
特願 2021-125796、特許　第 7626449 号 イネ発芽体、イネ発芽体、イネ発芽体の栽培方法、およびイネ発芽体の栽培装置	2025 年 1 月	粉川美踏、助川宏子、北村豊
3　その他職務上の実績に関する事項		

Ⅲ　研究活動					
著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					
論文					
Establishment of a cultivation method for sprouted browm rice and elucidation of its functional food characteristics	共著 (筆頭)	2021 年 1 月	Food Science and Technology Research Vol.27, No.3	Hiroko SUKEGAWA, Mito KOKAWA, Yutaka KITAMURA	341-349 頁

報告					
学会発表					
「嗜好性を考慮したスプラウト玄米の調理方法」の検討	共著 (筆頭)	2024 年 5 月	日本食生活学会	助川宏子、栗田園子、湯原なごみ、金森裕之	一般演題
スプラウト玄米の栽培方法の確立と食品としての機能特性の解明	共著 (筆頭)	2020 年 10 月	農業施設学会 秋季学生・若手研究発表会	助川宏子 粉川美踏、北村豊	オンライン ポスター発表（一般）

Ⅳ　学会等および社会における主な活動
1　現在の所属学会
日本食生活学会、メディカルライス協会、日本ＣＩ協会
2　2020～2024 年度の学会での主な活動
3　2020～2024 年度の社会での主な活動
笠間市「儲かる栗のアイディアレシピコンテスト」応募時の学生指導および自主応募(2024 年) 日本ハム食の未来財団「アレルギーレシピコンテスト」応募時の学生指導(2024 年) 一般社団法人　日本食関食品工業協会「インスタントラーメンオリジナル料理コンテスト」応募時の学生指導および自主応募(2024 年) 行方の食材を使った「行方レシピコンテスト」応募時の学生指導および自主応募(2024 年)

所属　医療保健学部 学科　保健栄養学科	職名　講師	氏名　古橋　千恵美	学　位	博士（生活科学）
			国家資格	栄養士、管理栄養士

Ⅰ　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
基礎栄養学総論	2020 年～現在	保健栄養学科 1 年生を対象に各種栄養素に関する基礎的な知識を学ぶ目的で講義を行った。15 コマすべての授業を担当した。講義では資料を配布し、配布資料に沿った PowerPoint 資料を用いて、栄養素とは、各種栄養素の化学構造、各種栄養素の働きについて解説した。成績は毎回実施する小テスト、期末試験および再試験により評価した。
基礎栄養学各論Ⅰ	2020 年～現在	保健栄養学科 1 年生を対象に 3 大栄養素の働きについて理解を深める目的で講義を行った。15 コマすべての授業を担当した。講義では資料を配布し、配布資料に沿った PowerPoint 資料を用いて、3 大栄養素の消化吸収、代謝、相互関係について説明した。成績は毎回実施する小テスト、期末試験および再試験により評価した。
基礎栄養学各論Ⅱ	2020 年～現在	保健栄養学科 2 年生を対象に 3 大栄養素以外の栄養素の働きについて理解を深める目的で講義を行った。15 コマすべての授業を担当した。講義では資料を配布し、配布資料に沿った PowerPoint 資料を用いて、ミネラル、ビタミン、非栄養成分の働き、疾病との関係、栄養と遺伝子について説明した。成績は毎回実施する小テスト、期末試験および再試験により評価した。
生化学Ⅰ	2020 年～現在	保健栄養学科 2 年生を対象に生体の構成成分、糖代謝、脂質代謝について理解を深める目的で講義を行った。15 コマすべての授業を担当した。講義では資料を配布し、配布資料に沿った PowerPoint 資料を用いて、生体構成成分の化学構造、酵素、解糖系など糖代謝、脂質の消化吸収など脂質代謝について説明した。成績は毎回実施する小テスト、期末試験および再試験により評価した。
生化学実験Ⅰ	2020 年～現在	保健栄養学科 2 年生を対象に実験の基礎知識をはじめとし、3 大栄養素の定性・定量実験を行った。15 コマすべての授業を担当した。講義では実験の手順等を記した資料を配布し、配布資料に沿った PowerPoint を資料用いて、定性実験、疑似血清を用いた定量実験の説明を行った。成績は提出されたレポートで評価した。

保健栄養学特講Ⅰ	2020 年～現在	保健栄養学科 4 年生を対象に国家試験対策として「基礎栄養学」分野の理解を深める目的で講義を行った。15 コマ中 5 コマの授業を担当した。講義では、3 大栄養素の代謝、ビタミン、ミネラル、水・電解質などについて問題演習形式で解答・解説を行った。成績は、期末試験および再試験により評価した。
保健栄養学特講Ⅲ	2020 年～現在	保健栄養学科 4 年生を対象に国家試験対策として「生化学」分野の理解を深める目的で講義を行った。10 コマ（1.5 コマ授業）中 1 コマを担当した。講義では、生化学分野の演習を行い解説を行った。成績は期末試験および再試験により評価した。
健康・栄養特講	2020 年～現在	保健栄養学科 4 年生を対象に国家試験対策として「生化学」「基礎栄養学」分野について統括的に理解する目的で講義を行った。15 コマ中 2 コマを担当した。講義では、「生化学」および「基礎栄養学」に関連する話題提供と演習を実施した。成績は期末試験および再試験により評価した。
生化学Ⅱ	2020～2022 年	保健栄養学科 2 年生を対象に脂質、たんぱく質代謝について理解を深める目的で講義を行った。15 コマすべての授業を担当した。講義では、資料を配布し、配布資料に沿った PowerPoint 資料を用いて、脂質代謝、たんぱく質代謝、ホルモン、ヌクレオチド遺伝子発現、生体防御などについて説明をした。成績は毎回実施している小テスト、期末試験および再試験により評価した。
食品機能学	2020～2022 年	保健栄養学科 3 年生を対象に、食品の機能性を食品学、栄養学、生化学的な観点からの理解を深める目的で講義を行った。15 コマすべての授業を担当した。講義では資料を配布し、配布資料に沿った PowerPoint 資料を用いて、機能性食品とは、抗酸化機能、消化吸収促進・阻害機能、脂質関連代謝機能などについて説明した。成績は毎回実施している小テスト、期末試験および再試験により評価した。
生化学実験Ⅱ	2020～2022 年	保健栄養学科 3 年生を対象に、核酸やたんぱく質の同定法について理解を深める目的で講義を行った。15 コマすべての授業を担当した。講義では実験の手順等を記した資料を配布し、配布資料に沿った PowerPoint 資料を用いて、DNA の抽出、たんぱく質の定量などの実験を行った。成績はレポートで評価した。
食品学実験	2020～2022 年	保健栄養学科 3 年生を対象に、食品成分表に記載されている一般成分の定量法などの理解を深める目的で講義を行った。15 コマすべての授業を担当した。講義では実験の手順等を記した資料を配布し、配布資料に沿った PowerPoint 資料を用いて、水分・灰分、糖、たんぱく

		質の定量実験、食品成分の変性、食品の鮮度などの実験を行った。成績はレポートで評価した。
応用栄養学Ⅲ	2020～2021 年	保健栄養学科 3 年生を対象に、特殊環境下における栄養補給、食事摂取基準について理解を深める目的で講義を行った。15 コマすべての授業を担当した。講義では資料を配布し、配布資料に沿った PowerPoint 資料を用いて、特殊環境下と栄養ケア、運動時の栄養、食事摂取基準などについて説明した。成績は毎回実施している小テスト、期末試験および再試験により評価した。
2　作成した教材（150 字程度まで）		
基礎栄養学総論（保健栄養学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2020 年～現在	保健栄養学科 1 年生を対象に行った講義にて、PowerPoint スライド（計 15 点）を作成し、板書として使用した。講義の後にスライドの内容を見直し、変更、修正を行った。
基礎栄養学総論（保健栄養学科対象）の講義用配布資料	2020 年～現在	保健栄養学科 1 年生を対象に行った講義にて、毎回 PowerPoint 資料に沿った配布資料、前回を振り返る小テストを作成した。講義の後に資料を見直し、変更、修正を行った。
基礎栄養学各論Ⅰ（保健栄養学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2020 年～現在	保健栄養学科 1 年生を対象に行った講義にて、PowerPoint スライド（計 15 点）を作成し、板書として使用した。講義の後にスライドの内容を見直し、変更、修正を行った。
基礎栄養学各論Ⅰ（保健栄養学科対象）の講義用配布資料	2020 年～現在	保健栄養学科 1 年生を対象に行った講義にて、毎回 PowerPoint 資料に沿った配布資料、前回を振り返る小テストを作成した。講義の後に資料を見直し、変更、修正を行った。
基礎栄養学各論Ⅱ（保健栄養学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2020 年～現在	保健栄養学科 2 年生を対象に行った講義にて、PowerPoint スライド（計 15 点）を作成し、板書として使用した。講義の後にスライドの内容を見直し、変更、修正を行った。
基礎栄養学各論Ⅱ（保健栄養学科対象）の講義用配布資料	2020 年～現在	保健栄養学科 2 年生を対象に行った講義にて、毎回 PowerPoint 資料に沿った配布資料、前回を振り返る小テストを作成した。講義の後に資料を見直し、変更、修正を行った。
生化学Ⅰ（保健栄養学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2020 年～現在	保健栄養学科 2 年生を対象に行った講義にて、PowerPoint スライド（計 15 点）を作成し、板書として使用した。講義の後にスライドの内容を見直し、変更、修正を行った。
生化学Ⅰ（保健栄養学科対象）の講義用配布資料	2020 年～現在	保健栄養学科 2 年生を対象に行った講義にて、毎回 PowerPoint 資料に沿った配布資料、代謝図の穴埋め資料、前回を振り返る小テストを作成した。講義の後に資料を見直し、変更、修正を行った。
生化学実験Ⅰ（保険栄養学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2020 年～現在	保健栄養学科 2 年生を対象に行った講義にて、PowerPoint スライド（計 15 点）を作成し、板書として使用した。講義の後にスライドの

		内容を見直し、変更、修正を行った。
生化学実験Ⅰ（保健栄養学科対象）の講義用配布資料	2020 年～現在	保健栄養学科 2 年生を対象に行った講義にて、毎回 PowerPoint 資料に沿った実験手引きを配布資料として作成した。講義の後に資料を見直し、変更、修正を行った。
保健栄養特講Ⅰ（保健栄養学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2020 年～現在	保健栄養学科 4 年生を対象に行った講義にて、PowerPoint スライド（計 5 点）を作成し、板書として使用した。講義の後にスライドの内容を見直し、変更、修正を行った。
保健栄養特講Ⅰ（保健栄養学科対象）の講義用配布資料	2020 年～現在	保健栄養学科 4 年生を対象に行った講義にて､演習問題を作成した。講義の後に資料を見直し、変更、修正を行った。
保健栄養特講Ⅲ（保健栄養学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2020 年～現在	保健栄養学科 4 年生を対象に行った講義にて、PowerPoint スライド（計 1 点）を作成し、板書として使用した。講義の後にスライドの内容を見直し、変更、修正を行った。
保健栄養特講Ⅲ（保健栄養学科対象）の講義用配布資料	2020 年～現在	保健栄養学科 4 年生を対象に行った講義にて、PowerPoint 資料に沿った配布資料を作成した。講義の後に資料を見直し、変更、修正を行った。
健康・栄養特講（保健栄養学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2020 年～現在	保健栄養学科 4 年生を対象に行った講義にて、PowerPoint スライド（計 2 点）を作成し、板書として使用した。講義の後にスライドの内容を見直し、変更、修正を行った。
健康・栄養特講（保健栄養学科対象）の講義用配布資料	2020 年～現在	保健栄養学科 4 年生を対象に行った講義にて､演習問題を作成した。講義の後に資料を見直し、変更、修正を行った。
生化学Ⅱ（保健栄養学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2020 年～2022 年	保健栄養学科 2 年生を対象に行った講義にて、PowerPoint スライド（計 15 点）を作成し、板書として使用した。講義の後にスライドの内容を見直し、変更、修正を行った。
生化学Ⅱ（保健栄養学科対象）の講義用配布資料	2020 年～2022 年	保健栄養学科 2 年生を対象に行った講義にて、毎回 PowerPoint 資料に沿った配布資料、前回を振り返る小テストを作成した。講義の後に資料を見直し、変更、修正を行った。
食品機能学（保健栄養学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2020 年～2022 年	保健栄養学科 3 年生を対象に行った講義にて、PowerPoint スライド（計 15 点）を作成し、板書として使用した。講義の後にスライドの内容を見直し、変更、修正を行った。
食品機能学（保健栄養学科対象）の講義用配布資料	2020 年～2022 年	保健栄養学科 3 年生を対象に行った講義にて、毎回 PowerPoint 資料に沿った配布資料、前回を振り返る小テストを作成した。講義の後に資料を見直し、変更、修正を行った。
生化学実験Ⅱ（保健栄養学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2020 年～2022 年	保健栄養学科 2 年生を対象に行った講義にて、PowerPoint スライド（計 15 点）を作成し、板書として使用した。講義の後にスライドの内容を見直し、変更、修正を行った。

生化学実験Ⅱ（保健栄養学科対象）の講義用配布資料	2020 年～2022 年	保健栄養学科 2 年生を対象に行った講義にて、毎回 PowerPoint 資料に沿った実験手引きを配布資料として作成した。講義の後に資料を見直し、変更、修正を行った。
食品学実験（保健栄養学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2020 年～2022 年	保健栄養学科 3 年生を対象に行った講義にて、PowerPoint スライド（計 15 点）を作成し、板書として使用した。講義の後にスライドの内容を見直し、変更、修正を行った。
食品学実験（保健栄養学科対象）の講義用配布資料	2020 年～2022 年	保健栄養学科 3 年生を対象に行った講義にて、毎回 PowerPoint 資料に沿った実験手引きを配布資料として作成した。講義の後に資料を見直し、変更、修正を行った。
応用栄養学Ⅲ（保健栄養学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2020 年～2022 年	保健栄養学科 3 年生を対象に行った講義にて、PowerPoint スライド（計 15 点）を作成し、板書として使用した。講義の後にスライドの内容を見直し、変更、修正を行った。
応用栄養学Ⅲ（保健栄養学科対象）の講義用配布資料	2020 年～2021 年	保健栄養学科 3 年生を対象に行った講義にて、毎回 PowerPoint 資料に沿った配布資料、前回を振り返る小テストを作成した。講義の後に資料を見直し、変更、修正を行った。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
4　その他教育活動上特記すべき事項		

Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
2　特許		
3　その他職務上の実績に関する事項		

Ⅲ　研究活動

著書・論文等の名称	単著・	発行または	発行所、発表雑誌	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演

	共著等の別	発表の年月（西暦）	（及び巻・号数）等の名称		題種等
著書					
論文					
Barley consumption under a high-fat diet suppresses lipogenic genes through altered intestinal bile acid composition	共著	2023 年 12 月	The Journal of Nutritional Biochemistry 125 巻	Kento Mio , Naoko Iida-Tanaka , Marina Togo-Ohno , Natsuki Tadenuma , Chiemi Yamanaka , Seiichiro Aoe	P109547
A single administration of barley ß-glucan and arabinoxylan extracts reduces blood glucose levels at the second meal via intestinal fermentation	共著	2022 年 10 月	Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry 87 巻	Kento Mio , Marina Togo-Ohno, Natsuki Tadenuma, Reina Ogawa, Chiemi Yamanaka, and Seiichiro Aoe	P99-107
Consumption of barley flour increases gut fermentation and improves glucose intolerance *via* the short-chain fatty acid receptor GPR43 in obese male mice	共著	2022 年 10 月	Food Function 13 巻	Kento Mio, Naoko Iida-Tanaka, Chiemi Yamanaka, Ikuo Kimura and Seiichiro Aoe	P 10970- 10980
Microarray Analysis of Paramylon, Isolated from Euglena Gracilis EOD-1, and Its Effects on Lipid Metabolism in the Ileum and Liver in Diet-Induced Obese Mice	共著	2021 年 9 月	Nutrients 13 巻	Seiichiro Aoe, Chiemi Yamanaka and Kento Mio	総項数 13
Effects of daily kelp (*Laminaria japonica*)	共著	2021 年 7 月	Mar. Drugs 19 巻	Seiichiro Aoe, Chiemi Yamanaka, Hirofumi Ohtoshi, Fumiko Nakamura, Suguru Fujiwara	352

intake on body composition, serum lipid levels, and thyroid hormone levels in healthy Japanese adults: A randomized, double-blind study					
Low molecular weight barley ß-glucan affects glucose and lipid metabolism by prebiotic effects	共著	2020 年 12 月	Nutrients 13 巻	Seiichiro Aoe, Kento Mio, Chiemi Yamanaka, Takao Kuge	130
Effects of ß-glucan rich barley flour on glucose and lipid metabolism in the ileum, liver, and adipose tissues of high-fat diet induced-obesity model male mice analyzed by DNA microarray	共著	2020 年 11 月	Nutrients 12 巻	Kento Mio, Chiemi Yamanaka, Tsubasa Matsuoka, Toshiki Kobayashi, Seiichiro Aoe	3546
Effects of barley ß-glucan with various molecular weights partially hydrolyzed by endogenous ß-glucanase on glucose tolerance and lipid metabolism in mice	共著	2020 年 5 月	Cereal Chemistry 5 巻	Kento Mio, Chiemi Yamanaka, Yasunori Ichinose, Noriko Kohyama, Kozo Komae, Takashi Yanagisawa, Seiichiro Aoe	97
報告					
学会発表					
Ⅳ　学会等および社会における主な活動					
1　現在の所属学会					
日本栄養・食糧学会					

2　2020～2024 年度の学会での主な活動
3　2020～2024 年度の社会での主な活動

所属　医療保健学部 学科　保健栄養学科	職名　講師	氏名　山邊　志都子	学　位	修士（栄養科学）
			国家資格	管理栄養士

Ⅰ　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
臨床栄養学実習Ⅰ	2023 年～現在	保健栄養学科の 3 年生を対象に、治療の一環として臨床栄養学の観点から病院食や栄養指導のカウンセリングの実際を学び、傷病者に適した栄養管理方法を習得することを目的に授業を実施した。科目責任者として、1.5 コマ×15 回（合計 22.5 コマ）の全ての授業を担当した。授業では、教科書、作成した PowerPoint スライド、配布したプリントを用い、医療機関で働く管理栄養士に必要な病院食の基本的な概要や事務管理、治療食管理（献立作成、調理）、チーム医療、栄養ケアプランの実施に向けた栄養補給法などの栄養管理について実習を行った。成績は、課題（毎回の授業で実施）、期末試験および再試験によって評価した。
臨床栄養学実習Ⅱ	2022 年～現在	保健栄養学科 3 年次生を対象に、チーム医療の一員として傷病者の病態や栄養状態の特徴に基づいて、適切な栄養ケアマネージメントが行える実践能力を身に付けることを目的に授業を行った。科目責任者として 1.5 コマ×15 回（22.5 コマ）すべての授業を担当した。授業は、教科書、作成した PowerPoint スライド、配布プリントを使用し、適切な栄養管理を行うための専門的な知識とスキルを基に、疾患別にアセスメントを実施して栄養ケアプランを作成する。また、診療録の読み取りや情報収集、報告書の記述方法などを学び、医療従事者としての役割を理解できるように実習を行った。成績は、課題（毎回の授業で実施）、期末試験および再試験により評価した。
臨床栄養管理学	2023 年～現在	保健栄養学科 3 年次生を対象に、臨床栄養学で学んだ知識を医療・保健・福祉の現場で実践的に応用できる程度まで理解することを目的に講義を行った。科目責任者として 15 コマすべての講義を担当した。授業は、教科書、作成した PowerPoint スライド、配布プリントを使用し、治療食に関する医療保険制度を把握し、チーム医療の中で傷病者の身体状況，病態，摂食状況，栄養状態，薬剤の服用状況など、さらに生活環境なども考慮した栄養アセスメントを行い、栄養補給，栄養ケア，栄養教育などの栄養マネジメントがより具体的に実践できる

		よう、知識と技術の基本について実習した。成績は、課題（毎回の授業で実施）、期末試験および再試験により評価した。
基礎栄養学実習	2023 年～現	保健栄養学科 2 年次生を対象に、管理栄養士に必要な給食管理スキル、献立作成スキル、栄養価計算スキルの向上を目的に演習を行った。科目分担者として 22.5 コマ中 7.5 コマの授業を担当した。授業は、担当した栄養価計算スキルに関して、教科書、作成した PowerPoint スライド、配布プリントを使用し、献立作成の実践でとして、教材の調理カードを利用して献立のイメージを作り、食品構成表を基に 1 日 3 食の献立を作成する方法を習得することができるように演習を行った。成績は、毎回の課題、期末試験および再試験により科目責任者 1 名と科目分担者 2 名で評価した。
応用栄養学Ⅱ	2023 年～現在	保健栄養学科 2 年次生を対象に、各ライフステージ（思春期、成人期、閉経期、高齢期）の栄養マネジメントを理解し、管理栄養士として食事評価ができる知識を習得する目的として講義を行った。科目分担者として 15 コマ中 5 コマの授業を担当した。授業は、教科書、作成した PowerPoint スライド、配布プリントを使用し、成人・更年期であり、国民健康・栄養調査の結果を基に、現在の問題点を明確にし、その改善方法について説明し、最終日には症例検討ができるように講義を行った。成績は、毎回の課題、期末試験および再試験により科目責任者 1 名と科目分担者 2 名で評価した。
応用栄養学実習Ⅱ	2023 年～現在	保健栄養学科 2 年次生を対象に、思春期、成人期、閉経期および高齢期の特性に応じた栄養アセスメントの方法を学び、各ライフステージに応じた栄養ケアの在り方について、演習・調理実習を通して学ぶこと目的とした。科目分担者として 22.5 コマ中 7.5 コマの授業を担当した。授業は、担当した壮年期について、教科書、作成した PowerPoint スライド、配布プリントを使用し、壮年期特有の健康に関する課題に対する栄養管理方法を学ぶことで症例検討を行えるように実習を行った。また、骨粗しょう症についてカルシウムなど栄養成分に留意した献立で調理実習も行った。成績は、毎回の課題、期末試験および再試験により科目責任者 1 名と科目分担者 2 名で評価した。
健康づくりの運動処方演習	2022 年～現在	保健栄養学科 4 年次生を対象に、個々に適した健康づくりのための運動と栄養管理に関する知識を習得することを目的に授業を行った。科目責任者として 15 コマすべての授業を担当した。授業は、作成した PowerPoint スライド、配布プリントを使用し、厚生労働省が推進している健康づくりのための身体活動・運動分野の取り組みや健康日本 21

		を十分に理解した上で、予防医学に貢献できる栄養管理に配慮した運動処方を作成することができる管理栄養士となるために授業を行った。グループでの症例検討とスライドを用いた発表、個々の肥満症の症例に対する栄養管理と運動処方のプランに関するレポートを課し、レポートの内容で成績を評価した。
臨地実習総合演習Ⅱ	2022 年～現在	保健栄養学科 3 年次生を対象に、臨地実習Ⅲ（臨床栄養）を理解し、目的をもって取り組めるように、病院における管理栄養士の役割やチーム医療の一員としての関わり学ぶことを目的に授業を行った。科目責任者として 15 コマすべての授業を担当した。授業は、作成した PowerPoint スライド、配布プリントを使用し、病院における管理栄養士の役割や実習内容の概要を理解するために授業を行った。事前学習では自主研究を行うための基礎知識を整理し、事後学習では自主研究に関するレポートを課し、また、スライドを作成し報告会を実施した。成績は、自主研究のレポートおよび報告会の内容に基づいて評価した。
臨地実習Ⅲ（医療施設での実習）	2022 年～現在	保健栄養学科の 3 年生を対象に、課題の発見（気づき）と解決を通じて、栄養評価・判定に基づく適切なマネジメントに必要な専門的知識と技術を総合的に習得することを目的とした実習である。この実習は 10 日間、合計 90 時間にわたり行われ、科目責任者が実習中の学生の管理と指導を担当した。また、実習期間中にはすべての医療施設に対して巡回指導を実施した。成績は、医療施設の実習担当管理栄養士による評価、臨地実習書、及び自主研究に関するレポートを基に評価した。
チーム医療論（保健栄養学科）	2023 年～現在	保健栄養学科 3 年次生を対象に、チーム医療の必要性と意義を理解する目的で講義を行った。科目分担者として 15 コマ中 2 コマの授業を担当した。授業は、作成した PowerPoint スライド、配布プリントを使用し、医療施設における管理栄養士の業務（給食・臨床）についての理解を深めることを目的とし、具体的な臨床業務である栄養ケアと栄養マネジメントの実際、さらにチーム医療における栄養サポートチームの役割を説明するために、実際の介入症例を用いて講義を行った。成績は科目の科目責任者によって評価された。
チーム医療論（看護学科、理学療法学科、診察放射線学科、臨床検査学科、医療技術学科）	2023 年～現在	看護学科、理学療法学科、診察放射線学科、臨床検査学科、医療技術学科の 3 年生を対象に、医療専門職としての管理栄養士の業務とチーム医療における役割についての理解を深めることを目的として講義を行った。科目分担者として各学科 15 コマ中 1 コマを担当した。授業は、作成した PowerPoint スライド、配布プリントを使用し、管理

		栄養士と医療施設における業務を学び、チーム医療での栄養管理の重要性に対する理解を得るために、講義を行った。また、実際に栄養サポートチームが介入した、各学科に適した症例を紹介した。成績は各学科の科目責任者により評価された。
内部障害理学療法治療学	2024 年	理学療法学科 2 年次生を対象に内部障害理学療法治療学の治療方法としての栄養管理について学び、実践できることを目的に講義を行った。科目分担者として 30 コマ中 2 コマの授業を担当した。授業は、作成した PowerPoint スライド、配布プリントを使用し、慢性閉塞性肺疾患（Chronic Obstructive Pulmonary Disease：COPD）における病態における栄養管理方法の手順について理解し、症例に対する栄養介入方法を検討できるように講義を行った。成績は栄養管理方法に関する課題を設定し、担当の 2 コマについて評価した。科目としての成績は科目担当責任者により評価された。
2　作成した教材（150 字程度まで）		
臨床栄養学実習Ⅰ	2023 年～現在	保健栄養学科 3 年次生を対象の臨床栄養学実習Ⅰの授業を行った際、PowerPoint スライド（計 11 本、計 511 枚）を作成し、板書として使用した。授業の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
臨床栄養学実習Ⅱ	2022 年～現在	保健栄養学科 3 年次生を対象の臨床栄養学実習Ⅱの授業を行った際、PowerPoint スライド（計 14 本、計 1093 枚）を作成し、板書として使用した。授業の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
臨床栄養管理学	2023 年～現在	保健栄養学科 3 年次生を対象の臨床栄養管理学の講義を行った際、PowerPoint スライド（計 14 本、計 1093 枚）を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
基礎栄養学実習	2023 年～現在	保健栄養学科 3 年次生を対象の臨床栄養学実習Ⅱの授業を行った際、PowerPoint スライド（計 14 本、計 818 枚）を作成し、板書として使用した。授業の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
応用栄養学Ⅱ	2023 年～現在	保健栄養学科 3 年次生を対象の応用栄養学Ⅱの講義を行った際、PowerPoint スライド（計 5 本、計 259 枚）を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
応用栄養学実習Ⅱ	2023 年～現在	保健栄養学科 3 年次生を対象の応用栄養学実習Ⅱの授業を行った

		際、PowerPoint スライド（計 3 本、計 168 枚）を作成し、板書として使用した。授業の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
健康づくりの運動処方演習	2022 年～現在	保健栄養学科 3 年次生を対象の健康づくりの運動処方演習の授業を行った際、PowerPoint スライド（計 6 本、計 317 枚）を作成し、板書として使用した。授業の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
臨地実習総合演習Ⅱ	2022 年～現在	保健栄養学科 3 年次生を対象の臨地実習総合演習Ⅱの授業を行った際、PowerPoint スライド（計 10 本、計 306 枚）を作成し、板書として使用した。授業の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
チーム医療論（保健栄養学科）	2023 年～現在	保健栄養学科 3 年次生を対象のチーム医療論の講義を行った際、PowerPoint スライド（計 2 本、計 108 枚）を作成し、板書として使用した。授業の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
チーム医療論（看護学科、理学療法学科、診察放射線学科、臨床検査学科、医療技術学科）	2023 年～現在	看護学科、理学療法学科、診察放射線学科、臨床検査学科、医療技術学科の 3 年生を対象のチーム医療論の講義を行った際、PowerPoint スライド（計 5 本、計 504 枚）を作成し、板書として使用した。授業の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
内部障害理学療法治療学	2024 年～現在	理学療法学科 2 年次生を対象の内部障害理学療法治療学の講義を行った際、PowerPoint スライド（計 1 本、計 119 枚）を作成し、板書として使用した。授業の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
4　その他教育活動上特記すべき事項		
保健栄養学科における病院実習指導	2022 年～現在	保健栄養学科 3 年次生の病院実習において、全学生に対して指導を行った。
臨床検査学科における夏期講習の講義（臨床栄養学）	2024 年 8 月	臨床検査学科 4 年次生に対して、2024 年に国家試験対策を目的に講義を行った。夏期講習の科目分担者として 2 コマの講義を担当した。作成した PowerPoint スライド、配布プリントを使用し、栄養学の基礎と臨床における栄養管理について講義を行った。講義を行った際、PowerPoint スライド（計 2 本、計 163 枚）を作成し、板書として使用した。授業の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行

		った。

Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
2　特許		
3　その他職務上の実績に関する事項		

Ⅲ　研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					
論文					
一般病院における管理栄養士の病棟配置体制が入院時の体重減少抑制に及ぼす影響	共著	2022 年 5 月	日本臨床栄養学会誌 44 巻 2 号	本川佳子, 須永将広, 宮崎純一, 徳丸季聡, 石岡拓得, 山邊志都子, 宮島功, 伴野広幸, 阿部克幸, 畠山桂吾, 田口佳和, 金井一人, 石川史明, 林 衛, 藤原太樹, 鈴木克麻, 原純也	p85-89
Arctium lappa Lam. and Its Related Lignans Improve Hyperglycemia and Dyslipidemia in Diabetic Rodent Models: A Systematic Review and Meta-Analysis.	共著	2022 年 11 月	Nutraceuticals　2 巻 4 号	Watanabe S, Yamabe S, Shimada M.	p 335-349
Moringa oleifera Lam. in Diabetes Mellitus: A Systematic Review and Meta-	共著	2021 年 6 月	Molecules　26 巻 12 号 3513	Watanabe S, Yamabe S, Shimada M.	p 1-18

Analysis.					
当院の NST 介入の成果および予後不良因子との関連 （査読付き）	共著	2020 年 5 月	外科と代謝・栄養　54 巻 4 号	風間義弘，菅野恵子，石川史明，山邊志都子，松島祥子，金子まなぶ，三島明子，清水里紗，桑原麻樹，樋口晶	p 206-210
報告					
ヘルスケア・レストラン特集 病棟と厨房の連携を急げ 「with コロナ」の栄養業務 〈特別対談〉コロナ禍での経験を踏まえ栄養管理と給食管理を考える	共著	2022 年 1 月	日本医療企画 ヘルスケア・レストラン 第 30 巻　第 2 号 （通巻 343 号）	西村和弘、山邊志都子	総頁数：4 頁
特集　人生最期の食を支援する 「急性期緩和ケア病棟における栄養ケア・マネジメント」	単著	2021 年 10 月	公益社団法人　日本栄養士会 日本栄養士会雑誌 第 64 巻　第 10 号 （通巻第 806 号）	山邊志都子	総頁数：2 頁
特集　医療における乳酸菌応用の新展開「救急の現場での臨床応用」	単著	2021 年 9 月	医歯薬出版株式会社 臨床栄養 第 139 巻 第 3 号（通巻 953 号）	山邊志都子	総頁数：5 頁
特集　となりの施設はどうしている？　給食管理業務と栄養管理業務の両立と連携 ２．日本赤十字社医療センター	単著	2020 年 12 月	MC メディカ出版 Nutrition Care ニュートリションケア 第 13 巻　第 12 号 （通巻 165 号）	山邊志都子	総頁数：5 頁
栄養経営特集 Case3　新型コロナウイルス感染症対策における日本赤十字社医療センター栄養部門の取り組み	単著	2020 年 11 月	日本医療企画 栄養経営エキスパート 第 5 巻　第 6 号（通巻 28 号）	山邊志都子	総頁数：2 頁
栄養経営特集 「早期経腸栄養を実践しよう」 早期栄養介入　特別鼎談 超急性期の重症患者の治療に貢献　再入院させないための栄養	共著	2020 年 5 月	日本医療企画 ヘルスケア・レストラン 第 28 巻　第 5 号 （通巻 322 号）	青山道子，石川文明， 山邊志都子	総頁数：6 頁

管理を実践しよう					
学会発表					
「周産期における小児栄養学の課題」妊娠中の栄養と食生活	単著	2025 年 2 月	第 40 回日本栄養治療学会学術集会（横浜）	山邊志都子	ワークショップ
L-カルニチンの補給が 2 型糖尿病患者の糖代謝に与える影響に関する検討；メタアナリシス	共著	2023 年 11 月	第 45 回日本臨床栄養学会総会（大阪）	山邊志都子，渡邉詩帆莉，嶋田 昌子	一般演題
当センターの急性期経腸栄養プロトコルが COVID-19 を機に大きく変化するまでの経緯と今後	共著	2021 年 11 月	第 49 回日本救急医学会総会・学術集会（東京）	山邊志都子，山下智幸，戸塚　亮，諸岡 真道，牧 賢郎，山下 颯太，鷺坂 彰吾，乃美　証，深田 卓也，諸江 雄太，林　宗博	一般演題
糖尿病動物におけるゴボウ抽出物の効果に関するメタ解析	共著	2021 年 10 月	第 43 回日本臨床学会総会・第 42 日本臨床栄養協会　第 19 回大連合大会　Web	渡邉詩帆莉，山邊志都子，島田昌子	一般演題
「Evidence Based Nutrition ～コロナ禍における攻めの栄養戦略～」重症 COVID-19 肺炎における急性期の経腸栄養管理とプロトコル	単著	2021 年 7 月	第 36 回日本臨床栄養代謝学会学術集会（日本静脈経腸栄養学会学術集会）（神戸）Web	山邊志都子	シンポジウム
「必要な PEG/PTEG が必要な時に行われるための課題と工夫」PEG256 例の予後および関連する因子についての検討≪パネルディスカッション≫	共著	2021 年 7 月	第 36 回日本臨床栄養代謝学会学術集会（日本静脈経腸栄養学会学術集会）（神戸）Web	風間義弘，石川史明，山邊志都子，松島祥子，金子まなぶ，三島明子，清水里紗，桑原麻樹，樋口晶，菅野恵子	一般演題
救急 ICU における経腸栄養プロトコルの適正な運用に向けた管理栄養士の取り組み	共著	2021 年 7 月	第 36 回日本臨床栄養代謝学会学術集会（日本静脈経腸栄養学会学術集会）（神戸）Web	山邊志都子，石川史明，松島祥子，山下智幸，乃美　証，鷺坂彰吾，林　宗博，桑原麻樹，風間義弘	一般演題
特定集中治療室における早期経腸栄養介入管理加算開始前後の栄養リハビリテーション管理への影響	共著	2021 年 7 月	第 36 回日本臨床栄養代謝学会学術集会（日本静脈経腸栄養学会学術集会）（神戸）Web	石川史明，松島祥子，山邊志都子，安藤慧二，青山道子，元田敦子，風間義弘，齋藤　豊	一般演題
新生児未熟児における低亜鉛血	共著	2021 年 7 月	第 36 回日本臨床栄養代謝学会	桑原麻樹，菅野恵子，石	要望演題

症の臨床判断値および基準値について			学術集会（日本静脈経腸栄養学会学術集会）（神戸）Web	川史明，山邊志都子，清水里紗，三島明子，前原緑，金子まなぶ，風間義弘	
「栄養評価（GLIM を含む）1」当院におけるブレーデンスケールと血清アルブミン値を組み合わせた NST 対象患者抽出方法の評価	共著	2021 年 7 月	第 36 回日本臨床栄養代謝学会学術集会（日本静脈経腸栄養学会学術集会）（神戸）Web	松島祥子，石川史明，山邊志都子，三島明子，金子まなぶ，清水里紗，桑原麻樹，樋口　晶，風間義弘	要望演題
当センターの脳卒中超急性期に対する早期経腸栄養の問題点と対策	共著	2021 年 6 月	第 24 回日本臨床救急医学会総会・学術集会　Web	山本友花，山邊志都子，山下智幸，鷺坂彰吾，乃美　証、金子賢人，諸江雄太，林　宗博	一般演題
総合健康（人間ドック）における生活習慣病の食事・栄養指導のポイント　～なかなか行動変更できない受信者へのアプローチ方法　－コンピュータシステムと栄養指導の質－≪シンポジウム≫	単著	2021 年 2～3 月	日本総合検診医学会 第 49 回大会　Web	山邊志都子	シンポジウム
重症 COVID-19 肺炎における経腸栄養管理の検証	共著	2020 年 11 月	第 48 回日本救急医学会総会・学術集会（岐阜）Web	山邊志都子，山下智幸，乃美　証，鷺坂彰吾，牧賢郎，近藤祐史，林　宗博	一般演題
救急科における終末期医療カンファレンスに管理栄養士が参加すること	共著	2020 年 8 月	第 23 回日本臨床救急医学会総会・学術集会　Web	山邊志都子，山本友花，金子賢人，西村康孝，大浦美穂，山下智幸，鷺坂彰吾，乃美　証、林　宗博	一般演題
当院の脳卒中における経腸栄養管理の現状	共著	2020 年 8 月	第 23 回日本臨床救急医学会総会・学術集会　Web	山本友花，山邊志都子，山下智幸，鷺坂彰吾，乃美　証、諸岡真道，近藤祐史，林　宗博	一般演題
栄養指導依頼から見えた肝胆膵外科の手術既往患者における栄	共著	2020 年 7 月	第 35 回日本臨床栄養代謝学会学術集会（日本静脈経腸栄養学	山邊志都子，高本健史，松島祥子，松原抄苗，石	一般演題

養管理の問題点			会学術集会） Web	川史明，和田亜美，宮田明典，橋本拓哉，三島明子，桑原麻樹，風間義弘	
ICU における菅理栄養士の病棟配置の検討：人口呼吸器患者に対する病棟業務にかかる時間からの分析	共著	2020 年 7 月	第 35 回日本臨床栄養代謝学会学術集会（日本静脈経腸栄養学会学術集会） Web	石川史明，山邊志都子，齋藤 豊	一般演題
膵頭十二指腸切除術における術前 CONUT 値と術後中長期的な脂肪・骨格筋量減少の検討	共著	2020 年 7 月	第 35 回日本臨床栄養代謝学会学術集会（日本静脈経腸栄養学会学術集会） Web	和田亜美，高本健史，山邊志都子，五嶋 翼，風間義弘，宮田明典，島田恵，丸山嘉一，幕内雅敏	一般演題
新生児未熟児における血清亜鉛値基準表作成の試み	共著	2020 年 7 月	第 35 回日本臨床栄養代謝学会学術集会（日本静脈経腸栄養学会学術集会） Web	桑原麻樹，菅野恵子，風間義弘，山邊志都子，石川史明，清水里紗，三島明子，前原 緑，金子まなぶ，酒井敬介	一般演題
嚥下評価後の安定した経口摂取に影響を与える要因についての検討	共著	2020 年 7 月	第 35 回日本臨床栄養代謝学会学術集会（日本静脈経腸栄養学会学術集会） Web	樋口 晶，山田康江，石川史明，長谷川由美，山邊志都子，松島祥子，三島明子，桑原麻樹，清水里紗，風間義弘	一般演題
重症腹膜炎に対する早期経腸栄養の安全性と治療結果	共著	2020 年 7 月	第 35 回日本臨床栄養代謝学会学術集会（日本静脈経腸栄養学会学術集会） Web	天野隆皓，石川史明，加藤岳晴，田中 遥，和田亜美，五嶋 翼，吉田拓也，山邊志都子，三島明子，松島祥子，金子まなぶ，桑原麻樹，赤井隆司，豊島 明，佐々木槇	一般演題
当院の NST の現状と予後不良患者との関連について	共著	2020 年 7 月	第 35 回日本臨床栄養代謝学会学術集会（日本静脈経腸栄養学会学術集会） Web	風間義弘，石川史明，山邊志都子，金子まなぶ，三島明子，清水里紗，桑原麻樹，樋口 晶	一般演題
「集中医療における栄養管理～	共著	2020 年 7 月	第 35 回日本臨床栄養代謝学会	石川史明，山邊志都子，	パネルディスカッション

管理栄養士が現場でできること～」 管理栄養士の栄養モニタリング頻度と栄養充足率の関連≪栄養士・管理栄養士部会パネルディスカッション≫"			学術集会（日本静脈経腸栄養学会学術集会）　Web	安藤慧二，元田敦子，天野隆皓，風間義弘，齋藤豊	

Ⅳ　学会等および社会における主な活動
1　現在の所属学会
日本臨床栄養学会 日本栄養治療学会 日本病態栄養学会 日本アミノ酸学会 日本救急医学会 日本災害食学会
2　2020～2024 年度の学会での主な活動
3　2020～2024 年度の社会での主な活動

診療放射線学科

所属　医療保健学部 学科　診療放射線学科	職名　教授	氏名　大越　教夫	学　位	医学博士
			国家資格	医師

Ⅰ　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
臨床医学概論	2019 年～現在	診療放射線学科 2 年次生を対象に臨床医学全般について理解を深める目的で講義を行った。科目責任者として 15 コマすべての授業を担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、各臓器別の疾患の原因、病態、臨床症状、検査所見、診断、治療について解説した。また国家試験問題の理解を深めるため過去 10 年間分を演習問題として活用した。成績は、期末試験および再試験により評価した。
病理学	2021 年～現在	診療放射線学科 2 年次生を対象に臨床医学の基礎となる病因、病態について理解を深める目的で講義を行った。科目責任者として 15 コマ中 8 コマの授業を担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、病理学の中で人体の各臓器別の症候および病態メカニズムについて解説した。成績は、期末試験および再試験により評価した。
病態学	2019 年～現在	臨床検査学科 2 年次生を対象に臨床医学の病態について理解を深める目的で講義を行った。科目責任者として 15 コマすべての授業を担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、各臓器別の疾患の原因、病態、臨床症状、検査所見、診断、治療について解説した。また国家試験問題の理解を深めるため過去 10 年間分を演習問題として活用した。成績は、期末試験および再試験により評価した。
病態・治療論 I	2019 年～現在	看護学科 1 年次生を対象に臨床医学全般について理解を深める目的で講義を行った。科目責任者として 30 コマ中 15 コマの内科系疾患の授業を担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、各臓器別の内科疾患の原因、病態、臨床症状、検査所見、診断、治療について解説した。また国家試験問題の理解を深めるため過去 10 年間分を演習問題として活用した。成績は、期末試験および再試験により評価した。

精神医学	2024 年	理学療法学科 2 年次生を対象に精神医学全般について理解を深める目的で講義を行った。科目責任者として 15 コマ中 12 コマの授業を担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、各種精神疾患の原因・病態、臨床症状、検査所見、診断、治療について解説した。また国家試験問題の理解を深めるため過去 10 年間分を演習問題として活用した。成績は、期末試験および再試験により評価した。
生命倫理	2019 年～現在	診療放射線学科 1 年次生を対象に臨床に役立つ生命の倫理的側面について理解を深める目的で講義を行った。科目責任者として 15 コマ中 6 コマの授業を担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、総論、歴史、生命の尊厳、難病・がんなどの末期医療、安楽死、医療事故、薬害、環境倫理、研究倫理などのテーマについて解説した。成績は、期末試験により評価した。
生命倫理	2019 年～現在	臨床検査学科 1 年次生を対象に臨床に役立つ生命の倫理的側面について理解を深める目的で講義を行った。15 コマ中 6 コマの授業を担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、総論・歴史、生命の尊厳、難病・がんなどの末期医療、安楽死、医療事故、薬害、生殖医療、環境倫理、研究倫理などのテーマについて解説した。成績は、期末試験により評価した。
生命倫理	2019 年～現在	理学療法学科 1 年次生を対象に臨床に役立つ生命の倫理的側面について理解を深める目的で講義を行った。15 コマ中 6 コマの授業を担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、総論・歴史、生命の尊厳、難病・がんなどの末期医療、安楽死、医療事故、薬害、生殖医療、環境倫理、研究倫理などのテーマについて解説した。成績は、期末試験により評価した。
生命倫理	2019 年～現在	看護学科 1 年次生を対象に臨床に役立つ生命の倫理的側面について理解を深める目的で講義を行った。15 コマ中 6 コマの授業を担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、総論・歴史、生命の尊厳、難病・がんなどの末期医療、安楽死、医療事故、薬害、生殖医療、環境倫理、研究倫理などのテーマについて解説した。成績は、期末試験により評価した。

生命倫理	2019 年～現在	保健栄養学科 1 年次生を対象に臨床に役立つ生命の倫理的側面について理解を深める目的で講義を行った。15 コマ中 6 コマの授業を担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、総論・歴史、生命の尊厳、難病・がんなどの末期医療、安楽死、医療事故、薬害、生殖医療、環境倫理、研究倫理などのテーマについて解説した。成績は、期末試験により評価した。
総合演習 I	2019 年～現在	診療放射線学科 3 年次生を対象に臨床医学全般について理解を深め、国家試験に対応できる実力養成の目的で講義を行った。約 30 コマ中 2 コマの授業を担当した。講義では国家試験の頻出事項の演習問題を中心に、プリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて解説をした。成績は、期末試験および再試験により評価した。
総合演習 II	2019 年～現在	診療放射線学科 4 年次生を対象に臨床医学全般について理解を深め、国家試験に対応できる実力養成の目的で講義を行った。約 20 コマ中 2 コマの授業を担当した。講義では国家試験の頻出事項の演習問題を中心に、プリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて解説をした。成績は、期末試験および再試験により評価した。
内部障害の特性と対応	2019 年～現在	理学療法学科 1 年次生を対象に内部障害（内科学）について理解を深める目的で講義を行った。15 コマ中 4 コマの内科系疾患の授業を担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、消化器、肝胆膵、代謝、内分泌の各疾患の原因、病態、臨床症状、検査所見、診断、治療について解説した。また国家試験問題の理解を深めるため過去 10 年間分を演習問題として活用した。成績は、期末試験および再試験により評価した。
神経系障害の特性と対応	2019 年～現在	理学療法学科 2 年次生を対象に神経系障害（脳神経内科学）について理解を深める目的で講義を行った。15 コマ中 4 コマの神経系疾患の授業を担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、脳腫瘍、神経感染症、頭部外傷、てんかんの原因、病態、臨床症状、検査所見、診断、治療について解説した。また国家試験問題の理解を深めるため過去 10 年間分を演習問題として活用した。成績は、期末試験および再試験により評価した。
チーム医療論	2019 年～現在	診療放射線学科 3 年次生を対象にチーム医療について理解を深める

		目的で講義を行った。8 コマ中 1 コマの授業を担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、チーム医療総論、医師の役割、病院での実践例について解説した。成績は、レポートにより評価した。
救命救急医学概論	2019 年～現在	診療放射線学科 3 年次生を対象に臨床に役立つ生命の倫理的側面について理解を深める目的で講義を行った。科目責任者として 15 コマ中 6 コマの授業を担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、救命救急医学概論　成人の救命処置、薬剤投与について解説した。成績は、期末試験により評価した。
2　作成した教材（150 字程度まで）		
臨床医学概論（診療放射線学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2019 年～現在	診療放射線学科 2 年次対象に臨床医学概論の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 15 点、計 124 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
臨床医学概論（診療放射線学科対象）の講義用配布資料	2019 年～現在	診療放射線学科 2 年次対象に臨床医学概論の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(A4、計 27 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
病理学（診療放射線学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2021 年～現在	診療放射線学科 2 年次対象に病理学の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 8 点、計 124 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
病理学（診療放射線学科対象）の講義用配布資料	2021 年～現在	診療放射線学科 2 年次対象に病理学の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(A4、計 27 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
病態学（臨床検査学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2019 年～現在	臨床検査学科 2 年次対象に病態学の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 15 点、計 124 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
病態学（臨床検査学科対象）の講義用配布資料	2019 年～現在	臨床検査学科 2 年次対象に病態学の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント（A4、計 27 枚）を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
病態・治療論 I（看護学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2019 年～現在	看護学科 1 年次対象に病態･治療論 I の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 15 点、計 124 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
病態・治療論 I（看護学科対象）の講義用配布資料	2019 年～現在	看護学科 1 年次対象に病態・治療論 I の講義を行った際、毎回の授

		業内容をまとめたプリント(A4、計 27 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
精神医学（理学療法学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2024 年～現在	理学療法学科 2 年次対象に精神医学の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 12 点、計 124 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
精神医学（理学療法学科対象）の講義用配布資料	2024 年～現在	理学療法学科 2 年次対象に精神医学の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(A4、計 27 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
生命倫理（診療放射線学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2019 年～現在	診療放射線学科 1 年次対象に生命倫理の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 6 点、計 124 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
生命倫理（診療放射線学科対象）の講義用配布資料	2019 年～現在	診療放射線学科 1 年次対象に生命倫理の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(A4、計 27 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
生命倫理（臨床検査、理学療法、看護、保健栄養の各学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2019 年～現在	臨床検査学科、理学療法学科、看護学科、保健栄養学科の 1 年次対象に生命倫理の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 6 点、計 124 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
生命倫理（臨床検査、理学療法、看護、保健栄養の各学科対象）の講義用配布資料	2019 年～現在	臨床検査学科、理学療法学科、看護学科、保健栄養学科の 1 年次対象に生命倫理の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(A4、計 27 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
総合演習 I（診療放射線学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2019 年～現在	診療放射線学科 3 年次対象に総合演習 I の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 2 点、計 124 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
総合演習 I（診療放射線学科対象）の講義用配布資料	2019 年～現在	診療放射線学科 3 年次対象に総合演習 I の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(A4、計 27 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
総合演習Ⅱ（診療放射線学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2019 年～現在	診療放射線学科 4 年次対象に総合演習Ⅱの講義を行った際、PowerPoint スライド(計 2 点、計 124 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
総合演習Ⅱ（診療放射線学科対象）の講義用配布資料	2019 年～現在	診療放射線学科 4 年次対象に総合演習Ⅱの講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(A4、計 27 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
内部障害の特性と対応（理学療法学科対象）の講義用 PowerPoint ス	2019 年～現在	理学療法学科 1 年次対象に内部障害の特性と対応の講義を行った

ライド		際、PowerPoint スライド(計 4 点、計 124 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
内部障害の特性と対応（理学療法学科対象）の講義用配布資料	2019 年～現在	理学療法学科 1 年次対象に内部障害の特性と対応の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(A4、計 27 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
神経系障害の特性と対応（理学療法学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2019 年～現在	理学療法学科 2 年次対象に神経系障害の特性と対応の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 4 点、計 124 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
神経系障害の特性と対応（理学療法学科対象）の講義用配布資料	2019 年～現在	理学療法学科 2 年次対象に神経系障害の特性と対応の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(A4、計 27 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
チーム医療論（診療放射線学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2019 年～現在	診療放射線学科 3 年次対象にチーム医療論の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 1 点、計 124 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
チーム医療論（診療放射線学科対象）の講義用配布資料	2019 年～現在	診療放射線学科 3 年次対象にチーム医療論の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(A4、計 27 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
救命救急医学概論（診療放射線学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2019 年～現在	診療放射線学科 4 年次対象に救命救急医学概論の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 1 点、計 124 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
救命救急医学概論（診療放射線学科対象）の講義用配布資料	2019 年～現在	診療放射線学科 4 年次対象に救命救急医学概論の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(A4、計 27 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
診療放射線学科における基礎医学大要の国家試験過去問の解説集の作成	2021 年～現在	診療放射線学科における基礎医学大要の国家試験過去問の解説集を作成した（A4, 計 5 頁）。
診療放射線学科における基礎医学大要の国家試験到達度確認テストの解説集の作成	2023 年～現在	診療放射線学科における基礎医学大要の国家試験到達度確認テストの解説集の作成（A4, 計 5 頁）。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
高齢者の合併症とリスク管理	2019 年～現在	東洋療法将来研究会の依頼を受け、認定訪問マッサージ師・機能訓

		練指導員（約 80 名）を対象として「高齢者の合併症とリスク管理」についての講演を行った。
病理学教育に関する著書	2025 年 3 月	病理学講義に関する著書を発表した。 「疾病の成り立ちと予防Ⅱ（病理学概論）」;白岩伸子、大越教夫　著;社会福祉法人　岡山ライトハウス 総頁数：314 頁（全項目を上記の著者が共同で担当した）
最新ガイドラインに基づく神経疾患・診療指針 2023-'24	2023 年	主な神経疾患の最新のガイドラインを解説したより医学生、研修医を対象とした参考書にて、「血管炎性ニューロパチー」の項目を執筆した。
4　その他教育活動上特記すべき事項		
診療放射線学科における卒業研究指導	2021 年～現在	診療放射線学科 4 年次対象の卒業研究において毎年 2～5 名名程度の学生に対して指導を行った。
Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
2　特許		
3　その他職務上の実績に関する事項		

Ⅲ　研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					
疾病の成り立ちと予防Ⅱ（病理学概論）	共著	2025 年 3 月	社会福祉法人　岡山ライトハウス	【著者】白岩伸子、大越教夫	総頁数：314 頁（全項目を上記の著者が共同で担当した）
最新ガイドラインに基づく神経疾患・診療指針　2023-'24	共著	2023 年 5 月	総合医学社	【編者】鈴木則宏 【著者】大越教夫、他。	総頁数：579 頁 執筆担当：9. 末梢神経障害 血管炎性ニューロパチー. P361-368
最新ガイドラインに基づく神経	共著	2021 年 5 月	総合医学社	【編者】鈴木則宏	総頁数：454 頁

疾患・診療指針　2021-'22				【著者】大越教夫、他。	執筆担当：9. 末梢神経障害 血管炎性ニューロパチー. P320-327.
論文					
看護師国家試験における ChatGPT-3.5 と Google Bard（試運転版）の性能―大規模言語モデルを使用した生成 AI サポートによる看護教育の可能性	共著	2025 年 3 月	医療保健学研究 16 号	杉澤悠圭、吉田和美、石井徹、大越教夫	P1-10
Clinical investigation of Ramsay–Hunt syndrome with glossopharyngeal and vagal nerve involvement.	共著	2024 年 5 月	Edorium Jouranal of Neurology　2024;9(1)	Nobuko Shiraiwa, Akira Tamaoka, Norio Ohkoshi	p5–8. doi: 10.5348/100019N06NS2024CR
Clinical investigation of segmental zoster paresis: A case of rare motor complications of herpes zoster.	共著	2023 年 9 月	Journal of Case Reports and Images in Medicine 9(2)	Nobuko Shiraiwa, Makoto Terada, Akira Tamaoka, Norio Ohkoshi	p1-4. doi: 10.5348/100075Z09NS2023CR
Dentatorubropallidoluysian Atrophy with Prominent Autonomic Dysfunction.	共著	2023 年 3 月	Intern Med. 62(6):.	Shioya A, Takuma H, Ohkoshi N, Hirano K, Ishihara T, Ishii K, Tamaoka A.	p　889-892 doi: 10.2169/internalmedicine.9616-22.
高等学校における脳死と臓器移植を主体とした教育プログラム構築のためのアンケート調査.	共著	2023 年 3 月	医療保健学研究 14 号	山縣香織、浦山修、中原毅、大越教夫、澤田和彦	p. 19-27
脳死と臓器移植を主体的に考えるために高校生への教育プログラム内容と授業後のアンケート調査.	共著	2023 年 3 月	医療保健学研究 14 号	山縣香織、浦山修、中原毅、大越教夫、澤田和彦	p. 29-39
Clinical features of hemichoreahemiballism: A stroke-related movement disorder.	共著	2020 年 7 月	Neurol Int. 10;12(1)	Shiraiwa N, Hoshino S, Saito G, Tamaoka A, Ohkoshi N.	8328. doi: 10.4081/ni.2020.8328. eCollection 2020 Jul 10.
茨城県の高等学校における脳死と臓器移植に関する教育状況の調査および検定教科書内容の分析	共著	2020 年 3 月	医療保健学研究 11 号	山縣香織、大越教夫、浦山修	p.1-15

報告					
学会発表					
ビタミン欠乏症に合併した単麻痺に関する臨床的研究	共同発表	2024 年 5 月	第 65 回日本神経学会学術大会	白岩伸子、鮎澤聡、岩波明生、大越教夫	
視覚障害者のための触図と音声を付加したパワーポイント教材およびドットコードを連動させた新規学習ツールの開発	共同発表	2024 年 1 月	第 64 回弱視教育研究全国大会	白岩伸子、周防佐知江、大越教夫	
視覚障害学生への神経内科学教育　「しゃべる触図」とタブレット学習ツールの開発	共同発表	2023 年 5 月	第 64 回日本神経学会学術大会	白岩伸子、鮎澤聡、大越教夫	
高等学校における脳死と臓器を主体とした教育プログラム構築のためのアンケート調査.	共同発表	2022 年 10 月	第 58 回日本移植学会総会	山縣香織、大越教夫、浦山修、中原毅、澤田和彦	
脳死と臓器移植を主体とした教育プログラム内容と授業後のアンケート調査.	共同発表	2022 年 10 月	第 58 回日本移植学会総会	山縣香織、大越教夫、浦山修、中原毅、澤田和彦	
片頭痛患者における呉茱萸湯使用群の臨床的特徴.	共同発表	2022 年 10 月	第 63 回日本神経学会学術大会	白岩伸子、鮎澤聡、玉岡晃、大越教夫	
薬剤性パーキンソニズム治療困難症例とレビー小体型認知症の関連	共同発表	2021 年 5 月	第 62 回日本神経学会学術大会	白岩伸子、玉岡晃、大越教夫	
Segmental zoster paresis 3 症例の臨床的検討	共同発表	2020 年 5 月	第 61 回日本神経学会学術大会	白岩伸子、寺田真、玉岡晃、大越教夫	
児童・生徒への生命倫理教育を踏まえた、茨城県の高等学校における脳死と臓器移植に関する教育状況の調査および検定教科書内容の分析	共同発表	2020 年 9 月	小児保健研究	山縣香織、大越教夫、浦山修	
Ⅳ　学会等および社会における主な活動					
1　現在の所属学会					
日本神経学会会員					

日本内科学会会員 日本末梢神経学会会員
2　2020～2024 年度の学会での主な活動
日本神経学会　専門医（2019～2023 年） 日本内科学会　認定医（2019～2023 年） 日本末梢神経学会　評議員（2019～2020 年）
3　2020～2024 年度の社会での主な活動
公益財団法人　国際科学振興財団　理事（2019 年～現在） つくば市障害程度区分認定審査会委員（2019 年～現在） 筑波大学医学医療系　医の倫理委員会委員（2019 年～現在） 筑波大学医学医療系　医の倫理委員会（ヒトゲノム・遺伝子解析研究委員）（2019 年～現在） 筑波大学システム情報系　研究倫理委員会委員（2019 年～現在） 筑波技術大学基金管理運営委員（2019 年～現在） 筑波技術大学附属東西医学統合医療センター　医の倫理委員会委員（2019 年～現在） 文部科学省：科学技術・学術審議会専門委員（2022～2025 年）

所属　医療保健学部 学科　診療放射線学科	職名　教授	氏名　坂井　上之	学　位	博士（保健学）
			国家資格	診療放射線技師

Ⅰ　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
画像診断技術学Ⅱ(MR 基礎)	2024 年	診療放射線学科 3 年次生を対象に MRI の基礎について理解を深める目的で講義を行った。科目責任者として 15 コマすべての授業を担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、MRI の原理、画像コントラスト、各種撮像法、アーチファクトなどについて解説した。成績は小テスト（毎回の授業で実施）、期末試験および再試験により評価した。
画像診断技術学Ⅲ(MR 応用)	2024 年	診療放射線学科 3 年次生を対象に MRI の基礎編に続く応用編として臨床で行う MRI 検査について理解を深める目的で講義を行った。科目責任者として 8 コマすべての授業を担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、MRI の各撮像部位（頭部・脊椎・四肢・上腹部・下腹部・胸部・頸部・全身）の撮像法、画像の読み方、アーチファクトなどについて解説した。成績は小テスト（毎回の授業で実施）、期末試験および再試験により評価した。
診療画像技術学実習Ⅰ（基本技術）	2024 年	診療放射線学科 3 年次生を対象に MRI の基礎について理解を深める目的で実習を行った。科目分担者として 27 コマの MRI 実習を担当した。実習ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、MRI の安全管理について解説した。また MRI の実機を用いて磁場体験、吸引力試験、検査音測定を行った。成績は実習時の態度およびレポートにより評価した。
診療画像技術学実習Ⅱ（応用技術）	2024 年	診療放射線学科 3 年次生を対象に MRI の基礎編に続く応用編として臨床で行う MRI 検査について理解を深める目的で実習を行った。科目分担者として 27 コマの MRI 実習を担当した。実習ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、MRI の血管撮像法について解説した。また MRI の実機を用い、患者役と技師役に分かれて脳血管の撮像を行った。加えてワークステーションを用い、脳血管の 3D 画像の構築について実習を行った。成績は

		実習時の態度およびレポートにより評価した。
総合演習Ⅱ	2024 年	診療放射線学科 4 年次生を対象に MRI の基礎および応用について理解を深める目的で講義を行った。科目分担者として 2 コマすべての授業を担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、MRI の基礎原理から撮像法、画像の読み方、アーチファクトなどについて演習問題の解説を交えながら解説した。成績は期末試験および再試験により評価した。
プレ臨床実習Ⅰ	2024 年	診療放射線学科 3 年次生を対象に臨床実習Ⅰに行く前の心構えについて理解を深める目的で講義を行った。実習ノートの作成方法、倫理、身だしなみ、コミュニケーション、見学の心得について様々な教員、講師の先生にご協力をいただきながら実施した。成績は期末試験および再試験により評価した。
プレ臨床実習Ⅱ	2024 年	診療放射線学科 3 年次生を対象に臨床実習Ⅱ・ⅢA に行く前の心構えについて理解を深める目的で臨床現場での実習を想定した実習を行った。具体的には身だしなみチェック、患者接遇・応対・案内、撮影など実践的な内容で行った。また就職を想定した適正試験対策、小論文の書き方、履歴書の書き方について様々な教員、講師の先生にご協力をいただきながら実施した。成績は OSCE 試験および再試験により評価した。
実践臨床画像学演習	2024 年	診療放射線学科 3 年次生を対象に臨床現場で行う実践的な医療行為について理解を深める目的で実習を行った。科目分担者として 4 コマの実習を担当した。主に静脈穿刺、上部・下部消化管の診療行為について担当した。成績は期末試験および再試験により評価した。
救急救命医学概論	2024 年	診療放射線学科 3 年次生を対象に救急救命の MRI 検査について理解を深める目的で講義を行った。科目分担者として 1 コマの講義を担当した。実習ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、救急領域の MRI 検査について解説した。成績は期末試験および再試験により評価した。
画像検査学実習（MRI）	2024 年	臨床検査学科 3 年次生を対象に MRI の基礎について理解を深める目的で実習を行った。科目分担者として 12 コマの MRI 実習を担当した。MRI の実機を用いて各撮像法の特徴を理解させるファントム実験を行った。またワークステーションを用い、MRI の画像コントラストの理解を深める実習および 3D 画像の構築も行った。成績は実習時の態度およびレポートにより評価した。
2　作成した教材（150 字程度まで）		

画像診断技術学Ⅱ(MR 基礎)の講義用 PowerPoint スライド	2024 年	診療放射線学科 3 年次対象の画像診断技術学Ⅱ(MR 基礎)の講義を行った際、PowerPoint スライドを作成し、講義資料として使用した。講義の後には資料として学生に配布を行った。またスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
画像診断技術学Ⅲ(MR 応用) の講義用 PowerPoint スライド	2024 年	診療放射線学科 3 年次対象の画像診断技術学Ⅲ(MR 応用)の講義を行った際、PowerPoint スライドを作成し、講義資料として使用した。講義の後には資料として学生に配布を行った。またスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
診療画像技術学実習Ⅰ（基本技術）の講義用 PowerPoint スライド	2024 年	診療放射線学科 3 年次対象の診療画像技術学実習Ⅰ（基本技術）の講義を行った際、PowerPoint スライドを作成し、講義資料として使用した。講義の後には資料として学生に配布を行った。またスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
診療画像技術学実習Ⅱ（応用技術）の講義用 PowerPoint スライド	2024 年	診療放射線学科 3 年次対象の診療画像技術学実習Ⅱ（応用技術）の講義を行った際、PowerPoint スライドを作成し、講義資料として使用した。講義の後には資料として学生に配布を行った。またスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
総合演習Ⅱの講義用 PowerPoint スライド	2024 年	診療放射線学科 4 年次対象の総合演習Ⅱの講義を行った際、PowerPoint スライドを作成し、講義資料として使用した。講義の後には資料として学生に配布を行った。またスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
救急救命医学概論の講義用 PowerPoint スライド	2024 年	診療放射線学科 3 年次対象の救急救命医学概論（MRI）の講義を行った際、PowerPoint スライドを作成し、講義資料として使用した。講義の後には資料として学生に配布を行った。またスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
4　その他教育活動上特記すべき事項		
Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
2　特許		

3　その他職務上の実績に関する事項		
学術論文の査読（12 件）	2020 年～2024 年	

Ⅲ　研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					
論文					
Relationship between assistant's lens exposure and dose information during computed tomography examinations	共著	2024 年 5 月	Journal of Radiological Protection	Ito H, Matsubara K, Kobayashi I, Shimakawa Y, Murayama D, Sakai T, Isobe T, Yanagawa N, Ochi S.	17;44(2)
A novel simultaneous three-dimensional volumetric morphological imaging and T2-mapping method, multi-interleaved X-prepared turbo-spin echo with intuitive relaxometry provides more accurate quantification of cervical spinal nerves	共著	2024 年 7 月	J Clin Neurosci	Tokeshi S, Eguchi Y, Sakai T, Yoneyama M, Watanabe A, Aoki Y, Sato M, Orita S, Suzuki M, Inage K, Shiga Y, Inoue M, Toshi N, Okuyama K, Ohyama S, Suzuki N, Maki S, Nakamura J, Hagiwara S, Kawarai Y, Akazawa T, Takahashi H, Ohtori S.	125:97-103.
Clinical evaluation of 3D high-resolution isotropic knee MRI using Multi-Interleaved Xprepared TSE with inTUitive RElaxometry (MIXTURE) for simultaneous morphology and T2 mapping	共著（筆頭）	2024 年 8 月	Eur J Radiol	Sakai T, Yoneyama M, Zhang S, Kitsukawa K, Yokota H, Ichikawa R, Aoki Y, Watanabe A, Sato Y, Yanagawa N, Murayama D, Ito H, Ochi S, Miyati T.	177:111579.
Cardiac Magnetic Resonance Feature Tracking Analysis for Change in Right Ventricular Function After Cardioplegic	共著	2024 年 10 月	Heart Lung Cir	Koizumi S, Keiichi I, Sakai T, Kubota Y, Yokota H, Takaoka H, Kohno H, Matsumiya G.	33(10):1457-1464.

Arrest					
報告					
学会発表					

Ⅳ　学会等および社会における主な活動

1　現在の所属学会

日本磁気共鳴医学会
日本放射線技術学会（同 撮影部会，同 関東支部）
日本診療放射線技師会
日本診療放射線学教育学会

2　2020～2024 年度の学会での主な活動

日本放射線技術学会 代議員(2024 年)
日本放射線技術学会 教育委員会 アジア放射線技術教育支援班 班員(2020～2024 年)
日本磁気共鳴医学会 臨床 MRI 安全性情報小委員会 委員(2022～2024 年)
日本磁気共鳴医学会 安全性委員会 デバイス評価小委員会 委員(2023～2024 年)

3　2020～2024 年度の社会での主な活動

JJMRM 誌査読委員（2020～2024 年）
RPT 誌査読委員（2020～2024 年）
日本放射線技術学会誌査読委員（2021～2024 年）
MRMS 誌査読委員（2020～2024 年）

所属　医療保健学部 学科　診療放射線学科	職名　教授	氏名　武井　宏行	学　位	理工学博士
			国家資格	診療放射線技師

I　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
診療画像技術序論	2022 年～現在	診療放射線学科 1 年次生を対象に、診療画像技術に関する専門科目への導入として、診療放射線技師の役割と義務について理解するとともに、医用画像装置の原理・構造、撮影技術を学ぶために必要となる基礎的事項について概要を知り、診療画像技術系専門科目の理解へ向けてスムーズに移行できるように学習することが目的で講義を行った。科目責任者として 15 コマすべての授業を担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて解説した。成績は小テスト（偶数回の授業で実施）、期末試験および再試験により評価した。
画像診断機器学総論	2022 年～現在	診療放射線学科 1 年次生を対象に、診療放射線技師が扱う各モダリティ―における画像診断装置の性能を最大限に引き出すために、画像診断装置の構造、特性ならびに特徴を理解する目的で授業を行った。科目責任者として 8 コマすべての授業を担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて解説した。成績は小テスト（偶数回の授業で実施）、期末試験および再試験により評価した。
医療安全管理学	2022 年～現在	診療放射線学科 3 年次生を対象に、安全管理に関する基本的な考え方を理解した上で、造影剤の薬理学的作用、アナフィラキシー等の重篤な副作用、その副作用が発生した場合の一次救命措置、そして業務上問題となる感染症の制御等について学習する目的で授業を行った。科目責任者として 15 コマ中 6 コマの授業を担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて解説した。成績は小テスト（偶数回の授業で実施）、期末試験および再試験により評価した。
実践臨床画像学	2024 年	診療放射線学科 3 年次生を対象に、静脈路の確保と抜針および止血の手技、上・下部消化管カテーテル操作に関する能力の実践的な学習、RI 検査のための放射性薬剤注入の手順および清潔下における動脈路

		への造影剤経路の接続手技を必修化するとともに、造影剤の薬理学的作用、アナフィラキシー等の重篤な副作用、一次救命措置、そして業務上問題となる感染症の制御等について学習する目的で授業を行った。科目責任者として 8 コマ中 2 コマの授業を担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて解説した。成績は小テスト（偶数回の授業で実施）、期末試験および再試験により評価した。
実践臨床画像学演習	2024 年	診療放射線学科 3 年次生を対象に、患者への対応および検査に関わる説明、チーム医療および他職種との連携、医療情報の取扱い、静脈路の確保と抜針および止血の手技、肛門へのカテーテル挿入からの造影剤および空気注入の手技に関する能力の実践的な手技を獲得する目的で授業を行った。科目責任者として 15 コマすべての授業を担当した。演習では複数の補助教員とともに 3 コマ連続を 4 回に分けてそれぞれの実習を行った。成績は、期末試験および再試験により評価した。
診療画像技術学実習 I （基本技術）	2022 年～現在	診療放射線学科 3 年次生を対象に、四肢関節解剖を理解し、撮影方法を習得する目的で授業を行った。科目分担者として 8 グループに対し 3 コマ連続の授業を合計 27 コマ担当した。X線撮影法の基礎を行う。上肢（肩・肘・手関節）、下肢（股・膝・足関節）のX線撮影法の実践を行う。撮影のコツと画像のチェックポイントについて演習を行った。各課題に対してレポートを課し、レポートの内容で成績評価をした。
診療画像技術学実習 II （応用技術）	2022 年～現在	診療放射線学科 3 年次生を対象に、X線撮影装置の各部の名称と機能を理解し、操作方法を習得する。基本となる胸部・腹部のX線撮影法および撮影条件設定法を習得する目的で授業を行った。科目分担者として 8 グループに対し 3 コマ連続の授業を合計 27 コマ担当した。X線撮影法の基礎を行う。胸部、腹部の撮影法および撮影条件管理の方法について演習を行った。各課題に対してレポートを課し、レポートの内容で成績評価をした。
放射線工学概論	2022 年～現在	医療技術学科 2 年次生を対象に、放射線の性質や放射線の人体へに影響、X 線発生のメカニズムについて学び、さらに画像診断機器の概要について学ぶ目的で講義を行った。科目責任者として 15 コマの授業を担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて解説した。成績は小テスト（偶数回の授業で実施）、期末試験および再試験により評価した。
生命倫理	2022 年～現在	診療放射線学科 1 年次生を対象に、診療放射線技師など医療専門職

		に求められる職業倫理を学習することが目的で講義を行った。科目分担者として 1 コマの授業を担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて解説した。成績は小テスト（偶数回の授業で実施）、期末試験および再試験により評価した。
総合演習 I	2022 年～現在	診療放射線学科 3 年次生が対象。医療従事者として必要な人体の構造や機能の知識、臨床医学への理解を深めるため、基礎医学大要の総復習を行う。放射線による様々な現象、影響、計測原理に関する理解を深めるため、放射線物理学、放射線生物学、放射化学、放射線計測学の総復習を行う。放射線機器の構成、機能、原理に関する理解を深めるため、医用工学、診療画像機器学の総復習を行う。X 線検査と出力画像の処理や取扱いについて理解を深めるため、X 線撮影技術学、画像工学、医用画像情報学の総復習を行う。授業は演習および講義のハイブリッド方式とする。
総合演習 II	2022 年～現在	診療放射線学科 4 年次生が対象。医療従事者として必要な人体の構造や機能の知識、臨床医学への理解を深めるため、基礎医学大要の総復習を行う。放射線による様々な現象、影響、計測原理に関する理解を深めるため、放射線物理学、放射線生物学、放射化学、放射線計測学の総復習を行う。放射線機器の構成、機能、原理に関する理解を深めるため、医用工学、診療画像機器学の総復習を行う。X 線検査と出力画像の処理や取扱いについて理解を深めるため、X 線撮影技術学、画像工学、医用画像情報学の総復習を行う。授業は演習および講義のハイブリッド方式とする。
卒業研究	2022 年～現在	診療放射線学科 4 年次生を対象に、自ら課題を設定し、調査・研究を行い、基礎的な研究能力を養う。最終目標として、学内研究発表会および学会等で研究成果を発表することを視野に入れ、研究内容をまとめる。数か月間のうち随時指導を行い、全体の研究発表会での発表と論文を作成して修了する。
2　作成した教材（150 字程度まで）		
診療画像技術序論の講義用 PowerPoint スライド	2022 年～現在	診療放射線学科 1 年次対象の診療画像技術序論の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 15 点、計 1,500 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
診療画像技術序論の講義用配布資料	2022 年～現在	診療放射線学科 1 年次対象の画像診断機器学総論の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(A4、計 300 枚)を配布資料

		として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
画像診断機器学総論の講義用 PowerPoint スライド	2022 年～現在	診療放射線学科 1 年次対象の診療画像技術序論の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 8 点、計 800 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
画像診断機器学総論の講義用配布資料	2022 年～現在	診療放射線学科 1 年次対象の画像診断機器学総論の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(A4、計 160 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
医療安全管理学の講義用 PowerPoint スライド	2022 年～現在	診療放射線学科 3 年次対象の医療安全管理学の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 6 点、計 600 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
医療安全管理学の講義用配布資料	2022 年～現在	診療放射線学科 3 年次対象の医療安全管理学の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(A4、計 120 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
実践臨床画像学の講義用 PowerPoint スライド	2022 年～現在	診療放射線学科 3 年次対象の診療画像技術序論の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 2 点、計 200 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
実践臨床画像学の講義用配布資料	2022 年～現在	診療放射線学科 3 年次対象の画像診断機器学総論の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(A4、計 40 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
実践臨床画像学演習のオリエンテーション用の PowerPoint スライド	2024 年	診療放射線学科 3 年次対象の実践臨床画像学演習のオリエンテーションを行った際、PowerPoint スライド(計 1 点、計 50 枚)を作成して使用した。オリエンテーションの後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
実践臨床画像学演習の演習用配布資料	2024 年	診療放射線学科 3 年次対象の実践臨床画像学演習の演習用配布資料として演習内容をまとめたプリント(A4、計 10 枚)を配布資料として作成した。演習の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。

診療画像技術学実習Ⅰ（基本技術）のオリエンテーション用のPowerPoint スライド	2022 年～現在	診療放射線学科 3 年次対象の診療画像技術学実習Ⅰのオリエンテーションを行った際、PowerPoint スライド(計 1 点、計 50 枚)を作成して使用した。オリエンテーションの後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
診療画像技術学実習Ⅰ（基本技術）の演習用配布資料	2022 年～現在	診療放射線学科 3 年次対象の診療画像技術学実習Ⅰの演習用配布資料として演習内容をまとめたプリント(A4、計 10 枚)を配布資料として作成した。演習の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
診療画像技術学実習Ⅱ（基本技術）のオリエンテーション用のPowerPoint スライド	2022 年～現在	診療放射線学科 3 年次対象の診療画像技術学実習Ⅱのオリエンテーションを行った際、PowerPoint スライド(計 1 点、計 50 枚)を作成して使用した。オリエンテーションの後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
診療画像技術学実習Ⅱ（基本技術）の演習用配布資料	2022 年～現在	診療放射線学科 3 年次対象の診療画像技術学実習Ⅱの演習用配布資料として演習内容をまとめたプリント(A4、計 10 枚)を配布資料として作成した。演習の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
生命倫理（診療放射線学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2022 年～現在	診療放射線学科 1 年次対象の診療画像技術序論の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 1 点、計 100 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
生命倫理（診療放射線学科対象）の講義用配布資料	2022 年～現在	診療放射線学科 1 年次対象の診療画像技術序論を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(A4、計 20 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
放射線工学概論（医療技術学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2022 年～現在	医療技術学科 2 年次対象の放射線工学概論の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 15 点、計 1,500 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
放射線工学概論（医療技術学科対象）の講義用配布資料	2022 年～現在	医療技術学科 2 年次対象の放射線工学概論の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(A4、計 300 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
総合演習Ⅰ（診療放射線学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2022 年～現在	診療放射線学科 3 年次対象の総合演習Ⅰの講義を行った際、PowerPoint スライド(計 1 点、計 100 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行っ

		た。
総合演習Ⅰ（診療放射線学科対象）の講義用配布資料	2022 年～現在	診療放射線学科 3 年次対象の総合演習Ⅰを行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(A4、計 20 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
総合演習Ⅱ（診療放射線学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2022 年～現在	診療放射線学科 4 年次対象の総合演習Ⅱの講義を行った際、PowerPoint スライド(計 1 点、計 100 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
総合演習Ⅱ（診療放射線学科対象）の講義用配布資料	2022 年～現在	診療放射線学科 4 年次対象の総合演習Ⅱを行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(A4、計 20 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
卒業研究（診療放射線学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2022 年～現在	診療放射線学科 4 年次対象の卒業研究の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 1 点、計 100 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
卒業研究（診療放射線学科対象）の講義用配布資料	2022 年～現在	診療放射線学科 4 年次対象の卒業研究の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(A4、計 20 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
4　その他教育活動上特記すべき事項		
診療放射線学科における卒業研究指導	2022 年～現在	診療放射線学科 4 年次対象の卒業研究において毎年 6～12 名程度の学生に対して指導を行った。
診療放射線学科における病院実習指導	2022 年～現在	診療放射線学科 3，4 年次対象の診療放射線技師臨床実習において毎年全学生に対して指導を行った。
Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
2　特許		
3　その他職務上の実績に関する事項		

学術論文の査読（2 件）	2020～2024 年	つくば国際大学保健学部の医療保健学研究論文の査読を行った。	
紀要編集委員会　委員長	2024 年		

Ⅲ　研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					
放射線技師スリムベーシック 医療安全管理学	共著	2023 年 12 月	メジカルビュー社	編集：福士政広、五十嵐博 著者：福士政広、五十嵐博、樋口清孝、小林正周、堀正明、嶋田守男、富田哲也、吉井章、佐々木健、井田篤、藤淵俊王、山田智子、羽生政美、梁川範幸、茂木俊一、笠原哲治、北村秀秋、津野隼人、武井宏行	総頁数：177 頁 執筆担当：第 4 章 放射線機器の安全管理（p157-168）
放射線技師スリムベーシック 放射線医学概論	共著	2023 年 3 月	メジカルビュー社	編集：福士政広 著者：福士政広、坂間稔、桑山潤、原秀剛、梁川範幸、畑純一、羽生政美、津田啓介、藤田幸男、藤淵俊王、大谷浩樹、五十嵐博、武井宏行、橋本雄幸、井上一雅	総頁数：251 頁 執筆担当：第 12 章 チーム医療（p204-213）
論文					
Investigation of the applicability of virtual gastroscopy based on postmortem computed tomography to detect changes in the stomach, along with	共著	2021 年 9 月	Legal Medicine 52	Haruki Fukuda , Rie Sano , Akira Hayakawa , Yoichiro Takahashi, Takafumi Okawa, Rieko Kubo, Hiroyuki Takei, Sachiko Awata, Hiroyuki	p21-25

reports of three rare cases				Tokue, Hisashi Akuzawa, Masahiro Yuasa, Yoshihiko Kominato	
群馬県における単純 X 線撮影の実態調査および被ばく線量の推定	共著	2021 年 1 月	北関東医学 2021 年 71 巻 1 号	鑓田和真、中村潤平、新井啓祐、関優子、入内島明子、茂木直、武井宏行、須藤高行、大竹英則、遠藤啓吾、対馬義人	P9-14
群馬県民の CT 検査による医療被ばく線量の推定	共著	2021 年 1 月	北関東医学 2021 年 71 巻 1 号	中村潤平、鑓田和真、新井啓祐、関優子、入内島明子、茂木直、武井宏行、須藤高行、大竹英則、遠藤啓吾、対馬義人	P15-18
Superimposed CT imaging fusion function to visualize the relationship between the knife and the wound path in a stabbing victim	共著	2020 年 12 月	Forensic Sciences Vol,66 No,3	Yoichiro Takahashi, Hiroyuki Takei, Rieko Kubo, Akira Hayakawa, Haruki Fukuda, Rieko Kubo, Takafumi Okawa, Hiroyuki Tokue, Yoshihiko Kominato	P1148-1153
Tuberous sclerosis related-lesions detected by postmortem computed tomography	共著	2020 年 6 月	Forensic Imaging 21	Yoichiro Takahashi, Hiroyuki Takei, Akira Hayakawa, Rie Sano, Haruki Fukuda, Rieko Kubo, Yoshihiko Kominato, Satoko Kimura, Aya Takada, Kazuyuki Saito, Sachiko Awata, Hiroyuki Tokue	P376-383
報告					
救急および夜勤帯対応 X 線撮影室で活躍する RADspeed Pro EDGE package	単著	2022 年 4 月	Rad Fan 第 20 巻 第 4 号	武井宏行	p46-51
2021 年度　研究発表 TERAKOYA　ーこれだけは伝	講演	2021 年 12 月	日本放射線技術学会　関東支部学術講演会		p93-94

えておきたい研究倫理ー					
研究倫理と研究不正防止について	単著	2020 年 10 月	日本放射線技術学会雑誌　76 巻 10 号	武井宏行	
法医学分野で有用であった Ai-CT の再構成画像	共著	2020 年 3 月	Rad Fan Vol,18 No,3	武井宏行、小湊慶彦	P104-107
学会発表					
実行委員からみた「研究発表 TERAKOYA」～参加者と学会のメリット～	シンポジスト	2021 年 11 月	日本放射線技術学会　関東支部研究発表大会		
法医学分野で有用であった Ai-CT の再構成画像	講演	2021 年 3 月	第 19 回法医画像研究会・第 17 回群馬 Ai 研究会		

Ⅳ　学会等および社会における主な活動

1　現在の所属学会

日本診療放射線技師会
日本放射線技術学会
群馬県診療放射線技師会
日本オートプシーイメージング学会
日本オートプシーイメージング技術学会
群馬 CT 研究会

2　2020～2024 年度の学会での主な活動

日本放射線技術学会・代議員（2011 年～現在）
日本放射線技術学会・関東支部副支部長（2020 年～現在）
日本放射線技術学会・教育委員会委員（2024 年～現在）
日本診療放射線技師会・Ai 活用委員会委員（2008 年～2021 年まで）
日本オートプシーイメージング技術学会・倫理委員長（2021 年～現在）
群馬 Ai 研究会・理事（2008 年～現在）
群馬 CT 研究会・顧問（2008 年～現在）

3　2020～2024 年度の社会での主な活動

秋田県診療放射線技師会　教育講演「オートプシーイメージングの初歩から臨床まで」（2025 月 5 日/対象：秋田県診療放射線技師会会員）
日本放射線技術学会・倫理審査委員（2015～2024 年）
日本放射線技術学会　関東支部学術講演「これだけは伝えておきたい研究倫理」（2021 月 12 日/対象：学会員）
日本放射線技術学会　第 68 回関東支部研究発表大会「実行委員からみた「研究発表　TERAKOYA」～参加者と学会のメリット～」（2021 月 11 日/対象：学会員）

第 19 回法医画像研究会・第 17 回群馬 Ai 研究会「法医学分野で有用であった Ai-CT の再構成画像」（2021 月 3 日/対象：学会員）

所属　医療保健学部 学科　診療放射線学科	職名　教授	氏名　福士　政広	学　位	博士（工学）
			国家資格	診療放射線技師、第一種放射線取扱主任者

I　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
放射化学 I	2021 年～現在	診療放射線学科 1 年次生を対象に、放射化学の基礎知識を習得させることを目的とした講義をおこなった。科目責任者として 15 コマの授業を担当した。講義では教科書と PowerPoint スライドを用い、講義内容に即した資料を事前に Google classroom で予習できるようにした。講義終了後にはその単元で教授した知識の確認と定着を目的としてテスト課題を Google classroom に提供した。成績は期末試験で評価した。
放射化学 II	2021 年～現在	診療放射線学科 1 年次生を対象に、放射化学の応用知識を習得させることを目的とした講義をおこなった。科目責任者として 8 コマの授業を担当した。講義では教科書と PowerPoint スライドを用い、講義内容に即した資料を事前に Google classroom で予習できるようにした。講義終了後にはその単元で教授した知識の確認と定着を目的としてテスト課題を Google classroom に提供した。成績は期末試験で評価した。
放射線安全管理学	2021 年～現在	診療放射線学科 3 年次生を対象に、放射線および放射性同位元素（RI）を安全に取り扱うために必要な知識と技術を習得させることを目的として講義を行った。全 15 コマ中 7 コマを担当し、講義では教科書と PowerPoint スライドを用い、講義内容に即した資料を事前に Google classroom で予習できるようにした。講義終了後にはその単元で教授した知識の確認と定着を目的としてテスト課題を Google classroom に提供した。成績は中間試験，期末試験により総合的に評価した.
放射化学実験	2021 年～現在	診療放射線学科 2 年生を対象に診療放射線技師として必要な放射化学的な知識・技能を習得する目的で授業を行った。科目分担者として 42 コマすべての担当をした。科目担当者で作成した実験書を配布し、その内容に沿ってフリッケ線量計、溶媒抽出法、イオン交換法、薄層クロマトグラフィ、ペーパークロマトグラフィーの基本操作に関する実験を行った。その際、模擬的に放射線の放出を意識し、汚染防止など

		安全取り扱いに対する考え方も解説した。成績は各回のレポートにより評価した。
放射線安全管理学実験	2021 年～現在	診療放射線学科 3 年生を対象に放射線安全管理学の内容と相互に学習し、理解を深める目的で授業を行った。科目分担者として 40 コマすべての担当をした。科目担当者で作成した実験書を配布し、その内容に沿って放射線管理技術や放射線計測法及び安全取扱い技術を理解するための実験を行なった。また、放射線安全管理の実務に従事するために必要な基本的技術についても実験を通して解説した。成績は各回のレポートにより評価した。
放射線計測学実験	2021 年～現在	診療放射線学科 2 年生を対象に放射線計測学で学習してきた内容に基づき、計測機器や測定値の取り扱いや、放射線機器に使われている電気・電子回路構成や素子の特性や性能について理解を深める目的で授業を行った。科目担当者で作成した実験書を配布し、その内容に沿って放射線の持つ基礎的な相互作用や性質をより理解するための実験を行った。40 コマすべての担当をした。成績は各回のレポートにより評価した。
総合演習 I	2021 年～現在	診療放射線学科 3 年生を対象に本講義までに終了している国家試験関連科目について総復習を行い、理解を深める目的で講義を行なった。科目分担者として 15 コマ中 1 コマの担当をした。講義では PowerPoint スライドをプリントとして配布し、その内容に沿って放射線による様々な現象、影響、計測原理に関する理解を深めるため、放射化学の解説を行った。成績は小テスト（毎回）、期末試験および再試験により評価した。
総合演習 II	2021 年～現在	診療放射線学科 4 年生を対象に本講義までに終了している国家試験関連科目について総復習を行い、理解を深める目的で講義を行なった。科目分担者として 40 コマ中 3 コマの担当をした。講義では PowerPoint スライドをプリントとして配布し、その内容に沿って総合演習 I で学んだ内容を基本に、核医学検査技術学、放射線安全管理学に関する理解を深めるための解説を行なった。成績は小テスト（毎回）、期末試験および再試験により評価した。
実践臨床画像学	2024 年～現在	診療放射線学科 3 年生を対象に業務拡大における新たな診療放射線技師に必要な知識を充足する目的で講義を行なった。科目分担者として 8 コマ中 1 コマの担当をした。講義では PowerPoint スライドをプリントとして配布し、その内容に沿って、静脈路の確保と抜針および止血の手技、RI 検査のための放射性薬剤注入の手順について解説した。

		成績は小テスト（毎回)、期末試験および再試験により評価した。
実践臨床画像学演習	2024 年～現在	診療放射線学科 3 年生を対象に患者への対応および検査に関わる説明、チーム医療および他職種との連携、医療情報の取扱い、静脈路の確保と抜針および止血の手技に関する能力の実践的な手技を獲得する目的で演習を行なった。科目分担者として 8 コマ中 1 コマの担当をした。各項目担当者が実演を行い、それに倣って学生は演習し、適宜補助を行なった。成績は期末試験および再試験により評価した。
2　作成した教材（150 字程度まで）		
放射化学 I の講義用 PowerPoint スライド	2021 年～現在	診療放射線学科 1 年次生対象の講義を行った際、PowerPoint スライドを作成した。講義の前後にはスライドを見直し、変更や修正、追加、削除など、更新を行っている。
放射化学 II の講義用 PowerPoint スライド	2021 年～現在	診療放射線学科 1 年次生対象の講義を行った際、PowerPoint スライドを作成した。講義の前後にはスライドを見直し、変更や修正、追加、削除など、更新を行っている。
放射線安全管理学の講義用 PowerPoint スライド	2021 年～現在	診療放射線学科 3 年次生対象の講義を行った際、PowerPoint スライドを作成した。講義の前後にはスライドを見直し、変更や修正、追加、削除など、更新を行っている。
放射化学実験の実験書	2021 年～現在	診療放射線学科 2 年次対象の放射化学実験を行った際、実験書を作成し、使用した。実験の後には実験書を見直し、変更や修正など、更新を行った。
放射線安全管理学実験の実験書	2021 年～現在	診療放射線学科 3 年次対象の放射線安全管理実験を行った際、実験書を作成し、使用した。実験の後には実験書を見直し、変更や修正など、更新を行った。
放射線計測学実験の実験書	2021 年～現在	診療放射線学科 3 年次対象の放射線安全管理実験を行った際、実験書を作成し、使用した。実験の後には実験書を見直し、変更や修正など、更新を行った。
総合演習 I の講義用 PowerPoint スライド	2021 年～現在	診療放射線学科 3 年次対象の総合演習 I を行った際、PowerPoint スライドを作成し、使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
総合演習 I の講義用 PowerPoint スライド	2021 年～現在	診療放射線学科 4 年次対象の総合演習 I を行った際、PowerPoint スライドを作成し、使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
国家試験対策に関する論文発表	2023 年 3 月	国家試験対策に関する論文を発表した。

		「診療放射線学科で実施した国家試験対策とその効果に関する一考察」; 永井 良明, 柳田 智, 清水 秀雄, 根本 広文, 崔岡 大, 川田 悟, 村中 博幸, 福士 政広　医療保健学研究 (14)　p51-59
岩手県立病院技師会	2024 年 6 月	医学物理士の現状と今後について講演した。医学物理士とはについて、歴史的背景と医学物理士の仕事やその必要性、日本における認定制度などについて、国内外の状況と織り交ぜて医学物理士の歴史、医学物理士とは、国際的な状況、日本の医学物理士の状況など。
日本赤十字社診療放射線技師会研修会	2024 年 11 月	学び舎と実践の共鳴について講演した。診療放射線技師教育は今までは学術偏重なところが大きかった。それは、診療放射線技師教育の高等教育化を確立することを最優先してきたことによる。令和の改革においては、臨床現場では患者を中心として、いま何が行われ、何を必要とし、何をなすべきかが問われている。それを教育の現場へ反映することが強く求められている。また、それを実践する人材を教育現場で如何に確保するかが緊契の課題である。
4　その他教育活動上特記すべき事項		
診療放射線学科における卒業研究指導	2021 年～現在	診療放射線学科 4 年次対象の卒業研究において毎年 1～6 名程度の学生に対して指導を行った。
診療放射線学科における放射線取扱主任者試験対策	2021 年～現在	診療放射線学科 3，4 年次対象の臨床実習において毎年 1～6 名程度の学生に対して指導を行った。
診療放射線学科における国試アドバイザー	2021 年～現在	診療放射線学科 3，4 年次対象の国家試験対策において毎年 6～10 名程度の学生に対して指導を行った。
診療放射線学科における国試対策補習	2021 年～現在	診療放射線学科 3，4 年次対象の国家試験補習において対象学年の全学生に対して指導を行った。
診療放射線学科における国試直前講習	2021 年～現在	診療放射線学科 4 年次対象の国試直前講習において対象学年の全学生に対して指導を行った。
診療放射線学科における国試対策合宿の引率	2021 年～現在	診療放射線学科 4 年次対象の国試対策合宿において対象学年の全学生に対して引率および指導を行った。

所属　医療保健学部 学科　診療放射線学科	職名　教授	氏名　梁川　範幸	学　位	医学博士
			国家資格	診療放射線技師

I　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
X 線 CT 技術学	2016 年～現在	診療放射線学科 2 年生を対象に X 線 CT 画像の成り立ちからその画像の持つ根本的な特徴を含め、画像から診断情報を最大限に引き出すための技術的な内容を解説し、学生に理解を深める目的で講義を行った。当初は非常勤講師として 5 コマを受け持ったが、科目責任者として 15 コマすべての授業を担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、X 線 CT 装置の歴史的背景から最新の技術、特に被ばく低減技術や Dual Energy CT による物質弁別に至るまで解説した。講義毎に前回の重点項目を簡潔にまとめたプリントも配布し。復習学習の重要性を強化した。成績は中間試験と期末試験の両方で評価した。
画像診断技術学 I （X 線 CT）	2018 年～現在	画像診断技術学 I では X 線 CT による画像診断技術の講義を行う。画像診断技術の習得には、解剖学や生理学の知識と共に X 線減弱係数から得られる CT 画像の特性を十分に理解しなければならない。講義内容は、各部位（頭部、胸部、腹部、整形外科領域、心血管領域）の撮影法、画像解剖、画像評価法について学習する。また、CT による被ばく低減技術や医療安全についても学習する。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて 8 コマを行い、うち 1 コマを外部講師にて最新技術の講義を行う。成績は期末試験で評価した。
チーム医療論	2021 年～現在	医療連携のための共通認識の事柄を学び、それぞれの医療専門職の職務内容や役割などについて理解し、自身の目指す医療職と他職種との関係を学ぶ。また、実際の医療現場でチームを構成するその他の医療スタッフについても学び、どのような専門職があるか、なぜチームの医療の必要性が強く求められるようになったのかについて理解する。具体的には、医師、薬剤師、看護師、管理栄養士、臨床検査技師、理学療法士、臨床工学士及び診療放射線技師の資格を有する学科教員による講義を行う。放射線学科以外の他 5 学科の診療放射線技師のチー

		ム医療論の講義を行う。放射線学科の評価は、最終講義終了後のレポート提出。
救命救急医学概論	2019 年～現在	医療の原点である救急医療は、医療従事者として必須の学習項目である。この講義では救急医学と救急医療に関する内容を学習する。基本項目としては医療の原点としての救急医療と救急医学、救急処置、ショックと生体反応、重症救急患者の管理、救急医療と脳死などについて学習する。特に診療放射線技師に必要な救急撮影について深く学習する。講義はすべてプリントが用意され、PowerPoint スライドを用いて講義を行う。担当は当学科の教員が分担し、2 コマと共同で 1 次基礎講習会と事前学習の 2 コマを担当する。評価は、6 コマの講義内容を期末試験にて評価する。救命救急士による 1 次救命処置（BLS）の講習も行う。
診療画像技術学実習 I	2019 年～現在	学内の実習装置を用い実習を通して、機器の技術、撮影・撮像の技術及び画像評価の技術を体系的に理解させるとともに、理論を実践に応用することができる能力を身に付けることを目標とする。主にX線発生装置および一般撮影装置に関する基礎的知識の確認や装置の保守管理、人体ファントムを用いた各種の一般撮影ポジショニングの基本技術、X線撮影画像の評価等に関する知識・技術を身につけるとともに、臨床実習へ繋げることを目標とする。あわせて診療放射線技師に必要な医療人としての人間形成を図る。3 年生が対象で、8 グループに分け、学科内教員と外部講師で担当する。評価は各項目について毎回のレポート提出を義務付け、総合的に評価する。
診療画像技術学実習Ⅱ	2019 年～現在	学内の実習装置を用い実習を通して、機器の技術、撮影・撮像の技術及び画像評価の技術を体系的に理解させるとともに、理論を実践に応用することができる能力を身に付けることを目標とする。主にX線発生装置および一般撮影装置に関する基礎的知識の確認や装置の保守管理、人体ファントムを用いた各種の一般撮影ポジショニングの基本技術、X線撮影画像の評価等に関する知識・技術を身につけるとともに、臨床実習Ⅱへ繋げることを目標とする。あわせて診療放射線技師に必要な医療人としての人間形成を図る。3 年生が対象で、8 グループに分け、学科内教員と外部講師で担当する。評価は各項目について毎回のレポート提出を義務付け、総合的に評価する。
医療安全管理学	2024 年	診療放射線技師の業務拡大に伴い、2024 年度から医療安全管理学が 2 単位になった。診療放射線技師には医師や看護師と連携して、造影剤投与の際に感染症や副作用に対して適切に対応する能力が求められて

		いる。本授業では、安全管理に関する基本的な考え方を理解した上で、造影剤の薬理学的作用、アナフィラキシー等の重篤な副作用、その副作用が発生した場合の 1 次救命処置、そして業務上問題となる感染症の制御などについて学習する。担当は 2 コマで 1 次救命処置と CT 検査における安全管理について講義を行う。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドで解説する。
実践臨床画像学演習	2024 年	実践臨床画像学で学んだ知識、技能を活用した演習を行う。それぞれ 5 課題に対して学生のグループ分けし、それぞれの課題を演習する。担当は肛門へのカテーテルの挿入や静脈穿刺を受け持ち、学生に直接に指導する。
総合演習Ⅰ，総合演習Ⅱ	2018 年～現在	医療従事者として必要な人体の構造や機能の知識、臨床医学への理解を深めるために基礎医学大要の総復習を行う。放射線による様々な現象、影響、計測原理に関する理解を深めるために放射線物理学、放射線生物学、放射線化学、放射線計測学の総復習を行う。放射線機器の構成、昨日、原理に関する理解を深めるために医用工学、診療画像機器学の総復習を行う。X 線検査と出力画像の処理や取り扱いについて理解を深めるために X 線撮影技術学、画像工学、医用画僧情報学の総復習を行う。担当は 3 コマで、X 線撮影技術学につて講義しプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドで解説する。
2　作成した教材（150 字程度まで）		
X 線 CT 技術学	2016 年～現在	診療放射線学科 2 年生を対象に講義を行った際、15 回の講義用 PowerPoint スライド 1489 枚を作成し、学生にもプリントして配布した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
画像診断技術学Ⅰ（X 線 CT）	2018 年～現在	診療放射線学科 2 年生を対象に講義を行った際、15 回の講義用 PowerPoint スライド 897 枚を作成し、学生にもプリントして配布した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
救命救急医学概論	2019 年～現在	診療放射線学科 3 年生を対象に講義を行った際、2 回の講義用 PowerPoint スライド 128 枚を作成し、学生にもプリントして配布した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
チーム医療論	2021 年～現在	各学科の学生を対象に講義を行った際、6 回の講義用 PowerPoint スライド 510 枚を作成し、学生にもプリントして配布した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った
医療安全管理学	2024 年	診療放射線学科 3 年生を対象に講義を行った際、2 回の講義用

		PowerPoint スライド 200 枚を作成し、学生にもプリントして配布した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
総合演習Ⅰ，Ⅱ	2018 年～現在	診療放射線学科 3、4 年生を対象に講義を行った際、8 回の講義用 PowerPoint スライド 985 枚を作成し、学生にもプリントして配布した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
放射線技術学セミナー	2018 年～現在	診療放射線学科 4 年生を対象に放射線技術学セミナーの試験問題を作成した。担当する教科は、撮影技術学と機器工学である。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
4　その他教育活動上特記すべき事項		
診療放射線学科における卒業研究指導	2018 年～現在	診療放射線学科 4 年次対象の卒業研究において毎年 6～10 名程度の学生に対して指導を行った。学術研究の結果を地方支部会や学術総会において学生に発表させた。
診療放射線学科における病院実習指導	2018 年～現在	診療放射線学科 3、4 年次対象の病院臨床実習において毎年 10～15 名程度の学生に対して指導を行った。実習前は個人調査表の指導から実習施設への通学の指導や、実習中は施設訪問を実施して学生からの相談や実習中の過ごし方などの指導を行った。
Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
2　特許		
3　その他職務上の実績に関する事項		
日本放射線技術学会の編集委員（査読件数　25 件）	1998 年～現在	
Radiological Physics and Technology 編集委員	2020 年～2022 年	

Ⅲ　研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					
第 4 版 若葉マークの画像解剖学	共著	2025 年 3 月	メジカルビュー社	編集主幹：福士政広（つくば国際大学	P120～145,

診療放射線技師 スリム・ベーシック 医療安全管理学	共著	2024 年 3 月	メジカルビュー社	編集主幹：福士政広（つくば国際大学）	P48-57，68-74
診療放射線技師 スリム・ベーシック 放射線医学概論	共著	2023 年 3 月	メジカルビュー社	編集主幹：福士政広（つくば国際大学）	P85～95
インナービジョン	共著	2022 年 11 月	インナービジョン	船間芳憲，他	P78～79
診療放射線技術実践ガイド 第 4 版	共著	2020 年 2 月	文光堂	編集主幹：遠藤啓吾（京都医療科学大学学長） 編集委員：杜下淳次（九州大学教授）他	P105～113
論文					
放射線治療装置を使用しない実習の立案と実習効果の検証	共著	2023 年 9 月	日本診療放射線技師会雑誌	森祐太朗、磯辺智範、梁川範幸，他	
Clinical evaluation of 3D high-resolution isotropic knee MRI using Multi-Interleaved X-prepared tse with inTUitive RElaxometry (MIXTURE) for simultaneous morphology and T2 mapping	共著	2023 年 8 月	Korean Journal of Radiology |	Hiroyuki Sakai Noriyuki Yanagawa	20231143
Malignant diagnosis and prognostic analysis of 89 GIST patients using preoperative FDG-PET	共著	2023 年 2 月	Scientifc Reports |	Kazuo Narushima1,2, Kiyohiko Shuto3*, Shinichi Okazumi4 , Gaku Ohira2 , Mikito Mori1 , Koichi Hayano2 , NoriyukiYanagawa5 & Hisahiro Matsubara2	(2023) 13:2266
放射線情報システムを用いた造影剤投与管理システムの有用性	共著	2020 年 5 月	日本放射線技術学会誌 76 巻 5 号	鈴木伸忠、梁川範幸	p. 474-482
Computed tomographic assessment of age- and gender-specific sagittal	共著	2020 年 11 月	Spine Surgery and Related Research	Yasuchika Aoki , Noriyuki Yanagawa	2020-0189-OA.R1

lumbopelvic alignment in a Japanese population					
Age-specific characteristics of lumbopelvic alignment in patients with spondylolysis: how bilateral L5 spondylolysis influences lumbopelvic alignment during the aging process	共著	2020 年 12 月	World Neurosurgery.	Yasuchika Aoki , Noriyuki Yanagawa	WNS-20-6531R1
報告					
宿題報告 X 線 CT の標準化	筆頭	2021 年 4 月	第 77 回日本放射線技術学会総会学術大会	梁川範幸	
学会発表					
チーム医療セッション　一般演題	座長	2025 年 3 月	第 89 回日本循環器学会学術集会	梁川範幸	
Dual energy computed tomography (DECT)を用いた豚脂肪の弁別	共同	2025 年 3 月	第 42 回茨城県診療放射線技師会学術大会	大内健太郎、佐藤そら、入江亮介、梁川範幸、他	
MRI 検査における実使用量のヘアパウダーに寄る画質への影響と検知能力の評価	共同	2025 年 3 月	第 42 回茨城県診療放射線技師会学術大会	岩立伯、飯島七緒、佐藤広崇、梁川範幸、坂井上之、他	
Dual energy computed tomography (DECT)を用いた豚脂肪の弁別	共同	2024 年 12 月	第 69 回関東支部研究発表大会	大内健太郎、佐藤そら、入江亮介、梁川範幸、他	
脳動脈瘤に対するコイル塞栓術における患者被ばく線量と動脈瘤位置・形状との関係	共同	2024 年 12 月	第 69 回関東支部研究発表大会	中村祥太、鎌田聖、齋藤百花、伊藤肇、梁川範幸	
CT 画像における金属アーチファクトの除去効果について	共同	2024 年 12 月	第 69 回関東支部研究発表大会	本吉実穂、阿部涼夏、入江亮介、梁川範幸、他	
MRI 検査における実使用量のヘアパウダーに寄る画質への影響と検知能力の評価	共同	2022 年 12 月	第 69 回関東支部研究発表大会	岩立伯、飯島七緒、佐藤広崇、梁川範幸、坂井上之、他	
Dual energy computed	共同	2024 年 8 月	第 18 回日本診療放射線学教育	大内健太郎、佐藤そら、	

tomography (DECT)を用いた脂肪細胞の弁別の可能性について			学会学術集会	入江亮介、梁川範幸、他	
脳動脈瘤に対するコイル塞栓術における患者被ばく線量と動脈瘤位置・形状との関係	共同	2024 年 8 月	第 18 回日本診療放射線学教育学会学術集会	中村祥太、鎌田聖、齋藤百花、伊藤肇、梁川範幸	
CT 画像における金属アーチファクトの除去効果について	共同	2024 年 8 月	第 18 回日本診療放射線学教育学会学術集会	本吉実穂、阿部涼夏、入江亮介、梁川範幸、他	
MRI 検査における実使用量のヘアパウダーに寄る画質への影響と検知能力の評価	共同	2024 年 8 月	第 18 回日本診療放射線学教育学会学術集会	岩立伯、飯島七緒、佐藤広崇、梁川範幸、坂井上之、他	
Improvement of exercise endurance in mice through hydrogen water intake: antioxidant effects and metabolic improvements	共同	2024 年 6 月	第 51 回日本毒性学会学術年会	水野瑛夏、呉世昶、三浦征、梁川範幸、永井良明、森祐太郎、西野僚、磯辺智範	
腰椎について考える	座長	2024 年 3 月	フジフィルムメディカル WEB セミナー	梁川範幸	
「チーム医療セッション ジョイントシンポジウム」	座長	2024 年 3 月	第 88 回日本循環器学会学術集会	梁川範幸	
チーム医療セッション　一般演題	座長	2024 年 3 月	第 88 回日本循環器学会学術集会	梁川範幸	
Dual energy CT を用いた豚眼球細胞の組織解析の可能性について	共同	2024 年 3 月	第 42 回茨城県診療放射線技師会学術大会	鈴木さくら、梁川範幸他	
低線量肺がん CT -装置世代画質について-	共同	2024 年 3 月	第 42 回茨城県診療放射線技師会学術大会	古川咲、梁川範幸他	
Dual energy CT を用いた豚眼球細胞の組織解析の可能性について	共同	2023 年 12 月	第 70 回関東・東京合同発表大会	鈴木さくら、梁川範幸他	
低線量肺がん CT -装置世代画質について-	共同	2023 年 12 月	第 70 回関東・東京合同発表大会	古川咲、梁川範幸他	
体動のある患者の脳 MRI における single-shot FLAIR と radial scan FLAIR の比較	共同	2023 年 12 月	第 70 回関東・東京合同発表大会	磯野愛、梁川範幸他	
自作患者用手台による術者被ば	共同	2023 年 12 月	第 70 回関東・東京合同発表大	寺田達、梁川範幸他	

く線量低減率に関する検討-			会		
Dual energy CT による 2 機種間の豚心臓組織の解析の比較	共同	2023 年 12 月	第 70 回関東・東京合同発表大会	上村巳月、梁川範幸他	
Dual energy CT による脂肪組織の分別の可能性に関する研究	共同	2023 年 12 月	第 70 回関東・東京合同発表大会	矢萩雄大、梁川範幸他	
高分解能 CT 検査における Photon counting CT と EID-CT の比較	共同	2023 年 12 月	第 70 回関東・東京合同発表大会	露木志保、梁川範幸他	
自作患者用手台による術者被ばく線量低減率に関する検	共同	2023 年 8	第 17 回日本診療放射線学教育学会学術集会	吉田美玖、寺田達 梁川範幸、坂井上之	
瀬木賞講演	座長	2023 年 4	日本放射線技術学会　第 79 回総会学術大会	梁川範幸	
Dual energy CT を用いた脂肪細胞の組織解析の可能性について	共同	2023 年 3 月	第 41 回茨城県診療放射線技師会学術大会	瀧口隼也人、梁川範幸他	
Dual energy CT による白色脂肪細胞弁別の検討	共同	2022 年 12 月	第 69 回関東支部研究発表大会	瀧口隼也人、渡辺聖菜、 梁川範幸	
腹部 CT における腕アーチファクトを低減する方法の比較	共同	2022 年 12 月	第 69 回関東支部研究発表大会	入江新、梁川範幸	
低線量肺がん CT 検診における高精細 CT の物理評価	共同	2022 年 12 月	第 69 回関東支部研究発表大会	赤谷胡桃、横山千夏、 梁川範幸	
女性骨盤に対する Slice selection gradient reversal(SSGR)併用 EPI-DWI の臨床的	共同	2022 年 12 月	第 69 回関東支部研究発表大会	吉岡沙姫、梅木楓、 梁川範幸	
FLAIR 撮像における Inversion Recovery (IR)パルスの調整による撮像時間短縮の試み	共同	2022 年 12 月	第 69 回関東支部研究発表大会	佐藤大夢、加藤香菜 梁川範幸、坂井上之	
FLAIR 撮像における Inversion Recovery (IR)パルスの調整	共同	2022 年 8 月	第 16 回日本診療放射線学教育学会学術集会	佐藤大夢、加藤香菜 梁川範幸、坂井上之	
RPT 誌企画「世界で読まれる RPT 誌を目指して：インパクトファクター（IF）の重要性」	座長	2022 年 4 月	日本放射線技術学会　第 78 回総会学術大会	梁川範幸	
「深層学習による CT 画像の自動分類と被ばく推定 Web システムを併用した実効線量推定	座長	2022 年 4 月	日本放射線技術学会　第 78 回総会学術大会	梁川範幸	

作業の効率化」瀬木賞講演					
関東支部企画	座長	2021 年 11 月	第 68 回関東支部研究発表大会	梁川範幸	
可変型ヘリカルピッチスキャンの画像特性の検討	共同	2021 年 11 月	第 68 回関東支部研究発表大会	橘亮介、梁川範幸	
MRI 検査前の磁性体チェックに用いる磁性体検知器の精度検証	共同	2021 年 11 月	第 68 回関東支部研究発表大会	張谷梨乃、梁川範幸	
貼付剤マニュアルの実用性の検討	共同	2021 年 11 月	第 68 回関東支部研究発表大会	石神美鈴、梁川範幸	
超高精細 CT の気道病変解析への導入にあたる基礎的検討	共同	2021 年 11 月	第 68 回関東支部研究発表大会	山越玄基、梁川範幸	
DualEnergyCT を用いた動物性油脂の脂肪分別の検討	共同	2021 年 11 月	第 68 回関東支部研究発表大会	菅谷奎人、梁川範幸	
金属アーチファクト低減技術に金属インプラントの配置や角度が及ぼす影響	共同	2021 年 10 月	第 49 回日本放射線技術学会秋季学術大会	増田直輝、梁川範幸	
医療安全	座長	2021 年 10 月	第 49 回日本放射線技術学会秋季学術大会	梁川範幸	
実行委員会・学術委員会合同企画	司会	2021 年 10 月	第 49 回日本放射線技術学会秋季学術大会	梁川範幸	
DECT]による脂肪組織成分の分別について	共同	2021 年 9 月	第 9 回 CT 技術学会	菅谷奎人、梁川範幸	

Ⅳ　学会等および社会における主な活動

1　現在の所属学会

日本放射線技術学会
日本 CT 技術学会
日本放射線学教育学会
日本循環器学会
呼吸機能イメージング学会
日本診療放射線学会

2　2020～2024 年度の学会での主な活動

日本放射線技術学会　代議員
日本放射線技術学会　監事

日本放射線技術学会　アジア医療技術支援委員 日本 X 線 CT 技師認定機構　理事 日本 CT 技術学会　理事 日本放射線学教育学会　理事 千葉県 CT 研究会　幹事 千葉撮影技術研究会　幹事 第 53 回日本放射線技術学会秋季大会　顧問 第 13 回日本 CT 技術学会総会　大会長
3　2020～2024 年度の社会での主な活動
千葉県アイスホッケー連盟　理事 臨済宗妙心寺派　大廣山　圓福寺　檀信徒役員

所属　医療保健学部 学科　診療放射線学科	職名　教授	氏名　柳田　智	学　位	博士（保健医療学）
			国家資格	診療放射線技師

Ⅰ　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
診療画像機器学Ⅰ	2019 年～現在	診療放射線学科 2 年次学生に診断用X線装置の構成要素であるX線発生装置に関して、診療放射線技術に必要な専門技術を身につけることを目標として授業を担当した。科目責任者として 15 コマすべての授業を担当した。講義ではレジメを配布し PowerPoint スライドを用いて診断用X線装置の構成要素であるX線発生装置に関して解説を行った。成績は期末試験および再試験により評価を行った。
診療画像技術学Ⅰ【X 線撮影技術学Ⅰ】	2019 年～現在	診療放射線学科 2 年次学生に診療放射線技師の役割からX線単純撮影の撮影目的、投影理論、体位と中心線等について学習し、撮影における画像解剖とポジショニングの関係、画像評価について学習することを目標として授業を担当した。科目責任者として 2020 年度までは 15 コマすべてを 2021 年度からは一部科目担当者として 15 コマのうち 2 コマの授業を担当した。講義ではレジメを配布し PowerPoint スライドを用いて診療画像技術学に関して解説を行った。成績は期末試験および再試験により評価を行った。
医療情報学	2019 年～2020 年	診療放射線学科 2 年次学生に医療機関で扱う医療情報について全般的に学ぶとともに、放射線診療を行う上で必要な情報システムや標準化についての授業を担当した。科目責任者として 2020 年度までは 15 コマすべての授業を担当した。講義ではレジメを配布し PowerPoint スライドを用いて医療情報学に関して解説を行った。成績は期末試験および再試験により評価を行った
診療画像機器学Ⅱ	2019 年～現在	診療放射線学科 2 年次学生に診療放射線技師が扱うことのできる最新鋭の診断機器や特殊診断装置の構造や原理について授業を担当した。2020 度年までは科目責任者として 8 コマのうち 6 コマを 2021 年度からは一部科目担当者として 8 コマのうち 1 コマの授業を担当した。講義ではレジメを配布し PowerPoint スライドを用いて、超音波、無散瞳眼底カメラ、MRI、CT、骨塩定量装置、トモシンセシス、フォトンカウンティングに関して解説を行った。成績は期末試験により評価を

		行った。
造影検査技術学	2019 年～現在	診療放射線学科 3 年次学生に造影剤の投与などの検査に伴う行為の中で、診療放射線技師の責任と業務範囲を理解するとともに、造影剤投与に伴う危険因子を認識し、感染管理、医療安全に配慮して、適切な検査、対処ができることを目標に授業を担当した。科目責任者として 8 コマ中 5 コマの授業を担当した。講義ではレジメを配布し PowerPoint スライドを用いて造影剤投与に伴う危険因子、感染管理、医療安全、適切な検査、対処について解説を行った。成績は期末試験および再試験により評価を行った。
医用画像工学	2021 年～現在	診療放射線学科 2 年次学生に医用画像の良し悪しを評価するものさしである、コントラスト、解像特性、雑音特性と、画像の総合的評価、ならびに主観評価を修得し、臨床に役立てる力を身に付けることを目標に授業を担当した。科目責任者として 15 コマすべての授業を担当した。講義ではレジメを配布し PowerPoint スライドを用いて畳み込み積分、フーリエ変換、特性曲線、解像特性、雑音特性などの画像工学の内容の解説を行った。成績は期末試験および再試験により評価を行った。
医療保健学セミナー	2021 年～現在	診療放射線学科 1 年次学生に診療放射線技師のキャリア形成について授業を担当した。一部科目担当として 15 コマのうち 1 コマの授業を担当した。講義では PowerPoint スライドを用いて大学卒業後の診療放射線技師としてのキャリア形成について解説を行った。成績は授業毎の提出物により科目担当教員が評価した。
医用画像工学実験	2021 年～現在	診療放射線学科 3 年次学生に医用画像工学で学んだことを基に、物理学的画質評価方法を ImageJ、Excel、専用プログラムを利用して PC を用いて実験を行った。科目責任者として 8 コマ中 4 コマの実験を担当した。実験では、初めに理論を復習し、その後実際に PC を各学生が個々に操作して画像形成、入出力特性、解像力特性、雑音特性などの解析実験について解説を行った。成績は実験毎の提出レポートで評価した。
診療画像技術学実習 I	2021 年～現在	診療放射線学科 3 年次学生に学内の実習装置を用い実習を通して、機器の技術、撮影・撮像の技術及び画像評価の技術を体系的に理解させるとともに、理論を実践に応用することができる能力を身に付けることを目標に実習を行った。実習項目担当者として X 線撮影装置の基礎を全 8 回の実習として行った。実習では手引書を基にアナログ撮影装置、ディジタル撮影装置、散乱線除去用グリッドの原理や特性につい

		て解説を行いながら実習を行った。成績は提出レポートで評価した。
総合演習Ⅰ	2019年～現在	診療放射線学科3年次学生に総合演習Ⅰの中で2019年～現在まで診療画像機器学Ⅰ、2019年～2020年まで診療画像技術学Ⅰ【X線撮影技術学Ⅰ】、2021年～現在まで医用画像工学を一部科目担当として各2コマ授業を担当した。講義では、PowerPointスライドを用いてこれまでの復習と国家試験過去問を中心に解説を行った。成績は担当科目で主要部分を数問作成し、他科目の問題を含め科目担当者が期末試験および再試験実施して評価を行った。
総合演習Ⅱ	2019年～現在	診療放射線学科4年次学生に総合演習Ⅱの中で2019年～現在まで診療画像機器学Ⅰ、2019年～2020年まで診療画像技術学Ⅰ【X線撮影技術学Ⅰ】、2021年～現在まで医用画像工学を一部科目担当として各2コマ授業を担当した。講義では、PowerPointスライドを用いてこれまでの復習と国家試験過去問を中心に解説を行った。成績は担当科目で主要部分を数問作成し、他科目の問題を含め科目担当者が期末試験および再試験実施して評価を行った。
2　作成した教材（150字程度まで）		
診療画像機器学Ⅰ（診療放射線学科）の講義用PowerPointスライドおよび配布資料	2019年～現在	診療放射線学科 2 年次対象の診療画像機器学Ⅰの講義を行った際、PowerPointスライド(計15点、計750枚程度)を作成し、板書と使用するとともに、スライドデータを割付印刷して資料を作成し授業毎に配布した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
診療画像技術学Ⅰ【X線撮影技術学Ⅰ】（診療放射線学科）の講義用PowerPointスライドおよび配布資料	2019年～現在	診療放射線学科 2 年次対象の診療画像技術学Ⅰの講義を行った際、PowerPointスライド(計2点、計100枚程度)を作成し、板書と使用するとともに、スライドデータを割付印刷して資料を作成し授業毎に配布した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
医療情報学（診療放射線学科）の講義用PowerPointスライドおよび配布資料	2019年～2020年	診療放射線学科 2 年次対象の医療情報学の講義を行った際、PowerPointスライド(計15点、計750枚程度)を作成し、板書と使用するとともに、スライドデータを割付印刷して資料を作成し授業毎に配布した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
診療画像機器学Ⅱ（診療放射線学科）の講義用PowerPointスライドおよび配布資料	2019年～現在	診療放射線学科 2 年次対象の診療画像機器学Ⅱの講義を行った際、PowerPointスライド(計1点、計50枚程度)を作成し、板書と使用するとともに、スライドデータを割付印刷して資料を作成し授業毎に配布した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行

		った。
造影検査技術学（診療放射線学科）の講義用 PowerPoint スライドおよび配布資料	2019 年～現在	診療放射線学科 3 年次対象の造影検査技術学（の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 5 点、計 250 枚程度)を作成し、板書と使用するとともに、スライドデータを割付印刷して資料を作成し授業毎に配布した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
医用画像工学（診療放射線学科）の講義用 PowerPoint スライドおよび配布資料	2021 年～現在	診療放射線学科 2 年次対象の医用画像工学の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 15 点、計 750 枚程度)を作成し、板書と使用するとともに、スライドデータを割付印刷して資料を作成し授業毎に配布した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
医療保健学セミナーの講義用 PowerPoint スライド	2021 年～現在	診療放射線学科 2 年次対象の医療保健学セミナーの講義を行った際、PowerPoint スライド(計 1 点、計 40 枚程度)を作成し、板書と使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
医用画像工学実験の講義用 PowerPoint スライドおよび手引書	2021 年～現在	診療放射線学科 3 年次対象の医用画像工学実験の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 4 点、計 200 枚程度)を作成し、板書と使用した。また、実験手引書として 30 ページ程度の冊子を作成し、実習毎に配布した。講義の後には手引書を見直し、変更や修正など、更新を行った。
診療画像技術学実習 I の手引書	2021 年～現在	診療放射線学科 3 年次対象の診療画像技術学実習 I の実習を行った際、実習手引書として 20 ページ程度の冊子を作成し実習毎に配布した。
総合演習 I の講義用 PowerPoint スライド	2019 年～現在	診療放射線学科 3 年次対象の総合演習 I の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 4 点、計 200 枚程度)を作成し、板書と使用するとともに、スライドデータを割付印刷して資料を作成し授業毎に配布した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
総合演習Ⅱの講義用 PowerPoint スライド	2019 年～現在	診療放射線学科 4 年次対象の総合演習Ⅱの講義を行った際、PowerPoint スライド(計 4 点、計 200 枚程度)を作成し、板書と使用するとともに、スライドデータを割付印刷して資料を作成し授業毎に配布した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
「医用画像工学」に関する講演	2022 年 12 月	公益社団法人日本放射線技術学会関東支部の依頼を受け、第 69 回関東支部研究発表大会参加者を対象に、「ステップアップ講座『研究に役

		立つ！画像工学』～プログラミングの勧め～」と題して講演を行った。
「X 線撮影技術学」に関する講演	2023 年 8 月	公益社団法人全国労働衛生団体連合会の依頼を受け、令和 4 年度　全衛連　胸部X線検査オンライン研修会にて「良い胸部 X 線画像のポイント」と題して講演を行った。
「X 線撮影技術学」に関する講演	2024 年 8 月	公益社団法人全国労働衛生団体連合会の依頼を受け、令和 5 年度　全衛連　胸部X線検査オンライン研修会にて「良い胸部 X 線画像のポイント」と題して講演を行った。
4　その他教育活動上特記すべき事項		
診療放射線学科における卒業研究指導	2019 年～現在	診療放射線学科 4 年次対象の卒業研究において毎年 2～10 名名程度の学生に対して指導を行った。
診療放射線学科における病院実習指導	2019 年～現在	診療放射線学科 3 年次、4 年次対象の臨床実習において毎年 10～20 名名程度の学生に対して指導を行った。
FD フォーラム報告会報告	2022 年 3 月	2022 年度 FD フォーラム報告会において第 2 分科会「産学連携・地域連携を通じた大学教育を考える」について報告を行った。
FD フォーラム報告会報告	2023 年 3 月	2023 年度 FD フォーラム報告会において第 3 分科会「大学教育における AI の活用と弊害」について報告を行った。
研究生の担任	2022 年	診療放射線学科卒業生 1 名を研究生として担当した。
研究生の担任	2024 年	診療放射線学科卒業生 2 名を研究生として担当した。
Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
2　特許		
3　その他職務上の実績に関する事項		
「医用画像工学」に関する講演	2025 年 8 月	公益社団法人日本医学物理学会の依頼を受け、日本医学物理学会サマーセミナーにて「診断領域における物理特性の画像評価について（評価方法と測定の仕方)」と題して講演を行った。

Ⅲ　研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					

診療放射線技師臨床実習問答例集	共著	2025 年 7 月	医療科学社 第 1 版第 1 刷	編集：柳田　智 著者：柳田　智、須藤剛、杉村　瞳、諏訪和明、嶋川友里絵、木藤善浩、今花陽子、今花仁人、根本幹央、清水秀雄	pp160 / pp4-31,pp56-69,pp105-130
看護師のための放射線の知識	共著	2024 年 5 月	医療科学社 第一版第一刷	編集：福士政広、織井優貴子 著者：福士政広、谷幸太郎、高畑　賢、柳田　智、田口真由美、井上一雅、石原純子、奥村雅彦、高橋里美、菊地珠子、川守田龍	pp192 / pp.39-78
医用放射線辞典	共著	2023 年 2 月	共立出版 第 6 版	医用放射線辞典編集委員会	
診療放射線技師　スリムベーシック　診療画像機器学	共著	2022 年 3 月	メジカルビュー社 第 1 版第 1 刷	編者：福士政広 著者：佐藤英介、後藤政実、室井健三、柳田智、原　秀剛、五月女康作、磯辺智範、吉村洋祐、森祐太郎、武居秀行、押田夏海、富田哲也、赤津敏哉、木暮陽介	pp352 / pp.125-167
論文					
Proposal for training that does not use radiotherapy equipment and verification of training effects	共著	2024 年 3 月	日本診療放射線技師会誌	MORI Yutaro, ISOBE Tomonori, TOMITA Tetsuya, KOBAYASHI Daisuke, TAKEI Hideyuki, YANAGITA Satoshi, FUKUSI Masayuki, YANAGAWA Noriyuki, SAKAE Takeji	
Evaluation of x-ray effective	共著	2023 年 3 月	Radiological Physics and	Yurie Shimakawa,	pp.39-47

focal spot size dependency on x-ray exposure settings using edge response analysis			Technology	Masayuki Nishiki, Satoshi Yanagita,Noriko Nishikawa, Takayuki Sakai, Hajime Ito, Shigehiro Ochi, Noriyuki Yanagawa	
Measurement of the x-ray effective focal spot size with edge response analysis using detectors	共著	2020 年 4 月	Journal of Medical Imaging	Masayuki Nishiki, Satoshi Yanagita, Noriko Nishikawa, Hitomi Sugimura	PP023502-1 - 023502-13
学会発表					
Variable Helical Pitch スキャンの画像特性とその有用性の検討	共著	2021 年 10 月	日本放射線技術学会第 49 回秋季学術大会（熊本）予稿集	橘亮介、菅谷奎人、山越玄基、梁川範幸、柳田智、嶋川友里絵、越智茂博	Page1017
可変型ヘリカルピッチスキャンの画質特性の検討	共著	2021 年 11 月	日本放射線技術学会第 68 回関東支部研究発表大会（横須賀）プログラム予稿集	橘亮介、菅谷奎人、山越玄基、梁川範幸、柳田智、藤原朋子、越智茂博	Page103
ワイヤレス FPD の接続方式の違いによる X 線曝射ディレイタイムの研究	共著	2021 年 11 月	日本放射線技術学会第 68 回関東支部研究発表大会（横須賀）プログラム予稿集	相馬佑紀、立岩未麗、杉村瞳、柳田智、梁川範幸	Page98
学内実験で用いる乳房撮影用 CR において経年劣化が画像に及ぼす影響	共著	2021 年 11 月	日本放射線技術学会第 68 回関東支部研究発表大会（横須賀）プログラム予稿集	横須賀陽、加藤紀美、杉村瞳、柳田智、梁川範幸	Page91
日本人を想定した乳房厚に対する圧迫圧が画像に及ぼす影響	共著	2021 年 11 月	日本放射線技術学会第 68 回関東支部研究発表大会（横須賀）プログラム予稿集	秋山恵利、加藤菜月美、山縣瑠美、奥村恵理香、杉村瞳、柳田智、梁川範幸	Page84
異なる蛍光体物質の間接変換方式 FPD における物理特性の比較	共著	2021 年 11 月	日本放射線技術学会第 68 回関東支部研究発表大会（横須賀）プログラム予稿集	渡部将輝、菅野花澄、杉村瞳、柳田智、梁川範幸	Page84
後方散乱線が持つ特性から遮蔽材に必要な条件を検討	共著	2021 年 11 月	日本放射線技術学会第 68 回関東支部研究発表大会（横須賀）プログラム予稿集	原田一輝、正畑美佳、嶋川友里絵、伊藤肇、杉村瞳、柳田智、梁川範幸	Page84
標準体型における DRLs2020 と EI の関係	共著	2021 年 11 月	日本放射線技術学会第 68 回関東支部研究発表大会（横須賀）	髙田健慎、杉村瞳、柳田智、梁川範幸	Page81

			プログラム予稿集		
円背被写体における胸部正面 X 線撮影における線量指標値の変動	共著	2021 年 11 月	日本放射線技術学会第 68 回関東支部研究発表大会（横須賀）プログラム予稿集	須崎雅人、柳田智、土田拓治、森一也、戸澤僚太、関口諒	Page80
CDRAD ファントムを使った Raw Data 画像と DICOM 画像画質評価	共著	2022 年 12 月	日本放射線技術学会第 69 回関東支部研究発表大会（つくば市）プログラム予稿集	中嶋万琳、加藤鞠花、関根、柳田智	Page96
ワイヤレス FPD の接続方式の接続方式の違いによる物理特性の比較	共著	2022 年 12 月	日本放射線技術学会第 69 回関東支部研究発表大会（つくば市）プログラム予稿集	花野七斐斗、中山裕太、古山明波、河合綾菜、柳田智	Page95
研究に役立つ！画像工学画像工学　～プログラミングの勧め～	単著	2022 年 12 月	日本放射線技術学会第 69 回関東支部研究発表大会（つくば市）プログラム予稿集	柳田智	Page36
フラットパネルディテクタを使った Task base MTF と Presampled MTF の比較	共著	2023 年 12 月	日本放射線技術学会東京・関東合同研究発表大会 2023（東京）プログラム抄録集	長谷川怜音、服部晏奈、杉村瞳、柳田智、須崎雅人、土田拓治	page71
DR システムにおける AEC の性能評価	共著	2023 年 12 月	日本放射線技術学会東京・関東合同研究発表大会 2023（東京）プログラム抄録集	三浦綾乃、梅津隼仁、杉村瞳、柳田智、佐藤舜	page71
散乱線除去用グリッドを使った標本化定理の理解	共著	2023 年 12 月	日本放射線技術学会東京・関東合同研究発表大会 2023（東京）プログラム抄録集	﨑山凱史、増岡花織、杉村瞳、柳田智	page70
AI を用いたノイズ低減処理の被写体厚特性	共著	2023 年 12 月	日本放射線技術学会東京・関東合同研究発表大会 2023（東京）プログラム抄録集	久慈蒼偉、黒木優奈、杉村瞳、柳田智	page60
ディジタルマンモグラフィにおける測定デバイスの違いが CR システムの解像力に与える影響	共著	2023 年 12 月	日本放射線技術学会東京・関東合同研究発表大会 2023（東京）プログラム抄録集	斎藤千尋、斎藤吐羽、平野真衣、宇根奨、杉村瞳、柳田智	page57
視覚計測カメラを用いた診療放射線技師と学生の視点と行動の違いについて	共著	2024 年 12 月	日本放射線技術学会第 71 回関東支部研究発表大会（高崎市）プログラム予稿集	相澤涼葉、髙丸美夏、中原佳子、由地良太郎	page62
従来のノイズ低減処理と AI を	共著	2024 年 12 月	日本放射線技術学会第 71 回関	谷口怜、関谷歌恋、柳田智	Page79

使ったノイズ低減処理の画質合わせ			東支部研究発表大会（高崎市） プログラム予稿集		
透視画像におけるノイズ低減処理の評価	共著	2024 年 12 月	日本放射線技術学会第 71 回関東支部研究発表大会（高崎市） プログラム予稿集	中村太一、阿部友里加、柳田智、諏訪和明	Page92
蛍光体の異なる間接変換方式 FPD の管電圧の違いによる入出力特性	共著	2024 年 12 月	日本放射線技術学会第 71 回関東支部研究発表大会（高崎市） プログラム予稿集	平田健太、鈴木智也、 柳田智	page94
AI を使ったノイズ低減処理と体内金属の描出	共著	2024 年 12 月	日本放射線技術学会第 71 回関東支部研究発表大会（高崎市） プログラム予稿集	蘆田拓真、藤井香菜子、柳田智	Page80

Ⅳ　学会等および社会における主な活動

1　現在の所属学会

日本放射線技術学会
日本診療放射線技師会
日本医療情報学会
医用画像情報学会

2　2020～2024 年度の学会での主な活動

日本放射線技術学会　代議員（2020 年～現在）
日本放射線技術学会　関東支部理事（支部長）（2020 年～現在）
日本放射線技術学会大会開催委員（2020 年～2023 年）
日本放射線技術学会　学術委員（2020 年～2020 年）
日本放射線技術学会　画像部会委員（2020 年～2023 年）
日本放射線技術学会　理事（2020 年～2023 年）
日本放射線技術学会大会開催委員（2020 年～2023 年）
日本放射線技術学会　ASCOSO 運用小委員会委員（2020 年～2024 年）

3　2020～2024 年度の社会での主な活動

全国労働衛生団体連合　総合精度管理委員会　胸部 X 線検査専門委員（2020 年～現在）

所属　医療保健学部 学科　診療放射線学科	職名　教授	氏名　山田　誠一	学　位	博士（保健学）
			国家資格	診療放射線技師、X 線作業主任者

Ⅰ　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
診療画像技術学実習Ⅱ（放射線治療）	2022 年～現在	診療放射線学科 3 年次生を対象に放射線治療計画装置を用いて、モニタ線量計の模擬校正をはじめ、CT 画像転送、胸部臓器の輪郭作成や線量分布作成と評価についての基礎を身につける教育を行った。
放射線計測学Ⅱ（応用）	2023 年～現在	診療放射線学科 2 年次生を対象に放射線計測の計測装置から理論・測定技術まで、測定の理論や原理について教育した。
放射線安全学実験	2023 年～現在	診療放射線学科 3 年次生を対象に放射線管理技術や放射線計測法及び安全取扱い技術の学習を通して放射線安全管理の実務に必要な基本的技術を教育した。
臨床実習Ⅱ	2022 年～現在	診療放射線学科 3 年次生を対象に挨拶、身だしなみ、コミュニケーション能力などについてシミュレーションを通して、その方法と重要性について教育した。
放射線計測学実験	2023 年～現在	診療放射線学科 2 年次生を対象に GM 計数管・シンチレーションカウンタ・電離箱・密封線源の取り扱いを通して放射線計測技術について教育を行った。また実験データを適切にレポートにまとめる方法について教育した。
総合演習Ⅰ	2022 年～現在	診療放射線学科 3 年次生を対象に国家試験対策として、過去の国家試験問題から解答に必要な重要な項目等について解説するとともにその対策について教育した。
総合演習Ⅱ	2022 年～現在	診療放射線学科 4 年次生を対象に国家試験対策として、過去の国家試験問題から解答に必要な重要な項目等について解説するとともにその対策について教育した。
診療放射線学セミナー	2022 年～現在	診療放射線学科 4 年次生を対象に国家試験対策として、過去の国家試験問題から解答に必要な重要な項目等について解説するとともにその対策について教育した。
卒業研究	2023 年～現在	診療放射線学科 4 年次生を対象に放射線治療に関する研究を通して、臨床における諸問題の解決能力や改善に向けた情報収集と対策手法について教育した。

放射線計測学Ⅰ（基礎）	2023 年～現在	診療放射線学科 1 年次生を対象に放射線計測の目的、理論および計測機器の名称と原理など、測定に必要な基礎知識について教育した。
医療安全管理学	2024 年	診療放射線学科 3 年次生を対象に放射線治療業務の中で起こる事故事例を紹介して、事故の原因分析の手法と安全対策に必要な考え方について教育した。
エックス線作業主任者試験演習	2024 年	診療放射線学科 2 年次留年生および 4 年次生を対象にエックス線作業主任者試験受験の演習を行った。この演習を通して自己学習の重要性を教育して、定期的な学習状況を確認してサポートを行った。
2　作成した教材（150 字程度まで）		
放射線計測学Ⅰ（基礎）　講義資料	2022 年 9 月	診療放射線学科 1 年次生を対象の放射線計測学の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 7 点、計 336 枚)を作成し、4 分割の配布資料として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
放射線計測学Ⅱ（応用）　講義資料	2023 年 4 月	診療放射線学科 1 年次生を対象の放射線計測学の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 14 点、計 672 枚)を作成し、4 分割の配布資料として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
放射線計測学実験　講義資料	2023 年 4 月	診療放射線学科 2 年次生を対象に放射線計測学実験の補講として演習を行った。この演習後に解説資料として PowerPoint スライド(計 7 点、計 400 枚程度)を作成し、4 分割の配布資料とした。
診療画像技術学実習Ⅱ（放射線治療）　演習資料	2023 年 9 月	診療放射線学科 3 年次生を対象に演習に必要な基礎知識を身につけるため、PowerPoint スライド(計 1 点、計 48 枚)を作成し、4 分割の配布資料として使用した。演習の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
放射線安全学実験　講義資料	2023 年 9 月	診療放射線学科 3 年次生を対象に放射線治療における安全運用技術の学習を通して放射線安全管理の実務に必要な基本的技術を教育するため、PowerPoint スライド(計 1 点、計 48 枚)を作成し、4 分割の配布資料として使用した。
医療安全管理学実習　講義資料	2023 年 9 月	診療放射線学科 3 年次生を対象に放射線治療における品質管理に必要な基本的技術を教育するため、PowerPoint スライド(計 1 点、計 30 枚)を作成し、4 分割の配布資料として使用した。
医療安全管理学　講義資料	2023 年 9 月	診療放射線学科 3 年次生を対象に放射線管理技術や放射線計測法及び安全取扱い技術の学習を通して放射線安全管理の実務に必要な基本的技術を教育するため PowerPoint スライド(計 1 点、計 48 枚)を作成し、4 分割の配布資料として使用した。講義の後にはスライドを見直

		し、変更や修正など、更新を行った。。
総合演習Ⅰ（放射線計測学）　講義資料	2023年9月	診療放射線学科3年次生を対象に国家試験対策として、過去の国家試験問題から解答に必要な重要な項目等について解説するとともにその対策について、PowerPointスライド(計1点、計122枚)を作成し、8分割の配布資料として使用した。演習の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
総合演習Ⅱ（放射線計測学）　講義資料	2022年9月	診療放射線学科4年次生を対象に国家試験対策として、過去の国家試験問題から解答に必要な重要な項目等について解説するとともにその対策について、PowerPointスライド(計1点、計410枚)を作成し、8分割の配布資料として使用した。演習の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
総合演習Ⅱ（放射線治療技術学）　講義資料	2022年9月	診療放射線学科4年次生を対象に国家試験対策として、過去の国家試験問題から解答に必要な重要な項目等について解説するとともにその対策について、Word資料(計3点、計140ページ)を作成し、配布資料として使用した。演習の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
診療放射線学セミナー（放射線計測学）　講義資料	2022年9月	診療放射線学科4年次生を対象に国家試験対策として、頻出問題を中心に過去の国家試験問題から解答に必要な重要な項目等について解説するとともにその対策について、PowerPointスライド(計1点、計48枚)を作成し、4分割の配布資料として使用した。演習の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
診療放射線学セミナー（放射線治療技術学）　講義資料	2022年9月	診療放射線学科4年次生を対象に国家試験対策として、頻出問題を中心に過去の国家試験問題から解答に必要な重要な項目等について解説するとともにその対策について、PowerPointスライド(計1点、計81枚)を作成し、4分割の配布資料として使用した。演習の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
エックス線作業主任者試験　演習資料	2024年9月	診療放射線学科2年次留年生および4年次生を対象にエックス線作業主任者試験受験の演習問題（計12点、計260枚程度）を作成した。行った。演習の後には最新の演習問題を加えて更新を行った。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
4　その他教育活動上特記すべき事項		
診療放射線学科における卒業研究指導	2023年～現在	診療放射線学科4年次対象の卒業研究において毎年6名程度の学生に対して指導を行った。
研究室合同学習会主催	2024年	週一回、Project-K所属の4年卒業研究生、4年留年生、研究生、2年

		留年生と共に学年の垣根を超えた合同ゼミを行い、知識の向上と国家試験対策を行っている。
日本放射線技術学会　論文支援功労賞　受賞	2022 年	放射線技術学会に投稿された論文の初期査読・編集を行った功績を評価された。編集担当回数 55 編
Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
2　特許		
3　その他職務上の実績に関する事項		

Ⅲ　研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					
論文					
Predicting patient-specific prostate motion using pelvic fat and pelvic cavity volume for prostate radiotherapy	共著	2025	Int. J. Radiat. Res., April 2025;23(2)	A. Nakamoto, Y. Tanabe, K. Nishioka, Y. Kunii, A. Higashi, H. Nishikawa, R. Kawano, H. Eto, Y. Fuji, H. Aoyama, S. Yamada, S. Takahashi	6 頁／421-426
報告					
学会発表					
頭頚部領域の放射線治療計画における金属アーチファクト低減画像再構成 CT の有用性	共同	2019	日本放射線腫瘍学会学術大会報文集	河田裕二郎、林貴史、神谷伸彦、釋舎竜司、余田栄作、平塚純一、山田誠二、元田興博、鐵原滋	日本放射線腫瘍学会雑誌 32: 413-413, 2019.
大腿骨頚部不顕性骨折に対する単純 X 線画像を用いた最適な周波数処理の検討	共同	2022.10	第 18 回中四国放射線医療技術フォーラム（CSFRT2022）	城野弘樹、吉田誠、佐伯悠介、林由佳子、山田誠二、宮井將宏	
シャント PTA における ARP のキャリブレーション精度の検証	共同	2022.10	第 18 回中四国放射線医療技術フォーラム（CSFRT2022）	高橋勇太、藤井政明、竹本理人、山田誠一、宮井將宏	
視覚的指示システムを用いた	共同	2022.10	第 18 回中四国放射線医療技術	後藤優治、山田誠一、鐵	

体幹部定位治療における呼吸制御効果の検討			フォーラム（CSFRT2022）	原滋、長瀬尚巳、吉田誠、入江梨奈	
FFF ビームを用いた頭部定位治療の Portal Dosimetry 検証について	筆頭	2019.9	第 15 回中四国放射線医療技術フォーラム（CSFRT2019）	山田誠一、元田興博、鐵原滋、武かおり	

Ⅳ　学会等および社会における主な活動

1　現在の所属学会

日本放射線技術学会、日本放射線技師会、日本放射線腫瘍学会、日本医学物理学会、日本医学物理士会、

2　2020～2024 年度の学会での主な活動

3　2020～2024 年度の社会での主な活動

つくばピンクリボンフェスティバル 2023、茨城県がん検診推進月間「がん予防・検診＋ピンクリボン＋放射線展」2023

2023.6.12　つくば国際大学高等学校メディカルエリア（テクノロジー入門）講演

2024.6.17　つくば国際大学高等学校メディカルエリア（テクノロジー入門）講演

所属　医療保健学部 学科　診療放射線学科	職名　教授	氏名　横山　博子	学　位	家政学修士
			国家資格	

I　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
医療統計学	2024 年	看護学科、保健栄養学科において、記述統計の講義と演習をおこなった。各々の統計の意味と目的、及び計算の仕組みを丁寧に説明し、演習問題を繰り返すことで、理解の定着をはかった。
社会調査論	2021 年～現在	理学療法学科 3 年生を対象に、社会調査の基礎の講義を行った。講義では、量的調査と質的調査の理論と実践について、多様な実例と分析方法を示し、実用的な社会調査方法を展開した。
生命倫理	2020 年～現在	「生命倫理」15 回のうち、「生殖補助医療」と「出生前診断」の 2 回の講義を担当した。教科書の記述を整理するにとどまらず、歴史的・政策的視点から多角的に解説した。さらに、当事者の体験談を多面的に提示し、思考を深めさせた。
医療保健学セミナー	2020 年～現在	本講義はフレッシュマンセミナーとして位置づけられている。講義では、高校と大学の違い、授業の受け方、勉強の仕方、レポートの書き方・文献検索方法・キャリアデザイン等について、演習形式でおこなった。
法学	2019 年～現在	教職と関連した科目のため、憲法 10 回、残りの 5 回は民法・民事訴訟法・刑事訴訟法を扱った。複雑な判例は論理の展開がわかるよう図解し、平易な言葉で説明した。
保健統計	2019 年～現在	看護学科 2 年生対象の専門基礎科目である。統計の基本と国の保健に関する統計について、厚生労働省等の各種統計の概要原本を配付し、国家試験問題を解けることを目標とした講義を行った。
公衆衛生学	2019 年～現在	医療技術学科 1 年生対象の専門基礎科目である。国家試験の過去問題を提示し、何が問われるかを教えた上で、公衆衛生学全般についてポイントをまとめた独自の資料に沿って講義した。
公衆衛生学	2019 年～現在	看護学科 2 年生対象の専門基礎科目である。教科書を指定し、教科書のエッセンスをまとめた資料を独自に作成した。教科書の練習問題の正解は講義最後に提示した。

公衆衛生学	2019 年～現在	保健栄養学科の専門基礎科目である。本講義はカリキュラム上、公衆衛生学の中でも疫学を中心とした学習と位置付けられている。講義では、疫学と公衆衛生学の位置づけを確認した上で、国家試験出題基準に沿った内容とした。教科書の他に資料を作成し、その資料を通読すると全体像がわかるものとした。知識の定着をはかるために、計算問題の反復学習を行った。
公衆衛生学	2019 年～現在	理学療法学科 2 年生の専門基礎科目である。公衆衛生学全般を講義し、教科書と並行してポイントをまとめた資料を作成した。
疫学	2017 年～現在	看護学科 2 年生の専門基礎科目である。講義ごとに到達目標と全体との関連性を明らかにしながら、断片的な理解にとどまらないよう配慮しながら講義をおこなった。教科書とは別に、基本的考え方をまとめた資料を作成した。資料には図解のまとめと計算問題を載せ、反復学習で理解の定着をはかった。
社会学	2017 年～現在	医療保健学部の基礎科目である。学生の興味がありそうなテーマを選んで講義を行った。具体例を挙げながら、学生の意見を引き出し、抽象的な概念を導いた。学生に考えさせるために、新聞記事や手記など身近な資料も用いた。
2　作成した教材（150 字程度まで）		
医療統計学(看護学科 1 年対象)講義用スライドと講義用配付資料	2024 年	講義用パワーポイントと講義要点をまとめたノート冊子(穴埋め式)を作成した。
社会調査論(理学療法学科 3 年対象)講義用スライドと講義用配付資料	2021 年～現在	講義用パワーポイントと講義要点をまとめたノート冊子(穴埋め式)を作成した。
生命倫理(診療放射線学科 1 年対象)講義用スライドと講義用配付資料	2020 年～現在	講義用パワーポイントと講義要点をまとめたノート冊子(穴埋め式)を作成した。
医療保健学セミナー(診療放射線学科 1 年対象)講義用スライドと講義用配付資料	2020 年～現在	講義用パワーポイントと課題シートを作成した。
法学(1 年対象)講義用スライドと講義用配付資料	2019 年～現在	講義用パワーポイントと講義要点をまとめたノート冊子(穴埋め式)を作成した。
公衆衛生学(医療技術学科 1 年対象)講義用スライドと講義用配付資料	2019 年～現在	講義用パワーポイントと講義要点をまとめたノート冊子(穴埋め式)を作成した。
公衆衛生学(看護学科 2 年対象)講義用スライドと講義用配付資料	2019 年～現在	講義用パワーポイントと講義要点をまとめたノート冊子(穴埋め式)を作成した。
公衆衛生学(保健栄養学科 2 年対象)講義用スライドと講義用配付資料	2019 年～現在	講義用パワーポイントと講義要点をまとめたノート冊子(穴埋め式)を作成した。
公衆衛生学(理学療法学科 2 年対象)講義用スライドと講義用配付資料	2019 年～現在	講義用パワーポイントと講義要点をまとめたノート冊子(穴埋め式)を

		作成した。
疫学(看護学科 2 年対象)講義用スライドと講義用配付資料	2017 年～現在	講義用パワーポイントと講義要点をまとめたノート冊子(穴埋め式)を作成した。
社会学(1 年対象)講義用スライドと講義用配付資料	2017 年～現在	講義用パワーポイントと講義要点をまとめたノート冊子(穴埋め式)を作成した。
保健師国家試験対策用「疫学」：講義用スライドと演習用配付資料	2018 年～現在	保健師国家試験「疫学」を出題基準ごとに要点をまとめ、関連する手に入る限りの過去問を掲載し、別冊にて解説集を作成した。
保健師国家試験対策用「保健統計」：講義用スライドと演習用配付資料	2024 年	保健師国家試験「保健統計」を出題基準ごとに要点をまとめ、関連する手に入る限りの過去問を掲載し、別冊にて解説集を作成した。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
4　その他教育活動上特記すべき事項		
診療放射線学科における卒業研究指導	2021 年	1 名の学生に対して指導をおこなった。
Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
2　特許		
3　その他職務上の実績に関する事項		
日本老年社会科学会査読委員	2013 年～現在	
学術論文の査読(3 本)	2020 年～2024 年	

Ⅲ　研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					
論文					
報告					
「コラム　ダイバーシティ推進について」	単著	2024 年 3 月	土浦市市民生活部人権推進課ダイバーシティ推進室『With You』Vol.24		p.3
学会発表					

Ⅳ　学会等および社会における主な活動

1　現在の所属学会
日本老年社会科学会 日本社会学会 日本社会福祉学会 日本老年行動科学会 家族社会学会
2　2020～2024 年度の学会での主な活動
3　2020～2024 年度の社会での主な活動
〈講演〉
茨城県　介護認定審査会　新任研修　講師（2025 年 3 月）
茨城県　介護認定審査会　新任研修　講師（2024 年 3 月）
茨城県　介護認定審査会　新任研修　講師（2023 年 3 月）
土浦市 女性模擬議会事前学習会　講師（2022 年 10 月）
土浦市女性団体・市長懇談会にて総評（2022 年 2 月）
茨城県　介護認定調査員研修　講師（2022 年 4 月）
茨城県　介護認定審査会　新任研修　講師（2022 年 3 月）
茨城県　介護認定調査員研修　講師（2021 年 5 月）
茨城県　介護認定審査会　新任研修　講師（2021 年 3 月）
茨城県　介護認定調査員研修　講師（2020 年 5 月）
＜委員会＞
茨城県　指定管理者選定委員会　委員（2020 年）
茨城県地方薬事審議会委員（2019 年～現在）
土浦市図書館協議会　委員　(2020 年～副会長)（2019 年～現在）
土浦市バリアフリー推進協議会　委員(委員長)（2019～2020 年）
茨城県介護支援専門員研修向上委員会　委員(副委員長)（2018 年～現在）
茨城県立医療大学倫理委員会　外部委員（2015 年～現在）
茨城県福祉サービス第三者評価推進機構委員（2013 年～現在）
土浦市男女共同参画推進委員会　委員長（2012 年～現在）
土浦市高齢者権利擁護推進協議会　会長（2011 年～現在）
特定非営利活動法人　いろは　理事長（2005 年～現在）
茨城県介護認定適正化委員会　副委員長（2003 年～現在）
土浦市介護認定審査会　委員（2000 年～現在）

所属　医療保健学部 学科　診療放射線学科	職名　准教授	氏名　奥村　英一郎	学　位	博士（保健学）
			国家資格	診療放射線技師

I　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
医用画像情報学	2015 年～現在	診療放射線学科 2 年次生を対象に画像処理や放射線領域の情報システムについて理解を深める目的で講義を行った。科目責任者として 15 コマすべての授業を担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、階調処置，平滑化、エッジ検出、鮮鋭化、画像間演算などの画像処理, DICOM、HIS,RIS などの医療情報システムについて解説した。成績は小テスト（講義毎実施）、期末試験および再試験により評価した。
医療情報学	2018 年～現在	診療放射線学科 1 年次生を対象に画像生成、情報理論，論理演算などについて理解を深める目的で講義を行った。科目責任者として 8 コマすべての授業を担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、画像生成、増感紙/フィルムの特性曲線，情報理論，論理演算、コンピュータについて解説した。成績は期末試験および再試験により評価した。
医用画像情報学演習	2018 年～現在	診療放射線学科 4 年生を対象に情報理論、論理演算、画像処理や放射線領域の情報システムについての国家試験問題の理解を深める目的で講義を行った。科目責任者として 8 コマすべての授業を担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、情報理論、論理演算、画像処理，医療情報システムについて過去の国家試験問題を解説した。成績は期末試験および再試験により評価した。
医用画像工学実験	2019 年～現在	診療放射線学科 3 年次生を対象に ImageJ などを用いて画像処理について理解を深める目的で実験を行った。科目分担者として 8 コマの実験を担当した。実験ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、ImageJ を用いた標本化・量子化、平滑化，エッジ検出などの空間フィルタ処理、空間周波数処理、R を用いた特徴量解析について講義、実験した。成績は、レポートにより評価した。

2　作成した教材（150 字程度まで）		
医用画像情報学（診療学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2015 年～現在	診療放射線学科 2 年次対象の医用画像情報学の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 15 点、計 700 枚)を作成し、プロジェクターに投影して使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
医療情報学（診療学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2018 年～現在	診療放射線学科 1 年次対象の医療情報学の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 8 点、計 320 枚)を作成し、プロジェクターに投影して使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
医用画像情報学演習（診療学科対象）の講義用 PowerPoint スライド		診療放射線学科 3 年次対象の医用画像情報学の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 15 点、計 700 枚)を作成し、プロジェクターに投影して使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
医用画像工学実験（診療学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2019 年～現在	診療放射線学科 2 年次対象の医用画像情報学の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 800 枚)を作成し、プロジェクターに投影して使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
4　その他教育活動上特記すべき事項		
診療放射線学科における卒業研究指導	2015 年～現在	診療放射線学科 4 年次対象の卒業研究において毎年 2～5 名程度の学生に対して指導を行った。
初年次教育補習	2022 年～現在	診療放射線学科 1 年次対象に高校にて物理基礎、物理を履修していない学生を対象に基礎的な知識や物理の考え方、問題の解き方について補習を行った。
診療放射線学科における国家試験対策補習、直前講習	2015 年～現在	診療放射線学科 3、4 年次対象の対象国家試験対策において、指導を行った。
診療放射線学科における病院実習指導	2015 年～現在	診療放射線学科 3 年次対象の臨床実習において毎年 10 名程度の学生に対して指導を行った。
Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		

2　特許		
3　その他職務上の実績に関する事項		
学術論文の査読（15 件）	2015 年～現在	

Ⅲ　研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					
実践！医用画像情報学	共著	2020 年 1 月	メジカルビュー社	福士政広監修	153-171,282-288, 330-338
論文					
深層学習を用いた超音波画像における慢性腎臓病の分類	共著（筆頭）	2024 年 9 月	医用画像情報学会雑誌　41 (3),	奥村英一郎、木曽丈晴、七字孝太、奥村恵理香、北村茂三、石田隆行	p60-70
Diagnostic accuracy of a novel ultrasound imaging index for knee osteoarthritis: Evaluation of sensitivity, specificity, and predictive values	共著	2024 年 3 月	J Clin Ultrasound 52(6):	KisoT, OkadaY, KawataS, ShichijiK, OkumuraE, HatsumiN, MatsuuraR, KaminagaM, KuwanoH, OkumuraE.	p687-699
視線検索パターンを用いた乳房における腫瘤状陰影の領域抽出	共著（筆頭）	2024 年 1 月	日本放射線技術学会雑誌 80 (5)	奥村英一郎、加藤英樹、本元強、鈴木伸忠、奥村恵理香、東川拓治、北村茂三、安藤二郎、石田隆行	p487-498
深層学習を用いた単純 X 線撮影における患者体動による不鋭の低減	共著（筆頭）	2023 年 4 月	医用画像情報学会雑誌 40 (1)	奥村英一郎、鈴木伸忠、奥村恵理香、北村茂三、村中博幸、石田隆行	p7-14
Convolutional LSTM を用いた乳房画像の視線動向の予測	共著（筆頭）	2022 年 4 月	医用画像情報学会雑誌 39 (1)	奥村英一郎、加藤英樹、本元強、鈴木伸忠、奥村恵理香、東川拓治、北村茂三、村中博幸、安藤二郎、石田隆行	p7-13

Residual U-net を用いたじん肺陰影領域の抽出	共著（筆頭）	2021 年 9 月	医用画像情報学会雑誌 38 (3)	奥村英一郎、佐藤陸、奥村恵理香、北村茂三、村中博幸、石田隆行	p132-136
報告					
学会発表					
マンモグラムを対象とした深層学習によるポジショニング不良	共著	2023 年 10 月	第 51 回日本放射線技術学会秋季大会	奥村恵理香、中山良平、奥村英一郎、鈴木伸忠、神子さとみ	一般演題
深層学習を用いたマンモグラフィ検像支援システムの開発	共同	2022 年 12 月	第 69 回関東支部研究発表大会	奥村恵理香、中山良平、奥村英一郎、鈴木伸忠、神子さとみ	一般演題
深層学習を用いた頸動脈 MRA における血管狭窄の判定	共同	2021 年 11 月	第 68 回関東支部研究発表大会	石森文朗、奥村英一郎、飛田麻里子、本元強、日木あゆみ	一般演題

Ⅳ　学会等および社会における主な活動

1　現在の所属学会

日本放射線技術学会
日本診療放射線技師会
医用画像情報学会

2　2020～2024 年度の学会での主な活動

茨城県診療放射線技師会　理事（2017 年～現在）

3　2020～2024 年度の社会での主な活動

日本放射線技術学会雑誌査読委員（2015 年～現在）
Radiological Physics and Technology 査読委員（2015 年～現在）

所属　医療保健学部 学科　診療放射線学科	職名　准教授	氏名　椎名　清和	学　位	修士（教育学）
			国家資格	社会福祉士

I　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
医療保健学セミナー	2019 年～現在	診療放射線学科 1 年次生を対象に、大学生活を有意義に送るための基礎づくりを目的とした講義をおこなった。科目責任者として 11 コマの授業を担当し、その他講師による講義 4 回に同席等を行った。講義では教科書と PowerPoint スライドを用い、講義部分は録画をおこない、Google classroom で視聴できるようしている。成績は各回の課題等の合計点で評価した。
関係法規	2019 年～現在	臨床検査学科 3 年次生を対象に、臨床検査技師国家試験の出題基準に記載されている法令と出題基準には記載されていないが、医療従事者に必要と思われる法令について講義を行った。科目責任者として 8 コマすべての授業を担当した。講義では教科書と PowerPoint スライドを用い、講義部分は録画をおこない、Google classroom で視聴できるようしている。成績は期末試験で評価した。
医療関係法規	2019 年～現在	看護学科 2 年次生を対象に看護師国家試験の出題基準に記載されている法令と出題基準には記載されていないが、医療従事者に必要と思われる法令について講義を行った。科目責任者として 8 コマすべての授業を担当した。講義では教科書と PowerPoint スライドを用い、講義部分は録画をおこない、Google classroom で視聴できるようしている。成績は期末試験で評価した。
保健・栄養関連法規	2019 年～現在	保健栄養学科 4 年次生を対象に、栄養士・管理栄養士に必要と思われる法令について PowerPoint スライドを中心とした講義を行った。科目責任者として 8 コマすべての授業を担当した。食生活に関連する法制度について、関係省庁や自治体の資料等を参考にしながら、法令を読み込むことができるように授業を展開している。成績は期末試験で評価した。
哲学	2019 年～現在	全学科の 1 年次生を対象に、4 年間の学びの土台を身につけることを目的に、教科書と PowerPoint スライドでオンラインによる講義を行った。科目責任者として 15 コマすべての授業を担当した。授業中には

		学生同士で討論を行わせたり、資料を読み込むことも行わせたりした。成績は、第 2 回から第 15 回の授業内容に関する小レポートの合計点で評価した。
医療経済学	2019 年～2020 年	診療放射線学科 1 年次生を対象に、将来の患者対応にいかせるよう、行動経済学の観点を盛り込んだ講義を教科書と PowerPoint スライドで行った。科目責任者として 8 コマすべての授業を担当した。成績は、記述式の期末試験で評価した。
医療経済学	2019 年～現在	臨床検査学科 1 年次生を対象に、将来の患者対応にいかせるよう、行動経済学の観点を盛り込んだ講義を教科書と PowerPoint スライドで行った（前半 4 回）。また、医療保険や医療費について PowerPoint スライドを用いて別途講義を行った（後半 4 回）。2021 年からは医療保険や医療費を重点的に取り扱うように授業内容の変更を行った。講義では教科書と PowerPoint スライドを用い、講義部分は録画をおこない、Google classroom で視聴できるようしている。成績は、記述式の期末試験で評価した。
医療経済学	2019 年～現在	医療技術学科 4 年次生を対象に、将来の患者対応にいかせるよう、行動経済学の観点を盛り込んだ講義を教科書と PowerPoint スライドで行った。科目責任者として 8 コマすべての授業を担当した。成績は、記述式の期末試験で評価した。
高齢者の福祉	2013 年～2018 年 2021 年～現在	理学療法学科 2 年次生を対象に、介護保険を中心とする高齢者福祉について、科目責任者として 8 コマすべての授業を担当した。 授業計画をもとに他科目で触れられている内容を確認し、科目間のつながりを意識しながら講義をおこなっている。 2014 年度から授業中に提示したスライド資料はインターネット（Google Classroom）を介して閲覧できるようにしている。講義では教科書と PowerPoint スライドを用い、講義部分は録画をおこない、Google classroom で視聴できるようしている。成績は期末試験で評価した。
障がい児・者の福祉 2020 年度までは「障害者の福祉」	2013 年～2018 年 2021 年～現在	理学療法学科 2 年次生を対象に、〈障害者総合支援法〉や児童福祉法に基づく障害福祉サービス等の講義を行った。科目責任者として 8 コマすべての授業を担当した。 授業計画をもとに他科目で触れられている内容を確認し、科目間のつながりを意識しながら講義をおこなっている。 2014 年度から授業中に提示したスライド資料はインターネット（Google Classroom）を介して閲覧できるようにしている。講義では

		教科書と PowerPoint スライドを用い、講義部分は録画をおこない、Google classroom で視聴できるようしている。成績は期末試験で評価した。
社会福祉学	2012 年～現在	看護学科 2 年次生を対象に、医療ソーシャルワーカーや介護支援専門員等の関連職種との連携を図るために必要な社会福祉の法制度・社会福祉施設・社会福祉サービス等についても理解することをねらいに講義を行った。科目責任者として 15 コマすべての授業を担当した。 2015 年度より、パワーポイントで作成した資料をインターネット（Google Classroom）を利用して配付するようにしている。講義では教科書と PowerPoint スライドを用い、講義部分は録画をおこない、Google classroom で視聴できるようしている。また、老年看護学実習Ⅰや保健師としてのロールモデルとすることをねらいに、外部講師（1 コマ）を招いている。成績は期末試験で評価した。
社会福祉学	2012 年～2018 年 2021 年～現在	保健栄養学科 2 年次生を対象に、医療ソーシャルワーカーや介護支援専門員等の関連職種との連携を図るために必要な社会福祉の法制度・社会福祉施設・社会福祉サービス等についても理解することをねらいに講義を行った。科目責任者として 15 コマすべての授業を担当した。 2015 年度より、パワーポイントで作成した資料をインターネット（Google Classroom）を利用して配付するようにしている。講義では教科書と PowerPoint スライドを用い、講義部分は録画をおこない、Google classroom で視聴できるようしている。成績は期末試験で評価した。
看護学セミナー	2019 年～現在	看護学科 4 年次生を対象に、科目分担者として 1 コマを担当した。社会保障や社会福祉について PowerPoint スライドで講義を行った。2022 年までは期末試験の問題の一部を作成した。
チーム医療論	2022 年～現在	理学療法学科 3 年次を対象に、科目分担者として 1 コマを担当したソーシャルワーカーについて PowerPoint スライドで講義を行った。
チーム医療論	2013 年～現在	保健栄養学科 3 年次生を対象に、科目分担者として 1 コマを担当した（2019 年までは症例検討も含めて 3 コマ担当）。ソーシャルワーカーについて PowerPoint スライドで講義を行った。
リハビリテーション看護学	2020 年～現在	看護学科 3 年次生を対象に、科目分担者として 1 コマを担当した（までは 2 コマ）。「障害者の就労支援制度」について教科書と PowerPoint スライドで講義を行った。2022 年度までは「障害者の心理」1 コマも担当した。
生命倫理	2021 年～現在	診療放射線学科 1 年次生を対象に、科目分担者として 3 コマを担当し

		た（2022 年までは、次の「脳死・臓器移植」を除く 2 コマ）。「脳死・臓器移植」「コミュニケーション論」「特別な配慮を要する医療」について、教科書と PowerPoint スライドで講義を行った。成績評価のための試験問題を作成した。
生命倫理	2023 年～現在	臨床検査学科、理学療法学科、看護学科、保健栄養学科の 1 年次生を対象に、科目分担者として 1 コマを担当した。「脳死・臓器移植」について教科書と PowerPoint スライドで講義を行った。成績評価のための試験問題を作成した。
精神医学	2024 年	理学療法学科 2 年次生を対象に、科目分担者として 1 コマを担当した。「精神障害者に対する医療制度および精神障害者の支援」を教科書と PowerPoint スライドで講義を行った。成績評価のための試験問題を作成した。
2　作成した教材（150 字程度まで）		
医療保健学セミナーの講義用 PowerPoint スライド	2019 年～現在	診療放射線学科 1 年次生対象の講義を行った際、PowerPoint スライド（計 11 点、2024 年は計 603 スライド）を作成し、板書として使用した。講義の前後にはスライドを見直し、変更や修正、追加、削除など、更新を行っている。
関係法規の講義用 PowerPoint スライド	2019 年～現在	臨床検査学科 3 年次生対象の講義を行った際、PowerPoint スライド（計 8 点、2023 年は計 600 スライド）を作成し、板書として使用した。講義の前後にはスライドを見直し、変更や修正、追加、削除など、更新を行っている。
医療関係法規の講義用 PowerPoint スライド	2019 年～現在	看護学科 2 年次生対象の講義を行った際、PowerPoint スライド（計 8 点、2024 年は計 678 スライド）を作成し、板書として使用した。講義の前後にはスライドを見直し、変更や修正、追加、削除など、更新を行っている。
保健・栄養関連法規の講義用 PowerPoint スライド	2019 年～現在	保健栄養学科 4 年次生対象の講義を行った際、PowerPoint スライド（計 8 点、2024 年は計 386 スライド）を作成し、板書として使用した。講義の前後にはスライドを見直し、変更や修正、追加、削除など、更新を行っている。
哲学の講義用 PowerPoint スライド	2019 年～現在	全学科 1 年次生対象の講義を行った際、PowerPoint スライド（計 15 点、2024 年は計 423 スライド）を作成し、板書として使用した。講義の前後にはスライドを見直し、変更や修正、追加、削除など、更新を行っている。
医療経済学（診療放射線学科）の講義用 PowerPoint スライド	2019 年～2020 年	診療放射線学科 1 年次生対象の講義を行った際、PowerPoint スライド（計 8 点、2020 年は計 227 スライド）を作成し、板書として使用

		した。講義の前後にはスライドを見直し、変更や修正、追加、削除など、更新を行っている。
医療経済学（臨床検査学科）の講義用 PowerPoint スライド	2019 年～現在	診療放射線学科 1 年次生対象の講義を行った際、PowerPoint スライド（計 8 点、2024 年は計 392 スライド）を作成し、板書として使用した。講義の前後にはスライドを見直し、変更や修正、追加、削除など、更新を行っている。
医療経済学（医療技術学科）の講義用 PowerPoint スライド	2019 年～現在	診療放射線学科 1 年次生対象の講義を行った際、PowerPoint スライド（計 8 点、2021 年は計 286 スライド）を作成し、板書として使用した。講義の前後にはスライドを見直し、変更や修正、追加、削除など、更新を行っている。
高齢者の福祉の講義用 PowerPoint スライド	2013 年～2018 年 2021 年～現在	理学療法学科 2 年次生対象の講義を行った際、PowerPoint スライド（計 7 点、2023 年は計 500 スライド）を作成し、板書として使用した。講義の前後にはスライドを見直し、変更や修正、追加、削除など、更新を行っている。
障がい児・者の福祉の講義用 PowerPoint スライド ※ 2020 年度までは「障害者の福祉」	2013 年～2018 年 2021 年～現在	理学療法学科 2 年次生対象の講義を行った際、PowerPoint スライド（計 8 点、2022 年は計 478 スライド）を作成し、板書として使用した。講義の前後にはスライドを見直し、変更や修正、追加、削除など、更新を行っている。
社会福祉学（看護学科）の講義用 PowerPoint スライド	2012 年～現在	看護学科 2 年次生対象の講義を行った際、PowerPoint スライド（計 9 点、2024 年は計 854 スライド）を作成し、板書として使用した。講義の前後にはスライドを見直し、変更や修正、追加、削除など、更新を行っている。
社会福祉学（保健栄養学科）の講義用 PowerPoint スライド	2012 年～2018 年 2021 年～現在	看護学科 2 年次生対象の講義を行った際、PowerPoint スライド（計 10 点、2024 年は計 875 スライド）を作成し、板書として使用した。講義の前後にはスライドを見直し、変更や修正、追加、削除など、更新を行っている。
看護学セミナーの講義用 PowerPoint スライド	2019 年～現在	保健栄養学科 4 年次生対象の講義を行った際、PowerPoint スライド（計 1 点、2024 年は 48 スライド）を作成し、板書として使用した。講義の前後にはスライドを見直し、変更や修正、追加、削除など、更新を行っている。
チーム医療論（理学療法学科）の講義用 PowerPoint スライド	2022 年～現在	理学療法学科 3 年次生対象の講義を行った際、PowerPoint スライド（計 1 点、2024 年は 32 スライド）を作成し、板書として使用した。講義の前後にはスライドを見直し、変更や修正、追加、削除など、更新を行っている。
チーム医療論（保健栄養学科）の講義用 PowerPoint スライド	2013 年～現在	保健栄養学科 3 年次生対象の講義を行った際、PowerPoint スライド

		（計 1 点、2024 年は 40 スライド）を作成し、板書として使用した。講義の前後にはスライドを見直し、変更や修正、追加、削除など、更新を行っている。
リハビリテーション看護学の講義用 PowerPoint スライド	2020 年～現在	看護学科 3 年次生対象の講義を行った際、PowerPoint スライド（計 1 点、2024 年は 54 スライド）を作成し、板書として使用した。講義の前後にはスライドを見直し、変更や修正、追加、削除など、更新を行っている。
生命倫理（診療放射線学科）の講義用 PowerPoint スライド	2021 年～現在	診療放射線学科 1 年次生対象の講義を行った際、PowerPoint スライド（計 3 点、2024 年は計 128 スライド）を作成し、板書として使用した。講義の前後にはスライドを見直し、変更や修正、追加、削除など、更新を行っている。
生命倫理（臨床検査学科、理学療法学科、看護学科、保健栄養学科）の講義用 PowerPoint スライド	2023 年～現在	臨床検査学科、理学療法学科、看護学科、保健栄養学科 1 年次生対象の講義を行った際、PowerPoint スライド（計 1 点、2024 年は 32 スライド）を作成し、板書として使用した。講義の前後にはスライドを見直し、変更や修正、追加、削除など、更新を行っている。
精神医学の講義用 PowerPoint スライド	2024 年	理学療法学科 2 年次生対象の講義を行った際、PowerPoint スライド（計 1 点、2024 年は 32 スライド）を作成し、板書として使用した。講義の前後にはスライドを見直し、変更や修正、追加、削除など、更新を行っている。
診療放射線学科における入学前課題の作成	2020 年～現在	診療放射線学科において、他教員が作成した数学と物理学の入学前課題を Google classroom で投稿できるように Google フォームに変更した（数学が 6 つ（各 15 問）、物理学が 5 つ（各 10 問）。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
4　その他教育活動上特記すべき事項		
看護学科「保健師国家試験対策補講」	2020 年～現在	看護学科保健師コースの学生向けに国家試験対策の補講をおこなっている。
診療放射線学科「入学前課題の作成」	2020 年～現在	診療放射線学科の新入生に向けた入学前課題を Google classroom を用いて作成している。
Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
2　特許		

3　その他職務上の実績に関する事項		
学術論文の査読（2 件）	2022～2023 年	

Ⅲ　研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					
論文					
報告					
学会発表					

Ⅳ　学会等および社会における主な活動

1　現在の所属学会

日本子ども虐待防止学会
日本特殊教育学会
日本福祉のまちづくり学会
日本農村医学会
日本栄養改善学会
茨城県社会福祉士会

2　2020～2024 年度の学会での主な活動

日本プライマリケア連合学会茨城県支部幹事（2020 年～現在）

3　2020～2024 年度の社会での主な活動

社会福祉法人一路会苦情解決第三者委員(2012 年～現在)
特定非営利活動法人まちなか交友館まどか理事(2012 年～現在)
社会福祉法人茨城県道心園理事(2015 年～現在)
社会福祉法人恵愛会評議員(2019 年～現在)
古河市社会福祉協議会「市民後見人養成講座(科目「対人援助の基礎」)」講師(2024 年 11 月 29 日)
茨城県立聴覚障害者福祉センターやすらぎ「要約筆記者養成講座（科目「カウンセリングの基礎理論」「対人援助の基礎理論」)」講師（2024 年 11 月 9 日）

つくば市社会福祉協議会「市民後見人養成講座事前説明会（演題：成年後見制度の概要と社会参加型成年後見人）」講師（2024 年 7 月 25 日）
牛久市社会福祉協議会「成年後見サポートセンター支援員フォローアップ研修（要約筆記者の専門性）」講師（2023 年 10 月 26 日）
茨城県立聴覚障害者福祉センターやすらぎ「要約筆記者向け研修」講師（2023 年 2 月 5 日）
土浦市社会福祉協議会都和支部「ボランティア研修（ボランティア活動の心得）」講師（2022 年 3 月 4 日）
茨城県社会福祉協議会「社会福祉施設等新任職員研修」講師（2020 年～2024 年）
茨城県委託事業「養育里親研修・養子縁組里親研修」「養育里親更新研修・養子縁組里親更新研修」講師（2020 年～現在）

所属　医療保健学部 学科　診療放射線学科	職名　准教授	氏名　根本　広文	学　位	修士（放射線技術科学）
			国家資格	診療放射線技師

Ⅰ　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
診療画像技術学実習Ⅱ（応用技術）	2020 年～現在	診療放射線学科 3 年次を対象に核医学データ処理と放射性医薬品の取扱いについて実習を行った。SPECT データ処理では PDR ファーマ株式会社無償提供の総合管理ツール LANC@T や画像処理ソフトや解析支援プログラム DRIP を用いて pool phantom や Hoffman phantom のプロジェクションデータから 3D データに再構成する際の Chang 法による減弱補正や Butter worth フィルタの効果や画質について解説した。放射性医薬品の取扱いでは、ミルキング方法や標識化合物の調製方法・分注などについて ^{99}Mo－^{99m}Tc ジェネレーターや各種標識化合物を用いて概説した。また、非密封 RI による放射線汚染や廃棄方法、注意点等について臨床経験を交えて実習を行った。
放射線安全管理学実験	2020 年～現在	診療放射線学科 3 年次を対象に核医学分野で使用するウェル型 NaI(Tl)シンチレーションカウンタとドーズキャリブレータ（キューリーメータ）の特性について、放射線の線量と測定時間との関係や測定器が外部線源の影響により測定値に影響を及ぼすか等について表示付認証機器線源 ^{57}Co、^{60}Co、^{137}Cs を使用して実験を行った。測定結果を Excel で平均値・標準偏差値を計算させ、理論値との比を求め換算定数を算出した。また、測定結果や換算定数のグラフを作成させた。
核医学検査技術学Ⅱ	2019 年～現在	診療放射線学科 3 年次を対象に核医学検査に用いられる放射性医薬品、検査原理、検査・治療方法、適応などについて解説した。主な内容は脳神経系核医学検査、内分泌系核医学検査、呼吸器系核医学検査、循環器系核医学検査、消化器系核医学検査、泌尿器系核医学検査、骨・関節系核医学検査、血液・造血臓器系核医学検査、腫瘍・炎症系核医学検査、ポジトロン核医学検査および核医学治療について臨床画像等を用いて説明した。診療放射線技師国家試験問題の出題傾向を踏まえ学生に理解してもらえるよう臨床経験を交えて講義した。

総合演習Ⅱ	2020 年～現在	診療放射線学科 4 年次を対象に核医学検査技術学について、診療放射線技師国家試験の過去 4 年間の解説を行った。さらにオリジナル問題を 50 問程度出題し学力の醸成を図った。
放射性医薬品学	2022 年～現在	診療放射線学科 2 年次を対象に核医学検査で用いられる放射性医薬品について、診療放射線技師が理解しておくべき基礎知識、放射性医薬品の種類・体内動態、検査や核医学治療の適応について講義した。また、放射性汚染物の保管・処理方法について臨床経験を基に解説した。放射性医薬品の安全取扱および放射線線量管理の知識を身につけることを主な目標とし、具体的には核医学検査法、画像収集条件、in vivo 診断用放射性医薬品の種類、核医学治療、放射性医薬品による副作用についてである。
放射線関係法規	2022 年～現在	診療放射線学科 1 年次を対象に医療関係機関における放射線の安全管理に必要な次の法的規制について講義した。1. 診療放射線技師法、2. 医療法施行規則、3. 放射性同位元素等の規制に関する法律(RI 等規制法)の施行令・施行規則等について法原文を交えて解説した。また、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律関係（薬機法）や労働安全衛生法（電離放射線障害防止規則）等の法律についても概略を説明した。
実践臨床画像学演習	2024 年	診療放射線学科 3 年次を対象に核医学検査の患者対応および検査に関わる説明、静脈路の確保と抜針および止血の手技について実習を行った。特に静脈穿刺・静脈路確保と核医学検査で使用する放射性医薬品や防護具（タングステンシールドや鉛ガラス）の取扱いについて説明した。 実践臨床画像学（静脈穿刺と核医学検査での使用機材の説明） 静脈穿刺、シリンジの接続、被ばく防護対策 核医学検査における機材の説明 静脈穿刺・抜去の手技・留置針の設定方法 廃棄物等の処理 核医学検査の患者接遇、副作用の説明等
2　作成した教材（150 字程度まで）		
診療画像技術学実習Ⅱ（応用技術）の核医学実習テキスト（word）、核医学データ処理（PowerPoint）、放射性医薬品の取扱い（PowerPoint）	2020 年～現在	診療放射線学科 3 年次を対象に核医学データ処理と放射性医薬品の取扱いについて実習を行った際、核医学実習テキスト（word）、核医学デ

の資料を作成		ータ処理（PowerPoint)、放射性医薬品の取扱い（PowerPoint）の資料を作成し実習を行った。前年度担当教科の授業評価や最新の教科書を参考にしてレジュメや配布資料の内容をアップデートした。PowerPoint を使用して担当科目の教科書、参考書、テキスト等を編集し授業資料をブラッシュアップして配布した。実習の内容を一部変更し、学生がより理解しやすいようにした。また、レポート作成について指導した。
放射線安全管理学実験のテキスト（5. ドーズキャリブレータ・ウェル型 NaI(Tl)シンチレーション検出器の管理（線量管理)）実験書とレポート作成方法の資料を作成	2020 年～現在	診療放射線学科 3 年次を対象に核医学分野で使用する、ドーズキャリブレータ（電離箱式）とウェル型 NaI(Tl)シンチレーション検出器の特性、測定方法、精度管理について実験を行った際、前年度担当教科の授業評価や最新の教科書を参考にしてレジュメや配布資料の内容をアップデートした。PowerPoint を使用して担当科目の教科書、参考書、テキスト等を編集し授業資料をブラッシュアップして配布した。実験の内容を一部変更し、学生がより理解しやすいようにした。
核医学検査技術学Ⅱの講義用 PowerPoint スライド、配布用テキスト、小テストを作成	2019 年～現在	診療放射線学科 3 年次を対象に前年度担当教科の授業評価や最新の教科書を参考にしてレジュメや配布資料の内容をアップデートした。PowerPoint を使用して担当科目の教科書、参考書、テキスト等を編集し授業資料をブラッシュアップして配布した。また、講義毎に小テスト 10 問程度を解かせ知識の醸成を図った。
総合演習Ⅱ核医学検査技術学(2)の講義用 PowerPoint スライド、配布用テキスト、練習問題を作成	2020 年～現在	診療放射線学科 4 年次を対象に診療放射線技師国家試験の過去 4 年間の問題を Word で、その解説を PowerPoint で作成したものを配布した。また、オリジナル問題 50 問、その正答を作成し配布した。
放射性医薬品学の講義用 PowerPoint スライド、配布用テキスト、練習問題を作成	2022 年～現在	診療放射線学科 2 年次を対象に前年度担当教科の授業評価や最新の教科書を参考にしてレジュメや配布資料の内容をアップデートした。PowerPoint を使用して担当科目の教科書、参考書、テキスト等を編集し授業資料をブラッシュアップして配布した。また、講義毎に練習問題 10 問程度を解かせ知識の醸成を図った。
放射線関係法規の講義用 PowerPoint スライド、配布用テキスト、小テストを作成	2022 年～現在	診療放射線学科 1 年次を対象に前年度担当教科の授業評価や最新の教科書を参考にしてレジュメや配布資料の内容をアップデートした。PowerPoint を使用して担当科目の教科書、参考書、テキスト等を編集し授業資料をブラッシュアップして配布した。また、講義毎に小テスト 10 問程度を解かせ知識の醸成を図った。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		

4　その他教育活動上特記すべき事項		
診療放射線学科における病院実習指導	2019 年～現在	診療放射線学科 3・4 年生の臨床実習では、プレ実習Ⅰ・Ⅱにおいてより実践的な指導を行った。担当施設の実習初日対応について集合時間・場所、注意事項、携帯品等の資料を作成し配布した。
診療放射線技師国家試験対策		診療放射線技師国家試験対策の一環として、担当する専門科目の国家試験到達度テストの問題を作成した。
Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
2　特許		
3　その他職務上の実績に関する事項		

Ⅲ　研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					
論文					
報告					
診療放射線学科で実施した国家試験対策とその効果に関する一考察	共著	2023 年 3 月	つくば国際大学医療保健学研究 第 14 号	永井良明，柳田智，清水秀雄，根本広文，崔岡大，川田悟，村中博幸，福士政広	p51-59
学会発表					

Ⅳ　学会等および社会における主な活動

1　現在の所属学会

日本核医学会

日本放射線技術学会 日本診療放射線学会 日本放射線技師教育学会 日本核医学技術学会関東地方会 つくばサイエンスアカデミー
2　2020～2024 年度の学会での主な活動
日本放射線技術学会代議員（2012 年 7 月～2021 年 4 月） 日本放射線技術学会関東支部理事（2011 年 3 月～2021 年 2 月） 日本放射線技術学会第 67 回関東支部研究発表大会（2020 年中止・大会長） 日本放射線技術学会第 69 回関東支部研究発表大会（2022 年開催・大会長） 日本放射線技術学会関東支部財務委員・核医学研究会副代表（2021 年～2024 年）
3　2020～2024 年度の社会での主な活動

所属　医療保健学部 学科　診療放射線学科	職名　准教授	氏名　本間　光彦	学　位	博士（医学）
			国家資格	死体解剖資格、診療放射線技師、第一種放射線取扱主任者

Ⅰ　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
解剖学Ⅱ	2019 年～現在	診療放射線学科 1 年次生を対象に、人体の構造について理解を深める目的で講義を行った。科目責任者として 15 コマすべての授業を担当した。講義では冊子を配布し、冊子に沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、解剖学総論（細胞と細胞小器官、解剖学用語、臓器の位置関係、体控）の知識の復習をし、新たに骨格系、筋系、神経系、感覚器、発生学について解説した。成績は確認課題（毎回の授業終了時に Google ホームでの実施）の提出状況、期末試験および再試験により評価した。
画像解剖学Ⅱ	2019 年～現在	診療放射線学科 2 年次生を対象に、人体の構造と機能について理解を深める目的で講義を行った。科目責任者として 15 コマすべての授業を担当した。講義ではデジタル資料を配布し、資料に沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、今まで学習してきた知識より立体的に認識し、X線 CT 画像、MR画像、超音波画像など医療画像の撮像原理と特徴から、各臓器がどのように描出されるのかを理解し、また、実際の臨床症例画像を用いて、正常画像を解剖学的に理解し、そこから異常所見を見つけることが出来るためのスキルについて解説した。成績は確認課題（毎回の授業終了時に Google ホームでの実施）の提出状況、期末試験および再試験により評価した。
臨床解剖学演習	2019 年～現在	診療放射線学科 2 年次生を対象に、人体の構造について立体的に理解を深める目的で講義を行った。科目責任者として 15 コマすべての授業を担当した。講義ではデジタル資料を配布し、資料に沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、解剖学・生理学で学んだ知識の再確認をしながら、人体模型などを使用し、神経系と各器官・臓器の立体的構造の理解を深めるための解説をした。成績は確認課題レポート（毎回の授業で実施）の作成状況、期末試験および再試験により評価した。

病理学	2022 年～現在	診療放射線学科 2 年次生を対象に、人間の疾病理解の基礎となる病理発症、進展転帰、病因等、疾患概念の本質について理解を深める目的で講義を行った。科目分担者として 15 コマ中 7 コマの授業を担当した。講義では冊子を配布し、冊子に沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、組織障害（退行性変化）、再生と修復（進行性変化）、循環障害、炎症論、免疫病理、腫瘍病理の基礎的分野について解説した。成績は期末試験および再試験により評価した。
がん医療科学	2019 年～現在	診療放射線学科 3 年次生を対象に、がんの性質と動態ついて理解を深める目的で講義を行った。科目責任者として 8 コマすべての授業を担当した。講義ではデジタル資料を配布し、資料に沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、がんの発生・増殖・転移についての基礎理論と概念に関して生命科学の視点から理解と知識を深める。また、診療放射線技師の立場として、がん患者の放射線治療に関する説明・相談に必要な基礎的手法についても解説した。成績は確認課題（毎回の授業終了時に Google ホームでの実施）の提出状況、期末試験および再試験により評価した。
放射線腫瘍学	2019 年～現在	診療放射線学科 3 年次生を対象に、がんの診断、放射線治療のための物理学・生物学、放射線治療の実際ついて理解を深める目的で講義を行った。科目責任者として 8 コマすべての授業を担当した。講義ではデジタル資料を配布し、資料に沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、がん医療科学で習得したがんに関する知識を前提として、がん治療に対して、放射線生物学に基づいた、放射線治療、手術・化学療法による治療法の選択やその効果、メリット、デメリットなどについて解説した。成績は確認課題（毎回の授業終了時に Google ホームでの実施）の提出状況、期末試験および再試験により評価した。
実践臨床画像学	2024 年	診療放射線学科 3 年次生を対象に、業務拡大における新たな診療放射線技師に必要な知識について理解を深める目的で講義を行った。科目分担者として 8 コマ中 1 コマの授業を担当した。講義ではプリント資料を配布し、プリント資料に沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、血管確保に必要な解剖学的知識について解説した。成績は期末試験および再試験により評価した。
総合演習 I	2020 年～現在	診療放射線学科 3 年次生を対象に、本講義までに終了している国家試験関連科目について総復習をして理解を深める目的で講義を行った。科目分担者として 15 コマ中 2 コマの授業を担当した。講義ではプリント資料を配布し、プリント資料に沿って作成された PowerPoint

		スライドを用いて、人体各臓器の構造と機能について解説した。成績は期末試験および再試験により評価した。
総合演習Ⅱ	2021 年～現在	診療放射線学科 4 年次生を対象に、本講義までに終了している国家試験関連科目について総復習をして理解を深める目的で講義を行った。科目分担者として 15 コマ中 2 コマの授業を担当した。講義ではプリント資料を配布し､プリント資料に沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、人体各臓器の構造と機能について解説した。成績は期末試験および再試験により評価した。
解剖学Ⅰ補講	2024 年	診療放射線学科 1 年次生を対象に、人体の構造について理解を深める目的で講義を行った。補講責任者として 8 コマすべての授業を担当した。講義ではプリント資料を配布し、プリント資料に沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、解剖学Ⅰで学習した内容の復習を行った。補習のため定期試験による評価は行っていない。
2　作成した教材（150 字程度まで）		
解剖学Ⅱの講義用 PowerPoint スライド	2019 年～現在	診療放射線学科 1 年次対象の解剖学Ⅱの講義を行った際、PowerPoint スライド(計 15 点、計 82 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
解剖学Ⅱの講義用冊子	2019 年～現在	診療放射線学科 1 年次対象の解剖学Ⅱの講義を行った際、毎回の授業内容をまとめた冊子(A4、計 50 頁)を配布資料として作成した。講義の後には冊子を見直し、変更や修正など、更新を行った。
画像解剖学Ⅱの講義用 PowerPoint スライド	2019 年～現在	診療放射線学科 2 年次対象の画像解剖学Ⅱの講義を行った際、PowerPoint スライド(計 15 点、計 306 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
画像解剖学Ⅱの講義用デジタル資料	2019 年～現在	診療放射線学科 2 年次対象の画像解剖学Ⅱの講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたデジタル資料(A4、計 304 枚)を配布資料として作成した。講義の後には冊子を見直し、変更や修正など、更新を行った。
臨床解剖学演習の講義用 PowerPoint スライド	2019 年～現在	診療放射線学科 2 年次対象の臨床解剖学演習の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 15 点、計 169 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
臨床解剖学演習の講義用デジタル資料	2019 年～現在	診療放射線学科 2 年次対象の臨床解剖学演習の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたデジタル資料(A4、計 169 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはデジタル資料を見直し、変更や修正など、

		更新を行った。
臨床解剖学演習の確認課題レポート	2019 年～現在	診療放射線学科 2 年次対象の臨床解剖学演習の講義を行った際、毎回の授業の後半に行う確認課題レポート(A4、計 364 枚)を作成した。講義の後には確認課題レポートを見直し、変更や修正など、更新を行った。
病理学の講義用 PowerPoint スライド	2022 年～現在	診療放射線学科 2 年次対象の病理学の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 7 点、計 97 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
病理学の講義用冊子	2022 年～現在	診療放射線学科 2 年次対象の病理学の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめた冊子(A4、計 100 頁)を配布資料として作成した。講義の後には冊子を見直し、変更や修正など、更新を行った。
がん医療科学の講義用 PowerPoint スライド	2019 年～現在	診療放射線学科 3 年次対象のがん医療科学の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 8 点、計 126 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
がん医療科学の講義用デジタル資料	2019 年～現在	診療放射線学科 3 年次対象のがん医療科学の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたデジタル資料(A4、計 128 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはデジタル資料を見直し、変更や修正など、更新を行った。
放射線腫瘍学の講義用 PowerPoint スライド	2019 年～現在	診療放射線学科 3 年次対象の放射線腫瘍学の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 8 点、計 171 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
放射線腫瘍学の講義用デジタル資料	2019 年～現在	診療放射線学科 3 年次対象の放射線腫瘍学の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたデジタル資料(A4、計 171 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはデジタル資料を見直し、変更や修正など、更新を行った。
実践臨床画像学の講義用 PowerPoint スライド	2024 年	診療放射線学科 3 年次対象の実践臨床画像学の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 1 点、計 51 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
実践臨床画像学の講義用配布資料	2024 年	診療放射線学科 3 年次対象の実践臨床画像学の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(A4、計 8 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
総合演習 I の講義用 PowerPoint スライド	2020 年～現在	診療放射線学科 3 年次対象の総合演習 I の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 2 点、計 144 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。

総合演習Ⅰの講義用配布資料	2020 年～現在	診療放射線学科 3 年次対象の総合演習Ⅰの講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(A4､計 4 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
総合演習Ⅱの講義用 PowerPoint スライド	2021 年～現在	診療放射線学科 4 年次対象の総合演習Ⅱの講義を行った際、PowerPoint スライド(計 2 点、計 34 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
総合演習Ⅱの講義用配布資料	2021 年～現在	診療放射線学科 4 年次対象の総合演習Ⅱの講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(A4､計 5 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
解剖学Ⅰ補講の講義用 PowerPoint スライド	2024 年	診療放射線学科 1 年次対象の解剖学Ⅰ補講の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 8 点、計 61 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
解剖学Ⅰ補講の講義用配布資料	2024 年	診療放射線学科 1 年次対象の解剖学Ⅰ補講の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(A4、計 32 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
放射線カウンセリング学関連科目教育に関する論文発表	2022 年 12 月	放射線カウンセリング学関連科目教育に関する論文（学術資料）を単著として発表した。 「つくば国際大学における放射線カウンセリング学関連科目の教育状況」本間光彦　放射線カウンセリング　第 19 巻第 1 号 p6-12
4　その他教育活動上特記すべき事項		
診療放射線学科における卒業研究指導	2023 年～現在	診療放射線学科 4 年次対象の卒業研究において毎年 2～5 名程度の学生に対して指導を行った。
診療放射線学科における研究生指導	2019 年～現在	診療放射線学科研究生対象の研究において毎年 2～3 名程度の学生に対して指導を行った。
FD フォーラム報告会報告	2022 年 3 月	2021 年度 FD フォーラム報告会において第 12 分科会「ハイブリッド授業が一般化する時代の情報システムと教室デザイン」について、シンポジウム 2「科目・教養・教員の未来　～コロナ禍を経たこれからの大学教育を展望する」の 2 つについて報告を行った。
Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		

2　特許			
3　その他職務上の実績に関する事項			
日本放射線カウンセリング学会査読委員		2023 年～現在	
学術論文の査読（5 件）		2023 年～現在	

Ⅲ　研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					
診療画像技術学　Ⅱa　X線撮影技術学　【第 2 版】	共著	2022 年 3 月	株式会社　医療科学社	【編著者】森浩一他 2 名 【著者】石森佳幸、本間光彦他 19 名	総頁数：341 頁 執筆担当：第 9 章造影検査、2 血管造影検査法（p211-224）
論文					
他の医療職の国家試験と比較した診療放射線技師国家試験における人体解剖学の出題傾向	単著	2023 年 3 月	医療保健学研究　つくば国際大学紀要　第 14 号	本間光彦	p41-50
診療放射線技師国家試験のカウンセリング関連科目の出題状況－各医療職国家試験との比較検討－	単著	2022 年 12 月	放射線カウンセリング 第 19 巻第 1 号	本間光彦	p13-20
つくば国際大学における放射線カウンセリング学関連科目の教育状況	単著	2022 年 12 月	放射線カウンセリング 第 19 巻第 1 号	本間光彦	p6-12
報告					
【参考資料】学術大会学会企画（傾聴訓練を体験する）報告	単著	2025 年 2 月	放射線カウンセリング 第 21 巻第 1 号	本間光彦	p31-32
20 周年記念誌に寄せて	単著	2024 年 2 月	放射線カウンセリング 第 20 巻第 1 号	本間光彦	p10
傾聴訓練ファシリテーター報告	単著	2024 年 2 月	放射線カウンセリング 第 20 巻第 1 号	本間光彦	p36

学会発表					
学術大会学会企画（傾聴訓練を体験する）報告	単独	2023 年 9 月	2024 年度　第 1 回日本放射線カウンセリング学会　Web セミナー	本間光彦	特別講演
傾聴訓練（傾聴トレーニング）を体験する	共同	2023 年 9 月	第 39 回日本診療放射線学術大会	大井慎也、本間光彦、下平和紀、荒木智一	シンポジウム
Ⅳ　学会等および社会における主な活動					
1　現在の所属学会					
日本解剖学会 日本医学物理学会 日本放射線カウンセリング学会 日本産業カウンセラー協会 日本診療放射線技師会 茨城県放射線技師会					
2　2020～2024 年度の学会での主な活動					
日本放射線カウンセリング学会・理事（2023 年～現在） 日本放射線カウンセリング学会・学術委員会委員長（2023 年～2024 年） 日本放射線カウンセリング学会・倫理委員会委員長（2025 年～現在）					
3　2020～2024 年度の社会での主な活動					
日本放射線カウンセリング学会機関誌査読委員（2023 年～現在）					

所属　医療保健学部 学科　診療放射線学科	職名　准教授	氏名　矢部　仁	学　位	保健学修士
			国家資格	診療放射線技師

I　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
初年次教育補習 物理補習（基礎，応用）の導入	2019 年～現在	1 年次の物理の学力向上を目的として実施（全 10 限）した。事前に学力テストを行い、規定以下の学生を補習対象とし 6 班に分けて、問題に対してグループ討議をして答えを導き出し説明する形式を導入した。物理学の学習内容を高校レベルにして物理基礎や物理を履修していない学生が大学での放射線物理や医用工学の勉学において、不足の内容に補習により補うことを目的として導入した。担当教員２～３名にて巡回しながら個別指導する形式とした。補習の終了時には学力向上確認テストを行なって評価している。
国試対策補習，国試直前講習 医用工学	2019 年～現在	医用工学は、最も苦手な科目であり全国の大学においても同じ傾向である。当大学では 2018 年までは国試問題の平均正当率が 1.2 問/7 問程度推移していたが、ここ最近では平均正当率 2.3 問/7 問と上昇傾向にある。医用電気工学及び医用電子工学の授業内容の中で、法則や項目を説明した直後に練習問題を解くようにした。また、要点と練習問題をクラスルームに掲載して、学生が積極的に中間・期末試験対策ができるように改善した。また、医用工学実験を導入したことにより、理論と実験が結びつきやすくなったことが考えられる。 国試直前（１ヶ月前）に集中対策として厳選した問題 7 問を確実に解けるように対策するような方法を実践した。
医用工学実験（新規導入）	2023 年～現在	診療放射線学科 2 年次生を対象に医用工学（電気・電子工学）の理解を深める目的で実験を導入した。実験に際し新たに実験テキストを作成して、学生自身がテキストを参考にして各種測定器や実験回路を構築して実験を行う形式にした。また A、B グループそれぞれ 6 班に分けて演習と実験を午前／午後に行えるように整備した。1 実験項目に１名の指導教員を配置して、安全を確保して丁寧な指導できるように配慮した。学生自身が積極的に実験に参加できるように測定担当、記録担当、計算担当、グラフ化担当など実験レポート作成に向けて効率的に実験を進めるようにした。評価はレポート提出、演習問題

		提出物により行うようにした。
2　作成した教材（150 字程度まで）		
診療技術学実習 I（超音波検査実験装置）	2020 年～2022 年	体循環シミュレータの拍動流による超音波カラードプラー用実験装置製作して、実験にて使用できるようにした。従来は、頚動脈を
放射線安全管理学実験（個人線量計方向依存性）実験装置製作	2020 年～現在	半導体型個人線量計の方向依存性の特性を測定するための実験装置を新たに製作した。X 線の入射方向を 15°毎に精度良く変化させることができるような機能を付加した。この装置を使って実験を行うことにより、短時間に行えるようになり、また精度と再現性が向上し学生の理解度も向上した。
放射線安全管理学実験（個人線量計 OSL 線量計）初期化装置製作	2022 年～現在	OSL 線量計の初期化装置を製作することにより、学内にて初期化が可能となり Background 測定が精度良くできるようになったことで被ばく線量測定の精度と再現性が向上した。個人線量計（TLD, OSL，半導体型線量計）の特性の違いについても明確な実験データが得られるようになり学生の理解度も向上した。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
4　その他教育活動上特記すべき事項		
Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
2　特許		
3　その他職務上の実績に関する事項		

Ⅲ　研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					

論文					
Simple evaluation method for radiation dose monitoring using fluoroscopic dose rate in cardiac catheterization for pediatric congenital heart disease	共著	2021 年 1 月	日本小児放射線学会 雑誌 37 巻 1 号 （小池賞受賞）	織部祐介、矢部仁、田中宏、松浦由佳、梅津光生	75-84, 原著
パーキンソン病患者の上腕二頭筋における超音波剪断波エラストグラフィーを用いた筋硬度の前向き検討	共著	2022 年 12 月	日本診療放射線技師会誌 2023, Vol.70, No.848.	小林悟士、笠井健治、矢部仁、今尾仁、橋本祐二、市川忠	565-571, 原著
A Prospective Study of Muscle Stiffness Using Ultrasound Shear Wave Elastography in the Biceps Brachii of Patients with Parkinson's Disease	共著	2024 年 7 月	Journal of The Japanese Association of Radiological Technologists -English edition- 2024	Satoshi Kobayashi, Kasai Kenji, Hitoshi Yabe, Imao Masashi, Hashimoto Yuji, Ichikawa Tadashi	29-36, Original
報告					
学会発表					
Preliminary study to measure cerebral blood flow changes using 3D Arterial Spin Labeling in patients with Parkinson's disease - in healthy adults.	共同発表	2022 年 9 月	第 56 回日本作業療法学会	Masashi Kunisige, Yohei Sekikawa, Yasuko Suzuki, Ikuko Kuno, Hitoshi Yabe	ポスター発表
DBS 術後 MRI 検査における脳内電極の RF 発熱に関する研究	単独	2025 年 3 月	第 48 回日本脳神経 CI 学会	矢部　仁，大渕　敏樹	口述発表，シンポジウム
Ⅳ　学会等および社会における主な活動					
1　現在の所属学会					
日本神経学会会員 日本脳神経 CI 学会会員 日本放射線技術学会会員 日本診療放射線技師会 日本磁気共鳴医学会会員 日本核医学技術学会会員					

日本小児循環器学会会員
2　2020～2024 年度の学会での主な活動
3　2020～2024 年度の社会での主な活動
東京都森林保全活動（とうきょう林業サポート隊）

所属　医療保健学部 学科　診療放射線学科	職名　講師	氏名　清水　秀雄	学　位	博士（放射線学）
			国家資格	診療放射線技師

I　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
放射化学実験	2015 年～現在	診療放射線学科 2 年生を対象に診療放射線技師として必要な放射化学的な知識・技能を習得する目的で授業を行った。科目分担者として 42 コマすべての担当をした。科目担当者で作成した実験書を配布し，その内容に沿ってフリッケ線量計，溶媒抽出法、イオン交換法、薄層クロマトグラフィ、ペーパークロマトグラフィーの基本操作に関する実験を行った。その際、模擬的に放射線の放出を意識し、汚染防止など安全取り扱いに対する考え方も解説した。成績は各回のレポートにより評価した。
放射線安全管理学実験	2015 年～現在	診療放射線学科 3 年生を対象に放射線安全管理学の内容と相互に学習し，理解を深める目的で授業を行った。科目分担者として 40 コマすべての担当をした。科目担当者で作成した実験書を配布し，その内容に沿って放射線管理技術や放射線計測法及び安全取扱い技術を理解するための実験を行なった。また放射線安全管理の実務に従事するために必要な基本的技術についても実験を通して解説した。成績は各回のレポートにより評価した。
放射線計測学実験	2015 年～現在	診療放射線学科 2 年生を対象に放射線計測学で学習してきた内容に基づき、計測機器や測定値の取り扱いについてや，放射線機器に使われている電気・電子回路構成や素子の特性や性能について理解を深める目的で授業を行った。科目担当者で作成した実験書を配布し，その内容に沿って放射線の持つ基礎的な相互作用や性質をより理解するための実験を行った。また，放射線機器を構成する電気・電子回路に応用されている受動素子，能動素子，オペアンプ，二極電子管の特性や直流安定化電源回路，交流 RLC 回路の性能や機能を理解するための実験を行った。科目分担者として 40 コマすべての担当をした。成績は各回のレポートにより評価した。
核医学検査技術学演習	2016 年～現在	診療放射線学科 4 年生を対象に 4 年生までに学習した核医学検査技術学の内容を復習し，理解を深める目的で授業を行なった。科目責任者

		として 8 コマのすべての授業を担当した。科目担当者で作成した演習書を配布し，その内容に沿って放射性医薬品学、核医学検査技術学Ⅰ、核医学検査技術学Ⅱおよび核医学診断機器学の授業で学んだことを基に総合的に演習した。成績は各回のレポートにより評価した。
放射性医薬品学	2015 年～現在	診療放射線学科 2 年生を対象に放射化学の内容を復習し，放射性医薬品に関する理解を深める目的で講義を行なった。科目責任者として 9 コマの授業を担当した。講義では PowerPoint スライドをプリントとして配布し，その内容に沿って核医学検査で用いられる放射性医薬品について、診療放射線技師が知っておくべき基礎知識を正しく理解するとともに、放射性医薬品の安全取扱および放射性医薬品を用いた核医学検査の安全管理の知識について解説した。成績は期末試験および再試験により評価した。
核医学検査技術学Ⅰ	2018 年～現在	診療放射線学科 2 年生を対象に放射性医薬品学の内容を復習し，検査で用いる装置について理解を深める目的で講義を行なった。科目責任者として 15 コマ中 13 コマの授業を担当した。講義では PowerPoint スライドをプリントとして配布し，その内容に沿って核医学検査に必要な関連技術を修得する為に、放射性医薬品に関する基礎知識、計測装置の構成、性能、画像データ収集法、画像解析法などについて解説した。また、核医学診断に関する基礎知識を得るために、体外計測（インビボ検査）の基礎と各臓器における機能診断法の現状について論じ、放射性同位元素を用いたトレーサー法の医学利用についても解説した。成績は小テスト（毎回）、期末試験および再試験により評価した。
核医学検査技術学Ⅱ	2018 年～2022 年	診療放射線学科 3 年生を対象に放射性医薬品学，核医学検査技術学Ⅰの復習を行い，検査に対する理解を深める目的で講義を行なった。科目分担者として 15 コマ中 6 コマの担当をした。講義では PowerPoint スライドをプリントとして配布し，その内容に沿って核医学検査に用いられる放射性医薬品、検査原理、検査・治療方法、適応などについて解説した。成績は小テスト（毎回）、期末試験および再試験により評価した。
放射線・放射線機器安全管理学	2019 年～2023 年	診療放射線学科 3 年生を対象に放射線防護および安全管理の実際を学習する目的で講義を行なった。科目分担者として 15 コマ中 8 コマの担当をした。講義では PowerPoint スライドをプリントとして配布し，その内容に沿って診療放射線技師が医療領域において，放射線および放射性同位元素（RI)等を諸々の機器・装置等を用いて安全に利用するために必要な放射線の安全管理について総括的に解説した。成績は中

		間総括、期末試験および再試験により評価した。
総合演習Ⅰ	2016年～現在	診療放射線学科3年生を対象に本講義までに終了している国家試験関連科目について総復習を行い，理解を深める目的で講義を行なった。科目分担者として15コマ中1コマの担当をした。講義ではPowerPointスライドをプリントとして配布し，その内容に沿って放射線による様々な現象，影響，計測原理に関する理解を深めるため，放射化学の解説を行った。成績は小テスト（毎回)、期末試験および再試験により評価した。
総合演習Ⅱ	2021年～現在	診療放射線学科4年生を対象に本講義までに終了している国家試験関連科目について総復習を行い，理解を深める目的で講義を行なった。科目分担者として40コマ中3コマの担当をした。講義ではPowerPointスライドをプリントとして配布し，その内容に沿って総合演習Ⅰで学んだ内容を基本に，核医学検査技術学，放射線安全管理学に関する理解を深めるための解説を行なった。成績は小テスト（毎回)、期末試験および再試験により評価した。
放射性同位元素検査技術学	2018年～2023年	臨床検査学科2年生を対象に放射性同位元素の基本的な事項から実際の検査まで幅広く理解する目的で講義を行った。科目責任者として15コマすべての授業を担当した。講義ではPowerPointスライドをプリントとして配布し，その内容に沿って放射性同位素の物理的特性を理解し、核医学検査で使用する放射性医薬品および検査装置の撮像原理と画像処理に関する基礎的な知識、臨床的意義や核医学治療に関する知識も解説した。成績は期末試験および再試験により評価した。
実践臨床画像学	2024年	診療放射線学科3年生を対象に業務拡大における新たな診療放射線技師に必要な知識を充足する目的で講義を行なった。科目分担者として8コマ中1コマの担当をした。講義ではPowerPointスライドをプリントとして配布し，その内容に沿って,静脈路の確保と抜針および止血の手技，RI検査のための放射性薬剤注入の手順について解説した。成績は小テスト（毎回)、期末試験および再試験により評価した。
実践臨床画像学演習	2024年	診療放射線学科 3 年生を対象に患者への対応および検査に関わる説明、チーム医療および他職種との連携、医療情報の取扱い、静脈路の確保と抜針および止血の手技に関する能力の実践的な手技を獲得する目的で演習を行なった。科目分担者として　コマ中　コマの担当をした。各項目担当者が実演を行い，それに倣って学生は演習し，適宜補助を行なった。成績は期末試験および再試験により評価した。
2　作成した教材（150字程度まで）		

放射化学実験（診療放射線学科対象）の実験書	2015 年～現在	診療放射線学科 2 年次対象の放射化学実験を行った際、実験書(39 ページ)を作成し、使用した。実験の後には実験書を見直し、変更や修正など、更新を行った。
放射線安全管理学実験（診療放射線学科対象）の実験書	2015 年～現在	診療放射線学科 3 年次対象の放射線安全管理学実験を行った際、実験書(36 ページ)を作成し、使用した。実験の後には実験書を見直し、変更や修正など、更新を行った。
放射線計測学実験（診療放射線学科対象）の実験書	2015 年～現在	診療放射線学科 2 年次対象の放射線計測学実験を行った際、実験書(105 ページ)を作成し、使用した。実験の後には実験書を見直し、変更や修正など、更新を行った。
核医学検査技術学演習（診療放射線学科対象）の演習書	2016 年～現在	診療放射線学科 4 年次対象の核医学検査技術学演習を行った際、演習書(16 ページ)を作成し、使用した。実験の後には演習書を見直し、変更や修正など、更新を行った。
放射性医薬品学（診療放射線学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2015 年～現在	診療放射線学科 2 年次対象の放射性医薬品学を行った際、PowerPoint スライド(計 9 点、計 272 枚)を作成し、使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
核医学検査技術学Ⅰの講義用 PowerPoint スライド	2018 年～現在	診療放射線学科 2 年次対象の核医学検査技術学Ⅰを行った際、PowerPoint スライド(計 13 点、計 615 枚)を作成し、使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
核医学検査技術学Ⅱの講義用 PowerPoint スライド	2018 年～2022 年	診療放射線学科 3 年次対象の核医学検査技術学Ⅱを行った際、PowerPoint スライド(計 6 点、計 265 枚)を作成し、使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
放射線・放射線機器安全管理学の講義用 PowerPoint スライド	2019 年～2023 年	診療放射線学科 3 年次対象の放射線・放射線機器安全管理学を行った際、PowerPoint スライド(計 7 点、計 258 枚)を作成し、使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
総合演習Ⅰの講義用 PowerPoint スライド	2016 年～現在	診療放射線学科 3 年次対象の総合演習Ⅰを行った際、PowerPoint スライド(計 7 点、計 258 枚)を作成し、使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
総合演習Ⅱの講義用 PowerPoint スライド	2021 年～現在	診療放射線学科 4 年次対象の総合演習Ⅱを行った際、PowerPoint スライド(計 3 点、計 251 枚)を作成し、使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
放射性同位元素検査技術学の講義用 PowerPoint スライド	2018 年～2023 年	臨床検査学科 2 年次対象の放射性同位元素検査技術学を行った際、PowerPoint スライド(計 15 点、計 575 枚)を作成し、使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
実践臨床画像学の講義用 PowerPoint スライド	2024 年	診療放射線学科 3 年次対象の実践臨床画像学を行った際、PowerPoint スライド(計 1 点、計 57 枚)を作成し、使用した。講義の後にはスライ

		ドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
放射線取扱主任者試験対策用コンテンツ	2020 年～現在	診療放射線学科全学年対象の放射線取扱主任者試験対を行うにあたり，Google サイトを利用して対策担当教員とともに該当科目に関する資料（動画，解説資料）を作成し，一つのコンテンツとして希望者へ共有した。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
国家試験対策に関する論文発表	2023 年 3 月	国家試験対策に関する論文を発表した。 「診療放射線学科で実施した国家試験対策とその効果に関する一考察」；永井 良明，柳田 智，清水 秀雄，根本 広文，雀岡 大，川田 悟，村中 博幸，福士 政広　医療保健学研究 (14)　p51-59
4　その他教育活動上特記すべき事項		
診療放射線学科における卒業研究指導	2016 年～現在	診療放射線学科 4 年次対象の卒業研究において毎年 1～6 名程度の学生に対して指導を行った。
診療放射線学科における病院実習指導	2016 年～現在	診療放射線学科 3，4 年次対象の臨床実習において毎年 1～6 名程度の学生に対して指導を行った。
診療放射線学科における放射線取扱主任者試験対策	2020 年～現在	診療放射線学科全学年対象の放射線取扱主任者試験対策において毎年 1～30 名程度の学生に対して指導を行った。
診療放射線学科における国試アドバイザー	2015 年～現在	診療放射線学科 3，4 年次対象の国家試験対策において毎年 6～10 名程度の学生に対して指導を行った。
診療放射線学科における国試対策補習	2015 年～現在	診療放射線学科 3，4 年次対象の国家試験補習において対象学年の全学生に対して指導を行った。
診療放射線学科における国試直前講習	2023 年～現在	診療放射線学科 4 年次対象の国試直前講習において対象学年の全学生に対して指導を行った。
診療放射線学科における国試対策合宿の引率	2023 年～現在	診療放射線学科 4 年次対象の国試対策合宿において対象学年の全学生に対して引率および指導を行った。
Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
2　特許		
3　その他職務上の実績に関する事項		
東京都立大学健康福祉学部客員研究員	2020 年～現在	
日本診療放射線学教育学会機関紙編集委員会委員	2018 年～現在	

公益社団法人日本診療放射線技師会会誌投稿論文査読者	2024 年	
学術論文の査読（8 件）	2020 年～2024 年	

Ⅲ　研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					
放射線安全管理学(診療放射線技師スリム・ベーシック)	共著	2022 年 10 月	メジカルビュー社	共著者：福士政広、井上一雅、米内俊祐、黒澤忠弘、高畠賢、清水秀雄	p124-127, p132-137, p172-195
放射線技術学シリーズ　放射線安全管理学（改訂 3 版）	共著	2022 年 3 月	オーム社	共編者：磯辺智範、清水秀雄、南一幸、鈴木昇一、西谷源展	p.48-70, p81-103
論文					
Changes of External Dose to the Public on Main Roads Around the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Site	共著	2024 年 12 月	Japanese Journal of Education for Radiological Technology(12)	H Shimizu, K Inoue, H Tsuruoka, Yoshiaki Taguchi, Satoshi Ito, Thennaarassan Nataraja, Hiroaki Sagara, Taketo Yoshimura, Yuma Mihai, Rakesh Chand Ramola, Sarata Kumar Sahoo, Masahiro Fukushi	p.1-7
DISTRIBUTION OF RADIOCESIUM CONCENTRATIONS OF SOILS IN THE EIGHT IZU ISLANDS AFTER THE FUKUSHIMA DAIICHI NUCLEAR POWER PLANT ACCIDENT	共著	2022 年 9 月	Radiation Protection Dosimetry, 198(13-15)	H.Shimizu, K.Inoue, H.Tsuruoka, N.Veerasamy, K.Saito, M.Fukushi	p.879-885
DISTRIBUTION OF GAMMA RADIATION DOSE RATE AND ACTIVITY CONCENTRATION IN SOIL	共著	2022 年 9 月	Radiation Protection Dosimetry, 198(13-15)	K.Saito, K.Inoue, Y.Ishita, H.Shimizu, M.Fukushi	p.998-1003

RELATED WITH NATURAL RADIONUCLIDES ON TAIWAN MAIN ISLAND					
Changes on distribution of absorbed dose rates in air in an urban area after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident	共著	2021 年 6 月	Journal of Radioanalytical and Nuclear Chemistry, 329(1)	M.Ichihara, K.Inoue, M.Fukushi, H.Shimizu, H.Tsuruoka, N.Veerasamy, M.Tsukada, S.Soyama, S.Hosokawa, T.Kato, H.Sagara, Y.Taguchi, T.Natarajan	p.427-435
Detection of anthropogenic gadolinium in river waters in Hokkaido, Japan	共著	2020 年 12 月	Journal of Radiological Science and Technology, 9(8)	K.Inoue, M.Fukushi, A.Furukawa, SK.Sahoo, N.Veerasamy, M.Kurokawa, H.Kondo, H.Shimizu, H.Tsuruoka, T.Mitsumoto, K.Koyama, S. Hosokawa	p.9-14
報告					
診療放射線学科で実施した国家試験対策とその効果に関する一考察	共著	2023 年 3 月	医療保健学研究， 14	永井良明、柳田智、清水秀雄、根本広文、雀岡大、川田悟、村中博幸、福士政広	p.51-59
福島第一原子力発電所事故後の環境中における放射性セシウム濃度に関する研究［第 4 部］	共著	2022 年 9 月	医学物理, 42(3)	清水秀雄、井上一雅、雀岡大、高畠賢、福士政広	p.164-169
学会発表					
つくば国際大学敷地内における空間線量率の経時的な変動について	共同	2025 年 3 月	第 43 回茨城県診療放射線技師学術大会	永井優人、椎名冬馬、宮澤拓大、福士政広、雀岡大、清水秀雄	一般演題
Development of a simplified alpha-ray spectrum analyzer	共同	2024 年 9 月	the Asia Oceania Congress of Nuclear Medicine and Biology 2024	H. Shimizu, K. Inoue, H. Tsuruoka, Y. Mihei, M. Fukushi	一般演題
八溝山周辺における環境中の空間線量率の調査研究	共同	2024 年 8 月	第 18 回日本診療放射線学教育学会学術集会	坪内唯夏、海老澤花歩、島崎七海、松尾悠里、井	一般演題

				上一雅、崔岡大、清水秀雄、福士政広	
八溝山山中における環境放射線の調査研究	共同	2024 年 8 月	第 18 回日本診療放射線学教育学会学術集会	神戸菜々美、木下玲温、庄司優太、福士政広、崔岡大、井上一雅、松尾悠里、清水秀雄	一般演題
加波山における環境放射線の調査研究	共著	2024 年 3 月	第 42 回茨城県診療放射線技師学術大会	松原匠汰、児玉智輝、佐藤雅大、和田山温大、福士政広、崔岡大、藤原朋子、清水秀雄	一般演題
北関東地域における環境放射線の推移	共著	2023 年 8 月	第 17 回日本診療放射線学教育学会学術集会	吉村壮人、井上一雅、清水秀雄、崔岡大、福士政広	一般演題
加波山における環境放射線の調査研究	共著	2023 年 8 月	第 17 回日本診療放射線学教育学会学術集会	松原匠汰、福士政広、崔岡大、井上一雅、佐藤雅大、児玉智輝、和田山温大、田中葵、松尾悠里、清水秀雄	一般演題
筑波連山周辺における環境放射線の調査研究	共著	2023 年 8 月	第 17 回日本診療放射線学教育学会学術集会	内藤千尋、風見瑠里、倉持梨々香、清水秀雄、崔岡大、井上一雅、福士政広	一般演題
福島第一原子力発電所事故後における東京都 23 区内の空間線量率の推移	共著	2023 年 8 月	第 17 回日本診療放射線学教育学会学術集会	西山千晴、井上一雅、清水秀雄、崔岡大、福士政広	一般演題
千葉県東葛地区における空間線量率の推移	共著	2023 年 8 月	第 17 回日本診療放射線学教育学会学術集会	小林賢人、井上一雅、清水秀雄、崔岡大、福士政広	一般演題
筑波山における環境放射線の調査研究	共著	2023 年 3 月	第 41 回茨城県診療放射線技師学術大会	根岸直樹、吉田拓海、清水秀雄、崔岡大、福士政広	一般演題
福島第一原子力発電所事故後における東京都 23 区内の空間線量率の推移	共著	2022 年 5 月	日本放射線技術学会第 76 回東京支部春期学術大会	吉村壮人、井上一雅、清水秀雄、崔岡大、高畠賢、福士政広	一般演題
福島第一原子力発電所事故後の	共著	2022 年 5 月	日本放射線技術学会第 76 回東	伊達優介、井上一雅、清	一般演題

千葉県東葛地区の空間線量率の推移			京支部春期学術大会	水秀雄、雀岡大、高畠賢、福士政広	
Distribution in soil radioactive concentrations in the eight Izu-Islands after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident	共著	2021 年 9 月	Institute for Environmental Sciences International Symposium 2021	Shimizu H, Inoue K, Tsuruoka H, Fukushi M	一般演題
Distribution of absorbed dose rate in air in urban areas after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident	共著	2021 年 9 月	Institute for Environmental Sciences International Symposium 2021	Ichihara M, Inoue K, Shimizu H, Tsuruoka H, Tsukada M, Veerasamy N , Fukushi M	一般演題
New portable α-ray spectrum survey meter with an ion-implanted silicon detector development	共著	2021 年 9 月	Isnstitute for Environmental Sciences International Symposium 2021	Tsuruoka H, Inoue K, Takabatake M, Shimizu H, Veerasamy N , Fukushi M	一般演題
諸外国における診療放射線技師の業務実態	共著	2021 年 9 月	第 15 回日本診療放射線教育学会	福士政広、井上一雅、高畠賢、雀岡大、清水秀雄	一般演題
福島第一原発事故後の東京都葛飾区における環境放射線量の推移	共著	2021 年 7 月	第 58 回アイソトープ・放射線研究発表会	塚田瑞穂、井上一雅、清水秀雄、雀岡大、市原舞衣、eerasamyNimelan、福士政広	一般演題
福島第一原子力発電所事故後の都市部における環境放射線量分布の変化	共著	2021 年 7 月	第 58 回アイソトープ・放射線研究発表会	市原舞衣、井上一雅、清水秀雄、雀岡大、塚田瑞穂、VeerasamyNimelan、福士政広	一般演題
東京都葛飾区における人工放射性核種に起因した環境放射線量の推移	共著	2020 年 8 月	第 14 回日本診療放射線教育学会	井上一雅、雀岡大、清水秀雄、VeerasamyNimelan、市原舞衣、福士政広	一般演題
Ⅳ　学会等および社会における主な活動					
1　現在の所属学会					
日本保健物理学会					

日本核医学会 日本医学物理学会 日本核医学技術学会関東地方会 日本診療放射線学教育学会 日本放射線安全管理学会 茨城県診療放射線技師会 日本診療放射線技師会 日本放射線技術学会
2　2020～2024 年度の学会での主な活動
日本診療放射線学教育学会　機関紙編集委員会委員（2018 年 8 月～現在） 第 76 回日本放射線技術学会総会学術大会　一般発表座長（2020 年 4 月）
第 17 回日本診療放射線学教育学会学術集会　大会実行委員（2022 年 11 月～2023 年 9 月）
日本核医学技術学会関東地方会　調査研究委員会委員（2023 年 6 月～現在）
日本診療放射線学教育学会　大会支援委員会委員（2023 年 7 月～現在）
日本保健物理学会　企画委員会委員（2023 年 8 月～現在）
第 18 回日本診療放射線学教育学会学術集会　大会実行委員長（2023 年 10 月～2024 年 8 月）
第 19 回日本診療放射線学教育学会学術集会　大会実行委員（2024 年 10 月～現在）
3　2020～2024 年度の社会での主な活動
茨城県内研究会 Molecular Imaging Technologist Conference 茨城　世話人(2018 年 3 月～現在)

所属　医療保健学部 学科　診療放射線学科	職名　講師	氏名　杉村　瞳	学　位	修士（保健医療学）
			国家資格	診療放射線技師

I　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
X 線撮影技術学 I	2020 年～2021 年	診療放射線学科 2 年次生を対象に、マンモグラフィや特殊撮影などについて講義を行った。科目分担者として 15 コマ中 2 コマ、オンライン授業を担当した。講義は、作成した PowerPoint スライドを用いて行い、学生用にも授業に沿った資料を作成し、クラスルームより配布した。資料やスライドは、撮影体位などの写真や画像を多用し、より分かりやすくする工夫を行った。講義中も興味を抱かせる目的で臨床経験の内容を織り交ぜながら講義を行った。成績は毎授業後に講義内容に即した内容の復習課題（フォーム）、期末試験（オンライン）および再試験（オンライン）により評価した。
診療画像技術学 I	2021 年～現在	診療放射線学科 2 年次生を対象に、投影理論、被ばく管理、一般撮影の目的・方法・体位・X 線入射法、撮影条件などについて講義を行った。科目責任者として 15 コマ中 13 コマ（A・B クラス）の授業を担当した。講義は、作成した PowerPoint スライドを用いて行い、学生用にも授業に沿った資料を作成・配布した。資料やスライドは、撮影体位などの写真や画像を多用し、より分かりやすくする工夫を行った。講義中もイメージしやすいように自分の体や模型を使用し、撮影法や体位などを解説するとともに、臨床で経験した内容を織り交ぜながら講義を行った。成績は毎授業後に講義内容に即した内容の復習課題（フォーム）、期末試験および再試験により評価した。
診療画像技術学 I （再履修）	2022 年～2024 年	診療放射線学科 2 年次生の診療画像技術学 I 再履修学生を対象に、後期で行った同じ授業内容を前期に実施し、記憶のあるうちに再学習させ、記憶の定着を図った。科目責任者として 15 コマ中すべての授業を担当した。また、10 名以下の少人数で授業を行うため、一人ひとりが理解できたか授業内で確認しながら授業を進めた。この授業体系を取って以降、再履修学生で単位取得できなかった学生は一人もいない。成績は毎授業後に講義内容に即した内容の復習課題（フォーム）、期末試験および再試験により評価した。

造影検査技術学	2020 年～現在	診療放射線学科 3 年次生を対象に、造影剤を用いた検査における危険因子を解説し、診療放射線技師の責任と業務範囲を理解するとともに、適切な検査、対処ができるよう講義を行った。科目分担者として 8 コマ中 3 コマ（A・B クラス）の授業を担当した。講義では、作成した PowerPoint スライドを用いて検査のイメージが付くように、動画や画像を多用し、説明する検査内容を知らなくても理解できるように工夫した。成績は毎授業後に講義内容に即した内容の復習課題（フォーム）、期末試験および再試験により評価した。
救命救急医学概論	2023 年～現在	診療放射線学科 3 年次生を対象に、救急医学と救急医療に関する内容を講義した。科目分担者として 8 コマ中 2 コマ（A・B クラス）の授業を担当した。講義では作成した PowerPoint スライドを用いて、特に診療放射線技師に必要な救急撮影や臨床画像について深く解説した。症例画像を多く提示し、印象に残るような授業を行うように努めた。成績は期末試験および再試験により評価した。
医療安全管理学	2024 年	診療放射線学科 3 年次生を対象に、診療放射線技師が日常業務を行う上で、知識として必要な医療安全や感染制御、診療放射線技師としての役割を一般撮影やマンモグラフィ部門について作成した PowerPoint スライドを用いて講義を行った。科目分担者として 15 コマ中 1 コマの授業を担当した。実践に近い内容であり、臨床現場では必要不可欠な知識であるため、授業の中で小テストを行い、学習した内容が理解できているのか確認した。成績は授業内で実施した小テスト、期末試験および再試験により評価した。
実践臨床画像学	2024 年	診療放射線学科 3 年次生を対象に、診療放射線技師の業務拡大項目のひとつである静脈穿刺を行う上で必要な、造影剤の薬理学的作用、アナフィラキシー等の重篤な副作用、一次救命措置、そして業務上問題となる感染制御等について作成した PowerPoint スライドを用いて、講義を行った。科目分担者として 8 コマ中 1 コマの授業を担当した。臨床現場では必要不可欠な知識であるため、授業の中で小テストを行い、学習した内容が理解できているのか確認しながら授業を行った。成績は期末試験および再試験により評価した。
医療安全保健学セミナー	2022 年～現在	診療放射線学科 1 年次生を対象に、放射線技師としてのキャリア形成について、より具体的に考えられるよう、診療放射線技師として 20 年間臨床で働いた経験談などを、作成した PowerPoint スライドを用いて講義した。また、4 年後には医療人として社会に出る準備や学生生活における自分の行動責任についても考えてもらえるように授業を行

		った。科目分担者として 15 コマ中 1 コマ（A・B クラス）の授業を担当した。授業後には、講義を受けどのような意識の変化があったのか、全員に感想レポートを提出してもらった。
放射化学実験	2020 年～2022 年	診療放射線学科 2 年次生を対象に、フリッケ線量計（鉄線量計）の正確さ、再現性、レスポンスの直線性などの優れた点や吸収線量の絶対測定に利用できることなどを説明した。ここでは、第一鉄水溶液を調製し、濃度の違う溶液を分光光度計で測定する実験を行い、知識を深めた。科目分担者として、45 コマ中すべての実習（45 コマ）を担当した。実習に対してレポートを課し、レポートの内容で成績を評価した。
画像工学実習	2020 年～現在	診療放射線学科 3 年次生を対象に、医用画像工学、医用画像情報学で学んだ内容である、画像の物理特性、画像処理の基礎についてパソコンを使用し実習を行った。この実習を通して、基礎的な Excel 操作を習得できるように、個々にあったレベルで説明・指導を行った。科目分担者として、45 コマ中すべての実習（45 コマ）を担当した。実習に対してレポートを課し、レポートの内容で成績を評価した。
診療画像技術学実習Ⅰ（マンモグラフィ基礎実習）	2021 年～2022 年	診療放射線学科 3 年次生を対象に、DMQC,ACR,ステップファントムを使用し、日常的、定期的な品質管理について学習する実習を行った。この実習を通して、乳房撮影装置の名称と特徴を理解し、性能評価方法を習得できるよう指導を行った。科目分担者として、45 コマ中すべての実習（45 コマ）を担当した。実習に対してレポートを課し、レポートの内容で成績を評価した。
診療画像技術学実習Ⅰ（骨塩・眼底実習）	2023 年～現在	診療放射線学科 3 年次生を対象に、学内に設置されている無散瞳眼底装置を用いて、眼底検査の方法や眼底写真の見方、所見などを説明および撮影を行った。全員が実際に撮影を行うことで、技師側と患者側の両方を経験することができ、技術の難しさだけでなく、患者心理についても併せて理解することに繋げた。なお、実習で使用した「実習書」や「課題」などの資料も作成した。科目分担者として、45 コマ中すべての実習（45 コマ）を担当した。実習に対してレポートを課し、レポートの内容で成績を評価した。
診療画像技術学実習Ⅱ（マンモグラフィ実習・応用）	2020 年～現在	診療放射線学科 3 年次生を対象に、学内に設置されているマンモグラフィ装置や読影モニタを用いて、乳房撮影のポジショニング方法やマンモグラフィ読影方法の実習を行った。また、新旧の装置を比較させ、装置の特性やトモシンセシスなどについても解説した。なお、この実習で使用した「実習書」や「所見レポート用紙」などの作成も行った。この実習においても患者側と技師側の両方を経験し、技術の難しさや

		患者心理を理解することができている。科目分担者として、45 コマ中すべての実習（45 コマ）を担当した。実習に対してレポートを課し、レポートの内容で成績を評価した。
総合演習 I	2020 年～現在	診療放射線学科 3 年次生を対象に、今まで学習した内容を次年度受験予定の国家試験を見据え、総復習を行った。科目分担者として 15 コマ中 2 コマの授業を担当した。講義の 1 週間前に講義中に解説する予定の問題（20 問）をクラスルームから送付し、授業前までに問題を解かせた。講義では、X 線撮影技術学の国家試験過去問で出題頻度が高い問題を中心に問題解説やポイントとなる点を説明し、講義の最後には小テストを行い、理解度の確認を行った。講義で使用したレジュメや問題の解説資料については、クラスルームにアップし、復習時に使用できるようにした。成績は期末試験および再試験により評価した。
総合演習 II	2020 年～現在	診療放射線学科 4 年次生を対象に、国家試験を見据え、これまで学習した内容の総復習を行った。科目分担者として 8 コマ中 3 コマの授業を担当した。講義の 1 週間前に講義中に解説予定の問題（20 問程度）をクラスルームから送付し、授業前までに問題を解かせた。講義では、X 線撮影技術学と医療安全管理学の国家試験の過去問において出題頻度の高い問題を中心に問題解説やポイントとなる点を説明した。講義の最後には小テストを行い、理解度の確認を行った。講義で使用したレジュメや問題の解説資料については、クラスルームにアップし、復習時に使用できるようにした。成績は期末試験および再試験により評価した。
実践臨床画像学演習	2024 年	診療放射線学科 3 年次生を対象に、診療放射線技師の告示研修の内容（静脈路の確保と抜針および止血の手技、CT 造影時のインジェクター接続、核医学検査での核医学製剤投与のための接続や被ばく防護対策、血管造影でのガウンテクニックやシースやガイドワイヤーの操作、経動脈検査時のインジェクター接続、上・下部消化管検査におけるカテーテル操作）を模型やファントムにて実践し、手技習得を行った。科目分担者として 15 コマ中すべての実習を担当した。実習は小グループで行ったため、直接、実技での注意点やポイントをアドバイスすることができ、学生がスムーズに手技を習得することに繋がった。評価は期末試験および再試験により評価した。
臨床実習 I	2020 年～現在	診療放射線学科 3 年次生を対象に、基礎実習における放射線診断や治療など様々な分野で実施されている検査や撮影、治療の実態を実習施設での実習前に学内にて講義形式で授業を行った。科目責任者または

		分担者として、学内実習の講義や指導を 2 コマ担当し、実習施設での実習中は実習指導者や学生と連絡を取り、学生が円滑な実習を行えるよう、依頼や指導を行った。成績は学内実習の成績および実習中の実習記録、臨床実習施設からの評価を総合的に判断し評価した。
臨床実習Ⅱ	2020 年～現在	診療放射線学科 3 年次生を対象に、診療画像技術学分野で学んだ事柄の主に診断領域に関する知識・技術について、演習を通して具体的に「機器操作の技術」、「X 線撮影・撮像の技術」「画像の読影」を統合させ、様々な診断領域の検査に迅速に対応できる技術を少人数グループにて直接的な指導を行った。科目責任者または分担者として、学内実習や臨床実習施設での実習中は実習指導者や学生と連絡を取り、実習施設にも実習中の学生の様子を確認するため訪問し、学生が円滑な実習を行えるよう、依頼や指導を行った。成績は学内実習の成績および実習中の実習記録、臨床実習施設からの評価を総合的に判断し評価した。
臨床実習Ⅲ	2020 年～現在	診療放射線学科 4 年次生を対象に、診療画像技術学分野で学んだ事柄の主にデジタル画像装置、Ｘ線ＣＴ、ＭＲＩおよび超音波検査等で用いられる装置の取扱い、各種の画像検査法と適応疾病および診断の特殊性について演習を少人数グループにて直接的な指導を行った。科目責任者および分担者として、学内実習や臨床実習施設での実習中は実習指導者や学生と連絡を取り、実習施設にも実習中の学生の様子を確認するため訪問し、学生が円滑な実習を行えるよう、依頼や指導を行った。成績は学内実習の成績および実習中の実習記録、臨床実習施設からの評価を総合的に判断し評価した。
臨床実習Ⅳ	2020 年～現在	診療放射線学科 4 年次生を対象に、核医学検査技術学および放射線治療技術学で学んだ内容を活かし、臨床の場で働く診療放射線技師として必要な知識・技術の整理と向上化を図るため、実践的な演習を行った。また、核医学および放射線治療における医療安全対策の方法や患者接遇方法を理解できるよう、少人数グループにて直接的な指導も行った。科目分担者として、学内実習や臨床実習施設での実習中は実習指導者や学生と連絡を取り、実習施設にも実習中の学生の様子を確認するため訪問し、学生が円滑な実習を行えるよう、依頼や指導を行った。成績は学内実習の成績および実習中の実習記録、臨床実習施設からの評価を総合的に判断し評価した。
卒業研究	2021 年～現在	診療放射線学科 4 年次生を対象に、9 名の学生の卒業研究を指導した。マンモグラフィ装置を使用した画像工学分野の研究を行い、課題設定

		や研究倫理、研究計画書の作成、研究の実施について実践的に指導した。得られた研究データの解析や結果の整理、考察を行う際には助言を与え、論理的な思考で事柄をとらえ結論を導き出すことを指導した。また、実施した卒業研究を PowerPoint スライドに分かりやすく纏め、学内の卒業研究発表会にて口述で発表した。また、その内容を卒業論文に纏め、論文作成についても指導した。卒業研究は通年での指導となり、成績は研究への取り組み、学内発表でのスライドや口述原稿作成、論文作成などを総合的に判断し評価した。
診療保健学セミナー	2020 年～現在	診療放射線学科 4 年次生を対象に、4 年間の膨大な知識量を徹底的に復習し、毎月実施される「国家試験到達度確認テスト」や外部模試の結果を参考に、習得できていない科目や勉強方法などについて面談を実施して指導を行った。10 月、11 月、12 月と 3 回実施される卒業試験において、平均 120 点以上を取れるよう、より明確な目標設定や勉強方法を指導し、10 名の研究室配属学生のうち 8 名が卒業、国家試験合格を果たした。最終目標である国家試験合格に向け、4 月から月 1 回以上の面談およびメール等による指導を行い、学習へのモチベーションが低下しないよう、精神的なフォローも行った。
2　作成した教材（150 字程度まで）		
X 線撮影技術学 I （診療放射線学科対象）講義用 PowerPoint スライド	2020 年～2021 年	診療放射線学科 2 年次対象の X 線撮影技術学 I の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 2 点、計 166 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
X 線撮影技術学 I （診療放射線学科対象）学生用配布資料	2020 年～2021 年	診療放射線学科 2 年次対象の X 線撮影技術学 I の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(計 2 点、計 78 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
X 線撮影後術学 I （診療放射線学科対象）講義後の課題フォーム	2020 年～2021 年	診療放射線学科 2 年次対象の X 線撮影技術学 I において、毎回の講義内容に則した問題(計 2 点、計 35 問)を課題としてフォームで作成した。毎年の国家試験問題を追加する際、課題問題の見直しをし、変更、修正を行った。
X 線撮影技術学 I （診療放射線学科対象）課題解説資料	2020 年～2021 年	診療放射線学科 2 年次対象の X 線撮影技術学 I において、毎回の授業に即した問題を課題としているが、その問題の解説資料(計 2 点、計 16 枚)をクラスルームより配布する資料として作成した。課題作成時には解説資料を見直し、変更や修正など、更新を行った。
診療画像技術学 I （診療放射線学科対象）講義用 PowerPoint スライド	2020 年～現在	診療放射線学科 2 年次対象の診療画像技術学 I の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 13 点、計 837 枚)を作成し、板書として使用

		した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
診療画像技術学 I （診療放射線学科対象）学生用配布資料	2020 年～現在	診療放射線学科 2 年次対象の診療画像技術学 I の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(計 13 点、計 345 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
診療画像技術学 I （診療放射線学科対象）講義後の課題フォーム	2020 年～現在	診療放射線学科 2 年次対象の診療画像技術学 I において、毎回の講義内容に則した問題(計 13 点、計 150 問)を課題としてフォームで作成した。毎年の国家試験問題を追加する際、課題問題の見直しをし、変更、修正を行った。
診療画像技術学 I （診療放射線学科対象）課題解説資料	2020 年～現在	診療放射線学科 2 年次対象の診療画像技術学 I において、毎回の授業に即した問題を課題としているが、その問題の解説資料(計 13 点、計 90 枚)をクラスルームより配布する資料として作成した。課題作成時には解説資料を見直し、変更や修正など、更新を行った。
診療画像技術学 I（再履修）（診療放射線学科対象）講義用 PowerPoint スライド	2022 年～2024 年	診療放射線学科 2 年再履修学生対象の診療画像技術学 I （再履修）の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 15 点、計 961 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
診療画像技術学 I （再履修）（診療放射線学科対象）学生用配布資料	2022 年～2024 年	診療放射線学科 2 年再履修学生対象の診療画像技術学 I （再履修）の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(計 15 点、計 404 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
診療画像技術学 I （再履修）（診療放射線学科対象）講義後の課題フォーム	2022 年～2024 年	診療放射線学科 2 年再履修学生対象の診療画像技術学 I において、毎回の講義内容に則した問題(計 15 点、計 184 問)を課題としてフォームで作成した。毎年の国家試験問題を追加する際、課題問題の見直しをし、変更、修正を行った。
診療画像技術学 I （再履修）（診療放射線学科対象）課題解説資料	2022 年～2024 年	診療放射線学科 2 年再履修学生対象の診療画像技術学 I において、毎回の授業に即した問題を課題としているが、その問題の解説資料(計 13 点、計 111 枚)をクラスルームより配布する資料として作成した。課題作成時には解説資料を見直し、変更や修正など、更新を行った。
造影検査技術学（診療放射線学科対象）講義用 PowerPoint スライド	2020 年～現在	診療放射線学科 3 年次対象の造影検査技術学の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 3 点、計 212 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
造影検査技術学（診療放射線学科対象）学生用配布資料	2020 年～現在	診療放射線学科 3 年次対象の造影検査技術学の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(計 3 点、計 99 枚)を配布資料として作

		成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
造影検査技術学（診療放射線学科対象）講義後の課題フォーム	2020 年～現在	診療放射線学科 3 年次対象の造影検査技術学において、毎回の講義内容に則した問題(計 3 点、計 54 問)を課題としてフォームで作成した。毎年の国家試験問題を追加する際、課題問題の見直しをし、変更、修正を行った。
造影検査技術学（診療放射線学科対象）課題解説資料	2020 年～現在	診療放射線学科 3 年次対象の造影検査技術学において、毎回の授業に即した問題を課題としているが、その問題の解説資料(計 3 点、計 30 枚)をクラスルームより配布する資料として作成した。課題作成時には解説資料を見直し、変更や修正など、更新を行った。
救命救急医学概論（診療放射線学科対象）講義用 PowerPoint スライド	2023 年～現在	診療放射線学科 3 年次対象の救命救急医学概論の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 2 点、計 168 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
救命救急医学概論（診療放射線学科対象）学生用配布資料	2023 年～現在	診療放射線学科 3 年次対象の救命救急医学概論の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(計 2 点、計 56 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
医療安全管理学（診療放射線学科対象）講義用 PowerPoint スライド	2024 年	診療放射線学科 3 年次対象の医療安全管理学の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 1 点、計 67 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
医療安全管理学（診療放射線学科対象）学生用配布資料	2024 年	診療放射線学科 3 年次対象の医療安全管理学の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(計 1 点、計 32 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
医療安全管理学（診療放射線学科対象）小テスト問題	2024 年	診療放射線学科 3 年次対象の医療安全管理において、授業内で行う講義内容に則した小テスト問題(計 1 点、計 5 問)を作成した。毎年の国家試験問題を追加する際、小テスト問題の見直しをし、変更、修正を行った。
医療安全管理学（診療放射線学科対象）小テスト解説用 PowerPoint スライド	2024 年	診療放射線学科 3 年次対象の医療安全管理学において、授業内で実施した小テストの解説を講義の最後に行った。また、解説資料スライド(計 1 点、計 6 枚)を作成した。小テスト作成時には解説資料を見直し、変更や修正など、更新を行った。
実践臨床画像学（診療放射線学科対象）講義用 PowerPoint スライド	2024 年	診療放射線学科 3 年次対象の実践臨床画像学の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 1 点、計 52 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。

実践臨床画像学（診療放射線学科対象）学生用配布資料	2024 年	診療放射線学科 3 年次対象の造影検査技術学の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(計 1 点、計 24 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
実践臨床画像学（診療放射線学科対象）小テスト問題	2024 年	診療放射線学科 3 年次対象の実践臨床画像学において、授業内で行う講義内容に則した小テスト問題(計 1 点、計 5 問)を作成した。毎年の国家試験問題を追加する際、小テスト問題の見直しをし、変更、修正を行った。
実践臨床画像学（診療放射線学科対象）小テスト解説用 PowerPoint スライド	2024 年	診療放射線学科 3 年次対象の実践臨床画像学において、授業内で実施した小テストの解説を講義の最後に行った。また、解説資料スライド(計 1 点、計 7 枚)を作成した。小テスト作成時には解説資料を見直し、変更や修正など、更新を行った。
医療安全保健学セミナー（診療放射線学科対象）講義用 PowerPoint スライド	2022 年～現在	診療放射線学科 1 年次対象の医療安全保健学セミナーの講義を行った際、PowerPoint スライド(計 1 点、計 16 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
診療画像技術学実習 I（診療放射線学科対象）マンモグラフィ基礎実習　オリエンテーション用 PowerPoint スライド	2021 年～2022 年	診療放射線学科 3 年次対象のマンモグラフィ基礎実習のオリエンテーションを行った際、PowerPoint スライド(計 1 点、計 27 枚)を作成し、オンラインにて講義を行った。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
診療画像技術学実習 I（診療放射線学科対象）マンモグラフィ基礎実習　オリエンテーション学生配布用資料	2021 年～2022 年	診療放射線学科 3 年次対象のマンモグラフィ基礎実習のオリエンテーションを行った際、学生配布用資料(計 1 点、計 27 枚)を作成し、オンラインにて講義を行った。講義の後には配布資料を見直し、変更や修正など、更新を行った。
診療画像技術学実習 I（診療放射線学科対象）マンモグラフィ基礎実習　実習書	2021 年～2022 年	診療放射線学科 3 年次対象のマンモグラフィ基礎実習において、毎回の実習の内容と手順をまとめた実習書(A4, 計 17 頁)を配布資料として作成した。実習の後には資料の見直しをし、変更、修正を行った。
診療画像技術学実習 I（診療放射線学科対象）マンモグラフィ基礎実習　実習レポート用紙	2021 年～2022 年	診療放射線学科 3 年次対象のマンモグラフィ基礎実習において、毎回の実習で使用する実習レポート用紙(A4, 計 4 頁)を配布資料として作成した。実習の後には実習レポート用紙の見直しをし、より使いやすいよう変更、修正を行った。
診療画像技術学実習 I（診療放射線学科対象）骨塩・眼底検査実習　オリエンテーション用 PowerPoint スライド	2023 年～現在	診療放射線学科 3 年次対象の骨塩・眼底検査実習のオリエンテーションを行った際、PowerPoint スライド(計 1 点、計 38 枚)を作成し、オンラインにて講義を行った。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。

診療画像技術学実習Ⅰ（診療放射線学科対象）骨塩・眼底検査実習　オリエンテーション学生配布用資料	2023 年～現在	診療放射線学科 3 年次対象の骨塩・眼底検査実習のオリエンテーションを行った際、学生配布用資料(計 1 点、計 22 枚)を作成し、オンラインにて講義を行った。講義の後には配布資料を見直し、変更や修正など、更新を行った。
診療画像技術学実習Ⅰ（診療放射線学科対象）骨塩・眼底検査実習　講義用 PowerPoint スライド	2023 年～現在	診療放射線学科 3 年次対象の骨塩・眼底検査実習の実習概要や装置の説明を行うための、PowerPoint スライド(計 1 点、計 22 枚)を作成し、実習の中で説明を行った。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
診療画像技術学実習Ⅰ（診療放射線学科対象）骨塩・眼底検査実習　実習書	2023 年～現在	診療放射線学科 3 年次対象の骨塩・眼底検査実習において、毎回の実習の内容と手順をまとめた実習書(A4, 計 54 頁)を配布資料として作成した。実習の後には資料の見直しをし、変更、修正を行った。
診療画像技術学実習Ⅰ（診療放射線学科対象）骨塩・眼底検査実習　実習・課題レポート用紙	2023 年～現在	診療放射線学科 3 年次対象の骨塩・眼底検査実習において、毎回の実習で使用する実習レポート用紙(2 点、A4, 計 5 頁・A4, 計 2 頁)を配布資料として作成した。実習の後には実習レポート用紙の見直しをし、より使いやすいよう変更、修正を行った。
診療画像技術学実習Ⅱ（診療放射線学科対象）マンモグラフィ（応用）実習　オリエンテーション用 PowerPoint スライド	2020 年～現在	診療放射線学科 3 年次対象のマンモグラフィ応用実習のオリエンテーションを行った際、PowerPoint スライド(計 1 点、計 40 枚)を作成し、オンラインにて講義を行った。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
診療画像技術学実習Ⅱ（診療放射線学科対象）マンモグラフィ（応用）実習　オリエンテーション学生配布用資料	2020 年～現在	診療放射線学科 3 年次対象のマンモグラフィ応用実習のオリエンテーションを行った際、学生配布用資料(計 1 点、計 20 枚)を作成し、オンラインにて講義を行った。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
診療画像技術学実習Ⅱ（診療放射線学科対象）マンモグラフィ（応用）実習書	2020 年～現在	診療放射線学科 3 年次対象のマンモグラフィ応用実習において、毎回の実習の内容と手順をまとめた実習書(A4, 計 36 頁)を配布資料として作成した。実習の後には資料の見直しをし、変更、修正を行った。
診療画像技術学実習Ⅱ（診療放射線学科対象）マンモグラフィ（応用）読影所見・実習レポート用紙	2020 年～現在	診療放射線学科 3 年次対象のマンモグラフィ応用実習において、毎回の実習で使用する実習レポート用紙(2 点、A4, 計 1 頁・A4, 計 3 頁)を配布資料として作成した。実習の後には実習レポート用紙の見直しをし、より使いやすいよう変更、修正を行った。
総合演習Ⅰ（診療放射線学科対象）講義用 PowerPoint スライド	2020 年～現在	診療放射線学科 3 年次対象の総合演習Ⅰの講義を行った際、PowerPoint スライド(計 2 点、計 175 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
総合演習Ⅰ（診療放射線学科対象）学生用配布資料	2020 年～現在	診療放射線学科 3 年次対象の総合演習Ⅰの講義を行った際、毎回の授業内容をまとめた資料(計 2 点、計 76 枚)を配布資料として作成した。

		講義の後には配布を見直し、変更や修正など、更新を行った。
総合演習Ⅰ（診療放射線学科対象）講義前の小テスト問題	2020 年～現在	診療放射線学科 3 年次対象の総合演習Ⅰにおいて、毎回の講義内容に則した問題(計 2 点、計 30 問)を作成した。授業前には毎年の国家試験問題を追加するなど、問題の見直しをし、変更、修正を行った。
総合演習Ⅰ（診療放射線学科対象）講義前の小テスト解説資料	2020 年～現在	診療放射線学科 3 年次対象の総合演習Ⅰにおいて、毎回の授業に即した問題を講義中に行っているが、その問題の解説用に PowerPoint スライド(計 2 点、計 40 枚)を作成した。課題作成時には解説スライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
総合演習Ⅱ（診療放射線学科対象）講義用 PowerPoint スライド	2020 年～現在	診療放射線学科 4 年次対象の総合演習Ⅱの講義を行った際、PowerPoint スライド(計 3 点、計 141 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
総合演習Ⅱ（診療放射線学科対象）学生用配布資料	2020 年～現在	診療放射線学科 4 年次対象の総合演習Ⅱの講義を行った際、毎回の授業内容をまとめた資料(計 2 点、計 71 枚)を配布資料として作成した。講義の後には配布を見直し、変更や修正など、更新を行った。
総合演習Ⅱ（診療放射線学科対象）講義前の小テスト問題	2020 年～現在	診療放射線学科 4 年次対象の総合演習Ⅱにおいて、毎回の講義内容に則した問題(計 3 点、計 76 問)を作成した。授業前には毎年の国家試験問題を追加するなど、問題の見直しをし、変更、修正を行った。
総合演習Ⅱ（診療放射線学科対象）講義前の小テスト解説資料	2020 年～現在	診療放射線学科 4 年次対象の総合演習Ⅱにおいて、毎回の授業に即した問題を講義中に行っているが、その問題の解説用に PowerPoint スライド(計 3 点、計 78 枚)を作成した。課題作成時には解説スライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
臨床実習Ⅰ（診療放射線学科対象）オリエンテーション用 PowerPoint スライド	2022 年～現在	診療放射線学科 3 年次対象の臨床実習Ⅰ前に学内実習のオリエンテーションを行った際、PowerPoint スライド(計 1 点、計 41 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
臨床実習Ⅰ（診療放射線学科対象）講義用 PowerPoint スライド	2020 年～現在	診療放射線学科 3 年次対象の臨床実習Ⅰ前に学内実習の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 9 点、計 250 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
臨床実習Ⅰ（診療放射線学科対象）学生用配布資料	2020 年～現在	診療放射線学科 3 年次対象の臨床実習Ⅰ前に学内実習の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめた資料(計 7 点、計 102 枚)を配布資料として作成した。講義の後には配布を見直し、変更や修正など、更新を行った。
臨床実習Ⅰ（診療放射線学科対象）実習前 OSCE　手引書（教員用）	2022 年～現在	診療放射線学科 3 年次対象の臨床実習Ⅰ前に実施する OSCE の教員

		用手引き（計 1 点、計 5 頁)を配布資料として作成した。試験後には手引き内容を見直し、変更や修正など、更新を行った。
臨床実習 I （診療放射線学科対象）実習前 OSCE　手引書（学生用）	2022 年～現在	診療放射線学科 3 年次対象の臨床実習 I 前に実施する OSCE の学生用手引き（計 1 点、計 5 枚頁)を配布資料として作成した。試験後には手引き内容を見直し、変更や修正など、更新を行った。
臨床実習 I （診療放射線学科対象）実習前 OSCE　評価表	2022 年～現在	診療放射線学科 3 年次対象の臨床実習 I 前に実施する OSCE の評価表（計 1 点、計 1 枚)を作成した。試験後には評価表の内容を見直し、変更や修正など、更新を行った。
臨床実習Ⅱ（診療放射線学科対象）オリエンテーション用 PowerPoint スライド	2022 年～現在	診療放射線学科 3 年次対象の臨床実習Ⅱ前に学内実習のオリエンテーションを行った際、PowerPoint スライド(計 1 点、計 20 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
臨床実習Ⅱ（診療放射線学科対象）オリエンテーション学生配布資料	2022 年～現在	診療放射線学科 3 年次対象の臨床実習Ⅱ前に学内実習のオリエンテーションを行った際、学生配布用資料(計 1 点、計 10 枚)を作成した。講義の後には配布資料を見直し、変更や修正など、更新を行った。
臨床実習Ⅱ（診療放射線学科対象）学内実習手引書	2022 年～現在	診療放射線学科 3 年次対象の臨床実習Ⅱ前に実施する学内実習の内容や手順を記載した手引き（計 1 点、計 17 頁)を配布資料として作成した。実習後には手引き内容を見直し、変更や修正など、更新を行った。
臨床実習Ⅱ（診療放射線学科対象）実習前 OSCE　手引書（教員用）	2022 年～現在	診療放射線学科 3 年次対象の臨床実習Ⅱ前に実施する OSCE の教員用手引き（計 1 点、計 8 頁)を配布資料として作成した。試験後には手引き内容を見直し、変更や修正など、更新を行った。
臨床実習Ⅱ（診療放射線学科対象）実習前 OSCE　手引書（学生用）	2022 年～現在	診療放射線学科 3 年次対象の臨床実習Ⅱ前に実施する OSCE の学生用手引き（計 1 点、計 6 頁)を配布資料として作成した。試験後には手引き内容を見直し、変更や修正など、更新を行った。
臨床実習Ⅱ（診療放射線学科対象）実習前 OSCE　評価表	2022 年～現在	診療放射線学科 3 年次対象の臨床実習Ⅱ前に実施する OSCE の評価表（計 1 点、計 1 枚)を作成した。試験後には評価表の内容を見直し、変更や修正など、更新を行った。
勉強合宿　（診療放射線学科対象）講義用 PowerPoint スライド	2022 年～現在	診療放射線学科 4 年次対象の勉強合宿での X 線撮影技術分野の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 1 点、計 51 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
勉強合宿　（診療放射線学科対象）学生用配布資料	2022 年～現在	診療放射線学科 4 年生対象の勉強合宿での X 線撮影技術学講義を行った際、講義内容をまとめたプリント(1 点、計 26 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。

勉強合宿　（診療放射線学科対象）テスト問題	2022 年～現在	診療放射線学科において勉強合宿中に実施するテストのX線撮影技術学の範囲の問題を作成した（1 点，計 20 問）。
国家試験直前講座（診療放射線学科対象）講義用 PowerPoint スライド	2022 年～現在	診療放射線学科 4 年次対象の国家試験直前講座（X 線撮影技術学）の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 2 点、計 160 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
国家試験直前講座（診療放射線学科対象）学生用配布資料	2022 年～現在	診療放射線学科 4 年生対象の国家試験直前講座（X 線撮影技術学）講義を行った際、講義内容をまとめたプリント(2 点、計 40 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
国家試験直前講座（診療放射線学科対象）講義前の小テスト問題	2022 年～現在	診療放射線学科において国家試験直前講座の講義前に実施するテストの X 線撮影技術学の範囲の問題を作成した（2 点，計 72 問）。
国家試験直前講座（診療放射線学科対象）小テスト問題解説資料	2022 年～現在	診療放射線学科 4 年次対象の国家試験直前講座において、講義前に実施した問題の解説資料を（計 2 点、計 40 枚)を作成した。課題作成時には解説スライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
卒業研究（診療放射線学科対象）学内卒業研究発表会　抄録	2023 年～2024 年	診療放射線学科 4 年次対象の卒業研究において、研究成果を発表するために、学内にて「学内卒業研究発表会」を実施した。事前に抄録集を編集するため、30 演題分の抄録を取り纏めた。（A4，計 17 頁）
卒業研究（診療放射線学科対象）卒業研究論文集	2023 年～2024 年	診療放射線学科 4 年次対象の卒業研究において、研究成果をまとめた「卒業研究論文集」を作成した。30 演題分の卒業研究論文を取り纏めた。（A4，計 169 頁）
診療保健学セミナー（診療放射線学科対象）国家試験到達度テスト作問	2020 年～現在	診療放射線学科においてエックス線撮影技術学および医療安全管理学の範囲の国家試験到達度確認テストおよび卒業試験の問題を作成した（2 科目，計 308 問）。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
なし		
4　その他教育活動上特記すべき事項		
診療放射線学科における卒業研究指導	2021 年～現在	診療放射線学科 4 年次生対象の卒業研究において毎年 6～10 名程度の学生に対して指導を行った。
診療放射線学科における臨床実習指導	2020 年～現在	診療放射線学科 3・4 年次生対象の臨床実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳにおいて毎年 10 名程度の学生に対して指導を行った。
診療放射線学科における国試アドバイザー	2021 年～現在	診療放射線学科 4 年次生対象の診療放射線学セミナーにおいて毎年 6～10 名程度の学生に対して指導および就職活動支援を行った。
診療放射線学科における国試対策合宿の引率・指導	2023 年～現在	診療放射線学科 4 年次生対象の勉強合宿において毎年 70 名程度の学

		生に対して講義を行った。
診療放射線学科における国試直前講習	2021 年～現在	診療放射線学科 4 年次生対象の国家試験直前講座において毎年 70 名程度の学生に対して補習を行った。
診療放射線学科における研究生指導	2023 年～2024 年	診療放射線学科研究生を毎年 1～3 名程度受け入れ、研究指導および国家試験対策、就職活動支援を行った。
Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
なし		
2　特許		
なし		
3　その他職務上の実績に関する事項		
なし		

Ⅲ　研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					
なし					
論文					
Measurement of the x-ray effective focal spot size with edge response analysis using detectors	共著	2020 年 4 月	Journal of Medical Imaging PP023502-1 - 023502-13	Masayuki Nishiki, Satoshi Yanagita, Noriko Nishikawa, Hitomi Sugimura	PP023502-1 - 023502-13
報告					
なし					
学会発表					
ディジタルマンモグラフィにおける測定デバイスの違いが CR システムの解像特性に与える影響	共同	2023 年 12 月	日本放射線技術学会 東京・関東合同研究発表大会 2023	斎藤千寛、宇根奨、斎藤叶羽、平野真衣 杉村瞳、柳田智	一般演題
AI を用いたノイズ低減処理の被写体厚特性	共同	2023 年 12 月	日本放射線技術学会 東京・関東合同研究発表大会	久慈蒼偉、黒木優奈、杉村瞳、柳田智	一般演題

			2023		
学内実験で用いている乳房撮影用 CR において経年劣化が画像	共同	2021 年 11 月	日本放射線技術学会 第 68 回関東支部研究発表大会	横須賀陽、加藤紀美、 杉村瞳、柳田智、	一般演題
日本人を想定した乳房厚に対する圧迫圧が画像に及ぼす影響	共同	2021 年 11 月	日本放射線技術学会 第 68 回関東支部研究発表大会	秋山恵利、加藤菜月美、 山縣瑠美、奥村恵里香、 杉村瞳、柳田智、 梁川範幸	一般演題
ワイヤレス FPD の接続方式の違いによる X 線曝射ディレイタイムの研究	共同	2021 年 11 月	日本放射線技術学会 第 68 回関東支部研究発表大会	相馬佑紀、立岩未麗、 杉村瞳、柳田智、 梁川範幸	一般演題
標準体型における DRLs2020 と EI の関係	共同	2021 年 11 月	日本放射線技術学会 第 68 回関東支部研究発表大会	髙田健慎、杉村瞳、 柳田智、梁川範幸	一般演題
後方散乱線が持つ特性から遮へい材に必要な条件を検討	共同	2021 年 11 月	日本放射線技術学会 第 68 回関東支部研究発表大会	原田一輝、正畑美佳、 嶋川友里絵、伊藤肇 杉村瞳、柳田智、 梁川範幸	一般演題
異なる蛍光体物質の間接変換方式 FPD における物理特性の比較	共同	2021 年 11 月	日本放射線技術学会 第 68 回関東支部研究発表大会	渡部将輝、菅野花澄、 杉村瞳、柳田智、 梁川範幸	一般演題
VariableHelicalPitch スキャンの画像特性とその有用性の検討	共同	2021 年 10 月	第 49 回日本放射線技術学会 秋季学術大会	橘亮介、菅谷奎人、 山越玄基、柳田智、 梁川範幸、杉村瞳、 嶋川友里絵、越智茂博	一般演題

Ⅳ　学会等および社会における主な活動

1　現在の所属学会

日本放射線技術学会
日本診療放射線技師会
埼玉県診療放射線技師会

2　2020～2024 年度の学会での主な活動

日本放射線技術学会　第 80 回日本放射線技術学会総会学術大会（JRC2024）実行委員（2022 年～2024 年）
日本放射線技術学会　関東支部 学術委員会委員（2023 年 7 月～2025 年 4 月）
日本放射線技術学会　関東支部 研究発表 TERAKOYA 実行委員（2023 年 7 月～現在）

3　2020～2024 年度の社会での主な活動

なし

所属　医療保健学部 学科　診療放射線学科	職名　講師	氏名　鈴木　政司	学　位	博士（放射線学）
			国家資格	診療放射線技師、第一種放射線取扱主任者

I　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
実践臨床画像学	2024 年	診療放射線学科 3 年次生を対象に、MRI における造影検査と造影剤の薬理について理解を深める目的で講義を行った。科目担当者として 2 コマの授業を担当した。講義では教科書を使用し、教科書に沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、MRI 用造影剤の特徴、造影剤の種類と用途、造影剤が働きかける T1/T2 緩和現象、造影剤の材料と薬理、各造影剤の分布と排泄機序、肝臓に特異的な造影剤、肝腫瘍の造影模様と診断、造影剤の人体への残留、腎性全身性線維症について解説した。講義の際は小テストを実施した。
実践臨床画像学演習	2024 年	診療放射線学科 3 年次生を対象に、臨床における実技について理解を深める目的で実技演習を行った。科目担当者として 15 コマの演習を担当した。演習では臨床現場で使用される機材を使用して、カテの準備、ガウンテクニック、静脈注射、上部造影検査の補助方法、下部造影検査の補助方法、CT における静脈路確保法、核医学検査における静脈注射について指導した。
医用工学実験	2023 年～現在	診療放射線学科 2 年次生を対象に、ダイオード、トランジスタをはじめとした電子回路について理解を深める目的で実験を担当した。科目担当者として 45 コマの実験を担当した。実験ではツェナーダイオード、npn 形トランジスタの特性、整流作用、定電圧作用、増幅作用 Vce-Ic 特性、Ib-Ic 特性、電圧-電流特性、エミッタ接地電流増幅率 Hf、ベース接地電流増幅率 Hfb について指導した。各実験においてレポートを提出させ成績評価をした。
放射線衛生学	2022 年～現在	診療放射線学科 2 年次生を対象に、生物・ヒトに対する放射線の影響について放射線生物学のステップアップとしてさらに理解を深める目的で講義を行った。科目責任者として 15 コマすべての授業を担当した。講義では教科書を使用し、教科書に沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、アルファ線とベータ線及び中性子線の影響、線エネルギー付与、RBE と OER、ラジカルと活性酸素種の影響、希釈効

		果、酸素効果、防護剤、増感剤、温度効果、胎児の影響、ベルゴニートリボンドーの法則と放射線感受性、半致死線量、分割照射について解説した。成績は中間テスト、期末試験及び再試験により評価した。
放射線生物学	2021 年～現在	診療放射線学科 1 年次生を対象に、生物・ヒトに対する放射線の影響について理解を深める目的で講義を行った。科目責任者として 15 コマすべての授業を担当した。講義では教科書を使用し、教科書に沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、放射線の種類と特徴、DNA の損傷と回復、アポトーシスとネクローシス、人体の各臓器の影響とがんのリスク、確率的影響と確定的影響、早期障害と晩期障害、直接的影響と間接的影響の違いについて解説した。成績は小テスト、中間テスト、期末試験及び再試験により評価した。
診療画像機器学Ⅱ	2021 年～現在	診療放射線学科 2 年次生を対象に、CT、 MRI、 US、 眼底カメラの機器の特徴について理解を深める目的で講義を行った。科目責任者として 14 コマの授業を担当した。講義では教科書を使用し、教科書に沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、CT のスキャン法の違い、画像再構成法、線量評価法、MRI では磁場と電場によるデータ収集、画像コントラスト、安全性、磁場コイルの違い、US では各プローブの特徴と使用法、アーチファクト、眼底カメラの機器構成について解説した。成績は、期末試験及び再試験により評価した。
医用画像工学実験	2021 年～現在	診療放射線学科 3 年次生を対象に、画像処理や機械学習についてプログラミングについて理解を深める目的で実験を担当した。科目担当者として 45 コマの実験を担当した。実験では Image J の使用方法、Image J を用いた標本化、空間分解能、サンプリング、量子化と濃度分解能、ノイズ、線形・非線形の階調処理、ヒストグラムと平坦化、ウィンドウィング、空間周波数フィルタ(平均値フィルタ、加重平均値フィルタ、ガウシアンフィルタ、メディアンフィルタ、反転処理、画像間演算、R を用いた特徴量分析、アナログ信号とディジタル信号について指導した。
放射線安全管理学実験	2021 年～現在	診療放射線学科 3 年次生を対象に、放射線測定器を使用し、放射線量の測定方法と、放射線に関する安全管理、法規について理解を深める目的で実験を担当した。実験では GM 計数管の原理と構造、使用上の注意、対象とする放射線の種類、バックグラウンドの測定、空中の放射性同位元素の補足と測定方法、水中の放射性同位元素の測定方法、片対数グラフの表記法と半減期の算出方法、半減期からの放射性同位同定、法規上の放射性同位元素の限度値の算出方法、濃度限度を超え

		た放射性同位元素を含む空気と廃液の処理方法について指導した。
放射化学実験	2021 年～現在	診療放射線学科 2 年次生を対象に、物質の化学的な挙動を観察し、未知溶液の同定のため、薄層クロマトグラフィーについて理解を深める目的で実験を担当した。科目担当者として 45 コマの実験を担当した。実験では展開溶媒と展開時間、薄層板の取り扱い、トリプトファン、リジン、バリンの特性、物質の極性と吸着、Rf 値の算出方法、四則演算における有効数字と小数点以下の取り扱い、展開時間と溶媒の移動距離についてのグラフの書き方、近似直線の理解、ニンヒドリン溶液の使用方法、ニンヒドリン反応、について指導した。
放射線計測学実験	2021 年～現在	診療放射線学科 2 年次生を対象に、放射線測定器使い方と原理について理解を深める目的で実験を担当した。科目担当者として 45 コマの実験を担当した。実験では GM 計数管の原理と構造、印可電圧とプラトー曲線、再結合領域、比例係数領域、連続放電、数え落とし、Sr90 の取り扱い、バックグラウンドの測定法、始動電圧、開始電圧、終端電圧、作動電圧と印可電圧の関係、作動電圧の決め方、プラトー長、プラトースロープ、プラトースロープの求め方、GM 計数管の仕様書の見方、GM 計数管の寿命について指導した。
総合演習 I	2021 年～現在	診療放射線学科 3 年次生を対象に、生物・ヒトに対する放射線の影響について放射線生物学の総合演習 I として講義を行った。科目担当者として 2 コマの授業を担当した。講義では PowerPoint スライドを用いて、DNA の損傷と回復、アポトーシスとネクローシス、人体の各臓器の影響とがんのリスク、確率的影響と確定的影響、早期障害と晩期障害、直接的影響と間接的影響の違いについて、実践的な問題を解きながら解説した。講義の後小テストを実施した。
総合演習 I	2021 年～現在	診療放射線学科 3 年次生を対象に、CT、 MRI、 US、 眼底カメラの機器の特徴について診療画像機器学Ⅱの総合演習 I として講義を行った。科目担当者として 3 コマの授業を担当した。講義では PowerPoint スライドを用いて、CT のスキャン法の違い、画像再構成法、線量評価法、MRI では磁場と電場によるデータ収集、画像コントラスト、安全性、磁場コイルの違い、US では各プローブの特徴と使用法、アーチファクト、眼底カメラの機器構成について、実践的な問題を解きながら解説した。講義の後小テストを実施した。
総合演習Ⅱ	2021 年～現在	診療放射線学科 4 年次生を対象に、生物・ヒトに対する放射線の影響について放射線生物学の総合演習Ⅱとして講義を行った。科目担当者として 2 コマの授業を担当した。講義では PowerPoint スライドを用

		いて、DNA の損傷と回復、アポトーシスとネクローシス、人体の各臓器の影響とがんのリスク、確率的影響と確定的影響、早期障害と晩期障害、直接的影響と間接的影響の違いについて、国家試験の過去問を解きながら解説した。講義の後小テストを実施した。
総合演習Ⅱ	2021 年～現在	診療放射線学科 4 年次生を対象に、CT、 MRI、 US、 眼底カメラの機器の特徴について診療画像機器学Ⅱの総合演習Ⅱとして講義を行った。科目担当者として 3 コマの授業を担当した。講義では PowerPoint スライドを用いて、CT のスキャン法の違い、画像再構成法、線量評価法、MRI では磁場と電場によるデータ収集、画像コントラスト、安全性、磁場コイルの違い、US では各プローブの特徴と使用法、アーチファクト、眼底カメラの機器構成について、国家試験の過去問を解きながら解説した。講義の後小テストを実施した。
卒業研究	2021 年～現在	診療放射線学科 4 年次生を対象に、卒業研究として研究に理解を深める目的で指導をした。指導内容は、MRI を対象に研究計画の立て方、研究の目的、新規性・独自性・妥当性・有用性・論理性・明瞭性について、実験方法の立案と実施方法、実験結果の解析方法とまとめ方、グラフと表の作成方法、考察の進め方と記述方法、結論のまとめ方、参考文献の探し方と読み方、抄録と要旨の作成方法、研究発表のためのスライド作成方法、研究発表会での発表方法、学術大会についてと発表方法を指導した。
粒子線工学	2021 年～2023 年	診療放射線学科 3 年次生を対象に、放射線物理、生物、計測学分野における粒子線の性質について理解を深める目的で講義を行った。科目責任者として 15 コマすべての授業を担当した。講義では教科書を使用し、教科書に沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、放射線の種類と特徴、DNA の損傷と回復、高 LET 放射線と低 LET 放射線の違い重粒子線の特徴、中性子線の特徴、陽子線の特徴、ブラッグピーク、スター形成、電離箱、GM 計数管、Ge 検出器、NaI シンチレーターについて解説した。成績は中間テスト、期末試験及び再試験により評価した。
診療画像技術学実習 I	2021 年～2023 年	診療放射線学科 3 年次生を対象に、超音波診断装置を用いる検査について理解を深める目的で実験を担当した。実験では超音波の定義(縦波)、波長と振幅、伝搬速度、音響インピーダンス、ドプラー効果、プローブの構造、振動子、音響レンズ、整合層、バッキング材、電子リニア走査、電子コンベックス走査、繰り返し周波数、走査線とフレームレート、電子フォーカス、メカニカルフォーカス、多段フォーカス、

		距離分解能と方位分解能、減衰、屈折、DEPS/GAIN/STC/FOCUS の調整法、アーチファクト（多重反射、コメットエコー、サイドローブ、グレーティングローブ、ミラー効果、音響陰影、後方エコー増強、外側陰影、レンズ効果）について指導した。
診療画像技術学実習Ⅱ	2021 年～2023 年	診療放射線学科 3 年次生を対象に、MRI 装置を用いる検査について理解を深める目的で実験を担当した。実験では非造影血管撮像法（ TOF/PC/balanced-SSFP/FBI/Time-SLIP/3D-TSE/2D-TSE/Low-b DWI）、in-flow 効果、out-flow 効果、スピンの位相変化、流速補正、T2/T1 コントラスト、拡張期と収縮期の血流速度差、空間的選択 pulse、血管における乱流と渦流における不均一、Spin echo 法、Gradient echo 法、TE/TR、飽和パルスによる飽和効果、スラブ、in-phase、opposed-phase、フリップアングルによるコントラスト、可変フリップアングル、MIP/VR について指導した。
2　作成した教材（150 字程度まで）		
実践臨床画像学	2024 年	診療放射線学科 3 年次生を対象の実践臨床画像学の講義を行った際、PowerPoint スライド(28 枚のスライド)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新した。
放射化学実験	2024 年	診療放射線学科 2 年次生を対象の放射化学オリエンテーション レポートの書き方についての講義を行った際、PowerPoint スライド(12 枚のスライド)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新した。
放射線衛生学	2022 年～現在	診療放射線学科 2 年次生を対象の放射線衛生学の講義を行った際、PowerPoint スライド(253 枚のスライド)を作成し、板書として使用した。また、過去の国家試験の解説を行った際、PowerPoint スライド(73 枚のスライド)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新した。
放射線生物学	2021 年～現在	診療放射線学科 1 年次生を対象の放射線生物学の講義を行った際、PowerPoint スライド(144 枚のスライド)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新した。
診療画像機器学Ⅱ	2021 年～現在	診療放射線学科 2 年次生を対象の放射線生物学の講義を行った際、PowerPoint スライド(205 枚のスライド)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新した。
総合演習Ⅰ	2021 年～現在	診療放射線学科 3 年次生を対象の放射線生物学の総合演習Ⅰの講義を行った際、PowerPoint スライド(94 枚のスライド)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更

		新した。
総合演習Ⅰ	2021年～現在	診療放射線学科3年次生を対象の診療画像機器学Ⅱの総合演習Ⅰの講義を行った際、PowerPoint スライド(77 枚のスライド)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新した。
総合演習Ⅱ	2021年～現在	診療放射線学科4年次生を対象の放射線生物学の総合演習Ⅱの講義を行った際、PowerPoint スライド(87 枚のスライド)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新した。
総合演習Ⅱ	2021年～現在	診療放射線学科4年次生を対象の診療画像機器学Ⅱの総合演習Ⅱの講義を行った際、PowerPoint スライド(111 枚のスライド)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新した。
粒子線工学	2021年～2023年	診療放射線学科 3 年次生を対象の粒子線工学の講義を行った際、PowerPoint スライド(172 枚のスライド)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新した。
国試対策補習	2021年～現在	診療放射線学科 4 年次生を対象の MRI/超音波診断装置の機器学についての講義を行った際、PowerPoint スライド(計 85 枚のスライド)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新した。
国試直前講習	2021年～現在	診療放射線学科 4 年次生を対象の診療画像機器学Ⅱの講義を行った際、PowerPoint スライド(62 枚のスライド)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新した。
国試対策合宿	2022年～現在	診療放射線学科 4 年次生を対象の診療画像機器学Ⅱの講義を行った際、PowerPoint スライド(43 枚のスライド)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新した。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
4　その他教育活動上特記すべき事項		
診療放射線学科における卒業研究指導	2021年～現在	診療放射線学科4年次対象の卒業研究において毎年6～12名程度の学生に対して指導を行った。
研究生の担任	2021年～現在	毎年1～2名の研究生の担任として指導した。2024年度は2名とも国試に合格した。

国試対策補習	2021 年～現在	毎年 1～5 回程度、学生からの希望がある際に「超音波診断装置」と「MRI」について補習を実施した。
国試直前講習	2021 年～現在	毎年、国試の直前に「CT/MRI/超音波診断装置 機器学」について講習を実施した。
国試対策合宿の引率	2022 年～現在	毎年、夏または冬の合宿にて宿泊の上引率をし、「CT/MRI/超音波診断装置 機器学」について講義した。
Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
科研費 基盤研究(C)	2022 年～2024 年	「長期保存可能な拡散テンソル解析用定量評価ファントムの開発」 【代表】妹尾淳史　【分担】鈴木政司　助成総額：640, 000 円
2　特許		
異方性の被検知部材の製造方法	2023 年	特許第 7405417 号　【権利者】鈴木政司　妹尾淳史
ＭＲＩ　Ｔ１　ｒｈｏマッピング用のファントム、及びファントムの製造方法	2021 年	審査中　【権利者】鈴木政司
3　その他職務上の実績に関する事項		
東京都立大学　研究員	2019 年～現在	
埼玉医科大学　放射線科　研究員	2021 年～現在	

Ⅲ　研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					
なし					
論文					
Texture analysis of muscle MRI: machine learning-based classifications in idiopathic inflammatory myopathies	共著	2021 年	Sci Rep. 2021 May 10;11(1):9821	Keita Nagawa, Masashi Suzuki, Mamoru Niitsu, et. al.	P112-118
報告					
なし					
学会発表					
Validation of temperature dependence of the phantom for	共著	2023 年	The 51th Annual meeting of the Japanese Society for	Masashi Suzuki, Mamoru Niitsu et. al.	一般演題

T1 rho mapping			Magnetic Resonance in Medicine		
Development of the wooden phantom for diffusion quantitative evaluation: Relationship between PEG impregnation and diffusion quantitative value change	共著	2023 年	The 51th Annual meeting of the Japanese Society for Magnetic Resonance in Medicine	Rinako Iseki, Masashi Suzuki, Atsushi Senoo et. al.	一般演題
Optimization of the simultaneous collection of 3D morphological and quantitative T1rho image sequence of the knee	共著	2022 年	The 50th Annual meeting of the Japanese Society for Magnetic Resonance in Medicine	Sakurai H, Masashi Suzuki et. al.	一般演題
Development of acrylamide phantoms for T1 rho mapping	共著	2021 年	The 49th Annual meeting of the Japanese Society for Magnetic Resonance in Medicine	Masashi Suzuki, Mamoru Niitsu et. al.	一般演題
Influence of different fat suppression methods for evaluation of T1 rho values in the knee cartilage	共著	2020 年	The 48th Annual meeting of the Japanese Society for Magnetic Resonance in Medicine	Masashi Suzuki, Mamoru Niitsu et. al.	一般演題
Difference in diffusion metrics based on the orientation to the magnetic field for DTI and DKI	共著	2020 年	The 48th Annual meeting of the Japanese Society for Magnetic Resonance in Medicine	Masashi Suzuki, Mamoru Niitsu et. al.	一般演題
Compressed SENSE(CS) 3D isotropic T1 rho mapping of the knee: optimal CS reduction factor	共著	2020 年	The 48th Annual meeting of the Japanese Society for Magnetic Resonance in Medicine	Hayashi H, Masashi Suzuki et. al.	一般演題
Optimization of the voxel size in the compressed SENSE 3D isotropic T1 rho mapping of the knee	共著	2020 年	The 48th Annual meeting of the Japanese Society for Magnetic Resonance in Medicine	Hayashi H, Masashi Suzuki et. al.	一般演題
Rapid 3D sub-millimeter isotropic T1ρ mapping of the knee using motion-robust interleaved spin-lock acquisition with compressed	共著	2020 年	The 28th Annual meeting and Exhibition of International Society for ISMRM	Keita Nagawa, Masashi Suzuki et. al.	一般演題

sensing					
Accelerated high-resolution T1ρ mapping of the knee cartilage using interleaved spin-lock-prepared 3D gradient echo with Compressed SENSE	共著	2020 年	The 28th Annual meeting and Exhibition of International Society for ISMRM	Keita Nagawa, Masashi Suzuki et. al.	一般演題
Ⅳ　学会等および社会における主な活動					
1　現在の所属学会					
公益社団法人茨城県診療放射線技師会 一般社団法人日本磁気共鳴医学会					
2　2020～2024 年度の学会での主な活動					
なし					
3　2020～2024 年度の社会での主な活動					
なし					

所属　医療保健学部 学科　診療放射線学科	職名　講師	氏名　永井　良明	学　位	博士（保健医療学）
			国家資格	診療放射線技師

Ⅰ　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
実践臨床画像学	2024 年	診療放射線学科 3 年生。医療安全管理領域として新たに登場した科目で、このうちの CT 検査、造影剤副作用の内容で 1 コマ担当。
実践臨床画像学演習	2024 年	診療放射線学科 3 年生。医師や看護師業務のタスクシフト、シェアに関し、放射線技師会が定める告示研修の内容。下部消化管の実習を担当。
放射線物理学Ⅰ	2020 年～現在	診療放射線学科 1 年生。放射線が原子や原子核に入射した際の相互作用等について講義を行う。15 コマ中 10 コマを担当。成績は小テスト、期末試験、再試験で評価。
放射線物理学Ⅱ	2020 年～現在	診療放射線学科 2 年生。放射線物理学 1 の復習を行いながら発展的な内容にふれ、他科目との関連について講義を行う。成績は小テスト、期末試験、再試験で評価。
放射線治療技術学Ⅰ	2019 年～現在	診療放射線学科 2 年生。放射線によるがん治療について講義。15 コマ中 1 コマ担当。放射線の有害事象について担当した。
放射線治療技術学Ⅱ	2019 年～現在	診療放射線学科 3 年生。放射線によるがん治療について講義。15 コマ中 1 コマ担当。放射線治療の看護について担当した。
放射線治療技術学演習	2019 年～現在	診療放射線学科 4 年生。選択科目で 8 コマ実施。線量の計算や MU 計算について Excel を用いて実践的な実習を行う。
総合演習Ⅰ	2019 年～現在	診療放射線学科 3 年生。総合学習科目で、放射線物理を 2 コマ程度担当。
総合演習Ⅱ	2019 年～現在	診療放射線学科 4 年生。総合学習科目で、放射線治療を 2 コマ程度担当。
病態治療論Ⅱ	2022 年～現在	看護学科 2 年生。病態や治療、検査について学ぶ科目で、放射線治療、放射線防護について 2 コマ担当。
卒業研究	2019 年～現在	診療放射線学科 4 年生。筑波大学の治療機を借りてデータを取得し、地方部会等で研究成果を発表している。
放射線安全管理学実験	2019 年～現在	診療放射線学科 3 年生。放射線安全管理を実践的に学ぶ科目。防護用品の遮蔽効果と鉛当量の測定を担当。

放射線計測学実験	2019 年～現在	診療放射線学科 2 年生。放射線計測を実践的に学ぶ科目。γ線スペクトルの微分測定を担当。パソコンの使い方についても講義を行う。
放射化学実験	2019 年～2023 年	診療放射線学科 2 年生。放射化学を実践的に学ぶ科目。薄層クロマトグラフィを担当していた。
放射線生物学	2019 年～2020 年	診療放射線学科 1 年生。放射線の生物影響について講義を 1 年間実施した。
2　作成した教材（150 字程度まで）		
放射線取扱主任者対策資料	2020 年～現在	放射線取扱主任者第 1 種という全国合格率 3 割程度の難関資格を学生に取得させるため、希望者に対し、特別講義を実施している。その年度試験問題を全科目全問解説しており、そのパワーポイント資料を毎年作成している（毎年 400 枚程度）。
放射線取扱主任者対策合宿資料	2023 年～現在	2023 年度から放射線取扱主任者対策合宿を実施している。合宿中は演習と解説を繰り返すものであり、その問題と解説資料を作成した。
診療放射線国家試験対策合宿資料（冬）	2022 年～現在	2022 年度から診療放射線技師国家試験合格に向けた合宿を国試直前の 1 月に実施しており、その対策として、放射線物理、化学、生物、計測、安全管理、治療の資料（問題、パワーポイント）を作成した。
国家試験対策、放射線取扱主任者対策として基礎科目ドリル	2020 年～現在	診療放射線技師の国家試験対策として、放射線物理学、放射化学、放射線生物学、放射線計測学、安全管理のドリルを作成し、放射線取扱主任者対策として放射線取扱主任者用発展ドリル 1、2 を作成した（それぞれ 30 ページ程度）。
実践臨床画像学の講義用パワーポイントスライド	2024 年	講義スライドは 50 枚程度。板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
放射線物理学Ⅰの講義用パワーポイントスライド	2020 年～現在	講義スライドは 1 講義 50 枚程度。板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
放射線物理学Ⅱの講義用パワーポイントスライド	2020 年～現在	講義スライドは 1 講義 50 枚程度。板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
放射線治療技術学Ⅰの講義用パワーポイントスライド	2019 年～現在	講義スライドは 50 枚程度。板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
放射線治療技術学Ⅱの講義用パワーポイントスライド	2019 年～現在	講義スライドは 50 枚程度。板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
放射線治療技術学演習の演習資料（エクセル）	2019 年～現在	
総合演習Ⅰの講義用パワーポイントスライド	2019 年～現在	講義スライドは 1 講義 50 枚程度。板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
総合演習Ⅱの講義用パワーポイントスライド	2019 年～現在	講義スライドは 1 講義 50 枚程度。板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。

病態治療論Ⅱの講義用パワーポイントスライド	2022 年～現在	講義スライドは 1 講義 50 枚程度。板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
放射線生物学の講義用パワーポイントスライド	2019 年～2020 年	講義スライドは 1 講義 50 枚程度。作成した資料は次の担当者に全て提供した。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
放射線防護教育講座で報告	2025 年 1 月	放射線防護に関する気になる疑問について一問一答形式で回答。「教育講座―放射線防護のアーカイブス―放射線防護　一問一答」日本放射線技術学会雑誌　81 巻 1 号 p. 56-61　磯辺智範、森祐太郎、永井良明
診療放射線学科で実施している放射線取扱主任者対策について発表	2024 年 8 月	つくば国際大学にて実施している放射線取扱主任者対策の紹介と、その学習効果について第 18 回日本診療放射線学教育学会学術集会でポスター展示。「つくば国際大学における放射線取扱主任者対策とその学習効果」有路健介、粟野典、島田隆成、三井渓一郎、小山内美鈴、永井良明
臨床機を有さない施設でも実施できる放射線治療実習について報告	2024 年 3 月	つくば国際大学で実施された「放射線治療の基礎」実習の評価。臨床機を有さない施設でも実施できる放射線治療実習を考案し、実施した内容について学生アンケートから評価を行なった。「A Proposal for an Optimized Clinical Training Evaluation Method for Each Phase of Education for Radiologic Technologist Students.」日本診療放射線技師会誌 2024. vol.71 no.858,22-29　MORI Yutaro,ISOBE Tomonori, NAGAI Yoshiaki,,ほか
診療放射線学科で実施している国家試験対策について報告	2023 年 3 月	つくば国際大学にて実施されている国家試験対策の評価を実施した。合格率の推移だけでなく、基礎知識や学習習慣を早期に身につける重要性を述べている。「診療放射線学科で実施した国家試験対策とその効果に関する一考察」つくば国際大学 医療保健学研究 第 14 号 p51-59 永井良明，柳田智，清水秀雄，ほか
実習の意義について報告	2022 年 12 月	実習の意義と最適なトレーニングについて報告。「A Proposal for an Optimized Clinical Training Evaluation Method for Each Phase of Education for Radiologic Technologist Students.」Mori Yutaro, Isobe Tomonori, Takei Hideyuki, Kobayashi Daisuke, Tomita Tetsuya, Sato Eisuke, Tsuda Keisuke, Yanagawa Noriyuki, Nagai Yoshiaki, ほか
4　その他教育活動上特記すべき事項		
国家試験対策合宿の代表（夏、冬）	2022 年～現在	2022 年から診療放射線学科では診療放射線国家試験の対策合宿を実施している。その引率教員の代表として合宿所との打ち合わせ、学生

		の取りまとめ、合宿のスケジュール作成、教員の配置等を計画している。なお、2025 年度から夏合宿も開始した。
放射線取扱主任者合宿の代表	2023 年～現在	2023 年から診療放射線学科では診療放射線取扱主任者の対策合宿を実施している。その引率教員の代表として合宿所との打ち合わせ、学生の取りまとめ、合宿のスケジュール作成、教員の配置等を計画している。
研究生の担任	2024 年	2024 年度は研究生をそれぞれで 1 人担当している。
卒業研究指導	2019 年～現在	診療放射学科 4 年次対象の卒業研究において毎年 3～6 名程度の学生に対して指導を行った。
関東地区診療放射線技師教育研究会 事務局	2024 年	複数の教育機関が在籍する研究会があり、模擬試験問題や勉強の仕方について意見交換を実施している。その事務局を担当している。
Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
2　特許		
3　その他職務上の実績に関する事項		
筑波大学　客員研究員	2019 年～現在	
第 129 回　日本医学物理学会学術大会　実行委員	2024 年～2025 年	
第 18 回日本診療放射線学教育学会学術集会　実行委員	2023 年～2024 年	
日本放射線技術学会　　演題審査員	2021 年～2024 年	
学術論文の査読　10 件	2020 年～現在	診療放射技術学会誌 2 件、本診療放射線学教育学会誌 8 件
関東地区診療放射線技師教育研究会 事務局	2024 年～現在	

Ⅲ　研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					
若葉マークの画像解剖学　第 4 版	共著	2025 年 3 月	メジカルビュー社	監修：松村明、阿武泉、編集：磯辺智範、富田哲也	p583-584
放射線取扱主任者試験　重要問	共著	2024 年 3 月	メジカルビュー社	編集：福士政広	p50-90

題集中トレーニング 3rd edition					
放射線健康リスク科学基礎知識図解ノート	共著	2023 年 4 月	金原出版	監修：榮武二、櫻井英幸 編集：磯辺智範	p23-33
放射線安全管理学 改訂 3 版	共著	2022 年 3 月	オーム社	日本放射線技術学会監修、磯辺智範編、清水秀雄編、南一幸編、鈴木昇一編、西谷源展編	48-70, 106-126
放射線治療基礎知識図解ノート第 2 版	共著	2021 年 3 月	金原出版	監修：榮武二、櫻井英幸 編集：磯辺智範、佐藤英介	p.340-364
論文					
Visualization of Spatial Dose Distribution for Effective Radiation Protection Education in Interventional Radiology: Obtaining High-Accuracy Spatial Doses	共著	2024 年 9 月	Physical and Engineering Sciences in Medicine Volume 47	Yutaro Mori,Tomonori Isobe,Yasuwo Ide,Shuto Uematsu, Tetsuya Tomita,Yoshiaki Nagai,Takashi Iizumi,Hideyuki Takei,Hideyuki Sakurai,Takeji Sakae	1665–1676
Proposal for training that does not use radiotherapy equipment and verification of training effects	共著	2024 年 3 月	日本診療放射線技師会誌 2024. vol.71 no.858,	MORI Yutaro,ISOBE Tomonori, NAGAI Yoshiaki, TOMITA Tetsuya, KOBAYASHI Daisuke, TAKEI Hideyuki, YANAGITA Satoshi, FUKUSHI Masahiro, YANAGAWA Noriyuki, SAKAE Takeji	p22-29
Analysis of source dwell position during treatment in brachytherapy using CT scout images	共著	2023 年 10 月	Journal of Contemporary Brachytherapy 2023/volume 15/number 5	Nozomi Nakajima, Tomonori Isobe, Yoshinobu Furuyama, Tetsuya Tomita, Daisuke Kobayashi, Yutaro Mori, Hideyuki Takei, Yoshiaki	p357-364

				Nagai, Yasuwo Ide, Keiko Nemoto Murofushi, Masaru Nakajima, Yasuo Yoshioka	
診療放射線学科で実施した国家試験対策とその効果に関する一考察	共著	2023 年 3 月	つくば国際大学 医療保健学研究 第 14 号	永井良明、柳田智、清水秀雄、根本広文、崔岡大、川田悟、村中博幸、福士政広	p51-59
A Proposal for an Optimized Clinical Training Evaluation Method for Each Phase of Education for Radiologic Technologist Students.	共著	2022 年 12 月	診療放射線学教育学 vol.10	Mori Yutaro, Isobe Tomonori, Takei Hideyuki, Kobayashi Daisuke, Tomita Tetsuya, Sato Eisuke, Tsuda Keisuke, Yanagawa Noriyuki, Nagai Yoshiaki, Ide Yasuwo, Sugaya Keito, Sakae Takeji.	P23-30
画像誘導放射線治療の線量管理	共著	2021 年 12 月	診療放射線学教育学 vol.9	永井良明、森祐太郎、富田哲也、武居秀行、榮武二、磯辺智範	43-46
装置 QA における放射線治療ビーム焦点位置変位測定の有用性.	共著	2020 年 8 月	国際医療福祉大学学会誌　25(2)	永井良明、伊藤憲一、橋本光康	25-36
側臥位卵巣遮蔽による全身照射(TBI)の改良点:タングステンシートによる肺ブロック	共著	2012 年 8 月	臨床放射線．57 巻 8 号	永井良明、提箸真人、松崎仁、他 4 名	Page1109-1115
報告					
教育講座―放射線防護のアーカイブス― 放射線防護　一問一答	共著	2025 年 1 月	日本放射線技術学会雑誌　81 巻 1 号	磯辺智範、森祐太郎、永井良明	p. 56-61
世界の論文シリーズ Real-time estimation of patient-specific dose distributions for medical　CT using the deep dose	単著	2023 年 10 月	放射線防護部会誌　Vol. 23 No.2	永井良明	p87-92

estimation.					
誌上講座「被ばく」 低線量・低線量率放射線の生物学的影響	共著	2022 年 11 月	日本放射線技術学会雑誌　78 巻 11 号	磯辺智範、武居秀行、森祐太郎、井出仁勇、小林大輔、富田哲也、菅谷奎人、永井良明、榮武二	p. 1376-1380
世界の論文シリーズ Prostate Stereotactic Body Radiation Therapy: An Overview of Toxicity and Dose Response. （前立腺定位放射線治療：障害と線量応答の概要）	単著	2021 年 10 月	放射線治療部会誌　vol.35 No.2	永井良明	P129-132
放射線防護部会 専門講座 専門編 放射線治療の防護に必要な基礎知識　−X 線から粒子線まで−.	共著	2021 年 10 月	日本放射線技術学会 放射線防護部会誌; 21(2)	森祐太郎、磯辺智範、永井良明、富田哲也、武居秀行、井出仁勇、榮武二.	38-42
学会発表					
つくば国際大学における放射線取扱主任者対策とその学習効果	共同	2024 年 8 月	第 18 回日本診療放射線学教育学会学術集会	有路健介、栗野典、島田隆成、三井渓一郎、小山内美鈴、永井良明	一般（ポスター）
水素水摂取によるマウスの運動持久力向上：抗酸化作用と代謝改善効果について	共同	2024 年 7 月	第 51 回日本毒性学会学術年会	水野瑛夏、呉世昶、三浦征、梁川範幸、永井良明、森太郎、西野僚、平野伸一、磯辺智範	一般演題
Long SSD と強度変調放射線治療技術を組み合わせた全身照射法の検討	共同	2023 年 12 月	日本放射線技術学会　東京・関東合同研究発表大会 2023	髙倉愛弥、中村彩楽、小山内美鈴、重田匠哉、富田哲也、小林大輔、永井良明	一般演題
照射対象の形状変化による ボーラス密着不良が線量変化に与える影響	共同	2022 年 12 月	第 69 回関東支部研究発表大会	植松修人、越前谷晴紀、廣田勝志、富田哲也、小林大輔、永井良明	一般演題
定位放射線治療を想定した小照射野において位置変位が線量誤差に与える影響	共同	2021 年 11 月	第 68 回関東支部研究発表大会	三浦未来、小熊由樹、垂石花、渡邉夏未、富田哲也、小林大輔、永井良明	一般演題
Dual Energy CT を用いた植物	共同	2019 年 11 月	第 66 回関東支部研究発表大会	川名律澄、八木郁実佳、	一般演題

性食用油の成分分析の検討				梁川範幸、小林隆幸、富田博信、柳田智、永井良明	
カセッテ型 FPD の至適キャリブレーション方法の研究	共同	2019 年 11 月	第 66 回関東支部研究発表大会	栗山葵、栗原さつき、永井良明、柳田智、梁川範幸	一般演題
外部放射線治療におけるリスク分析システム構築に向けて	共同	2017 年 11 月	第 7 回医療の質・安全学会 学術集会	岡崎哲照、本田嘉樹、遠藤弘貴、山田恵里佳、高橋侑大、永井良明、他	一般演題
TACE における低線量 CTHA の末梢血管描出能の評価	共同	2017 年 10 月	第 45 回日本放射線技術学会秋季学術大会	西川秀仁、永井良明、池田欣正、他 2 名	一般演題
Evaluation of Computed Tomography Dose Distribution with Changes in Tube Voltage	共同	2016 年 4 月	第 72 回日本放射線技術学会総会学術大会	永井良明、池田欣正、紙恭子、他 4 名	一般演題

所属　医療保健学部 学科　診療放射線学科	職名　助教	氏名　井出　仁勇	学　位	修士（医科学）
			国家資格	診療放射線技師、第一種放射線取扱主任者

Ⅰ　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
診療画像技術学Ⅱ	2024 年	診療放射線学科 3 年次生を対象に、臨床現場での画像診断の基本とモダリティ別の読影を学ぶことを目的に講義を行った。一般 X 線撮影を基礎に、CT、MRI、血管撮影、X 線透視画像などの疾患別の読影方法を解説した。全 8 コマを担当し、PowerPoint スライドを用い、過去の国家試験問題や類似例を題材に国家試験対策も兼ねた内容を解説と共に説明する講義とした。また、モダリティを横断した画像比較と症例ごとの所見・治療前後の変化についても解説した。成績は期末試験および再試験で総合的に評価した。
画像診断技術学Ⅳ（超音波・眼底）	2024 年	診療放射線学科 3 年次生を対象に、眼底に焦点を当て、検査に必要な基礎知識と正常像を理解することを目的として講義を行った。全 8 コマ中 1 コマを担当し、講義では PowerPoint スライドを用いて、無散瞳型眼底写真撮影における画像取得の原理、検査手技、装置の概要など、検査に必要な事項を総合的に解説した。また、正常眼底像と代表的な症例画像についても学習し、臨床で求められる基礎的知識の習得を目指した。成績は期末試験および再試験により総合的に評価した。
実践臨床画像学演習	2024 年	診療放射線学科 3 年次生を対象に、患者対応や検査説明、チーム医療・他職種連携、医療情報の取扱いなど臨床現場に必要な基本的態度と手技を実践的に学ぶことを目的とした。血管造影検査、核医学検査、上部・下部消化管検査を題材に、機材説明、滅菌操作、静脈穿刺・抜去、造影剤注入やカテーテル操作などを実習形式で行い、OSCE を通じて患者対応や副作用説明など臨床的判断力を養った。
診療画像技術学実習Ⅱ	2024 年	診療放射線学科 3 年次生を対象とし、「診療画像技術学実習Ⅰ」で培った基礎を応用し、学内実習装置を用いて撮影・撮像および画像評価技術をより実践的に学ぶことを目的とした。主に MR 装置を用い、撮影ポジショニングの基本技術、撮影画像の評価方法を習得させた。MR 棟を用いた臨床現場のロールプレイを行い、患者の問診、入室、ポジショニング、撮像などを通して実践的知識を身につけた。さらに、患者

		役・技師役を交互に体験することで接遇を客観的に捉え、医療人としての気づきと人間的成長を促した。
放射化学実験	2023 年～現在	診療放射線学科 2 年次生を対象に、放射性核種の分離・精製および安全な取り扱いに関する基礎的理解を深めることを目的とし、ペーパークロマトグラフィーを取り上げ、放射性核種の分離・精製や分析手法の基本操作を習得させた。模擬的に放射線の放出を意識しながら、汚染防止を含む安全取り扱いの考え方についても学習した。学生にはペーパークロマトグラフィーの実験を通じて、放射化学実験の基礎的技能と安全管理の重要性を理解させた。
放射線安全管理学	2023 年～現在	診療放射線学科 3 年次生を対象に、診療放射線技師が医療の現場で放射線および放射性同位元素（RI）を安全に取り扱うために必要な知識と技術を総括的に学ぶことを目的として講義を行った。全 15 コマ中 8 コマを担当し、講義では PowerPoint スライドを用い、環境および個人被ばくに関する測定機器、環境の管理、個人の管理、廃棄物の処理、事故時の対応と対策などについて解説した。成績は中間試験、期末試験および再試験により総合的に評価した。
医療安全管理学	2023 年～現在	診療放射線学科 3 年次生を対象に、医療における安全管理の基本的な考え方を理解し、医療従事者としての安全意識とリスクマネジメントの重要性を学ぶことを目的として講義を行った。全 15 コマ中 1 コマを担当し、講義では PowerPoint スライドを用いて、MRI 検査における安全事項および留意点について解説した。特に、MRI 装置の強磁場環境下における危険性、金属の吸着事故や熱傷などの具体的事例を示しながら、検査に関わる全ての医療従事者が遵守すべき安全管理体制や確認手順の重要性を理解させた。成績は小テスト、期末試験および再試験により総合的に評価した。
診療画像技術学実習 I	2023 年～現在	診療放射線学科 3 年次生を対象に、学内の実習装置を用いて、撮影・撮像および画像評価に関する基礎的技術を体系的に理解し、理論を実践に応用する能力を養うことを目的とした。主に MRI 装置における、装置構造や原理の理解、保守管理、安全管理、患者対応、問診手順などの基本事項を確認した。また、ファントムを用いた撮像を通じて、撮影条件による画像の特色や MR 画像の評価方法を学び、臨床実習で必要となる実践的知識と技能を習得させた。さらに、実習を通じて診療放射線技師としての倫理観と責任感を涵養し、医療人としての人間形成を図った。
総合演習 II	2023 年～現在	診療放射線学科 4 年次生を対象に、国家試験対策として過去の出題問

		題を分析・解説し、新しい出題傾向や対策を幅広く学習することを目的とした。担当分野は放射線安全管理学であり、到達目標として放射線防護の基本概念、関連法規、および放射線管理の目的と方法を理解することを掲げた。講義では PowerPoint スライドを用い、放射線防護の原理や関係法令の要点、実際の管理手法を解説し、国家試験に対応できる基礎知識の定着を図った。
医用工学実験	2023 年～現在	診療放射線学科 2 年次生を対象に、講義で学んだ医用工学の基礎理論を実験を通して理解し、知識の定着と応用力を養うことを目的とした。担当は「整流・平滑回路」であり、交流を安定した直流に変換する整流回路および平滑回路の動作原理と特性を実験的に学習した。実験では、半導体ダイオードを用いた半波整流回路、ダイオード 1 個を用いた半波整流回路、4 個のダイオードを用いた全波整流回路、コンデンサを組み合わせた平滑回路を構成し、各回路の出力波形や電圧特性を測定・解析した。これにより、整流・平滑回路の動作理解とともに、電気電子機器における直流化の基本原理を体系的に習得させた。
物理学	2023 年～2024 年	臨床検査学科および医療技術学科の 1 年次生を対象に、物理学の基礎的概念を理解し、医療に関連する物理現象を学ぶことを目的として講義を行った。科目責任者として 8 コマの授業を担当した。講義では PowerPoint スライドを用い、物理の歴史、物理量の測定、物体の運動の基礎、力と運動、仕事とエネルギー、液体の運動、電荷と電場、電流と電場、磁荷と磁場、電磁気学、原子物理、原子核と放射線などについて解説した。成績は小テストにより評価し、得点が基準に満たない学生に対してはレポート課題を課し、その内容を加味して評価した。
医用画像工学実験	2021 年～2023 年	診療放射線学科 3 年次生を対象に、医用画像工学および医用画像情報学で学んだ内容を基盤として、画像の物理特性と画像処理の基礎を実践的に学ぶことを目的とした。本実験では、物理学的画質評価、画像処理方法、特徴量解析などを PC を用いて実施し、ImageJ、Excel、R などのソフトウェアやプログラムを使用して解析を行った。Excel では関数を用いた基礎的なデータ処理を体系的に理解させ、ImageJ では画像の取得・解析・処理の基本操作を習得させた。さらに、実際の画像データを用いた演習を通して、医用画像の特性理解と定量的解析手法の基礎を身につけることを目標とした。
2　作成した教材（150 字程度まで）		
診療画像技術学Ⅱ	2024 年	診療放射線学科 3 年次生を対象とした講義において、臨床現場での画像診断の基礎とモダリティ別の読影法を解説するため、PowerPoint ス

		ライド（計 8 点、計 417 枚）を作成した。国家試験問題や症例画像を取り入れた構成とし、毎年内容の見直しや改訂を行いながらブラッシュアップを重ねている。
画像診断技術学Ⅳ（超音波・眼底）	2024 年	診療放射線学科 3 年次生を対象とした講義において、眼底検査に関する基礎知識や正常像を解説するための PowerPoint スライド（計 1 点、計 59 枚）を作成した。無散瞳型眼底写真撮影の原理、検査手技、装置概要を中心に構成し、毎年内容の変更・修正を行いながら教材を更新している。
診療画像技術学実習Ⅱ	2024 年	診療放射線学科 3 年次生を対象とした実習前講義で使用するため、PowerPoint スライド（計 1 点、計 45 枚）を作成した。実習当日の手引書としても利用し、撮影・撮像手技の手順やアーチファクト対策の原理などを解説する内容とした。毎年、実習内容や装置変更に応じてスライドの更新・修正を行っている。
放射線安全管理学	2023 年～現在	診療放射線学科 3 年次生を対象とした講義において、PowerPoint スライド（計 7 点、計 343 枚）を作成し、中間試験・期末試験の問題作成も担当した。講義では放射線防護や法令、放射線管理の実務を体系的に解説し、毎年内容を見直し、最新の法改正や教育効果に応じてブラッシュアップを行っている。
医療安全管理学	2023 年～現在	診療放射線学科 3 年次生を対象とした講義において、MRI 検査における安全事項や留意点を解説するための PowerPoint スライド（計 1 点、計 65 枚）を作成した。講義後には内容を見直し、事例や図表を追加・修正するなど、学生の理解を深めるための更新を毎年行っている。
診療画像技術学実習Ⅰ	2023 年～現在	診療放射線学科 3 年次生を対象とした「診療画像技術学実習Ⅰ」において、実習前の事前講義で使用するために PowerPoint スライド（計 1 点、計 42 枚）を作成した。スライドには実習の目的、機器の操作手順、安全管理、撮像方法および画像評価の手順などをまとめ、実習内容の理解と手技習得を支援する教材とした。
総合演習Ⅱ	2023 年～現在	診療放射線学科 4 年次生を対象とした国家試験対策科目「総合演習Ⅱ」において、PowerPoint スライド（計 1 点、計 60 枚）を作成し、授業資料として使用した。毎年、最新の出題傾向や学生の理解度に応じて内容を見直し、ブラッシュアップを行っている。
物理学（臨床検査学科および医療技術学科対象）の講義用 PowerPoint スライド	2023 年～2024 年	臨床検査学科および医療技術学科の 1 年次生を対象とした「物理学」の講義において、PowerPoint スライド（計 8 点、計 432 枚）を作成し、授業資料として使用した。講義後にはスライド内容を見直し、図表や説明文を更新するなど、学生の理解促進を目的に改訂を行った。

3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
なし		
4　その他教育活動上特記すべき事項		
FD フォーラム報告会報告	2025 年 3 月	2024 年度 FD フォーラム報告会において第 3 分科会「学校教育における生成 AI 活用の現在と今後の課題」について報告を行った。
診療放射線学科における卒業研究指導	2024 年	診療放射線学科 4 年次対象の卒業研究において毎年 6～8 名名程度の学生に対して指導を行った。
診療放射線学科における病院実習指導	2023 年～現在	診療放射線学科 3 年、4 年次対象の臨床実習において、毎年 10～20 名名程度の学生に対して指導を行った。
国試対策合宿，放射線取扱主任者合宿の引率	2023 年～現在	診療放射線学科 4 年次対象の国家試験対策合宿、診療放射線学科対象学生の放射線取扱主任者試験対策合宿において、毎回各 1 泊程度宿泊し引率、学生に対して指導を行った。
Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
なし		
2　特許		
なし		
3　その他職務上の実績に関する事項		
なし		

Ⅲ　研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					
若葉マークの画像解剖学　第 4 版	共著	2025 年 2 月	メジカルビュー社	監修：松村明，阿武泉編集：磯辺智範，富田哲也	執筆担当：第 3 章 脊椎・脊髄，01 脊椎の単純 X 線画像（p154-175）
放射線健康リスク科学基礎知識図解ノート	共著	2023 年 4 月	金原出版	監修：榮 武二，櫻井英幸．編集：磯辺智範	執筆担当：第 3 章 放射線の医学利用（p35-63）
放射線健康リスク科学基礎知識図解ノート	共著	2022 年 10 月	**金原出版**	**監修:新津守．編集:磯辺智範**	執筆担当：第 12 章 そのほか知っておきたい知識

					（p.258-259，p.272-273）
論文					
低線量・低線量率放射線の生物学的影響	共著	2022 年	日本放射線技術学会雑誌	磯辺智範，武居秀行，森祐太郎，井出仁勇，小林大輔，富田哲也，菅谷奎人，他	p. 1376-1380
放射線治療の防護に必要な基礎知識 −X 線から粒子線まで−	共著	2021 年	日本放射線技術学会 放射線防護部会誌	森 祐太郎，磯辺智範，永井良明，富田哲也，武居秀行，井出仁勇，榮 武二.	p.38-42
本邦における診断参考レベル(Japan DRLs 2015)の認知度および運用状況に関するアンケート調査報告	共著（筆頭）	2020 年 1 月	日本放射線技術学会雑誌 76 巻 1 号	井出仁勇，高木卓，五十嵐隆元　他	p. 1376-1380
報告					
なし					
学会発表					
CT 画像における金属アーチファクトの除去効果について	共同	2024 年 12 月	日本放射線技術学会 第 71 回関東支部研究発表大会（群馬県高崎市）	本吉実穂，入江亮介，阿部涼夏，佐藤広崇，飯森隆志，井出仁勇，梁川範幸	一般演題
脳動脈瘤に対するコイル塞栓術における患者被ばく線量と動脈瘤位置・形状との関係	共同	2024 年 12 月	日本放射線技術学会 第 71 回関東支部研究発表大会（群馬県高崎市）	鎌田聖，伊藤肇，斎藤百花，中村祥太，井出仁勇，坂井上之，梁川範幸	一般演題
Deep Learning Reconstruction を用いたシングルショット STIR の画質改善	共同	2024 年 12 月	日本放射線技術学会 第 71 回関東支部研究発表大会（群馬県高崎市）	赤津太一，黒澤隆那，金田虎太郎，高橋花林，米川響介，佐藤広崇，井出仁勇	一般演題
Flex Coil のセットパターンが MRI 画像に与える影響の基礎検討	共同	2024 年 12 月	日本放射線技術学会 第 71 回関東支部研究発表大会（群馬県高崎市）	細野崇登，井出仁勇，片寄瑛巳，小林美玖，佐藤舜，坂井上之，梁川範幸	一般演題
CT 画像における金属アーチファクトの除去効果について	共同	2024 年 6 月	第 18 回日本診療放射線学教育学会学術集会（東京都荒川区）	阿部涼夏，入江亮介，本吉実穂，磯中美咲，井出仁勇，	一般演題

				坂井上之，飯森隆志，福士政広，梁川範幸	
脳動脈瘤に対するコイル塞栓術における患者被ばく線量と動脈瘤位置・形状との関係	共同	2024 年 6 月	第 18 回日本診療放射線学教育学会学術集会（東京都荒川区）	齋藤百花，伊藤肇，鎌田聖，中村祥太，福士政広，磯中美咲，井出仁勇，坂井上之，梁川範幸	一般演題
研究発表 TERAKOYA とは	単独	2021 年 11 月	日本放射線技術学会 第 68 回関東支部研究発表大会	井出仁勇	シンポジウム

Ⅳ　学会等および社会における主な活動

1　現在の所属学会

日本放射線技術学会
日本医学物理学会
日本放射線技師会
日本診療放射線学教育学会

2　2020～2024 年度の学会での主な活動

日本放射線技術学会 関東支部 研究発表 TERAKOYA 実行委員（2019 年～現在）
日本放射線技術学会 関東支部 学術委員会 英語推進委員（2023 年～現在）

3　2020～2024 年度の社会での主な活動

千葉撮影技術研究会 幹事

所属　医療保健学部 学科　診療放射線学科	職名　助教	氏名　川田　悟	学　位	博士（保健学）
			国家資格	診療放射線技師

Ⅰ　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
医療情報学	2023 年～現在	診療放射線学科 1 年次生を対象に X 線写真の成り立ちなど、放射線分野での応用技術について理解を深める目的で講義を行った。科目分担者として 8 コマの中 3 コマ担当をした。講義ではプリントを作成して授業を担当した。PowerPoint スライドを用いて特性曲線、デジタル画像、情報理論について解説した。成績は期末試験および再試験により評価した。
物理学	2020 年～現在	診療放射線学科 1 年次生を対象に高度な専門技術を習得するのに必要不可欠な基礎学力を習得させる目的で講義を行った。科目責任者としてすべての授業を担当した。講義ではプリントを作成して 15 コマすべての授業を担当した。PowerPoint スライドを用いて物理学の基礎的項目(力学、電磁気学、熱、波動、原子)について解説した。成績は中間試験、期末試験および再試験により評価した。
粒子線工学	2020 年	診療放射線学科の 3 年次生を対象に粒子線の発生・粒子線と物質の相互作用を理解し、粒子線治療への応用や粒子線治療の特徴などの理解を深める目的で講義を行った。科目責任者として 15 コマすべての授業を担当した。PowerPoint スライドを用いて過去の国家試験に出題された問題の解説を行い、国家試験対策としても順応できる講義を行った。成績は期末試験および再試験により評価した。
基礎数学	2021 年～現在	診療放射線学科 1 年次生を対象に高度な専門技術を習得するのに必要不可欠な基礎学力を習得させる目的で講義を行った。科目責任者としてすべての授業を担当した。講義ではプリントを作成して 15 コマすべての授業を担当した。PowerPoint スライドを用いて物理学の基礎的項目(①指数関数、対数関数、②三角関数、③線形代数、④複素関数、⑤微分、微分方程式、⑥積分など)について解説した。成績は中間試験、期末試験および再試験により評価した。
応用数学	2021 年～現在	診療放射線学科 1 年次生を対象に高度な専門技術を習得するのに必要不可欠な基礎学力を習得させる目的で講義を行った。科目責任者とし

		てすべての授業を担当した。講義ではプリントを作成して 15 コマすべての授業を担当した。PowerPoint スライドを用いて放射線技師に必要な理工学の基礎と、画像情報学で必要とされる数学(①畳み込み積分②フーリエ変換ではフーリエ級数、複素フーリエ級数、フーリエ変換、フーリエ変換の性質、離散フーリエ変換、高速フーリエ変換、など)について解説した。成績は中間試験、期末試験および再試験により評価した。
医用画像工学実習	2020 年～2022 年 2024 年	診療放射線学科 3 年次生を対象に医用画像工学、医用画像情報学で学んだことを基に、画像処理、特徴量解析、深層学習の基礎について学ぶ目的で実習を行った。科目分担者として 45 コマの実習を担当した。画像工学分野における、入出力特性、解像力特性、雑音特性などについて実験実習を行った。各課題に対してレポートを課し、レポートの内容で成績評価をした。
診療画像技術学実習 I （基本技術）	2020 年～2021 年	診療放射線学科 3 年次生を対象に機器の技術、撮影・撮像の技術及び画像評価の技術を体系的に理解させるとともに、理論を実践に応用することができる能力を身に付けることを目標として実習を行った。科目分担者 8 コマの実習を担当した。初年度はワークステーションの取り扱い方、次年度は一般撮影の基礎として、胸部腹部の撮影法および撮影条件管理の方法についての実習を行った。各課題に対してレポートを課し、レポートの内容で成績評価をした。
放射線安全管理学実験	2020 年～2022 年	診療放射線学科 2 年次生を対象に放射線安全管理学の講義で学んだ内容を基に、放射線管理技術や放射線計測法及び安全取扱い技術を習得する目的として実習を行った。科目分担者 45 コマの実習を担当した。徐洗剤による除染効果判定法について実習を行った。各課題に対してレポートを課し、レポートの内容で成績評価をした。
放射線計測学実験	2020 年～現在	診療放射線学科 2 年次生を対象に診療放射線技師として放射線の持つ基礎的な相互作用や性質をより理解する目的として実習を行った。科目分担者 45 コマの実習を担当した。初年度から次年度までＧM計数管による最大エネルギーの測定、それ以降はＧM計数管による放射壊変強度の測定の補正法について実習を行った。各課題に対してレポートを課し、レポートの内容で成績評価をした。
放射化学実験	2020 年～現在	診療放射線学科 2 年次生を対象に診療放射線技師として必要な放射化学的な知識・技能を習得する目的として実習を行った。科目分担者 45 コマの実習を担当した。放射性核種の分離精製や標識化合物の標識率などの純度試験に利用されるペーパークロマトフラフィの基本操作を

		習得する実習を行った。各課題に対してレポートを課し、レポートの内容で成績評価をした。
2　作成した教材（150 字程度まで）		
医療情報学の講義用 PowerPoint スライド	2023 年～現在	診療放射線学科 1 年次生対象の医療情報学の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 3 点、計 148 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など更新を行った。
物理学の講義用 PowerPoint スライド	2020 年～現在	診療放射線学科 1 年次生対象の医療情報学の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 14 点、計 660 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など更新を行った。
粒子線工学の講義用 PowerPoint スライド	2020 年	診療放射線学科 3 年次生対象の医療情報学の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 14 点、計 194 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など更新を行った。
基礎数学の講義用 PowerPoint スライド	2021 年～現在	診療放射線学科 1 年次生対象の医療情報学の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 14 点、計 609 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など更新を行った。
応用数学の講義用 PowerPoint スライド	2021 年～現在	診療放射線学科 1 年次生対象の医療情報学の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 13 点、計 644 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など更新を行った。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
特になし		
4　その他教育活動上特記すべき事項		
診療放射線学科における入学前課題の作成	2020 年～現在	診療放射線学科において数学の範囲の入学前課題を作成した(計 6 点、計 131 枚)。
初年次教育補習	2020 年～2022 年	診療放射線学科 1 年次対象の物理学において基礎・応用の中の基礎の分野の補習を対応した。
国家試験担当	2021 年～現在	診療放射線学科 3 年次～4 年次に向けて国家試験担当を行った。国家試験対策補習とし計算力向上講座を行ったり国家試験対策合宿の引率を行ったりした。2022、2024 年度の 4 年生を担当したがどちらも合格率 90%以上であった。
診療放射線学科における卒業研究指導	2021 年～現在	診療放射線学科 4 年次対象の卒業研究において毎年 6～12 名程度の学生に対して指導を行った。
Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		

なし		
2　特許		
なし		
3　その他職務上の実績に関する事項		
なし		

Ⅲ　研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					
なし					
論文					
診療放射線学科で実施した国家試験対策とその効果に関する一考察	共著	2023 年 3 月	つくば国際大学紀要 医療保健学研究　第 14 号	永井良明、柳田智、清水秀雄、根本広文、崔岡大、川田悟、村中博幸、福士政広	P51～59
Diagnostic accuracy of a novel ultrasound imaging index for knee osteoarthritis: Evaluation of sensitivity, specificity, and predictive values	共著	2024 年 4 月	Journal of Clinical Ultrasound	Kiso Takeharu, Okada Yukinori, Kawata Satoru, Shichiji Kouta, Okumura Eiichiro, Hatsumi Noritaka, Matsuura Ryohei, Kaminaga Masaki, Kuwano Hikaru, Okumura Erika	P687～699
報告					
専門部会講座(入門編)：「プログラミングで使える DICOM タグの活用」	単著	2022 年 10 月	日本放射線技術学会『画像通信』第 189 号（Vol.452）	川田悟	総頁数：4 頁
学会発表					
「プログラミングで使える DICOM タグの活用」	単独	2022 年 10 月	第 50 回日本放射線技術学会秋季学術大会	川田悟	専門部会講座
血管造影検査における 3 次元少	共同（筆頭）	2023 年 11 月	第 39 回日本脳神経血管内治療	川田悟、橋本雄幸、山田	一般口演

数投影再構成法の研究			学会学術集会	謙太郎	
Deep-Learning を用いたバイプレーン画像のみからの動脈三次元構造推定の試み	共同（筆頭）	2024 年 5 月	第 53 回日本 IVR 学会総会	川田悟、橋本雄幸、鶴見有史、山田謙太郎	一般口演
超音波画像による変形性膝関節の診断のための新しい資料	共同	2024 年 7 月	第 49 回日本超音波検査学会学術学会	木曽丈晴、岡田幸法、川田悟、七字孝太、奥村英一郎、初見典隆、松浦綾平、神長昌希、桑野洸、奥村恵理香	一般口演
前距腓靭帯の評価に US-MRI フュージョン画像が有用であった 2 症例	共同	2024 年 7 月	第 49 回日本超音波検査学会学術学会	初見典隆、木曽丈晴、神長昌希、桑野洸、七字孝太、松浦綾平、川田悟	一般口演
Ⅳ　学会等および社会における主な活動					
1　現在の所属学会					
日本放射線技術学会					
2　2020～2024 年度の学会での主な活動					
なし					
3　2020～2024 年度の社会での主な活動					
臨床実習指導者講習会　ファシリテーター(2023 年～2024 年)					

臨床検査学科

所属　医療保健学部 学科　臨床検査学科	職名　教授	氏名　秋田　久直	大学院における研究指導担当資格の有無　（　有　）

Ⅰ　教育活動

教育実践上の主な業績	年月日（西暦）	概　要
1　教育内容・方法の工夫（授業評価を含む）		
2　作成した教科書、教材、参考書		
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等	2023 年 3 月 19 日	第 30 回 FD フォーラム報告会に参加した。
4　その他教育活動上特記すべき事項		

Ⅱ　研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名（共著の場合のみ記入）	該当頁数
著書					
論文	共著	2023	Advances in Traditional Medicine https://doi.org/10.1007/s13596-023-00706-1 ,; 2023	Maruyama H., Ooizumi T., Akita H., Takeda T. et. al.	
	共著	2019	Physiol.Behav. May 15; 204: 2019	Ogata M., Akita H. & Ishibashi H.	10-19
報告（創設）	単著	2018	皮膚と美容，50（2）：,2018	秋田　久直	50-55

学会発表					
Ⅲ　学会等および社会における主な活動					
1　現在の所属学会					
日本臨床衛生検査技師会、　　日本生理学会					
2　2020～2024 年度の学会での主な活動					
なし					
3　2020～2024 年度の社会での主な活動					
なし					

所属　医療保健学部 学科　臨床検査学科	職名　教授	氏名　飯田　典子	学　位	博士（医学）
			国家資格	臨床検査技師

Ⅰ　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
生理機能検査学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・演習	2024 年 10 月	臨床検査学科 2 年次生～4 年次生を対象に生理機能検査について理解を深める目的で講義を行った。科目責任者として生理機能検査学Ⅰは 8 コマ、生理機能検査学Ⅱは 4 コマ、生理機能検査学Ⅲは 4 コマ、生理機能検査学演習は 8 コマの授業を担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、循環機能検査（心電図他）、呼吸機能検査、脳波・筋電図検査について解説した。成績は期末試験および再試験により評価した。
生理機能検査学実習Ⅰ・Ⅱ	2024 年 10 月	臨床検査学科 1 年次生～2 年次生を対象に生理機能検査について理解を深める目的で実習を行った。科目責任者として生理機能検査学実習Ⅰは 8 コマ、生理機能検査学実習Ⅱは 16 コマを担当し非常勤講師のマネージメントやレポートの指導を行った。1 年次生では体温、サーモグラフィ、呼吸機能検査、心電図、感覚機能検査、血圧の実習を行った。2 年次生は脳波、超音波検査（腹部・心臓・血管体表）呼吸機能検査、誘発電位など実施した。各課題に対してレポートを課し。レポートの内容で成績評価の一部とした。成績は、レポート、期末試験および再試験により評価した。
画像検査学Ⅰ・Ⅱ	2024 年 10 月	臨床検査学科 3 年次生～4 年次生を対象に画像検査について理解を深める目的で講義を行った。また、画像検査学科目責任者として画像検査学Ⅰは 13 コマ、画像検査学Ⅱは 8 コマの授業を担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、超音波検査の基礎、心臓超音波、腹部超音波、体表・血管超音波、無散瞳眼底検査、サーモグラフィについて解説した。成績は、期末試験および再試験により評価した。
画像検査学実習	2024 年 10 月	臨床検査学科 3 年次生を対象に画像検査について理解を深める目的で実習を行った。また、画像検査学科目責任者として 8 コマの実習を担当し非常勤講師のマネージメントやレポートの指導を行った。心臓超音波、腹部超音波、体表・血管超音波について繰り返し実技指導を行った。各課題に対してレポートを課し。レポートの内容で成績評価

		の一部とした。最終的な成績は、実技試験、レポート、期末試験および再試験により評価した。
生理学	2024 年 10 月	臨床検査学科 1 年次生を対象に基礎生理学について理解を深める目的で講義を行った。2 コマの授業を担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、循環生理学および血管・血圧について解説した。成績は、期末試験および再試験により評価した。
2　作成した教材（150 字程度まで）	2024 年 10 月	
生理機能検査学Ⅰ（臨床検査学科 2 年次生）の講義用 PowerPoint スライド	2024 年 10 月	臨床検査学科 2 年次生対象の生理機能検査学（循環器）の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 8 点、計 800 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
生理機能検査学Ⅰ（臨床検査学科 2 年次生）の講義用配布資料	2024 年 10 月	臨床検査学科 2 年次生対象の生理機能検査学の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(A4、計 25 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
生理機能検査学Ⅰ（臨床検査学科 2 年次生）の暗記カード	2024 年 10 月	臨床検査学科 2 年次生対象の生理機能検査学（循環器）の講義を行った際、循環器について暗記カード(A4、計 14 枚)を作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
生理機能検査学Ⅱ（臨床検査学科 2 年次生）の講義用 PowerPoint スライド	2024 年 10 月	臨床検査学科 2 年次生対象の生理機能検査学（呼吸機能）の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 4 点、計 80 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
生理機能検査学Ⅱ（臨床検査学科 2 年次生）の講義用配布資料	2024 年 10 月	臨床検査学科 2 年次生対象の生理機能検査学（呼吸機能）の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(A4、計 25 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
生理機能検査学Ⅱ（臨床検査学科 2 年次生）の暗記カード	2024 年 10 月	臨床検査学科 2 年次生対象の生理機能検査学（呼吸機能）の講義を行った際、呼吸器について暗記カード(A4、計 8 枚)を作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
生理機能検査学Ⅲ（臨床検査学科 3 年次生）の講義用 PowerPoint スライド	2024 年 10 月	臨床検査学科 3 年次生対象の生理機能検査学（循環器・呼吸器）の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 4 点、計 400 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
生理機能検査学Ⅲ（臨床検査学科 3 年次生）の講義用配布資料	2024 年 10 月	臨床検査学科 3 年次生対象の生理機能検査学（循環器・呼吸機能）

		の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(A4、計 25 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
生理機能検査学Ⅲ（臨床検査学科 3 年次生）の暗記カード	2024 年 10 月	臨床検査学科 3 年次生対象の生理機能検査学（循環器・呼吸機能）の講義を行った際、呼吸器について暗記カード(A4、計 33 枚)を作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
生理機能検査学演習（臨床検査学科 4 年次生）の講義用 PowerPoint スライド	2024 年 10 月	臨床検査学科 4 年次生対象の生理機能検査学（循環器・呼吸器・脳波筋電図・超音波・感覚 MRI など）の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 8 点、計 800 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
生理機能検査学演習（臨床検査学科 4 年次生）の講義用配布資料	2024 年 10 月	臨床検査学科 4 年次生対象の生理機能検査学循環器・呼吸器・脳波筋電図・超音波・感覚 MRI など）の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(A4、計 25 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
生理機能検査学演習（臨床検査学科 4 年次生）の暗記カード	2024 年 10 月	臨床検査学科 4 年次生対象の生理機能検査学（循環器・呼吸機能・脳波筋電図・超音波・感覚 MRI など）の講義を行った際、生理機能検査学について暗記カード(A4、計 58 枚)を作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
生理学（臨床検査学科 1 年次生）の講義用 PowerPoint スライド	2024 年 10 月	臨床検査学科 1 年次生対象の生理学（循環器・血管血圧）の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 2 点、計 200 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
生理学課題シート	2024 年 10 月	臨床検査学科 1 年次生対象の生理学の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(A4、計 5 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
画像検査学 I （臨床検査学科 3 年次生）の講義用 PowerPoint スライド	2024 年 10 月	臨床検査学科 3 年次生対象の画像検査学（超音波・感覚 MRI など）の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 8 点、計 800 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
画像検査学 I （臨床検査学科 3 年次生）の講義用配布資料	2024 年 10 月	臨床検査学科 3 年次生対象の画像検査学（超音波・感覚 MRI）など）の講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(A4、計 25 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
画像検査学 I （臨床検査学科 3 年次生）の暗記カード	2024 年 10 月	臨床検査学科 3 年次生対象の画像検査学（超音波・感覚 MRI など）の講義を行った際、画像検査学について暗記カード(A4、計 24 枚)を作

		成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
画像検査学Ⅱ（臨床検査学科 4 年次生）の講義用 PowerPoint スライド	2024 年 10 月	臨床検査学科 4 年次生対象の生理機能検査学（超音波・感覚 MRI など）の講義を行った際、PowerPoint スライド(計 8 点、計 800 枚)を作成し、板書として使用した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
画像検査学Ⅱ（臨床検査学科 4 年次生）の講義用配布資料	2024 年 10 月	臨床検査学科 4 年次生対象の画像検査学（超音波・感覚 MRI）などの講義を行った際、毎回の授業内容をまとめたプリント(A4、計 25 枚)を配布資料として作成した。講義の後にはプリントを見直し、変更や修正など、更新を行った。
生理機能検査学実習Ⅰ（臨床検査学科 1 年次生）の実習課題シート	2024 年 10 月	臨床検査学科 1 年次生対象の生理機能検査学実習（体温・サーモグラフィ・呼吸・心電図・重心動揺・血圧・視力他）において、毎回の実習の内容と手順をまとめたプリント(A4, 計 30 頁)を配布資料として作成した。実習の後にはプリントの見直しをし、変更、修正を行った。
生理機能検査学実習Ⅱ（臨床検査学科 2 年次生）の実習課題シート	2024 年 10 月	臨床検査学科 2 年次生対象の生理機能検査学実習（呼吸・心電図・脳波・ABR・SEP・MCV・超音波他）において、毎回の実習の内容と手順をまとめたプリント(A4, 計 36 頁)を配布資料として作成した。実習の後にはプリントの見直しをし、変更、修正を行った。
画像検査学実習（臨床検査学科 3 年次生）の実習課題シート	2024 年 10 月	臨床検査学科 3 年次生対象の画像検査学実習において、毎回の実習の内容と手順をまとめたプリント(A4, 計 30 頁)を配布資料として作成した。実習の後にはプリントの見直しをし、変更、修正を行った。
臨地実習前資料（臨床検査学科 3 年次生）	2024 年 10 月	臨床検査学科 3 年次生対象の臨地実習前実技試験（心電図・呼吸機能）において、実習・試験の内容と手順をまとめたプリント(A4, 計 30 頁)を配布資料として作成した。実習の後にはプリントの見直しをし、変更、修正を行った。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
4　その他教育活動上特記すべき事項		
臨床検査学科における卒業研究指導	2024 年 10 月	臨床検査学科 4 年次対象の卒業研究（超音波検査の早期技術取得）において 3 名の学生に対して指導を行った。

Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
科学研究費補助金（奨励研究）	2011 年 4 月～ 2012 年 3 月	慢性重症大動脈弁閉鎖不全症における潜在的心筋障害の解明　助成総額：600,000 円
2　特許		
3　その他職務上の実績に関する事項		
学術論文の査読（2 件）	2017 年～2021 年	日本超音波検査学会　機関誌　超音波検査技術

Ⅲ　研究活動					
著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					
MR・超音波・眼底　基礎知識図解ノート	共著	2022 年 10 月 30 日	金原出版 第 2 版補訂版	新津　守 磯辺　智範	568/3/超音波 6 章　そのほか知っておきたい知識 568//13/11 章血管領域における検査
臨床検査 これで万全！　緊急を要するエコー所見	共著	2020/3/30	医学書院 第 64 巻第 4 号　4 月増刊号	藤崎　純	200/10/第 2 章　急性肺塞栓症
論文					
Early Detection and Prediction of Anthracycline-Induced Cardiotoxicity　— A Prospective Cohort Study —	共著	2024 年	Circulation Journal	Keiko Inoue, Tomoko Machino-Ohtsuka, Yoko Nakazawa, Noriko Iida, Rumi Sasamura, Hiroko Bando, Shigeru Chiba, Nobutaka Tasaka, Tomoko Ishizu,	Pages 751-759 Volume 88 Issue 5 DOI : https://doi.org/10.1253/circj.CJ-24-0065

				Nobuyuki Murakoshi, Dongzhu Xu, Ikuo Sekine, Kazuko Tajiri	
Association between intrarenal venous flow from Doppler ultrasonography and acute kidney injury in patients with sepsis in critical care: a prospective, exploratory observational study	共著	2023 年	Critical Care	Kenichiro Fujii, Izumi Nakayama, Junichi Izawa, Noriko Iida, Yoshihiro Seo, Masayoshi Yamamoto, Norimichi Uenishi, Teruhiko Terasawa, Mitsunaga Iwata	volume 27, Article number: 278 (2023) DOIhttps://doi.org/10.1186/s13054-023-04557-9"
Using computed tomography fusion imaging as learning data for sonographer training in identification of left ventricular endocardial boundaries	共著	2023 年 Apr	Journal of Cardiology	Yoshiki Shiina, Tomoko Ishizu, Satomi Nesaki, Hideki Nakajima, Noriko Iida, Naoto Kawamatsu, Kimi Sato, Masayoshi Yamamoto, Tomoko Machino-Ohtsuka, Masaki Ieda, Yasushi Kawakami	24; S0914-5087(23)00078-3.Doi: 10.1016/j.jjcc.2023.03.010
Association between right	共著	2022 年 Dec	Journal of Cardiology	Noor K Albakaa, Kimi	80(6) 549-556."

ventricular longitudinal strain and cardiovascular events in patients with cardiac sarcoidosis				Sato, Noriko Iida, Masayoshi Yamamoto, Tomoko Machino-Ohtsuka, Tomoko Ishizu, Masaki Ieda	
Echocardiography Image Quality of Global Longitudinal Strain in Cardio-Oncology: A Prospective Real-World Investigation	共著（筆頭）	2022 年 march	Journal of Echocardiography	Noriko Iida, Kazuko Tajiri*, Tomoko Ishizu, Rumi Sasamura-Koshizuka, Hideki Nakajima, Naoto Kawamatsu, Kimi Sato, Masayoshi Yamamoto, Tomoko Machino-Ohtsuka, Hiroko Bando, Ikuo Sekine, Yasushi Kawakami, and Masaki Ieda ＊These authors contributed equally to this work.	DOI: 10.1007/s12574-022-00567-8
Rationale, Design, and Feasibility of a Prospective	共著（筆頭）	2021 年 March	Journal of Clinical Medecine	Keiko Inoue*, Noriko Iida*, Kazuko Tajiri,	27;10(7):1370. doi: 10.3390/jcm10071370.

Multicenter Registry Study of Anthracycline-Induced Cardiotoxicity (AIC Registry)				Hiroko Bando, Shigeru Chiba, Nobutaka Tasaka, Kenji Nagashio, Rumi Sasamura, Hiroyuki Naito,Momoko Murata, Siqi Li, Tomoko Ishizu, Yoko Nakazawa, Ikuo Sekine and Masaki Ieda ＊ These authors contributed equally to this work.	
Prognostic Impact of Change in Intrarenal Venous Flow Pattern in Patients with Heart Failure.	共著	2021 年 Jan	Journal of Cardiac Failure	Yoshihiro Seo, Masayoshi Yamamoto, Noriko Iida, Tomoko Ishizu, Yu Yamada, Tomofumi Nakatsukasa, Daishi Nakagawa, Naoto Kawamatsu, Kimi Sato, Tomoko	27(1):20-28

				Machino, Kazutaka Aonuma, Nobuyuki Ohte, Masaki Ieda	
Cardiology consultation in oncology practice: a 5-year survey	共著	2020 年 December	Japanese Journal of Clinical Oncology,	Kazuko Tajiri, Ikuo Sekine, Hiroyuki Naito, Momoko Murata, Siqi Li, Keiko Inoue, Rumi Sasamura, Hideki Nakajima, Noriko Iida, Kenji Nagashio, Junya Honda, Nobuyuki Murakoshi, Tomoko Ishizu, Masaki Ieda	Volume 50, Issue 12, Pages 1419–1425,"
Embolization of the Deep Vein Thrombus During Ultrasound Examination	共著	2020 年 Dec	J Am Coll Cardiol Case Rep	Noor K. Albakaa, Tomoko Ishizu, Noriko Iida, Kazuko Tajiri, Masaki Ieda,	2 (15) 2310–2311
Comparison of Outcomes in Patients with Heart Failure with vs. Without Lead-Induced Tricuspid Regurgitation after	共著	2020 年 September	The American Journal of Cardiology	Yoshihiro Seo, Hideki Nakajima,Tomoko Ishizu, Noriko Iida, Kimi Sato, MasayoshiYamamoto,	Vol 130, 1 Pages 85-93

Cardiac Implantable Electronic Devices Implantations				Tomoko Machino-Ohtsuka, Akihiko Nogami, Nobuyuki Ohte, Masaki Ieda	
Features of lead-induced tricuspid regurgitation in patients with heart failure events after cardiac implantation of electronic devices: a three-dimensional echocardiographic study	共著	2020 年	Circulation Journal	Hideki Nakajima, Yoshihiro Seo, Tomoko Ishizu, Noriko Iida, Kimi Sato, Masayoshi Yamamoto, Tomoko Machino-Ohtsuka, Akihiko Nogami, Nobuyuki Ohte, Masaki Ieda,	25;84(12):2302-2311
Doppler-derived intra-renal venous flow mirrors right-side heart hemodynamics in patients with cardiovascular disease	共著	2020 年	Circulation Journal	Seo Yoshihiro, Iida Noriko, Yamamoto, Masayoshi, Ishizu Tomoko, Ieda Masaki, Ohte Nobuyuki	Vol.84 No.9 1552 - 1559

報告					-
学会発表					

Ⅳ　学会等および社会における主な活動
1　現在の所属学会
日本循環器学会　日本臨床衛生検査技師会　日本超音波医学会　日本超音波検査学会　日本心エコー図学会
2　2020～2024 年度の学会での主な活動
日本超音波検査学会　代議員（2022 年～2024 年）日本超音波検査学会　倫理委員会委員　利益相反委員会委員　機関誌査読委員（2022 年～2024 年）
3　2020～2024 年度の社会での主な活動

所属　医療保健学部 学科　臨床検査学科	職名　教授	氏名　稲田政則	学　位	博士（システムズ・マネジメント）
			国家資格	臨床検査技師

Ⅰ　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
臨床検査総論	2014 年～現在	臨床検査学科 1 年次生を対象に、一般検査分野（尿検査・髄液検査、体腔液検査、便検査、他）の基礎的事項の理解を目的に講義を行った。科目分担者として 15 コマすべての授業を担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成した PowerPoint スライドを用いて解説した。成績は期末試験および再試験により評価した。
臨床検査総論実習	2014 年～現在	臨床検査学科 1 年次生を対象に、一般検査分野（尿検査・髄液検査、体腔液検査、便検査、他）の基礎的技術の習得を目的に講義を行った。科目分担者として 45 コマすべての実習を担当した。事前にレジュメを配布し、当日はレジュメに沿って、尿定性・定量検査、尿沈査、髄液細胞数、体腔液検査等の実習を行った。成績は、各回の実習結果の報告書ならびに小テスト、さらに、期末試験および再試験により評価した。
臨床検査総論演習	2017 年～現在	臨床検査学科 4 年次生を対象に、国家試験対策として一般検査分野（尿検査・髄液検査、体腔液検査、便検査、他）に関する既習範囲の復習を目的に講義を行った。科目分担者として 15 コマすべての実習を担当した。講義ではオリジナル問題（20 問程度）を提示して演習を進めた。Google form で解答を集めて即時に問題別正答率を算出し、低正答率の問題について解説を加えた。成績は期末試験および再試験により評価した。
臨床検査総論Ⅱ	2017 年～現在	臨床検査学科 4 年次生を対象に、国家試験対策として一般検査分野（尿検査・髄液検査、体腔液検査、便検査、他）に関する既習範囲の復習を目的に講義を行った。科目分担者として 8 コマすべての実習を担当した。講義では過去の国家試験問題をテーマ別に 17 問程度提示して演習を進め、解説を加えた。成績は期末試験および再試験により評価した。
検査情報処理科学	2015 年～現在	臨床検査学科 2 年次生を対象に、臨床検査の精度管理および検査法の基礎的性能、検査項目の診断特性の各評価法の理解を目的に講義を

		行った。科目分担者として 8 コマすべての授業を担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成した PowerPoint スライドを用いて解説した。具体的な問題を通して理解を深められるように、e-Learning システムによる学習環境を提供した。成績は期末試験および再試験により評価した。
検査管理運営総論	2016 年～現在	臨床検査学科 3 年次生を対象に、臨床検査室におけるマネジメント業務全般の理解を目的に講義を行った。科目分担者として 8 コマすべての授業を担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成した PowerPoint スライドを用いて解説した。成績は期末試験および再試験により評価した。
検査管理運営総論演習	2016 年～現在	臨床検査学科 4 年次生を対象に、医学分野における研究デザインおよび研究結果の評価法（検定・推定）の理解を目的に講義を行った。科目分担者として 8 コマすべての授業を担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成した PowerPoint スライドを用いて解説した。具体的な問題に対して実際に統計処理ができる水準を目指し、e-Learning システムによる学習環境を提供した。成績は期末試験および再試験により評価した。
情報科学概論	2014 年～現在	臨床検査学科 1 年次生を対象に IT 技術の基礎的事項および医療機関における情報システムの特徴の理解を目的に講義を行った。科目分担者として 8 コマすべての授業を担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成した PowerPoint スライドを用いて解説した。期末試験対策として、自主的に多くの計算問題を解きながら自習を進められるように、e-Learning システムによる学習環境を提供した。成績は期末試験および再試験により評価した。
2　作成した教材（150 字程度まで）		
情報科学概論における e-Learning システムの開発	2016 年～現在	基数変換をはじめとする情報科学分野の計算問題について、学生から計算ドリルが必要との要請があり、e-Learning システムを開発して対応した。このシステムでは各種問題を毎回ランダムに生成することで、答えを覚えてしまうことを防ぎ、計算の手続きや意味を深く理解することを意図した。
検査機器総論における e-Learning システムの開発	2016 年～現在	モル濃度をはじめとする化学分野の計算を苦手とする学生が多く、学生から計算ドリルが必要との要請があった。情報科学概論における e-Learning システム開発に合わせて、化学分野の計算もできるようにシステムの機能を拡張した。

検査管理運営総論演習における e-Learning システムの開発	2016 年～現在	情報科学概論における e-Learning システム開発に合わせて、検定・推定の問題を自動的にランダムに生成するシステムを開発した。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
教室の収容状況の違いが学生の座席選択行動と教員の印象に与える影響に関する学会発表	2023 年 8 月	教室の収容状況の違いが学生の座席選択行動と教員の印象に与える影響に関して、共同演者として学会発表を行った。 「教室の収容状況の違いが学生の座席選択行動と教員の印象に与える影響」北村歌菜、山本哲也、稲田政則　第 17 回日本臨床検査学教育学会学術大会（奈良）
360°カメラを利用した実習デモンストレーション動画に関する教育的効果に関する学会発表	2022 年 8 月	360°カメラを利用した実習デモンストレーション動画に関する教育的効果の検証に関して、共同演者として学会発表を行った。 「360°カメラを利用した実習デモンストレーション動画に関する教育的効果の検証」逸見孝、豊島寛大、稲田政則　第 16 回日本臨床検査学教育学会学術大会（日高）
4　その他教育活動上特記すべき事項		
臨床検査学科における卒業研究指導	2017 年～現在	臨床検査学科 4 年次対象の卒業研究において毎年 1～5 名程度の学生に対して指導を行った。
臨床検査学科における臨地実習指導	2016 年～現在	臨床検査学科 3 年次対象において毎年 4～11 名名程度の学生に対して指導を行った。

Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
2　特許		
3　その他職務上の実績に関する事項		
学術論文の査読（1 件）	2020～2024 年	

Ⅲ　研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著等	発行または発表の	発行所、発表雑誌	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等

	の別	年月（西暦）	（及び巻・号数）等の名称		
著書					
クエスチョン・バンク臨床検査技師国家試験問題解説　2025 第 4 版	共著	2024 年 5 月	メディックメディア	【編者】医療情報科学研究所 【著者】稲田政則、他多数	総頁数：1402 頁 執筆担当： L 章 医用工学（pL37, pL46-47, pL49-50, pL55, pL56, pL-62）
クエスチョン・バンク臨床検査技師国家試験問題解説 2023-24 第 3 版	共著	2023 年 5 月	メディックメディア	【編者】医療情報科学研究所 【著者】稲田政則、他多数	総頁数：1410 頁 執筆担当：F 章 臨床化学（pF9-10）; L 章 医用工学（pL17, pL38-40, pL53, pL-55, pL59-60）
論文					
360°カメラを利用した実習デモンストレーション動画に関する教育的効果の検証	共著	2024 年 11 月	医療情報学　44 巻 医療情報学連合大会論文集	逸見孝、豊島寛大、稲田政則	p1356-1360
微生物検査シミュレータ開発における生成 AI 活用の試み	共著	2024 年 11 月	医療情報学　44 巻 医療情報学連合大会論文集	白井美月、鴻巣麻子、稲田政則	p1346-1350
尿蛋白試験紙の測定操作および判定に関するリスク解析」	共著	2024 年 2 月	医療検査と自動化　49 巻　1 号	豊島寛大、逸見孝、稲田政則	p17-23
報告					
学会発表					
血液標本シミュレータ開発のための 3 D バーチャルスライド作成法の検討	単独	2024 年 10 月	日本医療検査科学会第 56 回大会（横浜）	稲田政則	一般演題
微生物検査シミュレータの開発	共同	2024 年 10 月	日本医療検査科学会第 56 回大会（横浜）	白井美月、稲田政則	一般演題
髄液検査シミュレータの開発	単独	2023 年 10 月	日本医療検査科学会第 55 回大会（横浜）	稲田政則	一般演題
尿沈渣シミュレータの開発	共同	2023 年 10 月	日本医療検査科学会第 55 回大会（横浜）	工藤夢叶、稲田政則	一般演題
L*a*b*色空間を用いた Wright-Giemsa 染色の染色性評価の検討	共同	2023 年 10 月	日本医療検査科学会第 55 回大会（横浜）	久木田玲那、山口孝一、稲田政則	一般演題

臨床検査国家試験の全国正答率の推定	共同（筆頭）	2023 年 8 月	第 17 回日本臨床検査学教育学会学術大会（奈良）	稲田政則、久保田耕司、吉野千代、小野寺理恵	一般演題
教室の収容状況の違いが学生の座席選択行動と教員の印象に与える影響	共同	2023 年 8 月	第 17 回日本臨床検査学教育学会学術大会（奈良）	北村歌菜、山本哲也、稲田政則	一般演題
尿試験紙の測定操作および判定に関するリスク解析	共同	2022 年 10 月	日本医療検査科学会第 54 回大会（神戸）	豊島寛大、逸見孝、稲田政則	一般演題
360°カメラで撮影した実習デモンストレーション動画に関する評価	共同	2022 年 8 月	第 16 回日本臨床検査学教育学会学術大会（日高）	逸見孝、豊島寛大、稲田政則	一般演題

Ⅳ　学会等および社会における主な活動
1　現在の所属学会
日本医療検査科学会
日本臨床検査医学会
日本医療情報学会
日本臨床衛生検査技師会
2　2020～2024 年度の学会での主な活動
日本医療検査科学会・評議員（2020 年以前～現在）
3　2020～2024 年度の社会での主な活動

所属　医療保健学部 学科　臨床検査学科	職名　教授	氏名　窪田　哲朗	学　位	博士（医学）
			国家資格	医師

Ⅰ　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
公衆衛生学特別講義	2024 年	臨床検査学科 4 年生を対象として、3 年次に一通り学んだ公衆衛生学を再度復習して、理解を深め、基本的知識を定着させることを目的として開講した。科目責任者として 15 コマすべての授業を担当した。医歯薬出版の教科書に沿って、公衆衛生の概念、衛生統計、疫学、母子保健、学校保健、成人保健、高齢者保健、精神保健、環境と健康、環境問題と環境汚染、感染症、栄養と食品衛生、産業保健、衛生行政と社会保障・社会福祉、国際保健などについて解説した。教科書のほか、独自に作成したスライドと配布物を使って説明し、成績は中間試験、期末試験、再試験により評価した。
公衆衛生学	2021～2023 年	臨床検査学科 3 年生を対象として、臨床検査技師として学んでおくべきレベルの公衆衛生学の概要を教授した。科目責任者として 15 コマすべての授業を担当した。医歯薬出版の教科書に沿って、公衆衛生の概念、衛生統計、疫学、母子保健、学校保健、成人保健、高齢者保健、精神保健、環境と健康、環境問題と環境汚染、感染症、栄養と食品衛生、産業保健、衛生行政と社会保障・社会福祉、国際保健などについて解説した。教科書のほか、独自に作成したスライドと配布物を使って説明し、成績は中間試験、期末試験、再試験により評価した。
公衆衛生学実習	2022～2024 年	臨床検査学科 3 年生を対象とした 8 回、23 コマの実習。2022 年度は他の教員の補助として参加、2023 年度と 2024 年度は科目責任者として、他の教員の補助も受けながら全てに参加した。マニュアルを作成して配布し、下水の水質試験、水道水の水質試験、熱中症モニター、室内空気中の二酸化炭素などの測定、健康に影響をおよぼし得る物理環境因子に関する測定、気流の測定、気温と湿度の測定、空気中の微粒子の測定、感染予防のための手洗い方法などの項目を実習させた。成績はレポートにより評価した。
臨床免疫学	2020～2022 年	臨床検査学科 2 年生を対象として、臨床免疫学の概略を教授した。科目責任者として 15 コマすべての授業を担当した。医歯薬出版の教科

		書（私自身が筆頭編集者として編集したもの）を使って、第1章の免疫学の免疫系のしくみ（私自身が執筆）の内容、すなわち免疫系の構成要素、自然免疫、獲得免疫系への抗原提示、獲得免疫における抗原の認識、獲得免疫におけるT細胞の活性化機構と役割、獲得免疫における抗体産生機構と役割、補体系の役割、能動免疫と受動免疫、自己寛容について解説した。成績は小テスト、中間試験、期末試験、再試験で評価した。
免疫検査学I	2020～2022年	臨床検査学科2年生を対象として、免疫学的検査が有用な疾患と検査法の概略を教授した。科目責任者として15コマすべての授業を担当した。医歯薬出版の教科書（私自身が筆頭編集者として編集したもの）に沿って、第2章の免疫学的検査が有用な疾患（感染症、腫瘍性疾患、アレルギー、自己免疫疾患、免疫不全症）、および第3章の免疫学的検査の原理、免疫学的検査の実際について解説した。成績は小テスト、中間試験、期末試験、再試験によって評価した。
免疫検査学実習	2020～2022年	臨床検査学科2年生を対象として、免疫学的検査の中から基本的なものを選び、実習を指導した。科目責任者として、一部を他の教員にも補助していただきながら、8回（23コマ）すべてを担当した。実習用プリントを作成して、免疫電気泳動、二重免疫拡散法、抗核抗体検査、フローサイトメトリーによる白血球分画の測定などを行った。2020年度はコロナ禍のため、自ら実施した検査手技を動画撮影し、料理番組のように編集してオンライン授業を行った。成績はレポートと筆記試験により評価した。
免疫検査学演習	2021～2024年	臨床検査学科4年生を対象として、2年次に一通り学んだ免疫検査学を再度復習して、国家試験合格レベルの学力をつけることを目的として開講した。科目責任者として15コマすべての授業を担当した。 医歯薬出版の教科書に沿って、第1章の免疫学の概略、第2章の免疫学的検査が有用な疾患などについて、教科書のほか、独自に作成したスライドと配布物を使って説明し、毎回のテーマに関連した練習問題も解説した。成績は期末試験、再試験により評価した。
免疫検査学II	2021～2024年	臨床検査学科4年生を対象として、2年次に一通り学んだ免疫検査学を再度復習して、国家試験合格レベルの学力をつけることを目的として開講した。科目責任者として8コマすべての授業を担当した。 医歯薬出版の教科書に沿って、第2章の免疫学的検査が有用な疾患、第3章の免疫学的検査の原理（試験管内抗原抗体反応の基礎、沈降反応、凝集反応の概略）などについて、教科書のほか、独自に作成した

		スライドと配布物を使って説明し、毎回のテーマに関連した練習問題も解説した。成績は期末試験、再試験により評価した。
検査診断学演習	2024 年	臨床検査学科 3 年生を対象として、臨床検査データから病態を推論する能力を養うことを目的として開講した。授業はオムニバス方式で 6 名の教員に担当していただいたが、私も科目責任者として授業計画を立案し、30 コマ全てに参加した。内分泌疾患、呼吸器疾患、消化器疾患、感染症、腎・尿路系疾患、循環器疾患、血液疾患、救急医療などテーマについて、多くの場合、実際の症例の検査データを提示して、しばらく考えさせた後でディスカッションした。成績は 2 回の中間試験と、期末試験、再試験で評価した。試験はすべて記述式とした。
医学概論	2021～2024 年	臨床検査学科 1 年生を対象とし、過去から現在に至る医学の発展の流れや、現在の医療体制の概略を理解させることを目的として、科目責任者として 8 コマ全てを担当した。教科書に沿って、医学の歴史、病院の各部門の役割、わが国の医療制度、医療供給体制、諸外国の医療制度、患者の心理、医の倫理と医療従事者の心構えなどについて、スライドを作成して概説した。成績は期末試験で評価した。
医療安全管理学	2021～2024 年	臨床検査学科 4 年生を対象とし、科目責任者としてスケジュールを調整した。学内教員 3 名が計 6 コマ、学外非常勤講師 1 名の協力を得ながら私自身が 9 コマ、計 15 コマを実施した。私が担当したのは、臨床検査技師と患者とのかかわり、医療倫理、リスクマネージメント、各種検査等の手技に伴う注意事項・安全管理などの部分である。タスクシフトに伴って新たに臨床検査技師が実施可能となった検査のうち、鼻咽腔・咽頭からの検体採取、肛門機能検査については、ファントムを用いた実技演習もこの科目の中で実施した。成績は期末試験で評価した。
チーム医療論	2020～2024 年	臨床検査学科 3 年生を対象とし、他学科の協力も得てチーム医療についての理解を深めさせることを目的としている。8 コマ中の 1 コマを担当し、チーム医療における医師の役割についてスライドを用いて説明した。
総合演習	2020～2024 年	臨床検査学科 4 年生を対象とし､オムニバス形式で国試対策を念頭に、各科目の総まとめを行う科目。15 コマのうちの免疫検査学と公衆衛生学の 2 コマを担当し、国試過去問や期末試験に使用したオリジナル問題等をアレンジしたスライドを作成し、解説した。
生命倫理	2020～2024 年	臨床検査学科 1 年生を対象とし、オムニバス形式で臨床検査技師になるために身につけておくべき倫理観を育成する科目。15 コマを、他学

		科の教員、非常勤講師、当学科の教員で分担し、ヒポクラテスの誓い、ニュルンベルク綱領、患者の自己決定権、医療事故、薬害、がんと難病の告知、緩和ケア、脳死と臓器移植、生殖補助医療、人工妊娠中絶、出生前診断、研究倫理などを教授している。私も毎年度 1 コマを担当したほか、2021 年度以降は科目責任者として全体のスケジュールの調整や成績判定を行った。成績は筆記試験とレポートによって評価した。
病態治療論 II	2024 年	看護学科 2 年生を対象としたオムニバス形式の授業で、30 コマ中の 2 コマを担当した。スライドを作成して、検体検査と生体検査の概略を解説した。担当した部分について、筆記試験の問題を作成した。
2　作成した教材（150 字程度まで）		
公衆衛生学（臨床検査学科 3 年生対象）および公衆衛生学特別講義（臨床検査学科 4 年生対象）用の基本知識習得用 DRILL 教材	2021～2024 年	教科書の内容の中から、覚えておくべき基本事項を選んで、A4 版約 30 ページの穴埋め式 DRILL 教材を作成した。印刷して配布するとともに、Classroom に upload した。科目の性質上、統計データや関係法規は最新の版に差し替える必要があり、また学生の習得状況も勘案しつつ、毎年改定した。
公衆衛生学（臨床検査学科 3 年生対象）用の PowerPoint スライド	2021～2023 年	上記の DRILL 教材の中の毎回の授業テーマに関する部分と、最新の統計データや練習問題をアレンジして、PowerPoint スライド（計 15 点、計約 400 枚）を作成した。統計データや関係法規は最新の版に差し替える必要があり、また社会情勢の変化に伴って重視すべきテーマが変化するので、毎年改定した。
公衆衛生学特別講義（臨床検査学科 4 年生対象）用の PowerPoint スライド	2024 年	上記の DRILL 教材と、授業内容に関連する最新の統計データや練習問題を加えて、15 コマの授業の各回ごとに PowerPoint スライド（計 14 点、計約 300 枚）を作成した。国試対策の意味合いが強い科目なので、国試過去問や過去の期末試験等に用いたオリジナル問題などを取り混ぜて、3 年生用の教材より多くの練習問題をアレンジした。
免疫検査学演習（臨床検査学科 4 年生対象）用の基本知識習得用 DRILL 教材	2021～2024 年	教科書の内容の中から、覚えておくべき基本事項を選んで、A4 版約 25 ページの DRILL 教材を作成した。印刷して配布するとともに、Google Classroom に upload した。試験の結果によって学生が苦手な部分、国家試験に出題される可能性の高い部分と低い部分などを分析し、毎年改定した。
免疫検査学演習（臨床検査学科 4 年生対象）用の PowerPoint スライド	2021～2024 年	上記の DRILL 教材の一部と、授業内容に関連する最新のデータや練習問題を加えて、15 コマの授業の各回ごとに PowerPoint スライド（計 15 点、計約 300 枚）を作成した。試験の結果によって学生が苦手な部分、国家試験に出題される可能性の高い部分と低い部分などを分析し、毎年改定した。

医学概論（臨床検査学科 1 年生対象）用の PowerPoint スライド	2021～2024 年	教科書に沿って授業を進めたが、教科書では写真が少なく、しかもモノクロである。学生が退屈せずに興味深く聴講できるよう、インターネットから様々なカラー写真やイラストを引用して毎回のスライド(計 7 点、計約 100 枚）を作成した。
医療安全管理学（臨床検査学科 4 年生対象）用の PowerPoint スライド	2021～2024 年	臨床検査技師と患者とのかかわり、医療倫理、リスクマネージメント、各種検査等の手技に伴う注意事項・安全管理などについて解説するための PowerPoint スライド(1 点、約 50 枚）を作成した。関連する国試過去問も添えて、知識が確実に身につくように工夫した。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
生理機能検査学教育に関する論文発表	2021	腹部超音波実習の際に血管の走行を立体的に把握しやすくするための教材を作製し、それを実習で使用した経験を共著者として発表した。赤座実穂，上中沙衿，柿沼晴，市川由理，笹野哲郎，沢辺元司，窪田哲朗，角勇樹．　モールを用いた腹部脈管模型製作実習．　臨床検査学教育 13:8–12，2021.
4　その他教育活動上特記すべき事項		
臨床検査学科における卒業研究生指導	2022～ 2023 年	2022 年度は 4 名の学生を指導し、その成果を第 16 回日本臨床検査学教育学会で発表した。2023 年度は 1 名の学生を指導した。
臨床検査学科における研究生指導	2023 年	2023 年度に 1 名の学生を指導した。
国試アドバイザー	2021～2024 年	4 年生アドバイザーとして、他のアドバイザー教員および学科長とも協議しながら、国試対策の年間スケジュールを立案・遂行した。2021 年度は、各教員に DRILL 教材を作成してもらい、学生に基本事項を覚えるように指導して、前期に毎月確認テストを実施した。2022 年度は、単位が必要ではない科目への学生の出席率を向上させるために、テューターの研究室入り口の出席チェックシートに記入させる方法で登下校管理を導入した。2023 年度にはこれを、学科棟入口でカードをタッチする方式に改善した。さらに、総合演習期末試験までの間に各科目の基本事項を習得していることを確認する小テストの導入、頻回の個人面談、前期・後期の授業開始を他学年より早く設定する学年歴の前倒しなど、毎年度新たな対策を追加してきた。これらが奏功して、2023 年度以降、全国模試や国家試験の成績が全国平均を上回るようになってきた。
国試対策補習	2020～2024 年	免疫検査学と公衆衛生学に関して、とくに 11 月から 1 月の 4 年生の正規の授業が終了している時期を中心に、国試直前までほぼ毎週補講を実施した。また、国試アドバイザーとして、他の教員にも計画的な

		補講の実施を促した。

Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
科学研究費助成・基盤研究(C)	2020～2022 年	研究課題名：抗 DNA 抗体による全身性エリテマトーデス病態形成機構の解明、課題番号：20K07821、助成金額：3,300,000 円、研究代表者：窪田哲朗
2　特許		
3　その他職務上の実績に関する事項		
学術論文の査読（13 件）	2020～2023 年	

Ⅲ　研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					
病期・病態・重症度からみた疾患別看護過程＋病態関連図	共編	2025 年 3 月	医学書院（第 5 版）	井上智子、窪田哲朗、編	総頁数 2063 頁。
最新臨床検査学講座　免疫検査学/輸血・移植検査学	共編・共著	2024 年 3 月	医歯薬出版（第 2 版）	窪田哲朗、藤田清貴、高橋克典、梶原道子、細井英司、国分寺晃、編	総頁数 439 頁。筆頭編集者として全体の編集作業を主導するとともに、第 1 章と第 2 章、および第 4 章の一部、計約 100 ページを執筆した。
系統看護学講座　臨床薬理学	共編	2024 年 1 月	医学書院（別巻、第 2 版）	井上智子、窪田哲朗、編	総頁数 298 頁。
緊急度・重症度からみた　症状別看護過程＋病態関連図	共編	2023 年 11 月	医学書院（第 4 版）	井上智子、窪田哲朗、編	総頁数 1091 頁。
臨床検査技師　ブルー・ノート	共著	2021 年 4 月	メジカルビュー社（第 3 版）	芝紀代子、編	アレルギー性疾患・膠原

					病・免疫病の章(p240-244)を執筆した。
病期・病態・重症度からみた疾患別看護過程＋病態関連図	共編	2020 年 11 月	医学書院（第 4 版）	井上智子、窪田哲朗、編	総頁数 2016 頁。
論文					
Internalization of anti-DNA antibodies by rat brain cells: a possible pathogenetic mechanism of neuropsychiatric lupus.	共著	2023 年	Medical Research Archives 11(7.1)	Inoue K, Hoshi O, Kubota T.	
Analyzing schizophrenia-related phenotypes in mice caused by autoantibodies against NRXN1alpha in schizophrenia.	共著	2023 年	Brain Behavior and Immunity 111.	Shiwaku H, Katayama S, Gao M, Kondo K, Nakano Y, Motokawa Y, Toyoda S, Yoshida F, Hori H, Kubota T, Ishikawa K, Kunugi H, Ikegaya Y, Okazawa H, Takahashi H.	p32-45
Autoantibodies against NCAM1 from patients with schizophrenia cause schizophrenia-related behavior and changes in synapses in mice.	共著	2022 年	Cell Reports Medicine 3, 100597	Shiwaku H, Katayama S, Kondo K, Nakano Y, Tanaka H, Yoshika Y, Fujita K, Tamaki H, Takebayashi H, Terasaki O, Nagase Y, Nagase T, Kubota T, Ishikawa K, Okazawa H, Takahashi H.	
Anti-rods/rings autoantibodies in a patient with pancreatic injury.	共著	2022 年	Autoimmun Rev Jan;21(1):102922.	Katayama S, Kubota T, Takahashi H, Shiwaku H.	
Anti-DNA antibodies cross-reactive with β_2-glicoprotein I induce monocyte tissue factor through the TLR9 pathway.	共著	2021 年	Immunol Med, 44	Saito M, Makino Y, Inoue K, Watanabe Y, Hoshi O, Kubota T.	p124-135
The designed NF-κB inhibitor, DHMEQ, inhibits KISS1R-mediated invasion and increases drug-sensitivity in mouse plasmacytoma SP2/0 cells.	共著	2021 年	Experimental and Therapeutic Medicine, 22:1092	Lin Y, Sidthipong K, Ma J, Koide N, Umezawa K, Kubota T.	
モールを用いた腹部脈管模型製	共著	2021 年	臨床検査学教育，13	赤座実穂，上中沙衿，	p8-12

作実習.				柿沼晴，市川由理， 笹野哲郎，沢辺元司， 窪田哲朗，角勇樹.	
Monoclonal anti-dsDNA antibody 2C10 escorts DNA to intracellular DNA sensors in normal mononuclear cells and stimulates secretion of multiple cytokines implicated in lupus pathogenesis.	共著	2020 年	Clin Exp Immunol, 199	Inoue K, Ishizawa M, Kubota T.	p150-162
Anti-enolase 1 antibodies from a patient with systemic lupus erythematosus accompanied by pulmonary arterial hypertension promote migration of pulmonary artery smooth muscle cells.	共著	2020 年	Immunol Lett, 218	Kato Y, Kasama T, Soejima M, Kubota T.	p22-29
Ethyl acetate extract of Kaempferia parviflora inhibits Helicobacter pylori-associated mammalian cell inflammation by regulating proinflammatory cytokine expression and leukocyte chemotaxis.	共著	2020 年	BMC Complement Med Ther, 20:124	Nemidkanam V, Kato Y, Kubota T, Chaichanawongsaroj N.	
報告					
An emerging role for anti-DNA antibodies in systemic lupus erythematosus.	単著	2023 年	Int J Mol Sci 24(22):16499		
Inhibition of cellular and animal inflammatory disease models by NF-κB inhibitor DHMEQ.	共著	2021 年	Cells 10(9), 2271	Ma J, Zhang Y, Sugai T, Kubota T, Keino H, El-Salhy M, Ozaki M, Umezawa K.	
学会発表					
抗 DNA 抗体はプライミングされた好中球に NETs 放出を誘発して SLE の病態を悪化させている可能性がある.	共同	2024 年 8 月	第 18 回日本臨床検査学教育学会，新潟大学	加藤みずき，林桃香，井上久美，窪田哲朗，伊藤さやか.	一般演題
抗 DNA 抗体は生きている好中	共同	2022 年 8 月	第 16 回日本臨床検査学教育学	小森恵美，木幡桃子，志	一般演題

球の核に入る.			会，埼玉医科大学	田奈央，細谷佳生，井上久美，窪田哲朗.	
染色パターンの新しい分類，臨床的意義，病態形成との関わり.	単独	2022 年 4 月	第 66 回日本リウマチ学会，横浜		Meet the Expert，招待公演
抗 DNA 抗体は神経細胞にも取り込まれる.	共同	2021 年 10 月	第 49 回日本臨床免疫学会（web 開催）	井上久美，星治，窪田哲朗.	一般演題
抗核抗体の基礎・検査・臨床.	単独	2021 年 4 月	第 65 回日本リウマチ学会（web 開催）		Meet the Expert，招待公演
抗 DNA 抗体による組織因子発現と Toll-like receptors.	共同（筆頭）	2020 年 10 月	第 48 回日本臨床免疫学会（web 開催）	窪田哲朗，斎藤ますみ，渡辺芳乃，井上久美.	一般演題

Ⅳ　学会等および社会における主な活動
1　現在の所属学会
日本臨床検査学教育学会，日本臨床免疫学会，日本内科学会
2　2020～2024 年度の学会での主な活動
3　2020～2024 年度の社会での主な活動
タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定学生向け講習会講師（2024 年 3 月）
公益財団法人　黒住医学研究振興財団　研究助成金審査・選考委員（2021 年 4 月～現在）
東京科学大学大学院医歯学総合研究科生命理工医療科学専攻生体検査科学系教員 業績評価委員会委員（2023 年 4 月～現在）
外務省　海外在留邦人等向け新型コロナ・ワクチン接種事業に従事（2021 年 8 月～9 月）

所属　医療保健学部 学科　臨床検査学科	職名　教授	氏名　柴山　修司	学　位	修士（医療技術学）
			国家資格	臨床検査技師

I　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
輸血・移植検査学	2022 年～現在	臨床検査学科 3 年次生を対象に、安全な輸血療法と臓器移植の基礎となる検査技術・理論について理解を深める目的で講義を行った。科目責任者として 15 コマすべての授業を担当した。講義ではプリントを配布し、プリントに沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、血液型（ABO、Rh、その他血液型）の抗原・抗体、血液型検査、不規則抗体スクリーニングと同定、交差適合試験、溶血性副作用、発熱性非溶血性副作用、アレルギー反応等の輸血副作用と感染症、血液製剤の種類と適正使用について解説した。さらに、移植免疫の基礎、主要組織適合遺伝子複合体（HLA）の構造と機能、移植の適合性についても講義した。成績は、期末試験および再試験により評価した。
輸血・移植検査学実習	2022 年～現在	臨床検査学科 3 年次生を対象に、安全な輸血療法と臓器移植の基礎となる検査技術の習得と理論の理解を深める目的で 24 コマの実習を行った。実習担当者として、実習全般の指導にあたった。実習に使用する血液は、赤十字血液センターへ教育用に使用するための申請を行い、提供を受けた。 実習項目は、血液型（ABO、Rh）検査、亜型検査、不規則抗体スクリーニングと同定、交差適合試験とし、試験管法およびカラム凝集法による手技を指導した。特に、臨地実習に必須となる血液型検査、不規則抗体スクリーニングの技術習得に重点を置いた。成績は、実習レポートおよび実習試験により総合的に評価した。

輸血・移植検査学特別講義	2022 年～2024 年	臨床検査学科 4 年次生を対象に、輸血・移植検査学に関するより詳細な知識の習得と、国家試験への対応力強化を目的とした特別講義を行った。科目責任者として 15 コマすべての授業を担当した。 講義は PowerPoint スライドを用いて行い、臨床現場で必要とされる高度な知識や最新の知見について解説した。資料は講義後に PDF 化して Classroom に掲示した。また、国家試験の過去問題や模擬試験問題の解説を行い、輸血・移植検査学の理解度を確認した。
免疫検査学	2023 年～現在	臨床検査学科 3 年次生を対象に、免疫検査学の基礎理論と臨床応用について理解を深める目的で講義を行った。科目責任者として 23 コマすべての授業を担当した。講義は PowerPoint スライドを用いて行い、講義後に PDF 化して資料として Classroom に掲示した。 講義の前半 8 コマでは、自然免疫と獲得免疫、免疫担当細胞、抗原と抗体、補体、サイトカインなど、免疫の基礎理論について解説した。 9 コマ以降の臨床講義では、感染症の血清学的検査（梅毒、肝炎ウイルス等）、自己免疫疾患、アレルギー疾患、腫瘍マーカー、免疫不全など、各種疾患と免疫検査の関連について解説した。 成績は、8 コマ終了後に実施した中間試験、全講義終了後の期末試験および再試験により評価した。
免疫検査学実習	2022 年～現在	臨床検査学科 2 年次生を対象に、免疫検査学の基礎となる検査原理と基本手技の習得を目的として 24 コマの実習を行った。実習副担当者として、実習全般の指導にあたった。 実習項目は、凝集反応（赤血球, ラテックス）、二重免疫測定法、免疫電気泳動、酵素免疫測定法（EIA）、間接蛍光抗体法による抗核抗体検査、およびフローサイトメトリーによるリンパ球分類とした。主要な測定原理（凝集、沈降、酵素標識、蛍光標識）の理解と、それに基づく基本手技の習得に重点を置いて指

		導した。 成績は、実習レポート（発表形式を含む）により総合的に評価した。
生化学実習	2023 年～現在	臨床検査学科 1 年次生を対象に、24 コマの実習を行った。本実習は大学入学後最初の実習であるため、検体を使用する実習の基礎知識と安全な手技の習得、および生化学検査の基礎理論の理解を目的とした。実習担当者として、実習全般の指導にあたった。 実習項目は、吸光度の原理、検体の濃度計算と希釈方法、測定の精度管理（再現性）の理解とし、さらに糖、タンパクなどの物質定量検査方法の原理と種類について指導した。 成績は、実習レポートにより評価した。
生化学	2024 年	医療技術学科 1 年次生を対象に、生命現象の化学的基礎および生体における代謝について理解を深める目的で講義を行った。科目責任者として 15 コマすべての授業を担当した。講義は PowerPoint スライドを用いて行い、講義後に PDF 化して資料として Classroom に掲示した。講義では、生体を構成する分子（糖質、脂質、タンパク質、核酸）の化学構造と機能、主要な代謝経路（解糖系、クエン酸回路、電子伝達系など）、酵素の基礎、遺伝子の構造と発現について解説した。 成績は、期末試験により評価した。
2　作成した教材（150 字程度まで）		
輸血・移植検査学	2022 年～現在	臨床検査学科 3 年次対象の輸血・移植検査学の講義において、PowerPoint スライド（計 15 点、経約 1000 枚）を作成した。スライドは講義の板書として使用するとともに、講義後には Classroom に掲示するとともに見直し、変更・修正など、更新を行った。
輸血・移植検査学実習（臨床検査学科対象）の実習手順書	2022 年～現在	臨床検査学科 3 年次生を対象とした輸血・移植検査学実習 8 回において、主要な実習テキストとなるプリント（A4 判 5～6 頁）の手順書を作成した。内容は適宜見直し、更新を行った。

輸血・移植検査学特別講義（臨床検査学科対象）の講義用資料	2022 年～現在	臨床検査学科 4 年次対象の輸血・移植検査学特別講義において、模擬国家試験問題のプリント（計 10 点、A4 判 3～4 頁）と PowerPoint スライド（計 15 点、経約 300 枚）をその都度作成した。
免疫検査学（臨床検査学科対象）の講義用資料	2023 年～現在	臨床検査学科 2 年次対象の免疫検査学の講義において、PowerPoint スライド（計 23 点、経約 1500 枚）を作成した。スライドは講義の板書として使用するとともに、講義後には Classroom に掲示するとともに見直し、変更・修正など、更新を行った。
免疫検査学実習（臨床検査学科対象）の実習手順書	2022 年～現在	臨床検査学科 2 年次生を対象とした免疫検査学実習 8 回において、プリント（A4 判 5～6 頁）の手順書を作成した。内容は適宜見直し、更新を行った。
生化学実習（臨床検査学科対象）の実習手順書	2023 年～現在	臨床検査学科 1 年次生を対象とした生化学実習 8 回において、プリント（A4 判 5～6 頁）の手順書を作成した。内容は適宜見直し、更新を行った。
生化学（医療技術学科）の講義用資料	2024 年	医療技術学科 1 年次対象の生化学の講義において、PowerPoint スライド（計 15 点、経約 700 枚）を作成した。スライドは講義の板書として使用するとともに、講義後には Classroom に掲示するとともに見直し、変更・修正など、更新を行った。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
4　その他教育活動上特記すべき事項		
臨床検査学科に於ける卒業研究指導	2022 年～現在	臨床検査学科 4 年生の希望者を対象に毎年 2～4 名程度の学生に、輸血検査の分析をテーマに継続的に文献の収集と購読および研究指導を行った。

Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
2　特許		
3　その他職務上の実績に関する事項		

Ⅲ　研究活動					
著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					
論文					
報告					
学会発表					

Ⅳ　学会等および社会における主な活動
1　現在の所属学会
日本輸血・細胞治療学会
日本医学検査学会

日本医療検査学会
日本臨床検査医学会
2　2020～2024 年度の学会での主な活動
3　2020～2024 年度の社会での主な活動

所属　医療保健学部 学科　臨床検査学科	職名　教授	氏名　當銘　良也	学　位	博士（医学）
			国家資格	臨床検査技師

I　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
解剖学	2014 年～現在	臨床検査学科 1 年次生を対象に人体の構造と機能について理解を深める目的で講義を行った。科目責任者として 15 コマすべての授業を担当した。講義では教科書（入門人体解剖学）に沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、人体の構造と機能（器官と系統、組織と細胞、骨と筋肉、心臓、動静脈、リンパ系、消化器、呼吸器。泌尿生殖器、内分泌、神経について解説した。講義資料は事前に google classroom にアップして予習を促した。成績は期末試験および再試験により評価した。
組織学	2018 年～2024 年	臨床検査学科 1 年次生を対象に人体の組織構造と機能について理解を深める目的で講義を行った。科目責任者として 8 コマすべての授業を担当した。講義では教科書（入門組織学）に沿って作成された PowerPoint スライドを用いて、人体の組織構造と機能（細胞、上皮、支持組織、筋肉、血管、皮膚、消化管、肝臓、膵臓、骨髄、リンパ性器官、呼吸器、泌尿生殖器、内分泌器官、神経組織について解説した。講義資料は事前に google classroom にアップして予習を促した。成績は期末試験および再試験により評価した。
解剖学実習	2014 年～現在	臨床検査学科 1 年次生を対象に体の組織構造と機能について理解を深める目的で実習をおこなった。8 コマすべての授業を担当した。 1 コマはブタ内臓の解剖を行い詳細な内部構造の観察を行った。残りの 7 コマは外表組織、消化器、循環器、呼吸器、内分泌、神経組織などの顕微鏡標本を用いて正常組織および癌などの病変の観察をした。スマートフォンで顕微写真撮影をし、その画面を見ながら学生とディスカッションをして理解を深める工夫をした。また、学生はスマートホンで google classroom にアップされた画像をみることができるため、目的の組織を比較的容易に探すことができるようになった。成績はレポートと期末試験および再試験により評価した。
医療保健学セミナー（分担）	2014 年～現在	臨床検査学科 1 年生を対象に病理における病理検査の理解を深める目

		的で医療保健学セミナー30 コマのうち 2 コマを担当した。1 コマは、病院における病理検査の業務内容と臨床検査技師の役割に関する PowerPoint 資料を作成し講義した。2 コマは、顕微鏡標本の作製法について講義した。また、資料は google classroom にアップして予習を促した。
病理検査学 I	2015 年～現在	臨床検査学科 2 年次生を対象に病理検査について理解を深める目的で講義をおこなった。科目責任者として 15 コマすべての授業を担当した。講義では教科書（病理検査学）に沿って作成された PowerPoint スライドを用いて講義した。染色が主体の講義なので理解しやすいようにカラー資料を配布した。原理や目的などの基礎的な部分を重点に講義した。事前に資料を google classroom にアップして予習を促した。成績は期末試験および再試験により評価した。
病理検査学Ⅱ	2015 年～現在	臨床検査学科 3 年次生を対象に細胞検査について理解を深める目的で講義をおこなった。科目責任者として 8 コマすべての授業を担当した。講義では教科書（病理検査学）に沿って作成した PowerPoint スライドを用いて講義した。細胞検査についての基礎や実際診断方法について理解しやすいようにカラー資料を配布した。後半の 2 コマは、細胞検査の実践という内容で、実習に近い形式で講義した。事前に google classroom にアップして予習を促した。成績は期末試験および再試験により評価した。
病理検査学実習	2015 年～現在	臨床検査学科 3 年次生を対象に病理検査における基礎的は標本作製法と染色法について実習を行った。科目責任者として 15 コマすべてを担当した。実習風景、試薬、染色液などをスマートフォンで撮影し記録させた。顕微鏡観察時、学生はスマートフォンで google classroom にアップされた画像をみることで、目的の組織を比較的容易に探すことができるようになった。レポート用の顕微鏡写真は学生がスマートフォンで撮影し、その画像で教員とディスカッションできるため理解が深まった。レポートは google classroom に提出する方式にしてい

		る。成績はレポートと期末試験および再試験により評価した。
病態解析学（分担）	2016 年~2023 年	臨床検査学科 3 年次生を対象に 2 コマを担当した。病理検査結果をもとに病態を解析する問題形式の PowerPoint スライドを作成し講義した。事前に google classroom にアップして予習を促した。
病理検査学Ⅲ	2017 年～現在	臨床検査学科 4 年次生を対象に病理検査学の理解を深める目的で講義を行った。科目責任者として 8 コマすべてを担当した。PowerPoint スライドを用いた講義と平行して、病理検査学、解剖学、病理学に関するテストを毎回実施して理解を深める様にした。また正答および解説を google classroom にアップしてあるため、回答を終了した学生はすぐに参照できるため効率よく意欲的に自己採点と復習に取り組むことができた。さらに問題を google classroom にアップし同一問題の復習を促した。成績はレポートと期末試験および再試験により評価した。
病理検査学演習	2017 年～現在	臨床検査学科 4 年次生を対象に病理検査学の理解を深める目的で講義を行った。科目責任者として 30 コマすべてを担当した。PowerPoint スライドを用いた講義と平行して病理検査学、解剖学、病理学に関するテストを毎回実施して理解を深める様にした。また正答および解説を google classroom にアップしてあるため、回答を終了した学生はすぐに参照できるため効率よく意欲的に自己採点と復習に取り組むことができた。さらに問題を google classroom にアップし同一問題の復習を促した。
臨床化学Ⅱ	2025 年～現在	臨床検査学科 4 年次生を対象に臨床化学の理解を深める目的で講義を行った。科目責任者として、8 コマすべての授業を担当した。内容は脂質の種類、代謝と測定法とした。トリグリセリド、コレステロール、遊離脂肪酸、リン脂質、過酸化脂質脂質の特長と機能およびこれらの測定原理などについて講義した。試験は脂質の種類、リポタンパク質の代謝と機能、脂質の測定原理に関する記述試験とした。成績は記述試験で評価した。
生体機能代行装置学基礎実習	2024 年～現在	医療技術学科 2 年生を対象に科目分担者として 3 コマの実習を担当し

		た。2 コマはブタの心臓、肺、腎臓、脳神経のホルマリン固定臓器標本を用いて、臓器の形状や特徴、機能などを説明した。残りの 1 コマは心臓、肺、腎臓の組織標本を用いて顕微鏡像の解説をおこない、観察をしてもらった。学生には臓器や顕微鏡写真を撮影させ、レポートの提出を求めた。成績はレポートで評価した。
2　作成した教材（150 字程度まで）		
解剖学実習用ブタ臓器の肉眼臓器標本	2016 年～現在	臨床検査学科 1 年次生対象の解剖学実習を行った際に使用するホルマリン固定ブタ臓器の肉眼標本を作製した。脳、眼球、心臓、大動脈、肺、気管、食道、胃、小腸、大腸、盲腸、肝臓、膵臓、脊椎骨、大腿骨、下肢骨、上腕骨、上肢骨など約 60 種類の肉眼臓器標本を作製した。随時追加作製をしている。
解剖学実習用顕微鏡標本	2014 年～現在	臨床検査学科 1 年次生対象の解剖学実習を行った際に使用する組織標本を作製した。外表組織、消化器、循環器、呼吸器、内分泌、神経組織、眼球などの正常組織および癌や感染症などの 100 種類の連続切片 100 枚を作製した。随時改訂をしている。
解剖学実習用顕微鏡標本の解説 PowerPoint スライド	2014 年～現在	臨床検査学科 1 年次生対象の解剖学実習を行う際に使用する学生が観察する外表組織、消化器、循環器、呼吸器、内分泌、神経組織、眼球など正常組織および癌や感染症などの顕微鏡標本と同じ部位の顕微鏡写真を撮影し、さらに写真に解説をつけた 1602 頁の PowerPoin スライドを作成し、google classroom にアップした。講義資料は随時改訂をしている。
医療保健学セミナーの PowerPoint スライド	2014 年～現在	臨床検査学科 1 年次生対象した病院における病理検査の業務内容と臨床検査技師の役割に関する 88 頁の PowerPoint スライドと顕微鏡標本の作製法についての 61 頁の PowerPoint スライドを作成した。講義資料は随時改訂をしている。
病理検査学 I の PowerPoint スライド	2015 年～現在	臨床検査学科 2 年次生を対象に病理検査学について理解を深める目的 842 頁の PowerPoint スライドを作成した。病理検査の意義、病理組織標本作製法、固定、包埋薄切、染色理論と HE 染色、結合織染色、多糖類、脂肪、病原体、無機物質、生体内色素、神経線維、免疫組織化学、分子生物学的手法とコンパニオン診断、電子顕微鏡標本作製、関係法規、病理解剖などを作成した。
病理検査学Ⅱの PowerPoint スライド	2015 年～現在	臨床検査学科 3 年次生を対象に細胞検査学について理解を深める目的

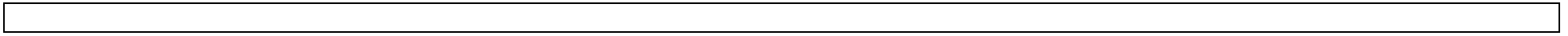
		765 頁のパワーポインスライドを作成した。総論、検体採取法、固定、染色法、腫瘍総論、細胞の見方、婦人科細胞診、呼吸器その他の細胞診、実践婦人科細胞診、実践呼吸器その他の細胞診などの資料を作成し、google classroom にアップした。
病理検査学実習用写真スライド	2015 年～現在	臨床検査学科 3 年生対象の病理学検査実習の手順書および実習時に観察する顕微鏡写真を撮影し、解説をつけた HE 染色、、赤痢アメーバ、真菌などの顕微鏡鏡写真 1496 頁の PowerPoint スライドを作成した。を google classroom にアップした。写真は随時改訂をしている。
病理検査学実習用顕微鏡標本	2015 年～現在	臨床検査学科 3 年生対象の病理学検査実習で使用する脂肪、病原体、無機物質、生体内色素、神経線維、免疫組織化学の染色標本を約 2000 枚作成した。随時標本を追加している。
病理検査学Ⅲの PowerPoint スライド	2017 年～現在	臨床検査学科 4 年生対象の病理検査学について理解を深める目的で 765 頁の PowerPoint スライドを作成した。
病理検査学演習の PowerPoint スライド	2017 年～現在	臨床検査学科 4 年生対象の病理検査学について理解を深める目的で 993 頁の PowerPoint スライドを作成した。
臨床化学Ⅱの PowerPoint スライド	2025 年～現在	臨床検査学科 4 年次生を対象に臨床化学について理解を深める目的で 693 頁の PowerPoint スライドを作成した。
生体機能代行装置学基礎実習の肉眼臓器標本およびの PowerPoint スライド	2024 年～現在	医療技術学科 2 年生を対象の生体機能代行装置学基礎実習で使用するブタの心臓、肺、腎臓、脳神経の肉眼標本を作製した。さらに顕微鏡実習で使用する心臓、肺、腎臓の顕微鏡標を 3 枚、20 セット作製した。解説を行うための、50 頁の PowerPoint スライドを作成した。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
4　その他教育活動上特記すべき事項		
臨床検査学科における卒業研究指導	2017 年～2023 年	臨床検査学科 4 年次対象の卒業研究において毎年 4～6 名程度の学生に対して指導を行った。
臨床検査学科における臨地実習指導	2017 年～2025 年	臨床検査学科 3 年次対象の臨地実習において毎年 3～6 名程度の学生に対して指導を行った。

Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
2　特許		
3　その他職務上の実績に関する事項		

Ⅲ　研究活動					
著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					
論文					
Influence of Intermittent Cold Stimulations on CREB and Its Targeting Genes in Muscle: Investigations into Molecular Mechanisms of Local Cryotherapy.	共著	2020 年	Inter J Molecular Science. Vol.28;21(13)	Takehito Sugasawa, Yoshiya Tome, Yoshinori Takeuchi, Yasuko Yoshida, Naoya Yahagi, Rahul Sharma, Yuichi Aita, Haruna Ueda, Reina Maruyama, Kaoru Takeuchi, Shohei Morita, Yasushi Kawamai, Kazuhiro Takekoshi.	p4588
Characterization of Osteoarthritis in a Medial Meniscectomy-Induced Animal Model Using Contrast-Enhanced X-Ray Microtomography	共著	2020 年	Biomedicines　Vol.8	Takehito Sugasawa, Tomoaki Kuji, Kai Aoki, Koki Yanazawa , Akiko Takenouchi, Makoto Watanabe, Yoshiya Tome, Yoshinori Takeuchi, et al..	p56
クロム酸アンモニア銀法とケルンエヒトロート液作製法発表の	単著	2020 年	病理技術 83 巻	當銘良也	p5-6

その後.					
術中迅速細胞診が有用であった中枢神経系原発悪性リンパ腫の1例.	共著	2020年	日本臨床細胞学会誌59巻	若林僚、田島秀昭、荒川文子、小川勝、當銘良也、石田剛.	p114-115
報告					
学会発表					
Female Athlete Triad(FAT)の栄養戦略として牛乳は有効か	共同	2024年2月	第39回日本臨床栄養代謝学会学術集会	海老名 慧、當銘良也	
新カリキュラム対応のため客観的臨床能力試験（OSCE）血液分野の試みについて	共同	2023年8月	第17回日本臨床検査教育協議会学術大会	吉田保子、當銘　良也、山本　哲也、伊藤　慶	
Female Athlete Triadモデル動物の筋肉と腎臓に関する洞察	共同	2023年8月	第17回日本臨床検査教育協議会学術大会	酒井 翔太、海老名 慧、植田 真白、青木 海、吉田 保子、當銘 良也、竹越 一博	
プロテイン銀液作製法の検討	共同	2022年10月	第40回茨城県臨床検査学会	髙橋辰郎　大内奈々未　大丸春奈　高藤優花　田代つくし　當銘良也	
茨城県内の医療機関における凝固検査検体の取り扱い状況調査	共同	2021年10月	令和3年度日臨技関甲信支部・首都圏支部医学検査学会	浦本 靖博)、會田 匠、山木 友里花、嶋 優人、長谷部 弘樹、當銘 良也、吉田 保子	

Ⅳ　学会等および社会における主な活動
1　現在の所属学会
日本臨床衛生検査技師会会員、日本病理学会会員、日本臨床細胞学会会員、病理組織技術研究会
2　2020～2024年度の学会での主な活動
3　2020～2024年度の社会での主な活動



所属　医療保健学部 学科　臨床検査	職名　教授	氏名　難波　俊二	大学院における研究指導担当資格の有無　（無）

Ⅰ　教育活動

教育実践上の主な業績	年月日（西暦）	概　要
1　教育内容・方法の工夫（授業評価を含む）		
R-CPC により、学生と教員による双方向授業を行った。	2020 年 9 月 27 日	Reversed Clinico-Pathological Conference（R-CPC）により検査値をよりよく理解するトレーニング、および学生個々に自分の考えを述べさせるように努めた。
2　作成した教科書、教材、参考書		
①２年生用の臨床化学実習テキスト ②４年生用の臨床化学部門国家試験過去問集	①2020 年 4 月 1 日 ②2020 年 4 月 1 日	①実習の概要、到達目標、測定操作法等を記述したテキストを作成し、それを学生に配布して実習を行った。 ②国家試験で出題された臨床化学の過去問 15 年分について、分野別に整理したものを作成し、それを学生に配布、解答させながら授業を行った。
③４年生の国試対策テキスト（臨床化学部門）	③2022 年 4 月 1 日	③国家試験の過去問 10 年分をドリル形式でテキストを作成し、授業に利用した。
④４年生の国試対策テキスト（臨床化学部門）	④-1 2022 年 9 月 1 日 ④-2　2023 年 9 月 1 日	④-1 国家試験対策として、関連項目ごとにまとめたテキストを作成し、それを基に授業・補習を行った。 ④-2 国家試験対策として、過去 10 年分の国試について関連項目ごとにまとめたテキストを作成し、それを基に繰り返し補講を行った。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
4　その他教育活動上特記すべき事項		

Ⅱ　研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名（共著の場合のみ記入）	該当頁数
著書					
論文					
報告					
特になし					
学会発表					
Ⅲ　学会等および社会における主な活動					
1　現在の所属学会					
2　2020～2024年度の学会での主な活動					
3　2020～2024年度の社会での主な活動					

所属　医療保健学部 学科　臨床検査学科	職名　准教授	氏名　鴻巣　麻子	学　位	博士（理学）
			国家資格	臨床検査技師

Ⅰ　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
微生物学	2018 年～現在	臨床検査学科 1 年次生を対象に、臨床検査技師として、微生物を取り扱うための基礎知識を習得する目的で講義を行った。科目責任者として 15 コマすべての授業を行なった。講義では手元資料を配布し、PowerPoint スライドを用いて、一般細菌、リケッチア、クラミジア、真菌、ウイルスについて解説した。毎時間、授業内容に含まれる国家試験問題の過去問を数題練習問題として出題し、解説を行った。成績は期末試験、再試験により評価した。
微生物検査学Ⅰ	2018 年～現在	臨床検査学科 2 年次生を対象に、各感染症の原因微生物について詳細に学び、化学療法剤の種類・作用機序、薬剤耐性機構について理解する目的で講義を行った。科目責任者として 15 コマすべての授業を行なった。講義では手元資料を配布し、PowerPoint スライドを用いて、グラム陽性菌、グラム陰性菌、抗酸菌、抗菌薬について解説した。毎時間、授業内容に含まれる国家試験問題の過去問を数題練習問題として出題し、解説を行った。成績は期末試験、再試験により評価した。
微生物検査学Ⅱ	2018 年～現在	臨床検査学科 3 年次生を対象に、臨地実習で活用できる実践的な知識を身につける目的で講義を行った。科目責任者として 8 コマすべての授業を行なった。講義では手元資料を配布し、PowerPoint スライドを用いて、培地学、グラム染色と感染症、抗菌薬、薬剤耐性菌、検体の取り扱い方について解説した。成績は期末試験、再試験により評価した。
微生物検査学演習	2018 年～現在	臨床検査学科 4 年次生を対象に、1~3 年次に学んだ知識の復習を行い、演習問題を解きながら理解する。科目責任者として 15 コマすべての授業を行なった。講義ではを国試過去問題や模擬試験を配布し、PowerPoint スライドを用いて、答え合わせと解説を行った。成績は期末試験、再試験により評価した。

微生物検査学実習	2018 年～現在	臨床検査学科 2 年次生を対象に、3 年次の臨地実習に備え検査技師として必要な微生物を扱うための手技、操作を身につけることを目的として実習を行った。科目責任者として非常勤講師と共に 45 コマすべての実習を行なった。微生物検査に必要な無菌操作、培地作製、染色法、滅菌法、グラム陽性菌の同定、グラム陰性菌の同定、抗酸菌の検査、真菌の検査、薬剤感受性試験など基礎的な手法を学べるよう実習を行った。成績は各回のレポートをもとに評価した。
感染予防学	2018 年～現在	臨床検査学科 2 年次生を対象に、医療関連感染の基礎知識を習得する目的で講義を行った。科目責任者として 8 コマ中 3 コマの授業を行なった。感染の成立と予防、感染予防対策、医療器具・処置関連感染対策、職業感染予防、洗浄・消毒・滅菌、医療環境の管理など。成績は期末試験、再試験により評価した。
医療文献講読	2018 年～現在	臨床検査学科 3 年次生を対象に、臨床検査に関連する医学英語の基礎を学び、文献や学術論文の読解力を習得する目的で講義を行った。科目責任者として 8 コマすべての授業を行なった。臨床検査に関する用語、論文の構成、論文の種類と論文の検索方法、検査の事前準備に関する文献、検査の基準範囲に関する文献、検査結果に影響を与える因子に関する文献、感染症に関する論文の読み方など。毎時間の小テスト 40%、期末試験 60%で評価した。
臨地実習（技能習得到達度評価を含む）	2018 年～現在	臨床検査学科 3 年次生を対象に、大学で学んだ基礎的な知識，技術，態度を実践的なものとする目的で病院で実習を行う。厚労省指定規則および指導ガイドラインに従って、臨地実習において必ず実施させる行為、および必ず見学させる行為を臨地実習にて約 11 週間（55 日間）行う。実習前に技能習得到達度評価を実施し（学科教員全員、1 単位相当）、必要な指導を受け合格した上で実習に参加することを許可する。評価は病院からの評価と学内での評価とを総合的に判断し評価する。

医療安全管理学演習	2018 年～現在	臨床検査学科 4 年次生を対象に、臨床検査技師の業務拡大に伴って求められている分野・項目の基礎的知識、手技を身に着ける。15 コマのうち、関連する項目（皮膚の検体採取、喀痰吸引）6 コマの講義、ビデオを見ながらの手技の確認を行った。成績は期末試験、再試験により評価した。
医療保健学総合セミナー	2018 年～現在	臨床検査学科 1 年次生を対象に、臨床検査技師の職業倫理と守秘義務について理解する目的で講義を行った。30 コマのうち、1 コマの授業を行なった。講義ではネットや医療情報の守秘義務など注意事項を手元資料を配布し、PowerPoint スライドを用いて、説明した。授業の最後 20 分で学生全員に、本テーメに対する意見を書いてもらった。また、病院見学として水戸済生会病院に 3 名引率をした。
2　作成した教材（150 字程度まで）		
微生物学	2018 年～現在	臨床検査学科 1 年次生を対象に、講義資料として、PowerPoint スライド（計 13 点、計 450 枚）を作成した。毎年、スライドを見直し、修正を加えている。また、手元資料として授業内容をまとめたプリント（計 13 点、64 枚）を配布した。
微生物検査学 I	2018 年～現在	臨床検査学科 2 年次生を対象に、講義資料として、PowerPoint スライド（計 13 点、計 360 枚）を作成した。毎年、スライドをみなおし、修正を加えている。また、手元資料として授業内容をまとめたプリント（計 13 点、62 枚）を配布した。
微生物検査学Ⅱ	2018 年～現在	臨床検査学科 3 年次生を対象に、講義資料として、PowerPoint スライド（計 7 点、計 210 枚）を作成した。毎年、スライドをみなおし、修正を加えている。また、手元資料として授業内容をまとめたプリント（計 7 点、25 枚）を配布した。
微生物検査学演習	2018 年～現在	臨床検査学科 4 年次生を対象に、過去 10 年分の微生物分野の国家試験問題を分析し、頻繁に国家試験に出ている分野は特に時間をかけて授業を行った。さらに模擬試験や国家試験の問題を改変し他演習問題（計 11 点、計 119 枚）、授業中に学生に行わせた。国試対策として過去の国試で頻繁に出題される箇所をピックアップし、暗記カード A4 で 8 枚を作成・配布した。

微生物検査学実習	2018 年～現在	臨床検査学科 2 年次生を対象に、各実習項目に必要な操作手順などをまとめた資料を作成した（非常勤講師と分担、計 7 点、計 70 枚)。
感染予防学	2018 年～現在	臨床検査学科 2 年次生を対象に、講義資料として、PowerPoint スライド（計 3 点、計 65 枚）を作成した。毎年、スライドをみなおし、修正を加えている。また、手元資料として授業内容をまとめたプリント（計 3 点、15 枚）を配布した。
医療文献講読	2018 年～現在	臨床検査学科 3 年次生を対象に、講義資料として、PowerPoint スライド（計 7 点、計 180 枚）を作成した。毎年、スライドをみなおし、修正を加えている。また、手元資料として授業内容をまとめたプリント（計 7 点、14 枚）を配布した。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
なし		
4　その他教育活動上特記すべき事項		
臨床検査学科における卒業研究指導	2018 年～現在	臨床検査学科 4 年次対象の卒業研究において毎年 1～5 名程度の学生に対して、微生物学に関連する研究指導を行った。また、結果を臨床検査技師会などで発表した。
国試対策補習	2018 年～現在	臨床検査学科 4 年次対象に、国試過去問題、模擬試験などを配布し、解説を行った。10 月から 2 月にかけて周 1 回程度。

Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
江東微生物研究所　奨学寄附金	2021 年 4 月～ 2022 年 3 月	「愛玩動物の耐性菌調査」助成総額：100 万
2　特許		
なし		
3　その他職務上の実績に関する事項		
なし		

Ⅲ　研究活動					
著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					
なし					
論文					
微生物検査シミュレータ開発における生成 AI 活用の試み	共著	2024 年 11 月	医療情報学連合大会 医療情報学 44 巻	白井美月，鴻巣麻子，稲田政則	p.1346～p.1350
ペット（イヌ及びネコ）の薬剤感受性調査	共著（筆頭）	2024 年	つくば国際大学 医療保健学部研究紀要 vol.15	鴻巣麻子、石森隼都、相良瑠奈、塚田香澄、中山涼太、山崎大峰、佐野海咲、川畑大輔、東出正人	p. 25~32
健康なペットの常在菌調査	共著（筆頭）	2024 年	つくば国際大学 医療保健学部研究紀要 vol.15	鴻巣麻子、鈴木竜斗、武田颯太、村上瑠音、吉川卓人、佐野海咲、東出正人	p. 17~23
報告					
なし					
学会発表					
ペットから分離された祖先型 mecA 遺伝子の解析	共同	2024 年 11 月	第 41 回 茨城県臨床検査学会（つくば市）	兎澤 理梨、高野 真衣、酒井 翔太、川畑 大輔、鴻巣 麻子	一般演題
愛玩動物（犬、猫以外）の耐性菌動向調査	共同	2022 年 11 月	第 40 回茨城県臨床検査学会（水戸市）	石森隼都、山崎大峰、中山涼太、塚田香澄、相良瑠奈、鴻巣麻子	一般演題
ペット（犬、猫）の糞便由来常在菌の調査	共同	2021 年 10 月	第 57 回関甲信支部・首都圏支部医学検査学会（つくば市）	吉川 卓人、鈴木 竜斗、武田 颯汰、村上 瑠音、佐野 海咲、鴻巣 麻子	一般演題
ペット（犬、猫）の糞便由来グラム陰性菌の薬剤感受性スクリーニング	共同	2021 年 10 月	第 57 回関甲信支部・首都圏支部医学検査学会（つくば市）	鈴木 竜斗、武田 颯汰、村上 瑠音、吉川 卓人、佐野 海咲、鴻巣 麻子	一般演題

Ⅳ　学会等および社会における主な活動
1　現在の所属学会
日本臨床衛生検査技師学会（茨城県臨床検査技師会） 日本臨床微生物学会 日本バイオ技術教育学会
2　2020～2024 年度の学会での主な活動
なし
3　2020～2024 年度の社会での主な活動
なし

所属　医療保健学部 学科　臨床検査学科	職名　准教授	氏名　山本　哲也	学　位	修士（教育学）
			国家資格	公認心理師

Ⅰ　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
医療保健学総合セミナー	2022 年度～現在	2021 年度までの「医療保健学セミナー」を拡充し、大学生活への円滑な移行、臨床検査学への円滑な導入、臨床検査技師を目指すための目的意識および学習意欲の向上を図ることを目的、①大学での学びに必要な基本知識とスキルの習得（「大学生活と大学おける学び）、②学内実習に必要な基礎知識と基本的スキルの学習（「臨床検査学における学び」）、③臨床検査技師という職種、職場、職業倫理、コンプライアンス、役割と使命等についての理解（「臨床検査技師のためのキャリア支援」）を目標としている。臨床検査学の初学者である1年生を対象に、初年次教育、キャリア支援を意識して構成し、実技、グループワーク、病院見学等を内容に含め、臨床検査学への導入および卒業、資格取得にむけた動機付けを図った。
臨床心理学	2021 年度～現在	看護学科２年生を対象とした科目である。臨床心理学にかかわる臨床心理学の知見、心理アセスメントの基本と具体的な方法、臨床心理学の介入方法を説明できることを目的に、「こころの問題」を抱える人々を理解し、援助するための知識を修得することを目標にしており、心理的援助を必要とする人が抱える「こころの問題」に対する心理学的な考え方やそうした問題を抱える人々を理解する方法、援助のための基礎的な理論などについて概説した。
臨床心理学	2021 年度～現在	理学療法学科１年生を対象とした科目である。臨床心理学にかかわる臨床心理学の知見、心理アセスメントの基本と具体的な方法、臨床心理学の介入方法を説明できることを目的に、「こころの問題」を抱える人々を理解し、援助するための知識を修得することを目標にしており、心理的援助を必要とする人が抱える「こころの問題」に対する心理学的な考え方やそうした問題を抱える人々を理解する方法、援助のための基礎的な理論などについて概説した。
チーム医療論	2021 年度～現在	看護学科３年生を対象とした科目である。学内教員によるオムニバス形式の講義で、「各種専門職の理解」のうちの「ソーシャルワーカー」について、その資格と業務の概要、チーム医療における役割について概説した。
医療保健学セミナー	2020 年度 ～2021 年度	臨床検査学科１年生を対象とした科目である。学科教員によるオムニバス形式の講義と臨地実習病院の見学を通じて、医療従事者としての職業倫理、臨床検査技師の職業と役割を理解することをねらいとしている。2020 年度と 2021 年度は、コロナ禍で病院見学ができなかったことから、病院および検査センターに勤務する卒業生による講話、「令和 3 年度日臨技関甲信支部・首都圏支部医学検査学会 in つくば」で行われた講演の視聴とした。

地域福祉論	2020 年度～現在	看護学科３年生を対象とした科目である。地域福祉実践の諸理論を学び、保健師を含む地域支援専門職の役割を考察できるようになることを目的に、地域課題や地域の成り立ちの理解、地域生活支援のための諸制度の理解、地域住民との協働による地域福祉実践、地域共生社会の構築の理解を目標とした。地域における身近な課題を例に、地域福祉の課題に目を向けるとともに、保健師活動と関連づけることで、地域福祉の方法論等についての理解を深めることができるよう工夫した。なお、2020 年度、2021 年度はオンラインで実施した。
福祉ボランティア論	2020 年度～現在	理学療法学科１年生を対象とした科目である。保健医療専門職に求められるボランティア精神を理解し、自分なりのボランティアとのかかわり方を見つけることをねらいとした。視聴覚資料を活用することで、実際にボランティア活動を行う人の意志を感じ取ることができるよう工夫した。なお、2020 年度、2021 年度はオンラインで実施した。2022 年度は、地域におけるボランティア活動につなげる目的で、「認知症サポーター養成講座」（土浦市出前講座）を受講した。2023 年度以降は受講人数等の都合により未実施。
地域福祉論	2020 年度～ ～2020 年度	理学療法学科２年生を対象とした科目である。地域理学療法の基礎となる地域課題や地域の成り立ちの理解、地域を中心に展開される保健医療福祉実践の根拠としての制度の理解、地域福祉に関わる人々の理解をねらいとしている。地域における身近な課題を例に、地域福祉の課題に目を向けるとともに、地域包括ケアシステムの中で活躍する理学療法士の活動についての資料を提示することで、地域福祉の方法論等についての理解を深めることができるよう工夫した。なお、2020 年度はオンラインで実施した。
高齢者の心理	2019 年度～ 2022 年度	理学療法学科３年生を対象とした科目である。加齢による心身の変化によって生じる心理的側面に関する様々な知見について概説し、これらの知見をもとに、高齢期に生じる心理的問題の特徴と背景を理解することで、高齢者のこころに配慮したケアができることをねらいとしている。高齢者のこころのケアには、当事者である高齢者の個別性にも配慮する必要があることから、視聴覚資料等を活用した。また、2019 年度は、地域において認知症ケアの実践を行っている地域包括支援センター職員を講師に招聘した。なお、2020 年度、2021 年度はコロナ禍でオンライン授業であったため実施できなかったが、2022 年度には再開した。
障害者の心理	2019 年度～ 2022 年度	理学療法学科３年生を対象とした科目である。障害を負うことによる心理的メカニズムの一端を学習することにより、障害のある人の気持ちに配慮した支援について考察できることをねらいとしている。障害の種別ごとの心理特性だけでなく、先天性障害と中途障害に区分して、生まれながらに障害がある人の心理面への影響と、人生の途中で障害を負うことによる心理面への影響の違い等についても概説した。2020 年度、2021 年度はオンラインで実施した。
カウンセリング論	2019 年度～現在	看護学科２年生、保健栄養学科３年生を対象とした科目である。カウンセリングの基本的な態度とされる「受容」「傾聴」「肯定的理解」や「寄り添う」「理解する」等、対人援助の基礎とされる態度等について具体的に考え，スキルと

		して身につけること，対人援助職に求められる「自己理解」の促進をねらいとし、講義のみならず演習も交えながら授業を展開した。なお、2020 年度、2021 年度はオンラインで実施した。
発達心理学	2011 年度～現在	医療保健学部２年生を対象とした科目である。人が母胎に生を受けた時から死に至るまでの一生涯に渡る心身の質的・量的な変容のプロセスを発達と捉え、胎生期、乳児期、幼児期、青年期、成人期の各発達段階の特徴について、各段階における発達課題を軸に概説した。授業では、視聴覚資料等を活用することで、経験してきたことではあるが忘れてしまっていること、これから経験するであろうことを具体的にイメージできるよう心がけた。なお、2020 年度はオンラインで実施した。
保健活動ボランティア論	2011 年度～現在	保健栄養学科３年生を対象とした科目である。授業では、ボランティアの定義・理念といったボランティア活動に関する基礎的知識や、学生自らがボランティアとして活動するための知識について概説した。また、保健活動に関するボランティア活動の企画として、実際の運営を想定した活動内容、実施するまでに必要な準備等について検討を行うことで、地域社会において、管理栄養士として、ボランティアと協働するために必要なことを主体的に学習できるよう工夫した。なお、2020 年度はオンラインで実施した。
2　作成した教材（150 字程度まで）		
医療保健学総合セミナー	2022 年度～現在	講義に際し、PowerPoint スライドを作成し、板書として使用した。また配布用プリントを Word で作成した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
臨床心理学	2021 年度～現在	講義に際し、PowerPoint スライドを作成し、板書として使用した。また配布用プリントを Word で作成した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
臨床心理学	2021 年度～現在	講義に際し、PowerPoint スライドを作成し、板書として使用した。また配布用プリントを Word で作成した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
チーム医療論	2021 年度～現在	講義に際し、PowerPoint スライドを作成し、板書として使用した。また配布用プリントを Word で作成した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
地域福祉論	2020 年度～現在	講義に際し、PowerPoint スライドを作成し、板書として使用した。また配布用プリントを Word で作成した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
福祉ボランティア論	2020 年度～現在	講義に際し、PowerPoint スライドを作成し、板書として使用した。また配布用プリントを Word で作成した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。

地域福祉論	2020 年度～ ～2020 年度	講義に際し、PowerPoint スライドを作成し、板書として使用した。また配布用プリントを Word で作成した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
高齢者の心理	2019 年度～ 2022 年度	講義に際し、PowerPoint スライドを作成し、板書として使用した。また配布用プリントを Word で作成した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
障害者の心理	2019 年度～ 2022 年度	講義に際し、PowerPoint スライドを作成し、板書として使用した。また配布用プリントを Word で作成した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
カウンセリング論	2019 年度～現在	講義に際し、PowerPoint スライドを作成し、板書として使用した。また配布用プリントを Word で作成した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
発達心理学	2011 年度～現在	講義に際し、PowerPoint スライドを作成し、板書として使用した。また配布用プリントを Word で作成した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
保健活動ボランティア論	2011 年度～	講義に際し、PowerPoint スライドを作成し、板書として使用した。また配布用プリントを Word で作成した。講義の後にはスライドを見直し、変更や修正など、更新を行った。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
4　その他教育活動上特記すべき事項		
臨床検査学科における病院実習指導	2020 年度～現在	臨床検査学科３年次対象の臨地実習において毎年８名程度の学生に対して指導を行った。

Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
2　特許		
3　その他職務上の実績に関する事項		
筑波大学人間系客員研究員	2020 年～2024 年	
学術論文の査読（２件）	2020 年～2024 年	

Ⅲ　研究活動					
著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					
論文					
報告					
「第１章　本調査の目的及び結果概要」「「第２章　アンケート調査（質問紙調査）結果」公益財団法人社会福祉振興・試験センター　令和２年度社会福祉振興関係調査助成事業『埼玉県内の特別養護老人ホームにおける新型コロナウィルス感染症対策実態調査報告書』	共著	2021 年 3 月	日本老年行動科学会新型コロナウィルス対策班	上野幸、岡本多喜子、齊籐泰子、中村淳子、箕浦とき子、山本哲也、山崎律子、谷口幸一	1 頁- 3 頁、9 頁-47 頁（全 119 頁）
学会発表					
新カリキュラム対応のため 臨地実習前技能到達度評価の血液分野の試みについて	共著	2023 年 8 月	臨床検査学教育 Vol.14	吉田保子、伊藤慶、山本哲也、當銘良也	70 頁
教室の収容状況の違いが学生の座席選択行動と教員の印象に与える影響	共著	2023 年 8 月	臨床検査学教育 Vol.14	北村 歌菜、山本哲也、稲田政則	92 頁
新カリキュラム対応のため 臨地実習前技能到達度評価の血液分野の試みについて	共著	2023 年 8 月	臨床検査学教育 Vol.14	吉田保子、伊藤慶、山本哲也、當銘良也	70 頁
2020 年度オンライン授業に関する学生アンケートの報告	共著	2021 年 8 月	臨床検査学教育 Vol.9	吉田保子，山本哲也，鈴木康文，當銘良也	50 頁

Ⅳ　学会等および社会における主な活動
1　現在の所属学会
日本老年行動科学会

日本老年臨床心理学会
日本地域福祉学会
日本社会福祉学会
日本心理学会
日本発達心理学会
日本特殊教育学会
日本発達障害学会
日本読書学会
日本公認心理師協会

2　2020～2024 年度の学会での主な活動

日本老年臨床心理学会第５回大会実行委員会委員（2021 年９月～2022 年 11 月）
日本老年行動科学会常任理事（2020 年１月～現在）
日本老年行動科学会東関東支部長（2019 年 11 月～現在）
日本地域福祉学会地方委員［茨城県］（2017 年６月～現在）

3　2020～2024 年度の社会での主な活動

土浦ケアマネジャー研究会「事例の重要性とその進め方」[講演]（2024 年3月 19 日）
日本老年行動科学会岩手支部事例検討会[ファシリテーター・スーパーバイザー]（2024 年 10 月 19 日）
かすみがうら市障害者計画及び障害福祉計画策定委員会委員[委員長]（2023 年 12 月～2024 年3月）
日本老年行動科学会岩手支部事例検討会[ファシリテーター・スーパーバイザー]（2023 年9月 10 日）
茨城県土浦市障害者計画等策定委員会委員[委員長]（2023 年7月～2024 年3月）
土浦市介護支援専門員研修会講師[茨城県]「認知症の理解と対応～認知症の人を地域で支える～」（2022 年1月 26 日）
かすみがうら市地域福祉計画策定員会委員[委員長]（2022 年 11 月～2023 年3月）
かすみがうら市社会福祉協議会地域福祉活動計画策定員会委員[委員長]（2022 年 11 月～2023 年3月）
土浦市地域福祉計画策定委員会委員[委員長]（2021 年2月～2023 年3月）
土浦市社会福祉協議会地域福祉活動計画策定委員会委員[委員長]（2021 年2月～2023 年3月）
養育里親研修及び養子縁組里親研修の「登録前研修」[茨城県]「子どもの心の発達（発達心理学）」（2020 年8月1日／11 月7日）
かすみがうら市障害者計画及び障害福祉計画策定委員会委員[委員長]（2020 年4月～2021 年3月）
茨城県土浦市老人福祉計画及び介護保険事業計画推進会議委員[副委員長]（2020 年4月～現在）
茨城県土浦市障害者計画策定委員会委員[委員長]（2020 年5月～2021 年3月）
社会福祉法人明清会評議員選任・解任委員（2017 年3月～現在）
茨城県土浦市地域密着型サービス運営委員会委員（2012 年4月～現在）
茨城県土浦市地域自立支援協議会委員[副委員長]（2011 年4月～現在）
社会福祉法人小鳩会理事（2009 年～現在）
茨城県かすみがうら市地域自立支援協議会委員[副委員長]（2008 年 11 月～現在）

所属　医療保健学部 学科　臨床検査学科	職名　講師	氏名　山口　孝一	学　位	修士（保健学）
			国家資格	臨床検査技師

Ⅰ　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
臨床血液学	2023 年～現在	臨床検査学科 1 年次生を対象に血液検査学につながる血液学基礎の理解を深める目的で講義を行なった。科目責任者として 8 コマ全ての授業を担当した。講義では教科書をベースとして重要項目について資料を作成し、講義終了時には確認試験を資料と一緒に配布した。プリントに沿った内容で作成した PowePoint を用いて、赤血球の構造、ヘモグロビンの機能と構造、白血球の種類、血小板・凝血学的システムの基礎を解説した。成績は期末試験および再試験により評価した。
血液検査学 I	2023 年～現在	臨床検査学科 2 年次生を対象に血液検査学に関する内容を講義した。科目責任者として前期 8 コマ、後期 8 コマで実施した。臨床検査技師国家試験に頻出する検査や臨床の現場で必要とされる検査項目を中心に検査項目をピックアップし、資料を作成して臨床的意義も含めて解説した。講義と実習を同週にカリキュラムを編成しているため、講義→実習を行うことによって、学生の理解度を深める工夫をした。資料は一コマつず作成した。成績は期末試験および再試験により評価した。
血液検査学 II	2023 年～現在	臨床検査学科 4 年次生を対象に血液検査学における血液疾患を中心に講義を行なった。科目責任者として 8 コマで実施した。特に国家試験を意識し、国家試験に頻出する血液疾患をピックアップし、基礎から臨床までを網羅的に解説した。血液分野赤血球系・白血球系・血小板系・凝固系の大きく 4 つの分野から構成されており、それぞれの分野で疾患が存在するため、診断に必要な検査学、疾患のメカニズムを通して理解を深める工夫をした。成績は期末試験および再生権により評価した。
血液検査学実習	2023 年～現在	臨床検査学科 2 年次生を対象に血液検査学に関する内容について実習を行なった。科目責任者として前期 8 コマ、後期 8 コマで実施した。臨床検査技師国家試験に頻出する検査や臨床の現場で必要とされる検査項目を中心に検査項目をピックアップし、資料を作成して臨床的意義も含めて解説した。講義と実習を同週にカリキュラムを編成してい

		るため、講義→実習を行うことによって、学生の理解度を深める工夫をした。実習は 2 週間で一単元の内容を計画し、強制的に復讐をしながら検査学を学修できるように工夫した。レポートはクラスルームを活用して提出してもらい、レポート点数を開示しながら評価を行なった。成績はレポート提出とレポート内容を中心に評価し、必要に応じて出し直しを課した。
血液学	2023 年～2024 年	医療技術学科 2 年次生を対象に血液検査学につながる血液学基礎の理解を深める目的で講義を行なった。科目責任者として 8 コマ全ての授業を担当した。講義では教科書をベースとして医療技術者になるために必要な臨床疾患を中心に。プリントに沿った内容で作成した PowePoint を用いて、赤血球の構造、ヘモグロビンの機能と構造、白血球の種類、血小板・凝血学的システムの基礎を解説した。成績は期末試験および再試験により評価した。
2　作成した教材（150 字程度まで）		
臨床血液学	2023 年～現在	臨床検査学科 1 年次生を対象に血液検査学につながる血液学基礎の理解を深める目的で講義を行なった。科目責任者として 8 コマ全ての授業を担当した。1 コマ 20 点、計 160 枚のスライドを作成し、配布資料として用いた。
血液検査学 I	2023 年～現在	臨床検査学科年次生を対象に血液検査学につながる血液学基礎と血液検査学の理解を深める目的で講義を行なった。科目責任者として 8 コマ全ての授業を担当した。 1 コマ 30 点、計 240 枚のスライドを作成し、配布資料として用いた。
血液検査学 II	2023 年～現在	臨床検査学科 4 年次生を対象に血液検査学につながる血液学基礎と血液検査学、血液検査診断学の理解を深める目的で講義を行なった。科目責任者として 8 コマ全ての授業を担当した。1 コマ 50 点、計 400 枚のスライドを作成し、配布資料として用いた。
血液検査学実習	2023 年～現在	臨床検査学科 2 年次生を対象に血液検査学につながる血液学基礎と血液検査学の理解を深める目的で実習を行なった。科目責任者として 8 コマ全ての授業を担当した。前期 50 ページ、後期 50 ページの実習手順を作成し、実習開始時に配布して、手順書に沿って実習を行なった。
血液学	2023～2024 年	医療技術学科 2 年次生を対象に血液検査学につながる血液学基礎の理解を深める目的で講義を行なった。科目責任者として 8 コマ全ての授業を担当した。1 コマ 20 点、計 160 枚のスライドを作成し、配布資料として用いた。医療技術者になるにあたって必要な血液疾患（白血病や血友病、血栓症など）を中心に資料を作成した。

3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
4　その他教育活動上特記すべき事項		

Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
科学研究費助成・基盤研究（C）	2023～2024 年	「自己分配型クラスター分析による白血球粒度パターンの時系列多次元解析とその臨床応用」200,000 円　【分担】山口孝一
シーメンス株式会社研究助成	2023 年～現在	「血中エリスロポエチン濃度の基礎的検討と基準値作成」 200,000 円　【代表】山口孝一
2　特許		
3　その他職務上の実績に関する事項		
検査血液学会評議員	2018 年～現在	
検査血液学会編集委員	2022～2025 年	査読数 15 本

Ⅲ　研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					
論文					
パパニコロウ染色細胞診標本からの DNA 抽出の試み	共筆	2025 年	千臨技会誌　144 号	鈴木宏,栗原亮祐，高澤大翔，**山口孝一**，佐藤正一，小林崇平，長沢光章,片山博徳，山口良考	総項数：7
Identification of two de novo variants causing inherited	共筆	2024 年	Thromb Res Vol.120	Togashi T, Nagaya S, Meguro-Horike M,	総項数：4

antithrombin deficiency by quantitative analysis of variant alleles.				Matsumoto H, Imai Y, **Yamaguchi K,** Fujii Y, Moriya H, Kikuchi Y, Yasuda I, Horike SI, Morishita E.	
「将来の臨床検査技師像を見据えたアンケート」調査から考える臨床検査技師教育　現状把握を通して	筆頭	2022 年	医学検査 71 巻	**山口孝一**, 長屋聡美, 谷口容, 關谷暁子, 山口良考, 片山 博徳, 長沢光章, 森下英理子	総項数：10
骨髄像の見方・考え方	筆頭	2022 年	日本検査血液学会雑誌 23 巻	**山口孝一**,大川有希	総項数：9
ゲノム DNA の擦易抽出法と品質評価	共筆	2022 年	医学と生物 162 巻	山口良考, 藤井樹, 中村蓮, 岩淵由起, 渡辺雄大, 飯塚信義, **山口孝一**, 伊藤記彦, 片山博徳	総項数：9
Health Effects of Drinking Water Produced from Deep Sea Water: A Randomized Double-Blind Controlled Trial.	共筆	2022 年	Nutrients Vol.28	Takeuchi H, Yoshikane Y, Takenaka H, Kimura A, Islam JM, Matsuda R, Okamoto A, Hashimoto Y, Yano R, **Yamaguchi K**, Sato S, Ishizuka S.	総項数：14
Evaluation of Optimal Sample Processing Conditions for Accurate Measurement of Protein S Activity.	共筆	2021 年	Ann Clin Lab Vol.31	Nagaya S, Araiso Y, **Yamaguchi K**, Omote Y, Matsui A, Asakura H, Morishita E.	総項数：7
Molecular genetic analysis of inherited protein C deficiency caused by the novel large deletion across two exons of PROC.	共筆	2000 年	Thromb Res Vol.188	Togashi T, Meguro-Horike M, Nagaya S, Sugihara S, Ichinohe T, Araiso Y, **Yamaguchi K**, Mori K, Imai Y, Kuzasa K, Horike SI, Asakura H, Watanabe A, Morishita E.	総項数：５
報告					
国際検査血液学会参加助成 第 35 回国際検査血液学会に参加して	筆頭	2023 年	日本検査血液学会雑誌　24 巻	**山口孝一**	総項数：２

好中球細胞外トラップス（NETs）の定量化を目的とした検討	筆頭	2020 年	黒住財団研究業績　28 回	**山口孝一**	総項数：２
学会発表					
好中球の活性化マーカーと好中球細胞外トラップス（NETs）の関連性の検討	共同	2024 年 10 月	第 18 回日本臨床検査教育協議会（新潟）	渡辺羽音、吉村梨子、船生心晴、秋山奈樹菜、本間彩楓、久保祐大、**山口孝一**	一般演題
敗血症時の好中球形態変化の検討	共同	2024 年 10 月	第 18 回日本臨床検査教育協議会（新潟）	吉村梨子、渡辺羽音、船生心晴、秋山奈樹菜、本間彩楓、佐藤正一、久保祐大、**山口孝一**	一般演題
血小板凝集における基礎的検討と活性化血小板	共同	2024 年 10 月	第 18 回日本臨床検査教育協議会（新潟）	本間彩楓、秋山奈樹菜、吉村梨子、渡辺羽音、船生心晴、久保祐大、山口孝一	一般演題
先天性プロテイン S 欠乏症を引き起こす新規スプライスバリアント	共同	2024 年 7 月	第 25 回日本検査血液学会学術集会（広島）	冨樫朋貴，長屋聡美，小倉瑞生，**山口孝一**，今井湧太，菊池結香，安田芽生，目黒牧子，堀家慎一，森下英理子	一般演題
当院における FLT3 遺伝子変異陽性 AML の臨床的特徴	共同	2024 年 7 月	第 34 回 Cytometory Research（Web）	入谷 康太，白木 涼，野澤 真裕美，伊藤 永泰，**山口 孝一**，柴田 一泰	一般演題
機械値と目視が乖離した好塩基球増多症の一例	共同	2024 年 5 月	第 73 回医学検査学会（金沢）	山田奈津，今村ひかり，塩本和佳奈，埴生怜奈，吉田雅代，**山口孝一**	一般演題
末梢血塗抹標本における好中球活性化と空胞化との関連性の検討	共同（筆頭）	2024 年 5 月	第 73 回医学検査学会（金沢）	**山口孝一**，長屋聡美，松井杏沙佳，山田奈津，神尾成美，入谷康太，山口良考，佐藤正一	一般演題
左房拡大を評価する新たな指標（LAD-index）の臨床的有用性の検討	共同	2024 年 5 月	第 73 回医学検査学会（金沢）	山田奈津，今村ひかり，塩本和佳奈，埴生怜奈，吉田雅代，**山口孝一**	一般演題
血小板凝集能と可溶性 C-type Lectin-like	共同（筆頭）	2024 年 5 月	第 35 回日本血栓止血学会学術集会	**山口 孝一**，長屋 聡美，冨樫 朋貴，藤井 義也，入谷康太，佐藤正一，山	一般演題

Receptor2(sCLEC2)の関連性の検討				口良考，川村雅英，松下周平，久保雄大，森下英理子	
血小板マイクロパーティクルのCLEC2測定系の検討	共同（筆頭）	2024年5月	第35回日本血栓止血学会学術集会	**山口孝一**，長屋聡美，冨樫朋貴，藤井義也，入谷康太，佐藤正一，山口良考，川村雅英，松下周平，久保雄大，森下英理子	一般演題
癌増殖に寄与するMYC過剰発現協調因子の探索	共同	2024年2月	第113回日本病学会学術集会(名古屋)	辰巳暁哉，稲葉成美，片山博徳，**山口孝一**，村井法之，倉田盛人	一般演題
C-value を利用したがん細胞スクリーニング技術の開発	共同	2024年1月	第29回国際医療福祉大学学会学術集会	山口良考，片山博徳，**山口孝一**，佐藤正一，神尾成美，米根矢，渡辺雄大，長沢光章	一般演題
人工幹細胞Natural Stem Cellにおける肝細胞への分化能(会議録)	共同	2024年3月	第47回生物試料分析学会	山口良考，笠原祐一郎，**山口孝一**，神尾成美，佐藤正一，鈴木宏，野本順子，田嶋明彦，長沢光章，片山博徳	一般演題
L*a*b*色空間を用いたWright-Giemsa染色の染色性評価の検討	共同	2023年10月	第48回日本医療科学学会学術集会（横浜）	久木田玲那，**山口孝一**，稲田政則	一般演題
細菌感染症に伴うDICにおけるPS切断による抗凝固能低下の可能性	共同	2023年7月	第25回日本検査血液学会学術集会（愛知）	長屋聡美，**山口孝一**，松井杏沙佳，津田友秀，森下英理子	一般演題
可溶型C-type Lectin-like Receptorの基礎的検討	共同	2023年5月	第71回医学検査学会	神尾成美，**山口孝一**，本間喜美子，川村雅英，松下周平，長屋聡美，森下英理子	一般演題
骨髄不全症におけるCD177発現量測定の有用性	共同	2023年7月	第23回日本検査血液学会学術集会	入谷康太，白木涼，野澤真裕美，伊藤永泰，柴田一泰，**山口孝一**，長屋聡美，森下英理子	一般演題
採血後の血液細胞機能および形態の経時的変化の研究	共同（筆頭）	2022年8月	国際医療副大学学会学術集会	**山口孝一**，篠田雄大，鷹箸一郎，神尾成美，山口	一般演題

				良考, 片山博徳, 長沢光章	
Investigation of changes in neutrophil cell surface markers over time	共同（筆頭）	2022年10月	ASCPaL（横浜）	**Koichi Yamaguchi**, Satomi Nagaya, Narumi Kamio, Kouta Iritani, Yoshitaka Yamaguchi, Shoichi Sato, Hironori Katayama, Mitsuaki Nagasawa, Eriko Morishita	一般演題
Measurement of platelet microparticles CLEC2 using flow cytometry	共同（筆頭）	2022年8月	国際検査血液学会（イタリア）	**Koichi Yamaguchi**, Satomi Nagaya, Shoichi Sato, Hironori Katayama, Yoshitaka Yamaguchi, Mitsuaki Nagasawa, Narumi Kamio, Masahide Kawamura, Shuhei Matsusita, Eriko Morishita	一般演題
好中球細胞表面マーカの経時的変化の検討	共同	2022年5月	第32回 Cytometory Research（Web）	神尾成美, 入谷康太, 山口良考, 佐藤正一, 片山博徳, **山口孝一**, 長沢光章	一般演題
ゲノムDNA抽出方法の比較検討～専用キットと用手法～	共同	2022年3月	第45回生物試料分析学会	藤井樹, 渡辺雄大, **山口孝一**, 山口良考	一般演題
人工幹細胞 Natural Stem Cellの分化能への挑戦	共同	2022年3月	第45回生物試料分析学会（Web）	山口良考, 藤井樹, **山口孝一**, 伊藤記彦, 片山博徳	一般演題
血液塗抹標本を用いた簡便で経済的なDNA抽出法の検討（1）	共同	2022年3月	第45回生物試料分析学会（Web）	ドミンゴアルドリン, 山口良考, 藤崎なつ美, 佐藤正一, **山口孝一**	一般演題
血液塗抹標本を用いた簡便で経済的なDNA抽出法の検討（2）	共同	2022年3月	第45回生物試料分析学会（Web）	藤崎なつ美, 山口良考, ドミンゴアルドリン, 佐藤正一, **山口孝一**	一般演題
Helicobacter pylori 外膜蛋白	共同	2021年10月	第46回日本医療科学学会学術集	戎屋里紗, 岡本葵, Islam	一般演題

Lpp20 の血小板活性			会（横浜）	MD Jahirul, 金子綾美, 木村明佐子, **山口孝一**, 竹内啓晃	
血小板に結合する Helicobacter pylori 菌体成分の同定とその血小板活性化の証明	共同	2021 年 10 月	第 69 回日本臨床検査医学学会（宇都宮）	岡本葵, 戎屋里紗, ISLAM MD JAHIRUL, 木村明佐子, **山口孝一**, 金子綾美, 橋本優佑, 大星航, 竹内啓晃	一般演題
可溶型 C-type Lectin-like receptor-2 (sCLEC-2) の臨床的有用性の検討	共同（筆頭）	2021 年 7 月	第 22 回日本検査血液学会学術集会（神奈川）	**山口孝一**, 長屋聡美, 川村雅英, 松下周平, 森広太朗, 佐藤正一, 辻口博聖, 原章規, 中村裕之, 森下英理子	一般演題
血液疾患患者の血小板減少予測における IPF (幼若血小板比率) 検査の有用性	共同	2021 年 6 月	第 66 回日本輸血細胞治療学会（宇都宮）	谷口容, **山口孝一**, 藤野匡, 吉尾伸之, 高見昭良, 森下英理子	一般演題
可溶型血漿 CLEC2 の測定における検体安定性の検討	共同（筆頭）	2020 年 7 月	第 21 回日本検査血液学会学術集会（金沢）	**山口孝一**, 花村美帆, 牧田友香, 森広太郎, 長屋聡美, 森下英理子	一般演題
石川県におけるギムザ染色の標準化の試み 1～アンケート調査を通して～	共同	2020 年 7 月	第 21 回日本検査血液学会学術集会（金沢）	長面佳央理, 川端絵美子, 山崎貴子, 黒崎芙美, 長屋聡美, **山口孝一**	一般演題
石川県におけるギムザ染色の標準化の試み 2～フリーソフト Fiji (ImageJ) を用いた客観的指標の確立～	共同	2020 年 7 月	第 21 回日本検査血液学会学術集会（金沢）	長面佳央理, 川端絵美子, 山崎貴子, 黒崎芙美, 長屋聡美, **山口孝一**	一般演題
新規フレームシフト変異を含め, 複数の遺伝子変異が認められた先天性第 VII 因子欠乏症	共同	2020 年 7 月	第 21 回日本検査血液学会学術集会（金沢）	冨樫朋貴, 長屋聡美, 森広太朗, **山口孝一**, 今井湧太, 目黒牧子, 堀家慎一, 錦井秀和, 長谷川雄一, 森下英理子	一般演題
新規 - 塩基置換型変異を認めた先天性第 XII 因子欠乏症の 1 例	共同	2020 年 7 月	第 21 回日本検査血液学会学術集会（金沢）	冨樫朋貴, 長屋聡美, 森広太朗, **山口孝一**, 今井湧太, 目黒牧子, 堀家慎一, 錦井秀和, 長谷川雄	一般演題

				一，森下英理子	

Ⅳ　学会等および社会における主な活動
1　現在の所属学会
日本臨床衛生検査技師会 日本検査血液学会 日本血栓止血学会 日本輸血細胞治療学会
2　2020～2024 年度の学会での主な活動
日本検査血液学会・評議委員会（2018 年度～現在）
3　2020～2024 年度の社会での主な活動
日本検査血液学会雑誌編集委員会（2021～2025 年）

所属　医療保健学部 学科　臨床検査学科	職名　助教	氏名　伊藤　慶	学　位	博士　（医学）
			国家資格	臨床検査技師

Ⅰ　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
生化学	2014 年～現在	臨床検査学科 1 年次生を対象に、体を構成する物質（糖質・脂質・タンパク質・核酸）の種類や構造・働きを理解し、その代謝（合成・分解）の流れを教授することで、人間の体の基本的な働き・機能を理解し、検査における基本的知識を習得することを目的としている。 科目責任者として、全 15 コマを担当している。講義ではスライドを配布し、上記以外にもポルフィリン代謝、無機物、生体異物代謝、シグナル伝達、がんなど、幅広く解説している。 成績は、期末試験及び再試験により評価している。
生化学（	2019 年～現在	放射線学科 1 年次生を対象に、臨床検査学科のスライドを活用して放射線学科に合わせた内容に改変した講義を行なっている。 全 8 コマを担当。成績は、期末試験及び再試験により評価している。
生化学	2019 年～現在	医療技術学科 1 年次生を対象に、臨床検査学科のスライドを活用して医療技術学科に合わせた内容に改変した講義を行なっている。 全 8 コマを担当。成績は、期末試験及び再試験により評価している。
生化学	2019 年～2022 年	看護学科 1 年次生を対象に、臨床検査学科のスライドを活用して看護学科に合わせた内容に改変した講義を行なっている。 全 15 コマを担当。成績は、期末試験及び再試験により評価している。
特講Ⅲ	2024 年	保健栄養学科を対象に、生化学関連全般の講義を行なった。
分子生物学	2018 年～現在	臨床検査学科 1 年次生を対象に、遺伝現象の基礎を理解してもらうために、転写・翻訳・複製について原理から教授している。全 8 コマを担当。講義では説明している全スライドの印刷を配布している。成績は、期末試験及び再試験により評価している。
遺伝子関連検査学	2015 年～現在	臨床検査学科 2 年次生を対象に、分子生物学の知識を元に、検査を実践するために必要な方法の原理や必要なものを教授している。主に、PCR や染色体検査の培養方法など。また、遺伝子検査は倫理的な問題が多くあるため、臨床検査技師として相応しい倫理観を各々確認しな

		がら講義している。全 8 コマを担当。成績は、期末試験及び再試験により評価している。
遺伝子関連検査学実習	2016 年～現在	臨床検査学科 3 年次生を対象に、遺伝子関連検査学で学んだ方法を実践している。特に、PCR 法の理解に力を入れており、一人一人が原理から説明できるようになるまで、確認しながら実習を行なっている。その他、遺伝子関連検査の基礎となる DNA の取り扱い方法や、染色体検査のための細胞培養などを行なっている。成績は各課題に対してレポートを課して 20%分とし期末試験を 80%の割合で評価している。
遺伝子分析科学	2022 年～現在	臨床検査学科 3 年次生を対象に、遺伝子分析科学認定士試験のための講義を行なっている。遺伝子分析科学認定士試験のテキストを基本に遺伝子関連検査に必要な知識を基礎から復習し、技術、実践、評価法を一通り学修する。また、動画試験や実技試験も含まれているため、遺伝子関連検査学実習で作成した操作動画の視聴や、マイクロピペットの使い方などの基本操作を練習させ、できるまで実践させている。全 8 コマを担当。成績は期末試験及び再試験により評価している。
公衆衛生学実習	2019 年～2023 年	心身の健全と効率の増進を図る科学と技術を、粉塵、大気汚染物質、騒音、照度、温度条件、大気圧などを測定する。また、浄水場見学や食品工場見学を行い、公衆衛生を広く学習する。コロナ禍においては学外実習が不可、また、学年の変更・担当教員の変更などもあり、適宜内容を変え実施してきた。 全 8 コマを担当。成績はレポートにより評価している。
医療保健学総合セミナー	2019 年～現在	臨床検査学科 1 年次生を対象に、大学生活及び講義などへの円滑な移行に必要な基礎知識とスキルを行う講義である。 全 30 コマのうちほぼ複担当として参加。そのうち、メール・レポートの書き方や臨床検査技師の活躍の場の説明などの講義を実施している。
生命倫理	2021 年～現在	臨床検査学科 1 年次生を対象に、臨床検査技師としての高い倫理観を養うための生命倫理の基本原則や倫理綱領・倫理規程をはじめ、医療現場での倫理的課題について学修する。 全 15 コマのうち 1 コマを担当し、動画などを利用し遺伝子診断における生命倫理を教授している。成績はレポートにより評価している。
病態解析演習	2021 年～2024 年	臨床検査学科 3 年次生を対象に、それまでに学修した知識を活用し、数値・画像・形態などから検査結果と病態の関係を導き出す学修を行う。全 15 コマのうち、1 コマを担当した。遺伝子検査結果をもとに学生の意見を確認しながらデータの解釈と考察を検討している。

総合演習	2017 年～現在	臨床検査学科 4 年次生を対象にした、これまでに学習してきた国家試験に関わるすべての科目の総まとめの科目である。全 15 コマのうち 1 コマを担当し、生化学・分子生物学・遺伝子関連検査学・遺伝子関連検査学実習で学んだ内容を総復習するとともに、国家試験に準じたテスト問題を実践し、必要とする考えの周知を徹底している。
検査の中の化学	2023 年～現在	臨床検査学科 1 年次生を対象にし、大学で学ぶための基礎知識としての化学・生物・数学などを学ぶ講義である。 主任担当として講義計画や、全 15 コマのうち 4 コマの講義を担当し、生体構成成分や ATP などのエネルギー代謝、有機化合物の構造官・能基、性質などを教授している。
卒業研究	2017 年～現在	遺伝子関連に関わる研究を通じて、研究の調査・実験・分析・解析・考察を行い、基礎知識、技術、態度を習得する。 卒業研究希望者の希望により研究内容を変更している。(希望者がいない場合は実施しない)　内容として、細胞培養技術や DNA の取り扱い、論文の読み方を実施することが多い。例として、細胞培養を用いたオートファジーと mTOR 関連分子の研究や、梅の抗がん作用の研究、SNP との肌研究などを行なっている。
2　作成した教材（150 字程度まで）		
生化学の講義用 PowerPoint スライド	2014 年～現在	臨床検査学科 1 年次生を対象に生化学の講義を行った際、PowerPoint スライド(全 15 章の約 370 枚)を作成し、板書として使用した。毎年講義内容を見直し、スライドの変更や修正などを適宜行なっている。
生化学の講義用 PowerPoint スライド	2019 年～現在	放射線学科 1 年次生を対象に、臨床検査学科のスライドを活用していいるが、放射線独自のスライドとして現在までに 50 枚以上作成している。
生化学の講義用 PowerPoint スライド	2019 年～現在	医療技術学科 1 年次生を対象に、臨床検査学科のスライドを活用しているが、医療技術独自のスライドとして現在までに 20 枚以上作成している。
生化学の講義用 PowerPoint スライド	2019 年～2023 年	看護学科 1 年次生を対象に、臨床検査学科のスライドを活用しているが、看護独自のスライドとして現在までに 20 枚以上作成している。
分子生物学の講義用 PowerPoint スライド	2014 年～現在	臨床検査学科 1 年次生を対象に生化学の講義を行った際、PowerPoint スライド(全 8 章の 300 枚以上)を作成し、板書として使用した。毎年講義内容を見直し、スライドの変更や修正などを適宜行なっている。
遺伝子関連検査学の講義用 PowerPoint スライド	2015 年～現在	臨床検査学科 1 年次生を対象に生化学の講義を行った際、PowerPoint スライド(全 8 章の約 300 枚)を作成し、板書として使用した。毎年講義内容を見直し、スライドの変更や修正などを適宜行なっている。

遺伝子関連検査学実習の実習ノート	2016 年～現在	3 年次対象の遺伝子関連検査学実習の実験において、毎回の実習の内容と手順をまとめたプリント(A4, 計 28 頁)を配布資料として作成した。実習の後にはプリントの見直しをし、変更、修正を行った。
遺伝子関連検査学実習の実習動画	2016 年～現在	コロナ禍において、実習のオンライン・密防止のために実習操作動画を作成した。(4 項目計 1 時間ほど) コロナ禍終了後は、遺伝子分析化学認定試験の動画試験の練習として利用している。
公衆衛生学実習の実習動画	2019 年～2024 年	コロナ禍において、公衆衛生学実習のオンラインや、非常勤講師が対応不可であったため、実習項目事に機材の説明や操作方法を記録した動画を作成した。
医療保健学総合セミナーの講義用 PowerPoint スライド	2019 年～現在	臨床検査学科 1 年次生を対象に医療保健学総合セミナーの講義を行った際、PowerPoint スライド(約 80 枚)を作成し、板書として使用した。毎年講義内容を見直し、スライドの変更や修正などを適宜行なっている。
生命倫理の講義用 PowerPoint スライド	2021 年～現在	臨床検査学科 1 年次生を対象に生命倫理の講義を行った際、PowerPoint スライド(70 枚以上)を作成し、板書として使用した。毎年講義内容を見直し､スライドの変更や修正などを適宜行なっている。
病態解析演習の講義用 PowerPoint スライド	2021 年～2024 年	遺伝子検査の実際を模したストーリーシナリオを作成し、それに生じる問題点などを考察するための講義プリント(A4, 計 6 頁)を作成した。毎年講義内容を見直し、スライドの変更や修正などを適宜行なっている。
総合演習及び 4 年次特別講義の講義用配布資料	2017 年～現在	国家試験対策用講義として、生化学・遺伝子関連・微生物学・医用工学・公衆衛生学などの配布資料、ドリルなどを作成した。(A4, 計 50 頁以上)（また、国家試験問題に準じた問題資料などの PPT を作成した。(枚数計測不能)
検査の中の化学の講義用 PowerPoint スライド	2023 年～現在	臨床検査学科 1 年次生を対象に医療保健学総合セミナーの講義を行った際、PowerPoint スライド(約 50 枚)を作成し、板書として使用した。毎年講義内容を見直し、スライドの変更や修正などを適宜行なっている。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
4　その他教育活動上特記すべき事項		
第２８回 FD フォーラムの報告会報告　（オンライン）	2023 年 3 月	FD フォーラムの報告会において第 6 分科会「大学教育と福祉課題～大学での支援のあり方を考える～」について報告を行なった。

臨床検査学科における卒業研究指導	2017 年～現在	臨床検査学科 4 年次対象の卒業研究において、 希望者ありの年度に 1～2 名程度の学生に対して指導を行った。
入学前課題の作成及び入学時の基礎学力試験の作成	2014 年～現在	入学前課題及び基礎学力試験について、生物・化学・物理の作成を行なった。年度に応じて変更や修正などを適宜行なっている。
初年時教育補習	2014 年～現在	初年時教育として、生物・化学・物理を年度に応じて 3~5 限分の補習を行った。
国家試験対策補習	2017 年～現在	臨床検査学科 4 年次対象に、生化学・遺伝子分野を中心に、必要に応じて薬理学、医用工学、公衆衛生、微生物学など幅広く指導を行なった。

Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
2　特許		
3　その他職務上の実績に関する事項		
東邦大学医学部病理学講座　研究員	2020 年～現在	

Ⅲ　研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					
論文					
Staphylococcus sciuri の薬剤感受性試験判定の注意点　～ペット由来菌株の例	共著	2024 年	つくば国際大学紀要　第 16 号	鴻巣麻子、高野真衣、兎澤理梨、伊藤慶、難波俊二、酒井翔太、川畑大輔、東出正人	p25-33

Clinicopathological importance of Bcl-2 and p53 in postmenopausal triple-negative breast carcinoma and association with age.	共著（筆頭）	2024 年 8 月	Pathology International Volume74 Issue 10	Kei Ito, Naoko Honma, Hideaki Ogata, Akimitsu Yamada, Mika Miyashita, Tomio Arai, Eiichi Sasaki, Kazutoshi Shibuya, Tetuo Mikami, Masataka Sawaki	p574-582
Irradiation Attenuates Systemic Lupus Erythematosus-Like Morbidity in NZBWF1 Mice: Focusing on CD180-Negative Cells	共著	2023 年 8 月	Journal of Immunology Research	Kazuko Fujita , Taku Kuwabara, Bing Wang , Kaoru Tanaka, Kei Ito, Yuri Akishima-Fukasawa, Tetuo Mikami, Yoshikiyo Akasaka, and Toshiharu Ishii	p11
Expression of mTOR Signaling Pathway Molecules in Triple-Negative Breast Cancer	共著(筆頭)	2019 Nov 8.	Pathobiology 2019;86(5-6)	Kei Ito, Hideaki Ogata , Naoko Honma, Kazutoshi Shibuya, Tetuo Mikami	p315-321.
報告					
学会発表					
Clinicopathological importance of Bcl-2 and p53 in postmenopausal triple-	共同（筆頭）	2023 年 7 月	第 31 回　日本乳癌学会学術総会	Kei Ito, Naoko Honma,* Hideaki Ogata, Akimitsu Yamada, Mika	

negative breast carcinoma and association with age				Miyashita, Tomio Arai, Eiichi Sasaki, Tetuo Mikami, Masataka Sawaki,	
新カリキュラム対応のため客観的臨床能力試験(OSCE)血液分野の試みについて	共同	令和 5 年 8 月	日本臨床検査学教育学会	○吉田 保子 1)、伊藤 慶 2)、山本 哲也 2)、當銘 良也 2) 1)新潟薬科大学 医療技術学部 臨床検査学科、2)つくば国際大学 医療保健学部 臨床検査学科	
Clinicopathological importance of Bcl-2 in postmenopausal TNBC and its relevance with age.	共同	2022 年 7 月	第 31 回 日本乳癌学会学術総会	Kazuko Fujita , Taku Kuwabara, Bing Wang , Kaoru Tanaka, Kei Ito, Yuri Akishima-Fukasawa, Tetuo Mikami, Yoshikiyo Akasaka, and Toshiharu Ishii	
梅肉エキス成分が培養系ヒト肝臓がん細胞に与える影響について	共同	2022 年 11 月	第 30 回 茨城県臨床検査学会	加倉井健人・岡崎有夏・押田吏希・月本あつ子・伊藤慶	

Ⅳ　学会等および社会における主な活動
1　現在の所属学会

日本病理学会、日本乳癌学会
2　2020～2024 年度の学会での主な活動
3　2020～2024 年度の社会での主な活動

医療技術学科

所属　医療保健学部 学科　医療技術学科	職名　教授	氏名　石垣　明子	学　位	教育学修士（学校教育学）
			国家資格	

Ⅰ　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
英語Ⅱ	2017 年～現在	使用教科書に基づいて、リーディング能力の向上を目指す。英語Ⅰで培った原書講読のための基礎力を踏まえ、英語Ⅱでは長文の要約を行い、講読した内容に基づいて、深く英文を理解する能力を育成する。特に、医療英語特有の英語表現に注目し、構文の理解や言い回しの習得など、世界標準の医療英語を読み解く力を育成する。
人間と文学	2016 年～現在	人間は、人間らしく生きたいと願い、さまざまな文化を形成してきた。人は固有の文化の中で、「人間らしさ」を学び、自分らしい生き方を見つける。一方で、文化は人々の意識の変化にそって変容してゆく歴史的な存在でもある。そこで、本授業では、日本の文化・文学を取り上げ、われわれ日本人の意識がどのように形成されてきたかについて歴史的に考察する。文学作品に触れることを通して、文化や人間に対する理解を深め、自己を高める態度を養う。
比較文化論	2016 年～現在	「比較文化」の眼を養うことは、グローバル社会の中にあって、今後ますます必要になってくる。他国の文化を理解しようとする友愛の精神や自国の文化を伝える伝統的素養は今まさに涵養すべき課題である。本授業の比較文化論では日本とその他の国々の文化との比較を通じて、今後の日本の在り方や世界との接し方について考えさせる。
教育学	2016 年～現在	教育学とは、人間の内面成長と英知の伝達であり、生涯にわたる豊かな人間形成の在り方を探求する学問である。今ほど教育学的素養が必要なことを痛感する時はない。登校拒否、いじめ、暴力等々・・・。その認識から教育基本法をはじめとした教育改革論議が盛んである。教育に関心が高まっている事自体喜ぶべきことだが、先達の残した経験から賢く学ばなければならない。また、我が国の教育は、法律主義に基づいている。以上のようなことに観点をおいて講義する。
英語表現	2016 年～現在	医療現場で想定される英会話を聴き取る英語力を伸長するとともに、その背景となる医療事象や医療事情について様々なテーマを取り上げて英語を理解する力を育成します。特に、免疫学や遺伝学など近年の

		医療の発展に伴う、最新の医療事情について、様々な米国の医療機関の文献を読み解き、医療の臨床の場でそれらがどのように使用されているかを、英会話と原文読解から理解し、学習者の専門性に生かせるよう、学習材を用意し、講義を中心にしながらも演習によって英語力の向上を目指す。
医療英語	2016 年～現在	医療特有の専門用語を用いて英語で会話をしたり、説明をしたりプレゼンテーションする力を育成することを主眼とする。近年、外国人就労者や外国人観光客の増加に伴い、医療機関においても、世界共通の言語として英語でオペレーションする機会が増えてきている。特に、日本に居住する外国人にとって、医療機関で英語を使用して診療について説明し、病状を理解できる医療人は必要不可欠な存在であろう。本授業では医療機関における様々な場面を想定し､実践的な力を養う。
英語 I	2016 年～現在	英語を読むために必要な①予習の仕方、②文法力の伸長、③要旨の把握の仕方、など基本的なスタディ・スキルを確認しながら、特に原文を読むための基礎力としてリーディングの力を伸長する学習活動を行う。また、ノーマルスピードの英会話を聞き取るリスニング力を育成する学習活動を行う。
コミュニケーション論	2010 年～現在	近年、高度情報化社会という言葉が至る所で語られ、その中でコミュニケーション論が扱う領域はますます多様化している。本講では、そうした広範なコミュニケーション論の領域の中から、主として対人的コミュニケーションの側面を取り上げ、社会人基礎力としての言語コミュニケーションストラテジーについて実践的な学習を行う。
2　作成した教材（150 字程度まで）		
教育学（診療放射線・臨床検査・医療技術学科対象）の講義用配布資料	2016 年～現在	15 回の授業の毎回の授業内容をまとめたプリント(B4、計 15 枚)を配布資料として作成した。
比較文化論（診療放射線・臨床検査・医療技術学科対象）の講義用配布資料	2016 年～現在	15 回の授業の毎回の授業内容をまとめたプリント(B4、計 15 枚)を配布資料として作成した。
医療英語（診療放射線・臨床検査・医療技術学科対象）講義用 PowerPoint スライド	2016 年～現在	診療放射線・臨床検査・医療技術学科 1 年次対象の医療英語の講義を行うために、PowerPoint スライド(計 15 点、計 150 枚)を作成した。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
コミュニケーション論に関する著書	2024 年 1 月	コミュニケーション論に関する著書を発表した。 『新装版　石部魂子教授の事件簿』入部明子著 ; 銀河書籍 総頁数 : 155 頁
人間と文学に関する著書	2024 年 10 月	人間と文学（医療と夏目漱石）に関する著書を発表した。

		『石部魂子教授と龍石の謎』入部明子著；銀河書籍 総頁数：183 頁
4　その他教育活動上特記すべき事項		

Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
2　特許		
3　その他職務上の実績に関する事項		

Ⅲ　研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					
石部魂子教授と龍石の謎	単著	2024 年 10 月	銀河書籍	入部　明子（石垣　明子）	総頁数：183 頁
新装版　石部魂子教授の事件簿	単著	2024 年 1 月	銀河書籍	入部　明子（石垣　明子）	総頁数：155 頁
報告					
言語技術としての「事実と意見の区別」（6）ー「事実と意見の区別」の教材論ー小説はよい教材となりうるか	共著	2024 年 9 月	図書文化『指導と評価』838 号	入部　明子（石垣　明子） 渡辺　哲司 島田　康行	p48-50
言語技術としての「事実と意見の区別」（5）事実と意見の区別―「はて？」と問う	単著	2024 年 8 月	図書文化『指導と評価』837 号	入部　明子（石垣　明子）	p51-53
教科別にみる学習者用デジタル教科書活用の現状と課題　1．国語　1－3．課題と展望	共著	2024 年 6 月	デジタル教科書に関する調査研究委員会	教科書研究センター	総頁数：230 頁
永久保存版 公用文作成のテン	単著	2021 年 12 月	明治書院『日本語学』vol.40-4	入部　明子（石垣　明子）	p146-157

プレート; 主要 20 ポイント					
新しい「公用文作成の要領」に向けて	共著	2021 年 3 月	文化庁	文化庁	総頁数：75 頁
学会発表					

Ⅳ　学会等および社会における主な活動
1　現在の所属学会
1988 年～現在　日本国語教育学会会員 1988 年～現在　日本読書学会会員 1988 年～現在　全国大学国語教育学会会員 1988 年～現在　人文科教育学会会員
2　2020～2024 年度の学会での主な活動
2021~2023 年度　日本国語教育学会　研究部会運営委員
3　2020～2024 年度の社会での主な活動
2024 年 8 月　日本赤十字社幹部看護師研修　赤十字看護管理研修Ⅱ　講師
2023 年 7 月　日本赤十字社幹部看護師研修　赤十字看護管理研修Ⅱ　講師
2022 年 7 月　日本赤十字社幹部看護師研修　赤十字看護管理研修Ⅱ　講師
2020 年 2 月～2021 年 3 月　平成 29 年度改訂学習指導要領英訳（仮訳）に関する検討会議協力者委員
2019 年 4 月～2021 年 3 月　大学設置審議会　教育学・保育専門委員
2018 年 4 月～2021 年 3 月　文化庁文化審議会国語分科会委員

所属　　医療保健学部 学科	職名　教授	氏名　小室　安宏	大学院における研究指導担当資格の有無　（　　）

Ⅰ　教育活動

教育実践上の主な業績	年月日（西暦）	概　　要
1　教育内容・方法の工夫（授業評価を含む）	2022 年～現在 2022 年～現在	生命倫理、医学概論、生体機能代行装置学概論、臨床医学総論、救急救命医学概論、病態・治療論（分担）、チーム医療論第 2 種 ME 技術実力検定試験，臨床工学技士国家試験等
2　作成した教科書、教材、参考書	2022 年～現在 2022 年～現在	講義スライド資料，穴埋式の配布資料，動画資料　等 第 2 種 ME 技術実力検定試験，臨床工学技士国家試験等
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
4　その他教育活動上特記すべき事項		

Ⅱ　研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名（共著の場合のみ記入）	該当頁数
著書					
論文					
報告					
学会発表					

Ⅲ　学会等および社会における主な活動					
1　現在の所属学会					
日本外科学会(認定登録医)、日本消化器外科学会(認定登録医)、日本消化器病学会(専門医)、日本大腸肛門病学会(専門医)、日本消化器内視鏡学会(専門医)					
2　2020～2024 年度の学会での主な活動					
3　2020～2024 年度の社会での主な活動					

所属　医療保健学部 学科　医療技術学科	職名　教授	氏名　関根　正樹	学　位	博士（工学）
			国家資格	

Ⅰ　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
計測制御システム実習	2024 年	医療技術学科 2 年次生を対象に、「医用計測工学」で学ぶ計測の基礎やトランスデューサ、「システム制御工学」で学ぶフィードバック制御や PID 制御について、実習用回路を作製し、原理や特性の確認を行った。
医用電子工学演習	2024 年	医療技術学科 2 年次生を対象に、電子回路の主要な素子であるダイオードやオペアンプを用いた回路の動作について演習を実施した。ダイオード、増幅器、オペアンプを含む演習問題の配布を行った。
基礎電子回路	2023 年～現在	医療技術学科 1 年次生を対象に、電子回路の基礎である半導体、ダイオード、トランジスタの特性や動作、その応用回路について講義した。講義資料（スライド）や演習問題の配布、自己学習環境（Web アプリ）の提供を行った。
情報処理工学	2023 年～現在	医療技術学科 1 年次生を対象に、コンピュータにおける数値、文字、画像の表現方法や信号処理、コンピュータの構成と動作原理について講義した。講義資料（スライド）や演習問題、ワークシートの配布、自己学習環境（Web アプリ）の提供を行った。
総合演習Ⅰ・Ⅱ	2019 年～現在	医療技術学科 4 年次生を対象に、電子工学、情報処理工学、システム工学に関する総括的な講義と演習を行った。講義内容をまとめた資料および演習問題を配布した。
システム制御工学	2019 年～現在	医療技術学科 4 年次生（旧カリキュラム）および 2 年次生（新カリキュラム）を対象に、システムの構造と構成要素、制御方式の種類とそ

		の特徴、制御系の記述と伝達関数、システムの応答について講義した。演習問題の配布を行った。
医療情報システム工学	2018 年～現在	医療技術学科 3 年次生を対象に、医療情報システムの概要、基幹システムと部門システムの機能および連携、地域医療情報ネットワークシステムの概要について講義した。講義資料（スライド）を配布した。
先端計測技術学	2018 年～現在	臨床工学や生体医工学に関連するセンシング技術、インターフェース、人工知能の原理および動向について講義した。学生に医療に関わる計測技術を調査・発表させ、必要な箇所について補足説明を行った。
医用電子工学実習	2017 年～現在	医療技術学科 2 年次生を対象に、「基礎電子回路」や「医用電子工学」で学ぶ電子回路について、実際に回路を作製し、特性を測定して動作の確認を行った。
医用電子工学	2017 年～現在	医療技術学科 2 年次生を対象に、医療機器に利用される増幅器の特性、オペアンプの特性や動作、その基本回路および応用回路、デジタル回路、通信技術について講義した。講義資料（スライド）や演習問題の配布、自己学習環境（Web アプリ）の提供を行った。
医用計測工学実習	2017 年～2024 年	医療技術学科 2 年次生を対象に、「医用計測工学」で学ぶ計測の基礎とトランスデューサについて、実際に計測用回路を作製し、原理や特性の確認を行った。
情報科学概論	2016 年～2024 年	医療技術学科 1 年次生を対象に、コンピュータにおける情報の表現方法、コンピュータの構成と動作原理、ネットワーク、セキュリティについて講義した。講義資料（スライド）や演習問題、ワークシートの配布、自己学習環境（Web アプリ）の提供を行った。
医用計測工学	2017 年～2022 年	医療技術学科 2 年次生を対象に、生体計測の基礎と生体計測に利用されるトランスデューサについて講義した。講義資料（スライド）やワークシートの配布、自己学習環境（Web アプリ）の提供を行った。

2　作成した教材（150 字程度まで）		
計測制御システム実習	2024 年	実習資料（計 14 点）の作成、実習機材（計 2 点）の作製
医用電子工学演習	2024 年	演習問題および解説（計 5 点、計 20 頁）の作成
基礎電子回路	2023 年～現在	講義資料（スライド、計 12 点）、演習問題（計 8 点）、自己学習環境（Web アプリ）の作製
情報処理工学	2023 年～現在	講義資料（スライド、計 11 点）、演習問題および解説（計 10 点）、ワークシート（計 3 点）の作成、自己学習環境（Web アプリ）の作製
総合演習Ⅰ・Ⅱ	2019 年～現在	講義資料（計 64 頁）の作成
システム制御工学	2019 年～現在	演習問題および解説（計 6 点）の作成
医療情報システム工学	2018 年～現在	講義資料（スライド、計 15 点）の作成
先端計測技術学	2018 年～現在	講義資料（スライド、計 3 点）の作成
医用電子工学実習	2017 年～現在	実習資料（計 7 点）の作成、実習機材（計 1 点）の作製
医用電子工学	2017 年～現在	講義資料（スライド、計 11 点）、演習問題および解説（計 9 点）の作成、自己学習環境（Web アプリ）の作製
医用計測工学実習	2017 年～2024 年	実習資料（計 11 点）の作成、実習機材（計 2 点）の作製
情報科学概論	2016 年～2024 年	講義資料（スライド、計 11 点）、演習問題および解説（7 点）、ワークシート（5 点）の作成、自己学習環境（Web アプリ）の作製
医用計測工学	2017 年～2022 年	講義資料（スライド、計 12 点）、ワークシート（計 8 点）の作成、自己学習環境（Web アプリ）の作製
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
4　その他教育活動上特記すべき事項		
初年次教育補習	2024 年	医療技術学科において、リメディアル教育（物理）に関する資料（計 4 点）および試験問題を作成した。補習（計 4 コマ）および試験（補習前後、計 2 コマ）を実施した。

国試対策	2019 年～現在	医療技術学科において、国家試験過去問解説および学内・学外模擬試験解説を行った（補習計 12 コマ、その他個別対応）。全分野の分野別過去問プリント（計 120 点）、模擬試験問題（計 4 回）、小テスト（計 21 回）の作成を行い、自己学習環境（Web アプリ）を作製した。
卒業研究指導	2019 年～現在	医療技術学科において、2022 年度は 2 名、2023 年度は 1 名、2024 年度は 2 名の学生に対して指導を行った。
第 2 種 ME 技術実力検定試験対策	2016 年～現在	医療技術学科において、物理、電気工学、電子工学に関する過去問解説資料（計 73 頁）、全分野の分野別過去問プリント（計 36 点）、模擬試験問題（計 8 回）の作成を行い、自己学習環境（Web アプリ）を作製した。補習（計 10 コマ）を行った。
入学前課題の作成	2016 年～現在	医療技術学科において、数学と人体の基礎に関する入学前課題を作成した（計 8 点）。

Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
2　特許		
3　その他職務上の実績に関する事項		
国立障害者リハビリテーションセンター研究所 研究協力者	2017 年～現在	
ライフサポート学会誌編集委員	2004 年	
学術論文の査読（2 件）		

Ⅲ　研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著等	発行または発表の	発行所、発表雑誌	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等

	の別	年月（西暦）	（及び巻・号数）等の名称		
著書					
臨床工学技士 ポケット・レビュー帳 改訂第2版	分担	2022年3月	メジカルビュー社	【編者】福長一義 【著者】福長一義，関根正樹，他	総頁数：448頁 執筆担当：第3章情報処理工学（pp62-68）
論文					
Green Light Photoplethysmography as a Substitute for Heart Rate Variability Monitoring	共著	2024年10月	Advanced Biomedical Engineering, vol. 13	Maeda Y, Sekine M, Tamura T, Mizutani K	pp. 301-306
報告					
学会発表					
脈波伝搬時間を用いた透析中の血圧低下モニタリングに関する基礎的検討	共同	2023年6月	第68回日本透析医学会学術集会・総会	中原毅，高橋いづみ，増本剛，野村真由美，及川輝，関貴弘，森優，下畑誉，小高以直，山田幸太，関根正樹，前田祐佳	一般演題

Ⅳ　学会等および社会における主な活動
1　現在の所属学会
日本生体医工学会 ライフサポート学会 米国電気電子技術者協会（IEEE）
2　2020～2024年度の学会での主な活動

ライフサポート学会・理事（2017 年 5 月～現在）
ライフサポート学会 編集委員（2004 年 4 月～現在）
日本生体医工学会・代議員（2011 年 4 月～2023 年 3 月）
3　2020～2024 年度の社会での主な活動
厚生労働省 令和 6 年度 介護現場の生産性向上に向けた介護ロボットの開発・実証・普及広報のプラットフォーム事業 マッチングサポーター（2024 年 6 月～2025 年 3 月）
厚生労働省 令和 5 年度 介護現場の生産性向上に向けた介護ロボットの開発・実証・普及広報のプラットフォーム事業 マッチングサポーター（2023 年 6 月～2024 年 3 月）
厚生労働省 令和 4 年度 介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム構築事業 マッチングサポーター（2022 年 6 月～2023 年 3 月）
厚生労働省 令和 3 年度 介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム構築事業 マッチングサポーター（2021 年 5 月～2022 年 3 月）

所属　医療保健学部 学科　医療技術学科	職名　教授	氏名　堀内　勇人	学　位	修士（保健学）
			国家資格	臨床工学技士

I　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
血液浄化機器学(新カリキュラム)	2024 年	医療技術学科２年次を対象に血液浄化の原理、種類、特徴などについて理解を深める目的で科目責任者として 15 コマすべての授業を担当した。講義はオリジナルの PowerPoint スライドと資料を用いて、講義は国家試験に対応する講義を意識して実施した。講義の前半は前回に講義内容の復習を行い理解力の向上に努めた。成績は期末試験および再試験により評価した。
医用工学概論	2023 年～現在	医療技術学科１年次を対象に医用工学の原理、特徴などについて理解を深める目的で科目責任者として 15 コマすべての授業を担当した。講義はオリジナルの PowerPoint スライドと資料を用いて、講義は国家試験に対応する講義を意識して実施した。講義の前半は前回に講義内容の復習を行い理解力の向上に努めた。成績は期末試験および再試験により評価した。
医用計測工学	2023 年～現在	医療技術学科 2 年次を対象に計測工学の原理、特徴などについて理解を深める目的で科目責任者として 15 コマすべての授業を担当した。講義はオリジナルの PowerPoint スライドと資料を用いて、講義は国家試験に対応する講義を意識して実施した。講義の前半は前回に講義内容の復習を行い理解力の向上に努めた。成績は期末試験および再試験により評価した。
医用生体計測装置学	2023 年～現在	医療技術学科２年次を対象に生体計測装置の原理、種類、特徴など

		について理解を深める目的で科目責任者として 15 コマすべての授業を担当した。講義はオリジナルの PowerPoint スライドと資料を用いて、講義を実施した。講義の後半は講義範囲に即した過去の国家試験や模擬試験の問題を提示し解説解説を含め国家試験を意識した内容とした。成績は期末試験および再試験により評価した。
先端医療技術学	2023 年～現在	医療技術学科 3 年次を対象に先端治療技術について理解を深める目的で科目責任者として 8 コマ中 2 コマを講義した。残りの 6 コマは自身で考え伝える能力を身に付けることを目的に、学生の個々のテーマをもとに PowerPoint スライドを用いて発表形式で実施し、活発な討論と学生による発表内容の評価を行った。成績は学生による評価と担当教員の評価をプラスして総合的に評価した。
血液浄化機器学(旧カリキュラム)	2023 年～現在	医療技術学科 3 年次を対象に血液浄化の原理、種類、特徴などについて理解を深める目的で科目責任者として 15 コマすべての授業を担当した。講義はオリジナルの PowerPoint スライドと資料を用いて、講義は国家試験に対応する講義を意識して実施した。講義の前半は前回に講義内容の復習を行い理解力の向上に努めた。成績は期末試験および再試験により評価した。
関係法規	2023 年～現在	医療技術学科 4 年を対象に血液浄化の原理、種類、特徴などについて理解を深める目的で科目責任者として 8 個マすべての授業を担当した。講義はオリジナルの PowerPoint スライドと資料を用いて、教科書に基づいた内容で実施した。成績は期末試験により評価した。
チーム医療論	2023 年～現在	医療技術学科 4 年次を対象にチーム医療について理解を深める目的で実施した。科目責任者として 2 コマの授業を担当し、残りの 6 コマは各学科の教員によるオムニバス形式で実施した。講義はオリジナルの PowerPoint スライドと資料を用いて実施した。成績は課題レポー

		トの内容により評価した。
医用生体計測装置学実習	2023 年～現在	医療技術学科 4 年次を対象に実習ごとに実習手順を記載した実習指導書を配布し、実際の医療計測装置を使用しながら実習を実施した。成績は課題レポートごとの内容により評価した。
血液浄化機器学実習	2023 年～現在	医療技術学科 3 年次を対象に実習ごとに実習手順を記載した実習指導書を配布し、実際の血液透析装置を使用しながら実習を実施した。成績は課題レポートごとの内容により評価した。
総合演習 I	2023 年～現在	医療技術学科 4 年次の学生を対象としたオムニバス形式の講義において、科目分担者として 8 コマ中 1 コマの授業を担当した。医用生体計測装置学・血液浄化機器学を中心に、講義としては 2 コマ分を実施した。
総合演習 II	2023 年～現在	医療技術学科 4 年次の学生を対象としたオムニバス形式の講義において、科目分担者として 8 コマ中 1 コマの授業を担当した。医用生体計測装置学・生体機能代行装置分野の血液浄化機器学を中心に、講義としては 12 コマ分を実施した。
2　作成した教材（150 字程度まで）		
血液浄化機器学(新カリキュラム)	2024 年	医療技術学科 2 年次を対象に血液浄化機器学の講義をおこなった際、スライド 15 点を作成し、講義の後にスライドを見直し、変更や修正など更新を行った。
医用工学概論	2023 年～現在	医療技術学科 1 年次を対象に医用工学概論の講義をおこなった際、スライド 15 点を作成し、講義の後にスライドを見直し、変更や修正など更新を行った。
医用計測工学	2023 年～現在	医療技術学科 2 年次を対象に医用計測工学の講義をおこなった際、スライド 15 点を作成し、講義の後にスライドを見直し、変更や修正など更新を行った。

医用生体計測装置学	2023 年～現在	医療技術学科 3 年次を対象に医用生体計測装置学の講義をおこなった際、スライド 15 点を作成し、講義の後にスライドを見直し、変更や修正など更新を行った。
先端医療技術学	2023 年～現在	医療技術学科 3 年次を対象に先端医療技術学の講義をおこなった際、スライド 2 点を作成し、講義の後にスライドを見直し、変更や修正など更新を行った。
血液浄化機器学(旧カリキュラム)	2023 年～現在	医療技術学科 3 年次を対象に血液浄化機器学の講義をおこなった際、スライド 15 点を作成し、講義の後にスライドを見直し、変更や修正など更新を行った。
関係法規	2023 年～現在	医療技術学科 4 年次を対象に関係法規の講義を行った際、スライド 8 点を作成し、講義の後にスライドを観直し、変更や修正など更新を行った。
チーム医療論	2023 年～現在	医療技術学科 4 年次対象にチーム医療論の講義を行った際、スライド 2 点を作成し講義後にスライドを見直し、変更や修正など更新を行った。
医用生体計測装置学実習	2023 年～現在	医療技術学科 4 年次を対象に医用工学実習を行った際、資料 8 点と課題 8 点について、実習後の内容を見直し、修正や変更を行った。
血液浄化機器学実習	2023 年～現在	医療技術学科 3 年次を対象に血液浄化機器学実習を行った際、資料 8 点と課題 8 点について、実習後の内容を見直し、修正や変更を行った。
総合演習 I	2023 年～現在	医療技術学科 4 年次の学生対象の「総合演習 I 」において、PowerPoint スライド（計 2 点）を作成し、講義後にスライドの見直しを行った。
総合演習 II	2023 年～現在	医療技術学科 4 年次の学生対象の「総合演習 I 」において、PowerPoint スライド（計 8 点）を作成し、講義後にスライドの見直し

		を行った。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
4　その他教育活動上特記すべき事項		
FD フォーラム報告会報告	2024 年 3 月	2023 年度 FD フォーラム報告会においてシンポジウム「学びの連続体へのまなざし～生成系 AI への耐性・代替不可能性を求めて～」と、第 4 分科会「大学における自校教育の効果と課題について」報告を行った。

Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
2　特許		
3　その他職務上の実績に関する事項		

Ⅲ　研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					
論文					
長期体外循環補助における血漿遊離ヘモグロビン測定による溶	共著	2023 年 5 月	医機学 Vol.93 (4)	共著者:片岡怜,朝日大樹,堀内勇人,和多田雅哉	103-111

血発生因子の検証					
臨床工学技士が複数テーマの医工学連携に取り組んだ経験と今後の課題	共著	2023 年 5 月	社団法人日本医療機器学会 医療機器学(93 巻・4 号)	片岡怜, 朝日大樹, 堀内勇人, 和多田雅哉	516-522
Influences of the priming procedure and saline circulation conditions on polyvinylpyrrolidone in vitro elution from polysulfone membrane dialyzers	共著	2021 年 12 月	Biochemistry and Biophysics Reports, Volume 28,101140	Yoshinori Sato , Hayato Horiuchi , Shinji Fukasawa , Shingo Takesawa , Jun Hirayama	101140
学会発表					
模擬シャント血流音を利用した透析低血圧症検出に関する基礎的研究	筆頭	2024 年 11 月	第 33 回日本 AEM 学会主催 MAGDA コンファレンス in 東京	堀内勇人, 和多田雅哉	一般演題

Ⅳ　学会等および社会における主な活動
1　現在の所属学会
日本人工臓器学会, 日本医工学治療学会, 日本アフェレシス学会, 日本血液浄化技術学会, 日本急性血液浄化学会、日本 AEM 学会
2　2020～2024 年度の学会での主な活動
2020～2021 年度　日本血液浄化技術学会, 学術委員, セミナー委員, 倫理審査委員, 研究活動推進ワーキンググループメンバー
3　2020～2024 年度の社会での主な活動

所属　医療保健学部 学科　医療技術学科	職名　准教授	氏名　池田　潔	学　位	博士（情報科学）
			国家資格	

Ⅰ　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
「応用数学」	2020 年～現在	集合、論理、微分法、積分法、微分方程式など、比較的高度な内容を扱った。スライドを用いて図やグラフを例示しながら解説を行い、定理や公式の証明時にはマーカーで重要点を強調するなど、視覚的に理解しやすい説明を心がけた。毎回の授業では多数の演習問題を実施し、詳細な解説を加えた。
「数学」	2016 年～現在	微分積分および線形代数の基礎的事項について解説を行った。数学が苦手な学生にも配慮し、数と式の計算方法など初歩的な内容から段階的に高度な内容へと進む構成とした。演習問題は独自に作成し、毎回の授業で実施した。解法を解説したプリントを配付し、正答率の低かった問題については詳細な復習を行った。
「情報処理Ⅰ」「情報処理Ⅱ」	2009 年～現在	情報処理Ⅰでは、コンピュータの基本的な仕組みの理解を促すため、独自に作成した教材を用いてパソコンの操作方法を解説した。情報処理Ⅱでは、レポートやウェブページの作成、データベースを用いたデータ処理の基礎、プログラミングの初歩など、大学での学習・研究に資するテーマを取り上げ、演習を通じて理解を深めた。
「医療統計学」	2007 年～現在	スライドを用いて身近な例を取り上げながら統計学の基本的な考え方を解説し、パソコンを用いた統計分析の演習を行った。具体的には、データ処理、統計量の計算、グラフ作成、統計的推定・検定、相関・回帰分析などを実施した。操作方法のみならず、背景にある統計学的な意味についても丁寧に説明するよう努めた。
2　作成した教材（150 字程度まで）		
「応用数学」の講義用資料・スライド	2020 年～現在	応用数学の講義では、講義用資料（A4 判・約 10 頁）および演習問題とその解説（約 3 頁）を毎回作成し、受講生に配付した。併せて、講義用スライドも作成した。

「数学」の講義用資料・スライド	2016 年～現在	数学の講義では、演習問題とその解説（A4 判・約 10 頁）を毎回作成し、受講生に配付した。併せて、講義用スライドも作成した。
「情報処理Ⅰ」「情報処理Ⅱ」の演習用資料	2009 年～現在	情報処理Ⅰ・Ⅱにおいては、パソコン演習の内容と手順をまとめた資料（A4 判・約 20 頁）を毎回作成し、受講生に配付した。操作手順を詳細に解説し、多数の画像を挿入するなど、視覚的に理解しやすい工夫を施した。
「医療統計学」の講義用資料・スライド	2007 年～現在	医療統計学の講義では、講義用資料（A4 判・約 10 頁）を毎回作成し、受講生に配付した。併せて、講義用スライドも作成した。
「医療統計学」の演習用資料	2007 年～現在	医療統計学においては、パソコン演習の内容と手順をまとめた資料（A4 判・約 10 頁）を毎回作成し、受講生に配付した。操作手順を詳細に解説し、多数の画像を挿入するなど、理解を促す工夫を行った。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
4　その他教育活動上特記すべき事項		
医療技術学科における入学前課題の作成	2016 年～2022 年	医療技術学科において、数学分野の入学前課題を作成した。

Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
2　特許		
3　その他職務上の実績に関する事項		
学術論文の査読（2 件）	2020～2024 年	

Ⅲ　研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著等	発行または発表の	発行所、発表雑誌	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等

	の別	年月（西暦）	（及び巻・号数）等の名称		
著書					
論文					
報告					
学会発表					

Ⅳ　学会等および社会における主な活動
1　現在の所属学会
日本オペレーションズリサーチ学会会員
2　2020～2024 年度の学会での主な活動
3　2020～2024 年度の社会での主な活動

所属　医療保健学部 学科　医療技術学科	職名　講師	氏名　中原　毅	学　位	修士（保健科学）
			国家資格	臨床工学技士

I　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
呼吸関連機器学（新カリキュラム）	2024 年	医療技術学科 2 年次の学生（新カリキュラム）を対象に、呼吸療法に関連する医療機器の原理、操作方法および安全管理について講義を行った。科目責任者として 15 コマすべてを担当し、配布したスライド資料に沿って作成した PowerPoint を用い、視聴覚教材を併用して理解を促した。さらに一部では実物資料を提示し、操作方法を具体的に解説することで、臨床現場で必要となる知識と技能の定着を図った。成績は小テストおよび期末試験により評価した。
医用機器学概論	2023 年～現在	医療技術学科 2 年次の学生を対象に、医療に用いる各種の計測・治療機器についてオムニバス形式で講義を行った。科目責任者として 15 コマすべてを担当し、自作したスライド資料を電子媒体として配布し、PowerPoint を用いて解説した。各回冒頭には国家試験に準じた小テストを実施し、理解度の確認と知識の定着を図った。成績は小テストおよび期末試験により評価した。
生体材料工学	2023 年～現在	医療技術学科 3 年次の学生を対象に、臨床工学技士として必要な材料工学の基礎と生体との相互作用について講義を行った。科目責任者として 15 コマすべてを担当し、特にペースメーカをはじめとする埋植型治療機器に求められる材料の性質や特性を中心に解説した。講義では配布したスライド資料に沿って PowerPoint を用いて説明し、各回冒頭には前回内容に関する小テストを実施して知識の定着を図った。

		成績は小テストおよび期末試験により評価した。
総合演習Ⅰ	2019年～現在	医療技術学科4年次の学生を対象としたオムニバス形式の講義において、科目分担者として8コマ中1コマの授業を担当した。生体機能代行装置分野を中心に、講義としては2コマ分を実施した。
総合演習Ⅱ	2019年～現在	医療技術学科4年次の学生を対象としたオムニバス形式の講義において、科目分担者として8コマ中1コマの授業を担当した。生体機能代行装置分野を中心に、講義としては12コマ分を実施した。
呼吸関連機器学（旧カリキュラム）	2018年～現在	医療技術学科3年次の学生（旧カリキュラム）を対象に、呼吸療法に関連する医療機器の原理、操作方法および安全管理について講義を行った。科目責任者として全コマを担当し、配布したスライド資料に沿って作成したPowerPointを用い、視聴覚教材を併用して理解を促した。さらに一部では実物資料を提示し、操作方法を具体的に解説することで、臨床現場で必要となる知識と技能の定着を図った。成績は小テストおよび期末試験により評価した。
呼吸関連機器学実習	2018年～現在	医療技術学科3年次の学生を対象に、「呼吸関連機器学」で学習した呼吸療法関連機器の取り扱いについて実習を行った。科目責任者として8コマすべてを担当し、人工呼吸器（IPPV、NPPV）、酸素療法デバイス、各種呼吸モニタリング機器を中心にテーマを設定した。実習では学生一人ひとりが十分に機器に触れられるよう、少人数グループに分けて別テーマを並行実施する方法を取り入れ、実践的理解を深めた。成績はレポートおよび実技試験により評価した。
体外循環機器学	2018年～現在	医療技術学科3年次の学生を対象に、人工心肺装置や補助循環装置を中心とした体外循環技術について講義を行った。科目責任者として15コマすべてを担当し、配布したスライド資料に沿って作成したPowerPointを用い、視聴覚教材を活用して理解を促した。さらに臨床

		現場での応用を意識した解説を加え、体外循環に関する原理や構造、安全管理に至るまで体系的に解説した。成績は小テストおよび期末試験により評価した。
体外循環機器学実習	2018 年～現在	医療技術学科 3 年次の学生を対象に、「体外循環機器学」で学習した人工心肺装置、IABP、PCPS の取り扱いについて実習を行った。科目責任者として 8 コマすべてを担当し、学生が主体的に学べるよう、実習の最後に実技試験を課すなどの工夫を行った。実習では機器操作の実践を通じて臨床現場で求められる知識と技能の習得を図り、成績はレポート、実技試験により評価した。
医用機器安全管理学 I	2016 年～現在	医療技術学科 1 年次生を対象に、医療安全に関わる法規、手技および基礎知識について講義を行った。科目責任者として 15 コマすべてを担当し、医療ガス管理や消毒・滅菌に関する領域を中心に、実物資料を提示・操作させながら理解を深めた。講義では配布したスライド資料に沿って作成した PowerPoint を用いて説明を行い、各回冒頭には前回内容を確認する小テストを実施して知識の定着を図った。成績は小テストと期末試験により評価した。
医療保健学セミナー	2016 年～現在	医療技術学科 1 年次の学生を対象としたオムニバス形式の講義において、科目分担者として 8 コマ中 2 コマの授業を担当した。病院見学に向けた事前オリエンテーションを実施し、医療施設内での接遇やマナーについて指導した。最終回には土浦ベリルクリニックへの施設見学を引率し、講義内容と実地見学を関連付けて学生の理解を深める機会とした。成績は見学時のレポートを採点し、評価した。
2　作成した教材（150 字程度まで）		
呼吸関連機器学（新カリキュラム・2 年次）の講義用 PowerPoint スライド	2024 年	医療技術学科 2 年次対象の「呼吸関連機器学（新カリキュラム）」において、PowerPoint スライド（計 15 点、計 800 枚）を作成し、講義の

		板書として使用した。授業後に内容を点検し、必要に応じて修正や更新を行った。
呼吸関連機器学（新カリキュラム・2 年次）の小テスト	2024 年	医療技術学科 2 年次対象の「呼吸関連機器学（新カリキュラム）」において、小テスト（計 15 点、計 30 枚）を作成し、講義毎に実施した。
医用機器学概論（2 年次）の講義用 PowerPoint スライド	2023 年～現在	医療技術学科 2 年次対象の「医用機器学概論」において、PowerPoint スライド（計 15 点、計 660 枚）を作成し、講義の板書として使用した。授業終了後にはスライドを点検し、必要に応じて修正や更新を行った。
医用機器学概論（2 年次）の小テスト	2023 年～現在	医療技術学科 2 年次対象の「医用機器学概論」において、小テスト（計 15 点、計 30 枚）を作成し、講義毎に実施した。
生体材料工学（3 年次）の講義用 PowerPoint スライド	2023 年～現在	医療技術学科 3 年次対象の「生体材料工学」において、PowerPoint スライド（計 15 点、計 510 枚）を作成し、講義の板書として使用した。授業後には内容を見直し、必要に応じて修正や更新を行った。
生体材料工学（3 年次）の小テスト	2023 年～現在	医療技術学科 3 年次対象の「生体材料工学)」において、小テスト（計 15 点、計 30 枚）を作成し、講義毎に実施した。
総合演習Ⅰ（4 年次）の講義用 PowerPoint スライド	2019 年～現在	医療技術学科 4 年次の学生対象の「総合演習Ⅰ」において、PowerPoint スライド（計 2 点、計 80 枚）を作成し、講義の板書として使用した。
総合演習Ⅱ（4 年次）の講義用 PowerPoint スライド	2019 年～現在	医療技術学科 4 年次の学生対象の「総合演習Ⅱ」において、PowerPoint スライド（計 8 点、計 320 枚）を作成し、講義の板書として使用した。
呼吸関連機器学（旧カリキュラム・3 年次）の講義用 PowerPoint スライド	2018 年～現在	医療技術学科 3 年次対象の「呼吸関連機器学（旧カリキュラム)」において、PowerPoint スライド（計 15 点、計 800 枚）を作成し、講義の板書として使用した。授業後には内容を見直し、適宜修正や更新を行った。
呼吸関連機器学（旧カリキュラム・3 年次）の小テスト	2018 年～現在	医療技術学科 3 年次対象の「呼吸関連機器学（旧カリキュラム)」において、小テスト（計 15 点、計 30 枚）を作成し、講義毎に実施した。

呼吸関連機器学実習（3 年次）の実習用配布資料	2018 年～現在	医療技術学科 3 年次対象の「呼吸関連機器学実習」において、実習用配布資料（計 10 点、計 120 枚）を作成し、実習指導書やレポートテンプレート、補足資料として使用した。実習終了後には見直しと更新を行った。
体外循環機器学（3 年次）の講義用 PowerPoint スライド	2018 年～現在	医療技術学科 3 年次対象の「体外循環機器学」において、PowerPoint スライド（計 15 点、計 620 枚）を作成し、講義の板書として使用した。授業後にはスライドを見直し、適宜修正や更新を行った。
体外循環機器学（3 年次）の小テスト	2018 年～現在	医療技術学科 3 年次対象の「体外循環機器学」において、小テスト（計 15 点、計 30 枚）を作成し、講義毎に実施した。
体外循環機器学実習（3 年次）の実習用配布資料	2018 年～現在	医療技術学科 3 年次対象の「体外循環機器学実習」において、実習用配布資料（計 10 点、計 120 枚）を作成し、実習指導書やレポートテンプレート、補足資料として使用した。実習後には内容を確認し、更新を行った。
医用機器安全管理学 I （医療技術学科 1 年次対象）の講義用 PowerPoint スライド	2016 年～現在	医療技術学科 1 年次対象の「医用機器安全管理学 I 」において、PowerPoint スライド（計 15 点、計 750 枚）を作成し、講義の板書として使用した。授業後には内容を見直し、適宜修正や更新を行った。
医用機器安全管理学 I （医療技術学科 1 年次対象）の小テスト	2016 年～現在	医療技術学科 1 年次対象の「医用機器安全管理学 I 」において、小テスト（計 15 点、計 30 枚）を作成し、講義毎に実施した。
医療保健学セミナーの見学実習用 PowerPoint スライド	2016 年～現在	医療技術学科 1 年次対象の「医療保健学セミナー」において、PowerPoint スライド（計 3 点、計 10 枚）を作成し、見学実習用資料として使用した。毎年、見学施設ごとに更新している。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
CE のための臨床研究の基本」について講演	2023 年 5 月	アステラス製薬株式会社より依頼を受け、茨城県の臨床工学技士を対象として、「CE のための臨床研究の基本」について講演を行った。
4　その他教育活動上特記すべき事項		

国家試験　対策講義	2019 年～現在	医療技術学科 4 年次の学生を対象に、臨床工学技士国家試験合格に向けた特別補講を複数回実施した。自身の担当科目である生体機能代行装置学を中心に過去問題の解説を行い、出題傾向の把握と知識の整理を図った。また、学生が作成した学習ノートの確認や学習進捗の把握を行い、個別指導的要素を取り入れて理解度の向上を支援した。
医療技術学科における卒業研究指導	2019 年～現在	医療技術学科 4 年次対象の卒業研究において毎年 1～3 名名程度に関して指導を行った。
医療技術学科における病院実習指導	2018 年～現在	医療技術学科 4 年次対象の臨床実習において、学科内のワーキンググループ長として取りまとめ、実施計画の立案、各種資料の作成および全学生へのオリエンテーション指導を毎年実施している。
第 2 種 ME 技術実力検定試験　対策講義	2016 年～現在	医療技術学科 2 年次の学生を主たる対象とし、日本生体医工学会が認定する「第 2 種 ME 技術実力検定試験」合格に向けた対策講義を実施した。本学科では同試験の受験を強く推奨としており、各分野を担当する教員が分担して講義を行った。当方は生体代行装置学の分野を担当し、出題傾向に即した重要事項の整理と理解の深化を図る内容を展開した。成績は小テストや模擬試験を通じて確認した。
Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
2　特許		
3　その他職務上の実績に関する事項		
学術論文の査読（1 件）	2020～2024 年	

Ⅲ　研究活動					
著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等

著書					
論文					
高等学校における脳死と臓器を主体とした教育プログ構築のためのアンケート調査	共著	2023 年 3 月	医療保健学研究　14 号	山縣香織, 浦山修, 中原毅, 大越教夫, 澤田和彦	pp.19-27
報告					
学会発表					
レーザードプラ血流計による下肢血流評価の信頼性と TBI を対照とした妥当性	共同	2024 年 11 月	第 5 回日本フットケア・足病医学会年次学術集会	鈴木さやか, 中原毅, 山田幸太	一般演題
ニプロ自動採液装置 NICE の使用経験	共同	2023 年 11 月	第 57 回茨城人工透析談話会	高橋いづみ,関貴弘,中原毅	一般演題
血液透析における回路振動での脱血不良モニタリング	共同	2023 年 7 月	第 33 回日本臨床工学会	平間理紗,大竹康弘,林康範,中原毅	一般演題
NPPV におけるストラップ張力からみた適切なマスクフィッティング	共同	2023 年 7 月	第 33 回日本臨床工学会,広島	赤塩暎生,保坂章太,中原毅	一般演題
ヘモダイアフィルタ clearum HSF の性能評価	共同	2023 年 6 月	第 68 回日本透析医学会	増本剛,中原毅,高橋いづみ,関貴弘, 他	一般演題
脈波伝搬時間を用いた透析中の血圧低下モニタリングに関する基礎的検討	共同	2023 年 6 月	第 68 回日本透析医学会	中原毅,関貴弘,関根正樹, 前田佑佳, 他	一般演題
キンダリー透析剤 4E からキンダリー透析剤 5E への変更による患者血液データの比較	共同	2021 年 11 月	第 55 回茨城人工透析談話会	関貴弘,中原毅,山田幸太, 他	一般演題

当院の透析排水処理の現状と臨床工学技士による保守管理の関わりについて	共同	2020 年 11 月	第 65 回日本透析医学会学術集会・総会	増本剛,関貴弘,中原毅,他	一般演題

Ⅳ　学会等および社会における主な活動
1　現在の所属学会
日本臨床工学技士会 日本人工臓器学会 日本呼吸療法医学会 茨城県臨床工学技士会 American Association for Respiratory Care
2　2019～2023 年度の学会での主な活動
2023 年 6 月～現在　茨城県臨床工学技士会　副会長 2022 年 5 月　第 32 回日本臨床工学会　主催
3　2019～2023 年度の社会での主な活動

所属　医療保健学部 学科　医療技術学科	職名　助教	氏名　大関　誠也	学　位	博士（工学）
			国家資格	臨床工学技士

Ⅰ　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
医用電気工学	2022 年～現在	医療技術学科の 1 年生を対象として、臨床工学技士として必要な電気回路の講義をおこなった。講義では、直流回路から交流回路について説明を行った。成績は期末試験試験および再試験により評価した。
基礎電磁気学	2022 年～現在	医療技術学科の 1 年生を対象として、臨床工学技士として必要な電磁気学の講義をおこなった。講義では、電気と磁気について説明を行い、これらを合わせた電磁気についての説明を行った。例題などの作成や問題解説などをおこなった。成績は期末試験試験および再試験により評価した。
医用機械工学	2022 年～現在	医療技術学科の 2 年生を対象として、臨床工学技士として必要な機械工学（物理学）の講義をおこなった。講義では、力学から、材料器力学流体力学、熱力学波動について説明を行った。成績は期末試験試験および再試験により評価した。
医用生体物性工学	2022 年～現在	医療技術学科の 1 年生を対象として、臨床工学技士として必要な生体物性工学の講義をおこなった。講義では、生体の電気的、機械的な特性や、物理エネルギーへの反応、工学的な視点での生体の働きについて説明を行った。例題などの作成や問題解説などをおこなった。成績は期末試験試験および再試験により評価した。
医用電気工学実習	2022 年～現在	臨床工学技士に必要な電気的知識を実際の機器を使用して身に付ける。実験装置の操作を覚える必要やレポートの作成手順を身に付けるために、各種操作手順書や、操作解説動画などの配信をおこなっている。
医療機器安全管理学実習	2020 年～現在	医療技術学科 3 年次を対象に基礎電気回路等の知識を基に、医療機器の安全管

		理の知識を身に付ける。各機器の安全確認や点検手順書に順次した回路の組み立て、設定についての内容をまとめて講義をおこなっている。
国家試験対策講義	2020 年～現在	医療技術学科の 4 年次を対象に電気工学、機械工学分野においての、解法や計算方法など、使用する公式と途中計算なども含めてた解説動画の作成を行い、Google のクラスルームと youtube を活用して配信を行っている。
2　作成した教材（150 字程度まで）		
医用電気工学	2022 年～現在	医療技術学科の 1 年生を対象として、臨床工学技士として必要な電気回路の講義をおこなった。この際に交流回路に関する数学的な部分の補足などを行うため、Power Point スライドの修正や加筆をおこなった、（スライド 15 枚）
医用機械工学	2022 年～現在	医療技術学科の 2 年生を対象として、臨床工学技士として必要な機械工学（物理学）の講義をおこなった。この際に、流体力学についての内容の見直しをおこなった。主に画像や概念についての補足であり、資料としては Power Point スライド 20 枚の修正をおｋなった。
医用生体物性工学	2022 年～現在	医療技術学科の 1 年生を対象として、臨床工学技士として必要な生体物性工学の講義をおこなった。この際に、生体物性の講義の根底となる生理学、生物学の基礎知識部分についての資料の補強（Power Point 20 枚）をおこなっ。
国家試験対策講義	2020 年～現在	医療技術学科の 4 年次を対象に電気工学、機械工学分野においての、国家試験対策資料として、公式一覧の資料（A4 用紙２１枚）の作成をおこなった。
医療機器安全管理学実習	2020 年～現在	医療技術学科 3 年次を対象におこなった実習において、電気メスに関する実習テーマの資料（A4 用紙、5 ページ）とレポートの内容（A4 用紙 3 枚）の変更や修正をおこなった。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
4　その他教育活動上特記すべき事項		

Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
2　特許		
3　その他職務上の実績に関する事項		
日本臨床工学技士会施設協議会　試験委員	2019 年～現在	臨床工学技士技士の養成施設間における学外模擬試験関連の調整業務や、国家試験における解答の作成協力などの業務に従事している。

Ⅲ　研究活動					
著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					
医用超音波工学の基礎 - 資格試験の受験から新技術の入り口まで - 単行本 –	共著	2021 年 3 月 9 日	コロナ社	竹内 真一、内田 武吉、椎葉 倫久	総頁数：226 頁 執筆担当：第 2 章 音響工学の基礎 1（p10-17）
論文					
報告					
学会発表					

Ⅳ　学会等および社会における主な活動

1　現在の所属学会
2　2020～2024 年度の学会での主な活動
3　2020～2024 年度の社会での主な活動

所属　医療保健学部 学科　医療技術学科	職名　助教	氏名　新山　大地	学　位	修士（保健科学）
			国家資格	臨床工学技士

Ⅰ　教育活動

教育実践上の主な業績	年月（西暦）	概　要
1　教育概要（300 字程度まで）		
生体機能代行装置学基礎実習	2024 年	実習ごとに実習手順を記載した実習指導書を配布し、実際の医療機器(血液透析装置、人工呼吸器)を使用しながら実習を実施した。
医用機器安全管理学 II、生体機能代行装置学概論、医用治療機器学、システム安全工学、総合演習Ⅰ、総合演習Ⅱ	2023 年	標記の科目において、オリジナルの授業スライドと資料を用いて、国家試験に対応した講義を実施した。また、最後には、確認テストを設けることで理解力向上を図った。
医用治療機器学実習	2023 年～現在	実習ごとに実習手順を記載した実習指導書を配布し、実際の医療機器を使用しながら実習を実施した。
2　作成した教材（150 字程度まで）		
生体機能代行装置学基礎実習	2024 年	実習ごとに実習手順を記載した実習指導書を作成した。実習終了後のレポート作成にも役立てることが出来るように実習の目的や原理、方法などを詳細に明記した。
医用機器安全管理学 II、生体機能代行装置学概論、医用治療機器学、システム安全工学、総合演習Ⅰ、総合演習Ⅱ	2023 年～現在	標記の科目において講義ごとに授業内容をまとめた資料を作成し、配布した。資料には、図や表、写真等を多く取り入れ、視覚的にも理解しやすいように工夫した。
医用治療機器学実習	2023 年～現在	実習ごとに実習手順を記載した実習指導書を作成した。実習終了後のレポート作成にも役立てることが出来るように実習の目的や原理、方法などを詳細に明記した。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		

4　その他教育活動上特記すべき事項		
第 2 種 ME 技術実力検定試験　対策講義	2023 年～現在	試験の内容に含まれる「医用治療機器学」の分野において対策講義の資料を作成・配布し、対策講義を実施した。
国家試験対策	2023 年～現在	国家試験合格に向けて「医用治療機器学」と「医用機器安全管理学」の分野における対策講義や補講を実施した。問題演習に加え、問題に準じた講義を同時に行うことで、理解度を深める工夫をした。

Ⅱ　職務上の実績に関する事項	年月（西暦）	
1　研究助成金		
2　特許		
3　その他職務上の実績に関する事項		

Ⅲ　研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著等の別	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名等	総頁数/掲載頁/演題種等
著書					
論文					
静磁界が心臓植込み型デバイスに与える影響とその比較検討	共著	2023 年 2 月	医療機器学 Vol.93.No.1	新山大地,竹澤真吾,戸畑裕志	26-32

An Epicardial Connection With a Unidirectional Conduction Property From the Left Atrium to Pulmonary Vein（左心房から肺静脈への一方向伝導特性を持つ心外膜接続について）	共著	2022 年 3 月	JACC. Case reports 4(5)	Niiyama, Daichi, Tsumagari, Yasuaki, Uehara, Yoshiko, Baba, Masako, Hasebe, Hideyuki, Yoshida, Kentaro	310-314
報告					
学会発表					
ポリプロピレン製膜型人工肺ガス流出口からのウイルスリークに関する基礎的研究	共同	2024 年 11 月	第 62 回日本人工臓器学会大会	古平 聡, 榊原 正也, 藤井 清孝, 藤井 正実, 海老根 智代, 齊藤 実, 長江 祐吾, 新山 大地, 大島 弘之, 東條 圭一	一般演題
イオンレス次亜塩素酸水を用いた小児用呼気ガス回収型清浄化装置に関する基礎的検討	共同	2024 年 6 月	第 99 回日本医療機器学会大会	古平 聡, 内山 猛仁, 藤井 清孝, 海老根 智代, 藤井 正実, 齊藤 実, 長江 祐吾, 新山 大地, 山口 公大	一般演題
二酸化炭素吸収帯赤外線カメラを用いた人工肺呼気ガス可視化システム構築のための基礎的検討	共同	2023 年 11 月	第 61 回日本人工臓器学会大会	古平 聡, 藤井 清孝, 海老根 智代, 新山 大地, 大島 弘之, 伊東 祥太, 東條 圭一	一般演題

Ⅳ　学会等および社会における主な活動
1　現在の所属学会
日本臨床工学技士会、茨城県臨床工学技士会、日本心血管インターベンション治療学会、日本医療機器学会、日本人工臓器学会
2　2020～2024 年度の学会での主な活動
3　2020～2024 年度の社会での主な活動